

茨城県教育財団文化財調査報告第55集

一般国道349号道路改良工事
地内埋蔵文化財調査報告書

北郷 C 遺跡
森戸 遺跡
(下)

平成 2 年 3 月

財団法人 茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第55集

一般国道349号道路改良工事
地内埋蔵文化財調査報告書

北郷 C 遺跡
森戸 遺跡
(下)

平成 2 年 3 月

財団法人 茨城県教育財団

目 次

— 下 卷 —

森戸遺跡

1 遺物実測図	383
(1) 竪穴住居跡出土遺物	383
① 弥生時代	383
② 古墳時代	385
③ 奈良・平安時代	503
④ 時期不明	518
(2) 豪族居館跡出土遺物	519
(3) 溝・道路跡・土坑・井戸・ピット・遺構外出土遺物	539
2 出土土器観察表	554
(1) 竪穴住居跡出土土器	554
① 弥生時代	554
② 古墳時代	555
③ 奈良・平安時代	612
④ 時期不明	626
(2) 豪族居館跡出土土器	627
(3) 溝・道路跡・土坑・井戸・ピット・遺構外出土土器	635
3 土製品・石製品・石製模造品・鉄製品・古銭一覧表	644

写真図版

插图目次

下卷

第284图	第106号住居跡出土遺物 実測図…………… 383	実測図…………… 402
第285图	第143・148号住居跡出土遺物 実測図…………… 384	第304图 第45・47(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 403
第286图	第6・12(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 385	第305图 第47(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 404
第287图	第12(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 386	第306图 第49(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 405
第288图	第12(3)・16号住居跡出土遺物 実測図…………… 387	第307图 第49(2)・52(1)号住居跡出土 遺物実測図…………… 406
第289图	第17・20(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 388	第308图 第52(2)・53(1)号住居跡出土 遺物実測図…………… 407
第290图	第20(2)・21(1)号住居跡出土 遺物実測図…………… 389	第309图 第53(2)・54(1)号住居跡出土 遺物実測図…………… 408
第291图	第21(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 390	第310图 第54(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 409
第292图	第21(3)・27(1)号住居跡出土 遺物実測図…………… 391	第311图 第54(3)号住居跡出土遺物 実測図…………… 410
第293图	第27(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 392	第312图 第55号住居跡出土遺物実測図… 411
第294图	第27(3)・33(1)号住居跡出土 遺物実測図…………… 393	第313图 第56(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 412
第295图	第33(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 394	第314图 第56(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 413
第296图	第33(3)号住居跡出土遺物 実測図…………… 395	第315图 第56(3)号住居跡出土遺物 実測図…………… 414
第297图	第33(4)号住居跡出土遺物 実測図…………… 396	第316图 第56(4)号住居跡出土遺物 実測図…………… 415
第298图	第37(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 397	第317图 第60号住居跡出土遺物実測図… 416
第299图	第37(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 398	第318图 第62(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 417
第300图	第37(3)号住居跡出土遺物 実測図…………… 399	第319图 第62(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 418
第301图	第37(4)・38・39(1)号住居跡 出土遺物実測図…………… 400	第320图 第62(3)・63号住居跡出土遺物 実測図…………… 419
第302图	第39(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 401	第321图 第64(1)号住居跡出土遺物 実測図…………… 420
第303图	第41・44号住居跡出土遺物	第322图 第64(2)号住居跡出土遺物 実測図…………… 421
		第323图 第64(3)号住居跡出土遺物 実測図…………… 422

第324図	第64(4)号住居跡出土遺物 実測図……………	423	第346図	第87(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	445
第325図	第64(5)号住居跡出土遺物 実測図……………	424	第347図	第87(2)・88号住居跡出土遺物 実測図……………	446
第326図	第64(6)号住居跡出土遺物 実測図……………	425	第348図	第89・90(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	447
第327図	第64(7)号住居跡出土遺物 実測図……………	426	第349図	第90(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	448
第328図	第67号住居跡出土遺物実測図…	427	第350図	第90(3)・91(1)号住居跡出土 遺物実測図……………	449
第329図	第70(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	428	第351図	第91(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	450
第330図	第70(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	429	第352図	第91(3)・92号住居跡出土遺物 実測図……………	451
第331図	第70(3)号住居跡出土遺物 実測図……………	430	第353図	第94・96・97(1)号住居跡出土 遺物実測図……………	452
第332図	第70(4)号住居跡出土遺物 実測図……………	431	第354図	第97(2)・100(1)号住居跡出土 遺物実測図……………	453
第333図	第70(5)号住居跡出土遺物 実測図……………	432	第355図	第100(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	454
第334図	第70(6)号住居跡出土遺物 実測図……………	433	第356図	第100(3)号住居跡出土遺物 実測図……………	455
第335図	第70(7)・73号住居跡出土遺物 実測図……………	434	第357図	第101号住居跡出土遺物実測図…	456
第336図	第74・76・77号住居跡出土遺 物実測図……………	435	第358図	第102(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	457
第337図	第78(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	436	第359図	第102(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	458
第338図	第78(2)・79・80号住居跡出土 遺物実測図……………	437	第360図	第102(3)号住居跡出土遺物 実測図……………	459
第339図	第81・82(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	438	第361図	第102(4)号住居跡出土遺物 実測図……………	460
第340図	第82(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	439	第362図	第102(5)・103(1)号住居跡 出土遺物実測図……………	461
第341図	第83(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	440	第363図	第103(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	462
第342図	第83(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	441	第364図	第103(3)・104号住居跡出土 遺物実測図……………	463
第343図	第83(3)号住居跡出土遺物 実測図……………	442	第365図	第105(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	464
第344図	第83(4)・85号住居跡出土遺物 実測図……………	443	第366図	第105(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	465
第345図	第86号住居跡出土遺物実測図…	444	第367図	第105(3)号住居跡出土遺物	

	実測図……………	466		物実測図……………	488
第368図	第105(4)・108(1)号住居跡出土遺物実測図……………	467	第390図	第126(2)・130(1)号住居跡出土遺物実測図……………	489
第369図	第108(2)・109(1)号住居跡出土遺物実測図……………	468	第391図	第130(2)号住居跡出土遺物実測図……………	490
第370図	第109(2)号住居跡出土遺物実測図……………	469	第392図	第130(3)号住居跡出土遺物実測図……………	491
第371図	第110(1)号住居跡出土遺物実測図……………	470	第393図	第130(4)・131(1)号住居跡出土遺物実測図……………	492
第372図	第110(2)号住居跡出土遺物実測図……………	471	第394図	第131(2)・133・135(1)号住居跡出土遺物実測図……………	493
第373図	第111(1)号住居跡出土遺物実測図……………	472	第395図	第135(2)・136(1)号住居跡出土遺物実測図……………	494
第374図	第111(2)号住居跡出土遺物実測図……………	473	第396図	第136(2)・138(1)号住居跡出土遺物実測図……………	495
第375図	第112・115号住居跡出土遺物実測図……………	474	第397図	第138(2)・147(1)号住居跡出土遺物実測図……………	496
第376図	第116(1)号住居跡出土遺物実測図……………	475	第398図	第147(2)号住居跡出土遺物実測図……………	497
第377図	第116(2)号住居跡出土遺物実測図……………	476	第399図	第147(3)号住居跡出土遺物実測図……………	498
第378図	第117(1)号住居跡出土遺物実測図……………	477	第400図	第150・155(1)号住居跡出土遺物実測図……………	499
第379図	第117(2)号住居跡出土遺物実測図……………	478	第401図	第155(2)号住居跡出土遺物実測図……………	500
第380図	第117(3)号住居跡出土遺物実測図……………	479	第402図	第158・161・162・165号住居跡出土遺物実測図……………	501
第381図	第117(4)号住居跡出土遺物実測図……………	480	第403図	第168・174号住居跡出土遺物実測図……………	502
第382図	第117(5)号住居跡出土遺物実測図……………	481	第404図	第1・2・3号住居跡出土遺物実測図……………	503
第383図	第118号住居跡出土遺物実測図……………	482	第405図	第4・5・8・9号住居跡出土遺物実測図……………	504
第384図	第119(1)号住居跡出土遺物実測図……………	483	第406図	第10号住居跡出土遺物実測図……………	505
第385図	第119(2)号住居跡出土遺物実測図……………	484	第407図	第11・13・14・15(1)号住居跡出土遺物実測図……………	506
第386図	第120号住居跡出土遺物実測図……………	485	第408図	第15(2)・18号住居跡出土遺物実測図……………	507
第387図	第121(1)号住居跡出土遺物実測図……………	486	第409図	第19・23(1)号住居跡出土遺物実測図……………	508
第388図	第121(2)号住居跡出土遺物実測図……………	487	第410図	第23(2)・25(1)号住居跡出土遺物実測図……………	509
第389図	第124・126(1)号住居跡出土遺物実測図……………				

第411図	第25(2)・26・28号住居跡出土 遺物実測図……………	510	第432図	豪族居館跡南北堀上層(4)出 土遺物実測図……………	530
第412図	第29(1)号住居跡出土遺物 実測図……………	511	第433図	豪族居館跡南北堀上層(5)出 土遺物実測図……………	531
第413図	第29(2)号住居跡出土遺物 実測図……………	512	第434図	豪族居館跡南北堀上層(6)出 土遺物実測図……………	532
第414図	第29(3)号住居跡出土遺物 実測図……………	513	第435図	豪族居館跡南北堀上層(7)出 土遺物実測図……………	533
第415図	第29(4)・30・31号住居跡出土 遺物実測図……………	514	第436図	豪族居館跡南北堀上層(8)出 土遺物実測図……………	534
第416図	第34・35・40・42・43号住居 跡出土遺物実測図……………	515	第437図	豪族居館跡南北堀上層(9)出 土遺物実測図……………	535
第417図	第46・48・50・51・58・59号 住居跡出土遺物実測図……………	516	第438図	豪族居館跡南北堀上層(10)出 土遺物実測図……………	536
第418図	第66・72・98・107・114号 住居跡出土遺物実測図……………	517	第439図	豪族居館跡南北堀上層(11)出 土遺物実測図……………	537
第419図	第123・156号住居跡出土遺物 実測図……………	518	第440図	豪族居館跡南北堀上層(12)出 土遺物実測図……………	538
第420図	第24・84・152号住居跡出土 遺物実測図……………	518	第441図	溝・道路跡・土坑(1)出土遺 物実測図……………	539
第421図	豪族居館跡南北堀下層(1)出 土遺物実測図……………	519	第442図	土坑(2)出土遺物実測図……………	540
第422図	豪族居館跡南北堀下層(2)出 土遺物実測図……………	520	第443図	土坑(3)出土遺物実測図……………	541
第423図	豪族居館跡東西堀下層(1)出 土遺物実測図……………	521	第444図	土坑(4)出土遺物実測図……………	542
第424図	豪族居館跡東西堀下層(2)出 土遺物実測図……………	522	第445図	土坑(5)出土遺物実測図……………	543
第425図	豪族居館跡東西堀下層(3)出 土遺物実測図……………	523	第446図	土坑(6)出土遺物実測図……………	544
第426図	豪族居館跡東西堀下層(4)出 土遺物実測図……………	524	第447図	土坑(7)出土遺物実測図……………	545
第427図	豪族居館跡東西堀下層(5)出 土遺物実測図……………	525	第448図	土坑(8)出土遺物実測・拓影図……………	546
第428図	豪族居館跡東西堀下層(6)出 土遺物実測図……………	526	第449図	土坑(9)出土遺物拓影図……………	547
第429図	豪族居館跡東西堀下層(7)・南 北堀上層(1)出土遺物実測図……………	527	第450図	土坑(10)出土遺物拓影図……………	548
第430図	豪族居館跡南北堀上層(2)出 土遺物実測図……………	528	第451図	土坑(11)・井戸(1)出土遺物 実測・拓影図……………	549
第431図	豪族居館跡南北堀上層(3)出 土遺物実測図……………	529	第452図	井戸(2)・ピット・遺構外(1) 出土遺物実測図……………	550
			第453図	遺構外(2)出土遺物実測図……………	551
			第454図	遺構外(3)出土遺物実測図……………	552
			第455図	遺構外(4)出土遺物実測図……………	553

目 次

表32 土製品一覧表 ……………	644	表35 鉄製品一覧表 ……………	656
表33 石器・石製品一覧表 ……………	644	表36 古銭一覧表 ……………	657
表34 石製模造品一覧表 ……………	647		

写真図版目次

P L 23 森戸遺跡全景		第90号住居跡カマド, 第90号住居跡遺物出土状況
P L 24 調査前全景, 調査後全景		
P L 25 作業風景, 調査後全景, 現地説明会	P L 37	第91号住居跡, 第91号住居跡遺物出土状況, 第92・93号住居跡, 第103号住居跡, 第104号住居跡・カマド
P L 26 第106号住居跡, 第106号住居跡遺物出土状況, 第143号住居跡遺物出土状況	P L 38	第97号住居跡, 第97号住居跡出入り口部施設, 第97号住居跡遺物出土状況, 第97号住居跡カマド内遺物出土状況
P L 27 第6号住居跡, 第12号住居跡, 第12号住居跡遺物出土状況, 第12号住居跡カマド内遺物出土状況, 第17号住居跡, 第21号住居跡, 第27号住居跡, 第37号住居跡	P L 39	第100・101号住居跡, 第100号住居跡カマド, 第100・101号住居跡遺物出土状況
P L 28 第33号住居跡, 第33号住居跡カマド, 第33号住居跡遺物出土状況, 第33号住居跡貯蔵穴内遺物出土状況	P L 40	第102号住居跡, 第102号住居跡遺物出土状況, 第102号住居跡貯蔵穴内遺物出土状況
P L 29 第38号住居跡, 第38号住居跡カマド, 第39号住居跡, 第45号住居跡・カマド, 第47号住居跡, 第47号住居跡遺物出土状況	P L 41	第105号住居跡, 第109号住居跡, 第110号住居跡, 第111号住居跡
P L 30 第49号住居跡, 第52号住居跡, 第53号住居跡カマド, 第54号住居跡, 第55号住居跡, 第60号住居跡, 第62号住居跡, 第63号住居跡	P L 42	第112号住居跡, 第112号住居跡カマド, 第111・112号住居跡遺物出土状況, 第115号住居跡
P L 31 第56号住居跡, 第56号住居跡遺物出土状況, 第56号住居跡炭化材出土状況	P L 43	第116号住居跡, 第116号住居跡遺物出土状況, 第117号住居跡, 第117号住居跡カマド, 第117号住居跡遺物出土状況
P L 32 第64号住居跡, 第62・63・64号住居跡遺物出土状況	P L 44	第118号住居跡, 第120号住居跡, 第119号住居跡, 第121号住居跡, 第124号住居跡, 第121号住居跡遺物出土状況, 第126号住居跡, 第130号住居跡
P L 33 第67号住居跡, 第73号住居跡, 第74号住居跡, 第76号住居跡, 第79号住居跡, 第79号住居跡炭化材出土状況	P L 45	第131号住居跡, 第135号住居跡, 第138号住居跡, 第155号住居跡, 第158号住居跡, 第165号住居跡, 第168号住居跡, 第174号住居跡
P L 34 第70号住居跡, 第70号住居跡遺物出土状況, 第70号住居跡鍛冶炉	P L 46	第3号住居跡, 第4号住居跡, 第5号住居跡, 第8号住居跡, 第10号住居跡, 第14号住居跡
P L 35 第78号住居跡, 第82号住居跡, 第83号住居跡, 第83号住居跡貯蔵穴内遺物出土状況, 第83号住居跡炭化材出土状況	P L 47	第15号住居跡, 第18号住居跡, 第19号
P L 36 第85号住居跡, 第86・87・88号住居跡, 第88・89号住居跡, 第90号住居跡,		

- 住居跡, 第25号住居跡, 第26号住居跡, 第27・28・29号住居跡
- P L 48 第29号住居跡, 第29号住居跡カマド, 第29号住居跡遺物出土状況
- P L 49 第30号住居跡, 第30号住居跡カマド, 第30号住居跡遺物出土状況
- P L 50 第40号住居跡, 第42号住居跡, 第48号住居跡, 第50号住居跡, 第59号住居跡, 第107号住居跡
- P L 51 豪族居館跡
- P L 52 豪族居館跡南北堀張出部, 豪族居館跡東西堀
- P L 53 豪族居館跡南北堀土層断面, 豪族居館跡南北堀遺物出土状況, 豪族居館跡東西堀遺物出土状況
- P L 54 第2・3号溝, 第4号溝, 第5号溝, 第6号溝
- P L 55 第7号溝, 第8号溝, 第9号溝, 第1号井戸
- P L 56 第53号土坑, 第71号土坑, 第90号土坑, 第265号土坑, 第95号土坑, 第174号土坑, 第175号土坑, 第179号土坑
- P L 57 第189号土坑, 第197号土坑, 第198号土坑, 第201号土坑, 第202号土坑遺物出土状況, 第202号土坑, 第210号土坑遺物出土状況
- P L 58 第214号土坑土層断面, 第194・215号土坑, 第216号土坑, 第246号土坑, 第253号土坑, 第255号土坑, 第258号土坑, 第263号土坑
- P L 59 第2号土坑, 第15号土坑, 第16号土坑, 第18号土坑, 第19号土坑, 第23号土坑, 第58号土坑, 第212号土坑
- P L 60 第131号土坑, 第143号土坑, 第220号土坑遺物出土状況, 第235号土坑遺物出土状況, 第236号土坑遺物出土状況, 第242号土坑, 第243号土坑遺物出土状況, 第243号土坑
- P L 61 第13号土坑, 第20・52・62号土坑, 第26号土坑, 第35号土坑遺物出土状況, 第84号土坑遺物出土状況, 第99号土坑遺物出土状況, 第146・147・148号土坑, 第169号土坑
- P L 62 先土器時代石器(1)
- P L 63 先土器時代石器(2)
- P L 64 先土器時代石器(3)
- P L 65 先土器時代石器(4)
- P L 66 先土器時代石器(5)
- P L 67 先土器時代石器(6)
- P L 68 先土器時代石器(7)
- P L 69 先土器時代石器(8)
- P L 70 先土器時代石器(9)
- P L 71 先土器時代石器(10)
- P L 72 第106・143・148号住居跡出土土器
- P L 73 第12・16・17・20・27号住居跡出土土器
- P L 74 第21・33号住居跡出土土器
- P L 75 第37・39・44・47・49号住居跡出土土器
- P L 76 第53・54・55・62・64・67号住居跡出土土器
- P L 77 第56・80・81・82・86号住居跡出土土器
- P L 78 第70・83号住居跡出土土器
- P L 79 第78・87・88・89・90号住居跡出土土器
- P L 80 第91・97号住居跡出土土器
- P L 81 第100・101・102号住居跡出土土器
- P L 82 第103・104・105・108・109・110号住居跡出土土器
- P L 83 第111・115・116・118・119・120・121号住居跡出土土器
- P L 84 第117・126・130号住居跡出土土器
- P L 85 第131・135・136・138号住居跡出土土器
- P L 86 第147・155・174号住居跡出土土器
- P L 87 第1・2・3・4・8・9・10・11・13・14・15号住居跡出土土器
- P L 88 第18・19・23・25・30・34・35・43・50・59・66・98・114・156号住居跡出土土器
- P L 89 第29号住居跡出土土器
- P L 90 第7号溝, 第1号道路跡, 第26・35・99・133・166・179・189・202・210・243・254・260・272号土坑, 遺構外出土土器

P L91 豪族居館跡南北・東西堀下層出土土器

P L92 豪族居館跡東西堀下層・南北堀上層出土土器

P L93 豪族居館跡南北堀上層出土土器

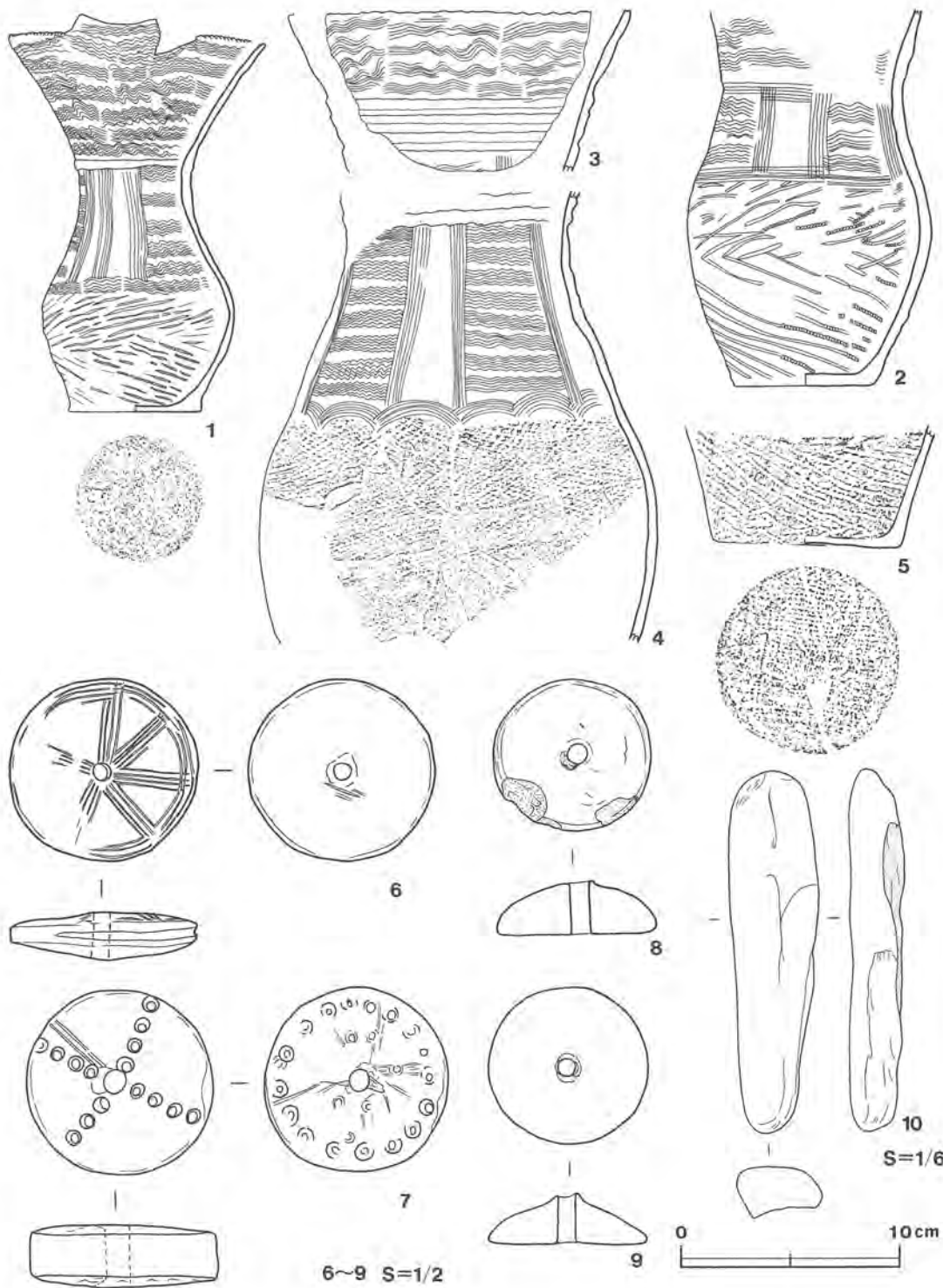
P L94 土製品

P L95 石器・石製品

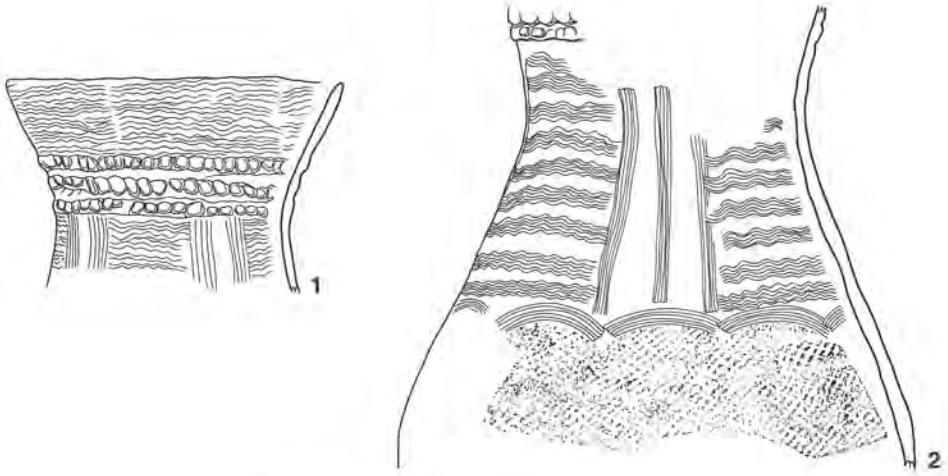
P L96 石製模造品(1)

P L97 石製模造品(2)

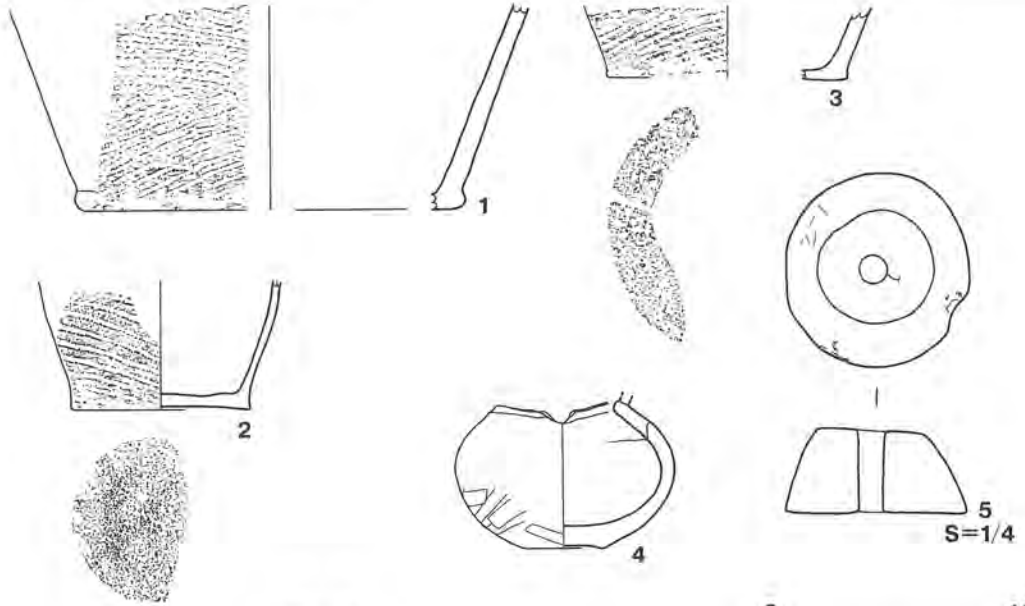
P L98 鉄製品



第284図 第106号住居跡出土遺物実測図



SI 143

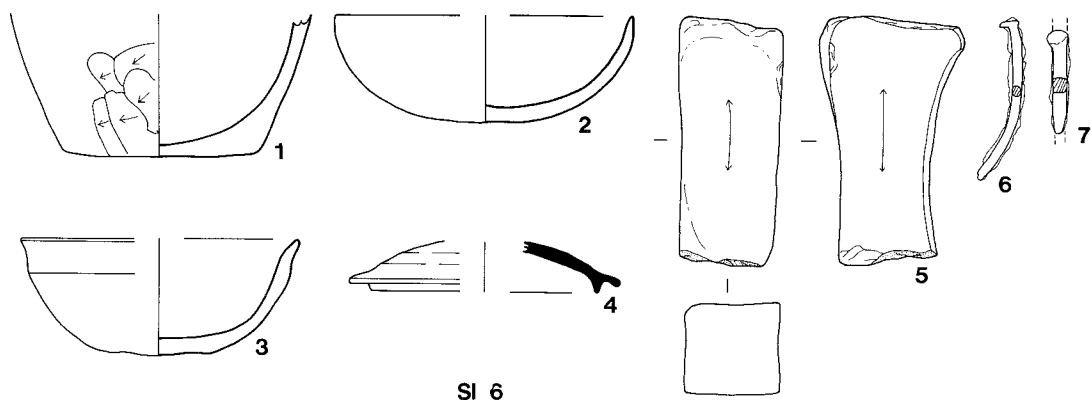


SI 148

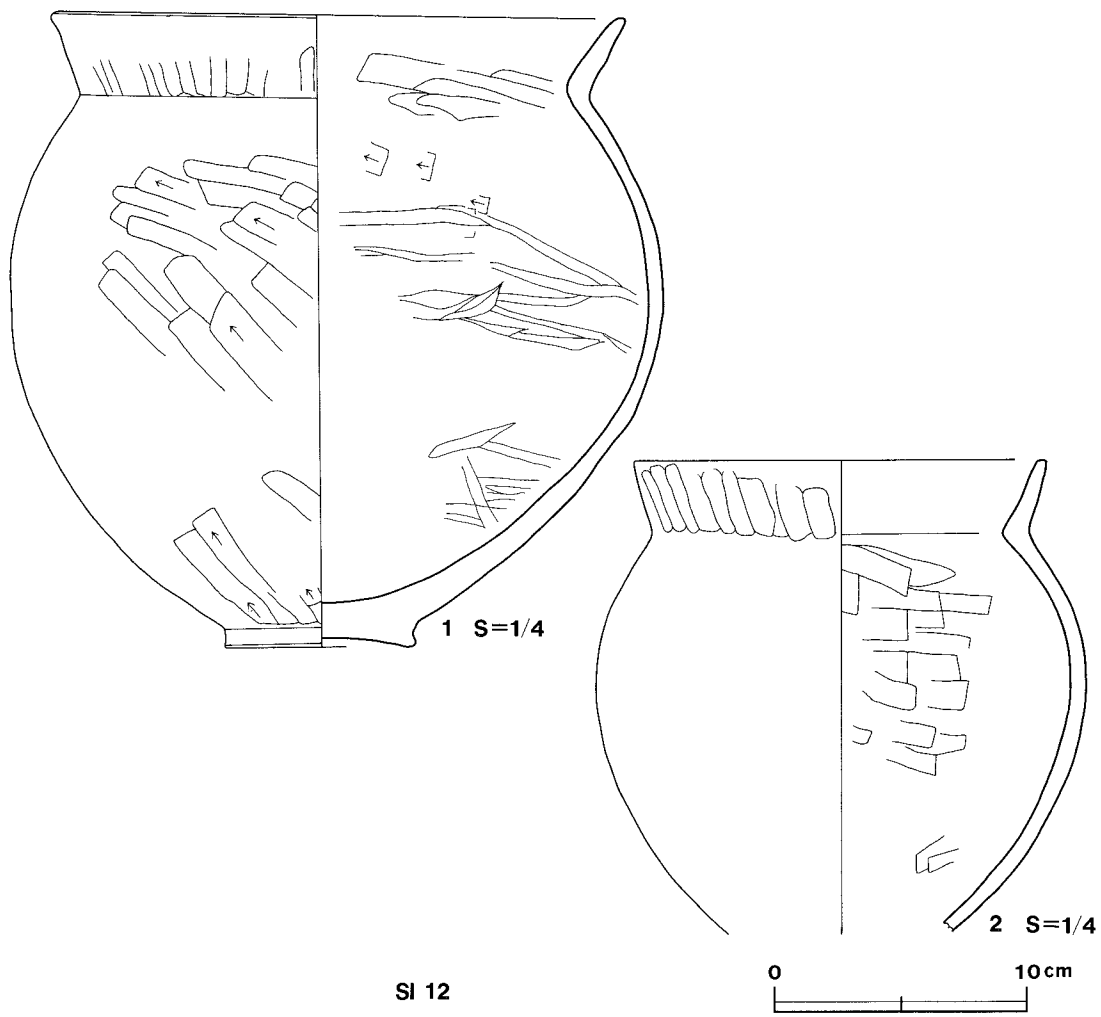
第285図 第143・148号住居跡出土遺物実測図

古墳時代

古墳時代

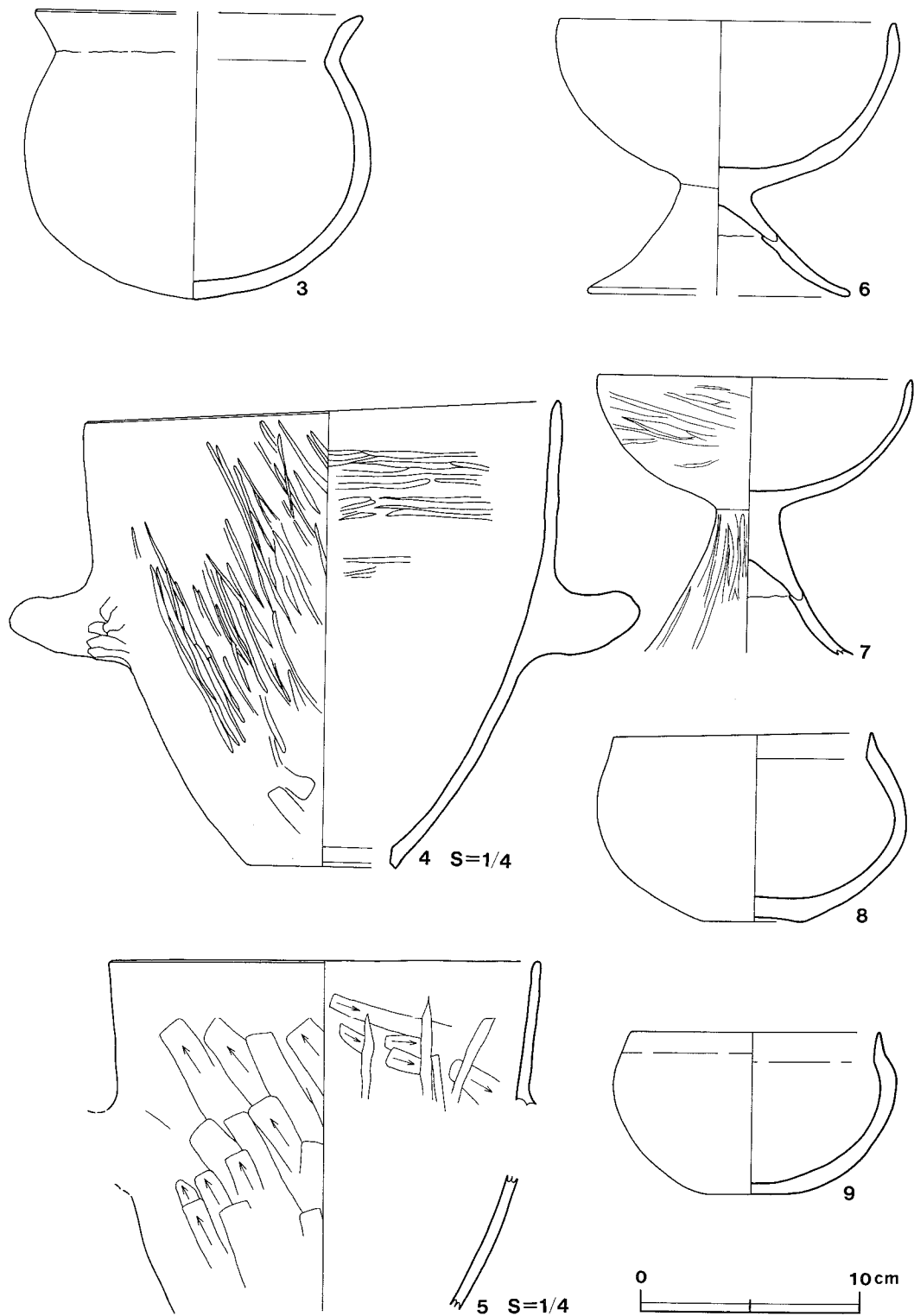


SI 6

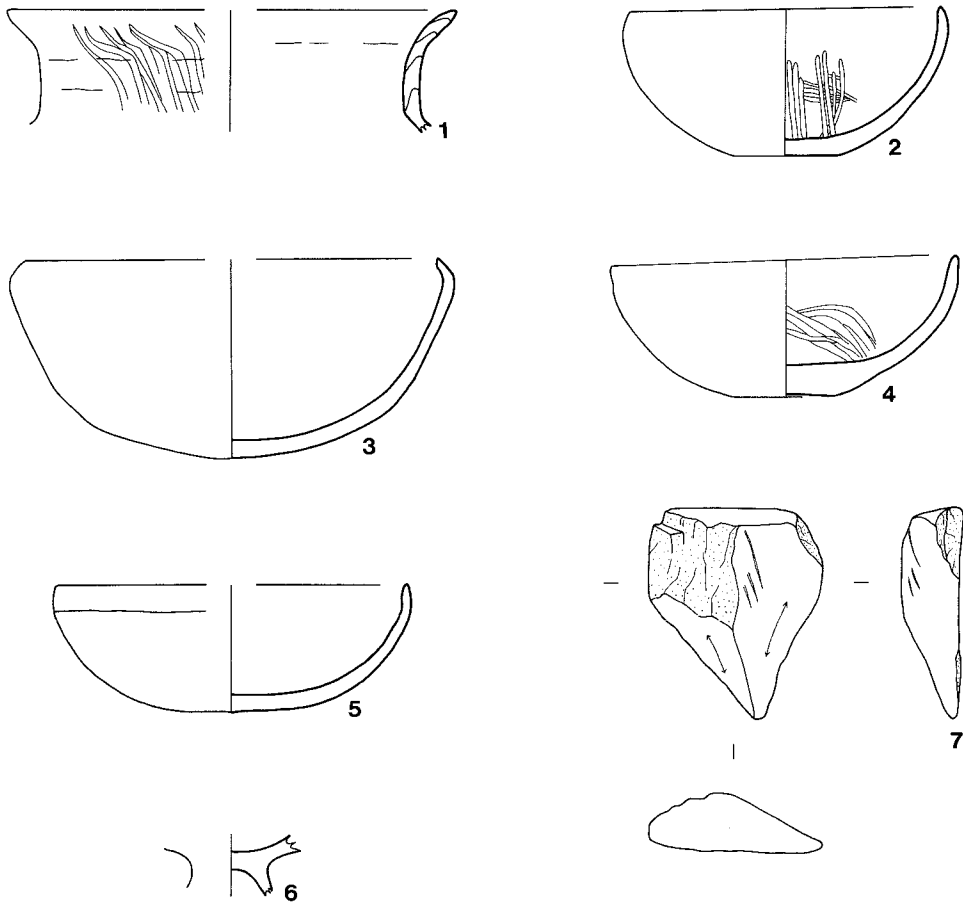
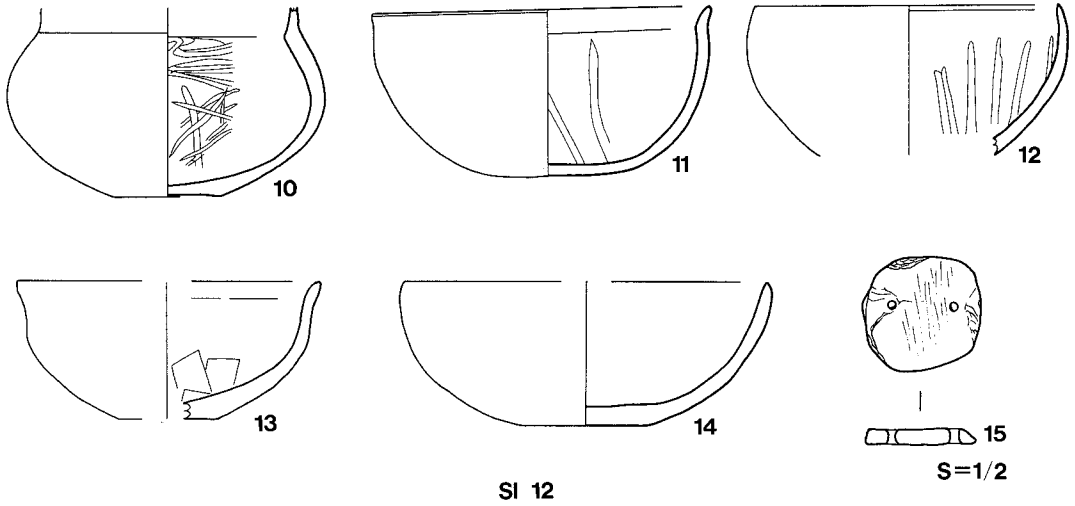


SI 12

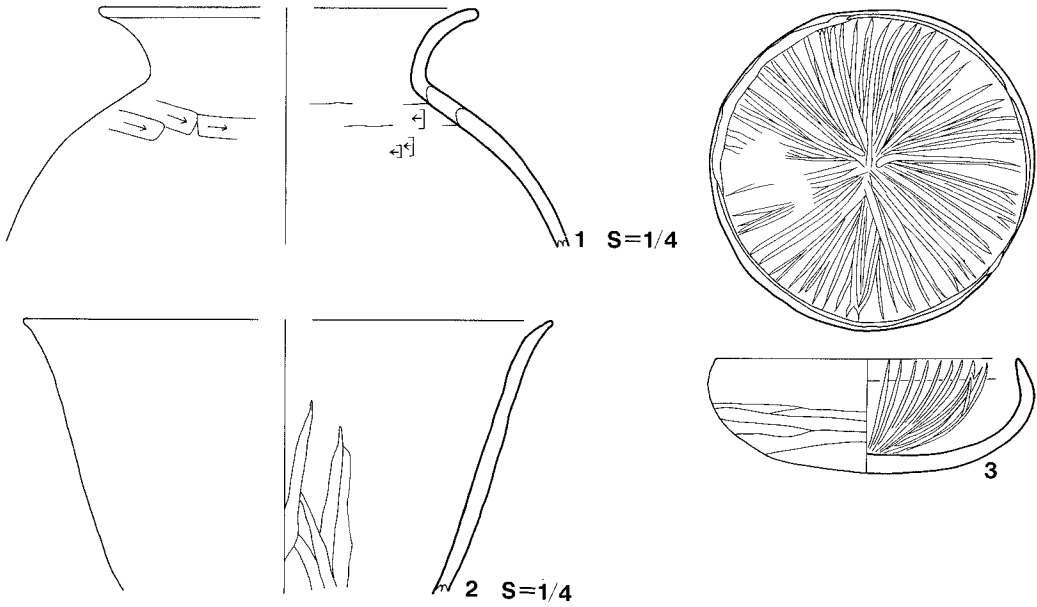
第286図 第6・12(1)号住居跡出土遺物実測図



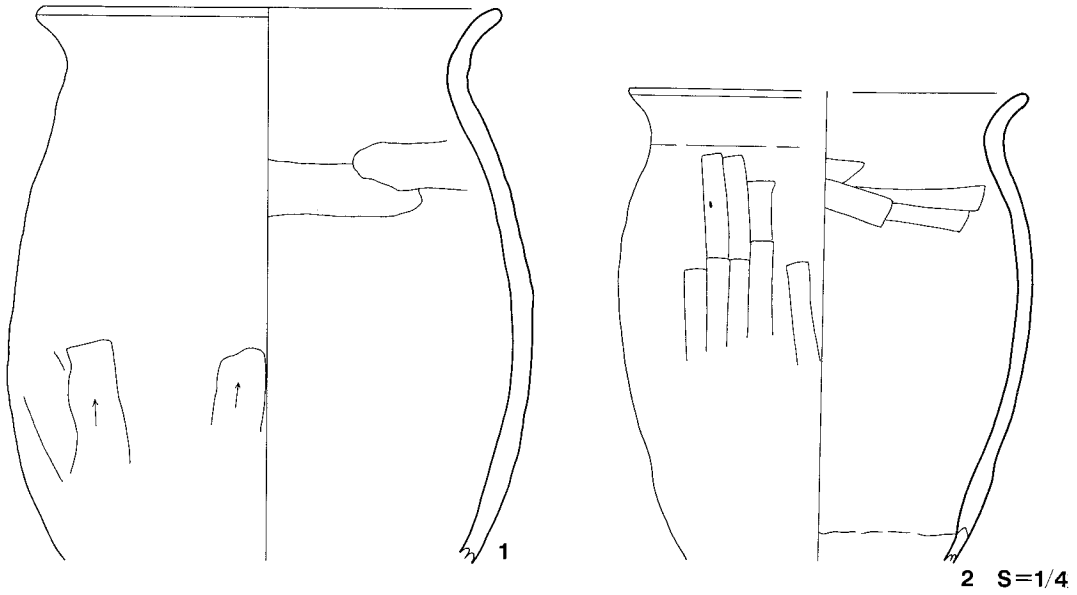
第287図 第12(2)号住居跡出土遺物実測図



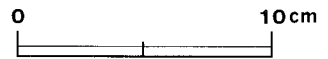
第288図 第12(3)・16号住居跡出土遺物実測図



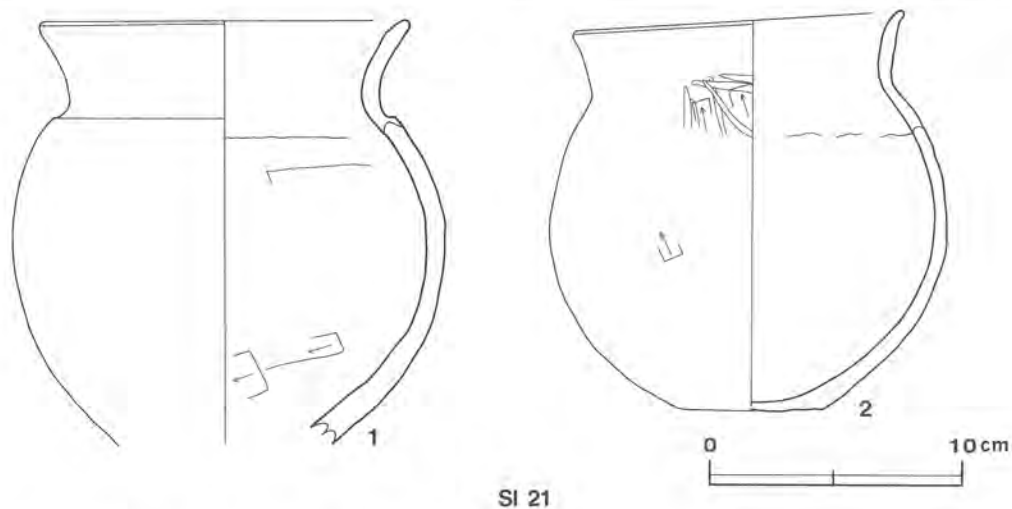
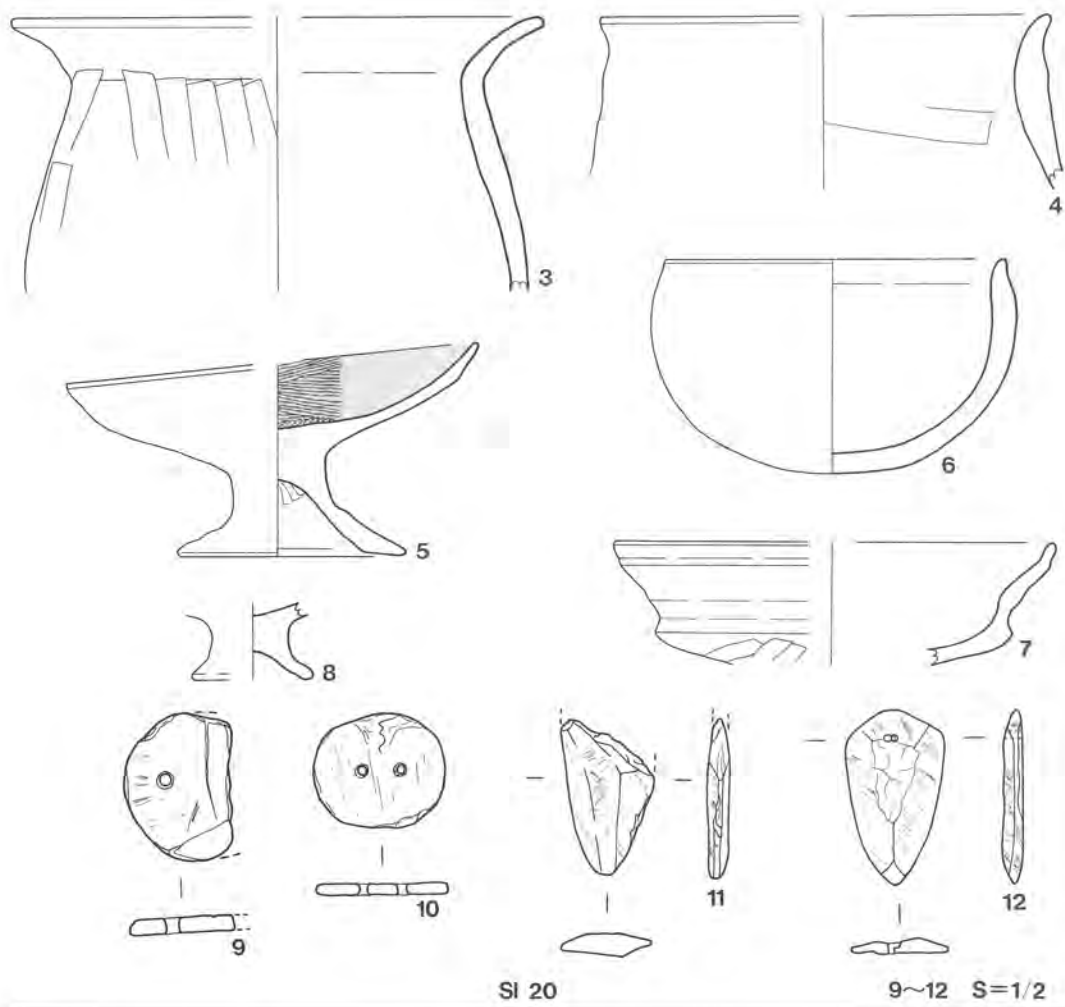
SI 17



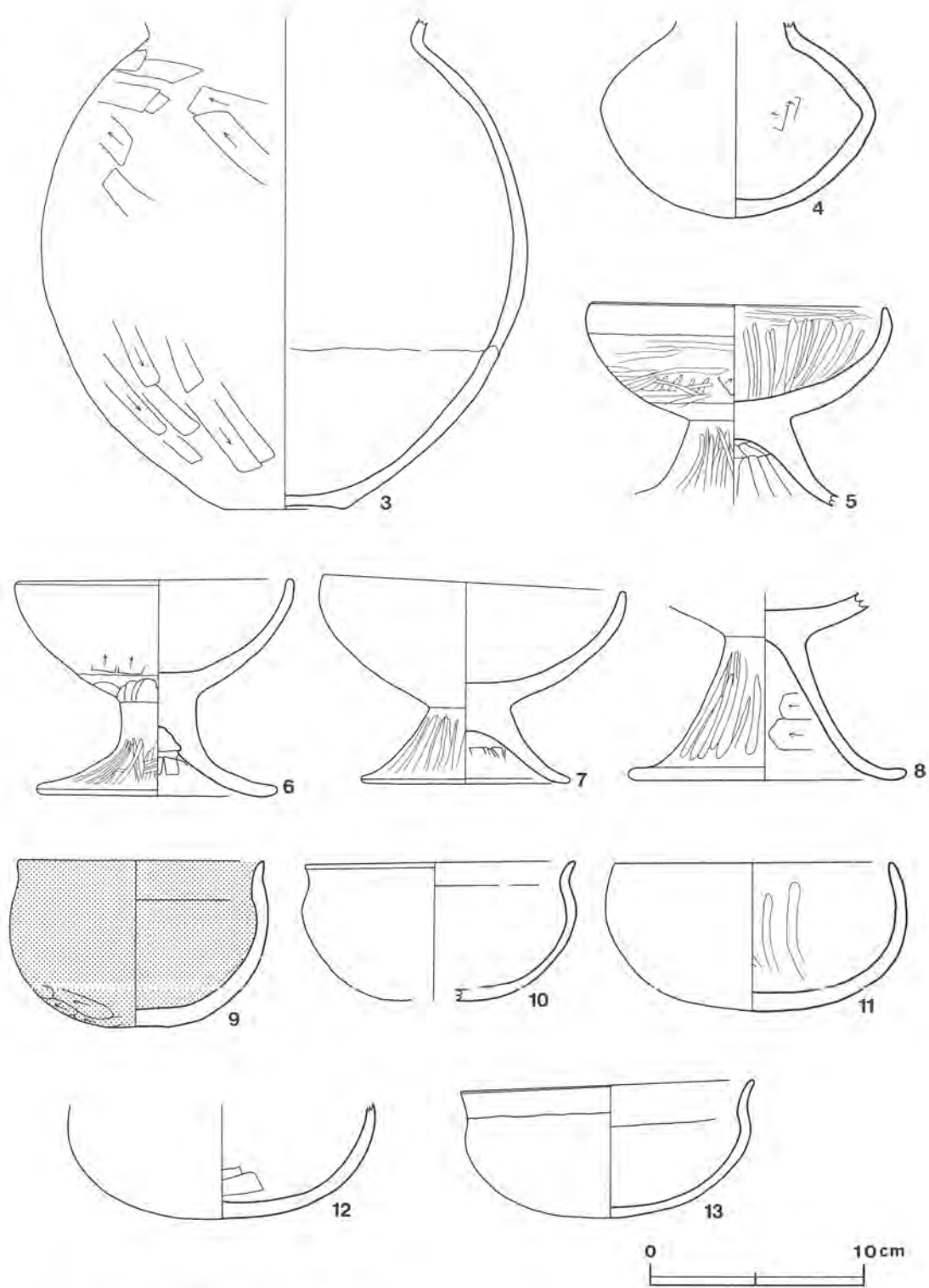
SI 20



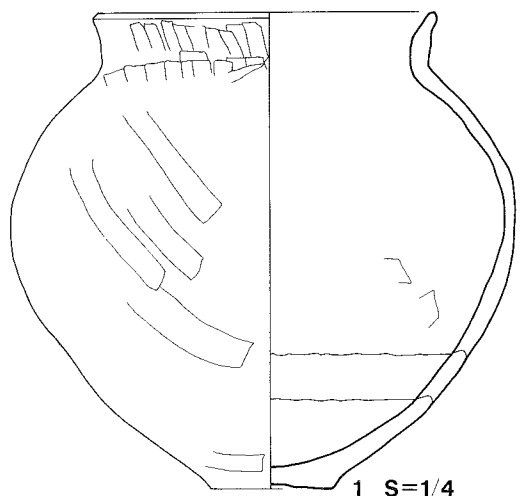
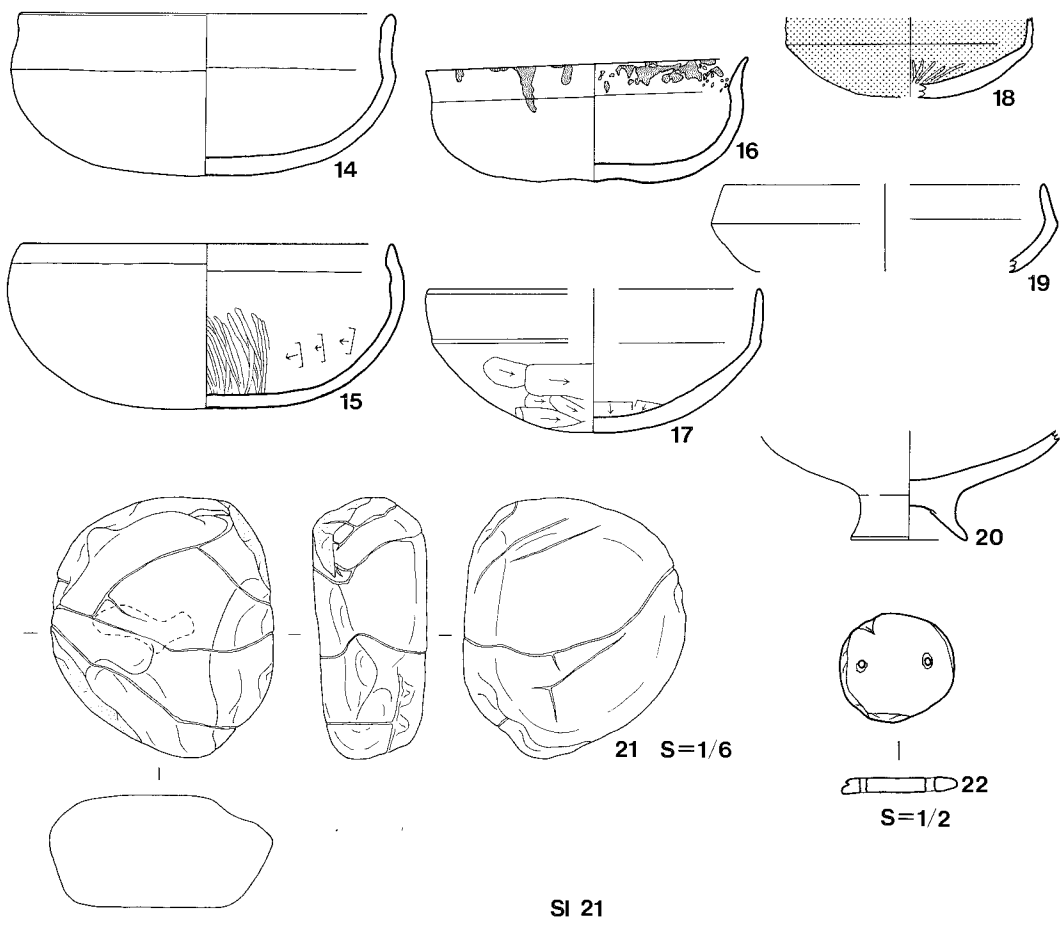
第289図 第17・20(1)号住居跡出土遺物実測図



第290図 第20(2)・21(1)号住居跡出土遺物実測図



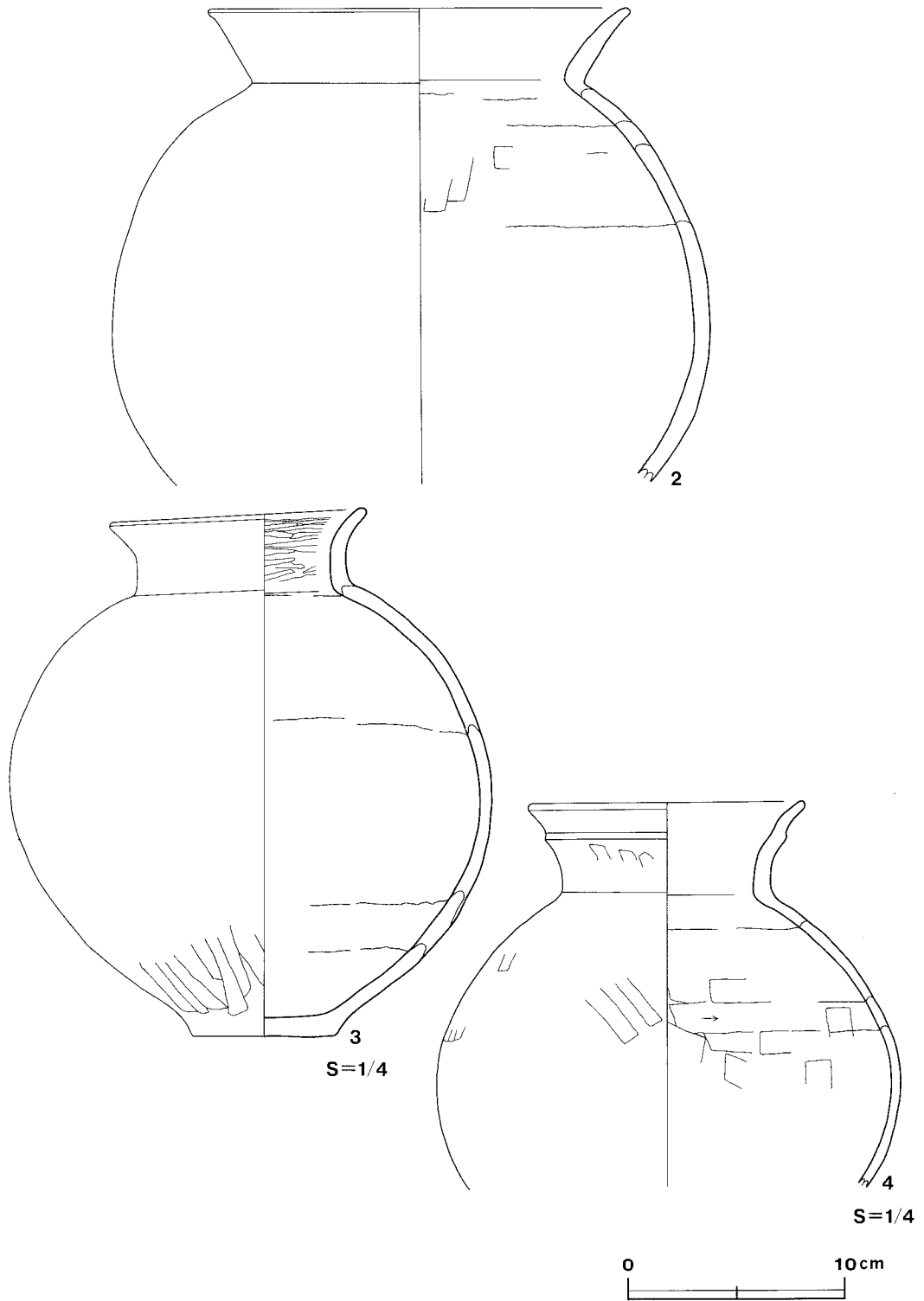
第291図 第21(2)号住居跡出土遺物実測図



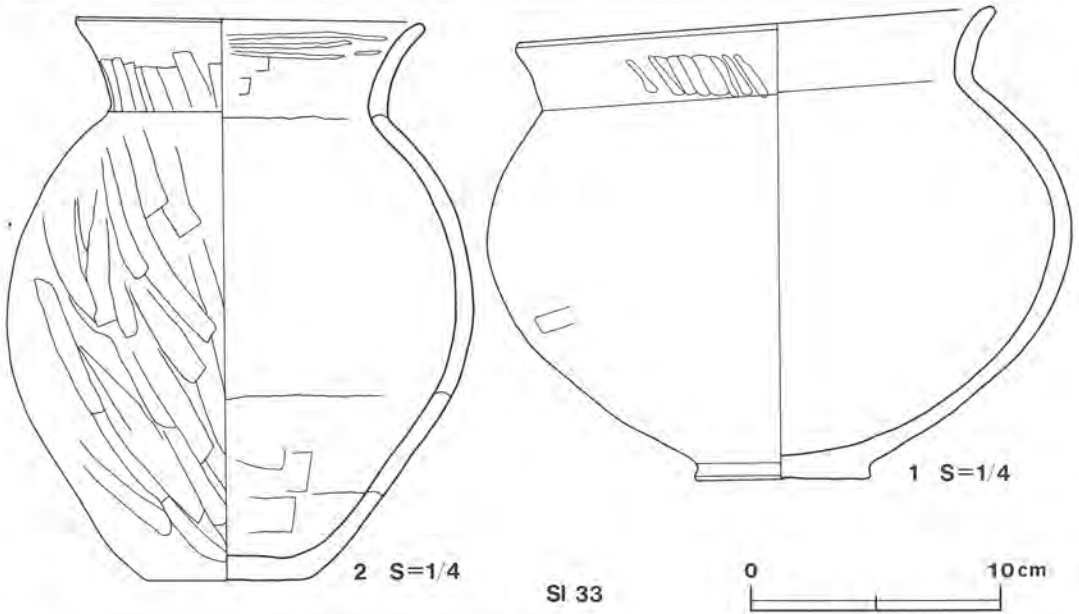
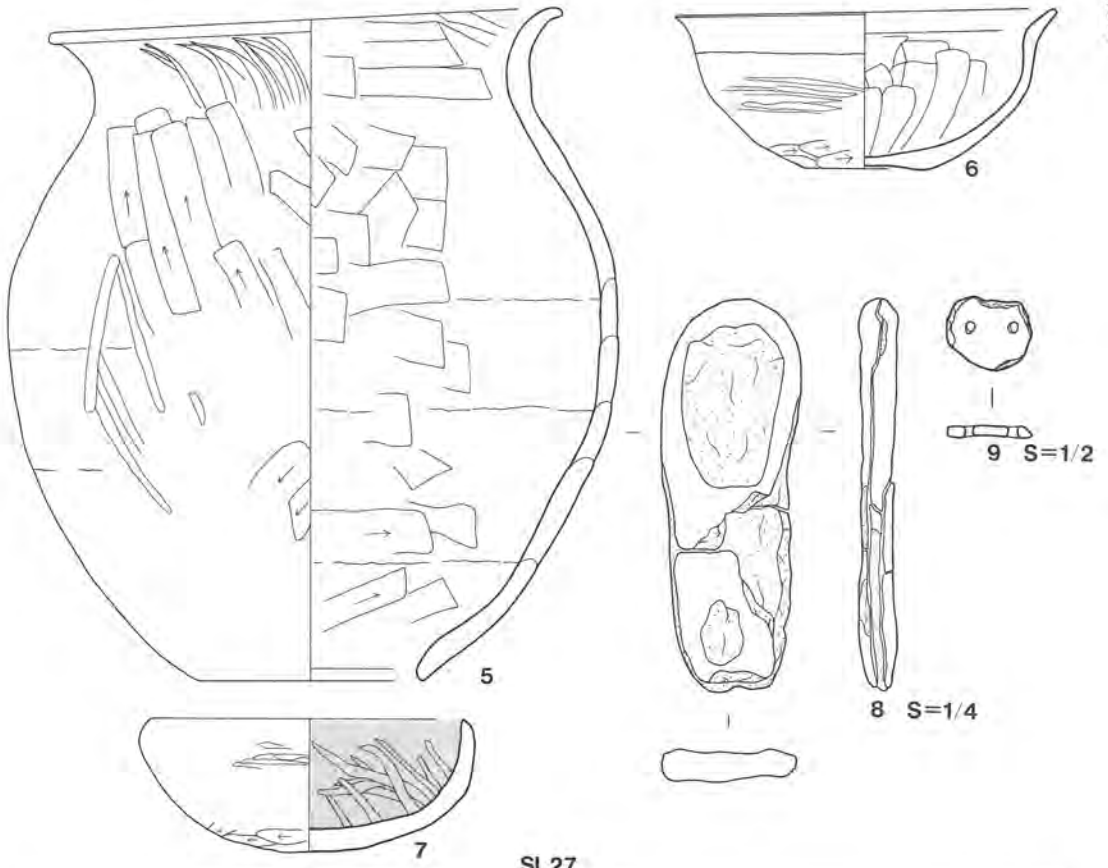
SI 27



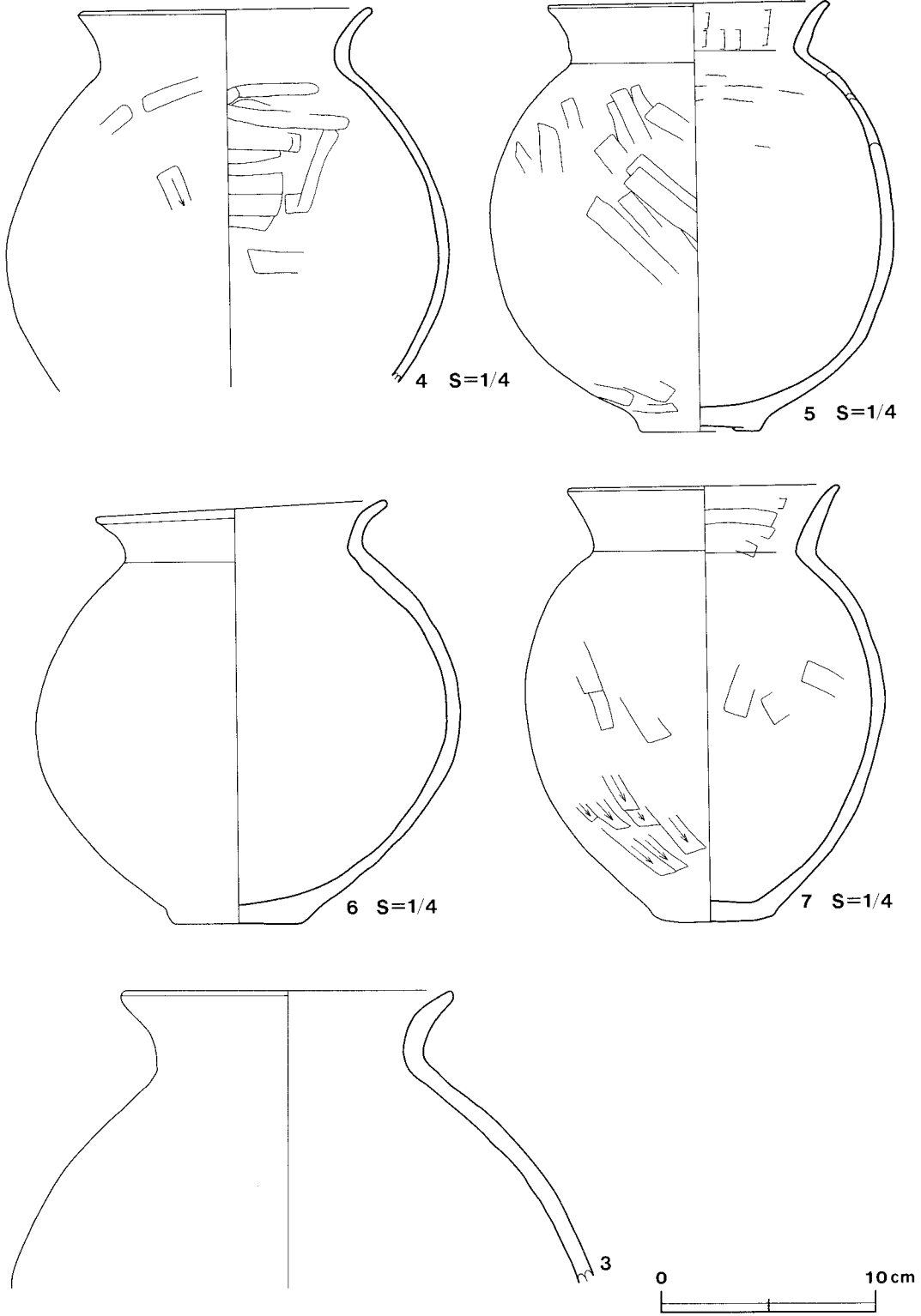
第292図 第21(3)・27(1)号住居跡出土遺物実測図



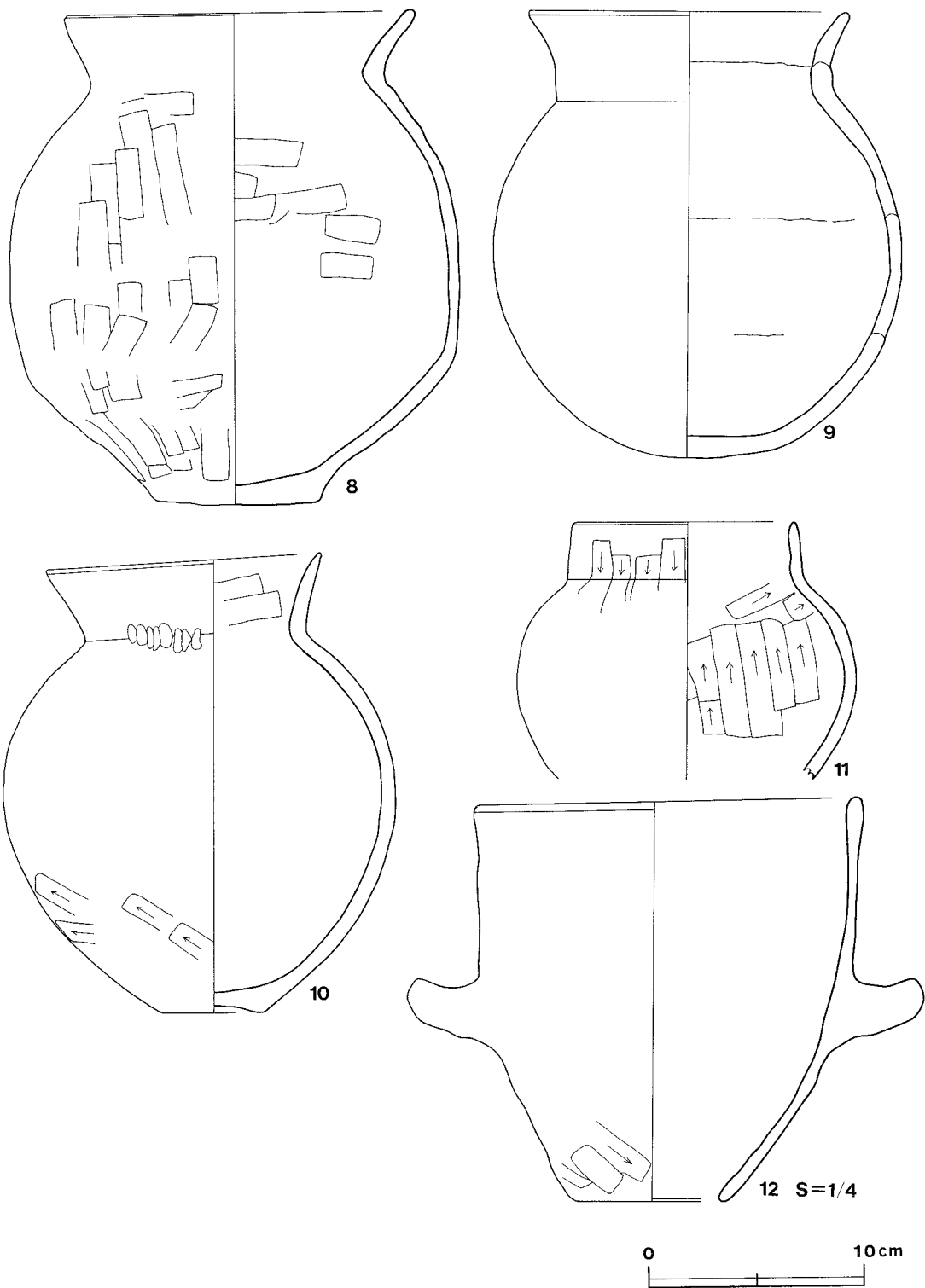
第293図 第27(2)号住居跡出土遺物実測図



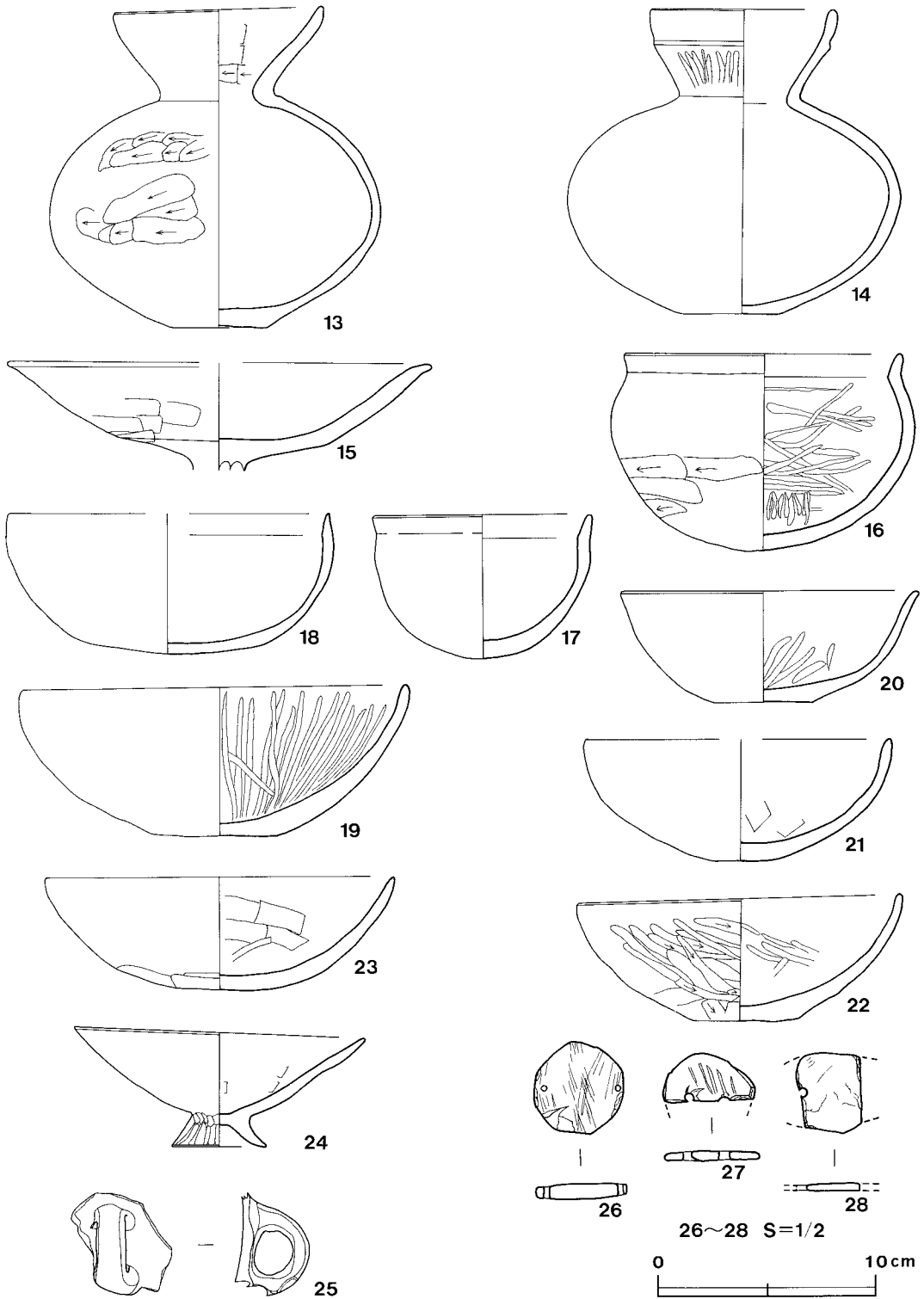
第294図 第27(3)・33(1)号住居跡出土遺物実測図



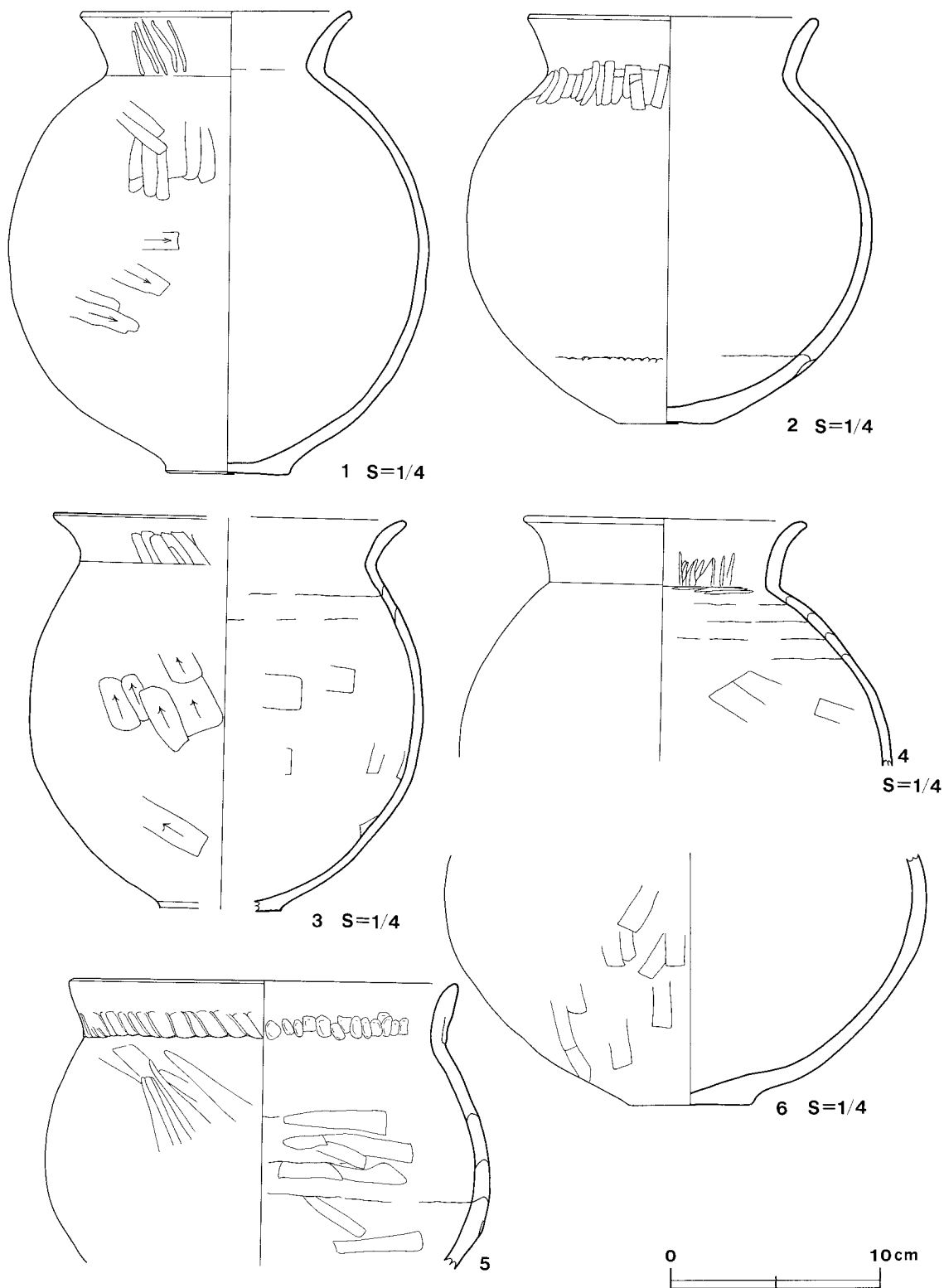
第295図 第33(2)号住居跡出土遺物実測図



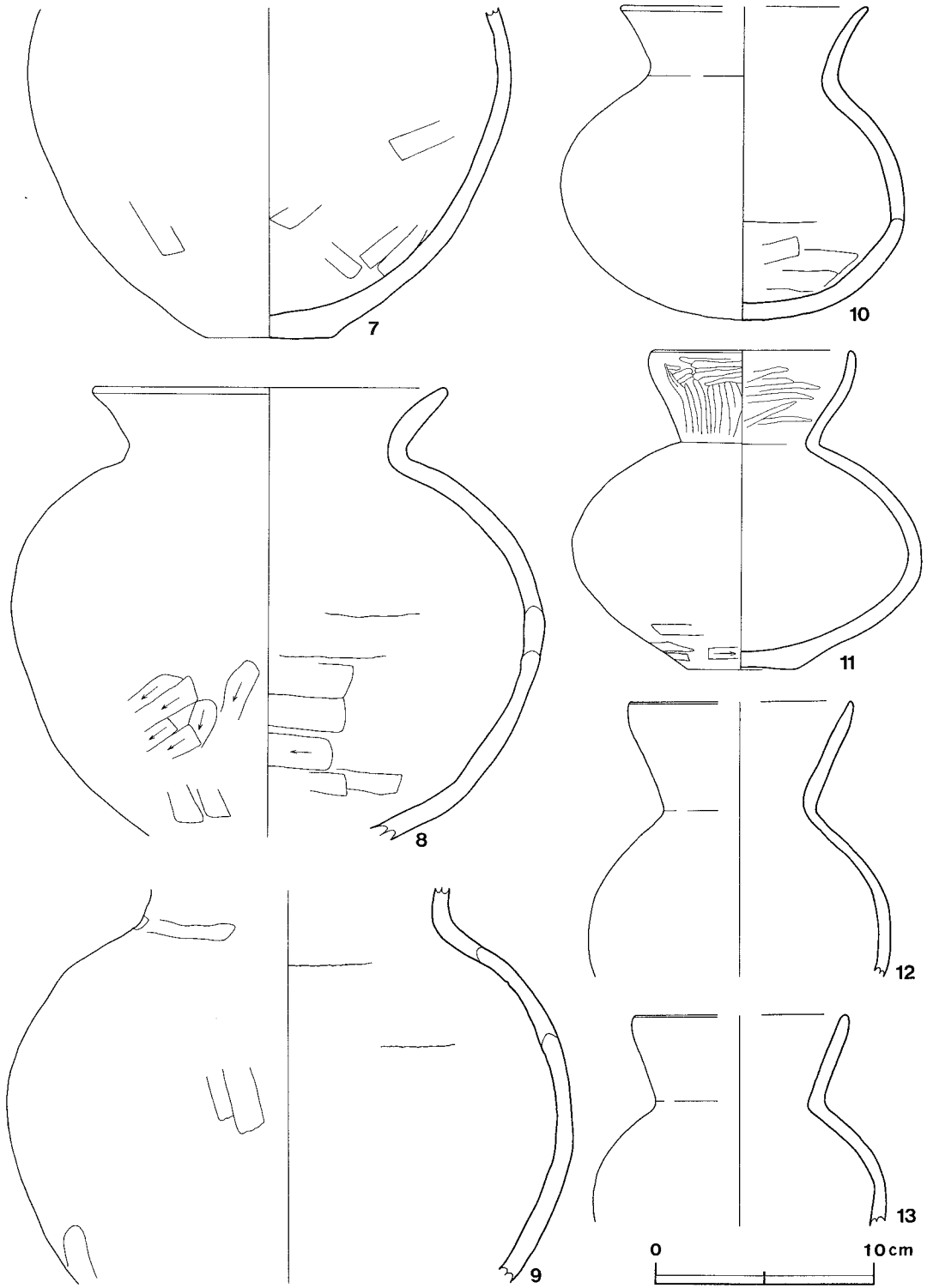
第296図 第33(3)号住居跡出土遺物実測図



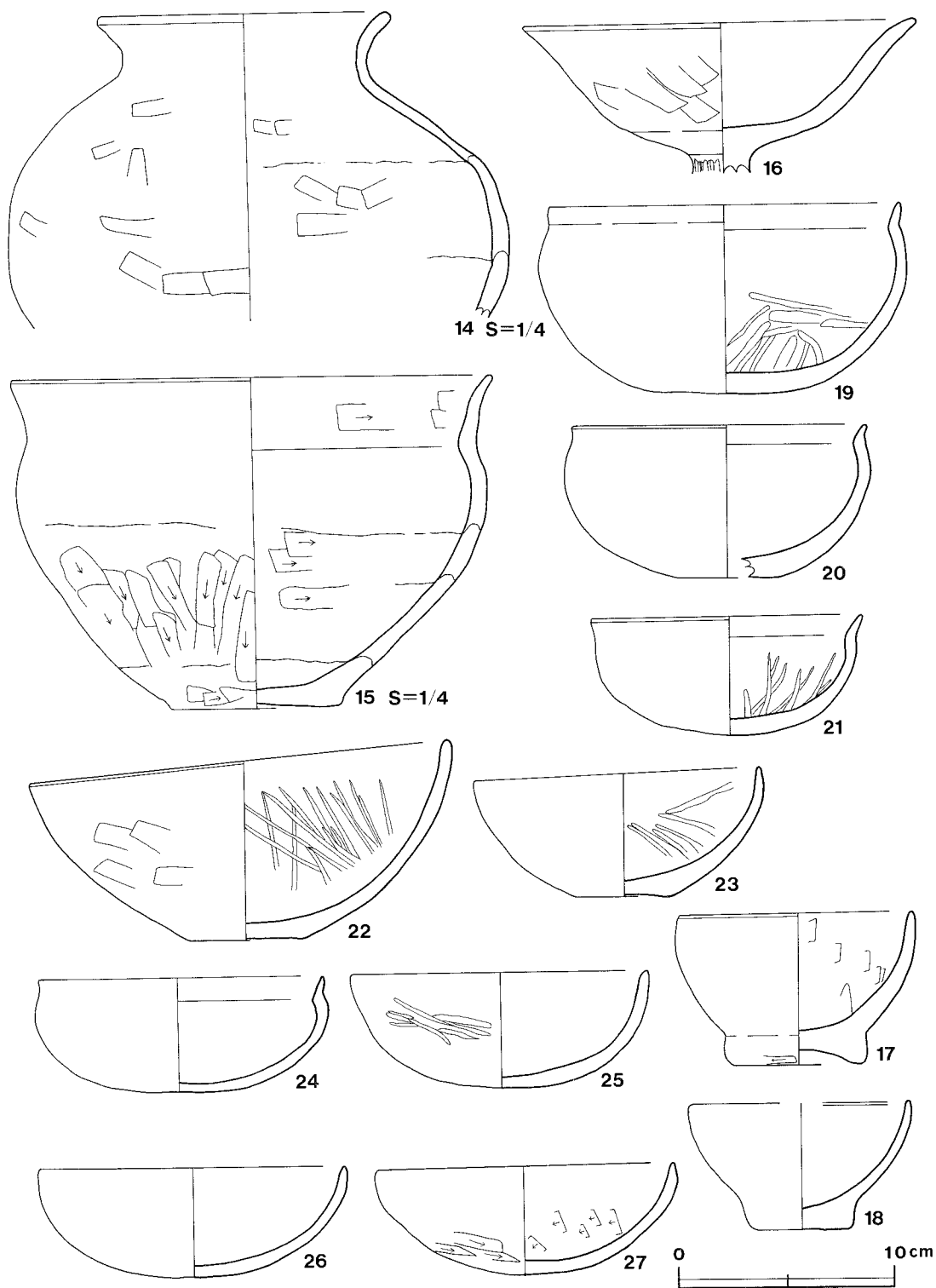
第297図 第33(4)号住居跡出土遺物実測図



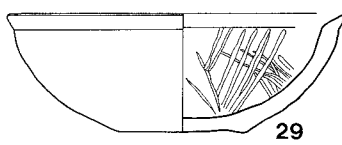
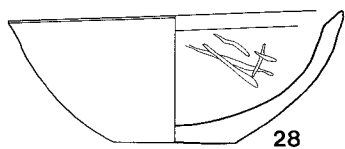
第298図 第37(1)号住居跡出土遺物実測図



第299図 第37(2)号住居跡出土遺物実測図

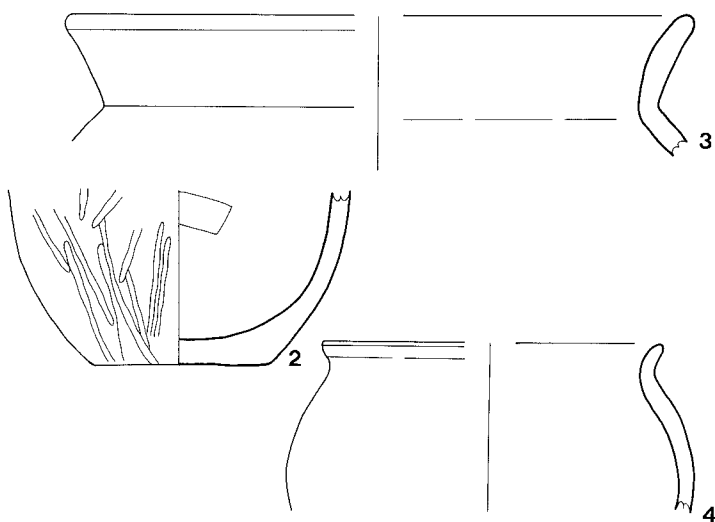
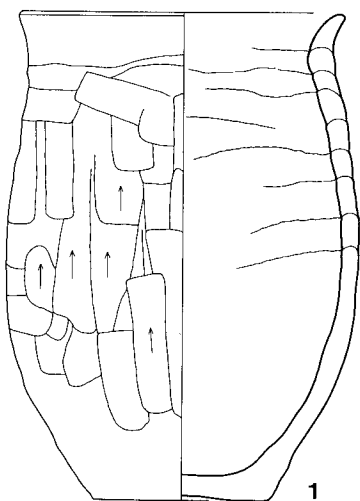


第300図 第37(3)号住居跡出土遺物実測図

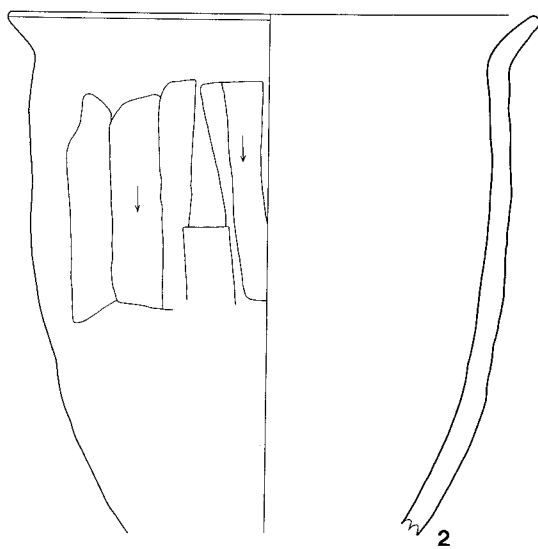
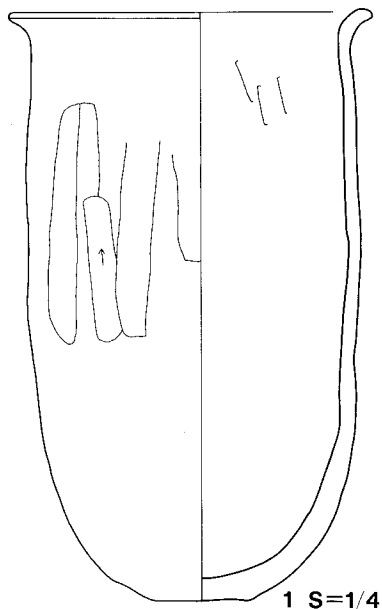


S=1/2

SI 37



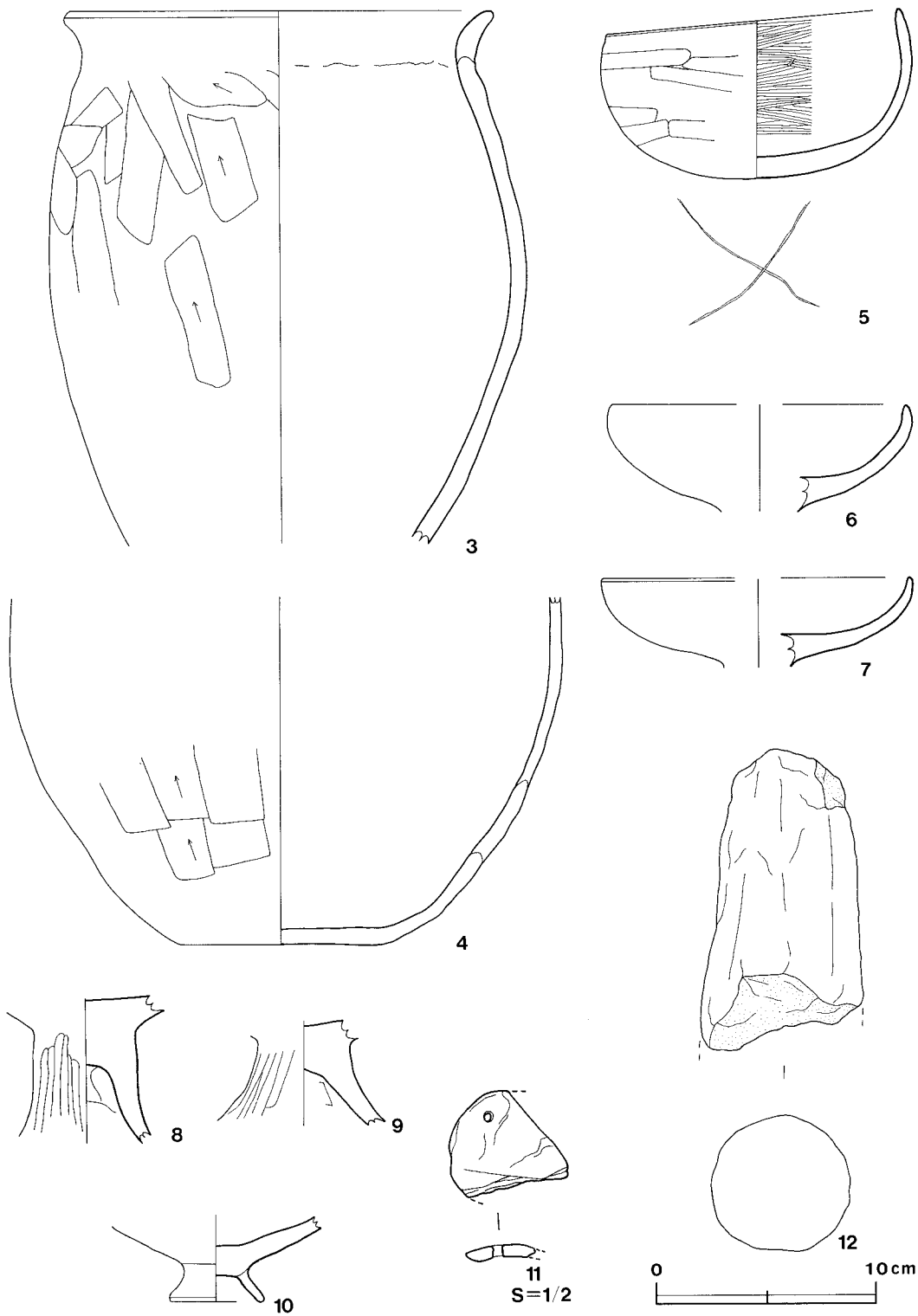
SI 38



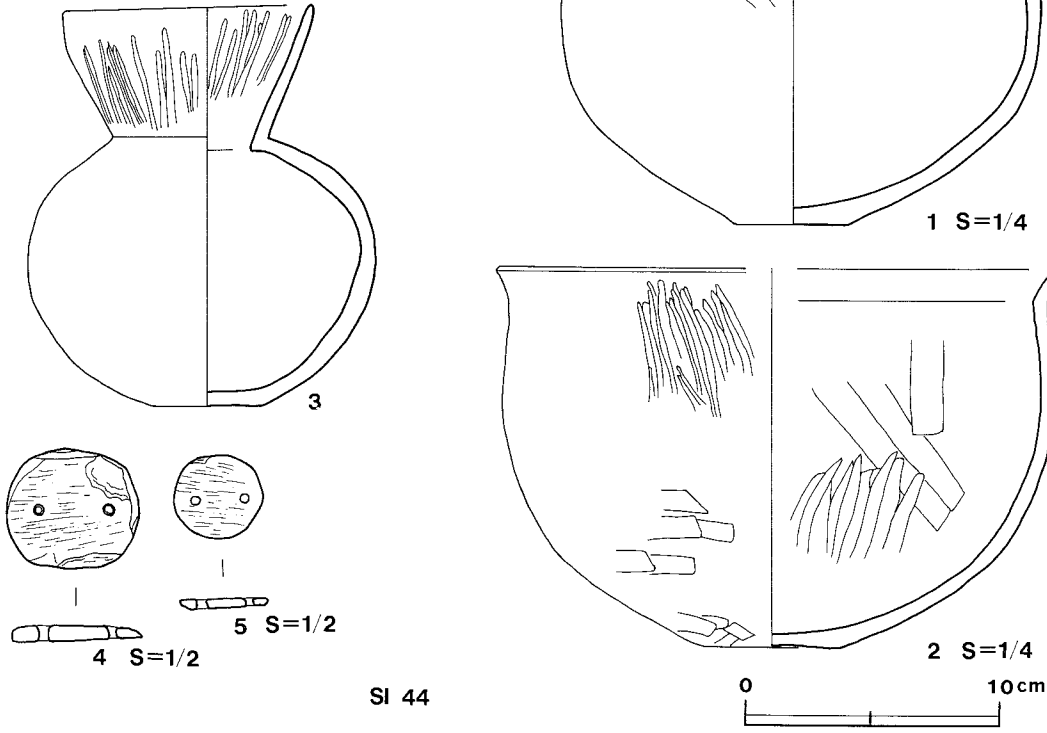
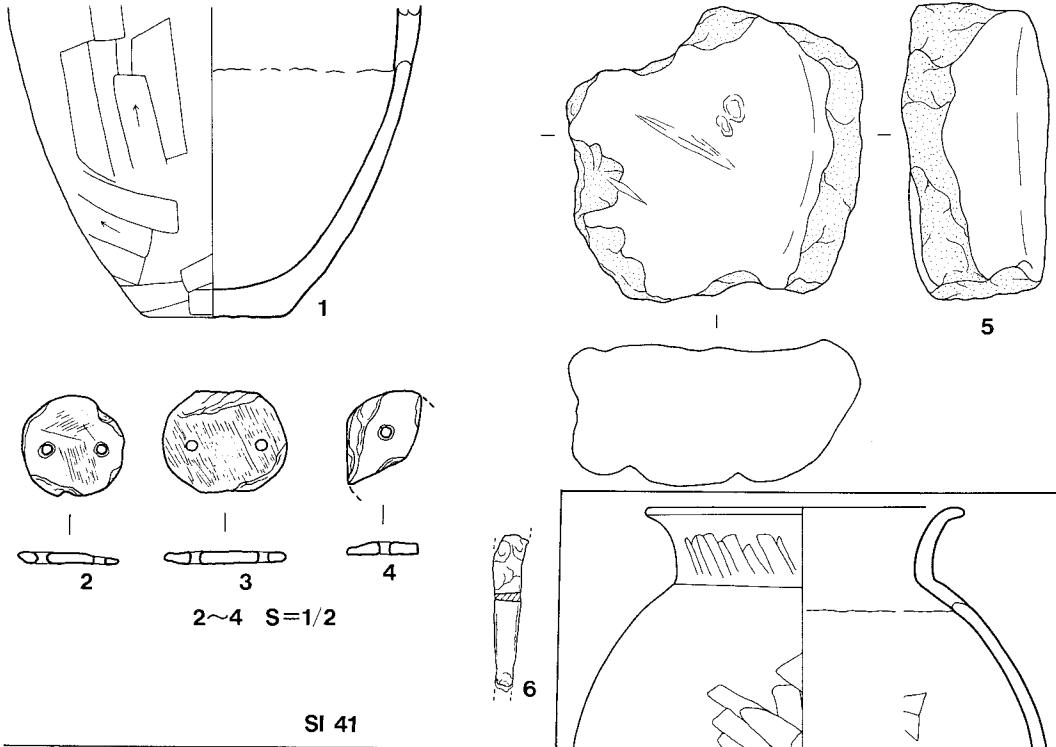
SI 39



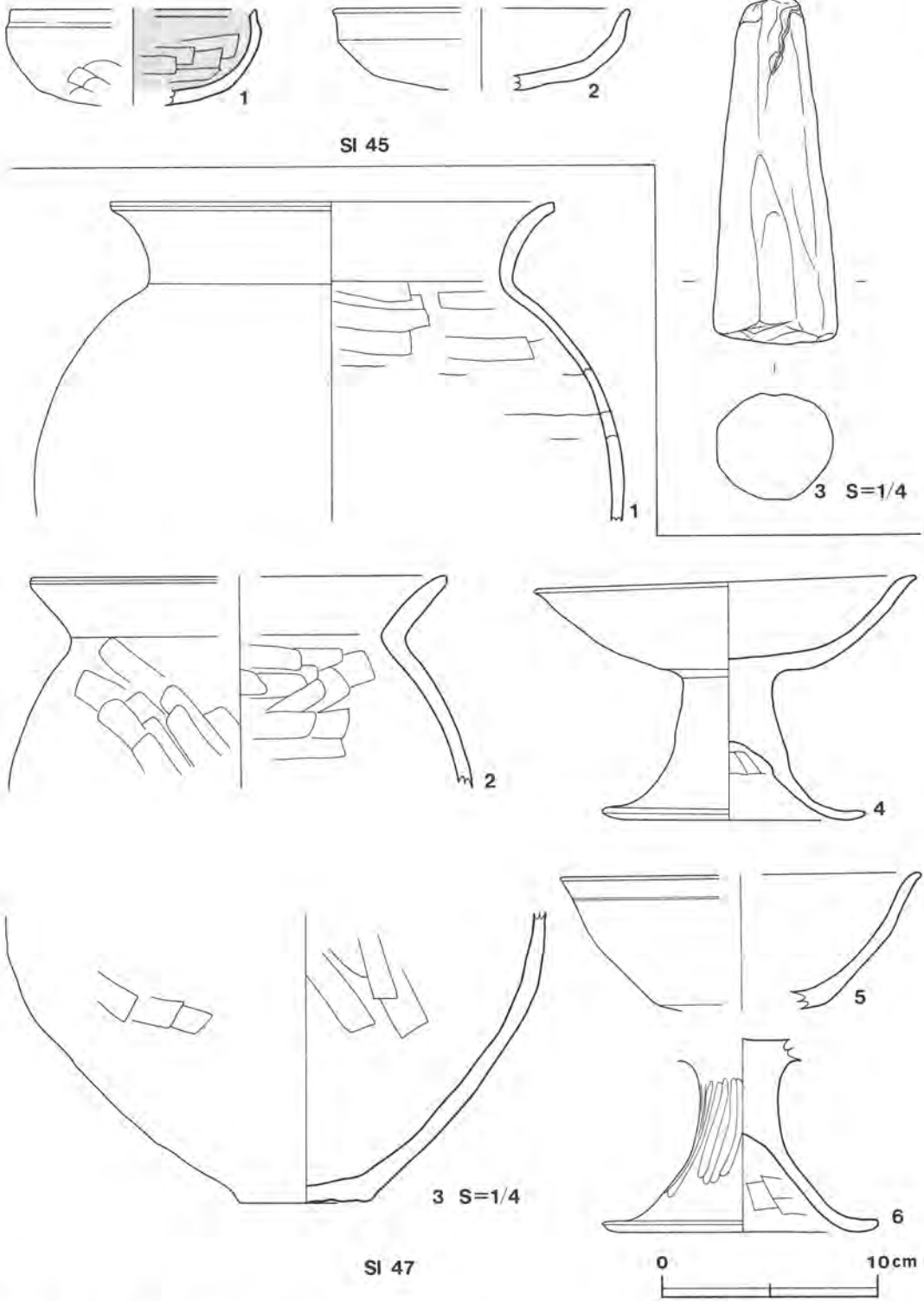
第301図 第37(4)・38・39(1)号住居跡出土遺物実測図



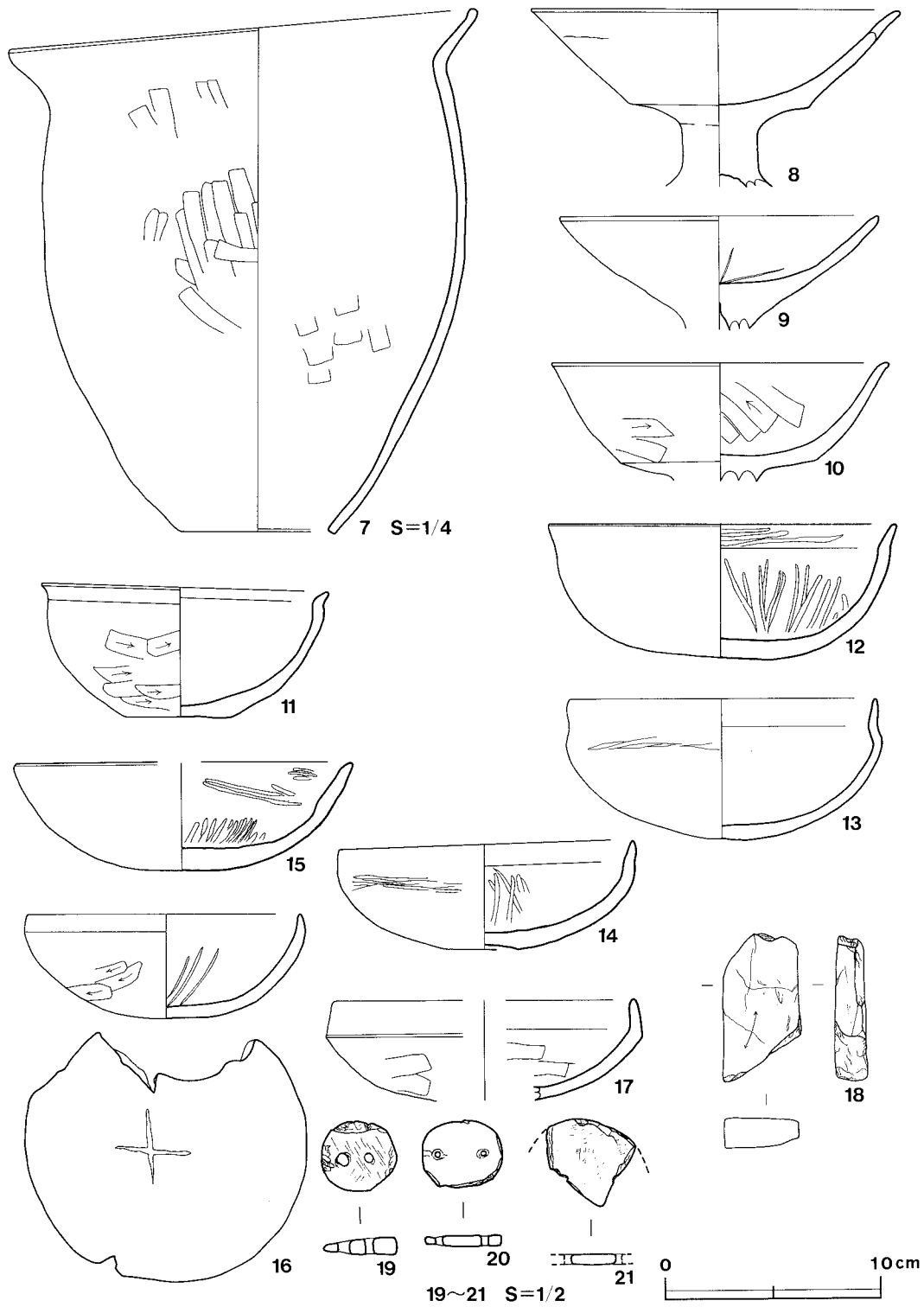
第302図 第39(2)号住居跡出土遺物実測図



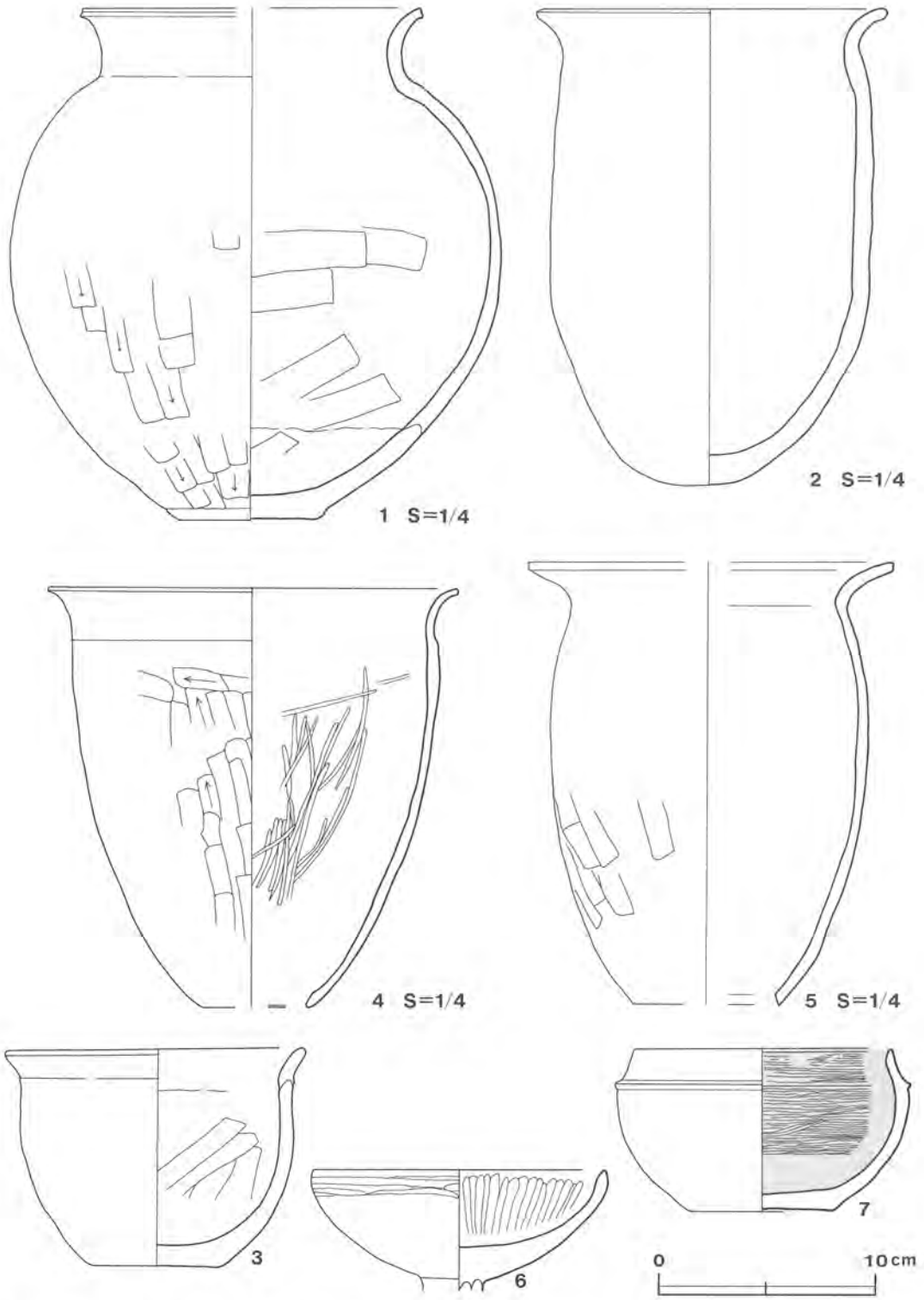
第303図 第41・44号住居跡出土遺物実測図



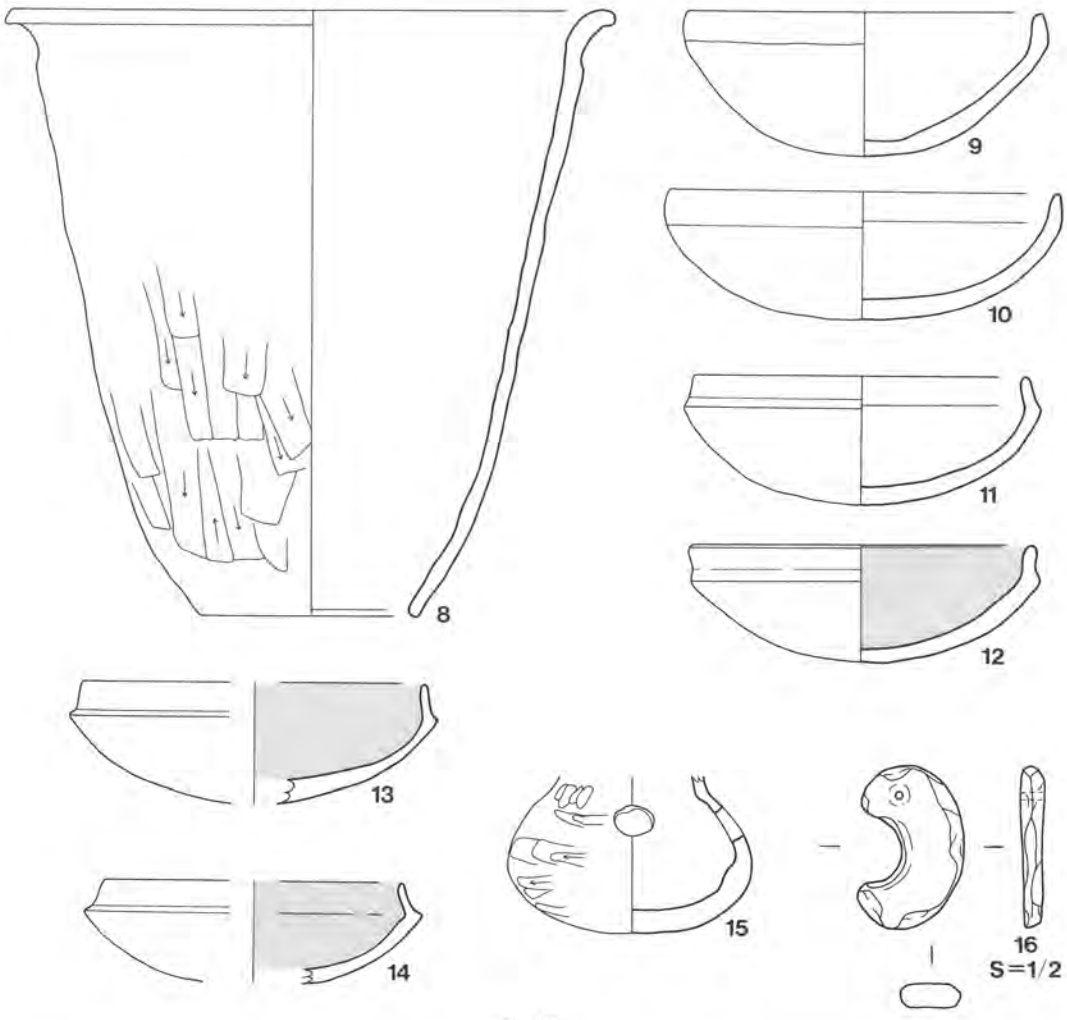
第304図 第45・47(1)号住居跡出土遺物実測図



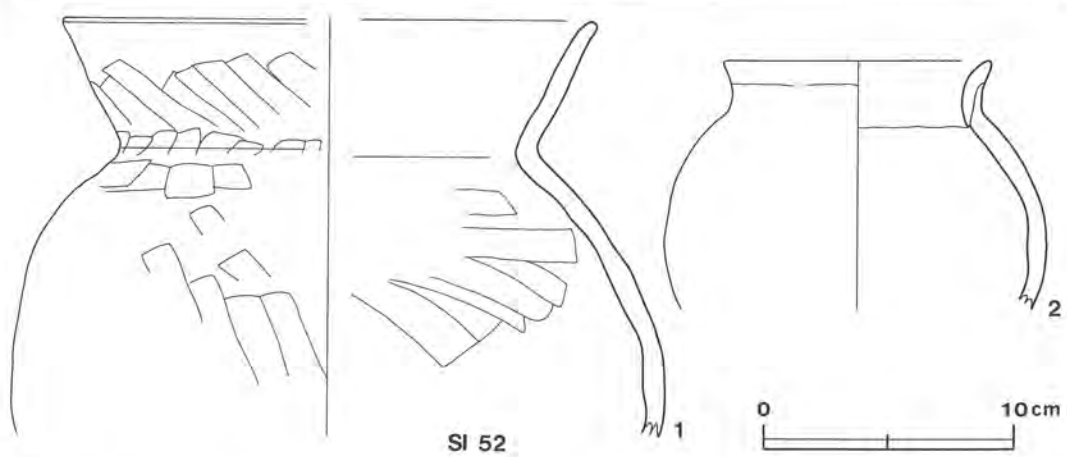
第305図 第47(2)号住居跡出土遺物実測図



第306図 第49(1)号住居跡出土遺物実測図

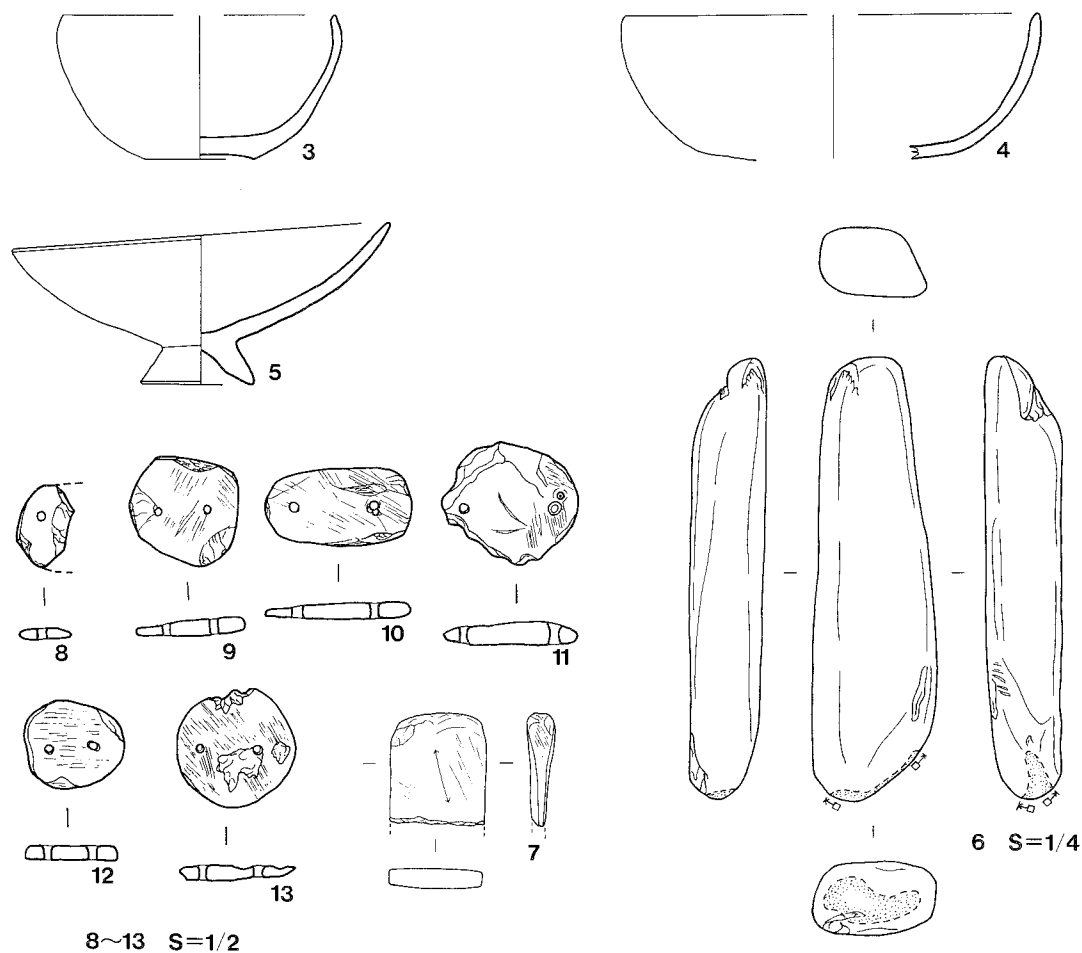


SI 49

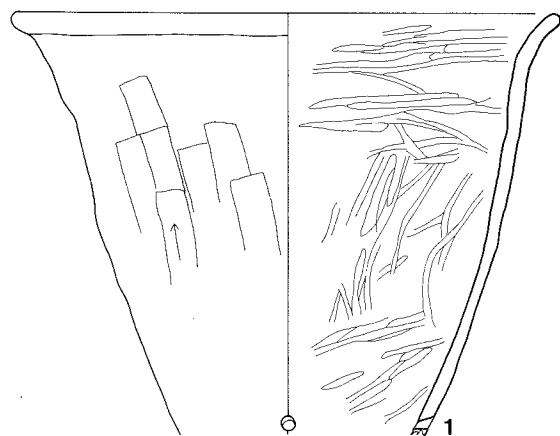


SI 52

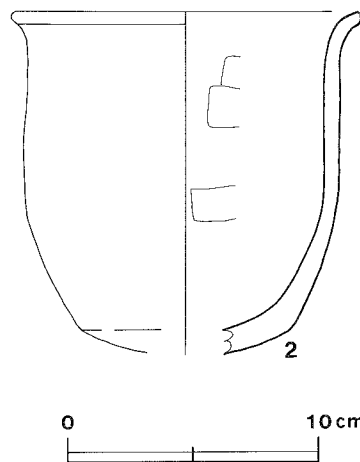
第307図 第49(2)・52(1)号住居跡出土遺物実測図



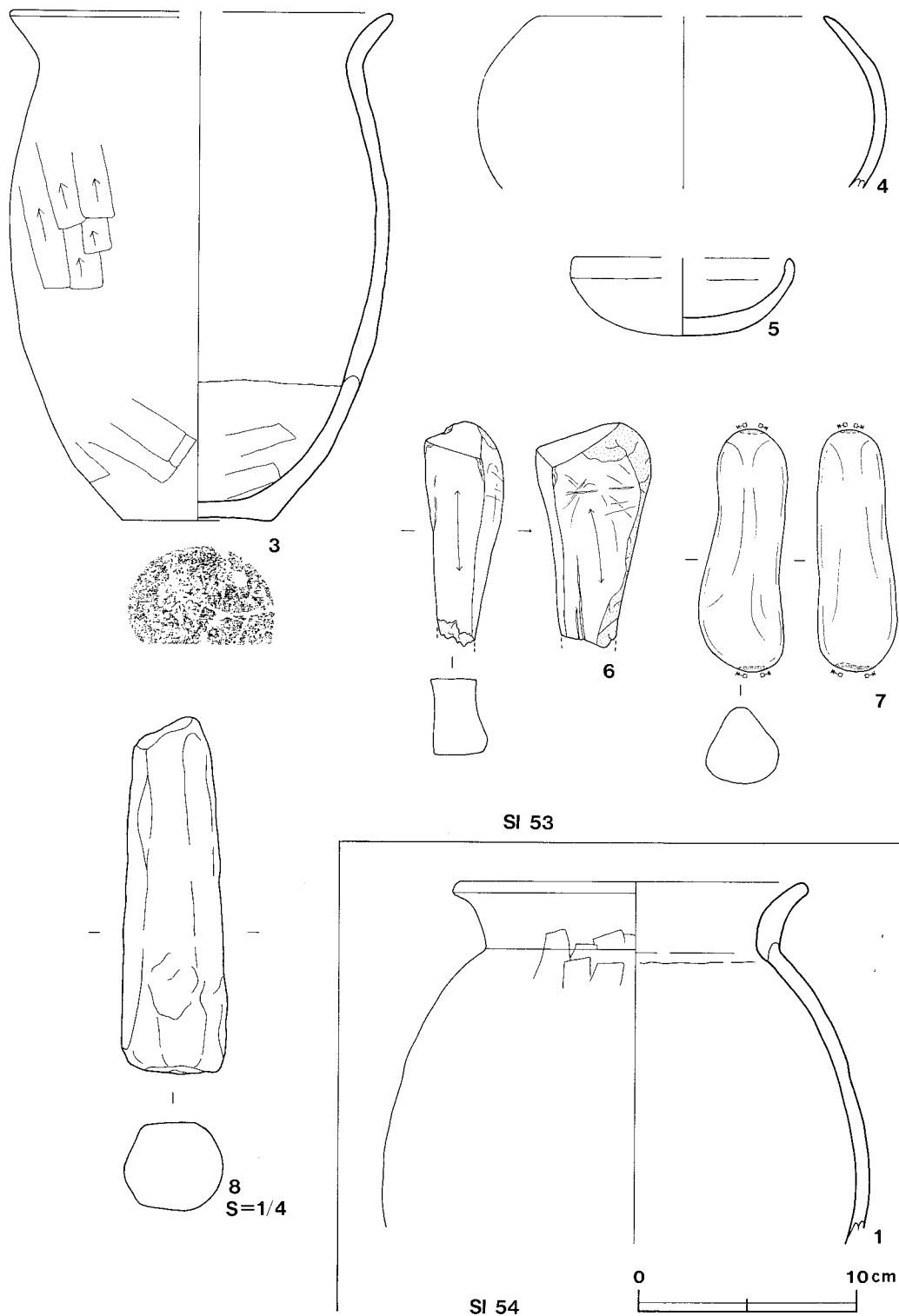
SI 52



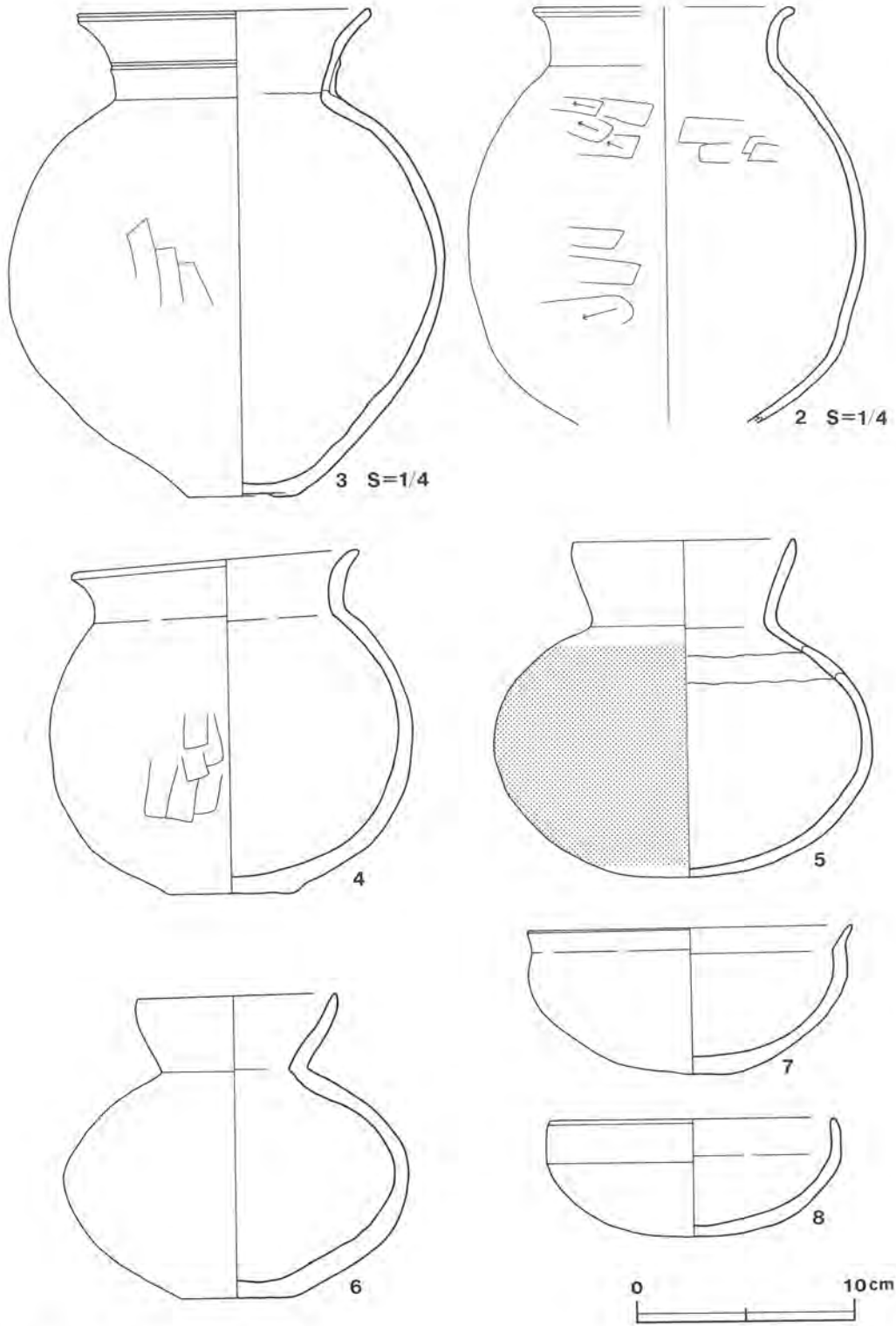
SI 53



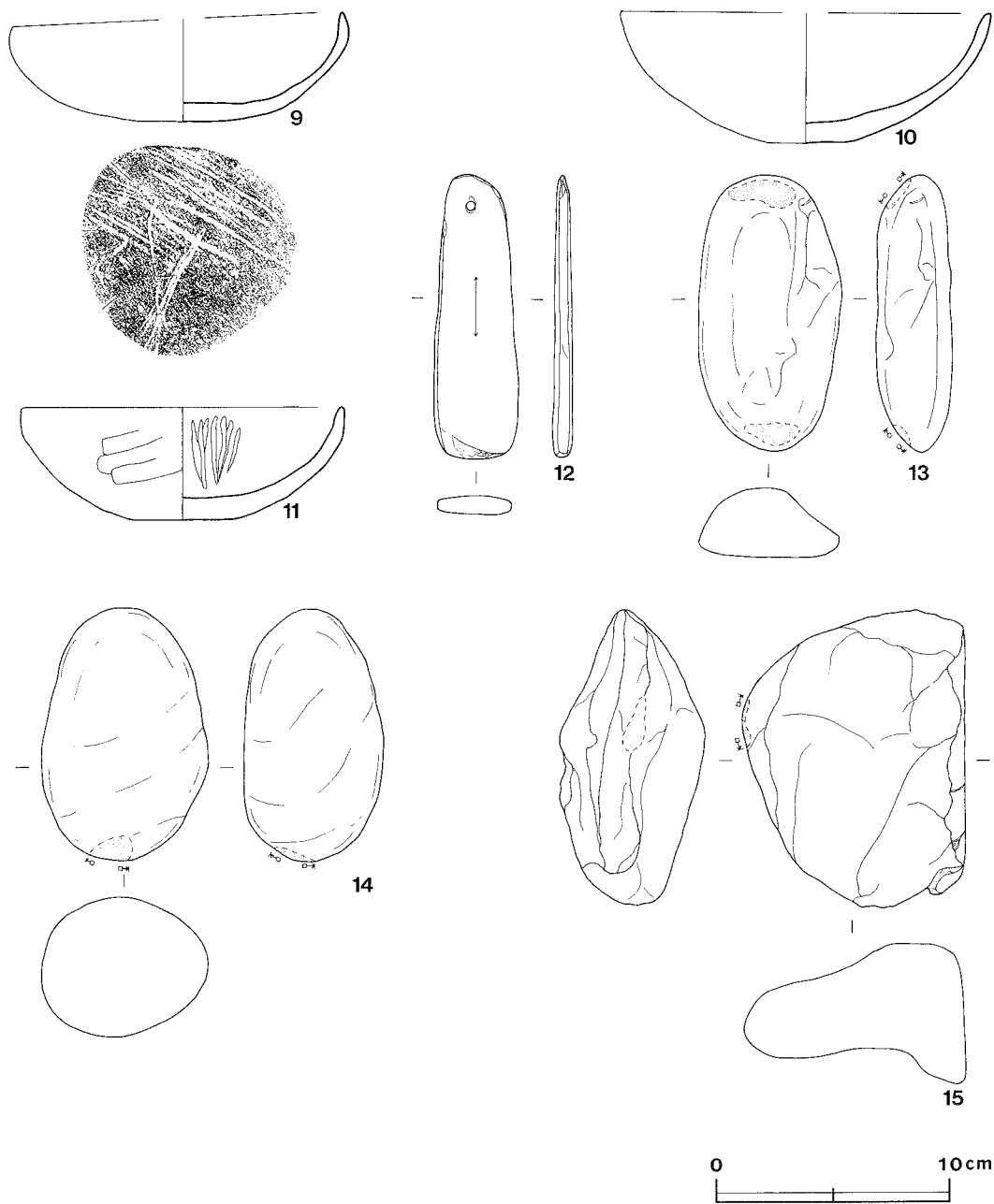
第308図 第52(2)・53(1)号住居跡出土遺物実測図



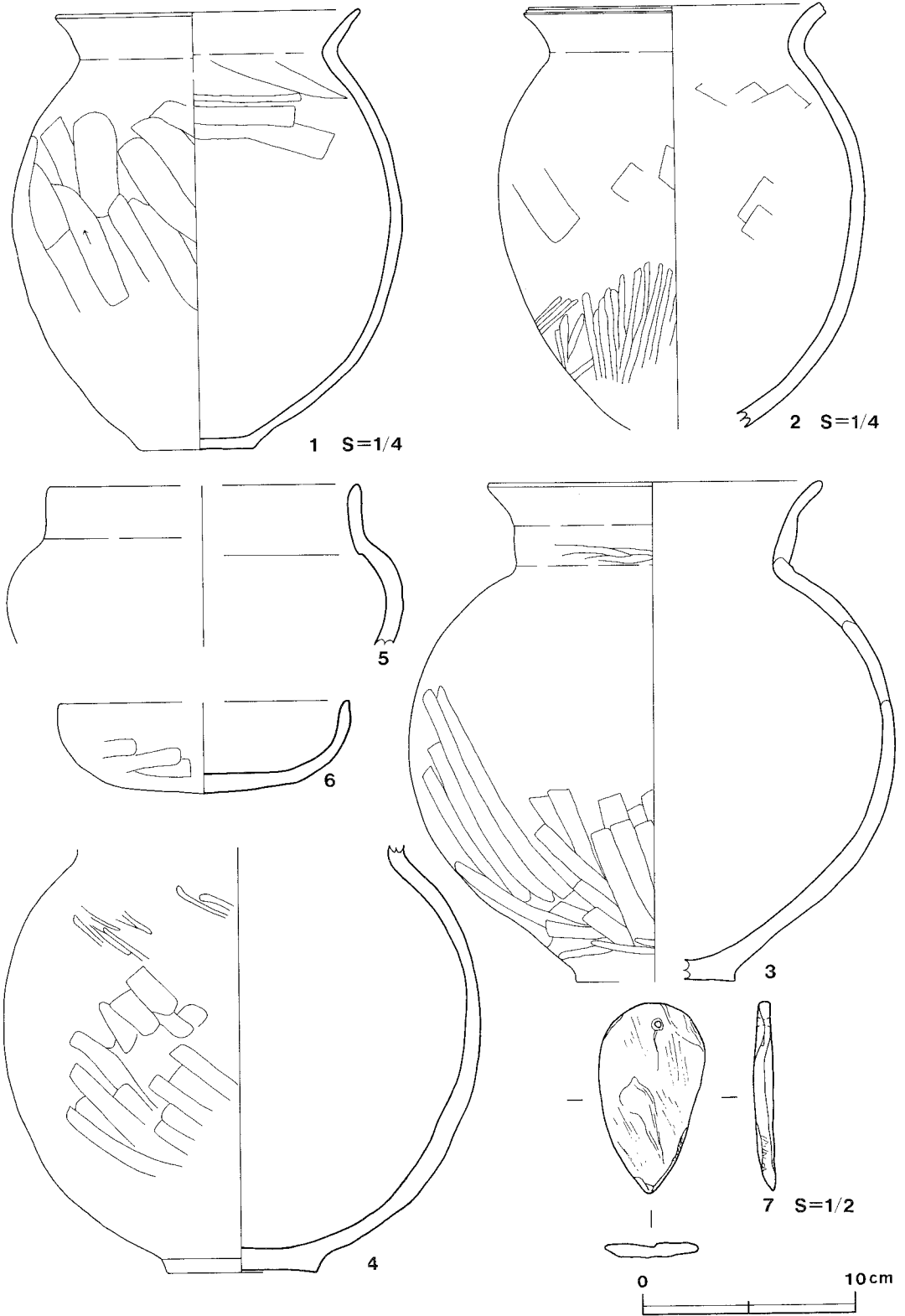
第309図 第53(2)・54(1)号住居跡出土遺物実測図



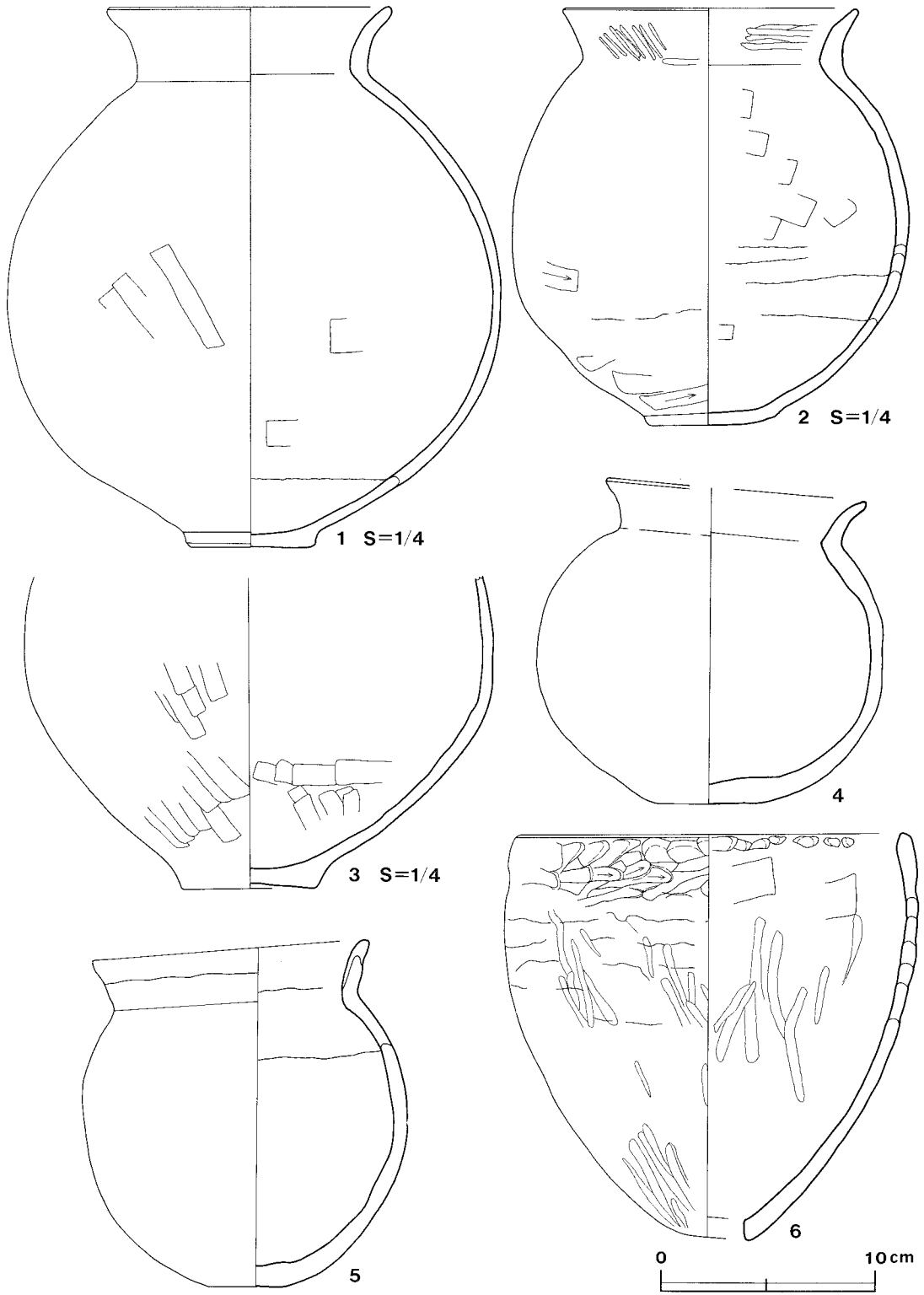
第310図 第54(2)号住居跡出土遺物実測図



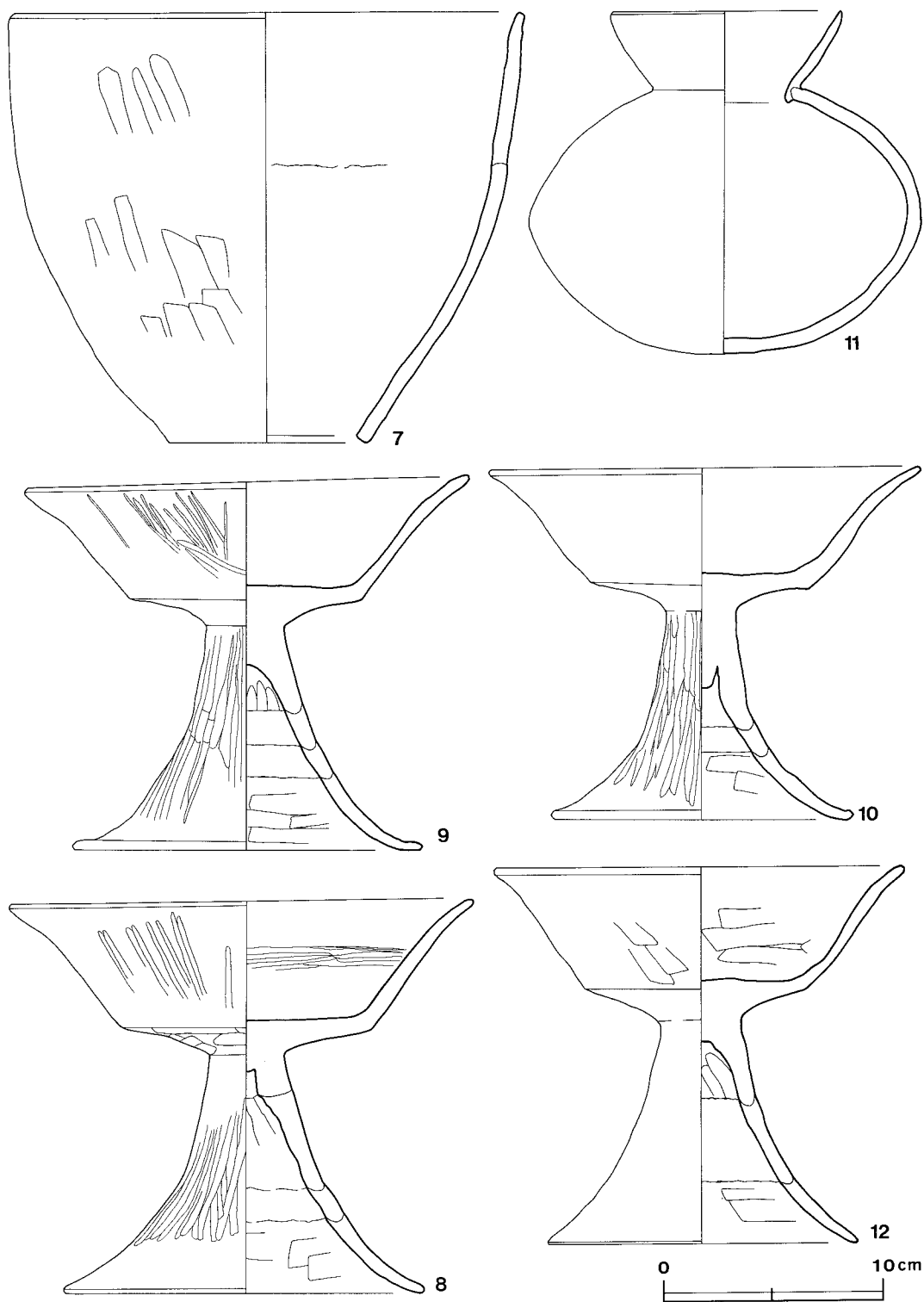
第311図 第54(3)号住居跡出土遺物実測図



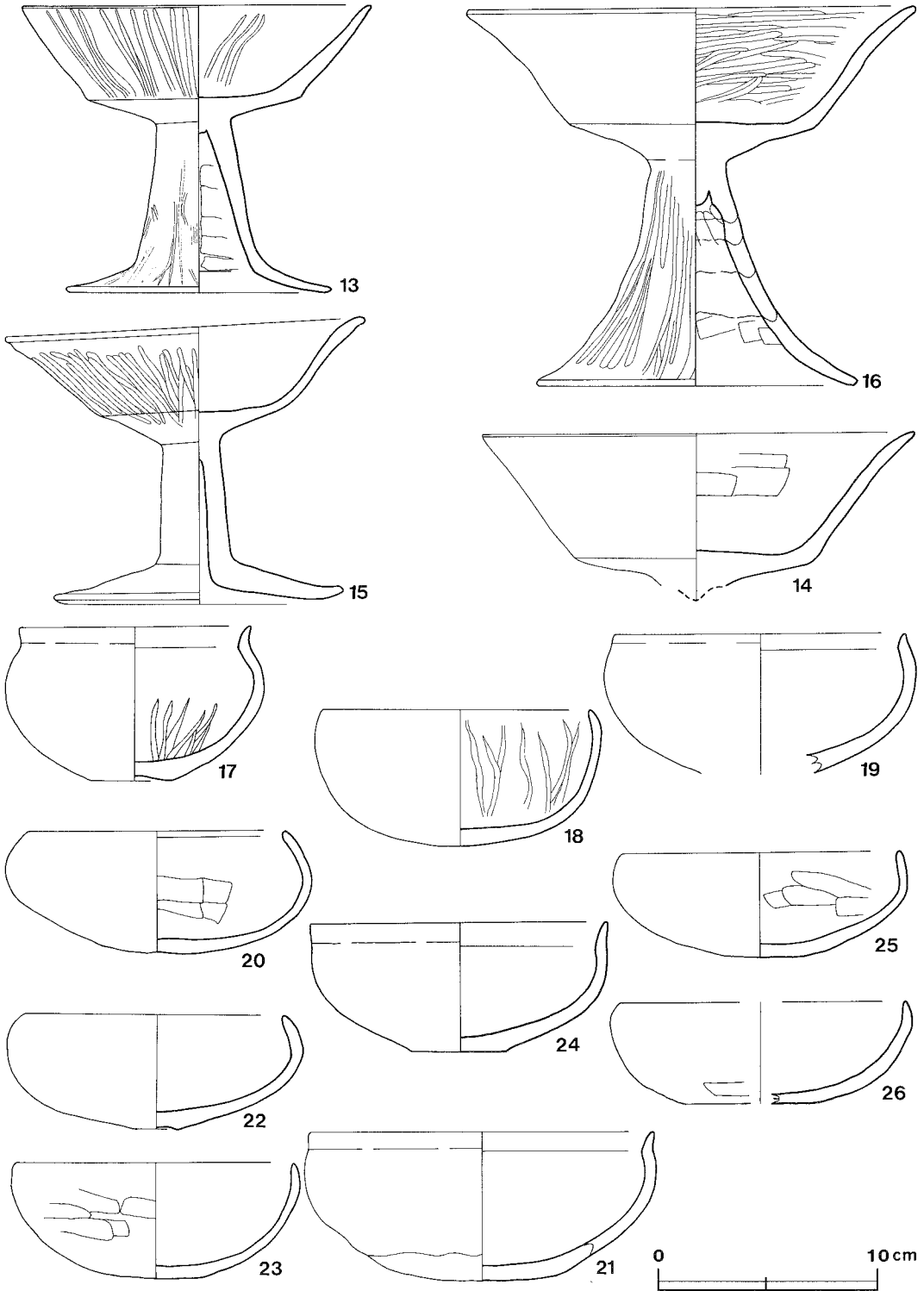
第312図 第55号住居跡出土遺物実測図



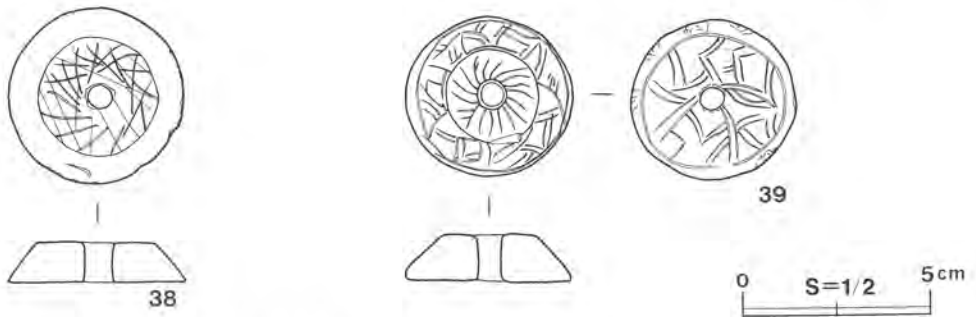
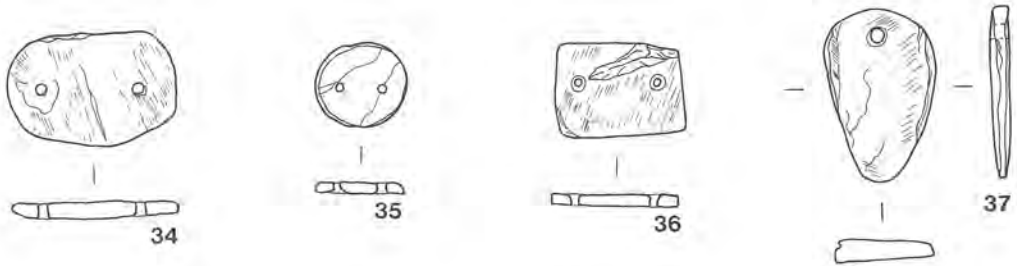
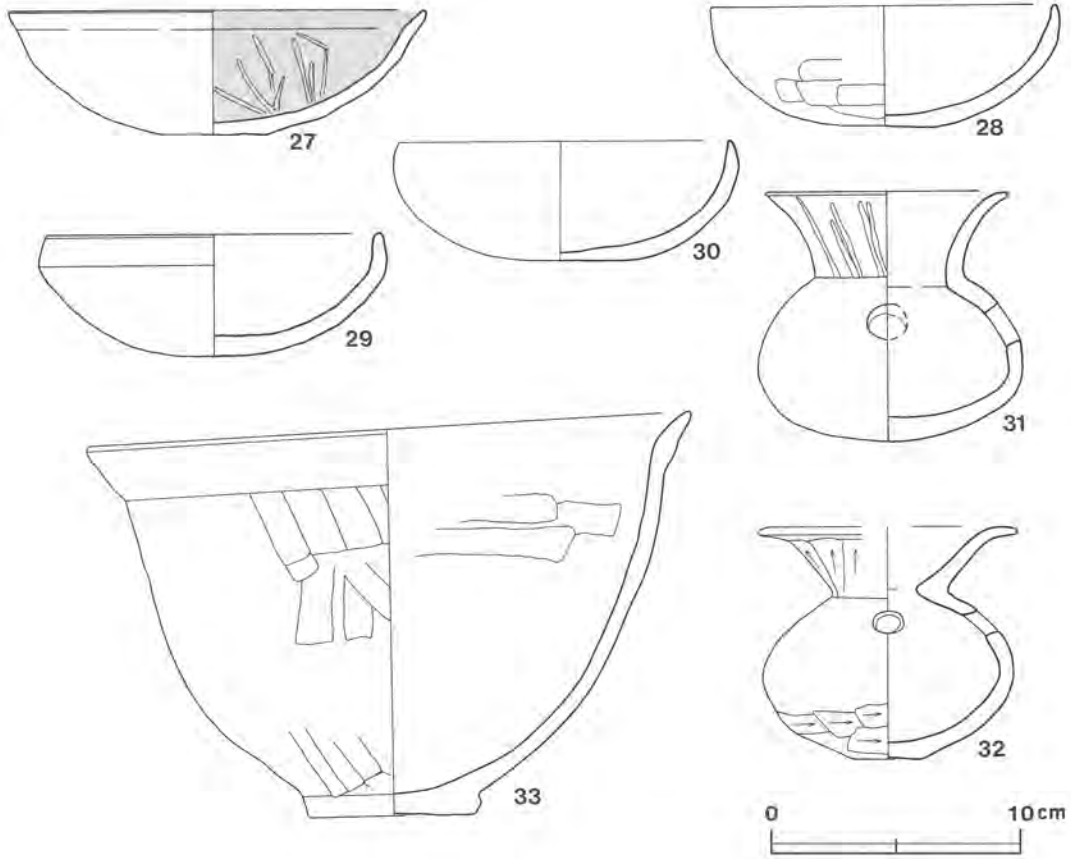
第313図 第56(1)号住居跡出土遺物実測図



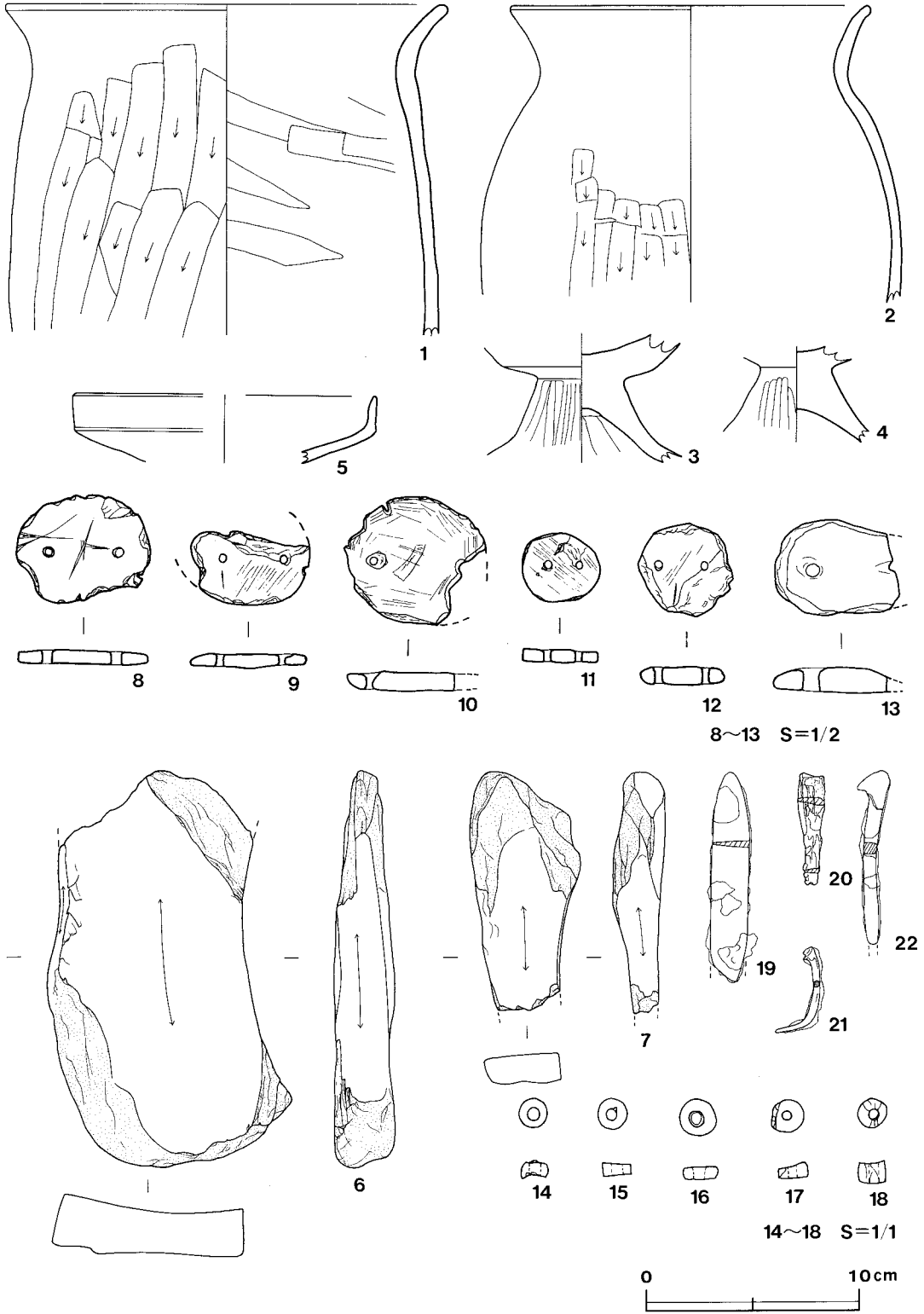
第314図 第56(2)号住居跡出土遺物実測図



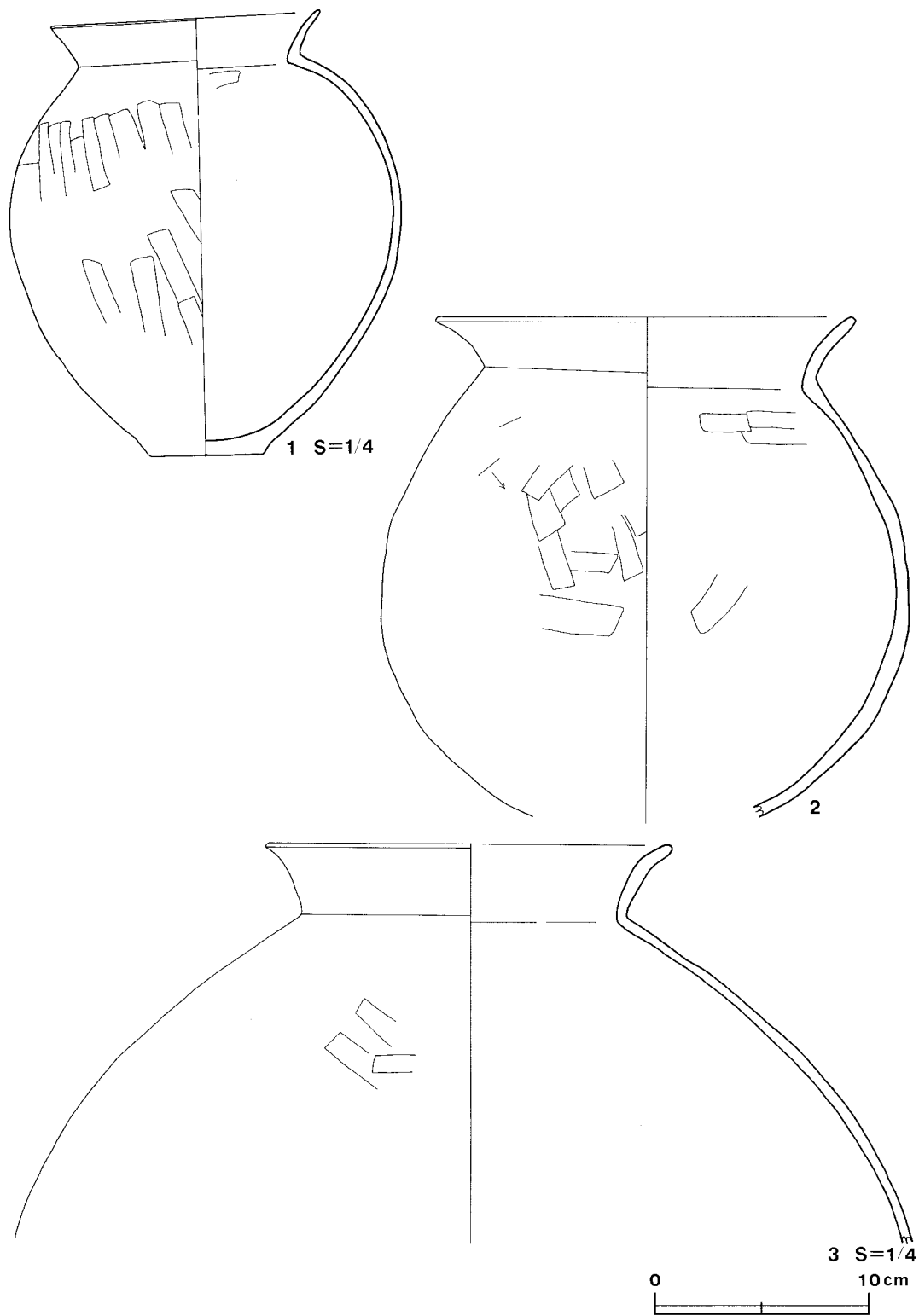
第315図 第56(3)号住居跡出土遺物実測図



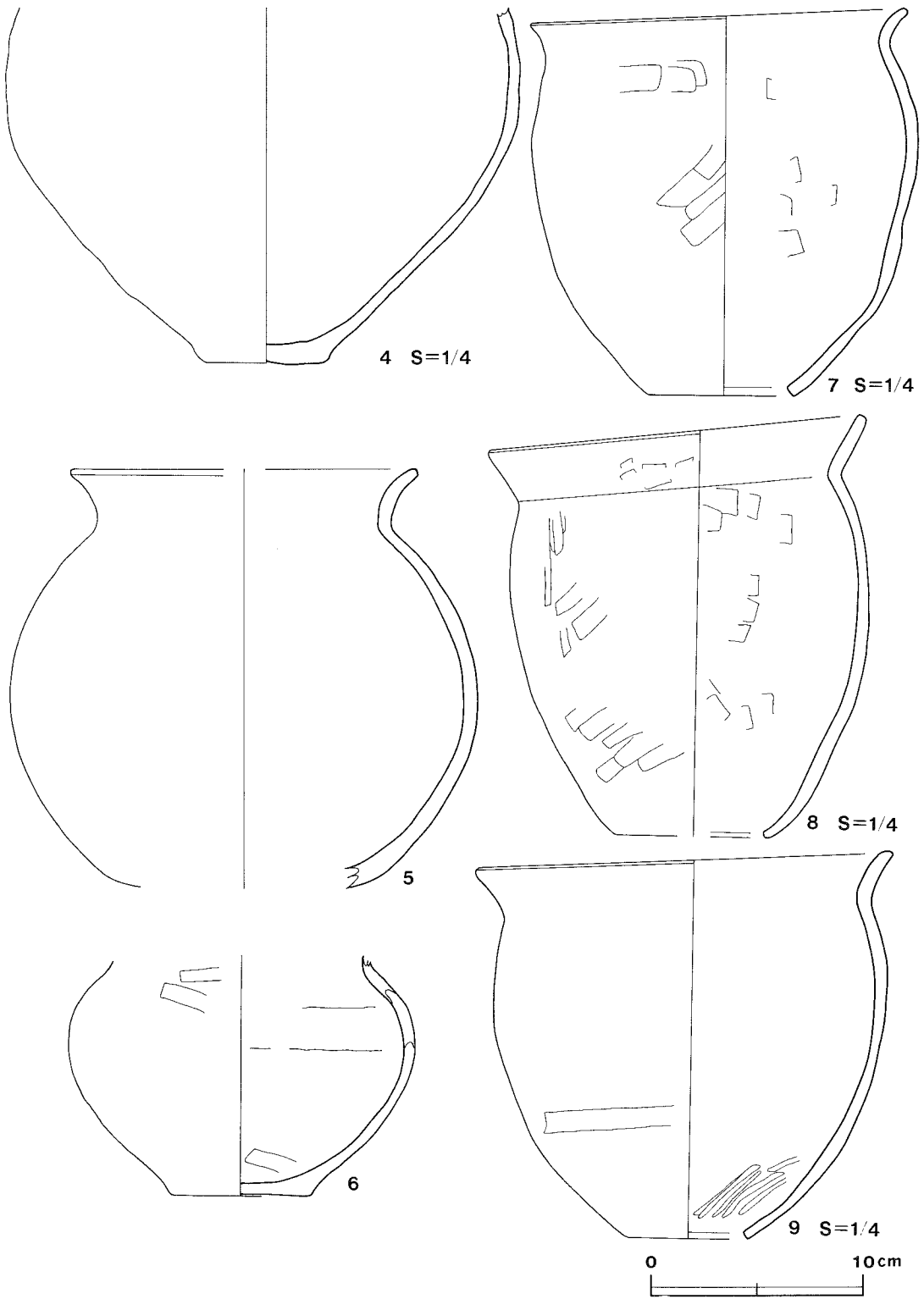
第316図 第56(4)号住居跡出土遺物実測図



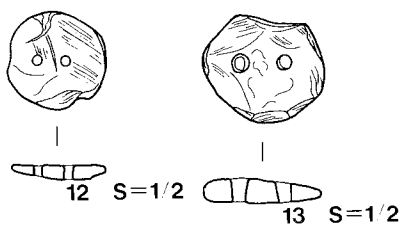
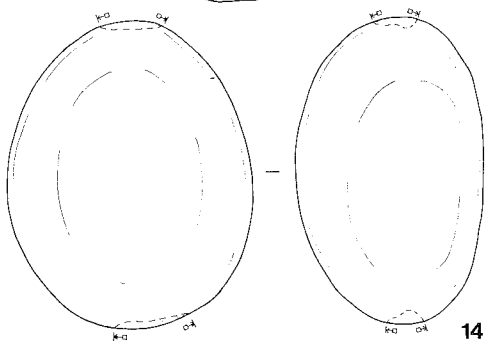
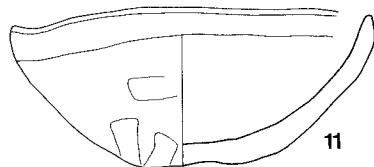
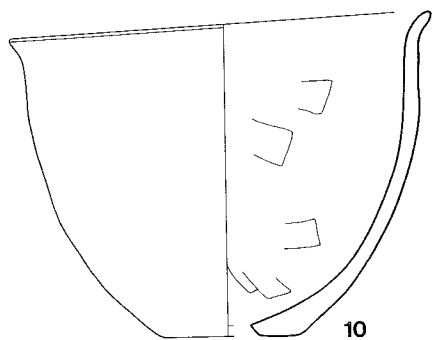
第317図 第60号住居跡出土遺物実測図



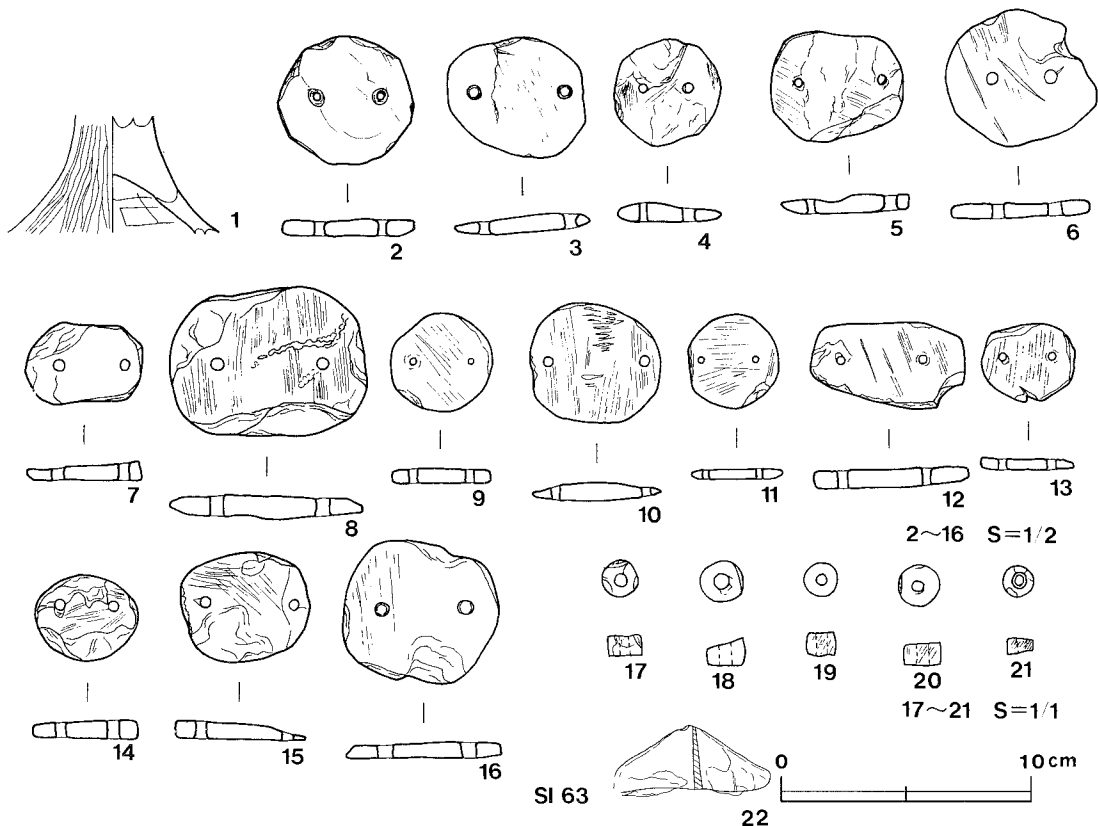
第318図 第62(1)号住居跡出土遺物実測図



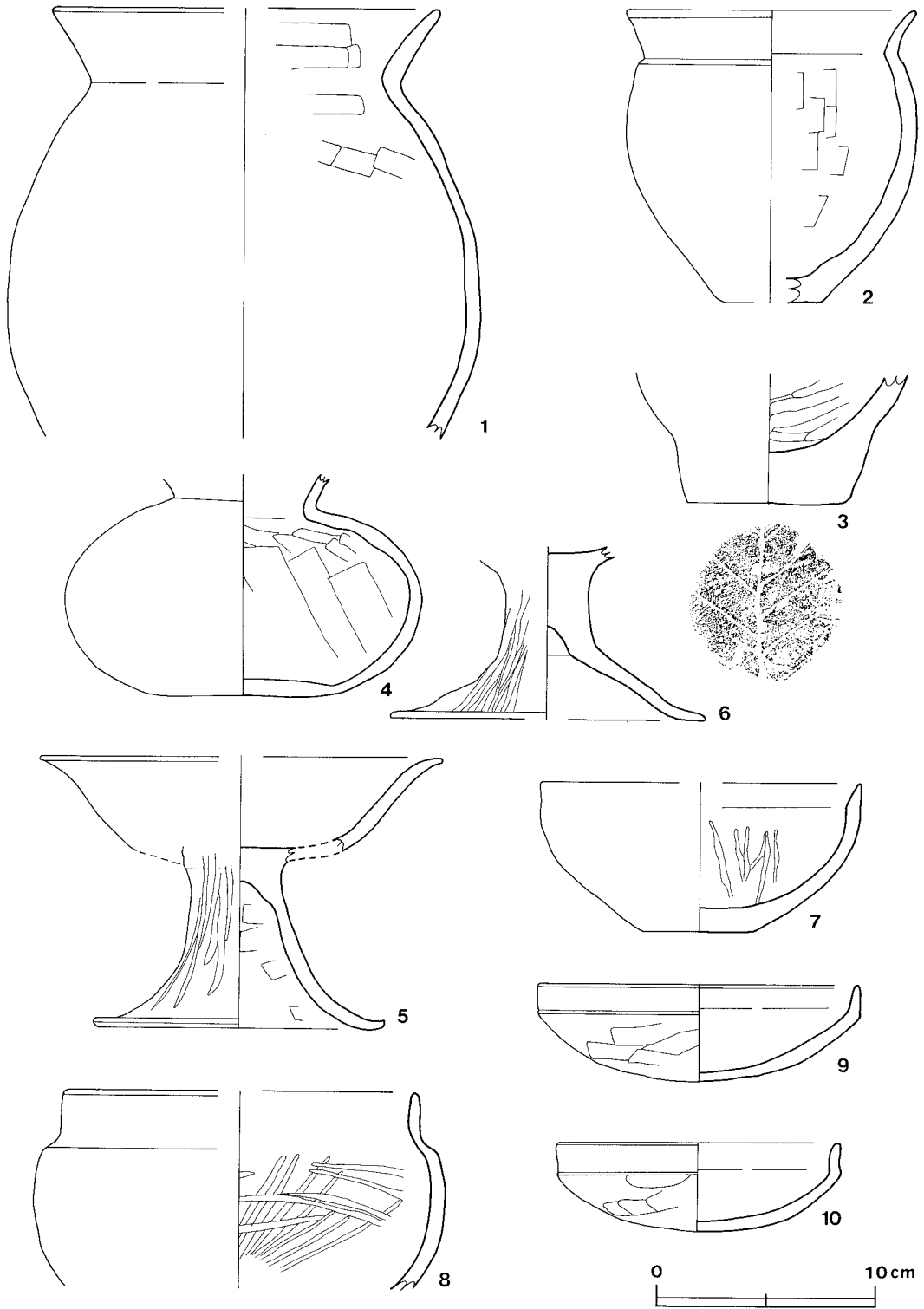
第319図 第62(2)号住居跡出土遺物実測図



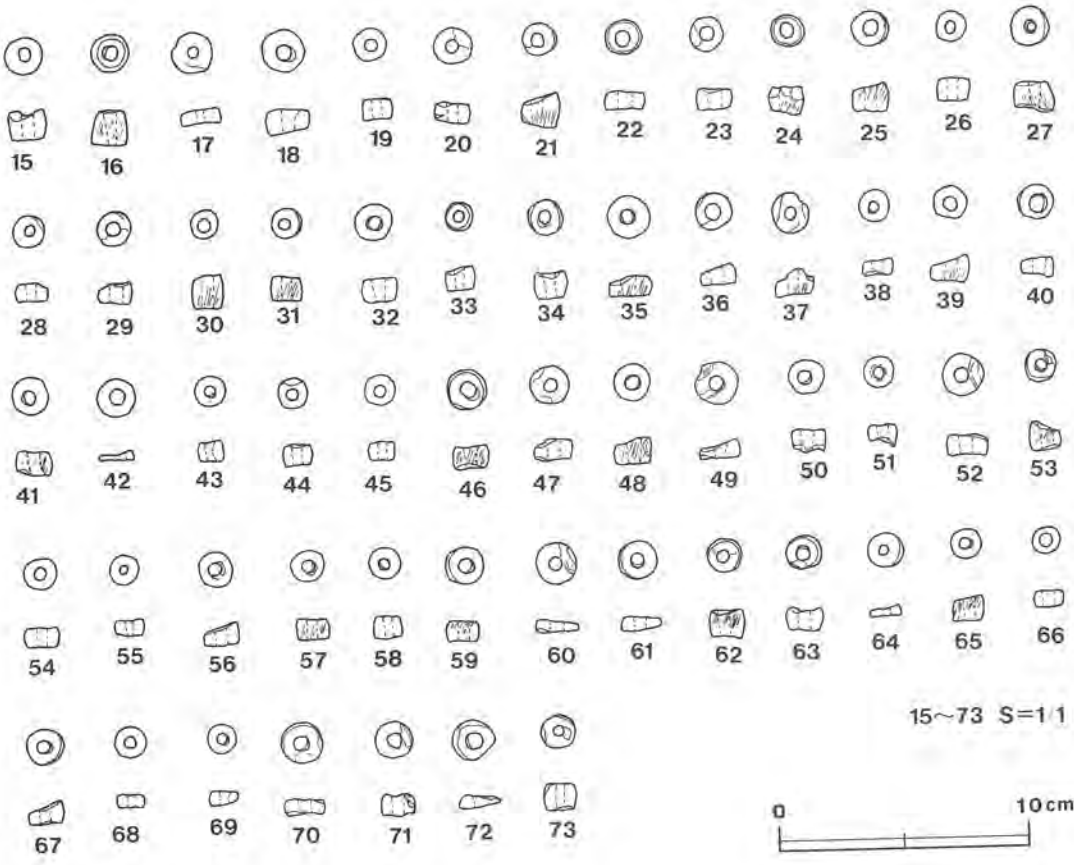
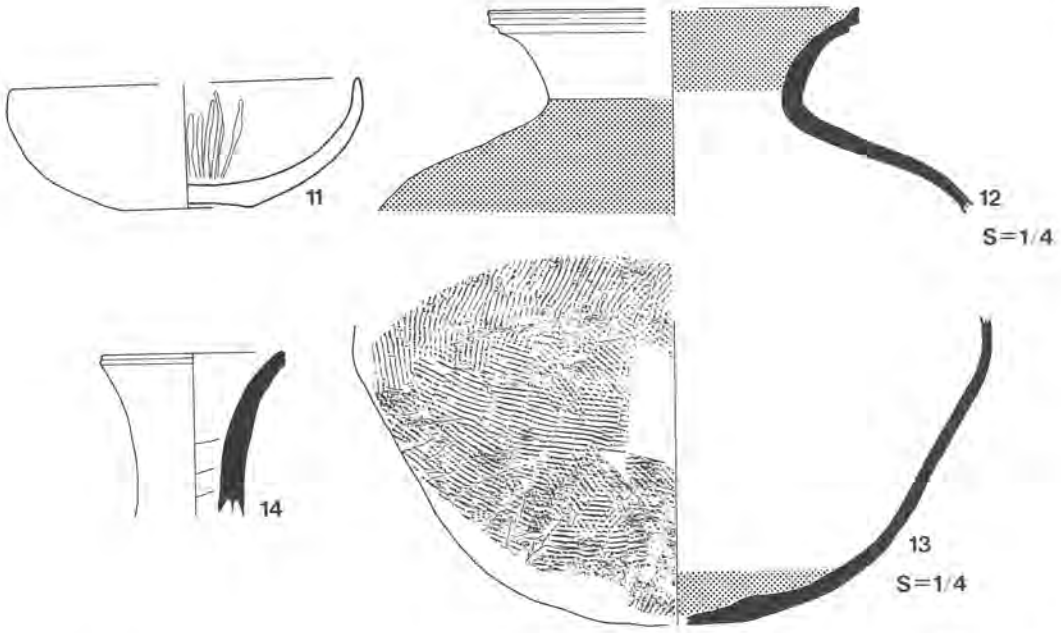
SI 62



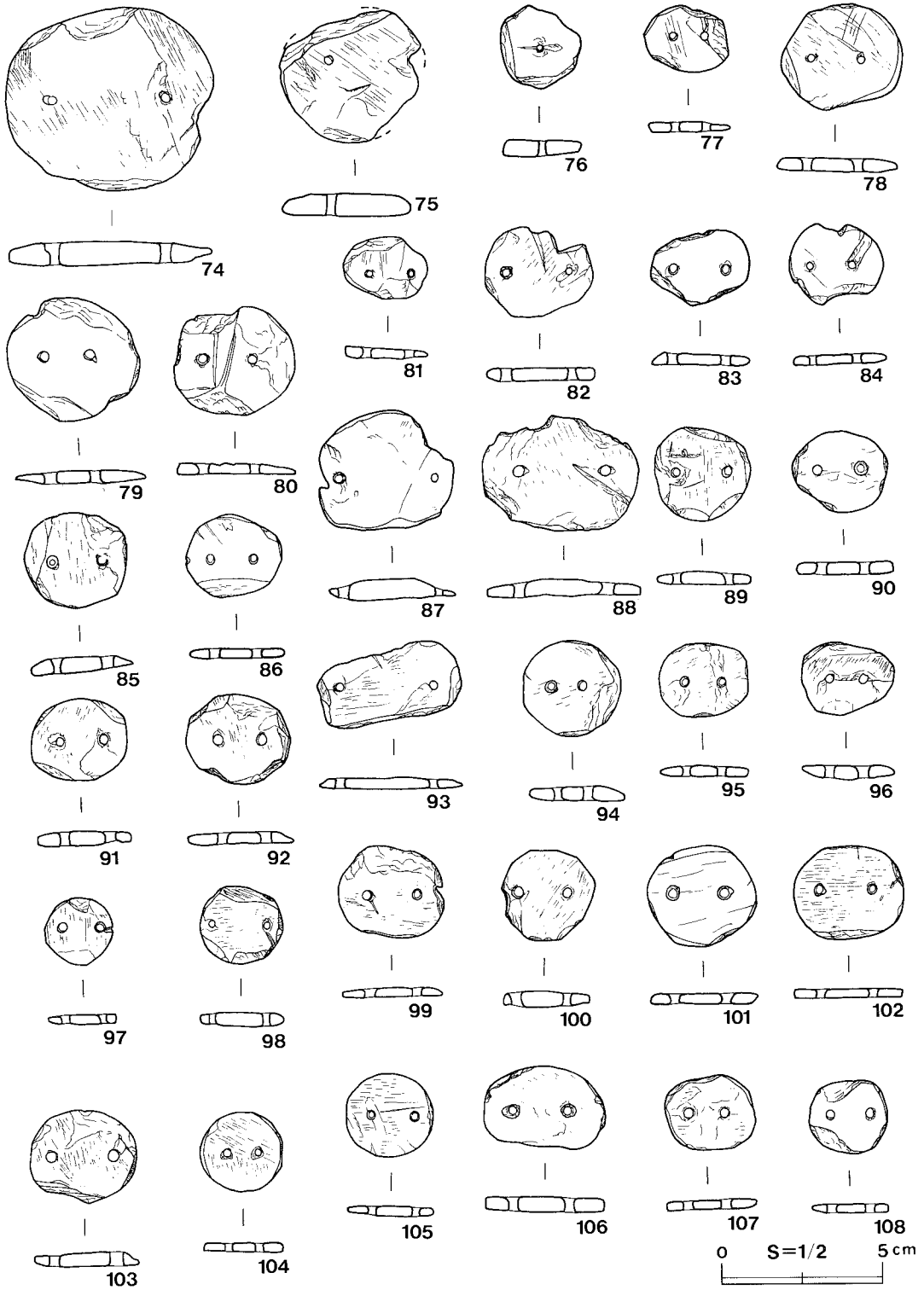
第320図 第62(3)・63号住居跡出土遺物実測図



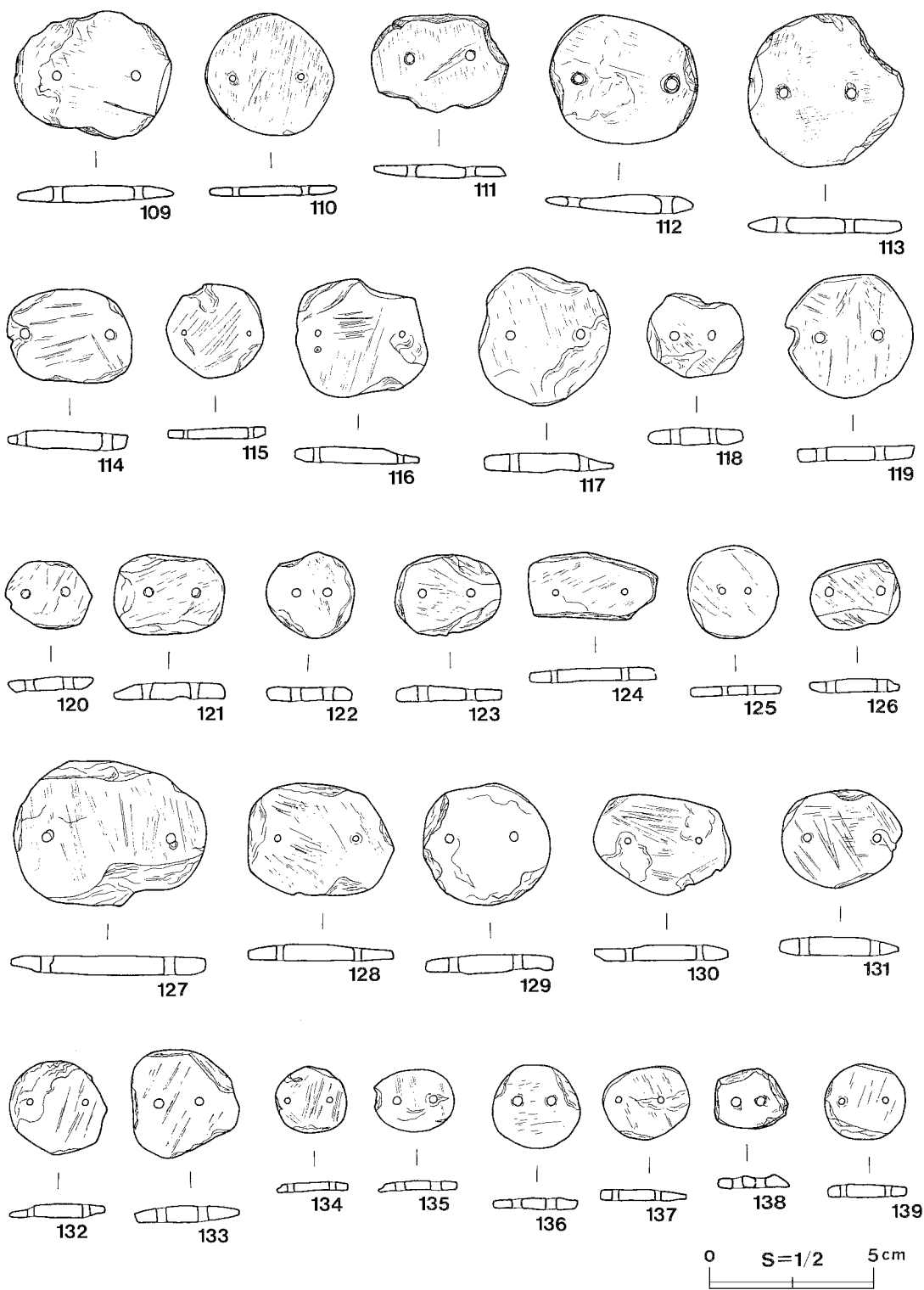
第321図 第64(1)号住居跡出土遺物実測図



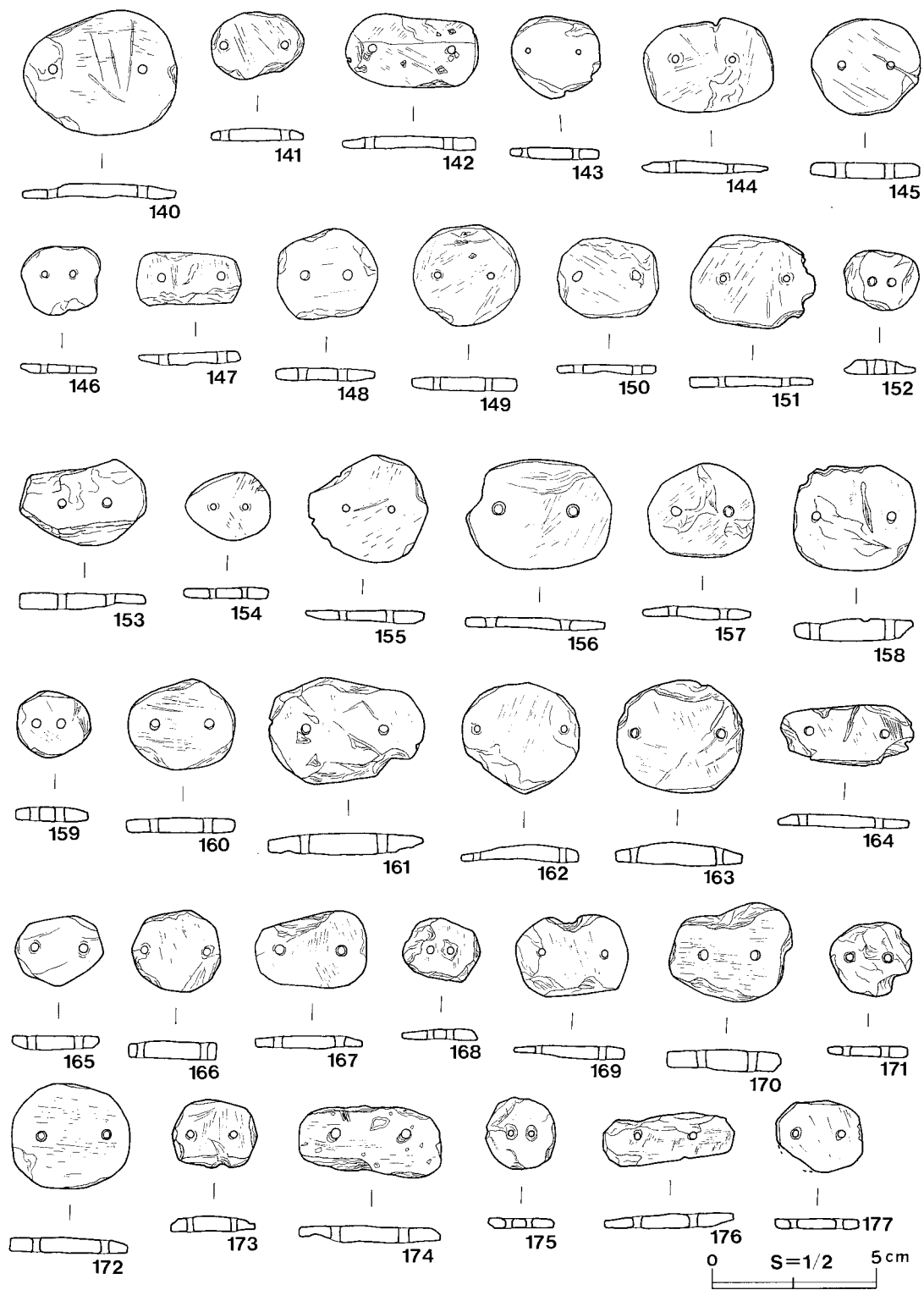
第322図 第64(2)号住居跡出土遺物実測図



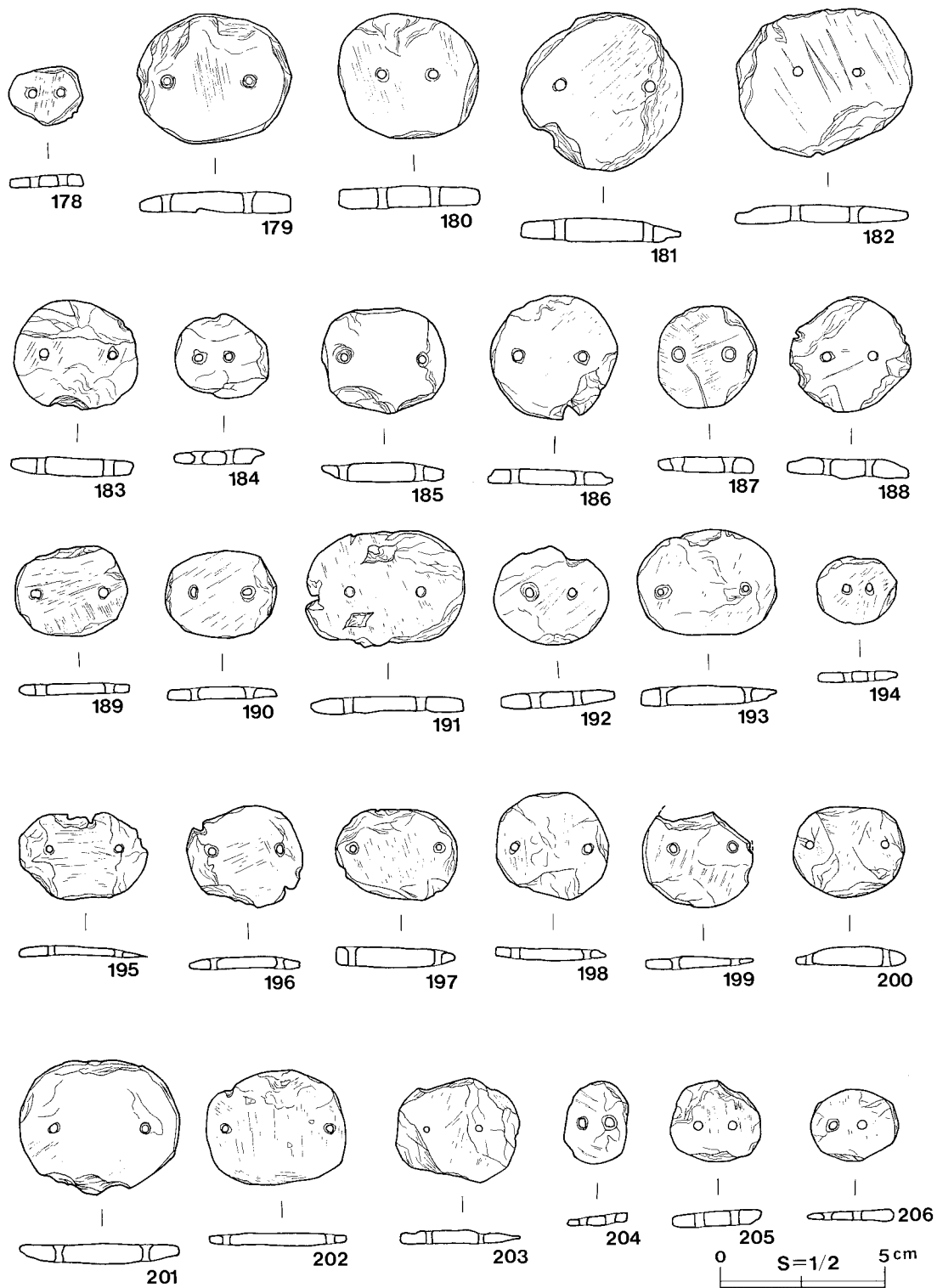
第323図 第64(3)号住居跡出土遺物実測図



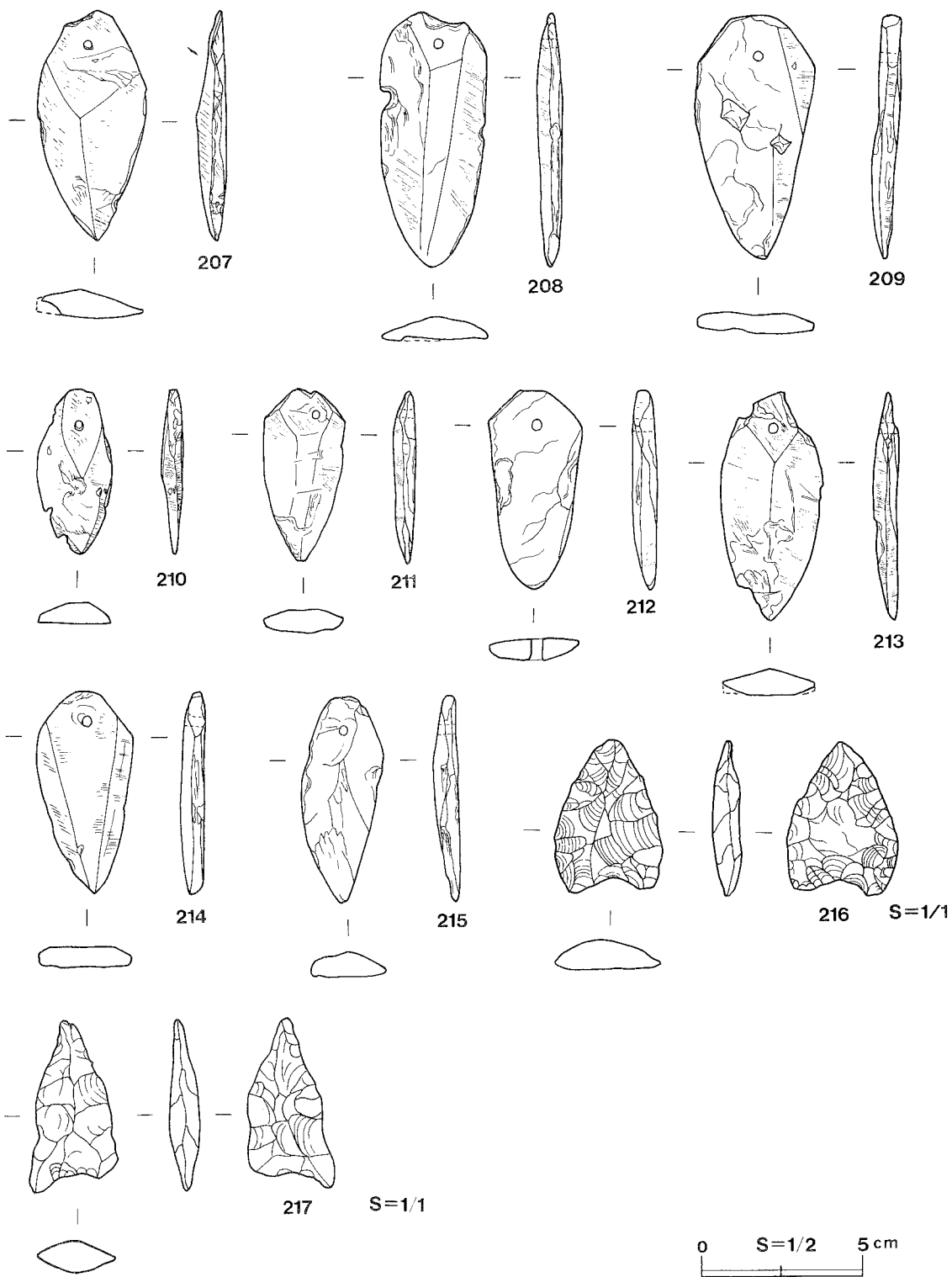
第324図 第64(4)号住居跡出土遺物実測図



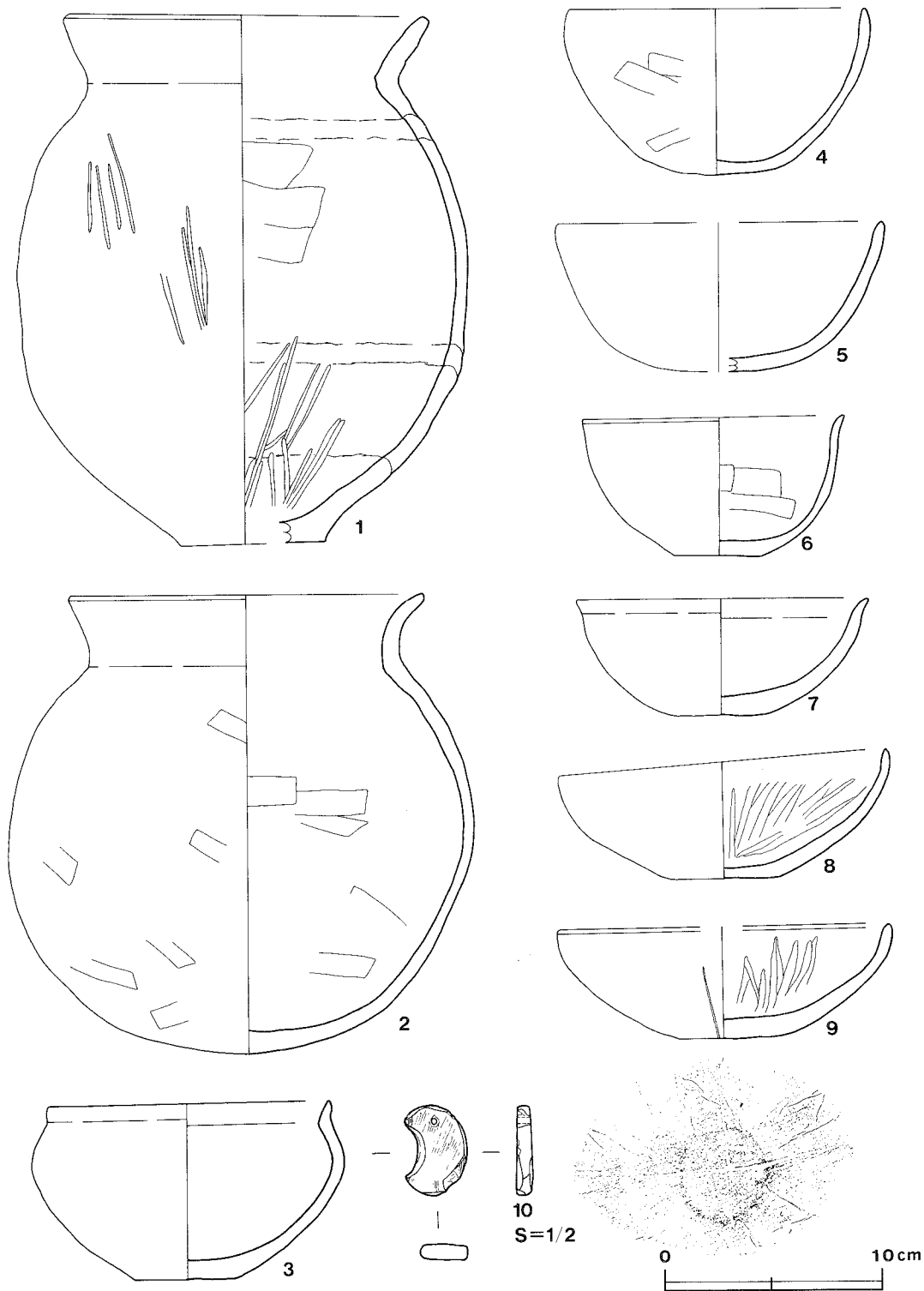
第325図 第64(5)号住居跡出土遺物実測図



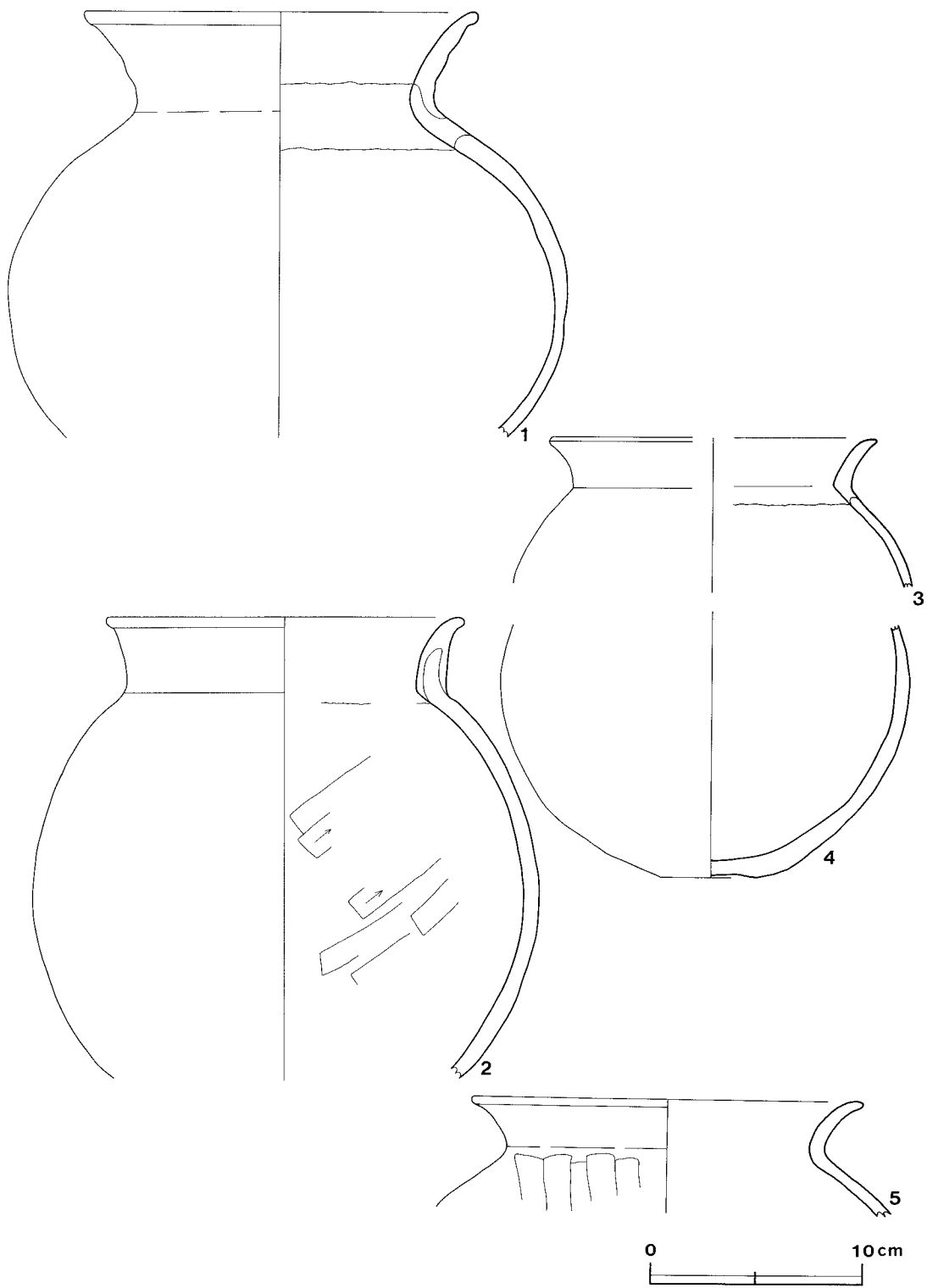
第326図 第64(6)号住居跡出土遺物実測図



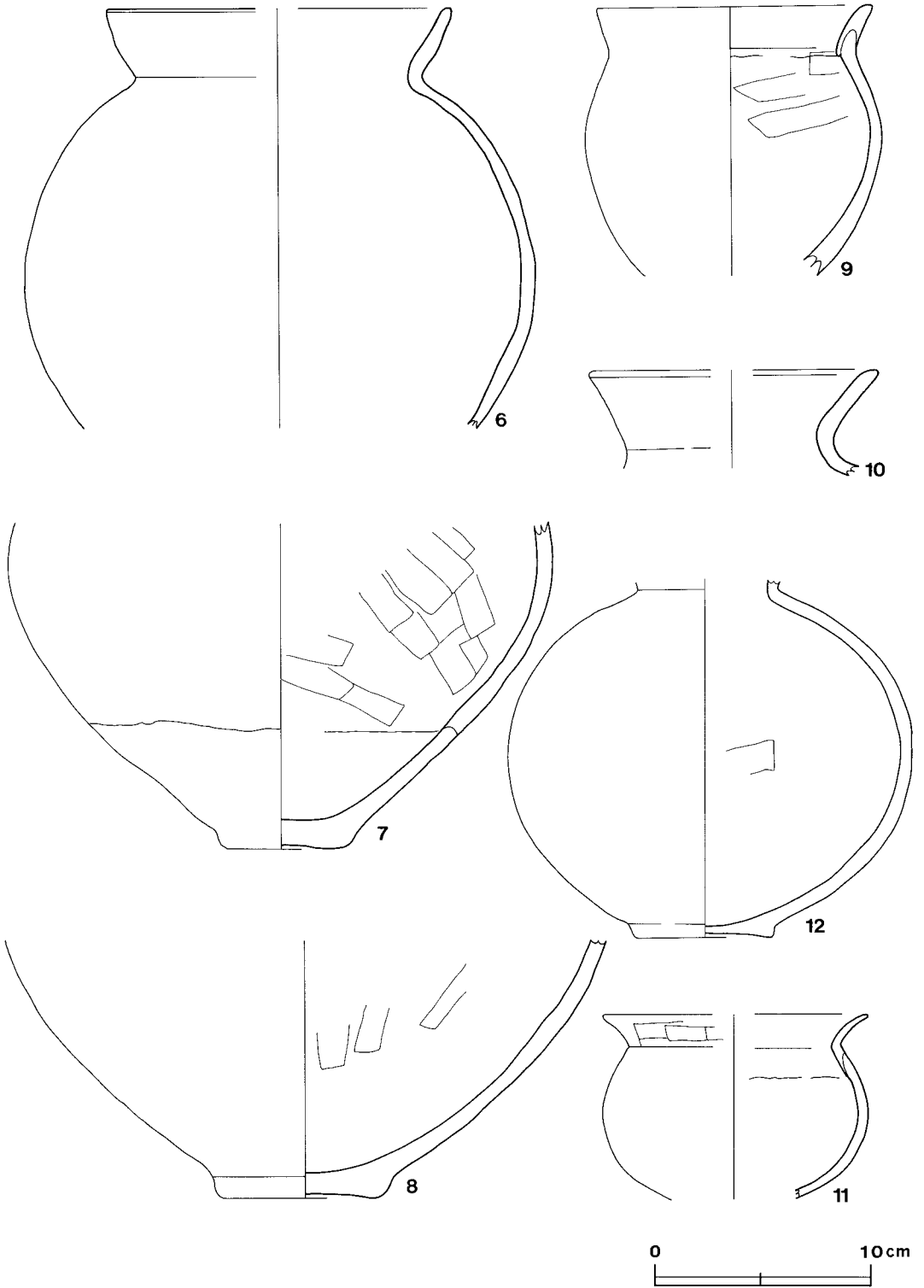
第327図 第64(7)号住居跡出土遺物実測図



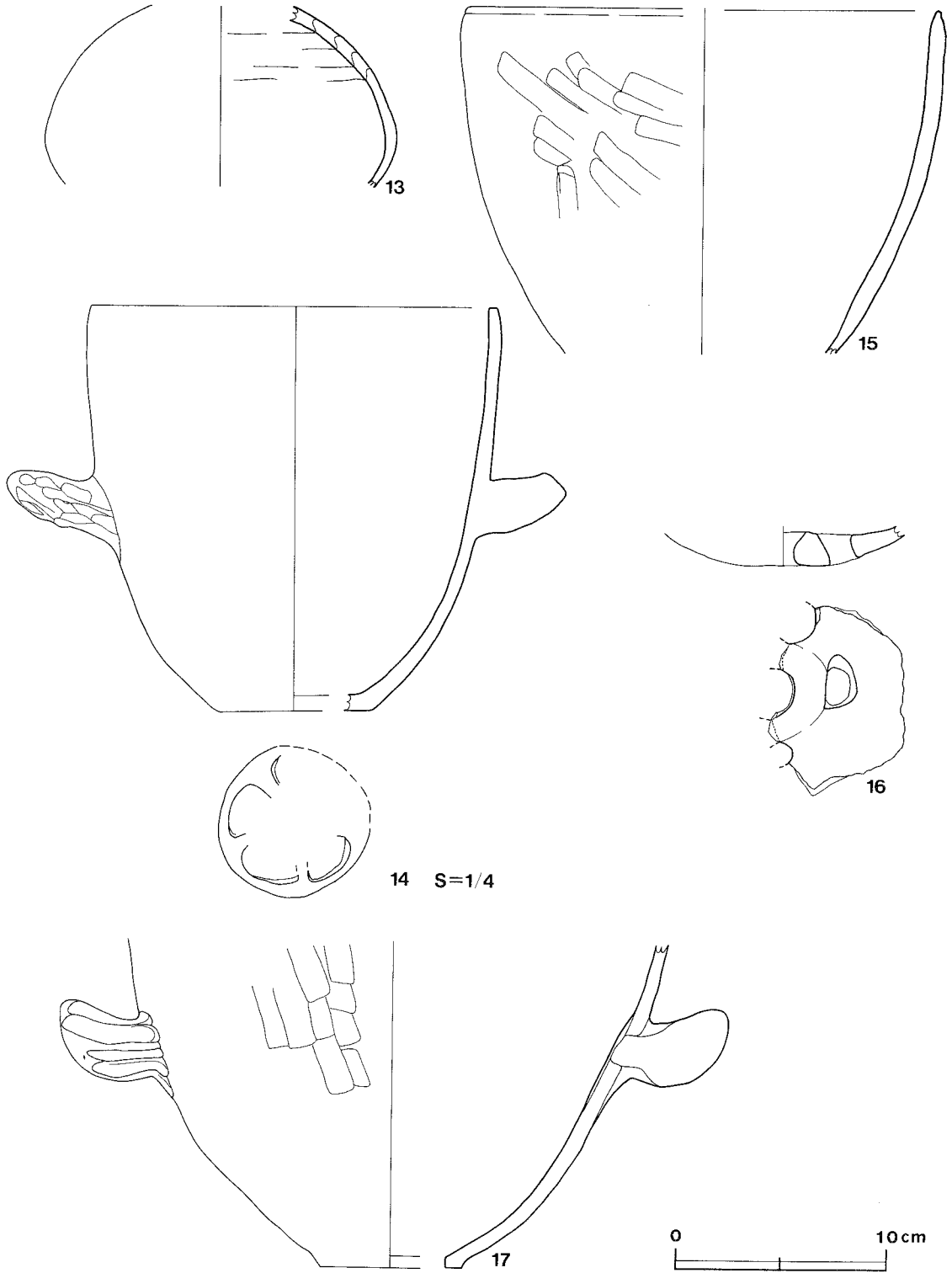
第328図 第67号住居跡出土遺物実測図



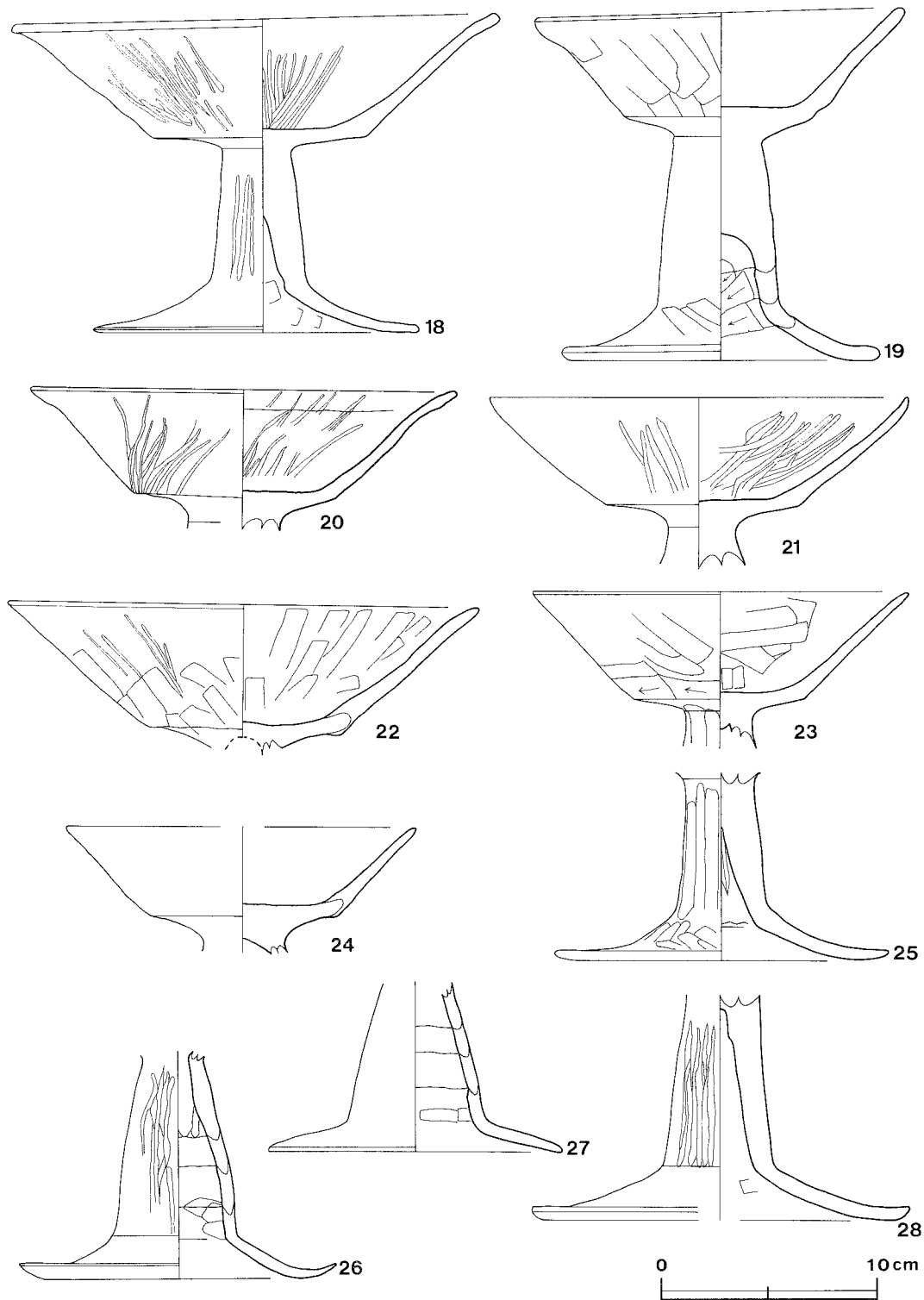
第329図 第70(1)号住居跡出土遺物実測図



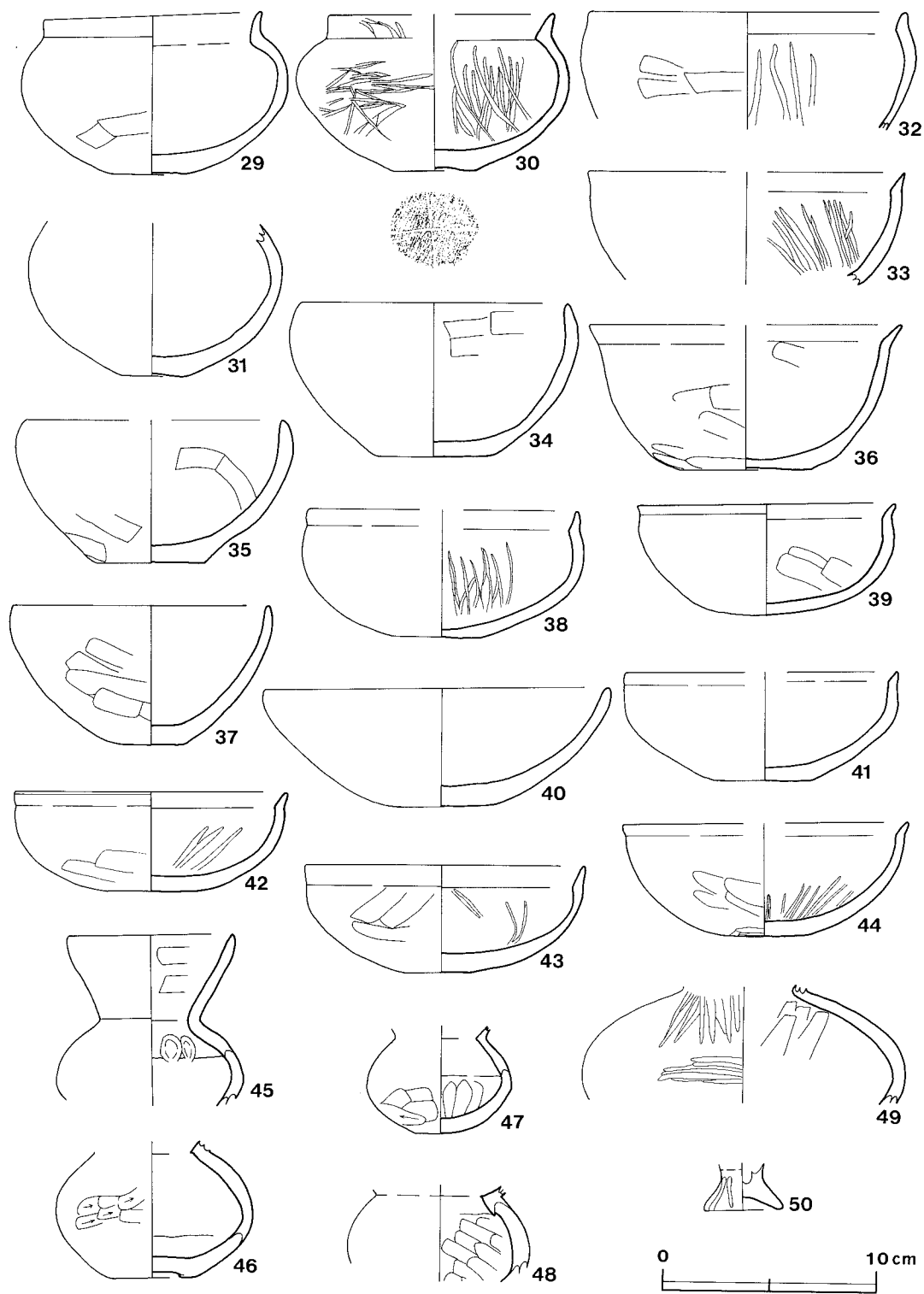
第330図 第70(2)号住居跡出土遺物実測図



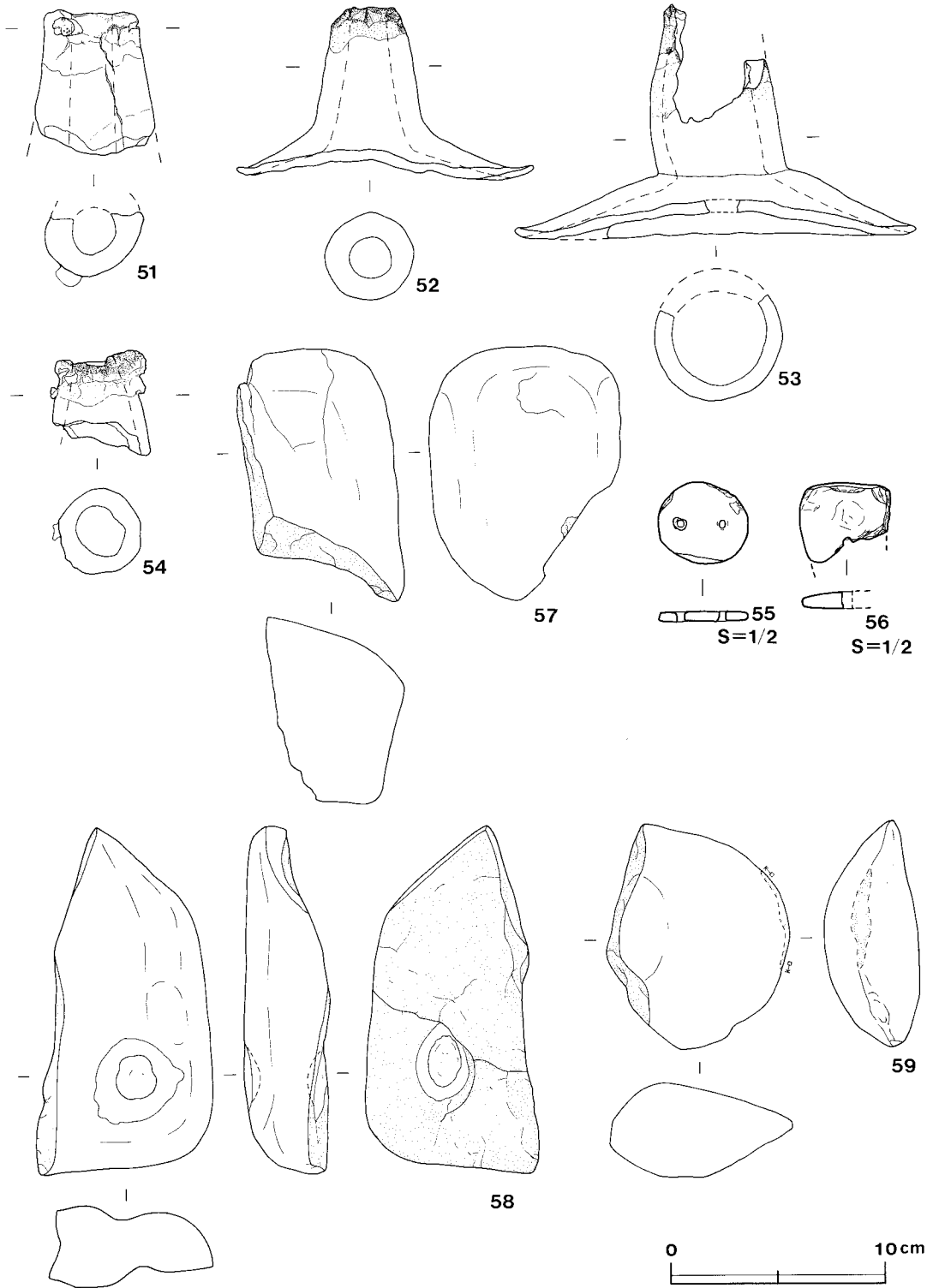
第331図 第70(3)号住居跡出土遺物実測図



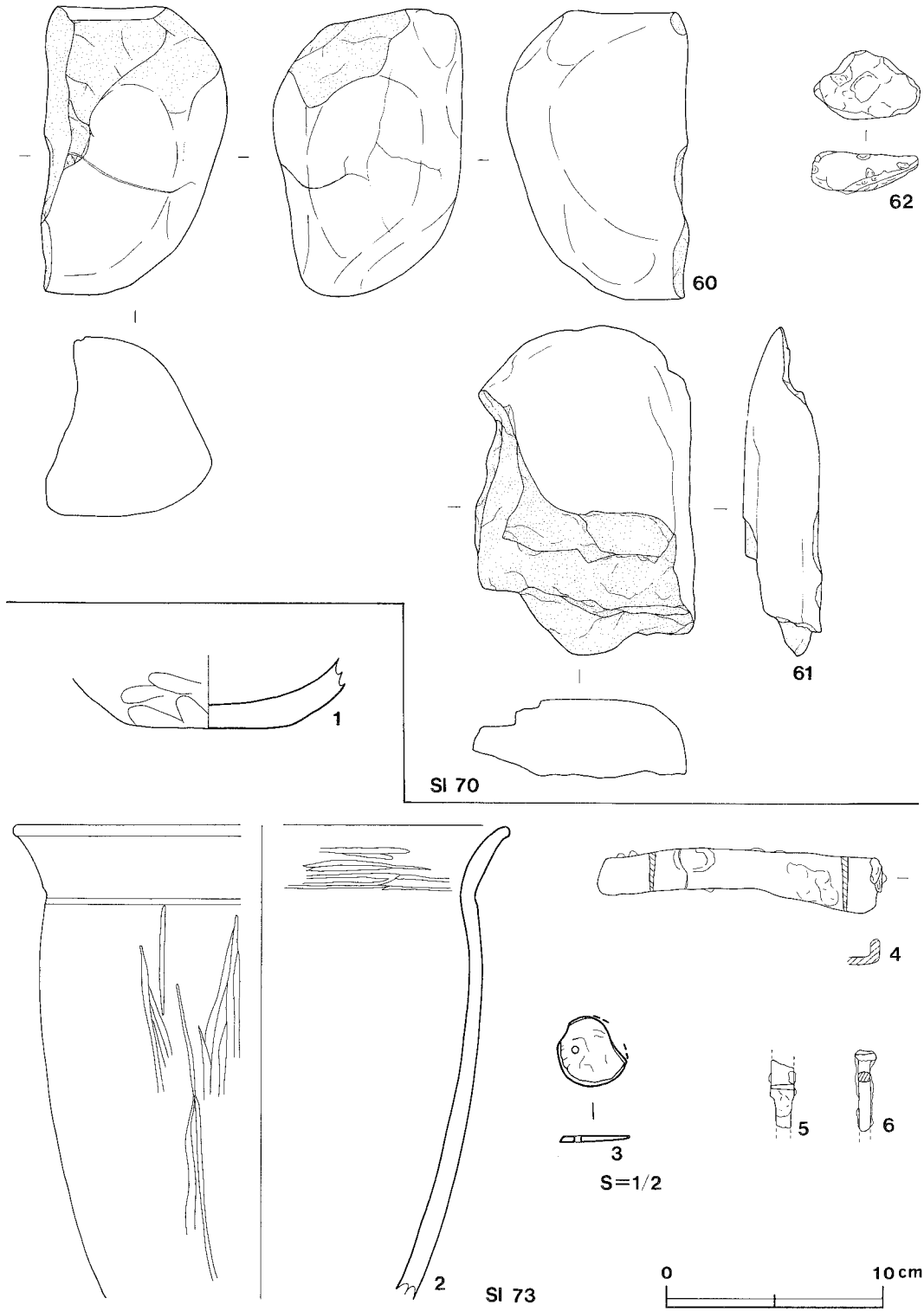
第332図 第70(4)号住居跡出土遺物実測図



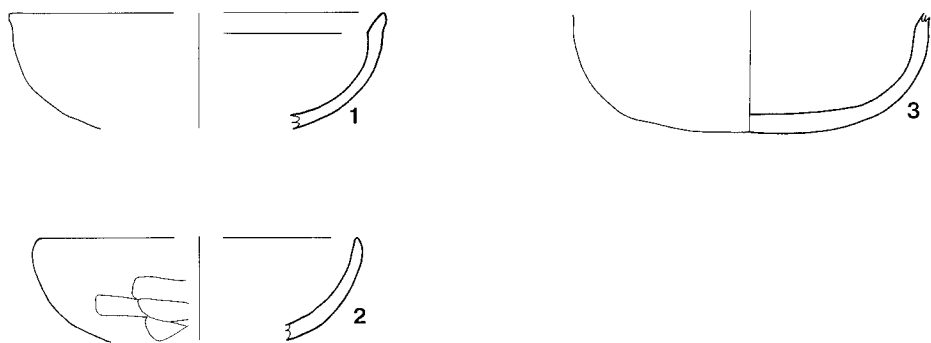
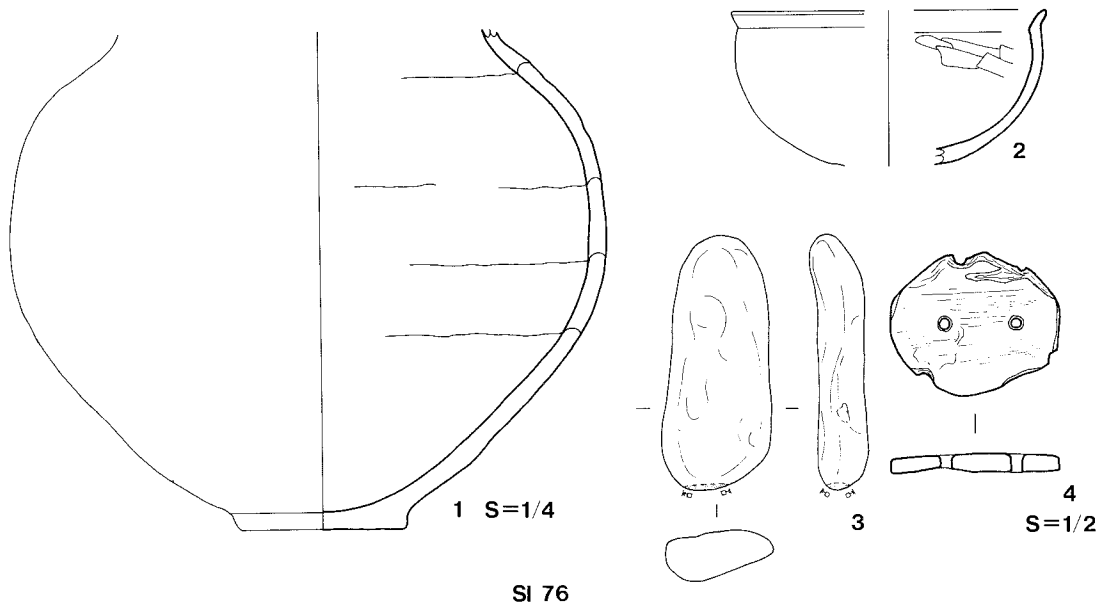
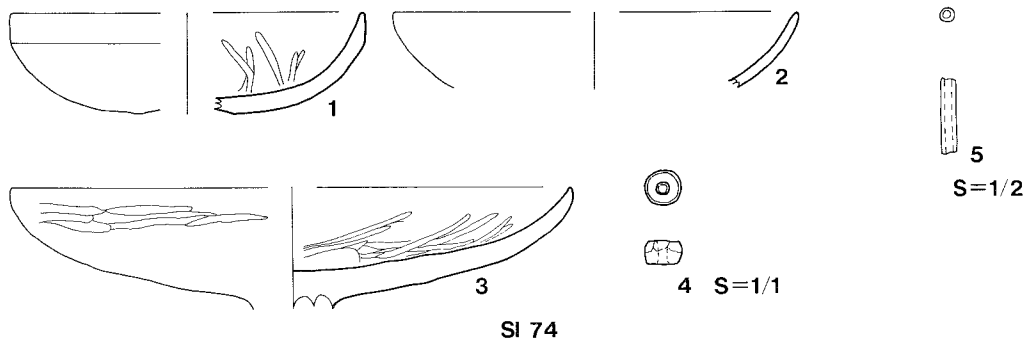
第333図 第70(5)号住居跡出土遺物実測図



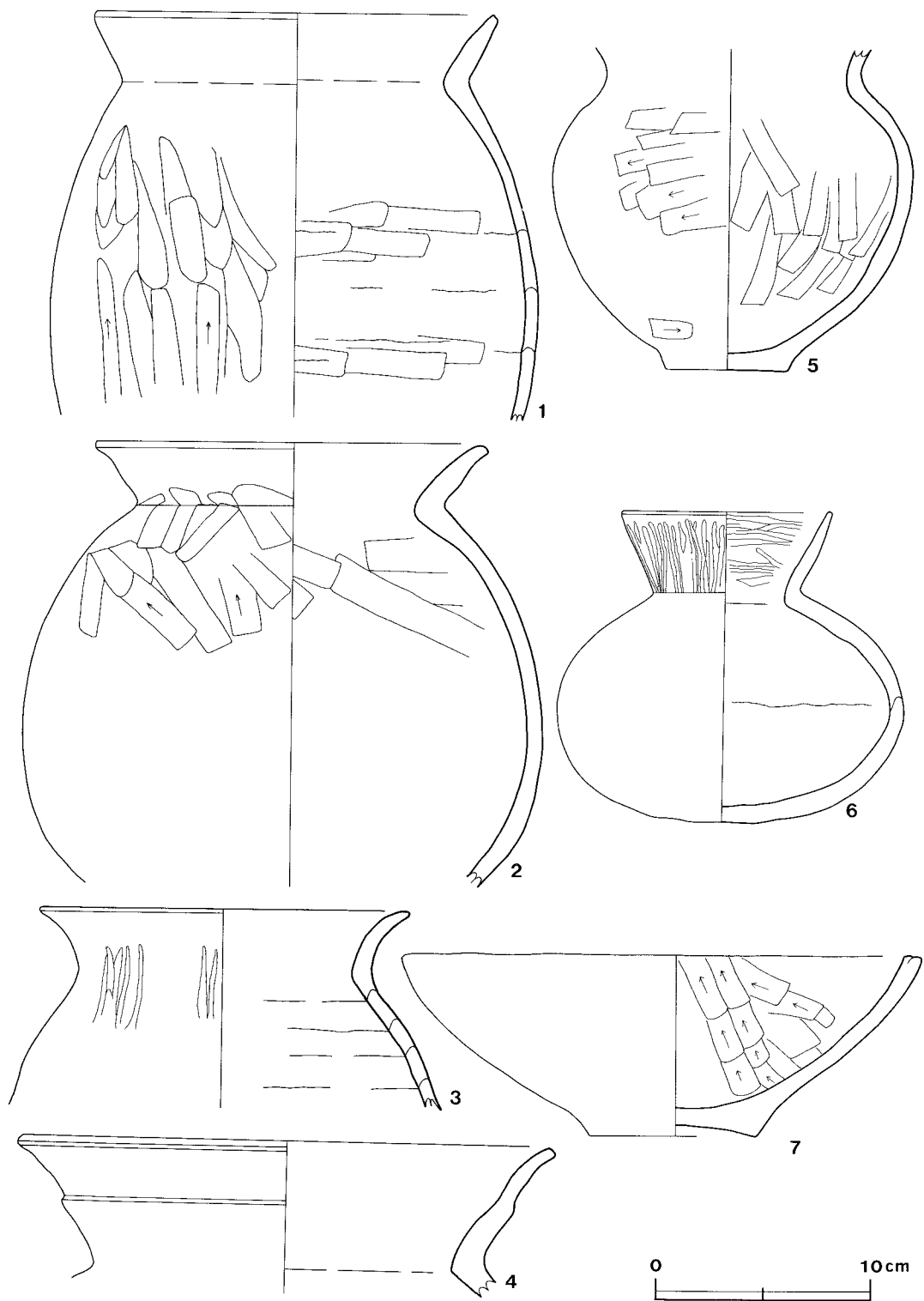
第334図 第70(6)号住居跡出土遺物実測図



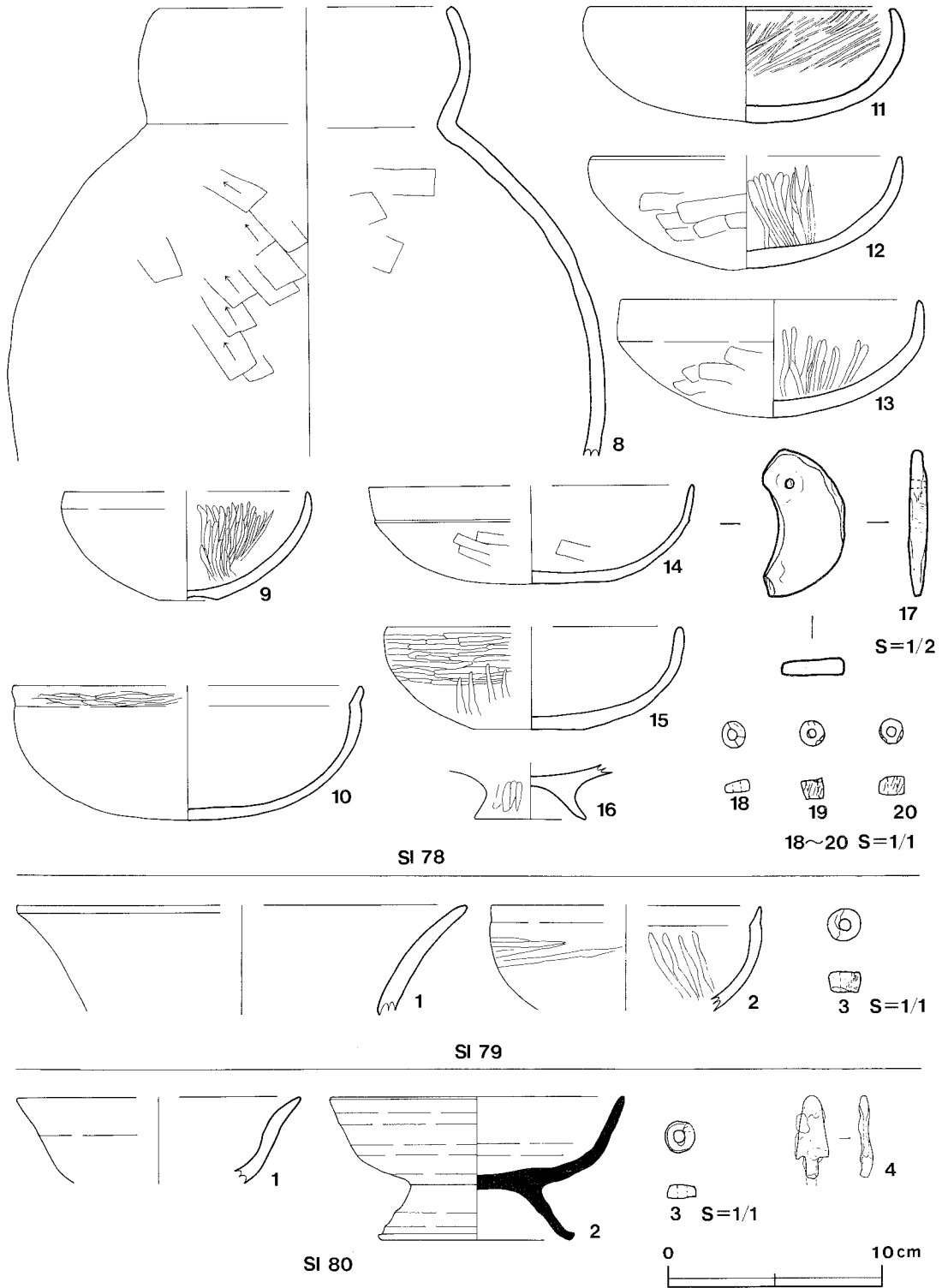
第335図 第70(7)・73号住居跡出土遺物実測図



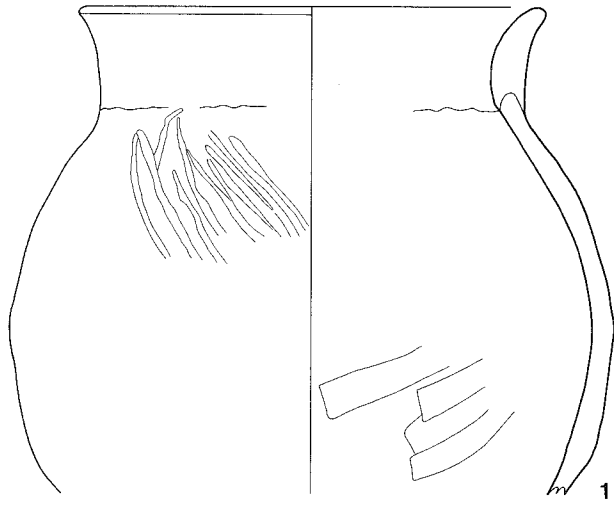
第336図 第74・76・77号住居跡出土遺物実測図



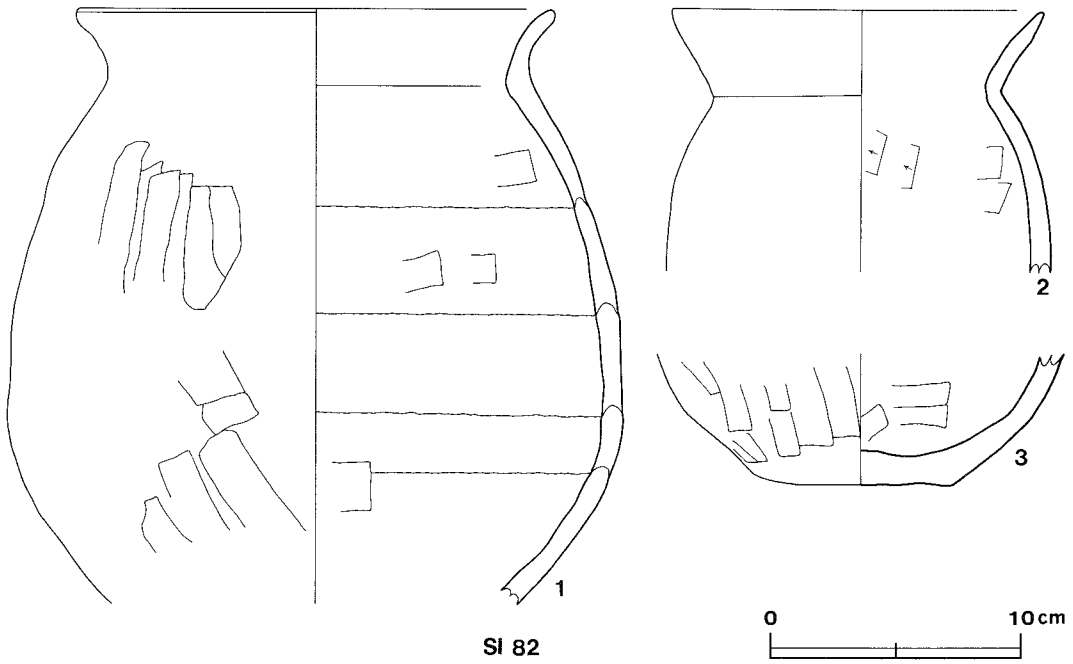
第337図 第78(1)号住居跡出土遺物実測図



第338図 第78(2)・79・80号住居跡出土遺物実測図

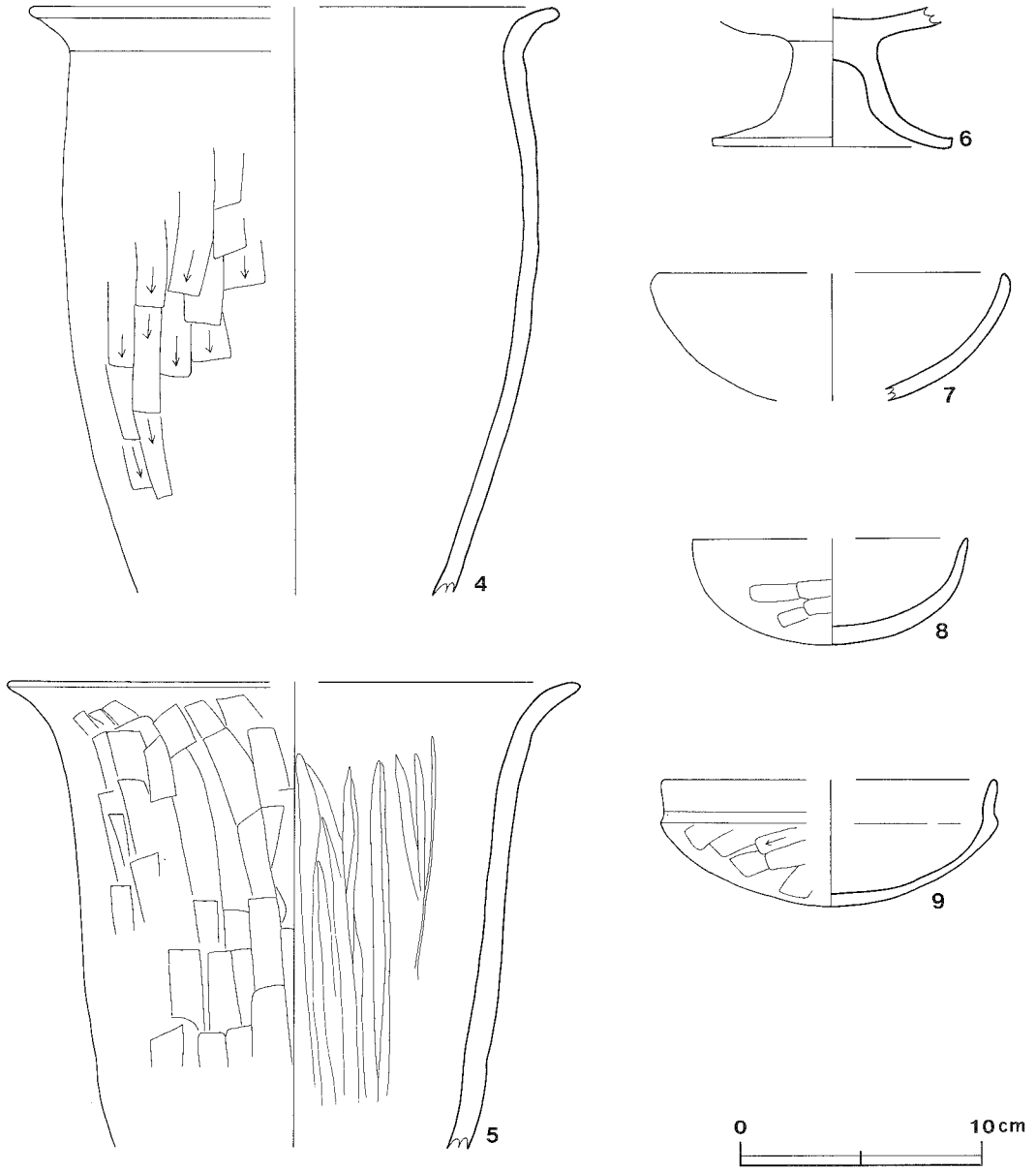


SI 81

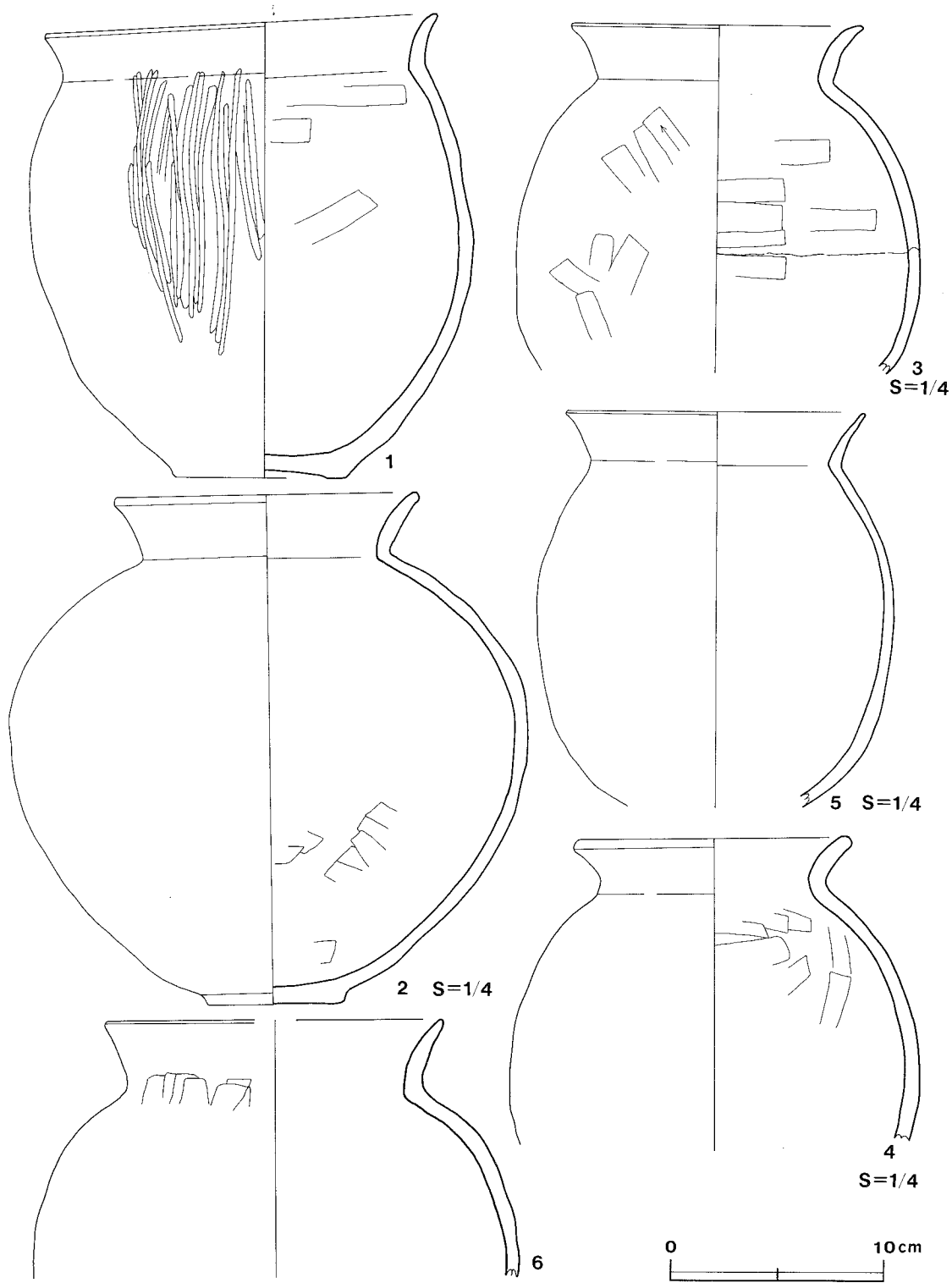


SI 82

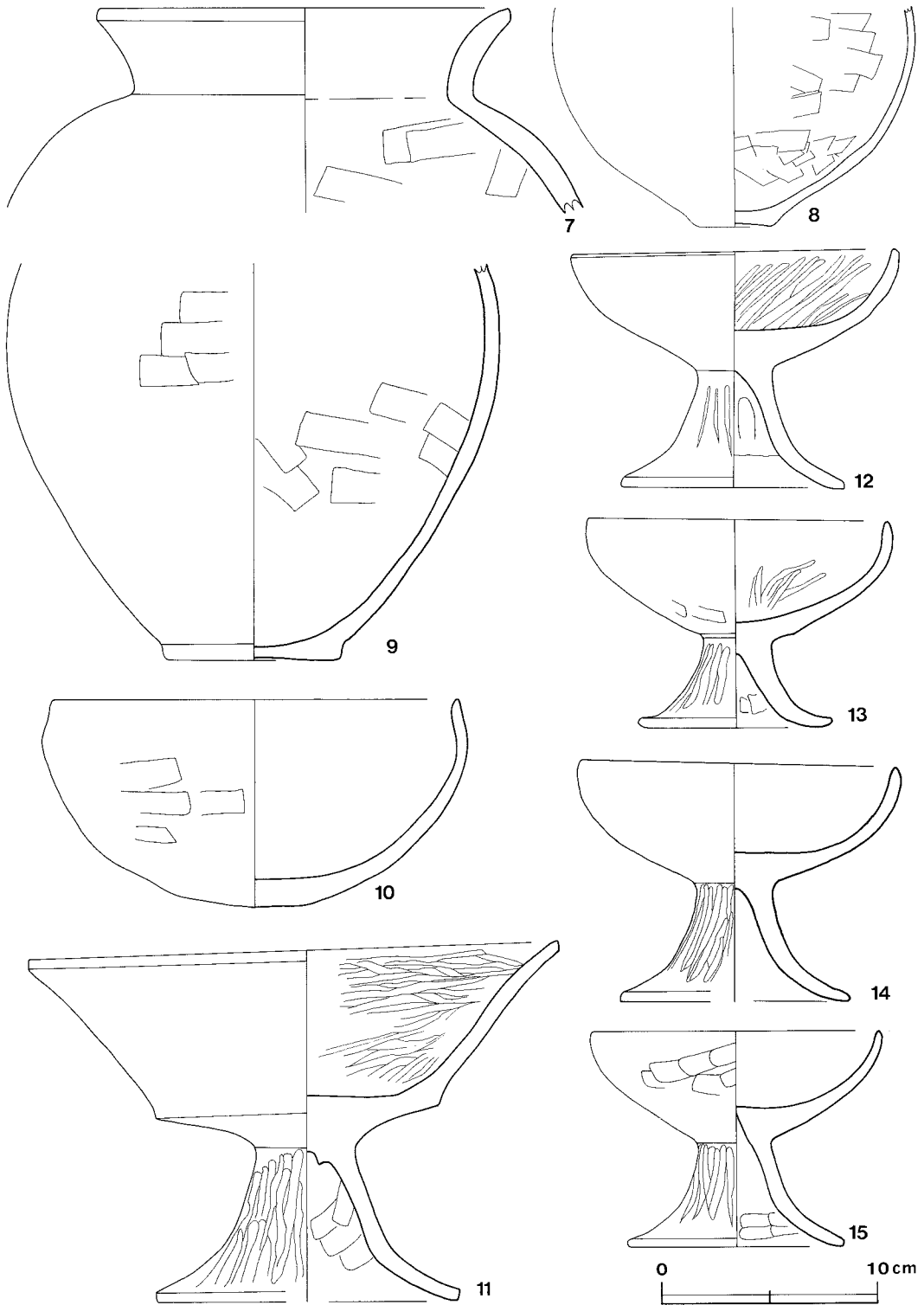
第339図 第81・82(1)号住居跡出土遺物実測図



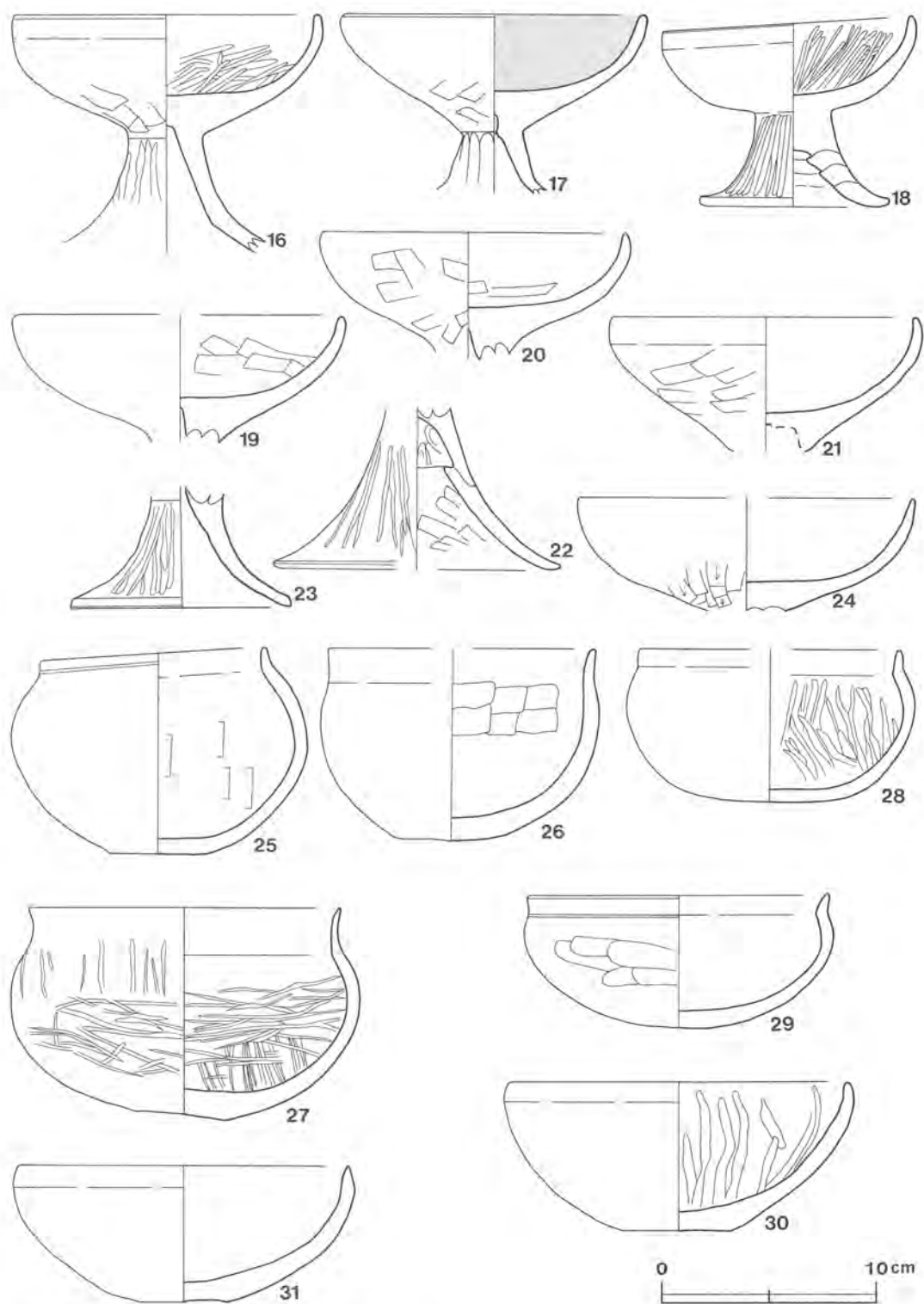
第340図 第82(2)号住居跡出土遺物実測図



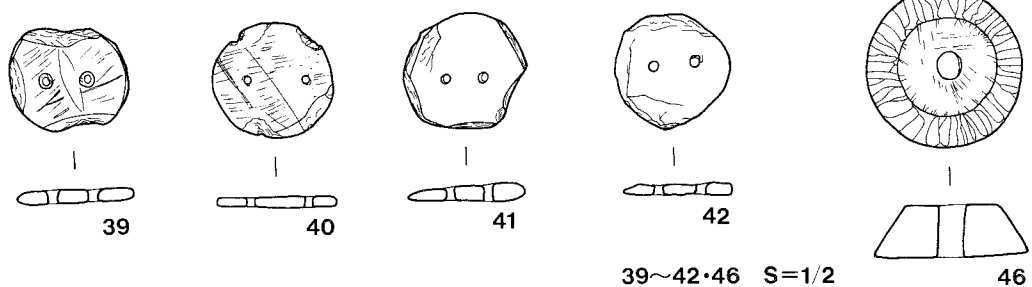
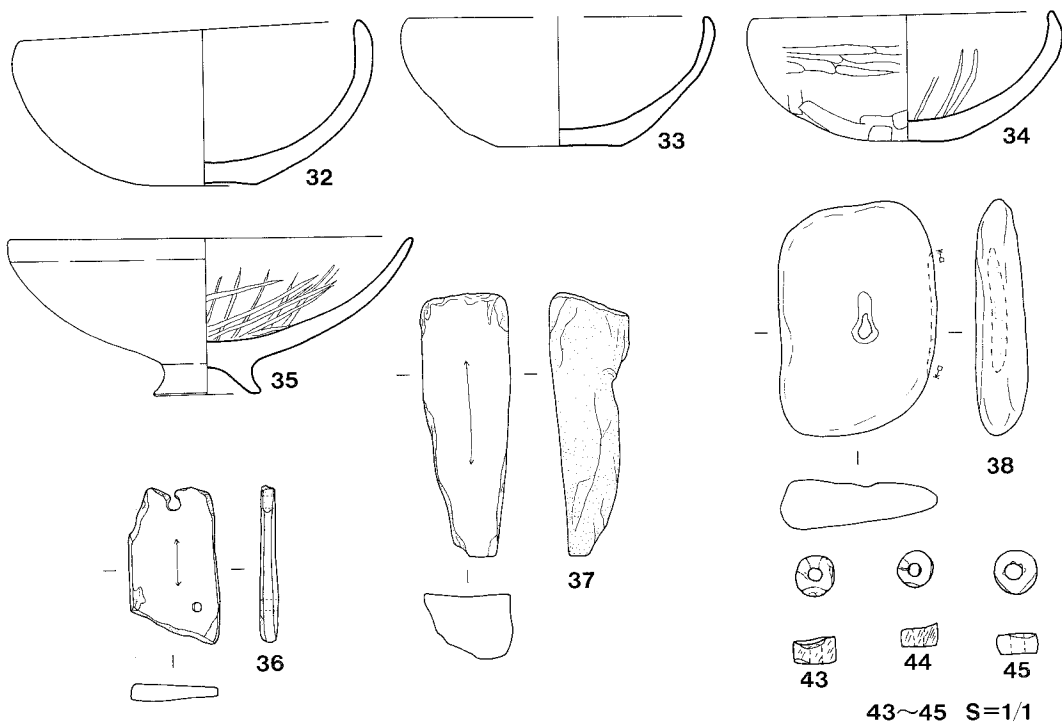
第341図 第83(1)号住居跡出土遺物実測図



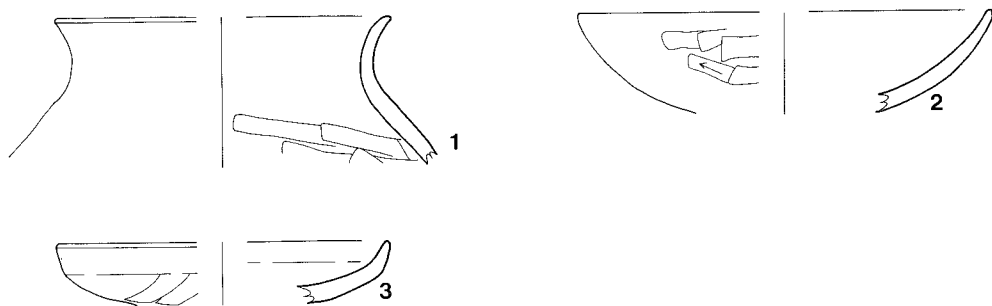
第342図 第83(2)号住居跡出土遺物実測図



第343図 第83(3)号住居跡出土遺物実測図



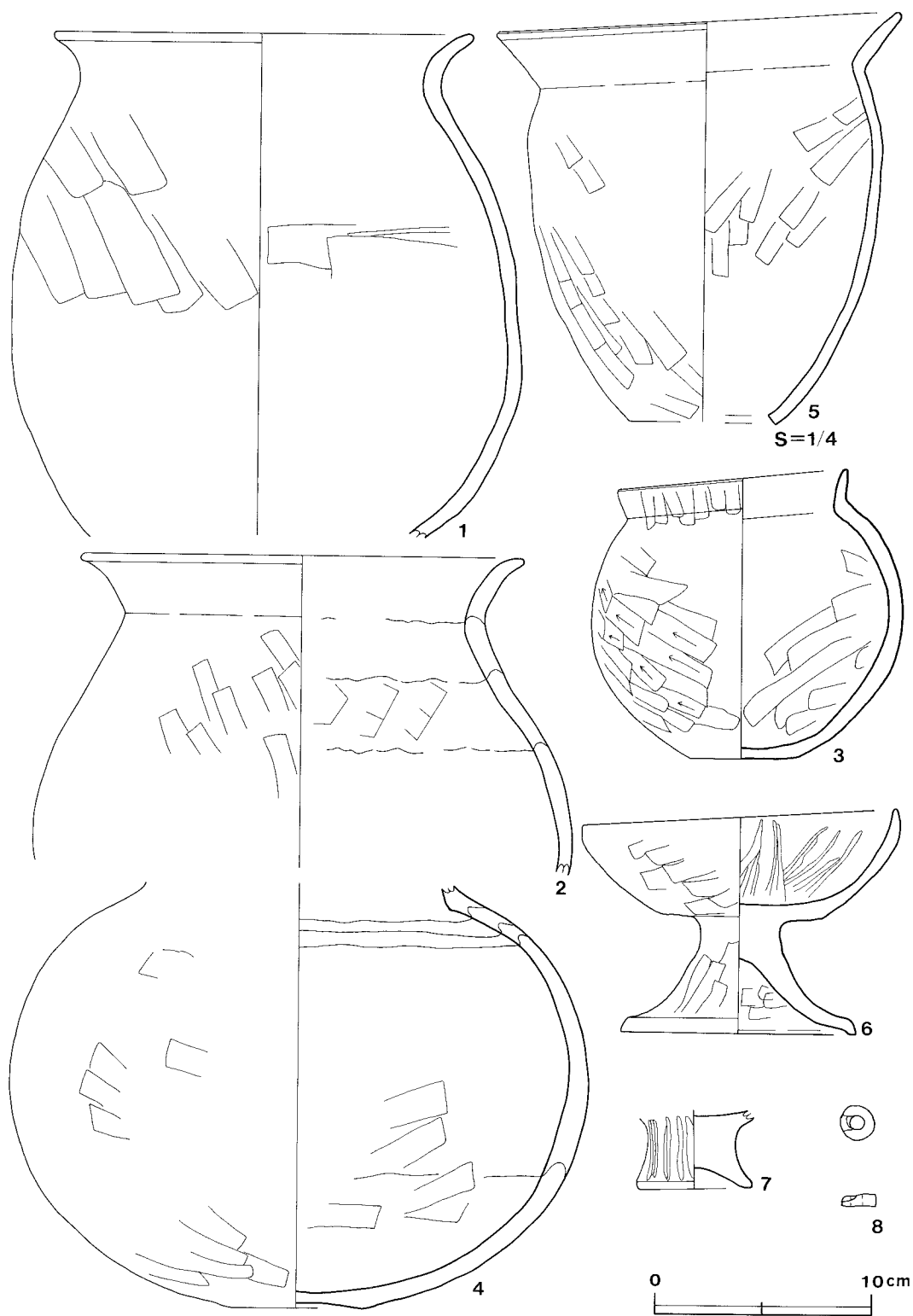
SI 83



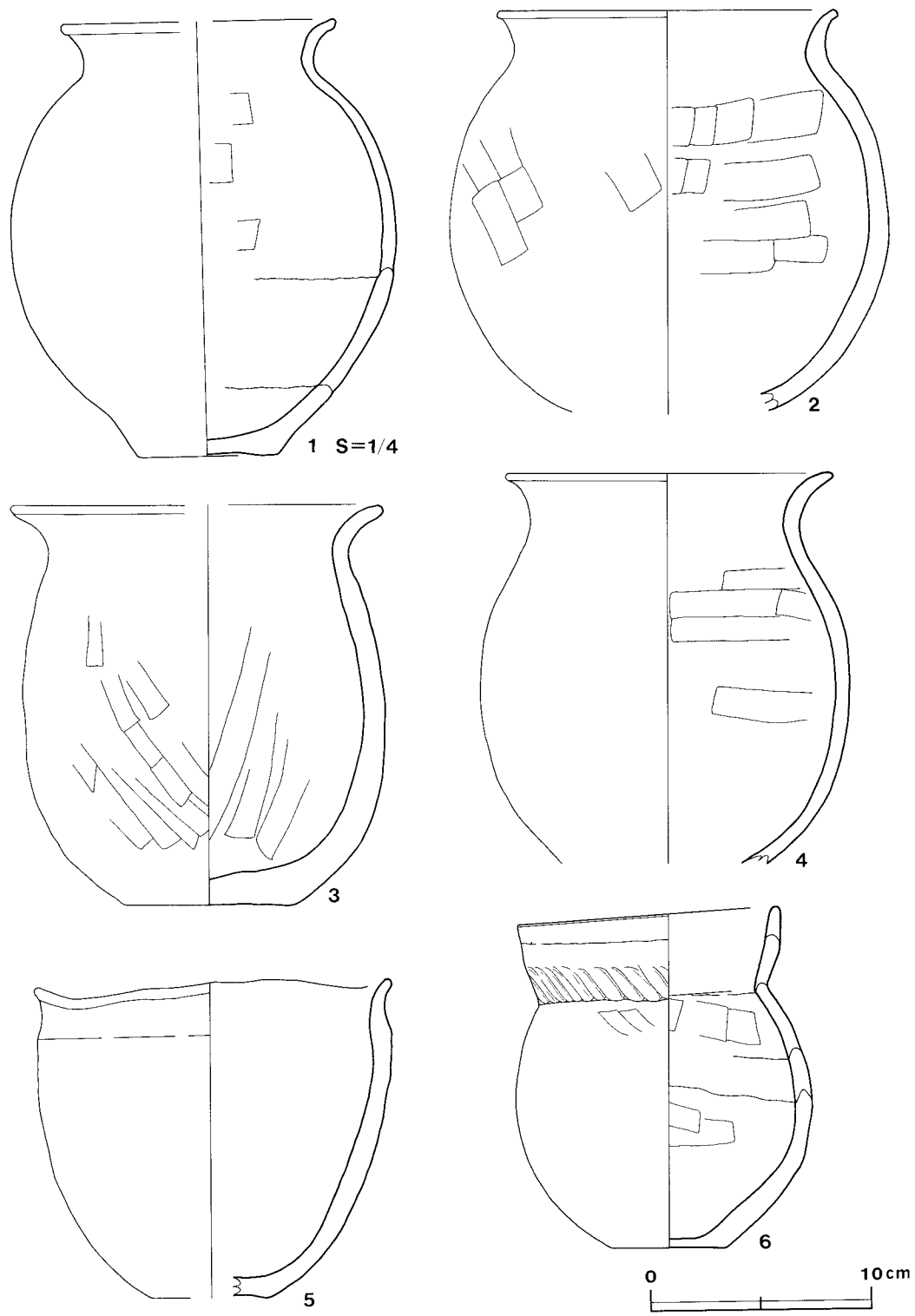
SI 85



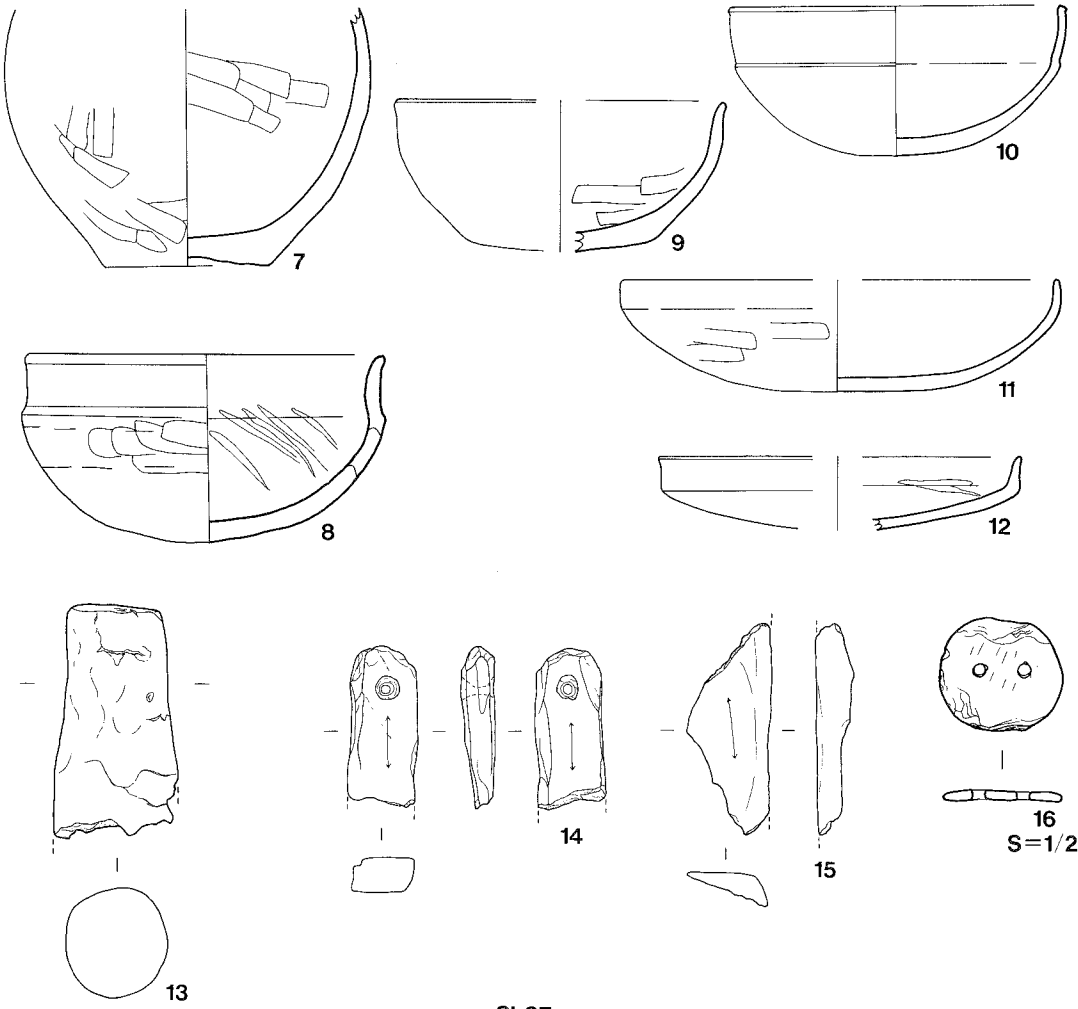
第344図 第83(4)・85号住居跡出土遺物実測図



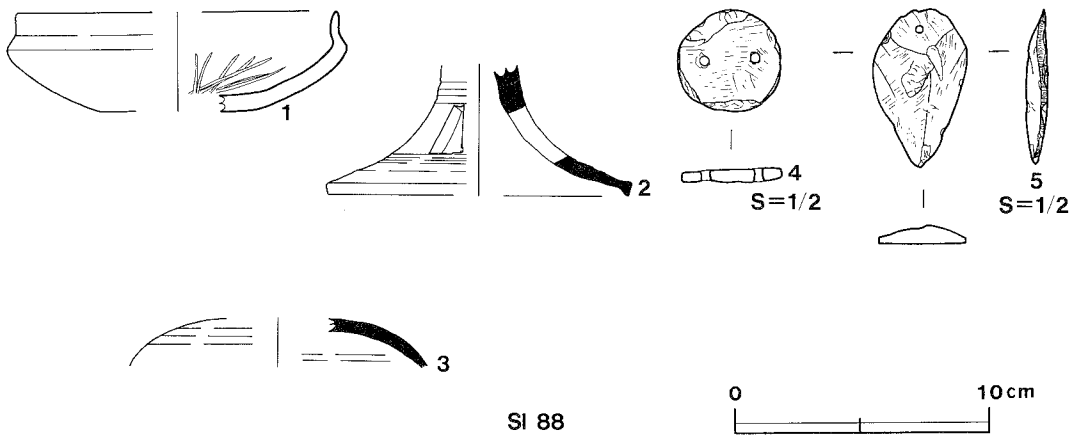
第345図 第86号住居跡出土遺物実測図



第346図 第87(1)号住居跡出土遺物実測図

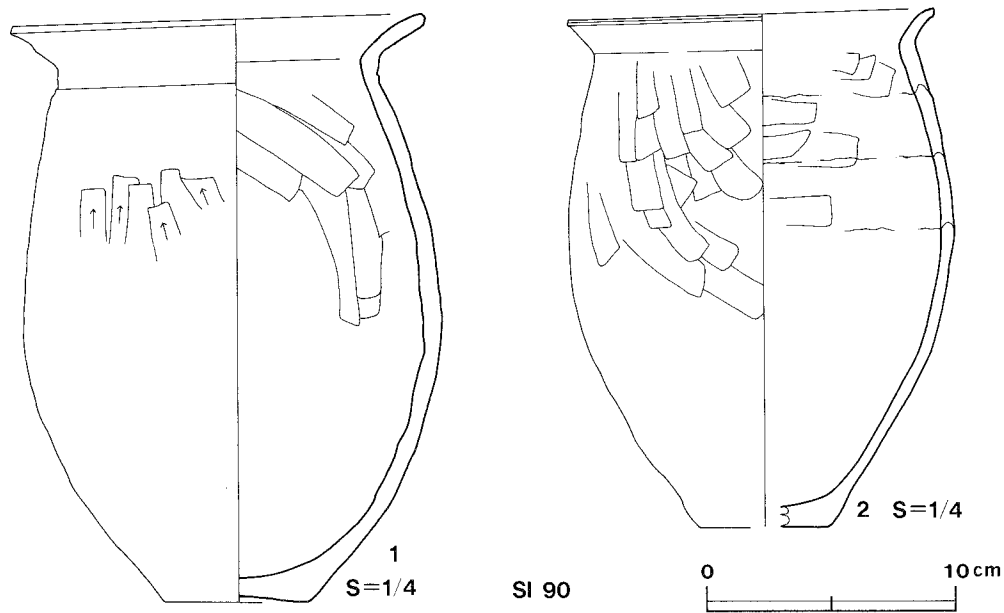
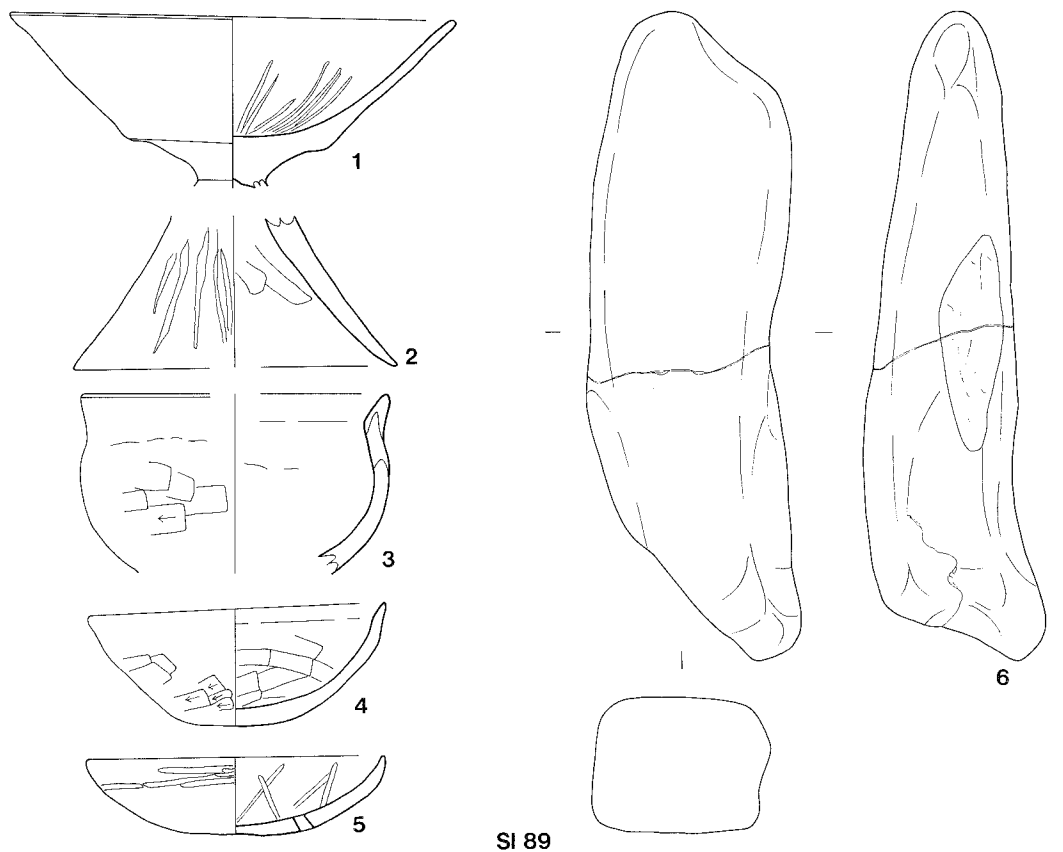


SI 87

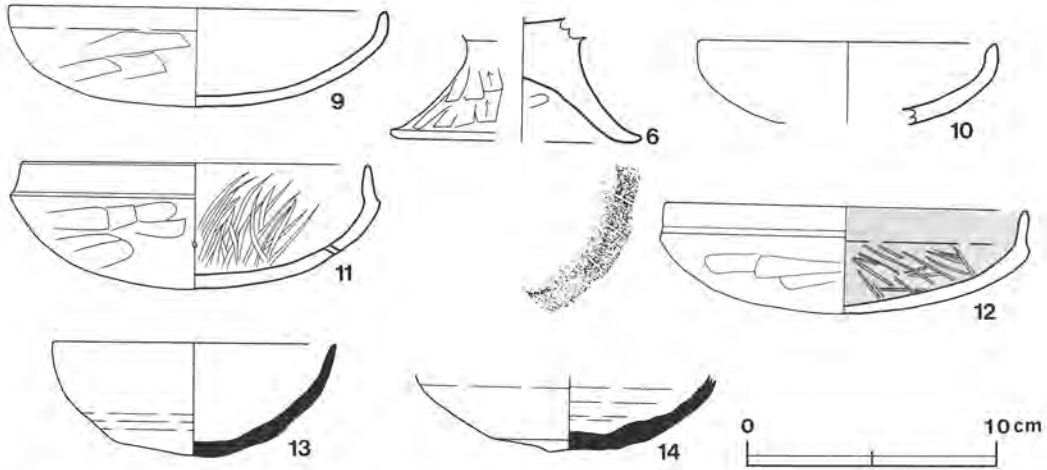
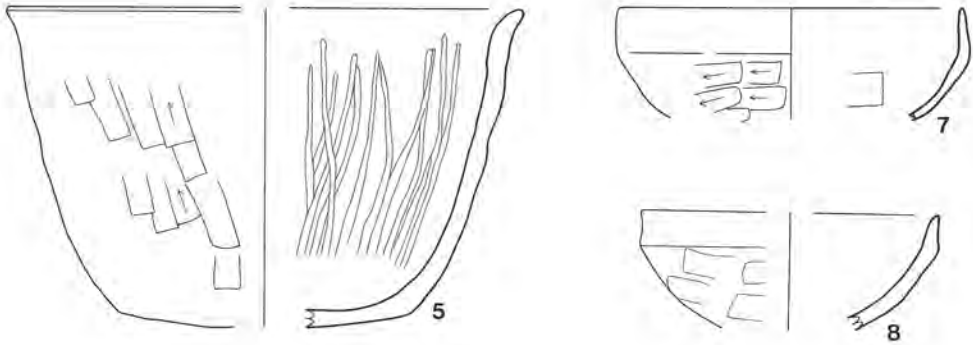
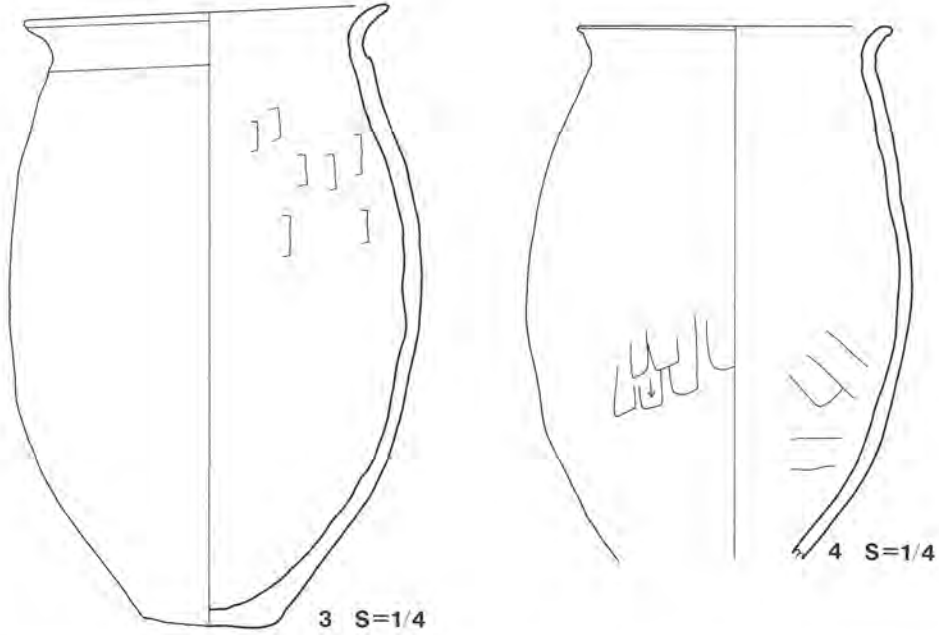


SI 88

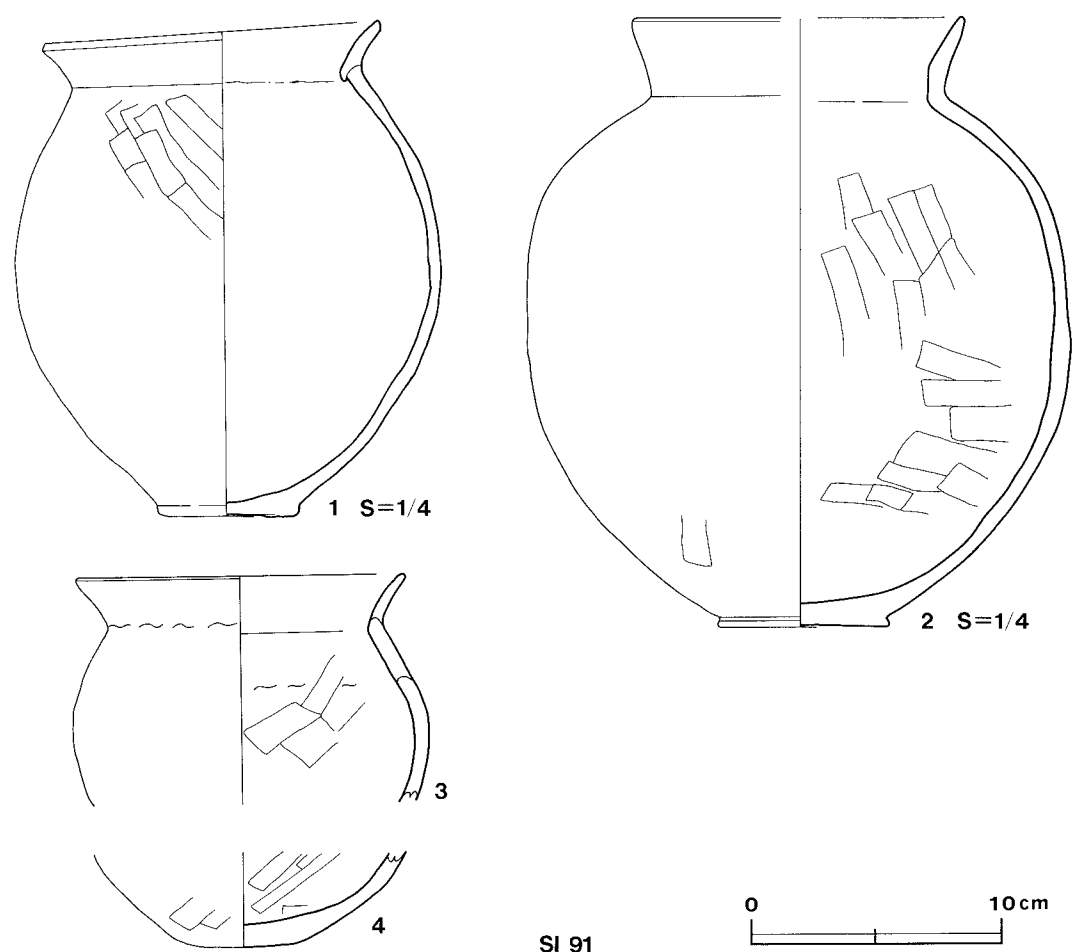
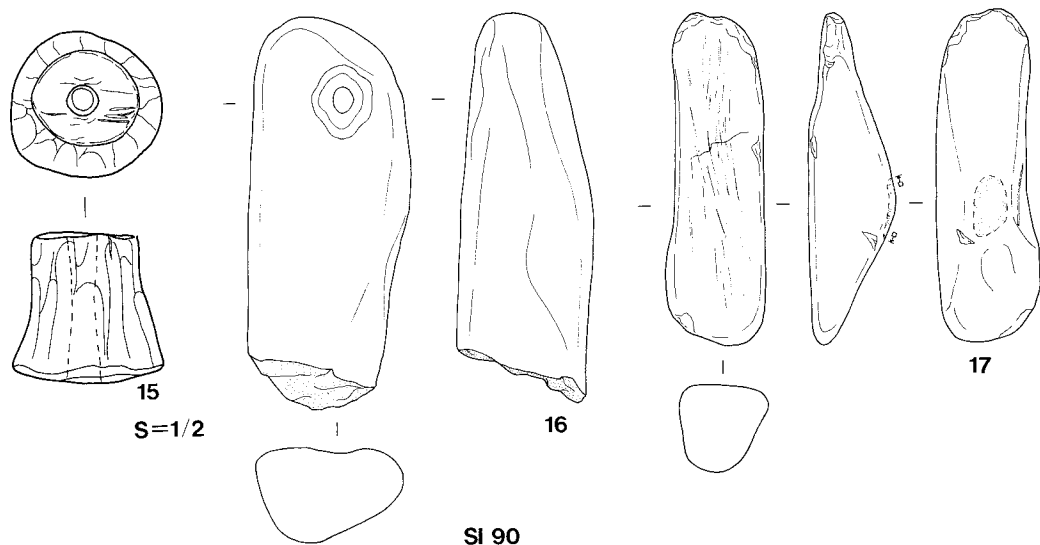
第347図 第87(2)・88号住居跡出土遺物実測図



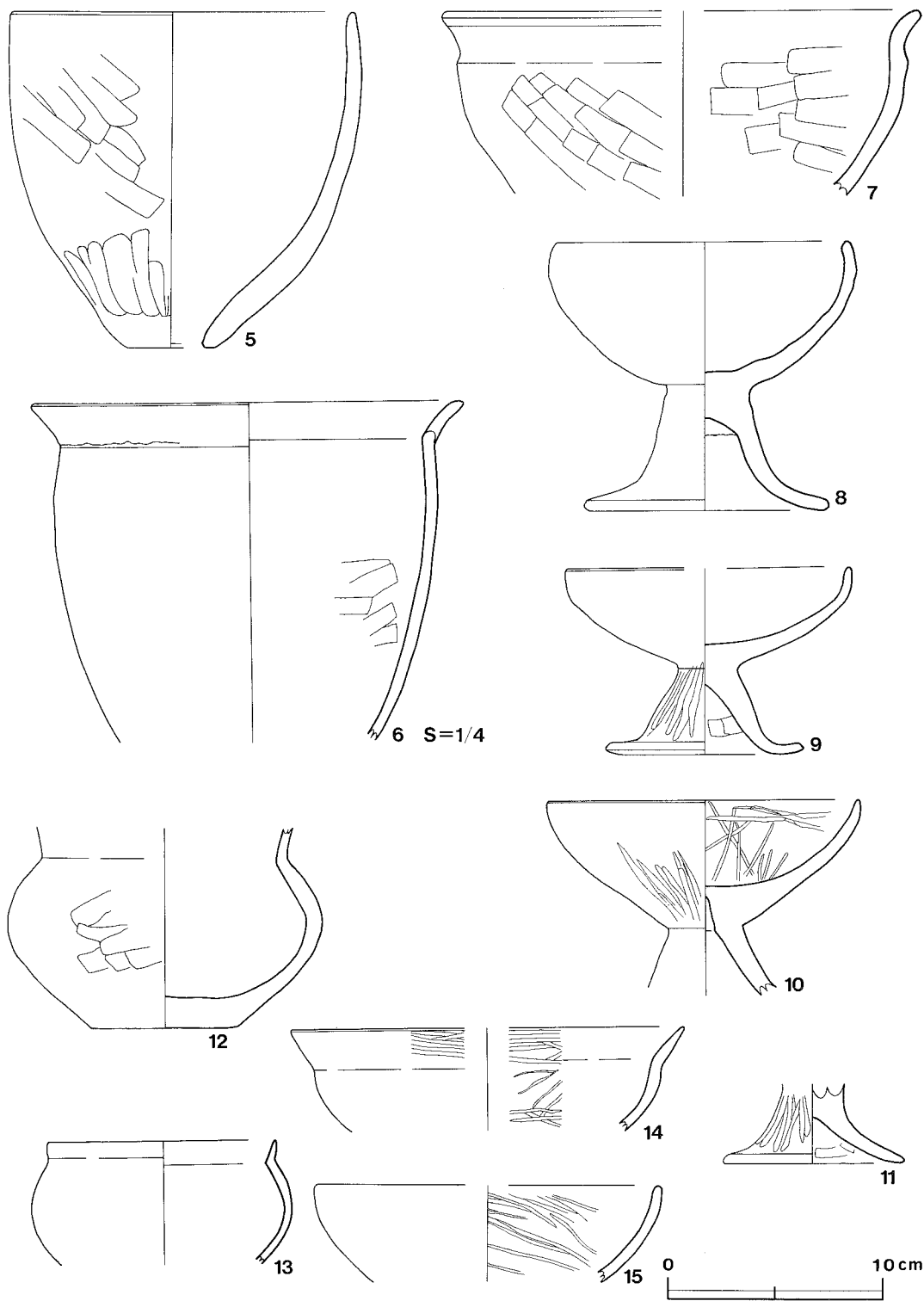
第348図 第89・90(1)号住居跡出土遺物実測図



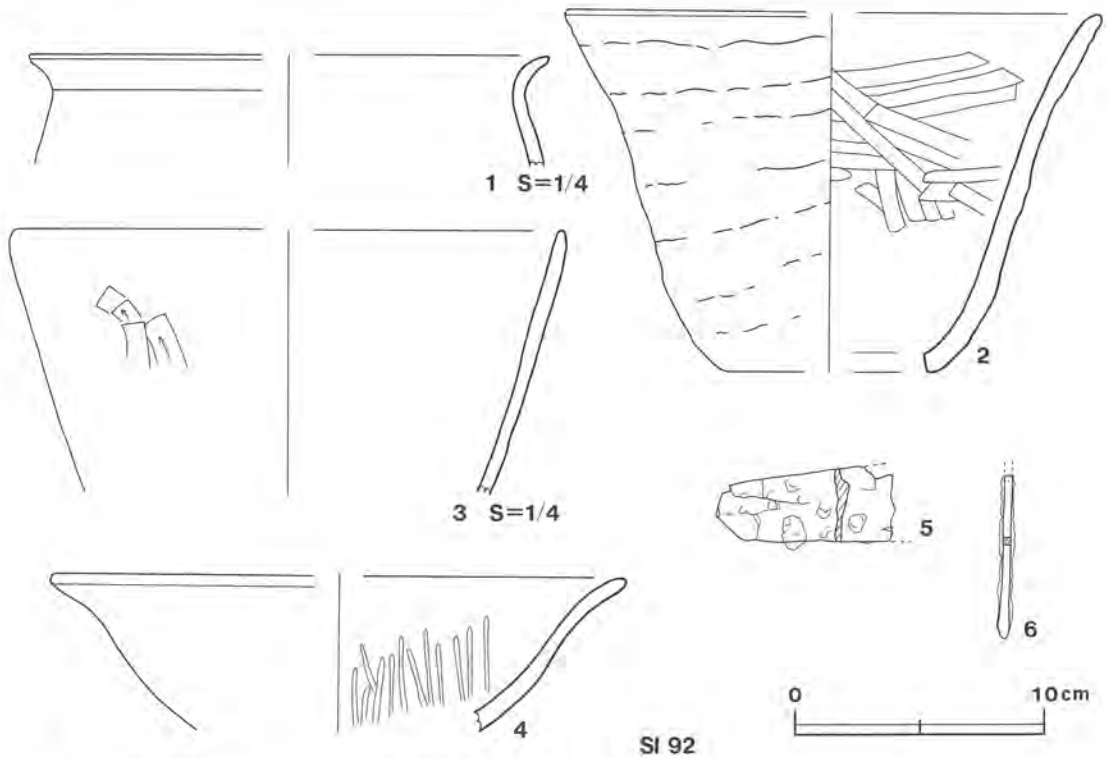
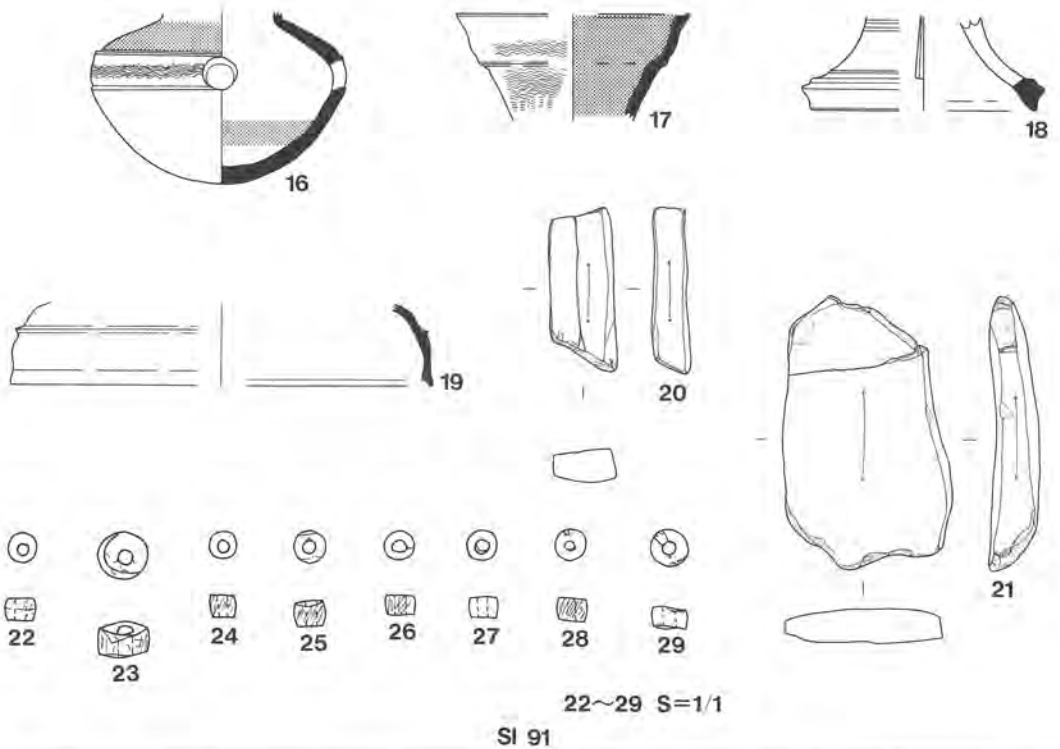
第349図 第90(2)号住居跡出土遺物実測図



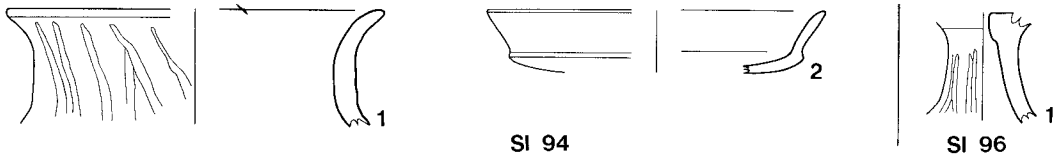
第350図 第90(3)・91(1)号住居跡出土遺物実測図



第351図 第91(2)号住居跡出土遺物実測図

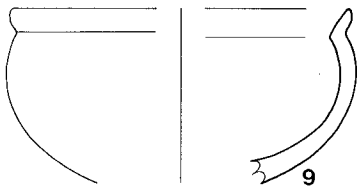
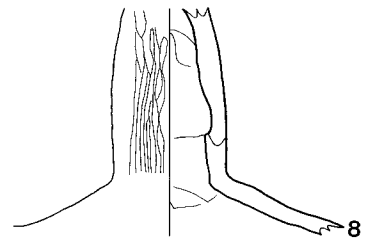
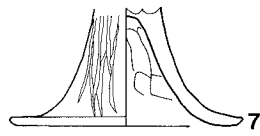
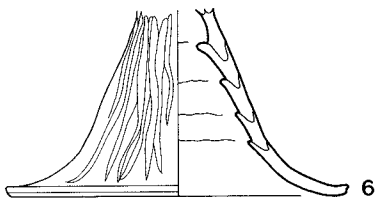
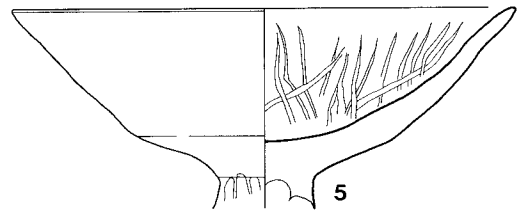
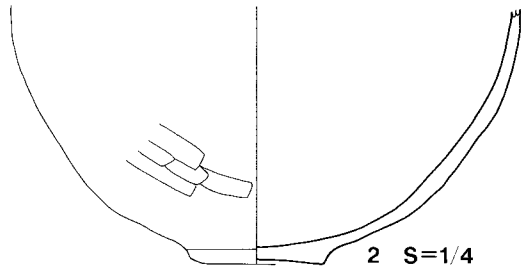
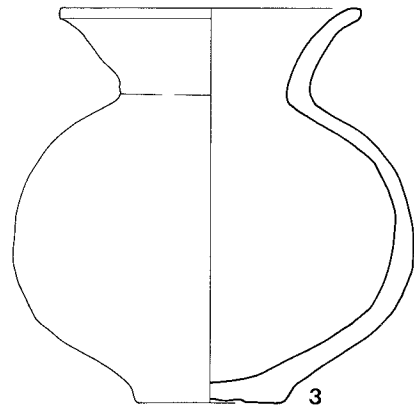
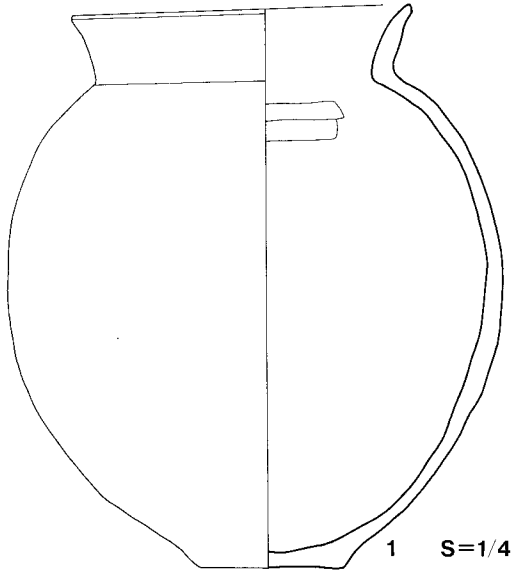


第352図 第91(3)・92号住居跡出土遺物実測図

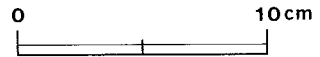


SI 94

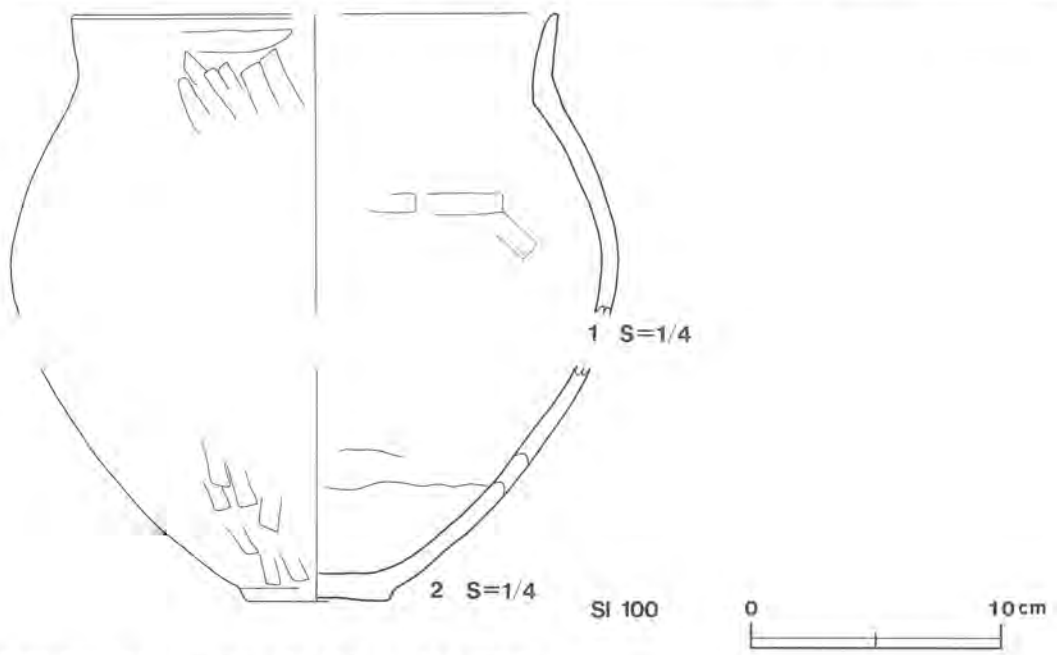
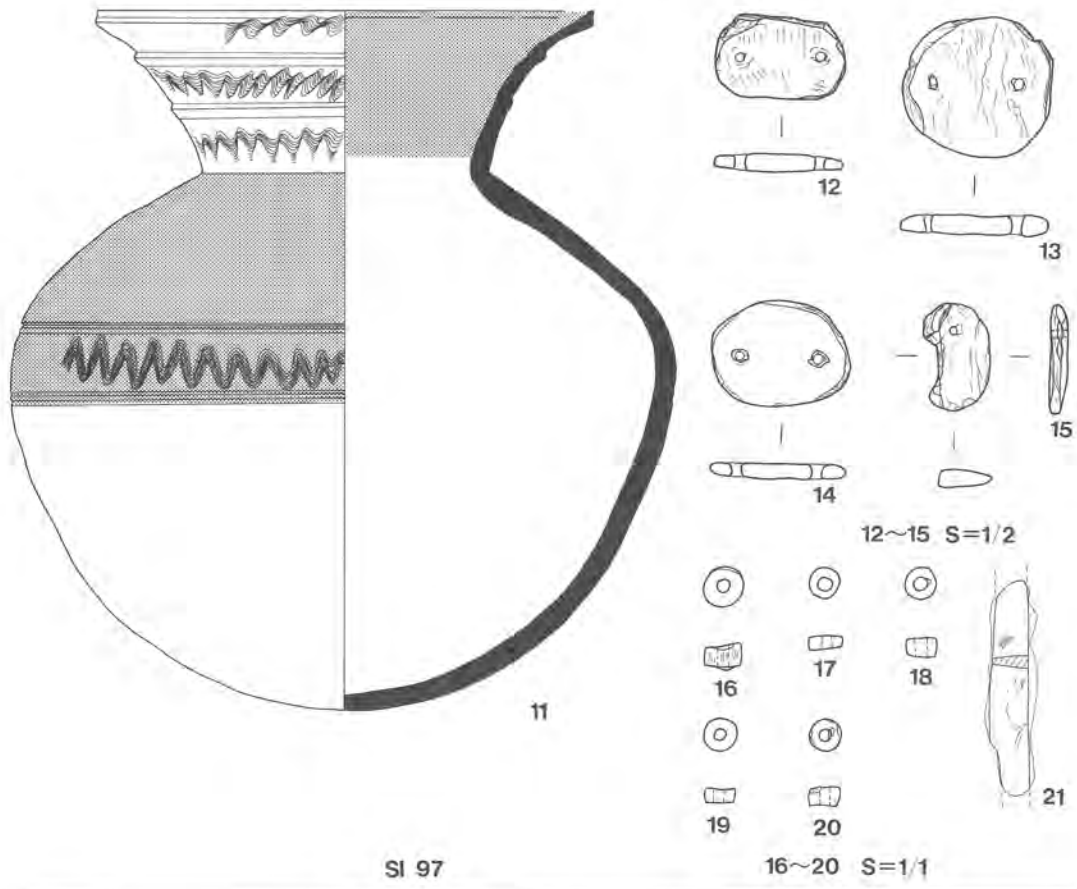
SI 96



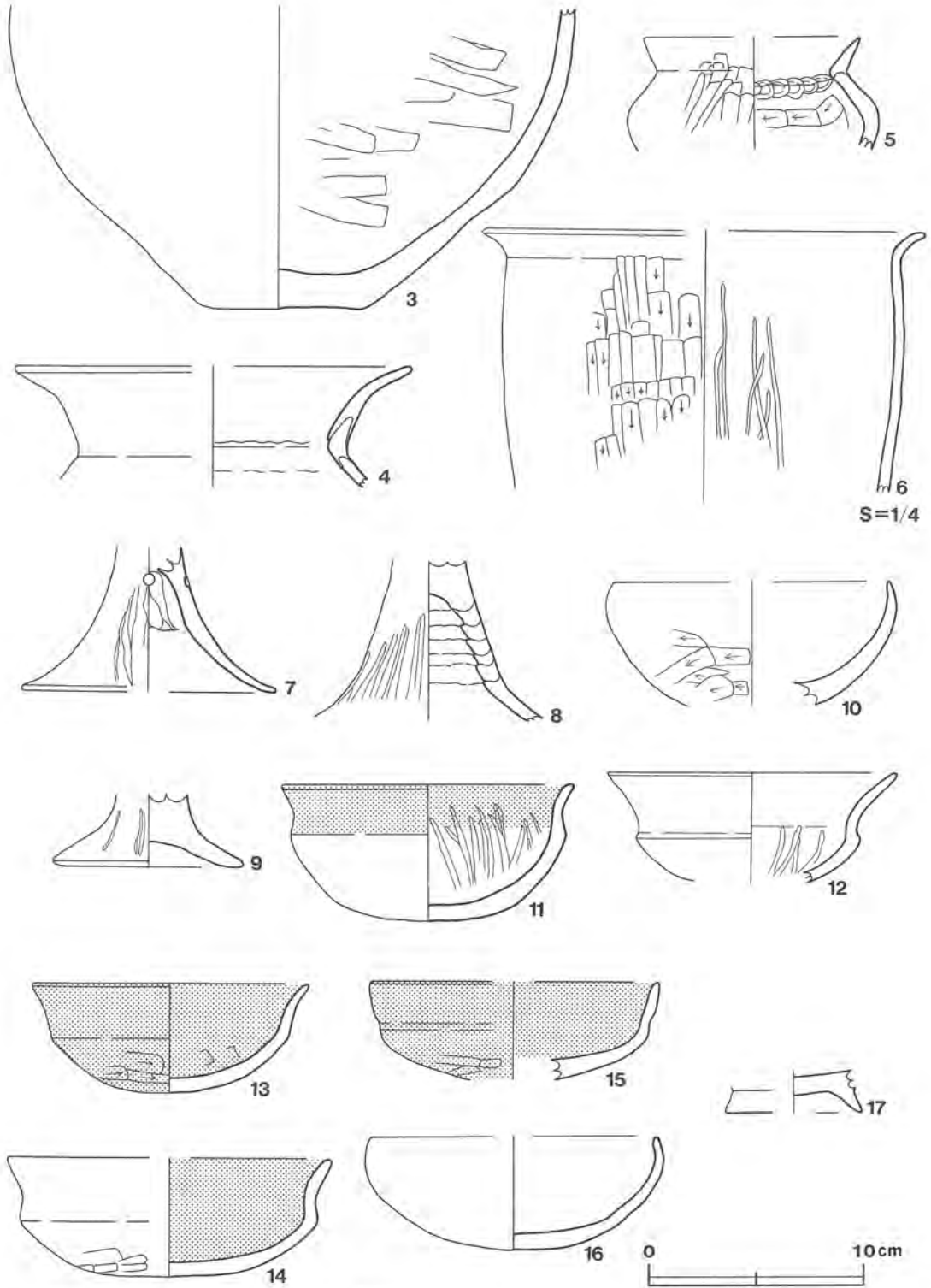
SI 97



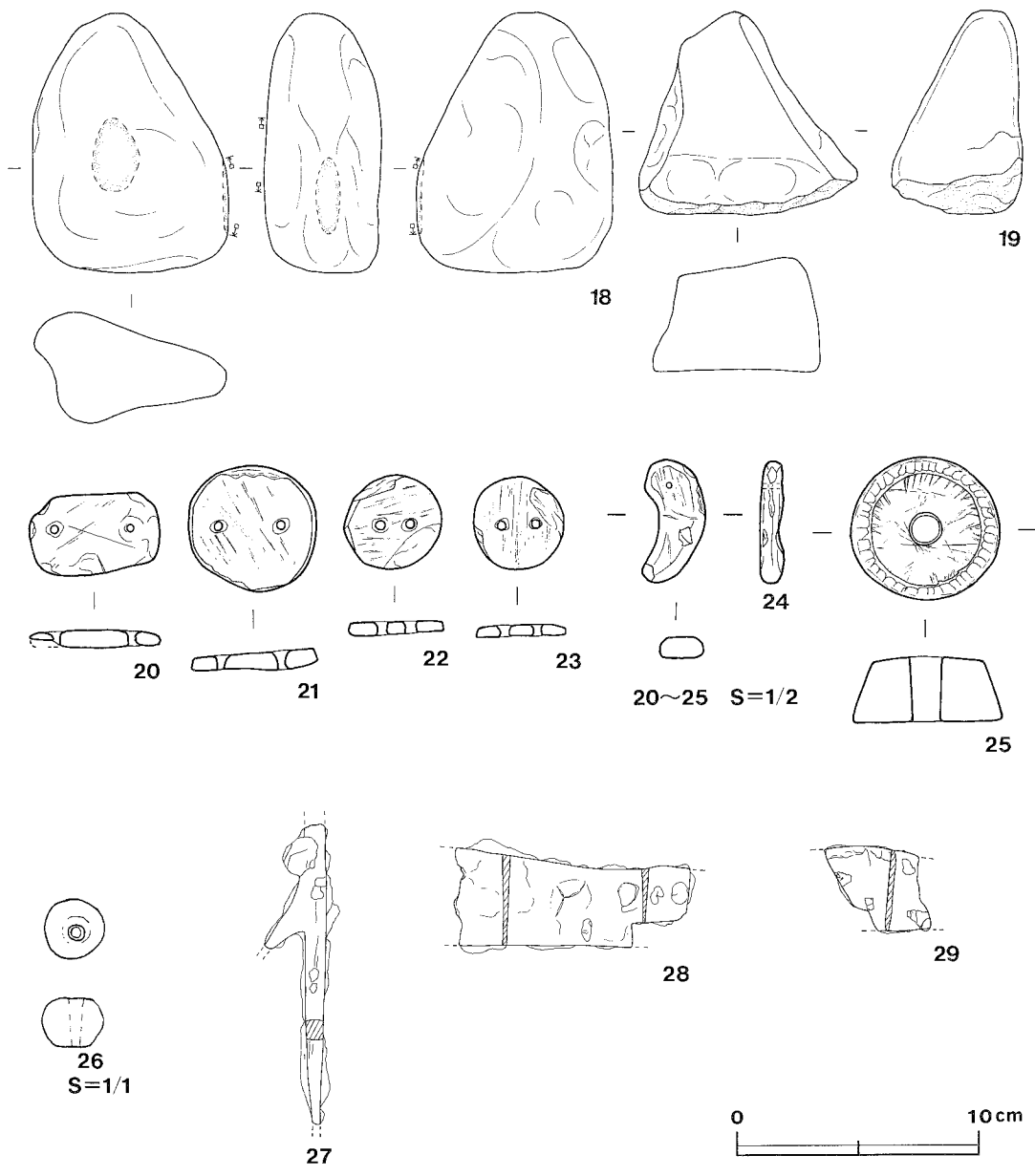
第353図 第94・96・97(1)号住居跡出土遺物実測図



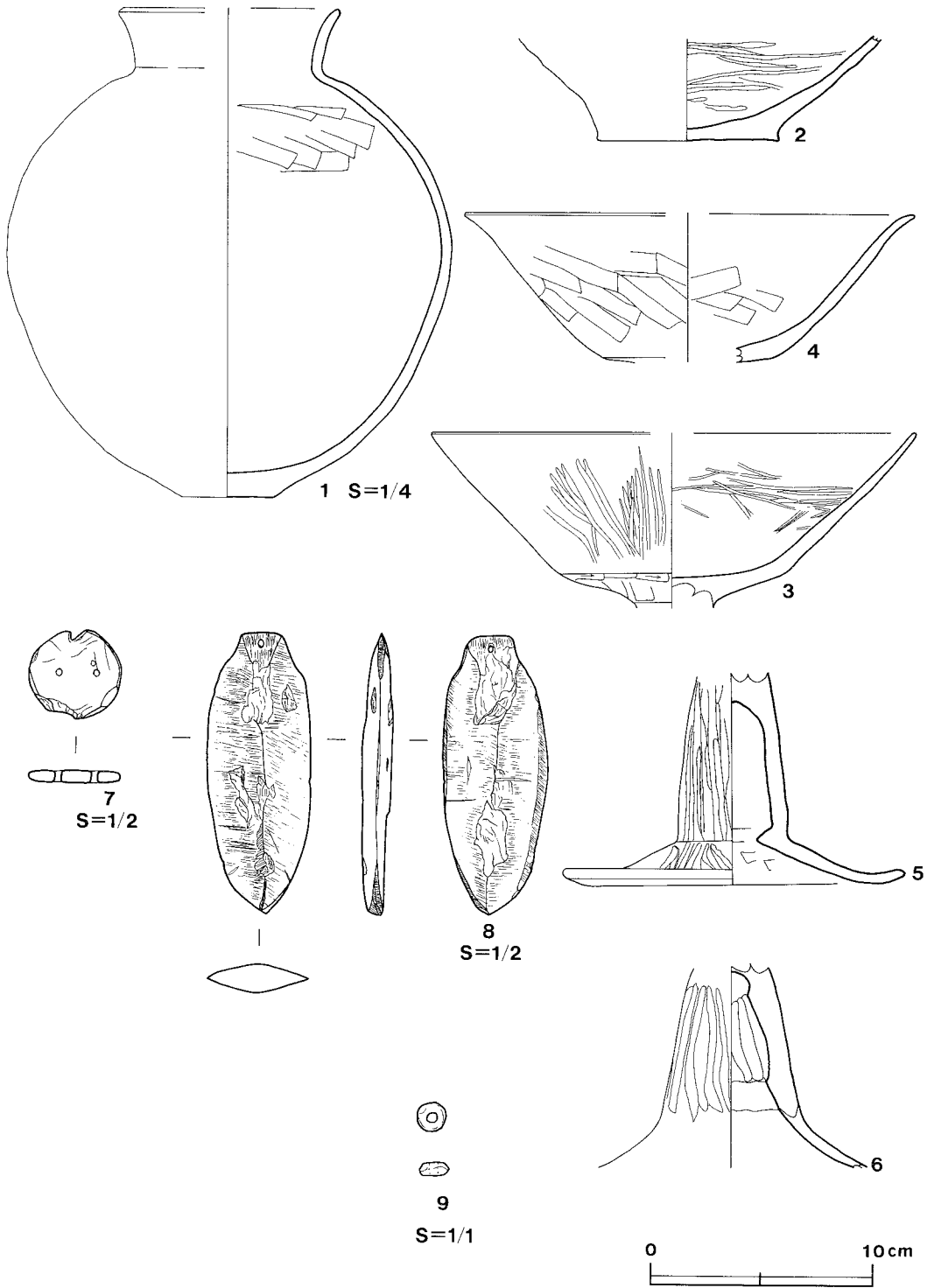
第354図 第97(2)・100(1)号住居跡出土遺物実測図



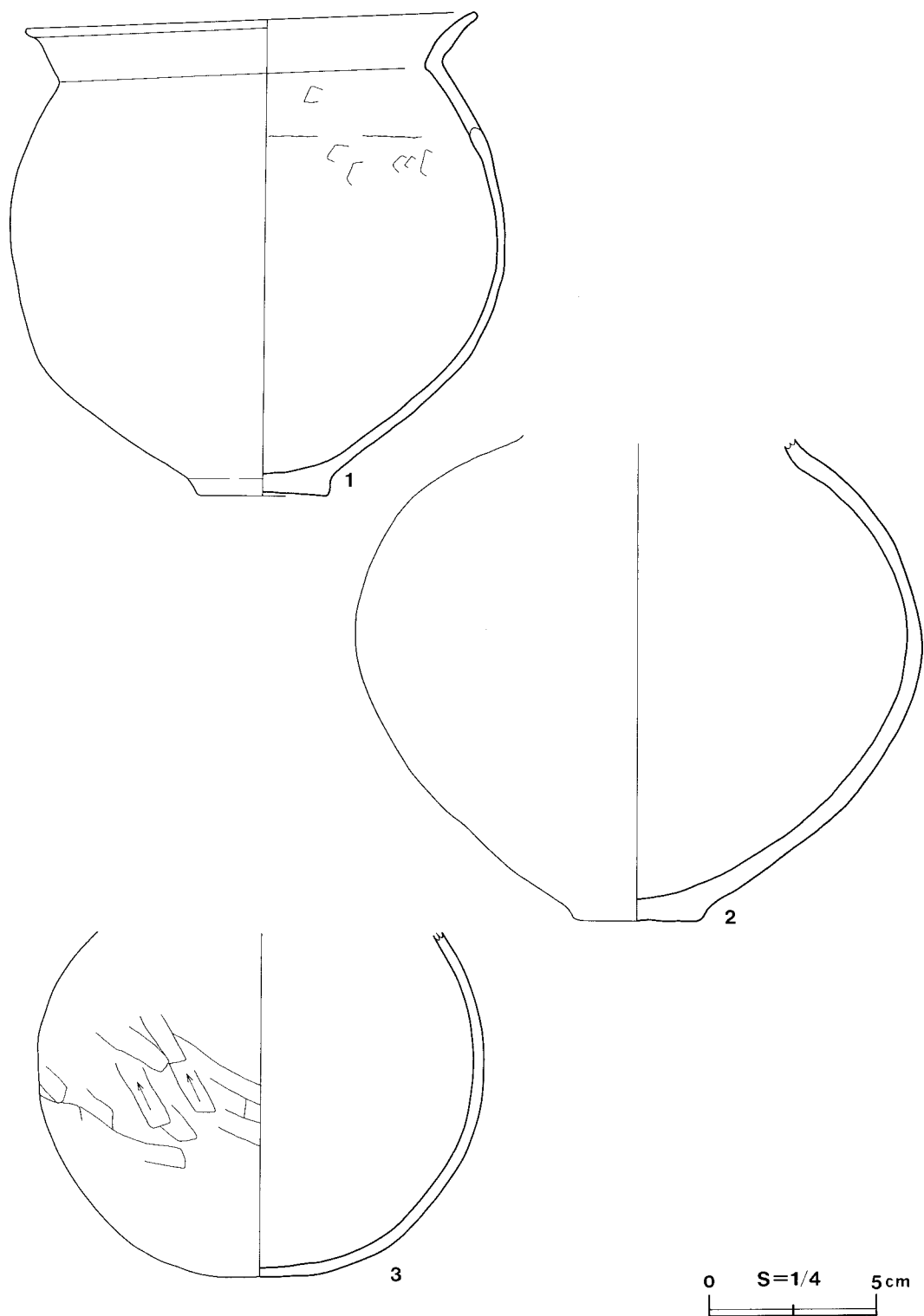
第355図 第100(2)号住居跡出土遺物実測図



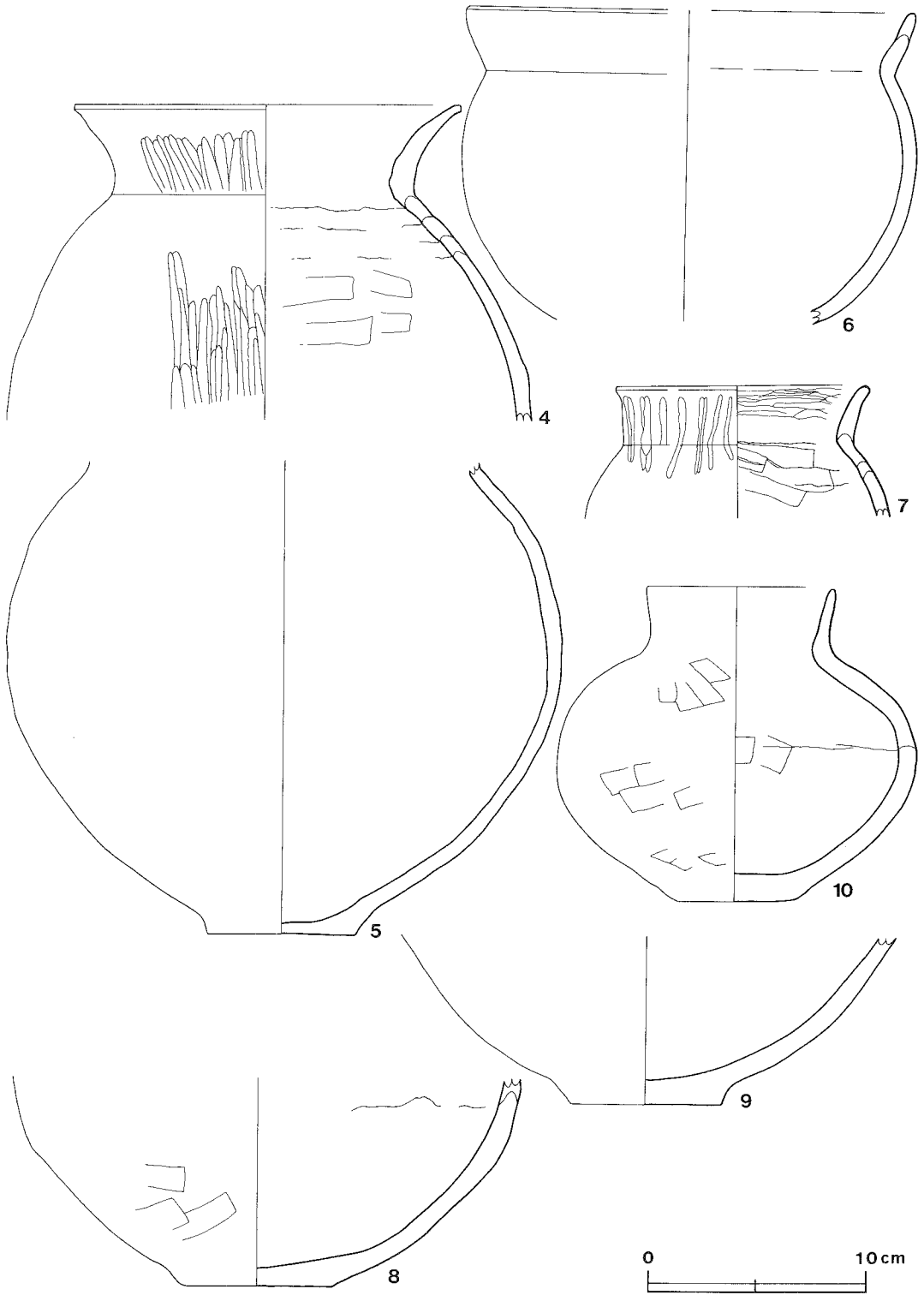
第356図 第100(3)号住居跡出土遺物実測図



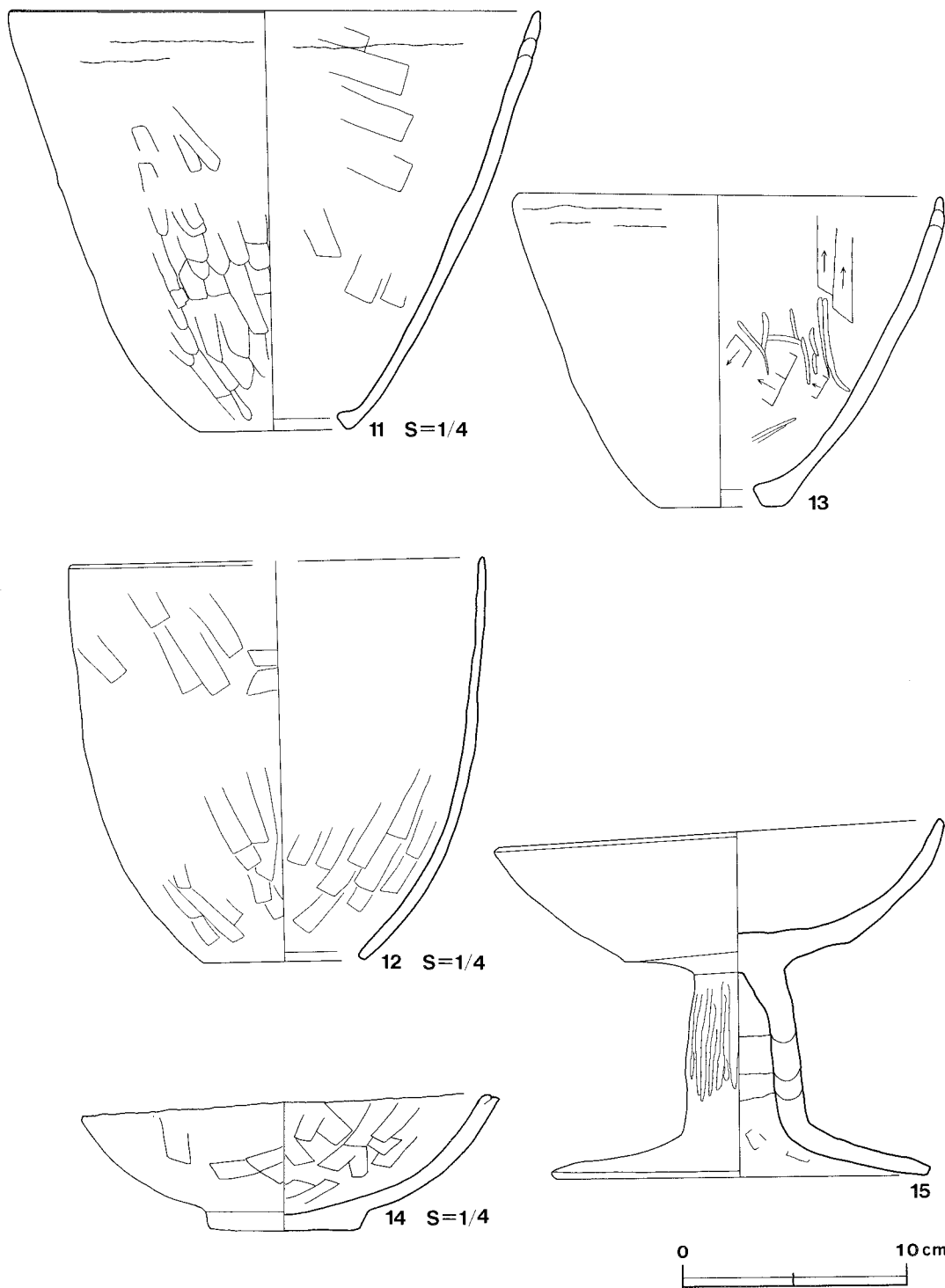
第357図 第101号住居跡出土遺物実測図



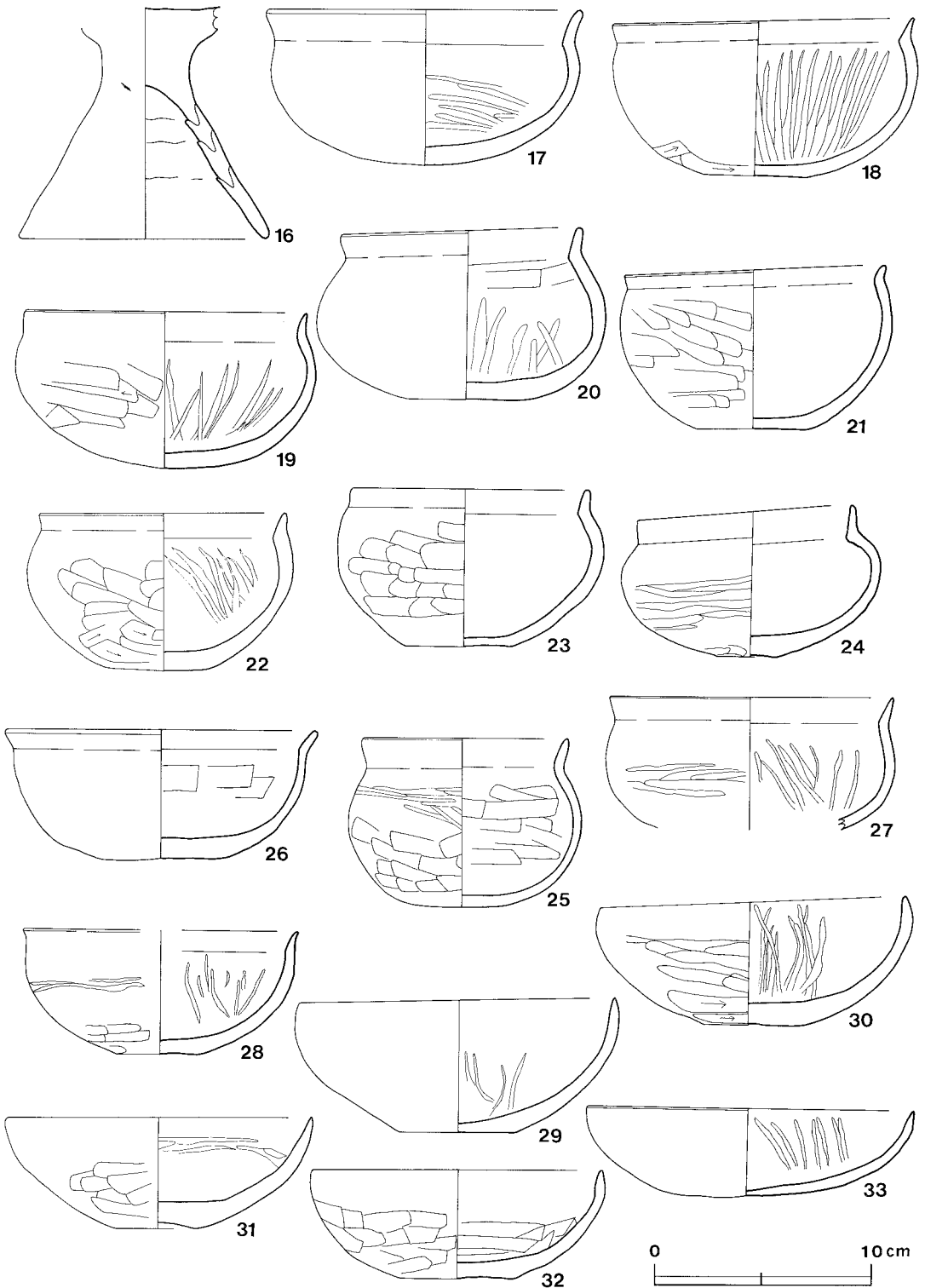
第358図 第102(1)号住居跡出土遺物実測図



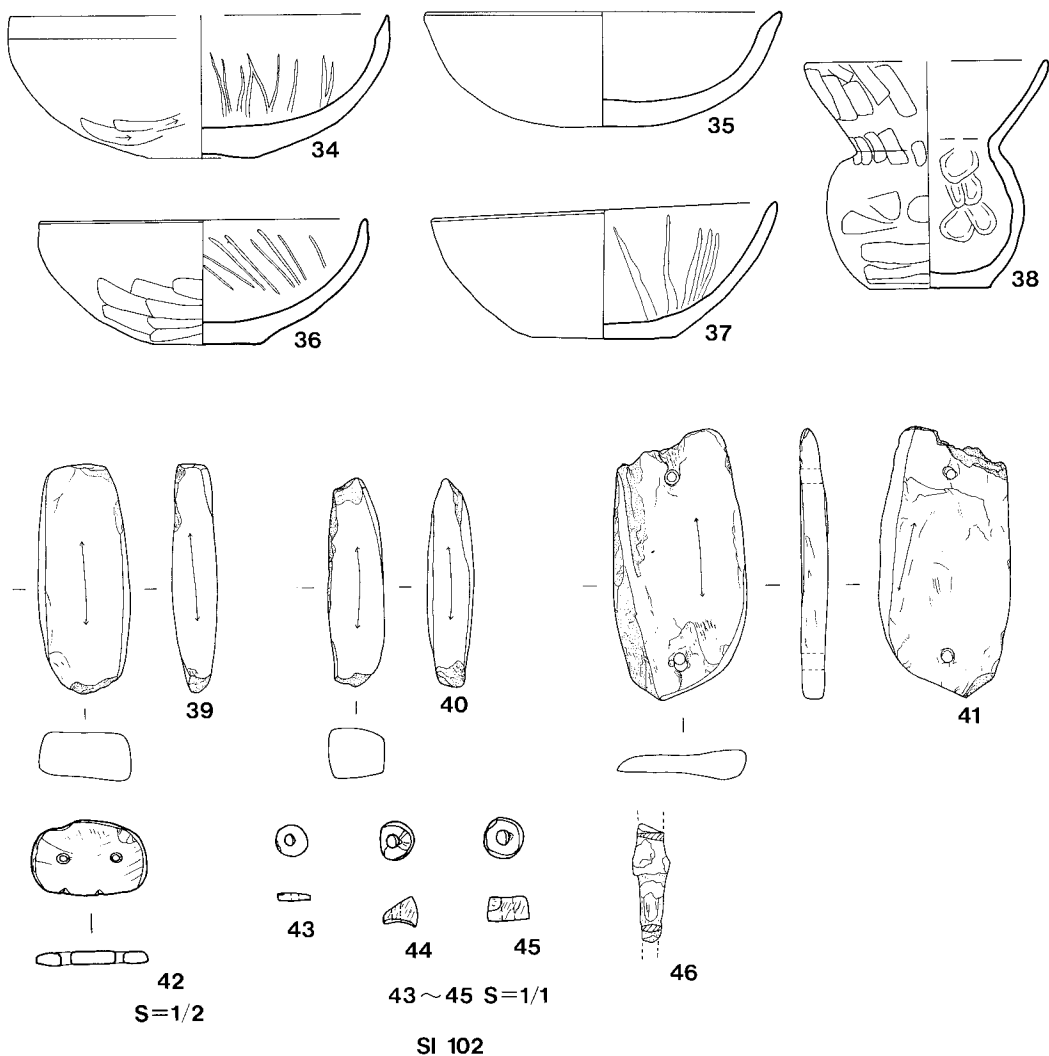
第359図 第102(2)号住居跡出土遺物実測図



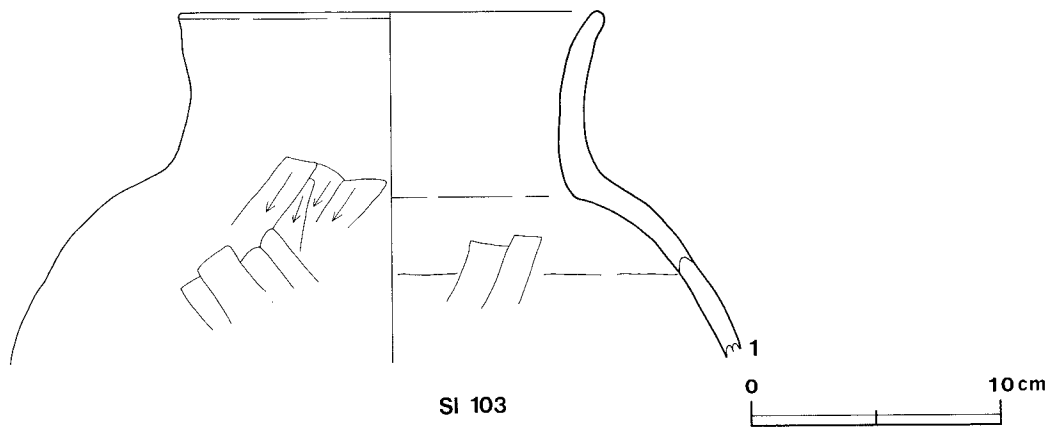
第360図 第102(3)号住居跡出土遺物実測図



第361図 第102(4)号住居跡出土遺物実測図

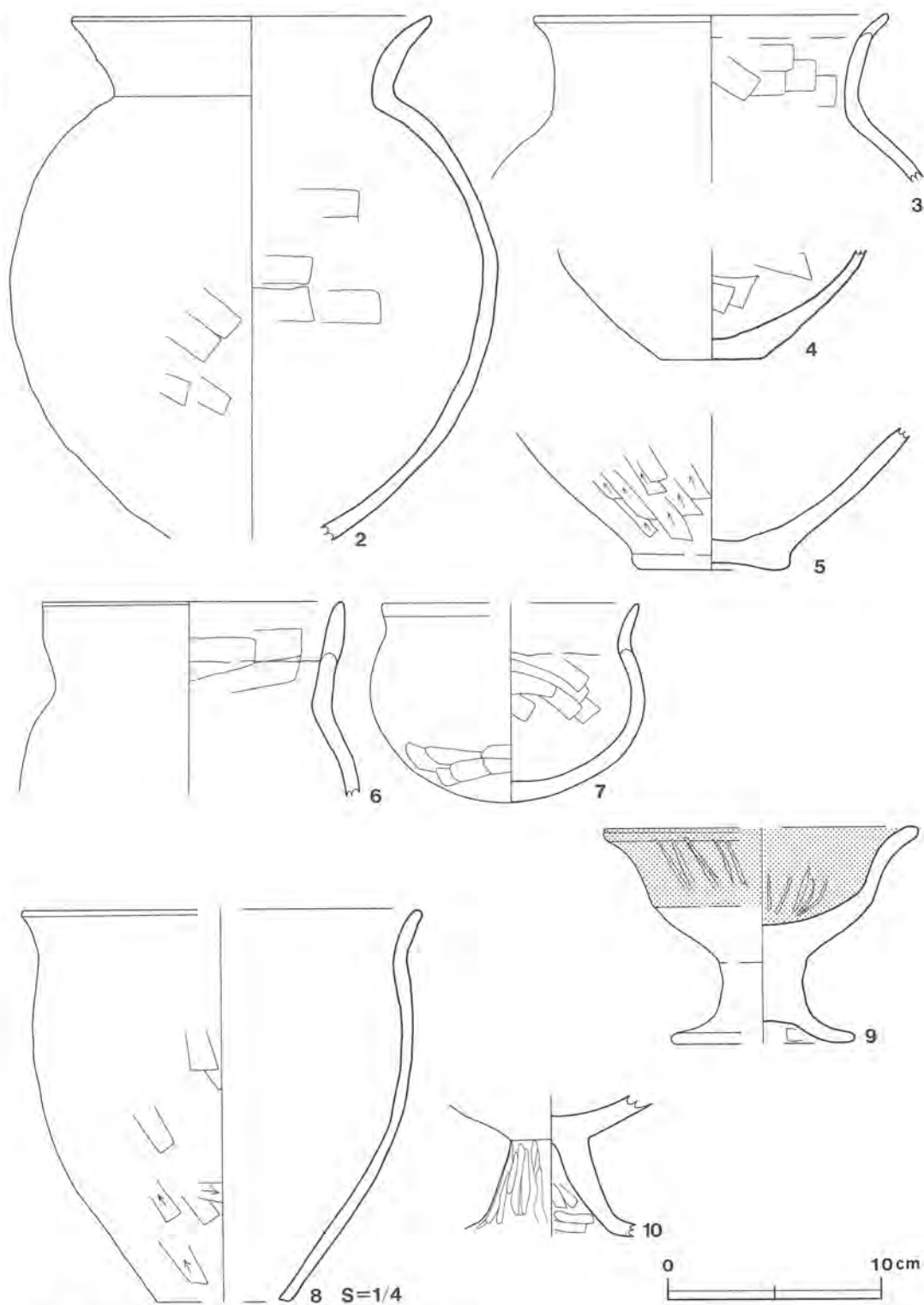


SI 102

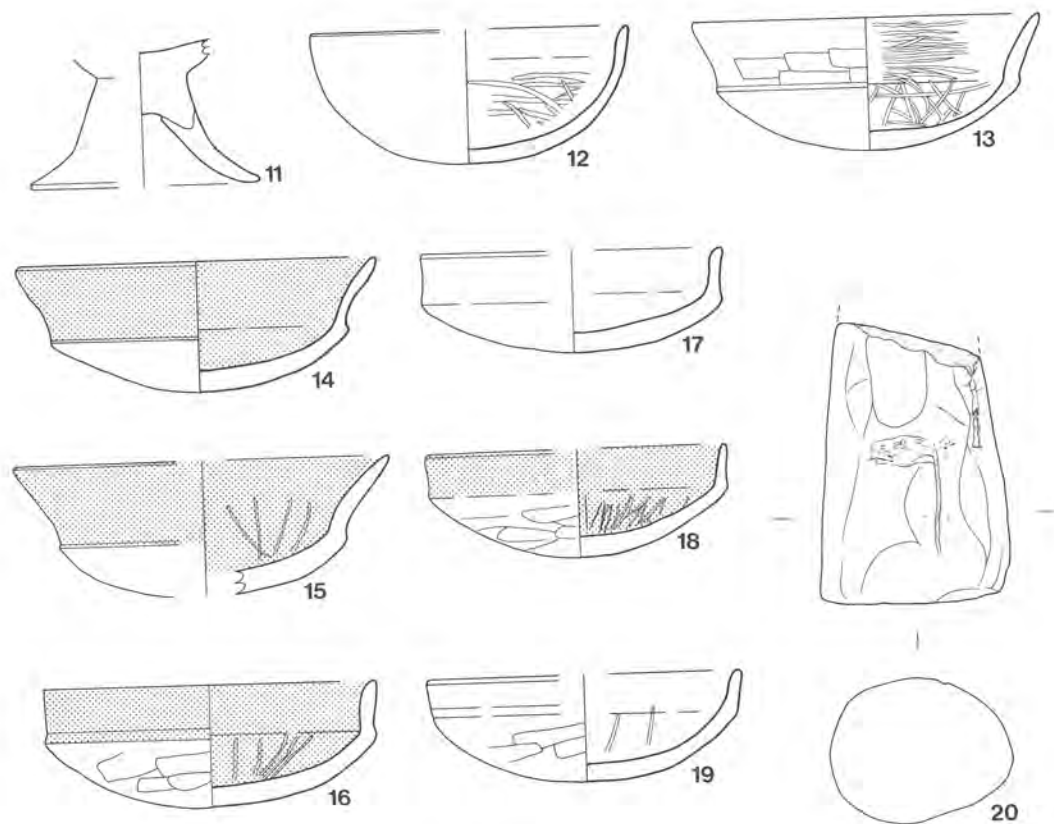


SI 103

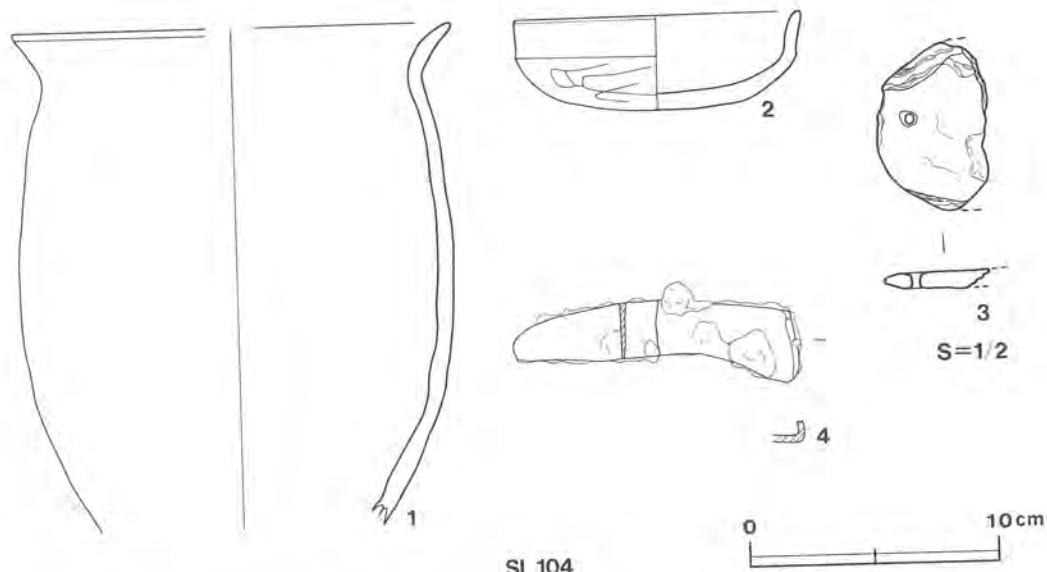
第362図 第102(5)・103(1)号住居跡出土遺物実測図



第363図 第103(2)号住居跡出土遺物実測図

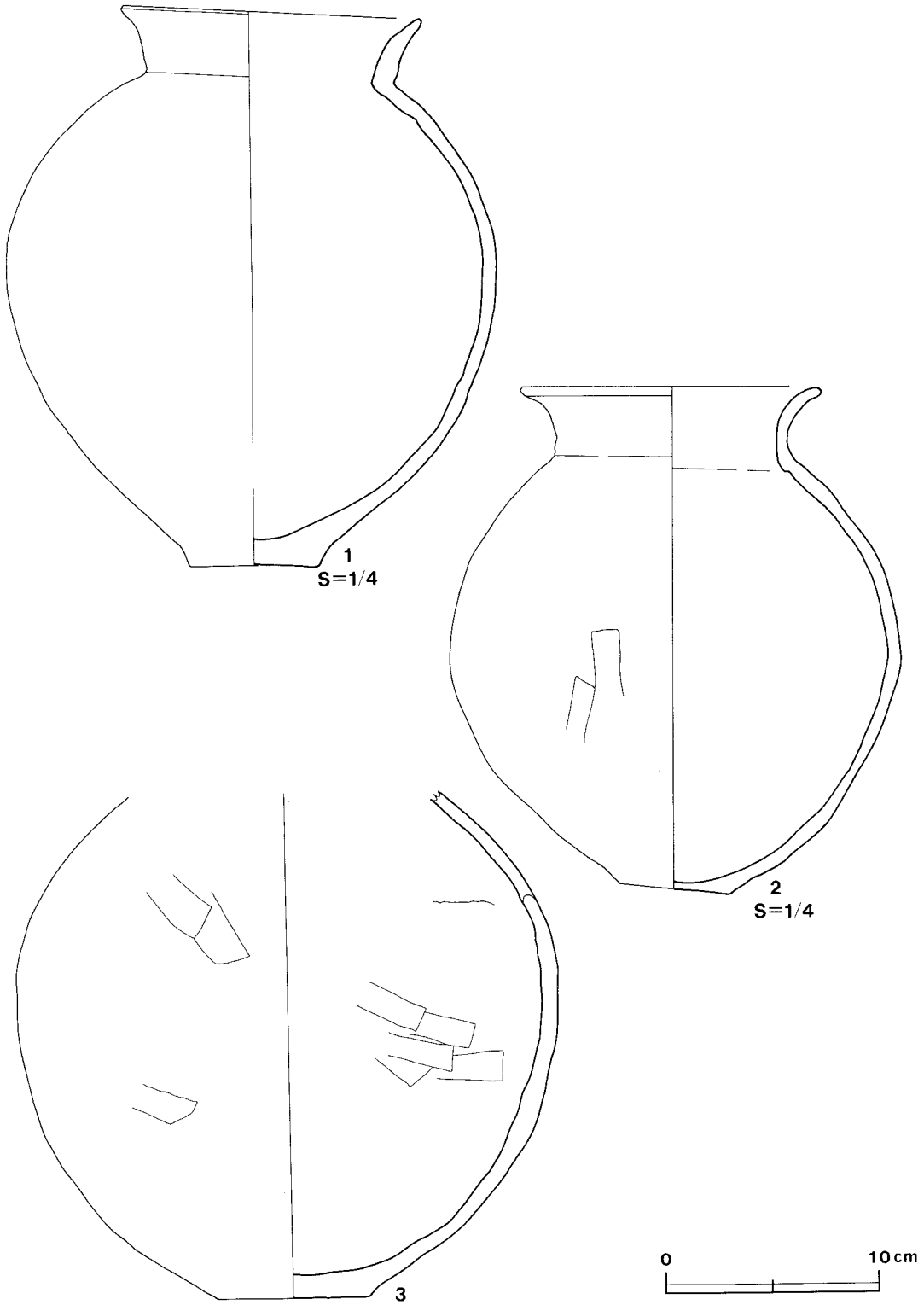


SI 103

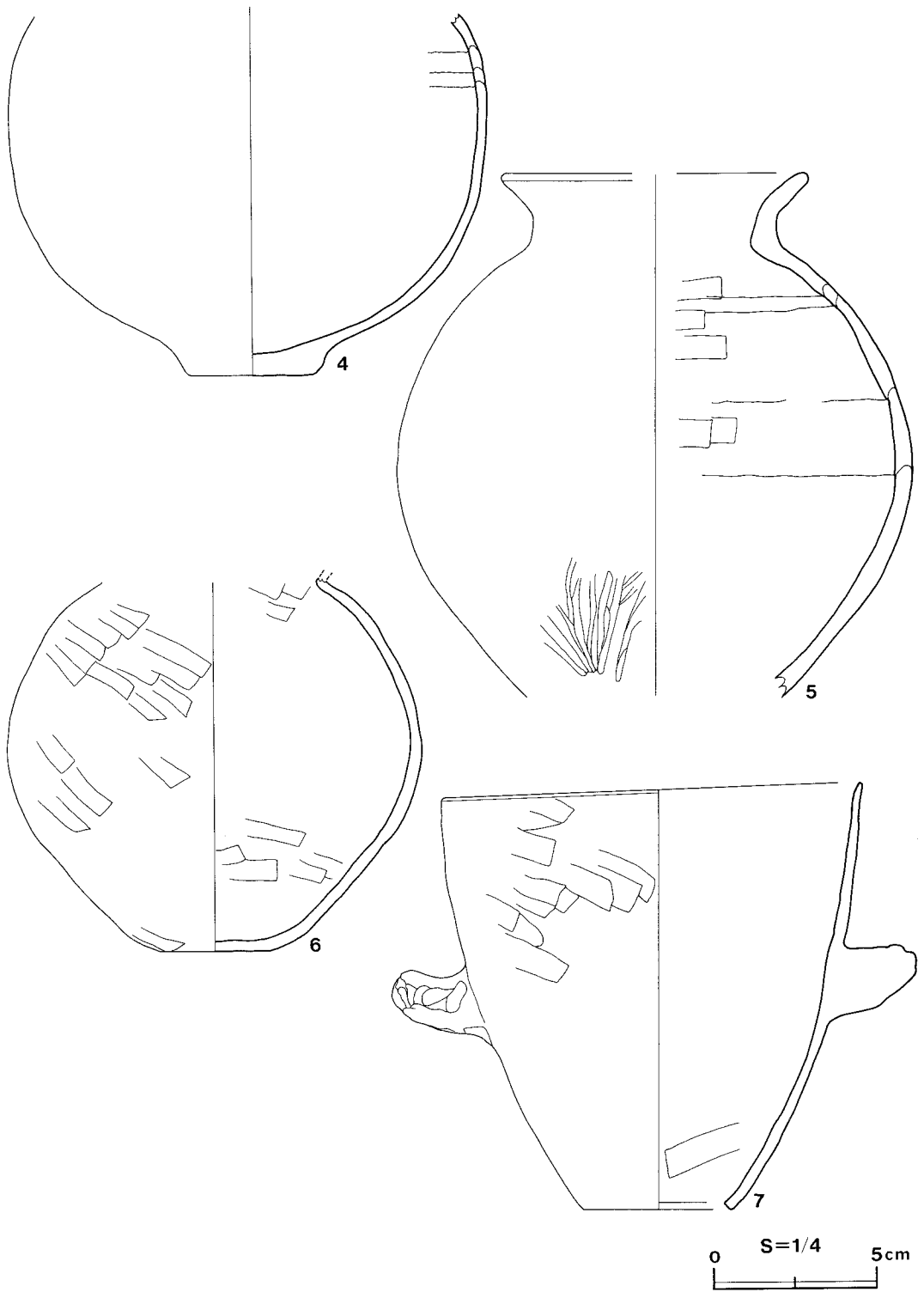


SI 104

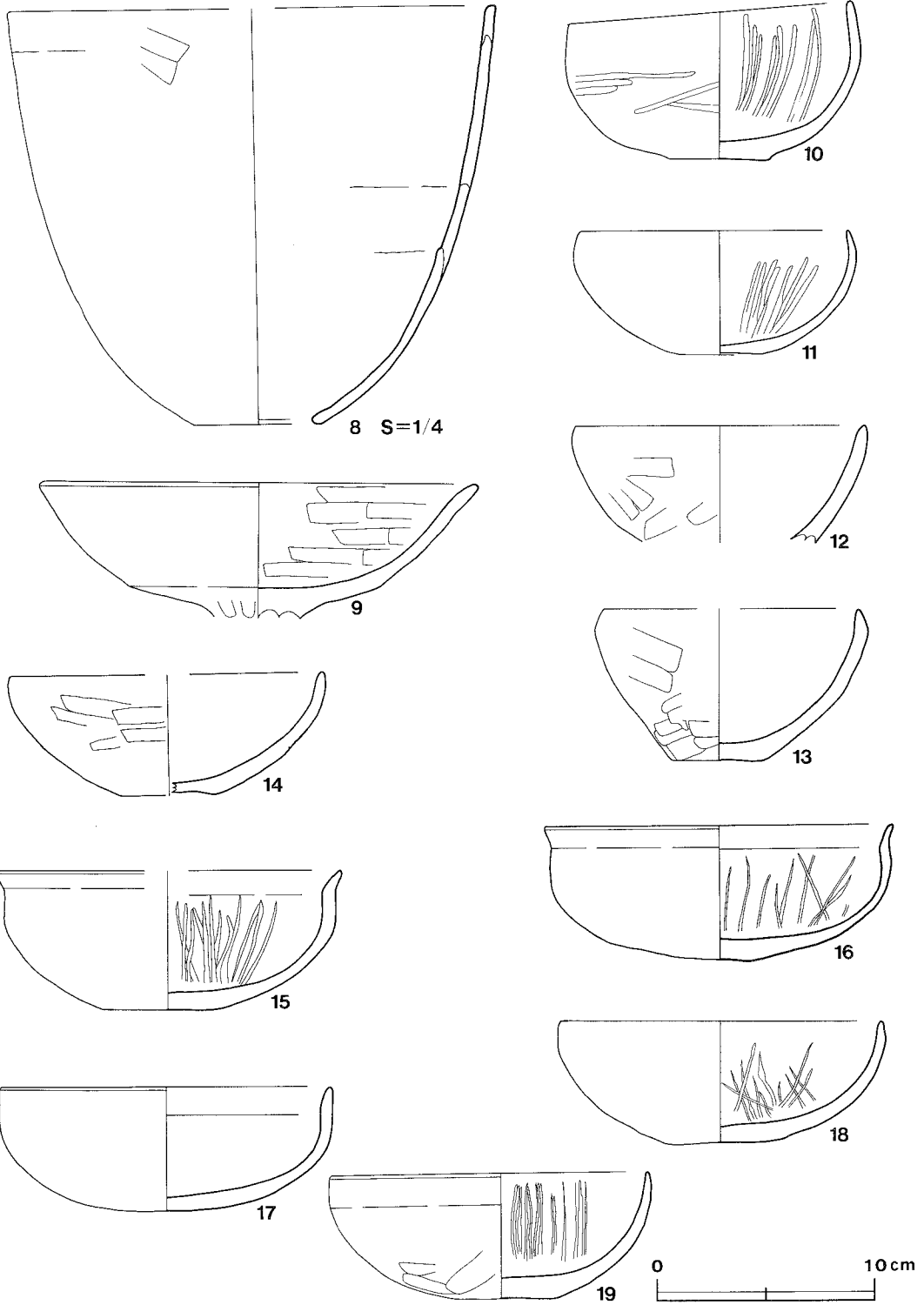
第364図 第103(3)・104号住居跡出土遺物実測図



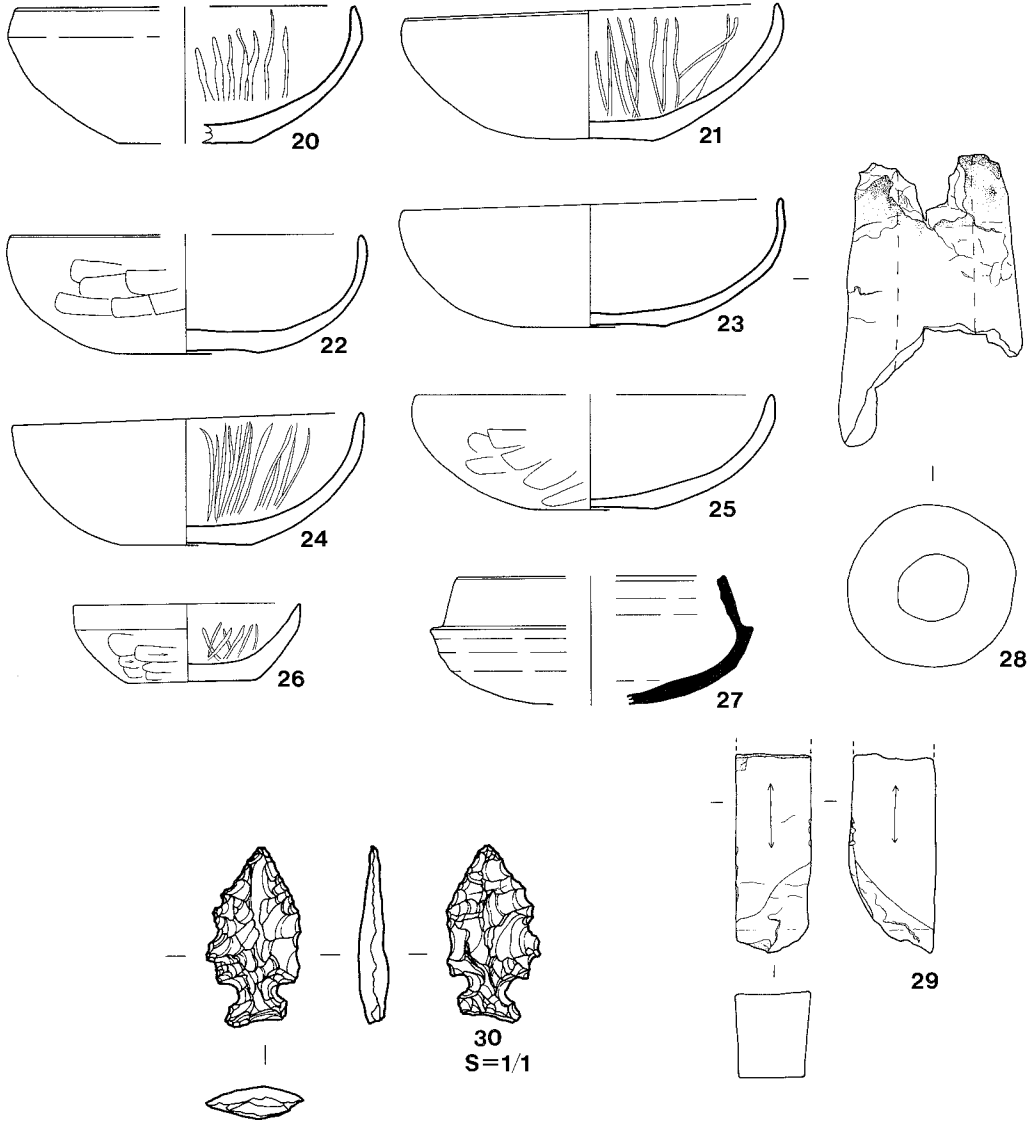
第365図 第105(1)号住居跡出土遺物実測図



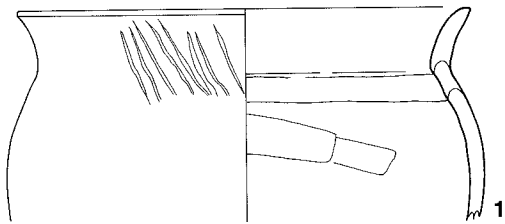
第366図 第105(2)号住居跡出土遺物実測図



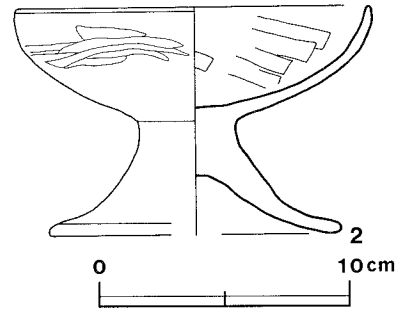
第367図 第105(3)号住居跡出土遺物実測図



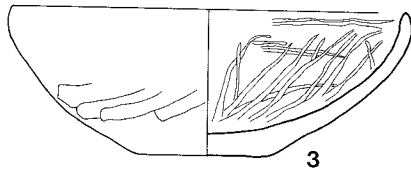
SI 105



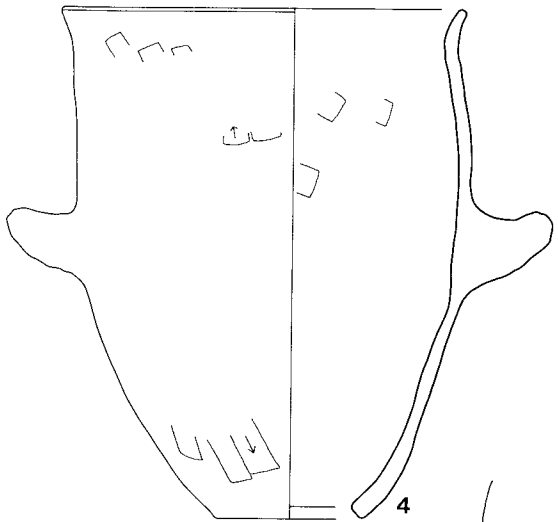
SI 108



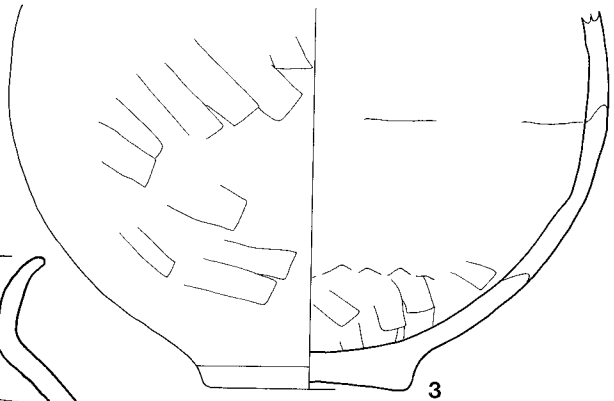
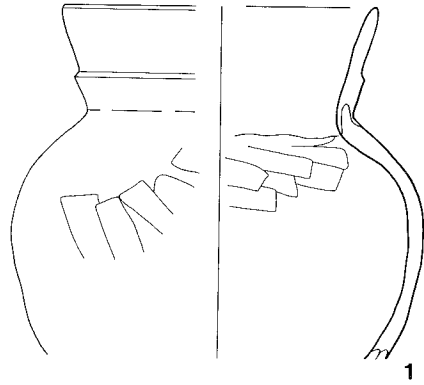
第368図 第105(4)・108(1)号住居跡出土遺物実測図



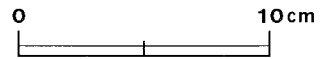
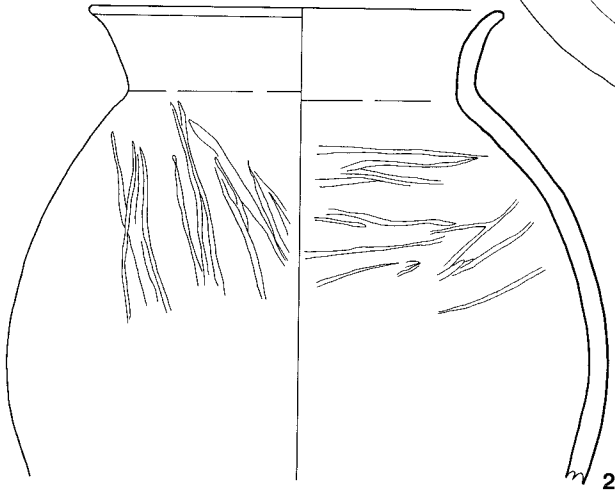
SI 108



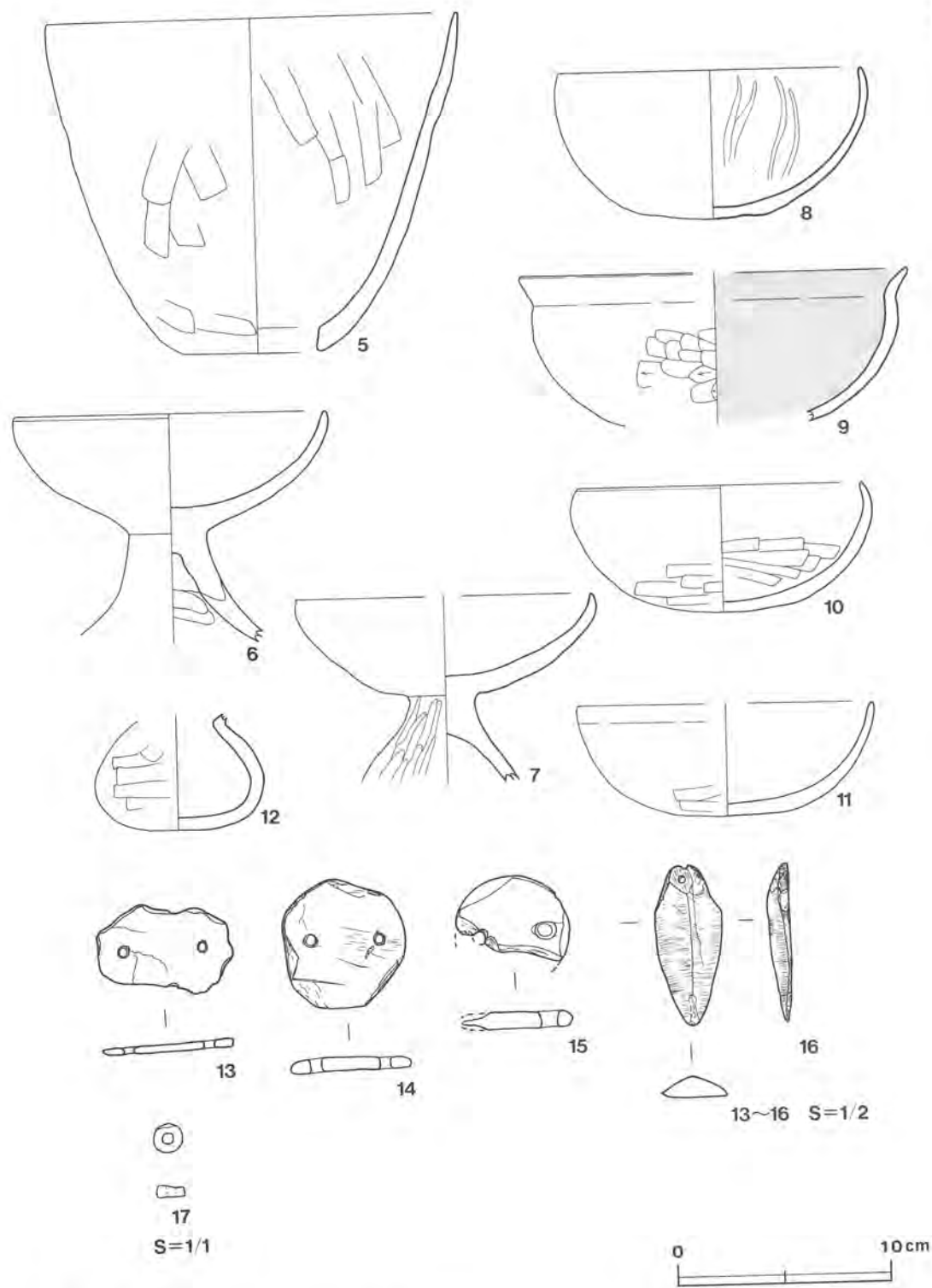
S=1/4



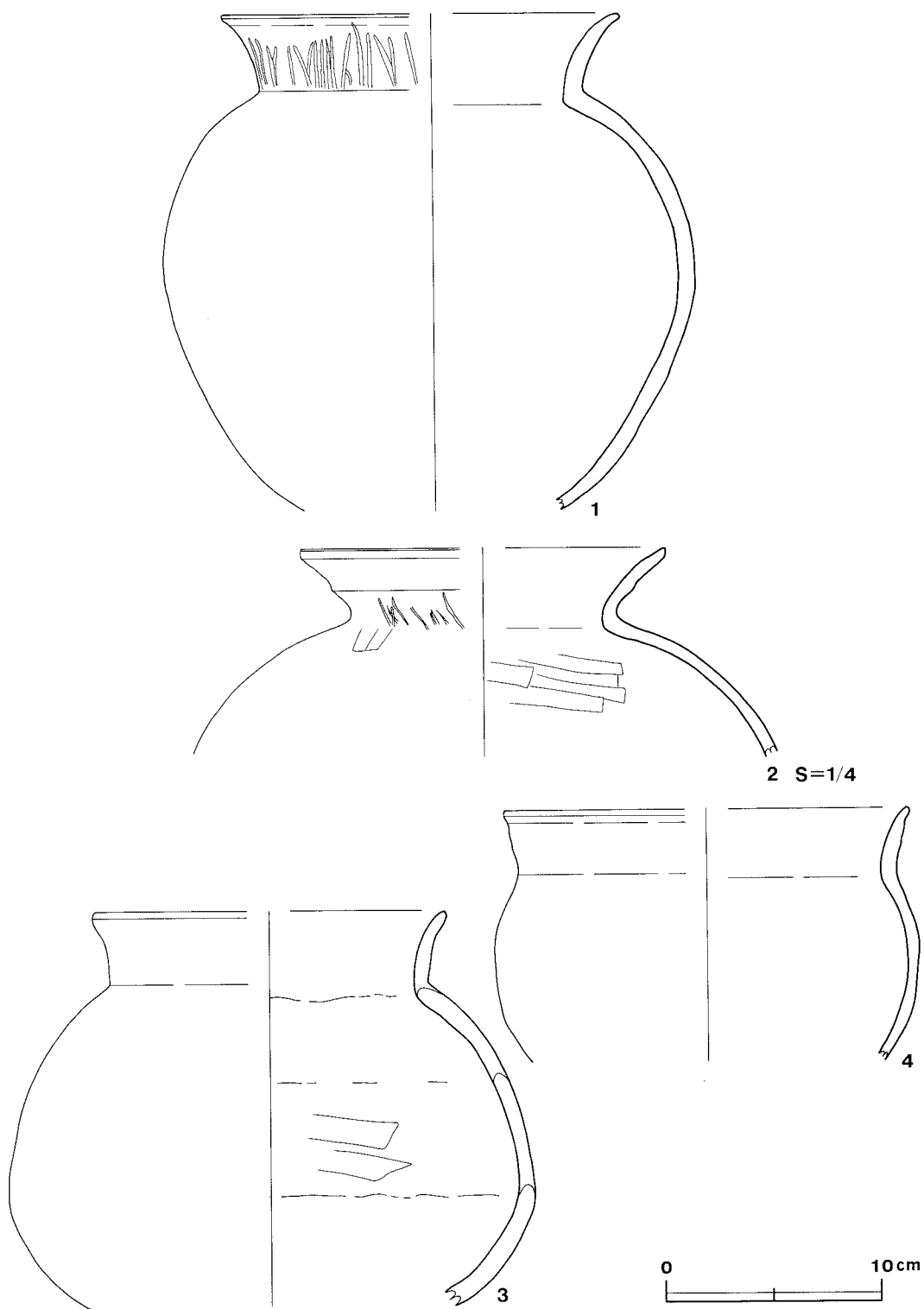
SI 109



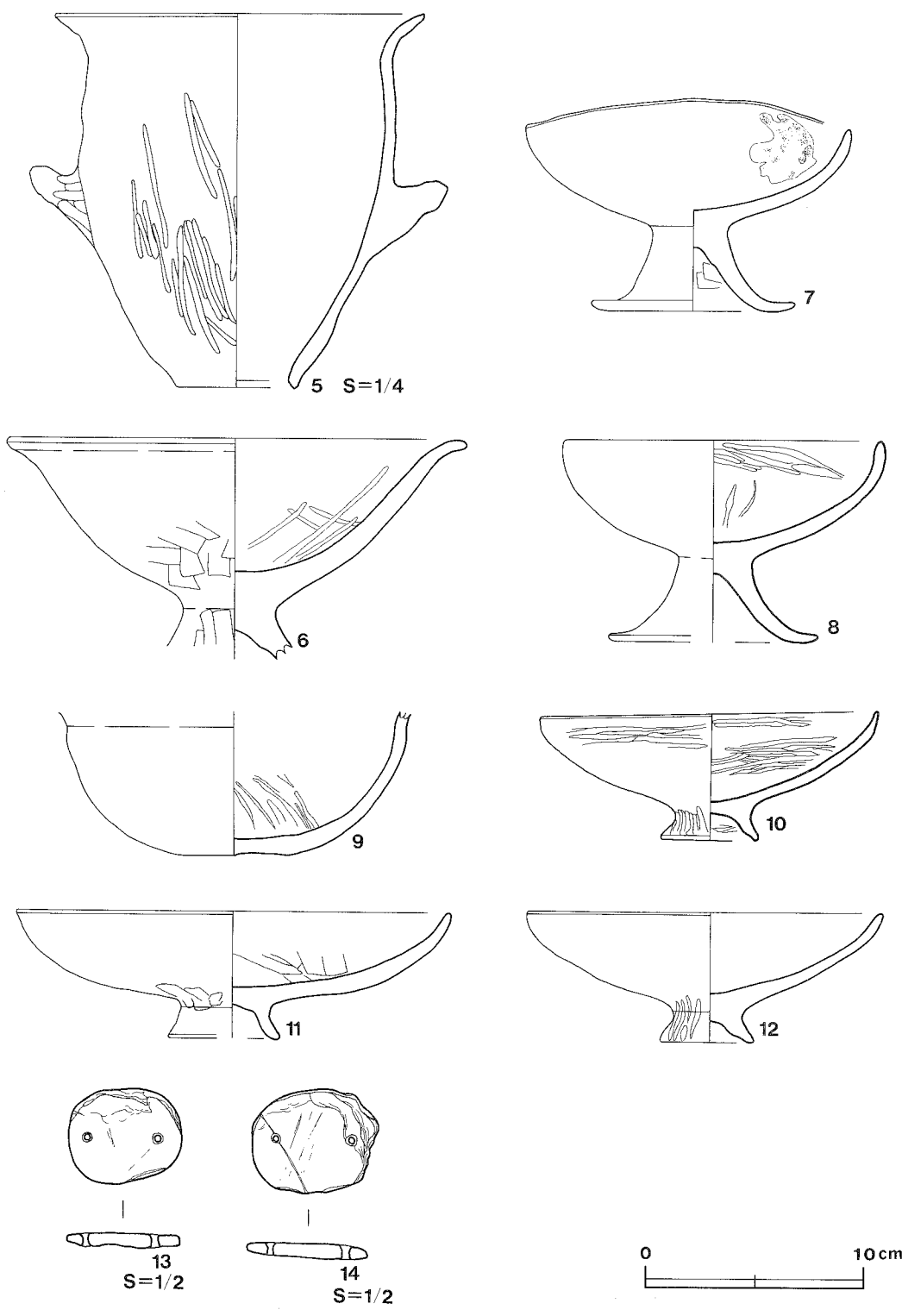
第369図 第108(2)・109(1)号住居跡出土遺物実測図



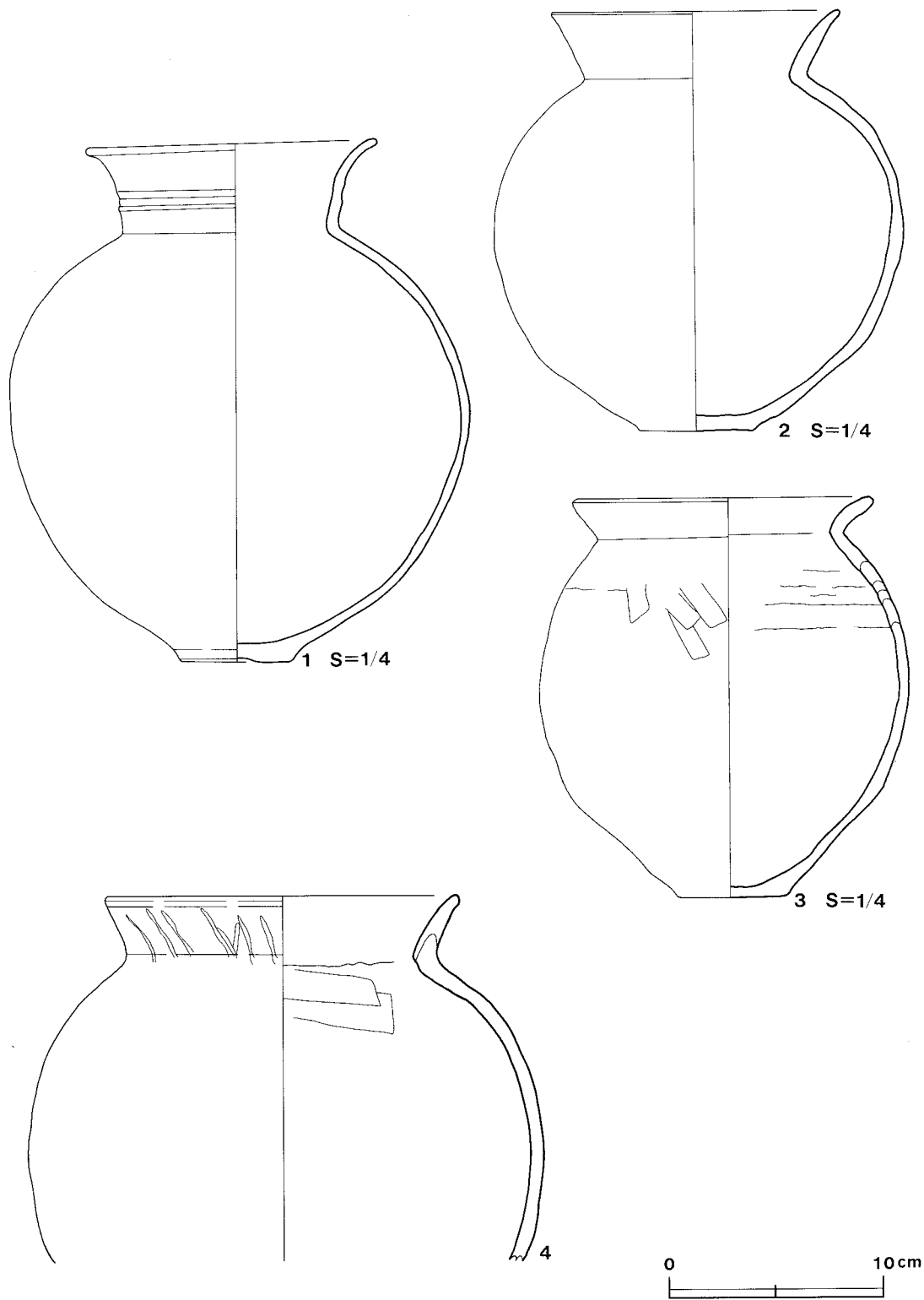
第370図 第109(2)号住居跡出土遺物実測図



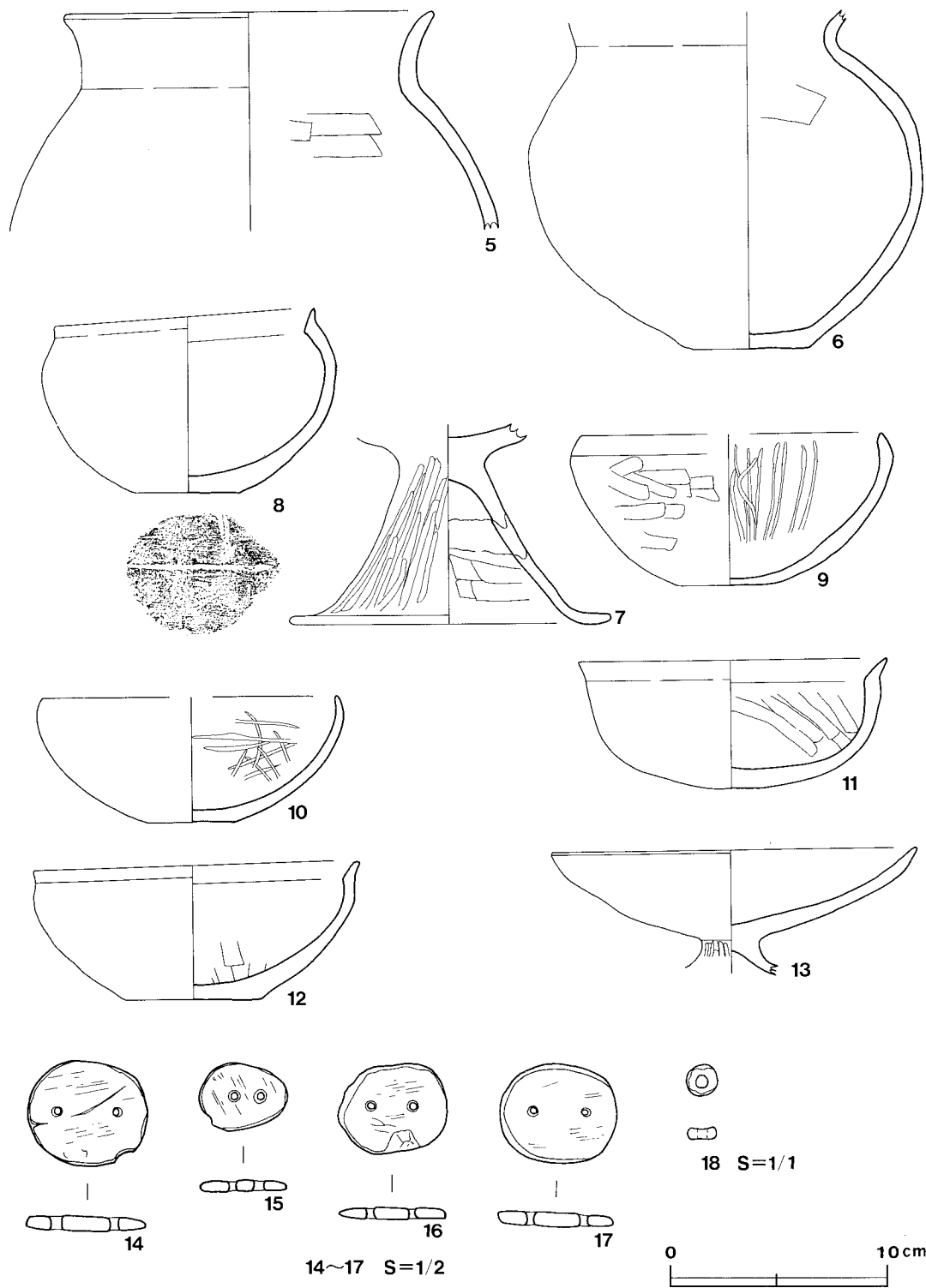
第371図 第110(1)号住居跡出土遺物実測図



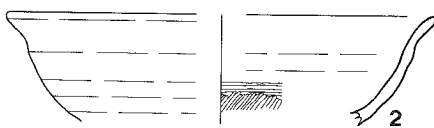
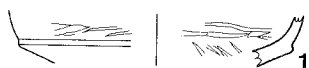
第372図 第110(2)号住居跡出土遺物実測図



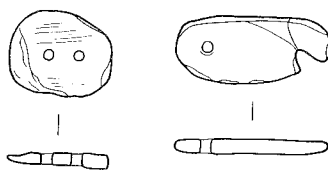
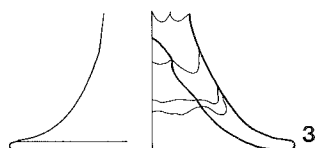
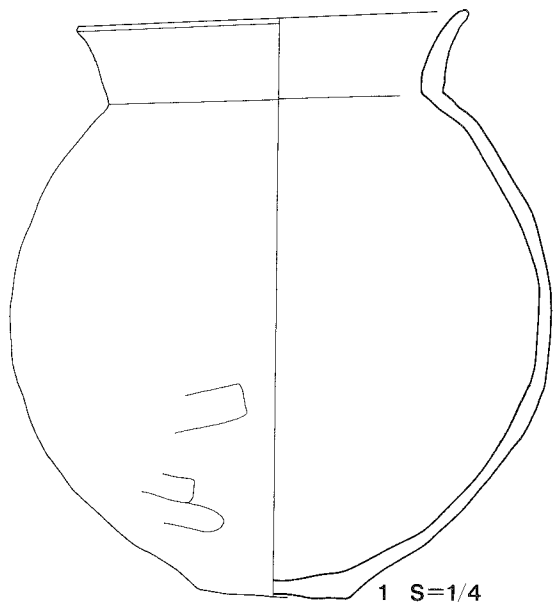
第373図 第111(1)号住居跡出土遺物実測図



第374図 第111(2)号住居跡出土遺物実測図



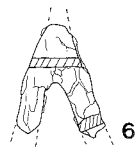
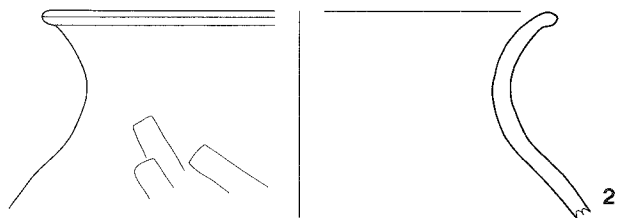
SI 112



4 S=1/2

5 S=1/2

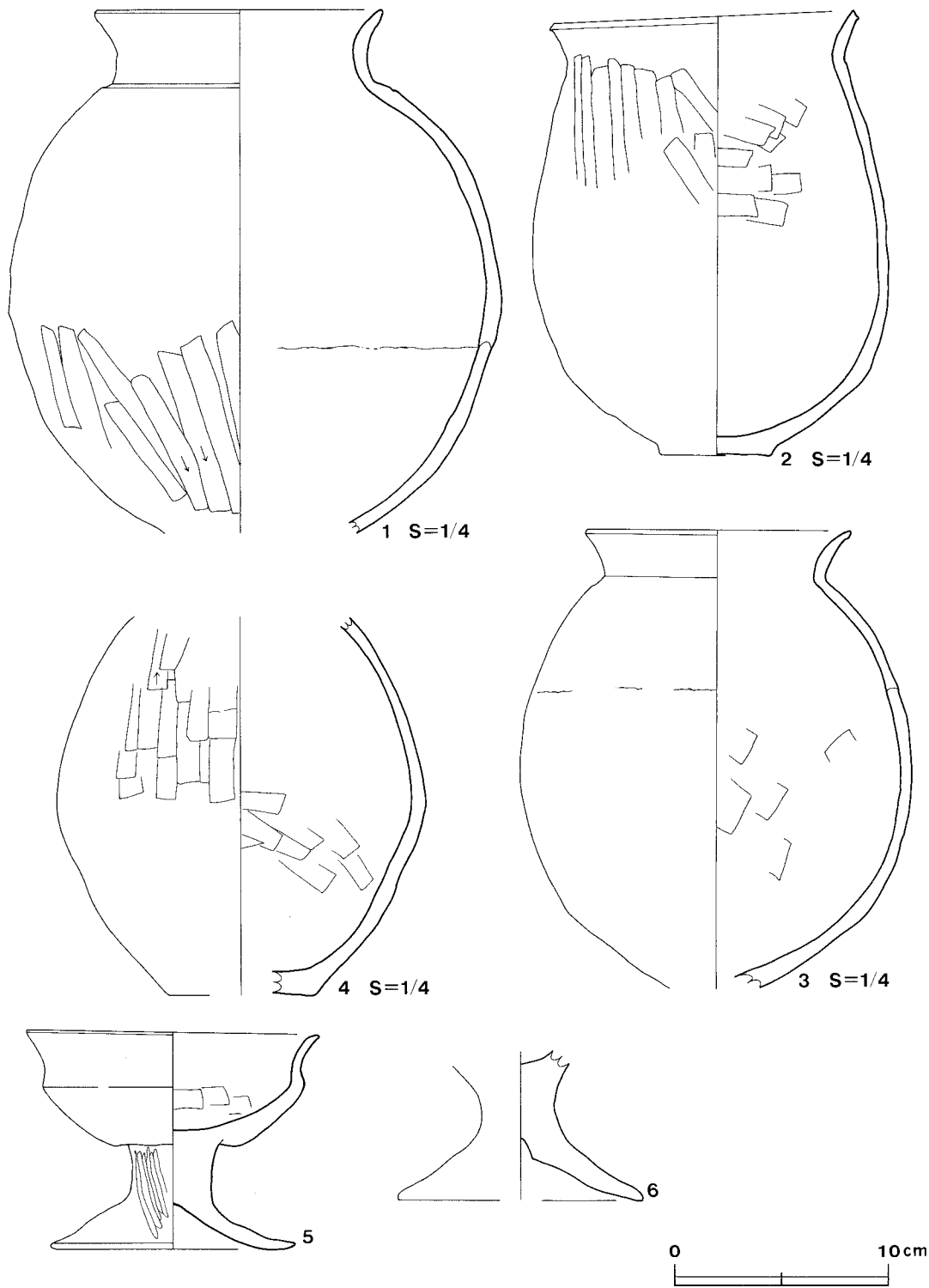
1 S=1/4



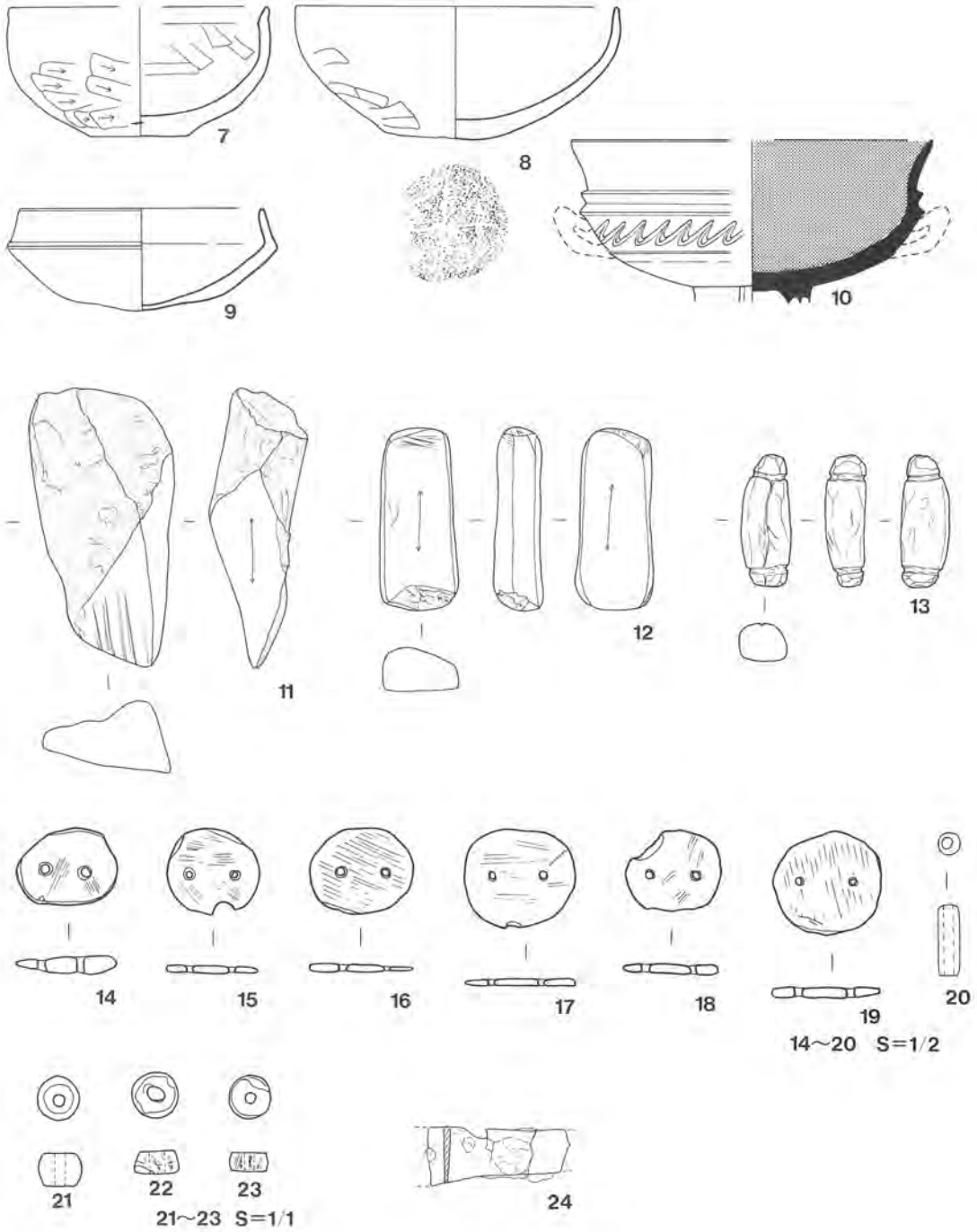
SI 115



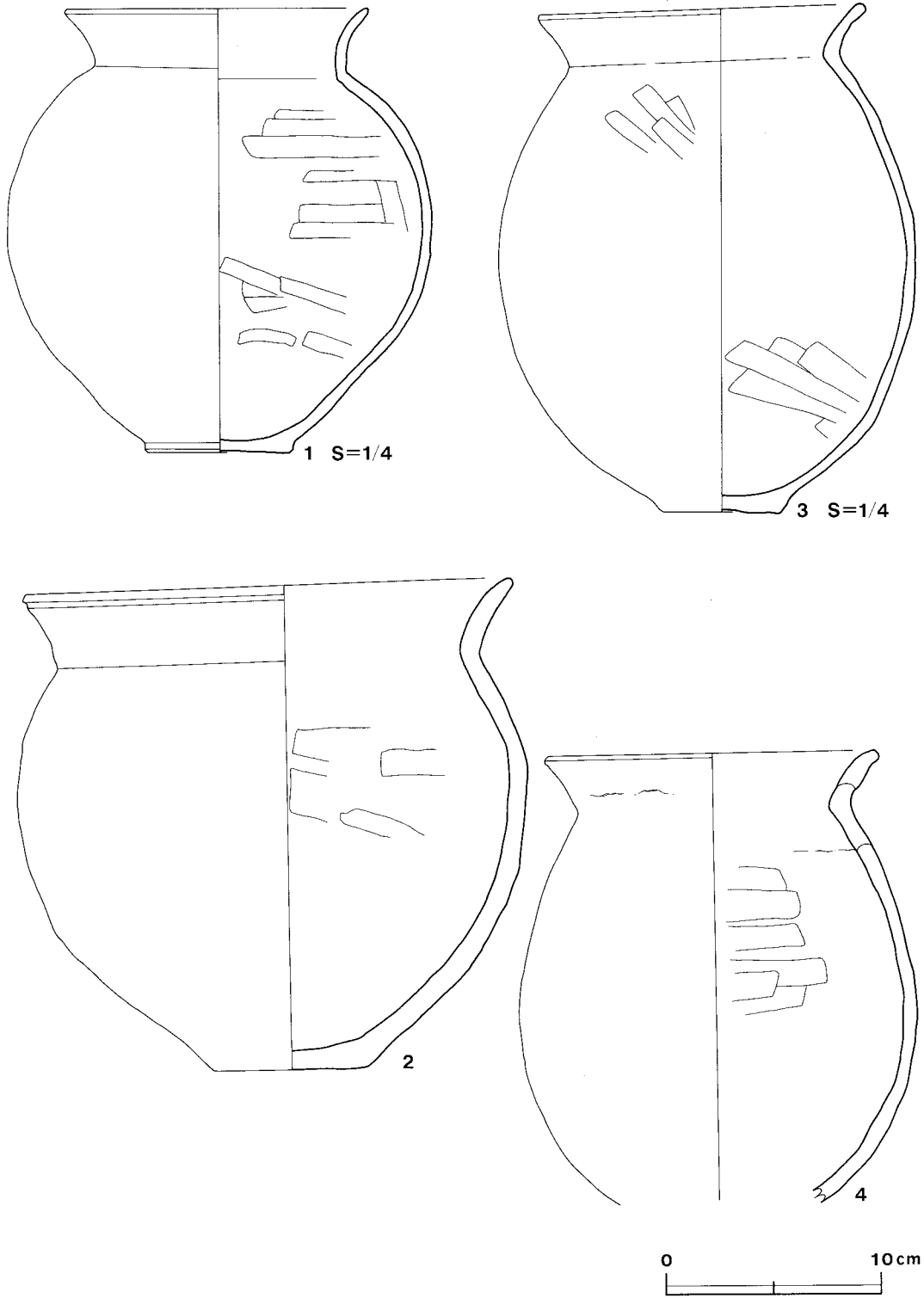
第375図 第112・115号住居跡出土遺物実測図



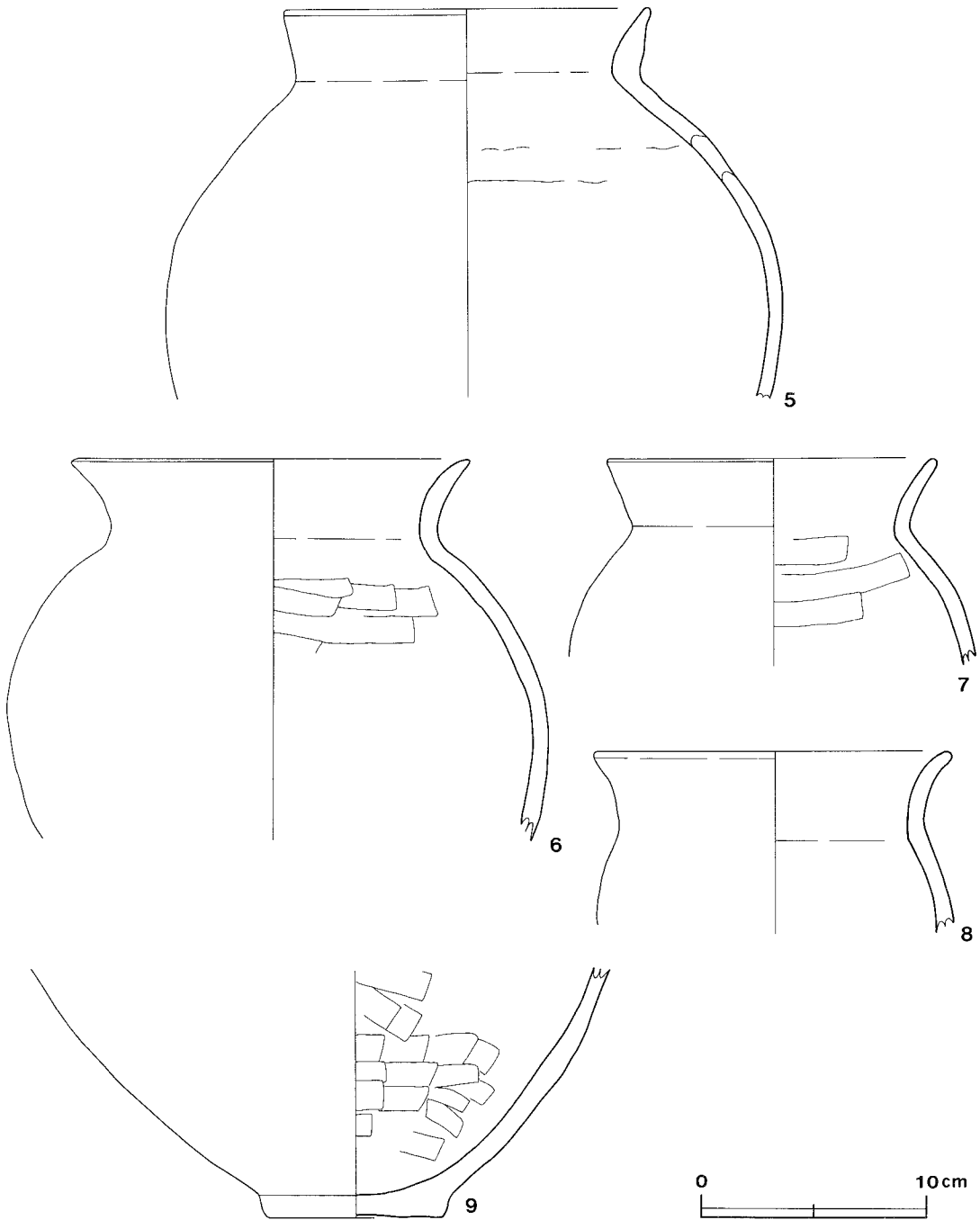
第376図 第116(1)号住居跡出土遺物実測図



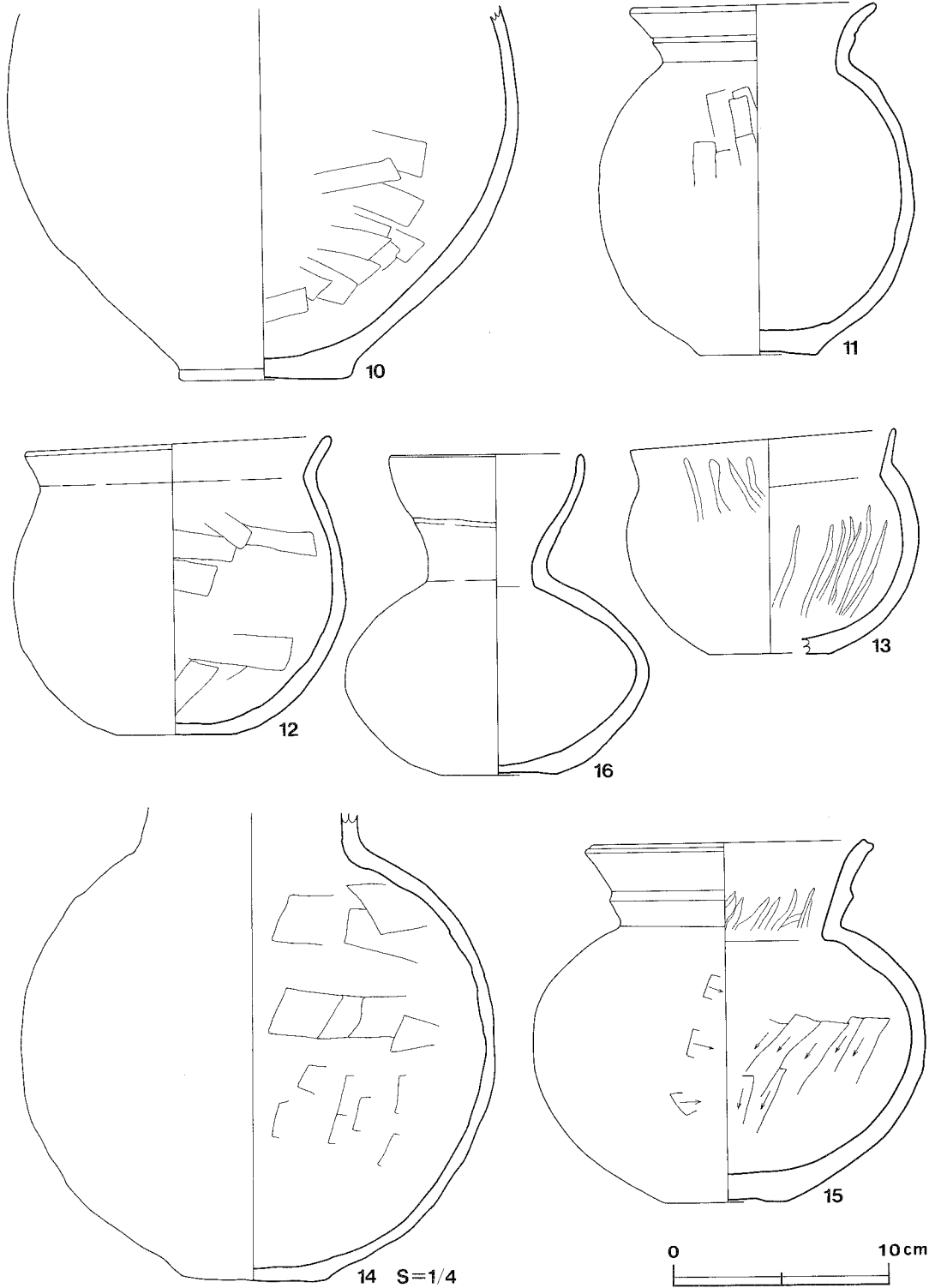
第377図 第116(2)号住居跡出土遺物実測図



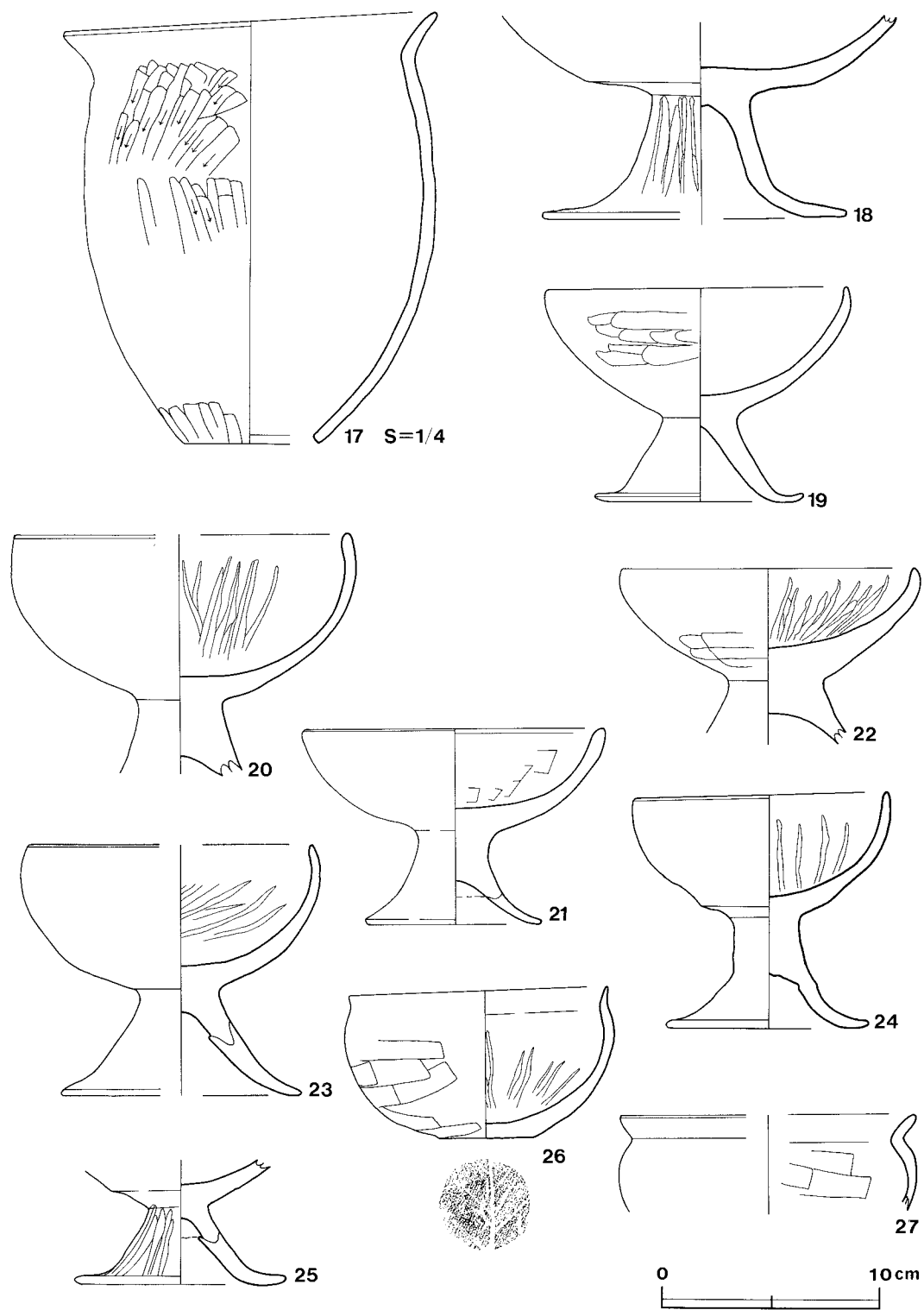
第378図 第117(1)号住居跡出土遺物実測図



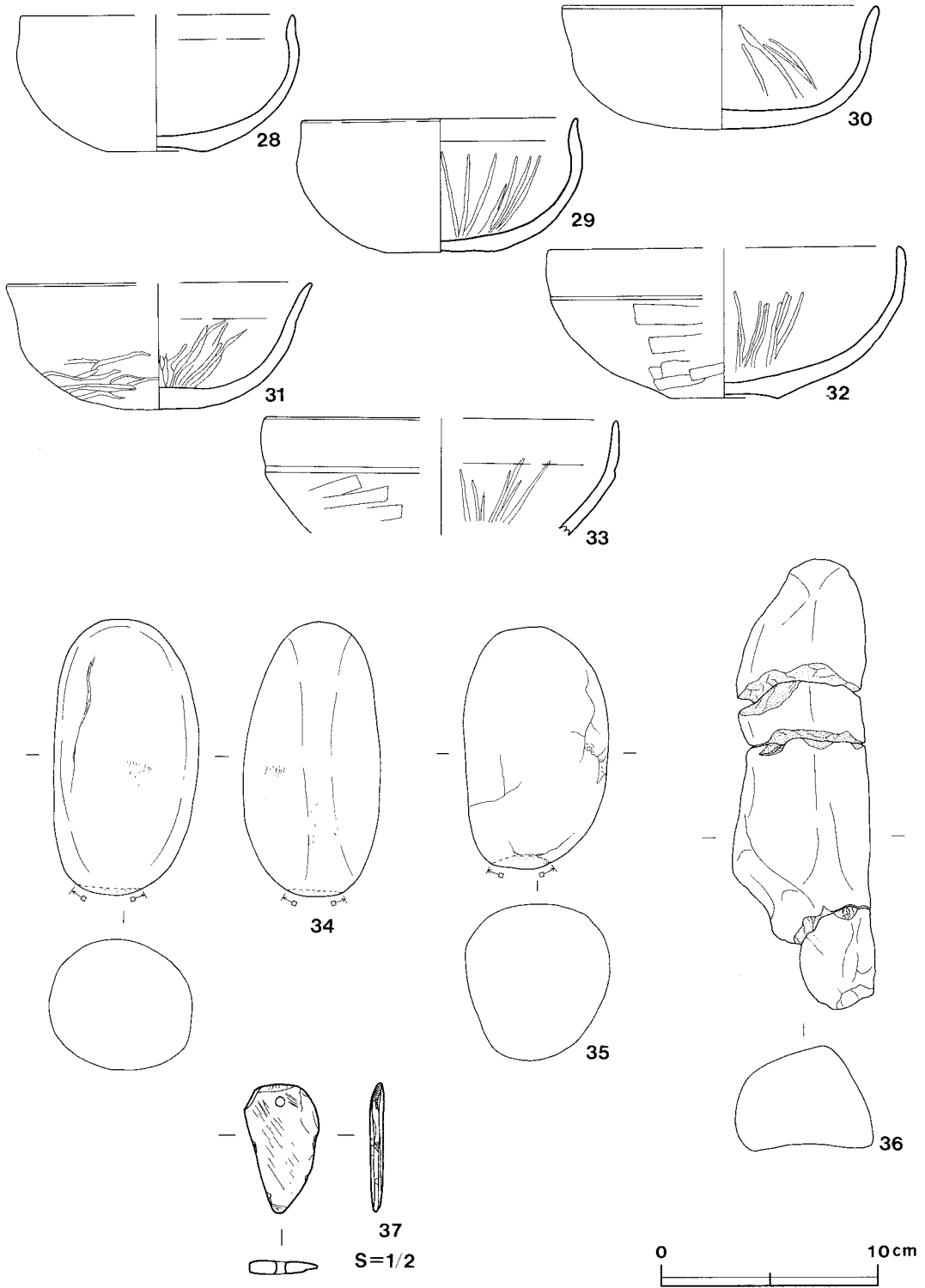
第379図 第117(2)号住居跡出土遺物実測図



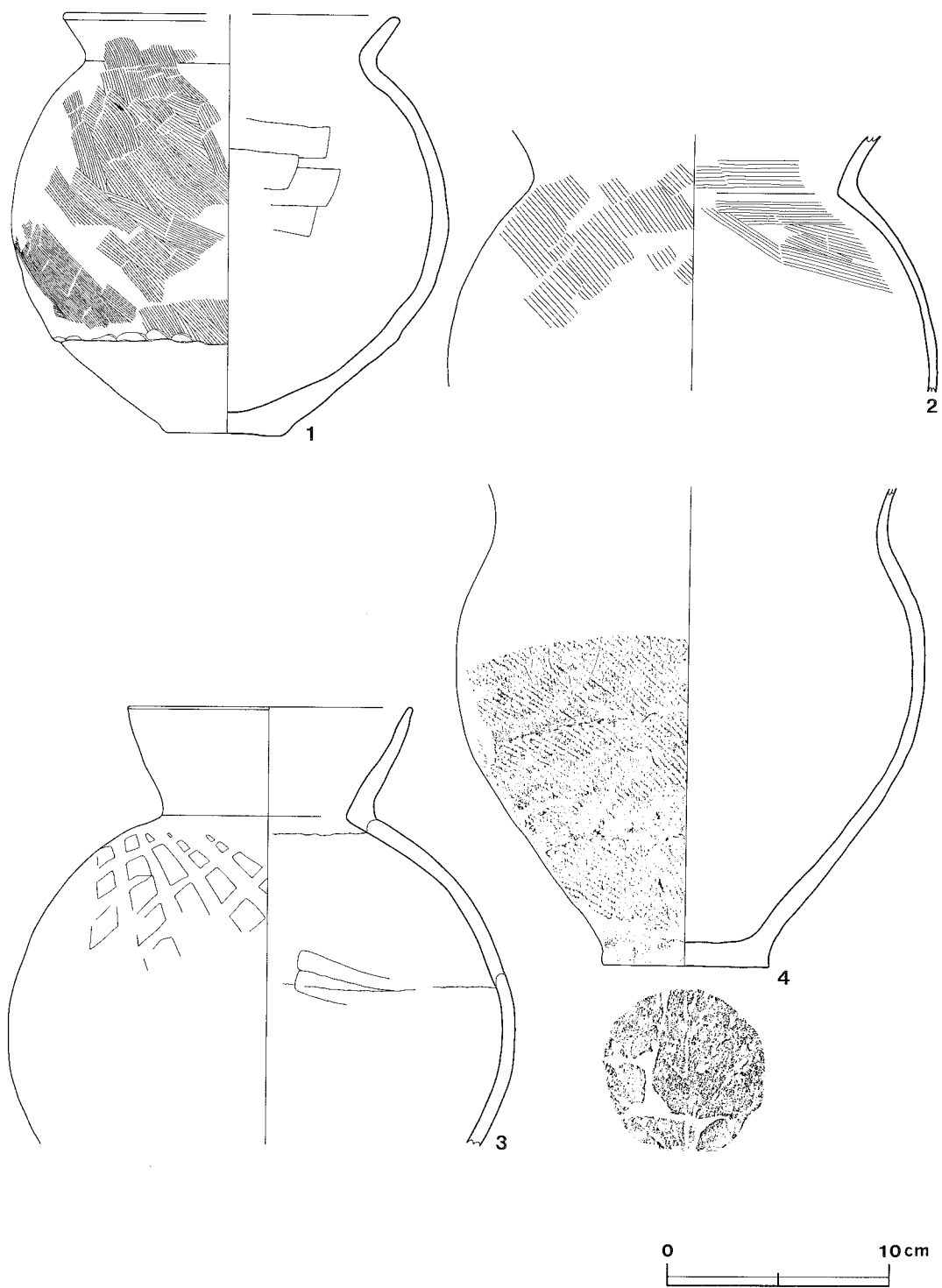
第380図 第117(3)号住居跡出土遺物実測図



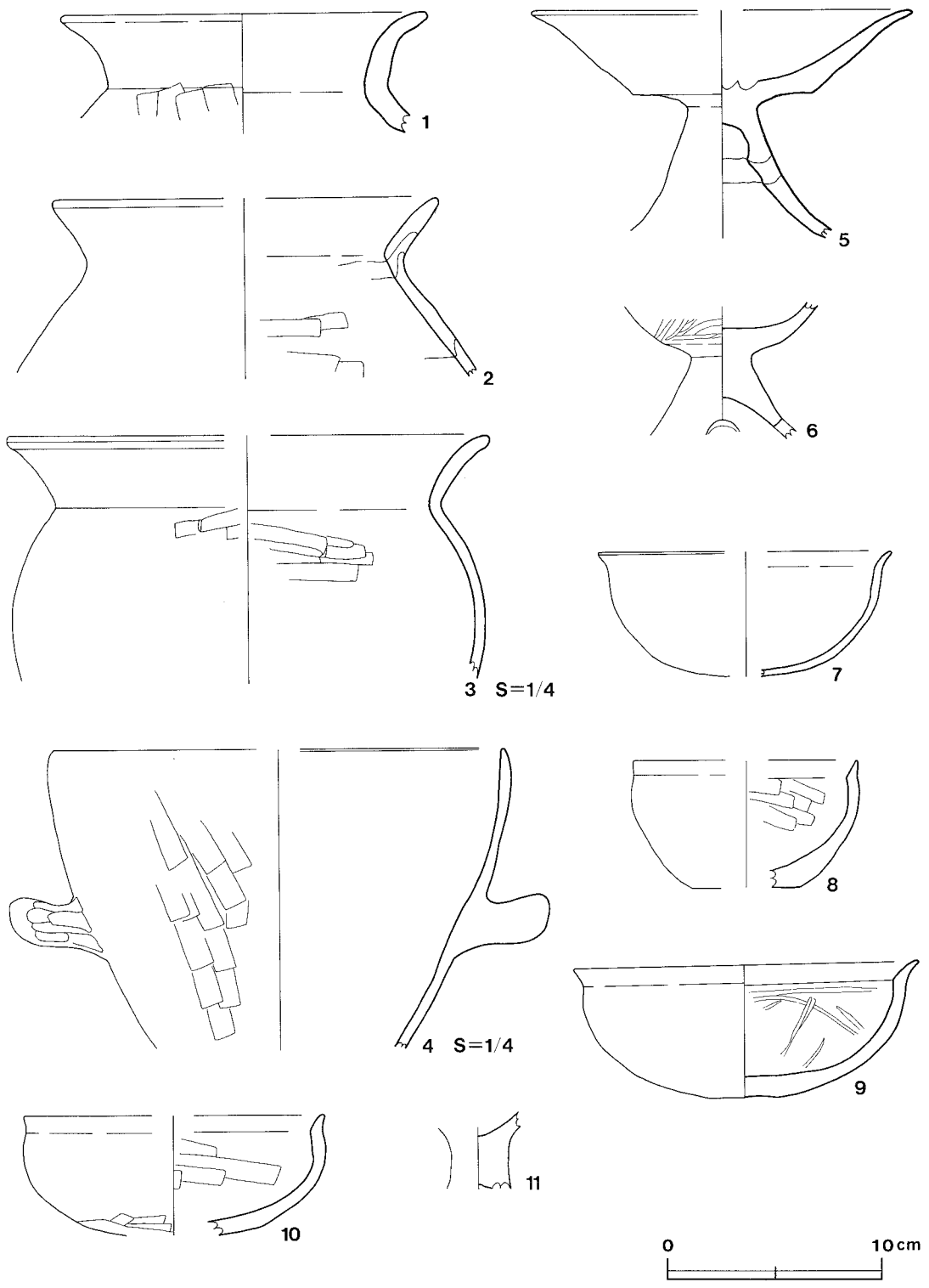
第381図 第117(4)号住居跡出土遺物実測図



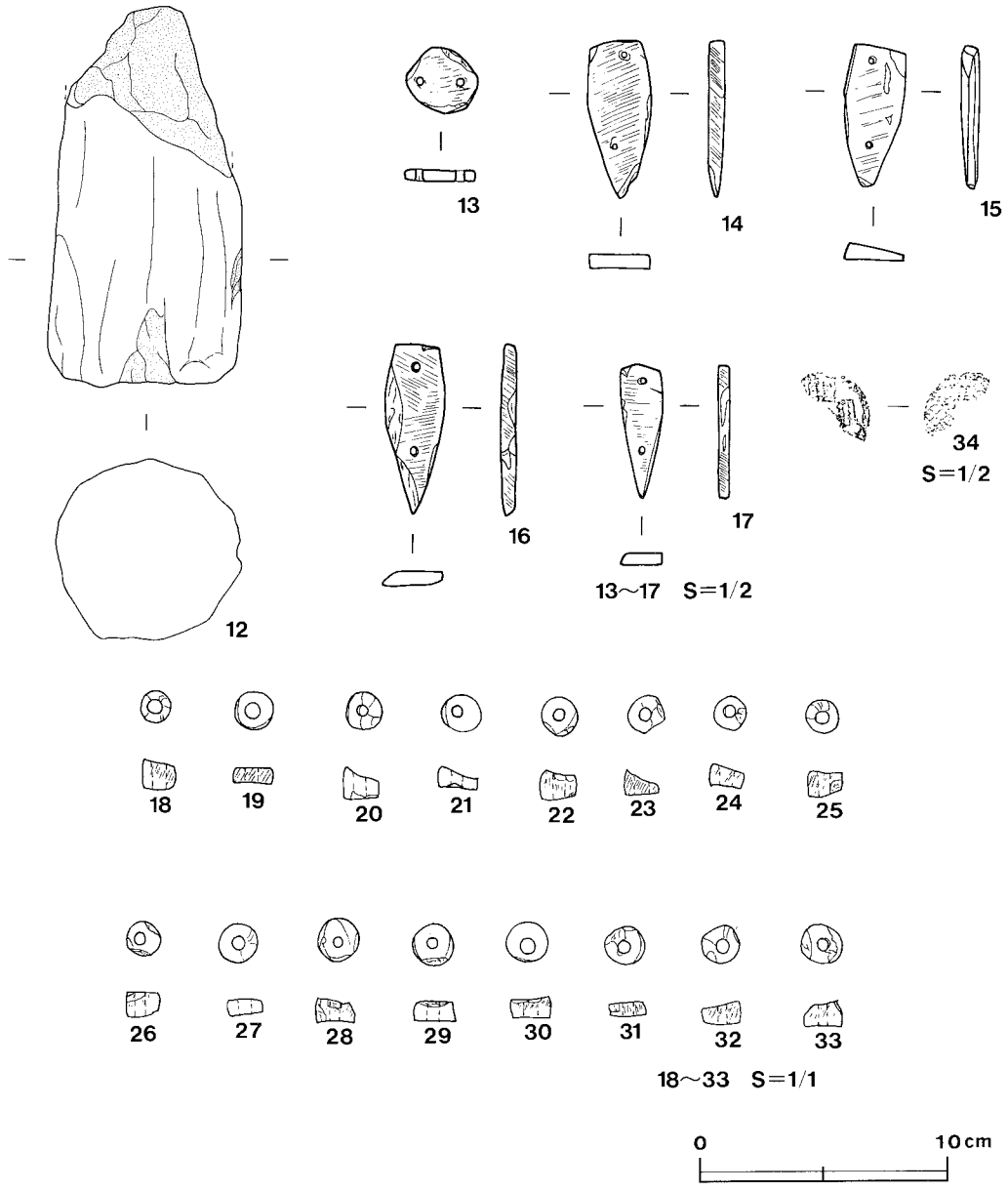
第382図 第117(5)号住居跡出土遺物実測図



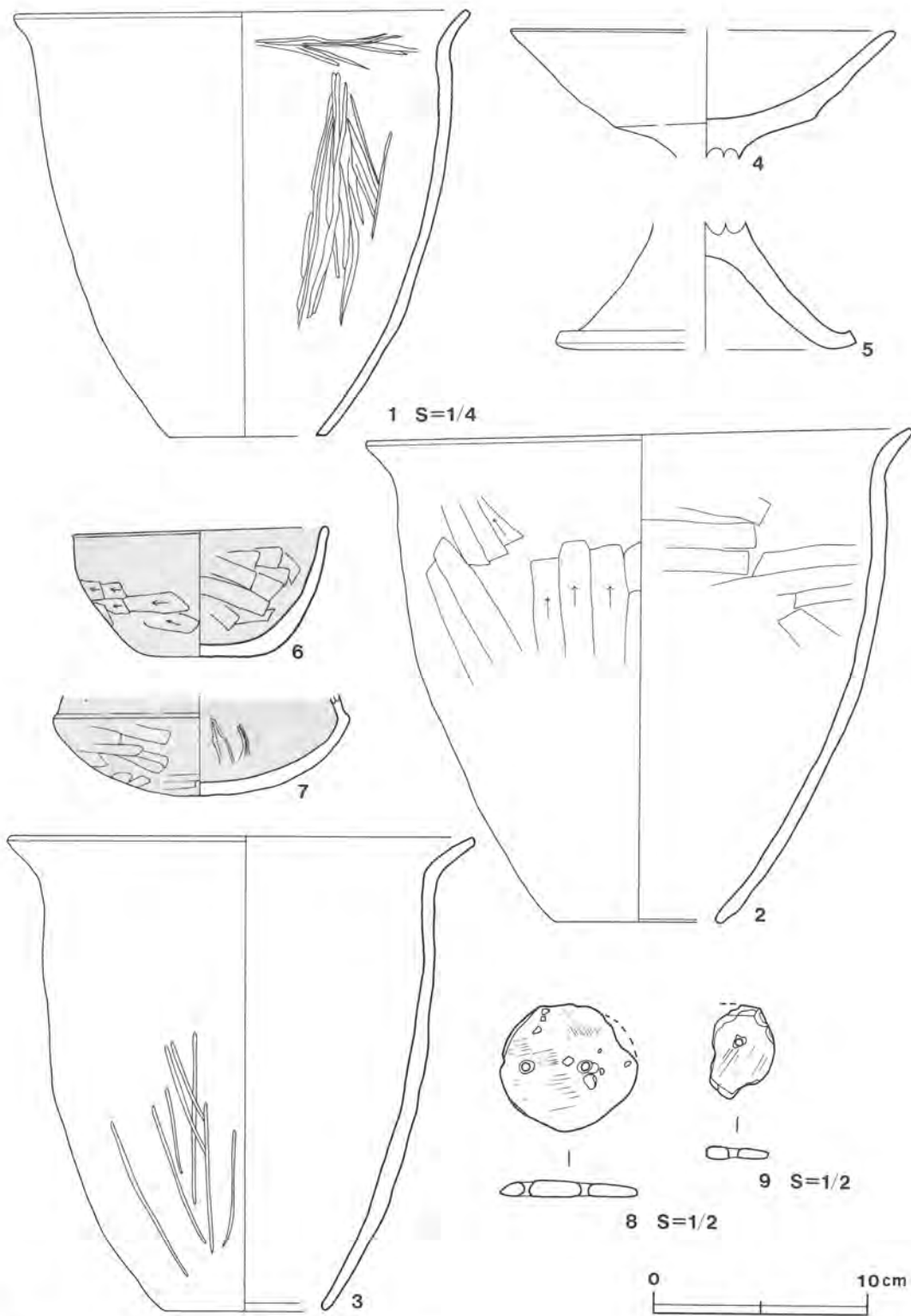
第383図 第118号住居跡出土遺物実測図



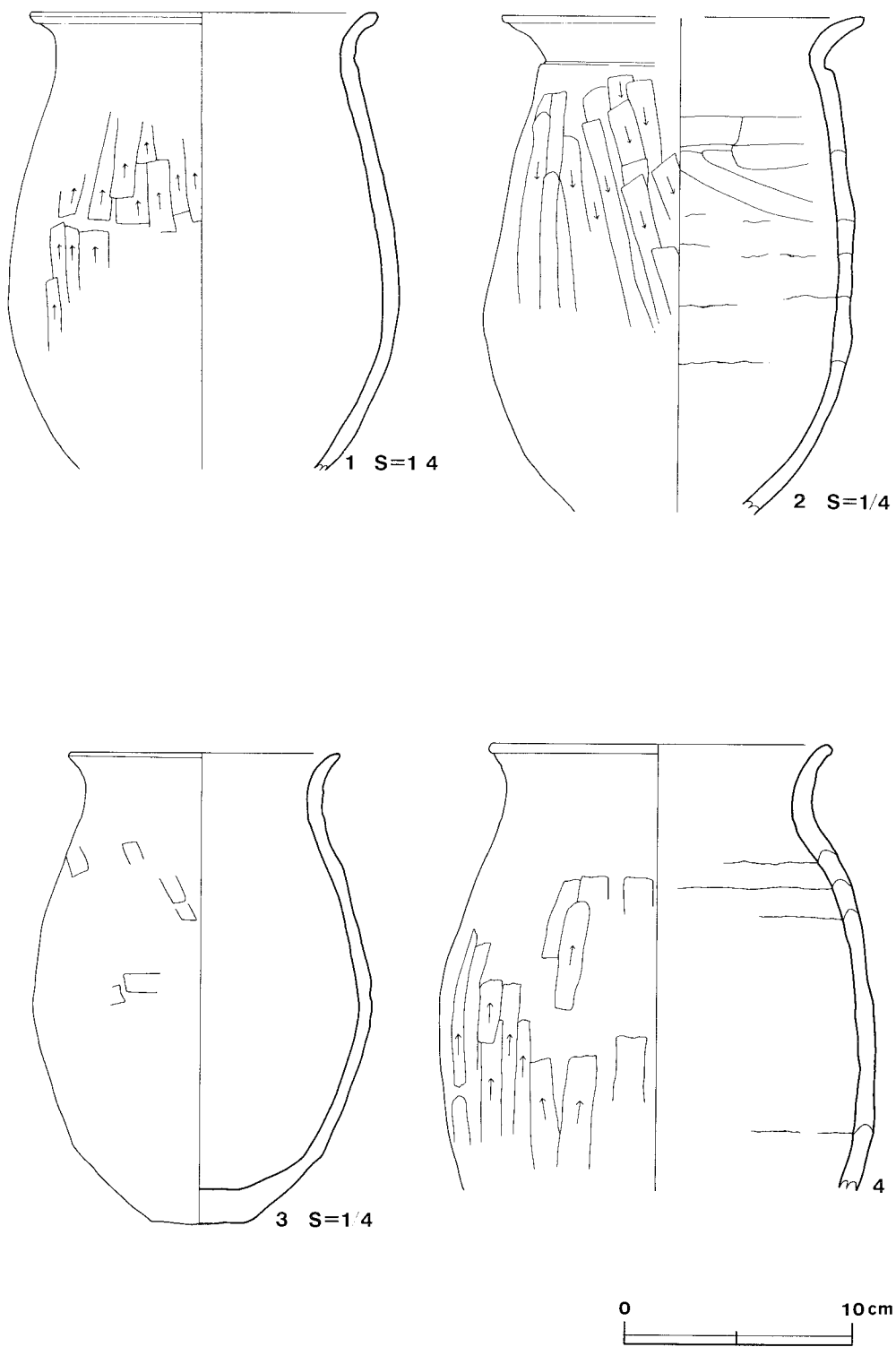
第384図 第119(1)号住居跡出土遺物実測図



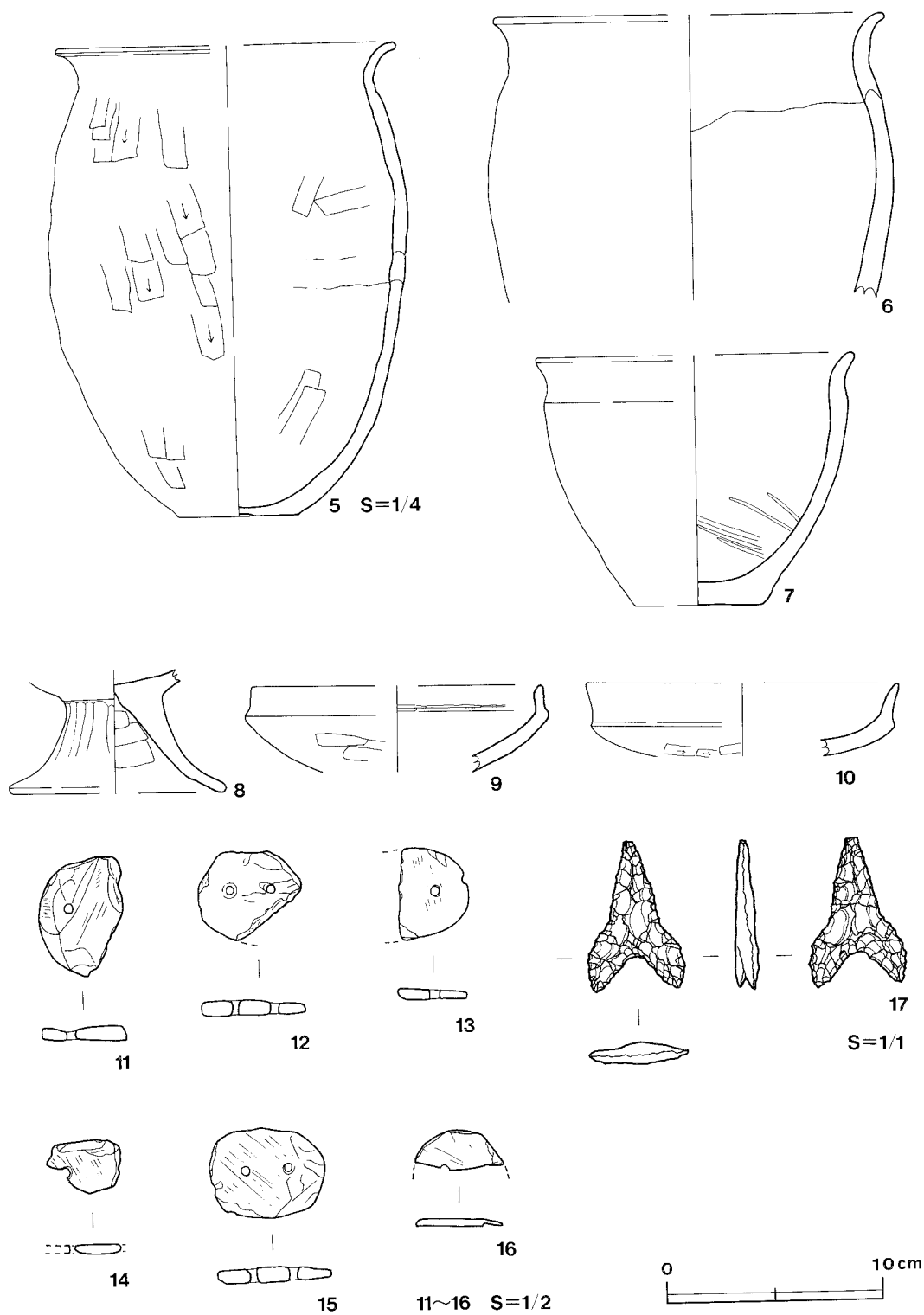
第385図 第119(2)号住居跡出土遺物実測図



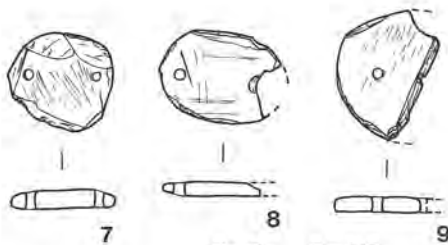
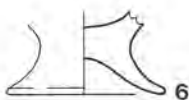
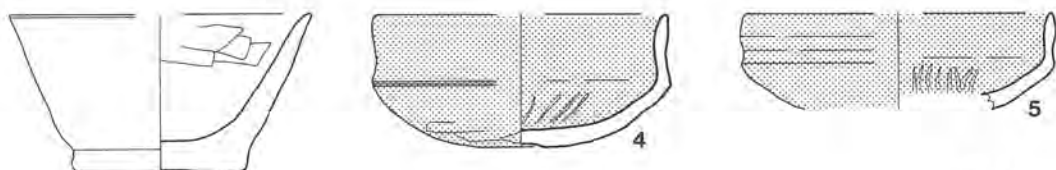
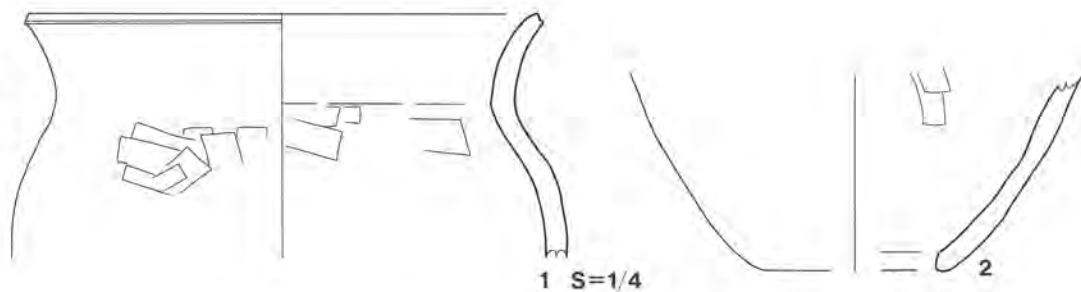
第386図 第120号住居跡出土遺物実測図



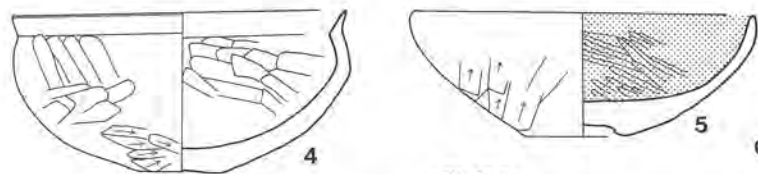
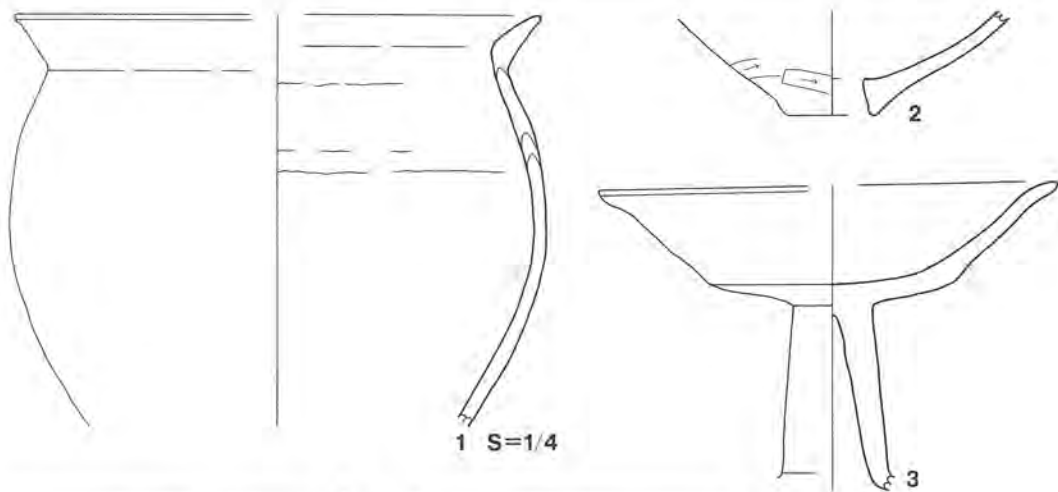
第387図 第121(1)号住居跡出土遺物実測図



第388図 第121(2)号住居跡出土遺物実測図



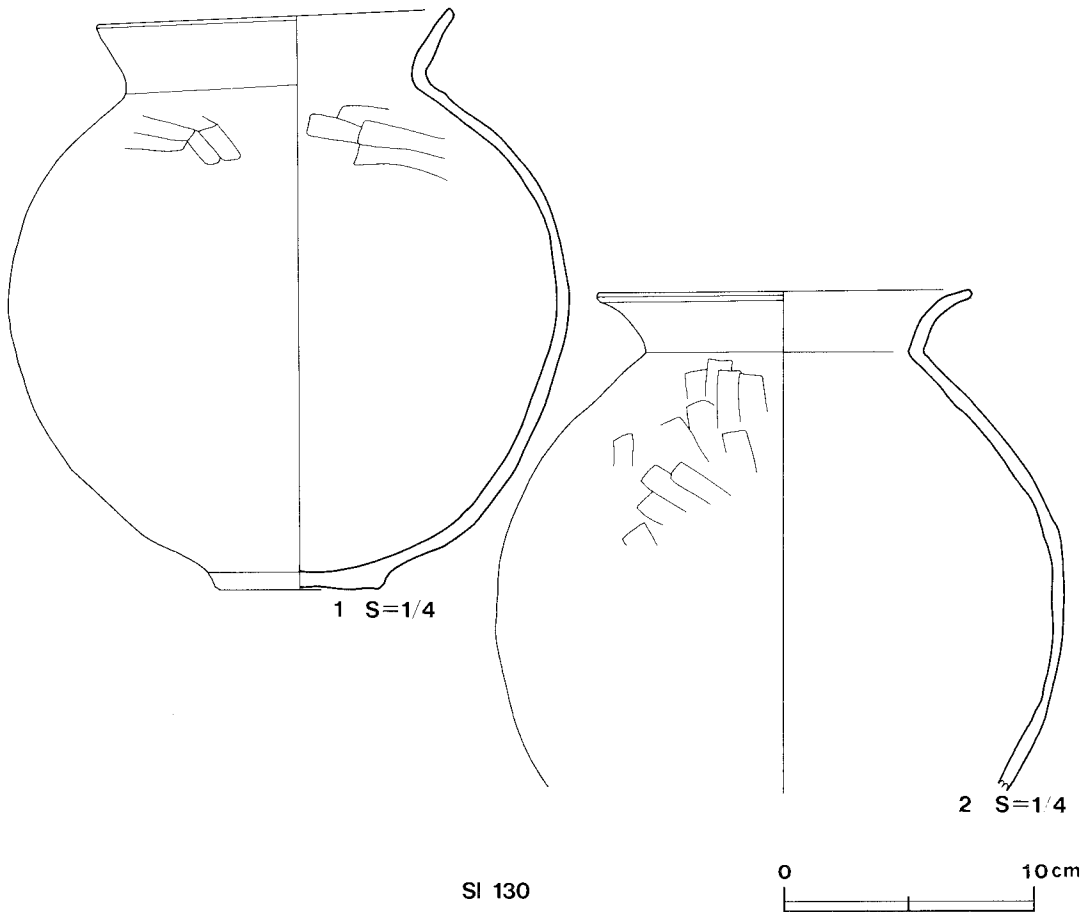
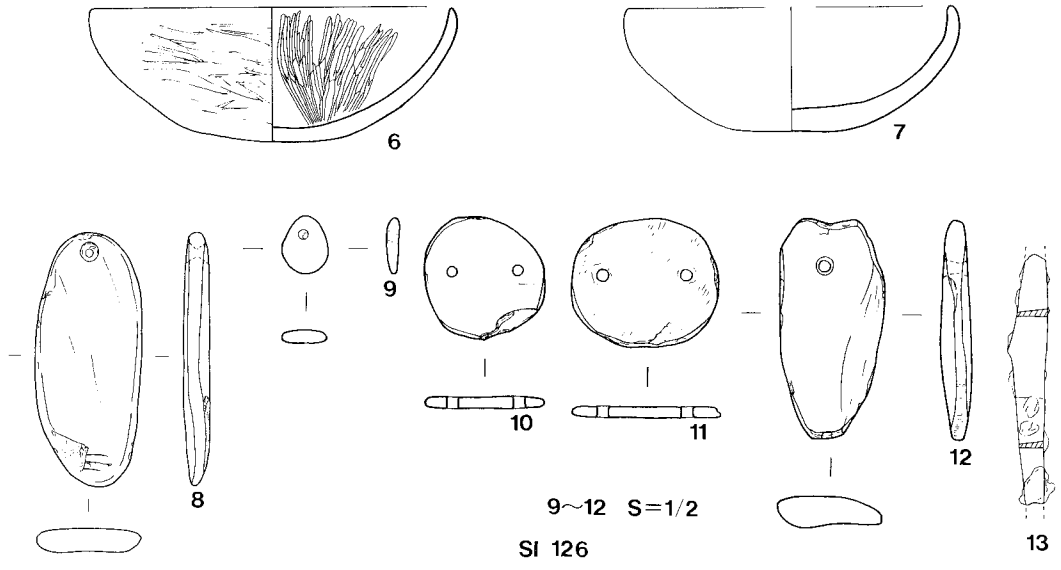
SI 124



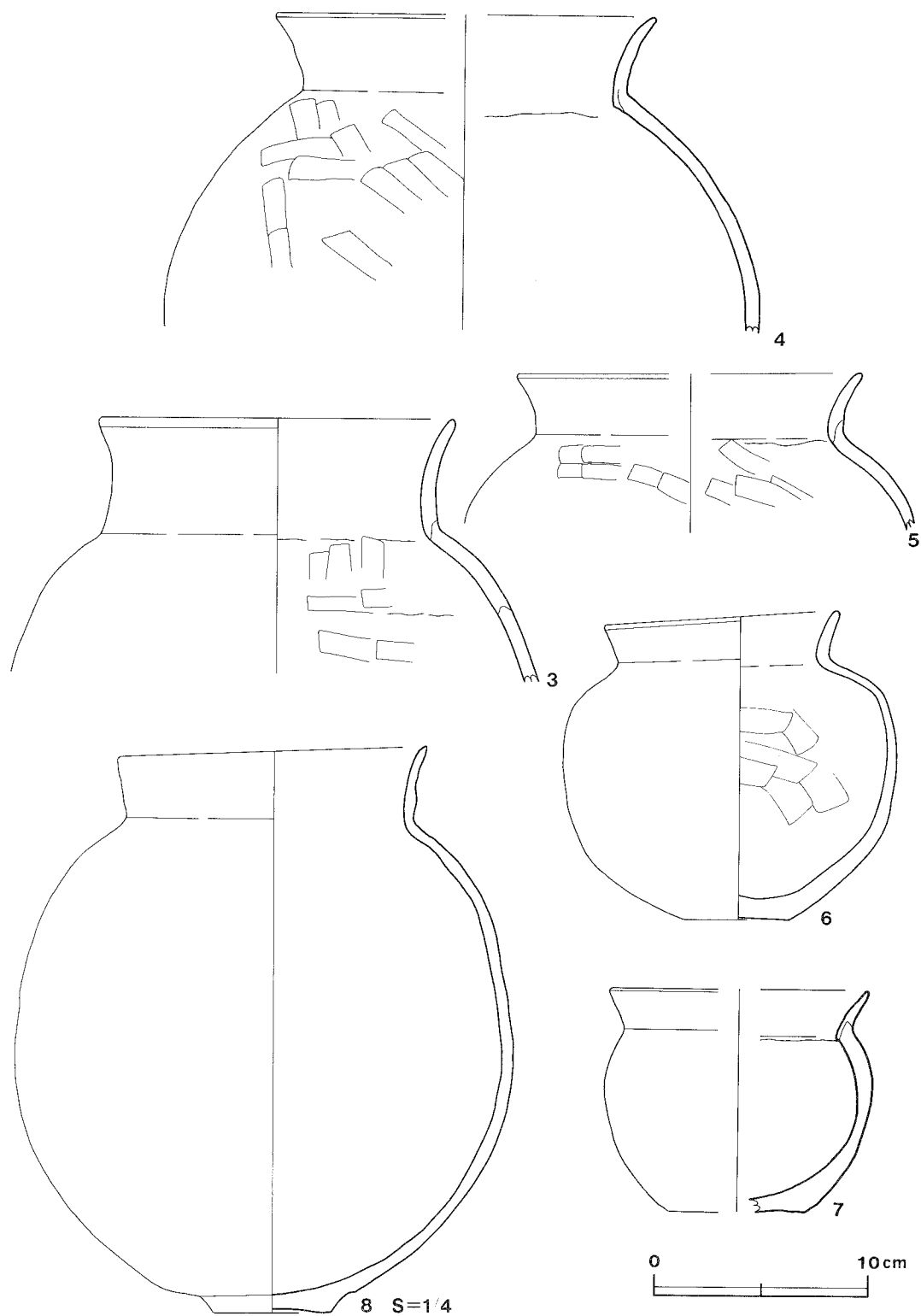
SI 126



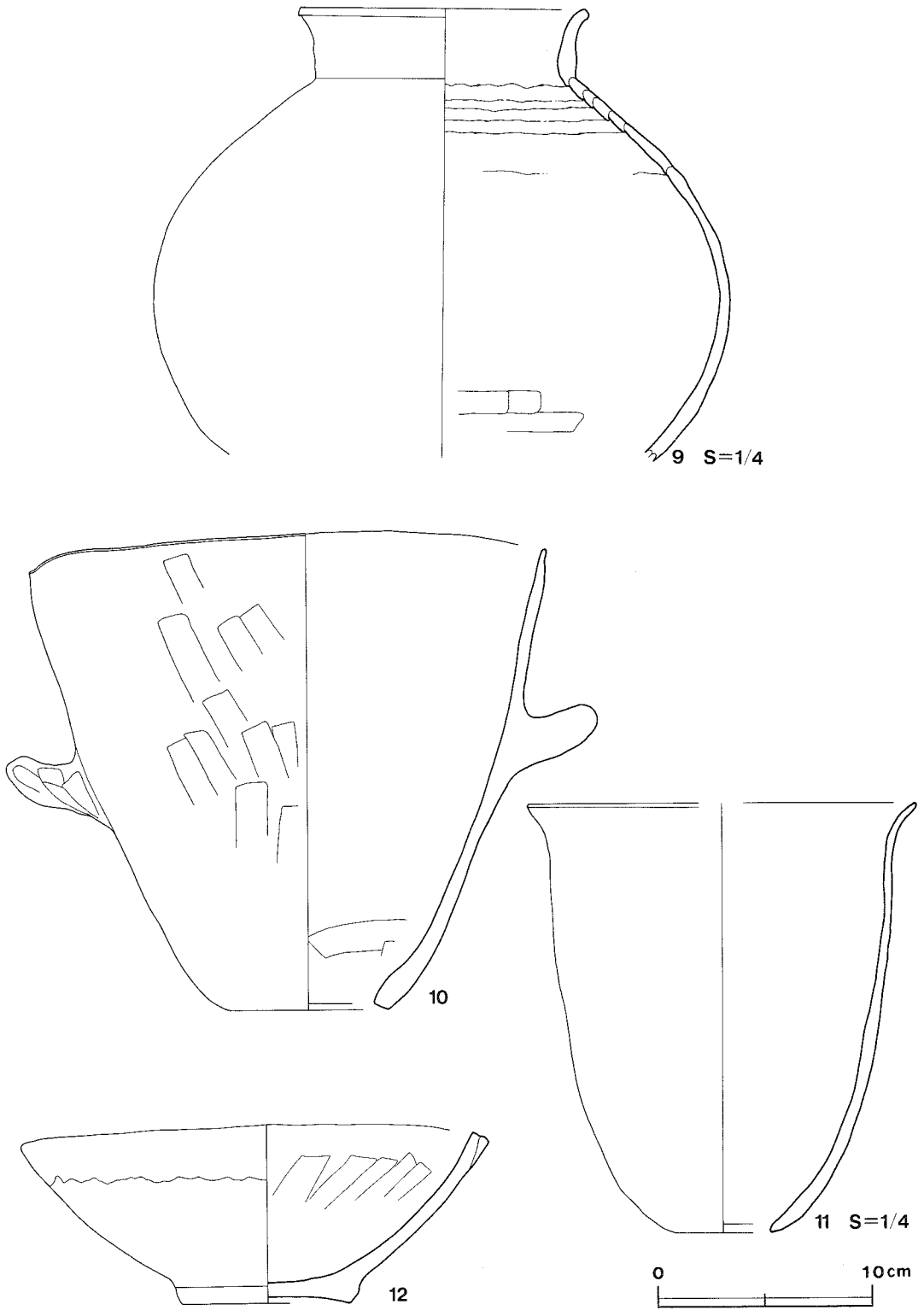
第389図 第124・126(1)号住居跡出土遺物実測図



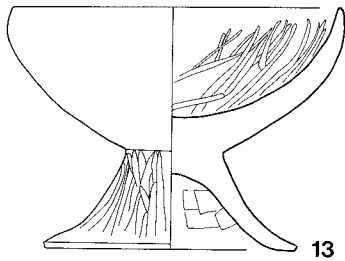
第390図 第126(2)・130(1)号住居跡出土遺物実測図



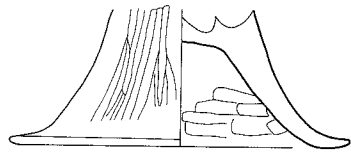
第391図 第130(2)号住居跡出土遺物実測図



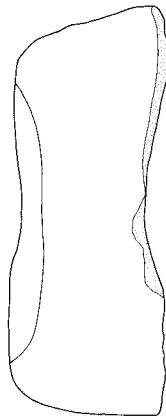
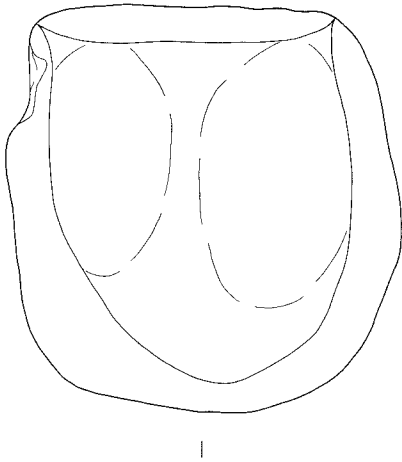
第392図 第130(3)号住居跡出土遺物実測図



13



14



15

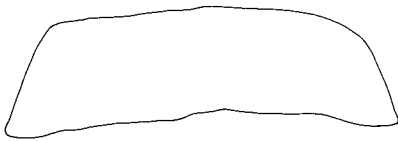


16

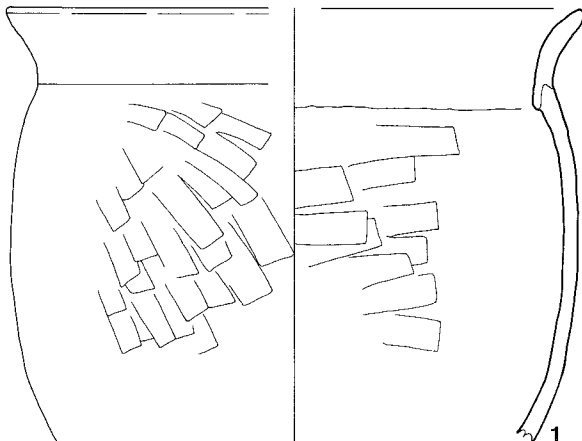
S=1/2



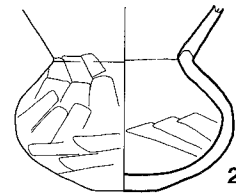
17



SI 130



1
S=1/4

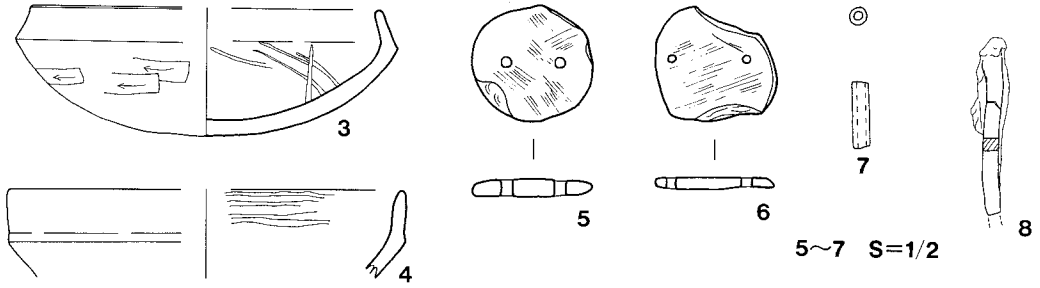


2

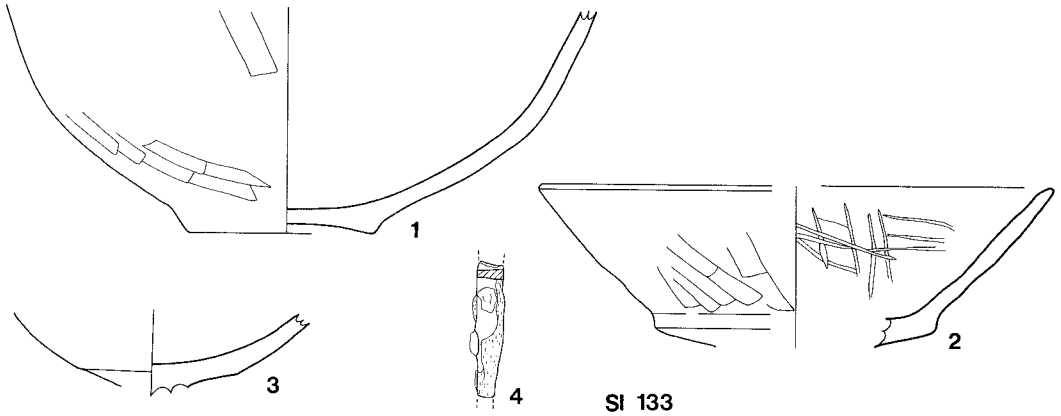
SI 131



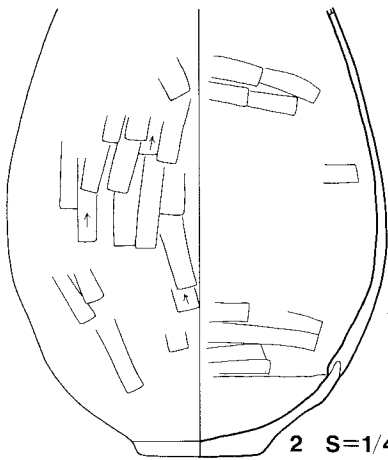
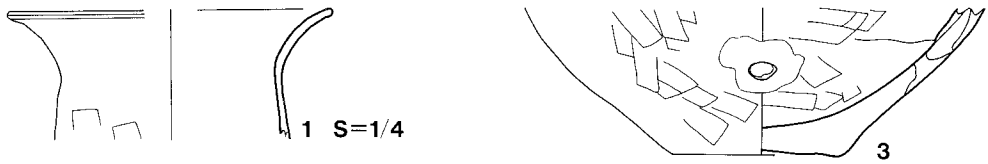
第393図 第130(4)・131(1)号住居跡出土遺物実測図



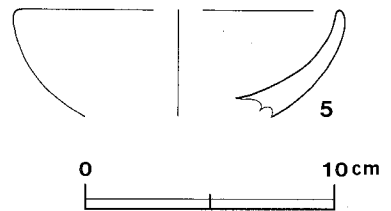
SI 131



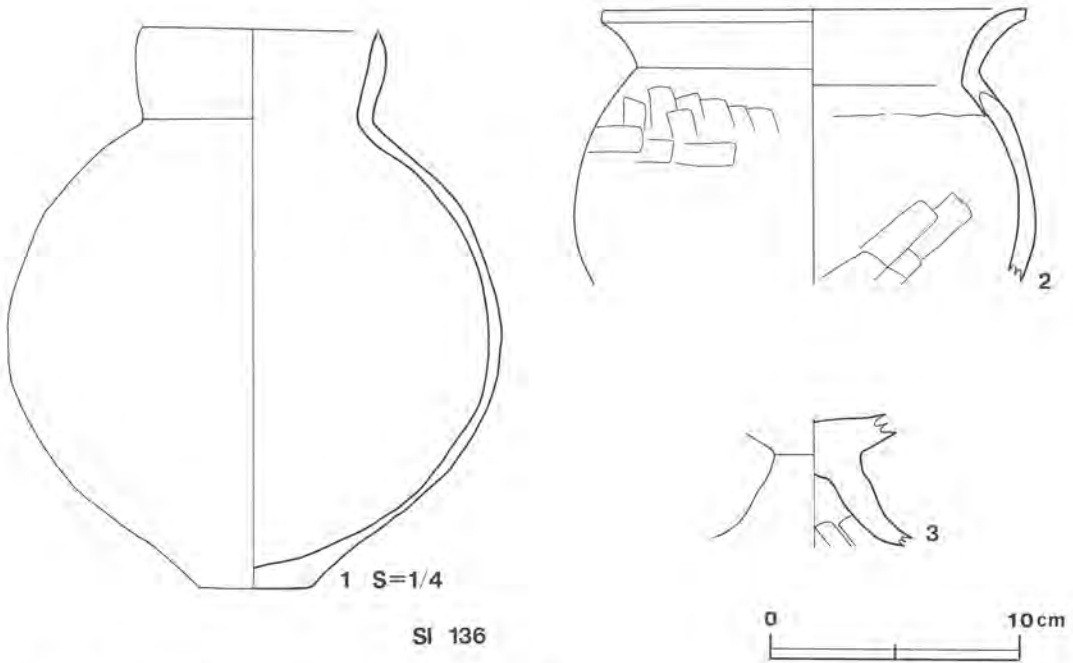
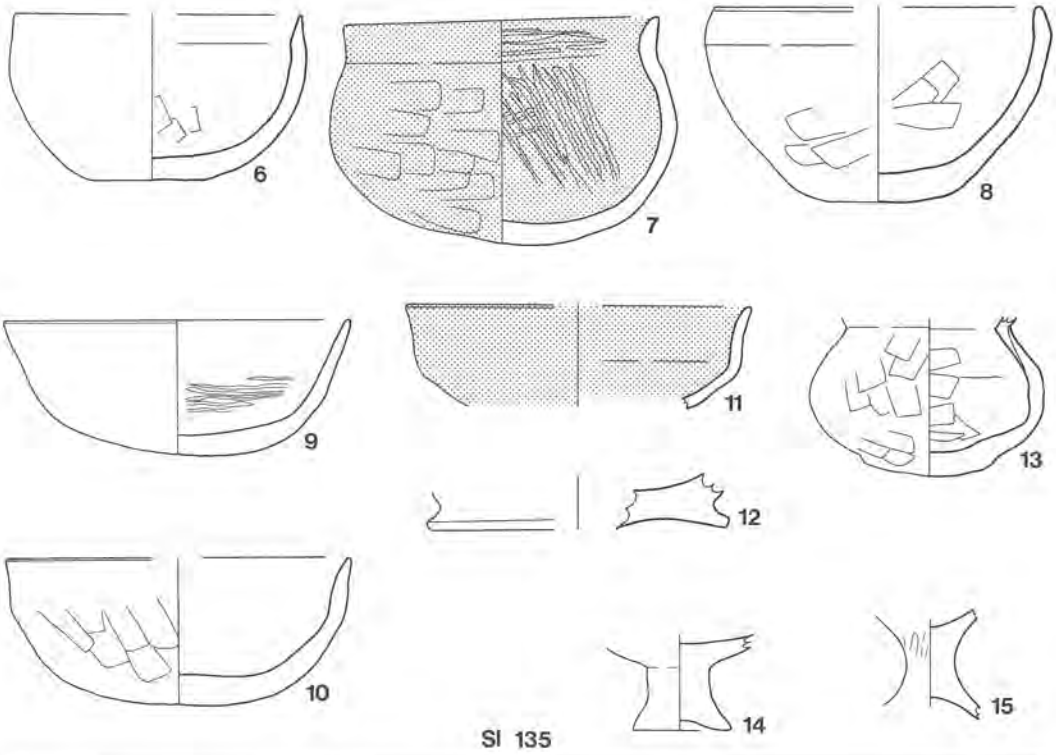
SI 133



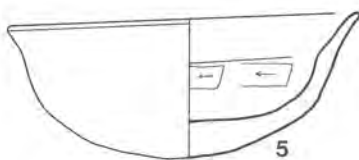
SI 135



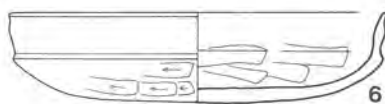
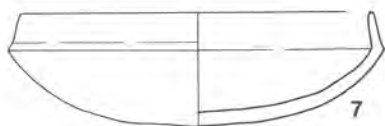
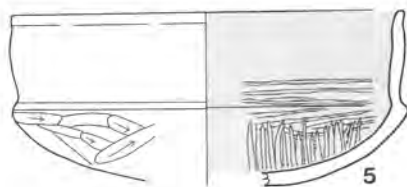
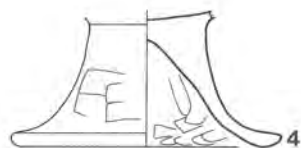
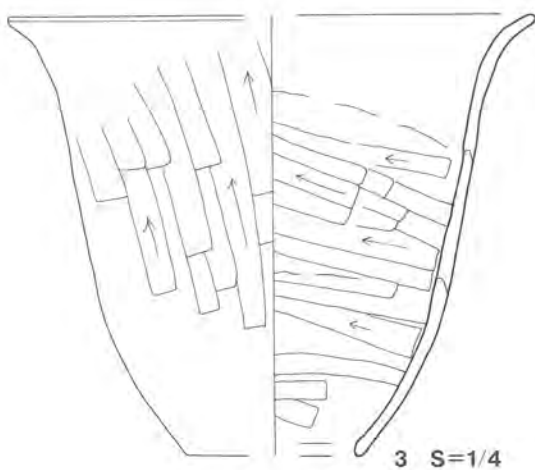
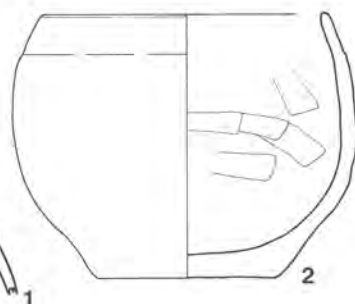
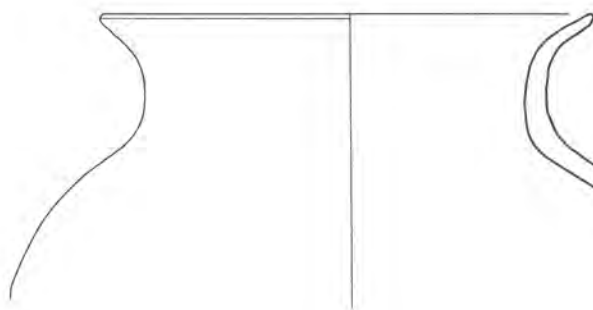
第394図 第131(2)・133・135(1)号住居跡出土遺物実測図



第395図 第135(2)・136(1)号住居跡出土遺物実測図



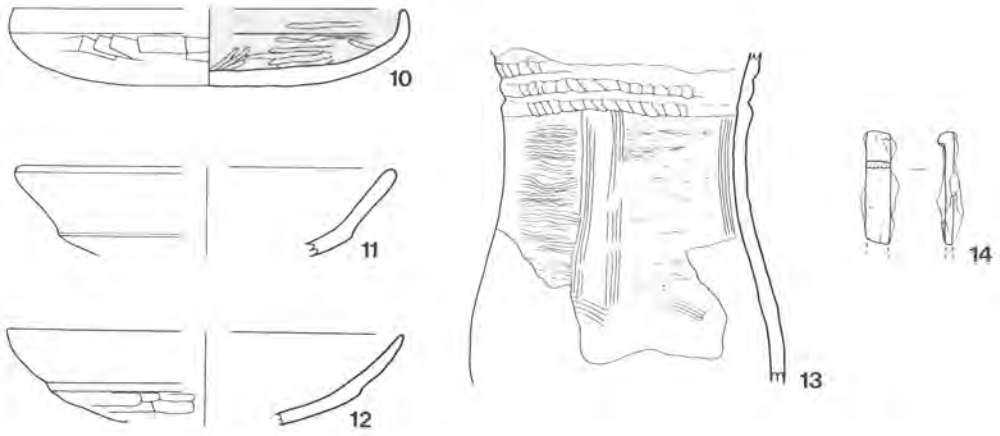
SI 136



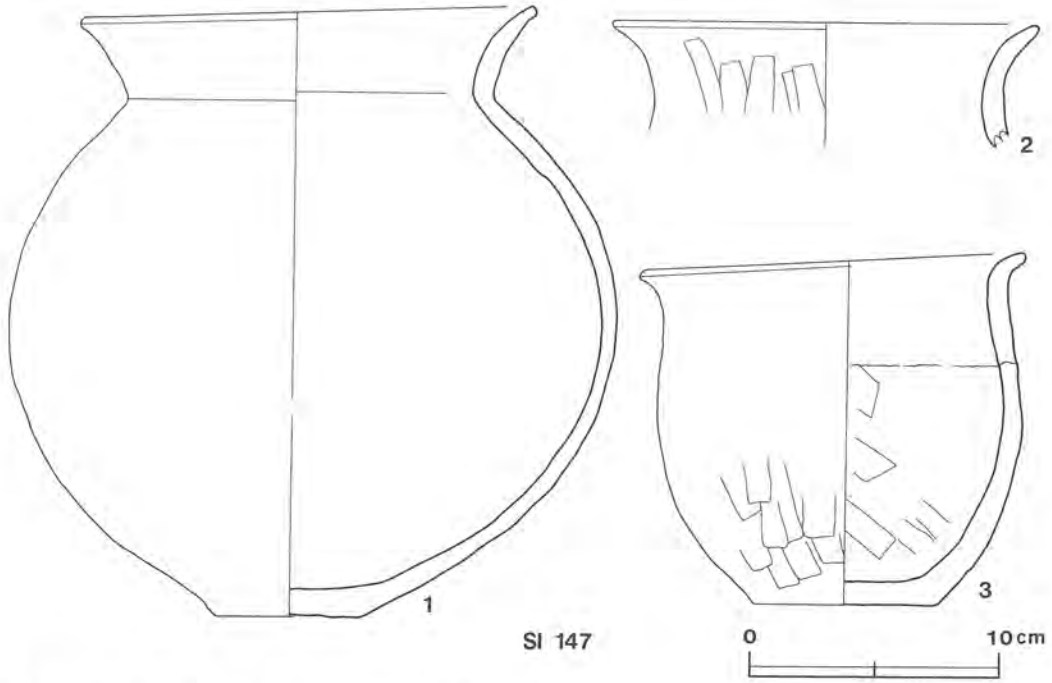
SI 138



第396図 第136(2)・138(1)号住居跡出土遺物実測図



SI 138

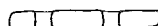
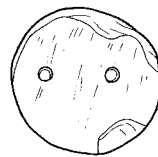
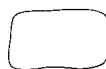
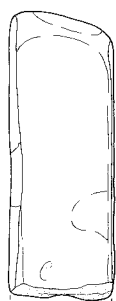
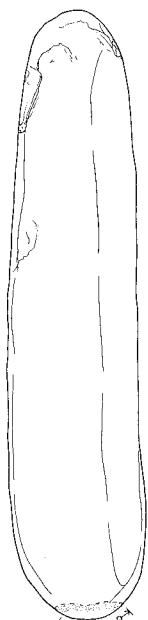
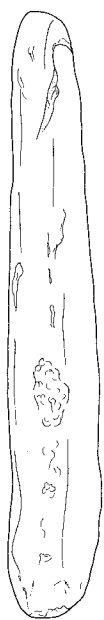
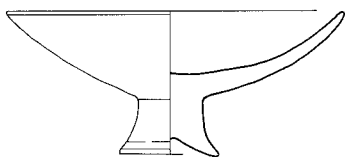
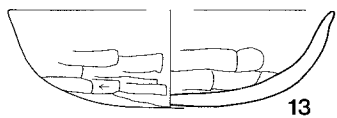
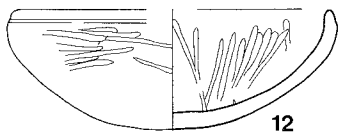
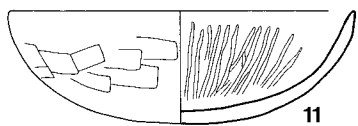
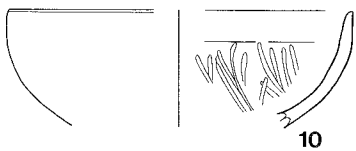
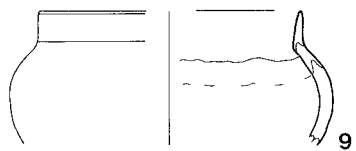


SI 147

第397図 第138(2)・147(1)号住居跡出土遺物実測図



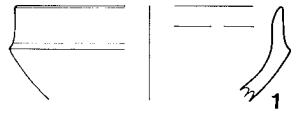
第398図 第147(2)号住居跡出土遺物実測図



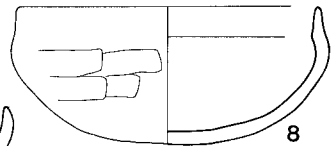
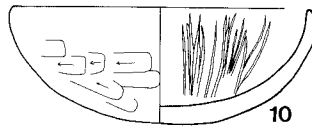
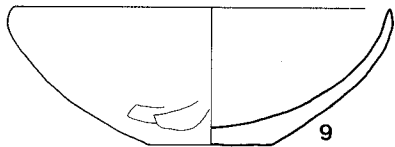
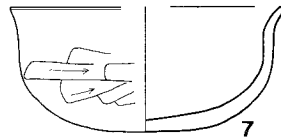
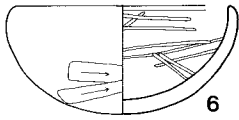
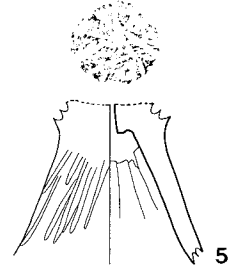
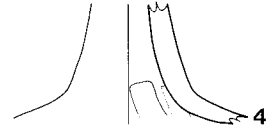
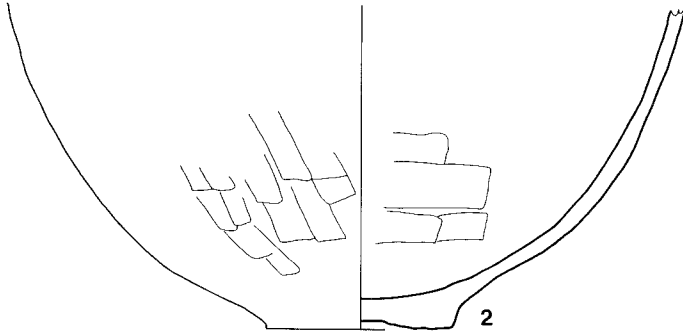
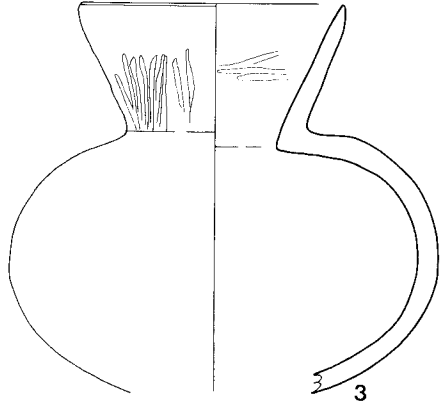
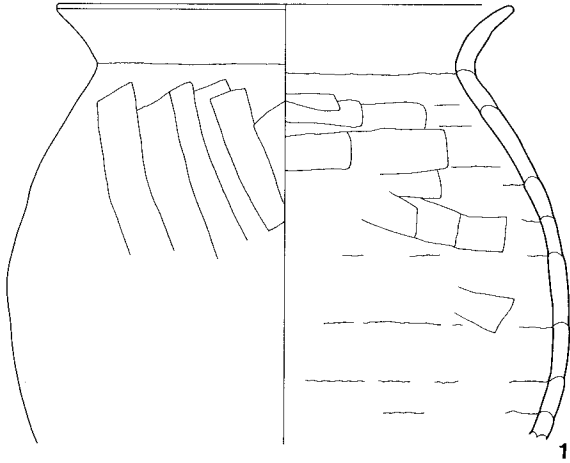
S=1/2



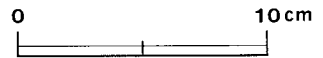
第399図 第147(3)号住居跡出土遺物実測図



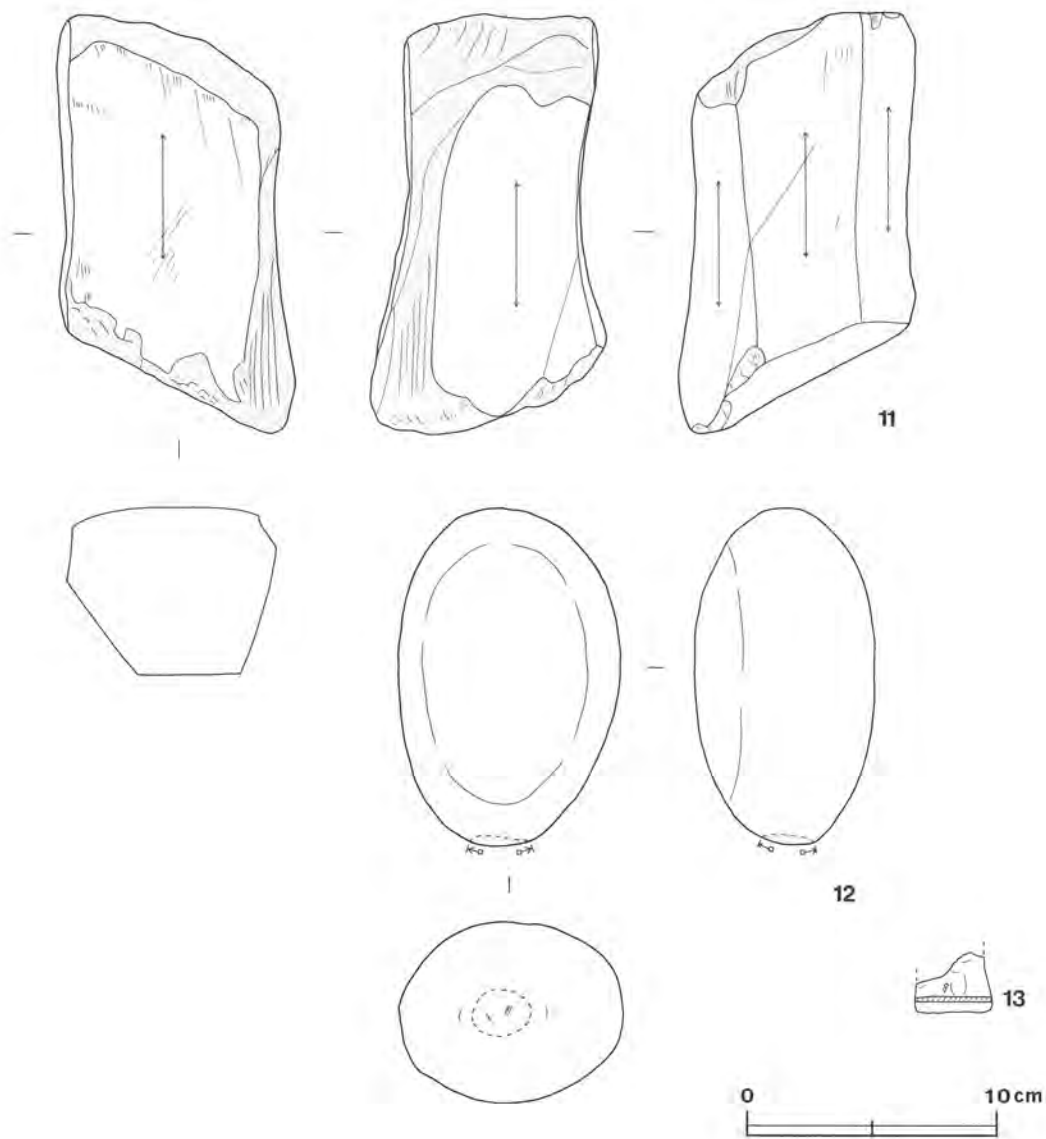
SI 150



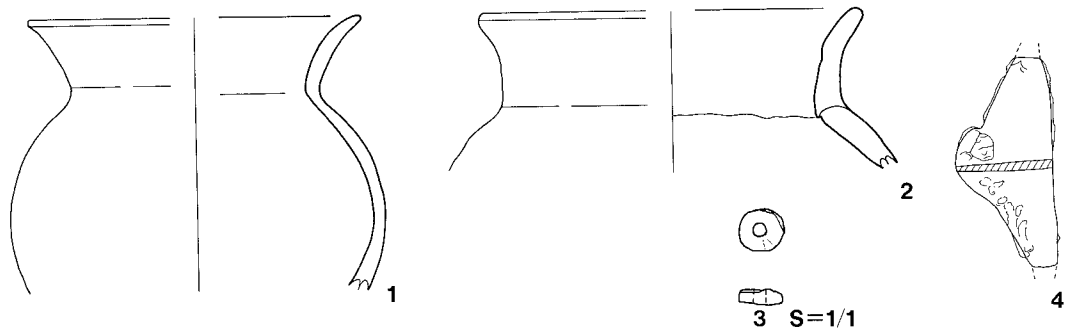
SI 155



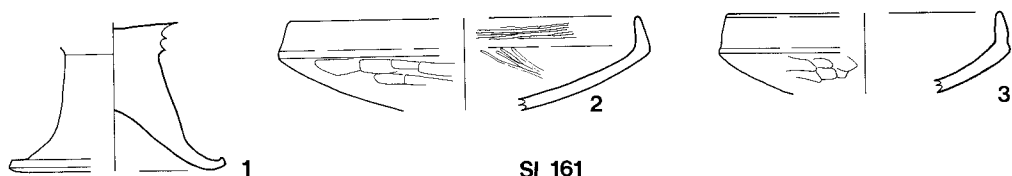
第400図 第150・155(1)号住居跡出土遺物実測図



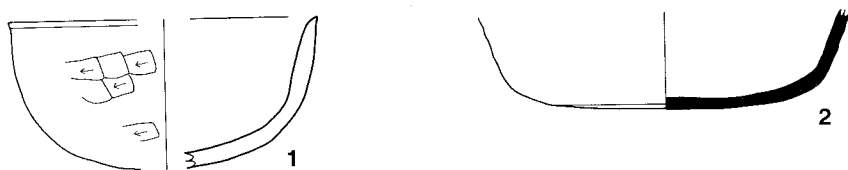
第401図 第155(2)号住居跡出土遺物実測図



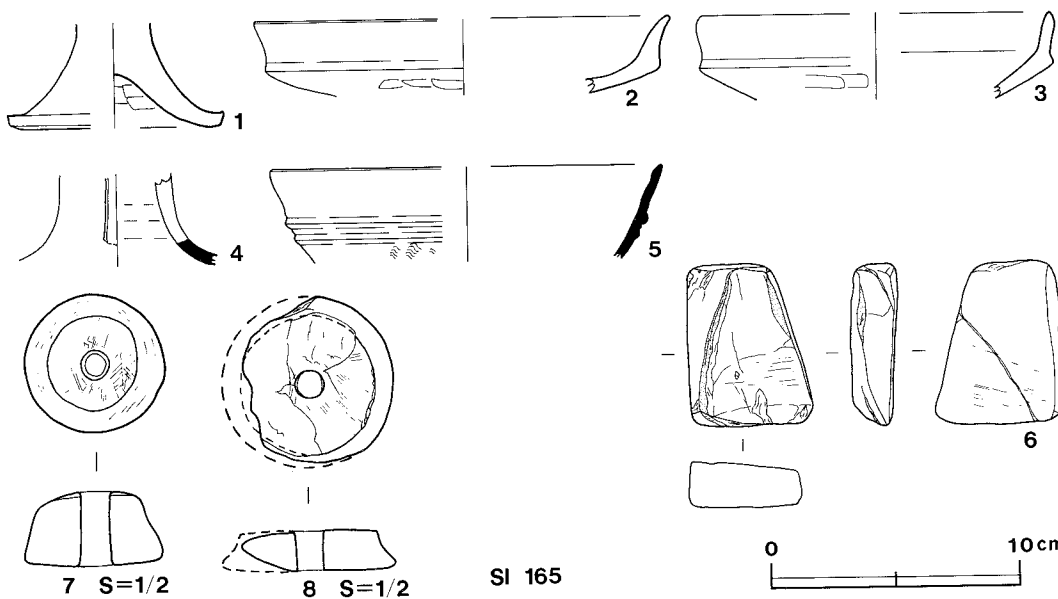
SI 158



SI 161

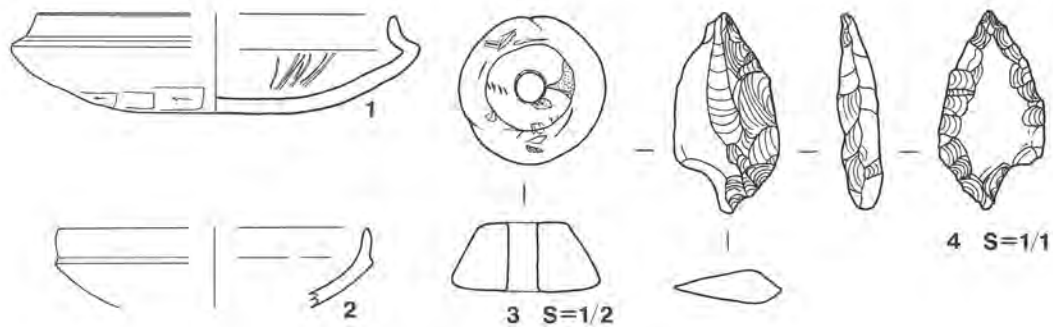


SI 162

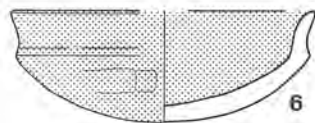
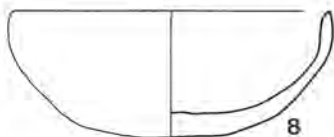
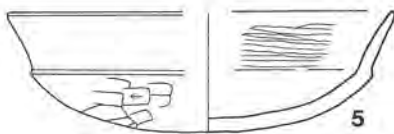
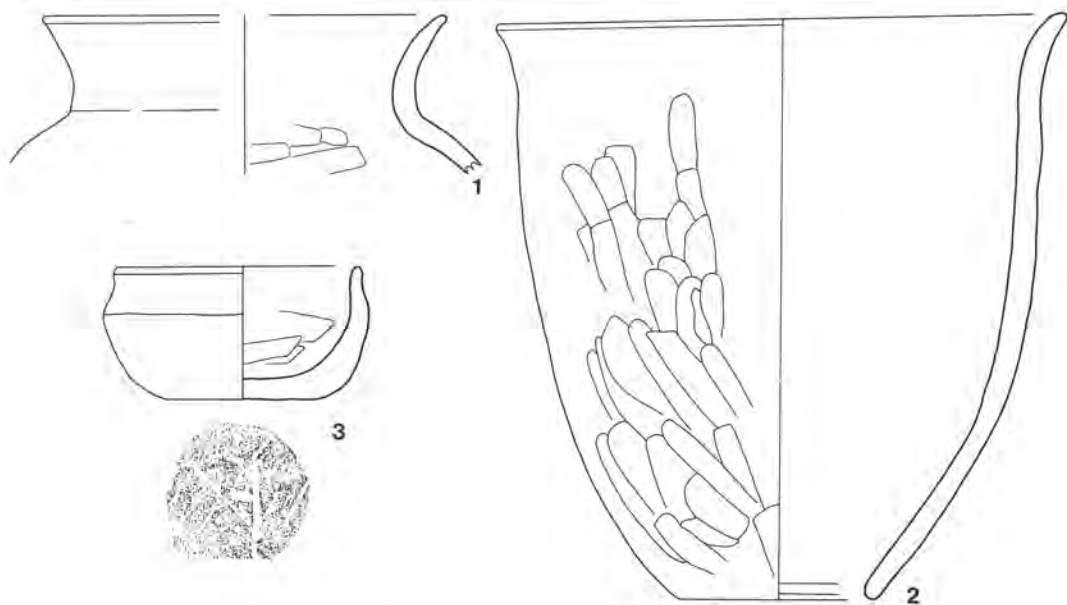


SI 165

第402図 第158・161・162・165号住居跡出土遺物実測図



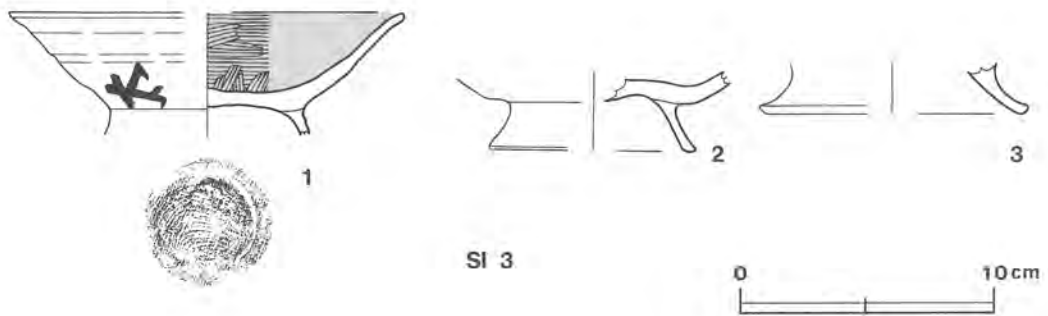
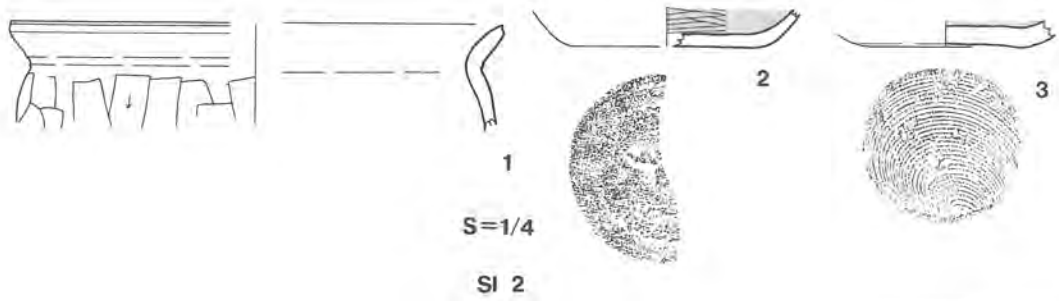
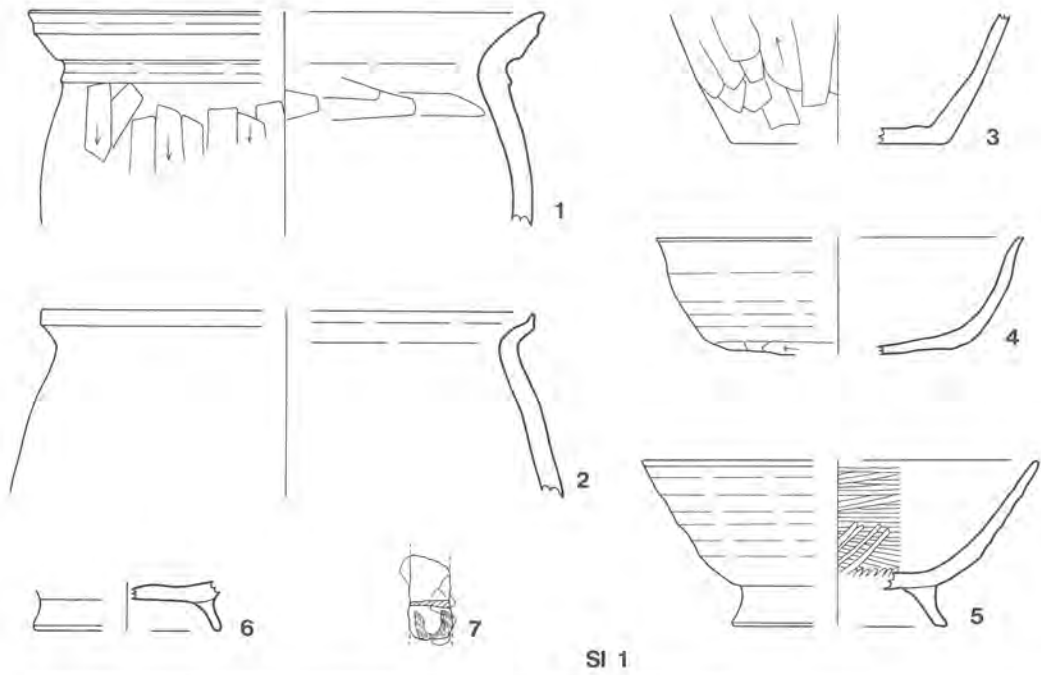
SI 168



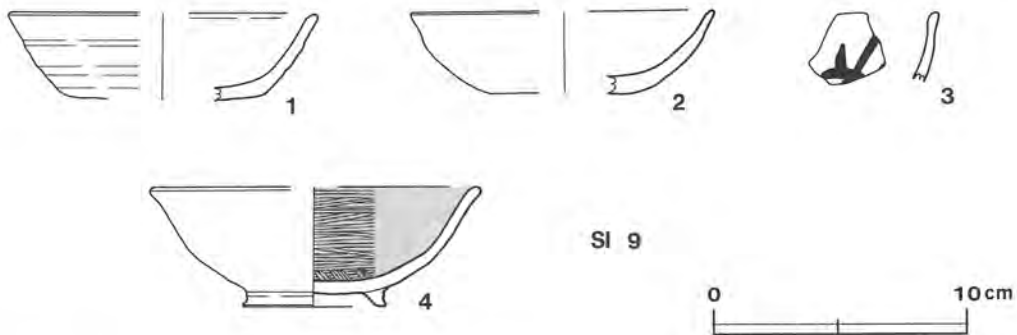
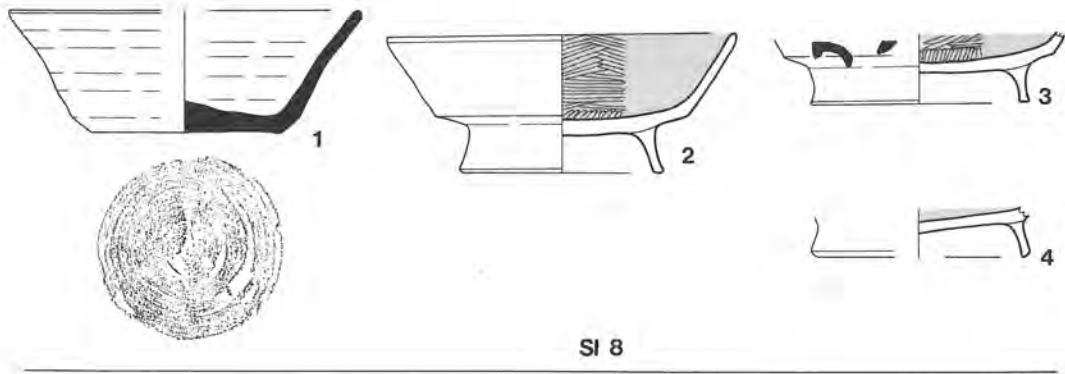
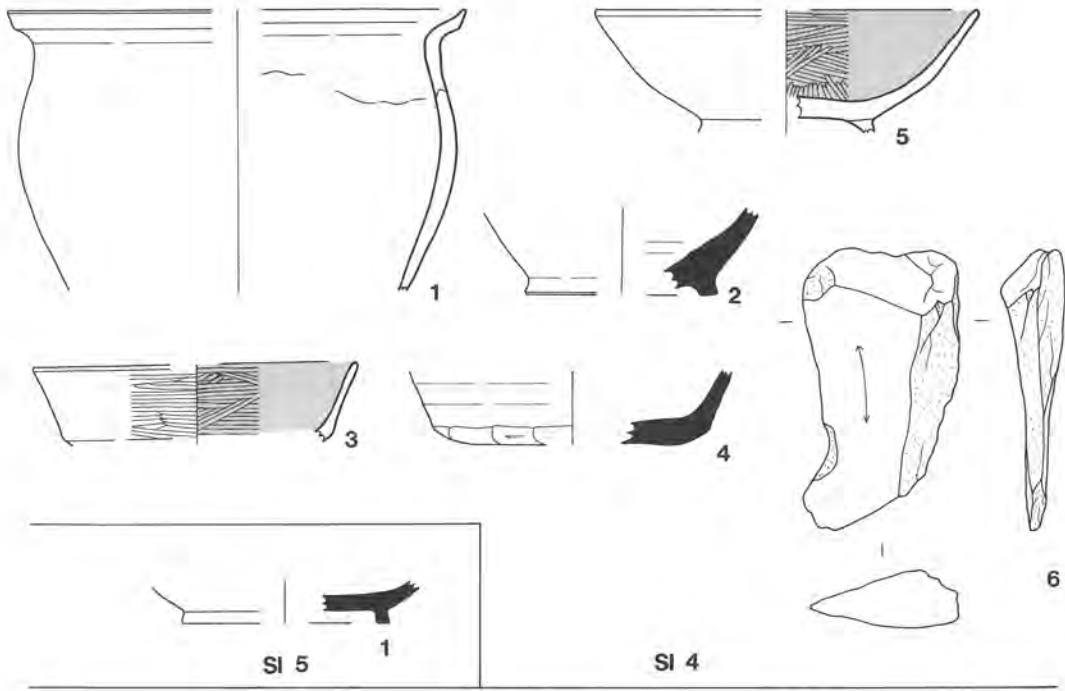
SI 174



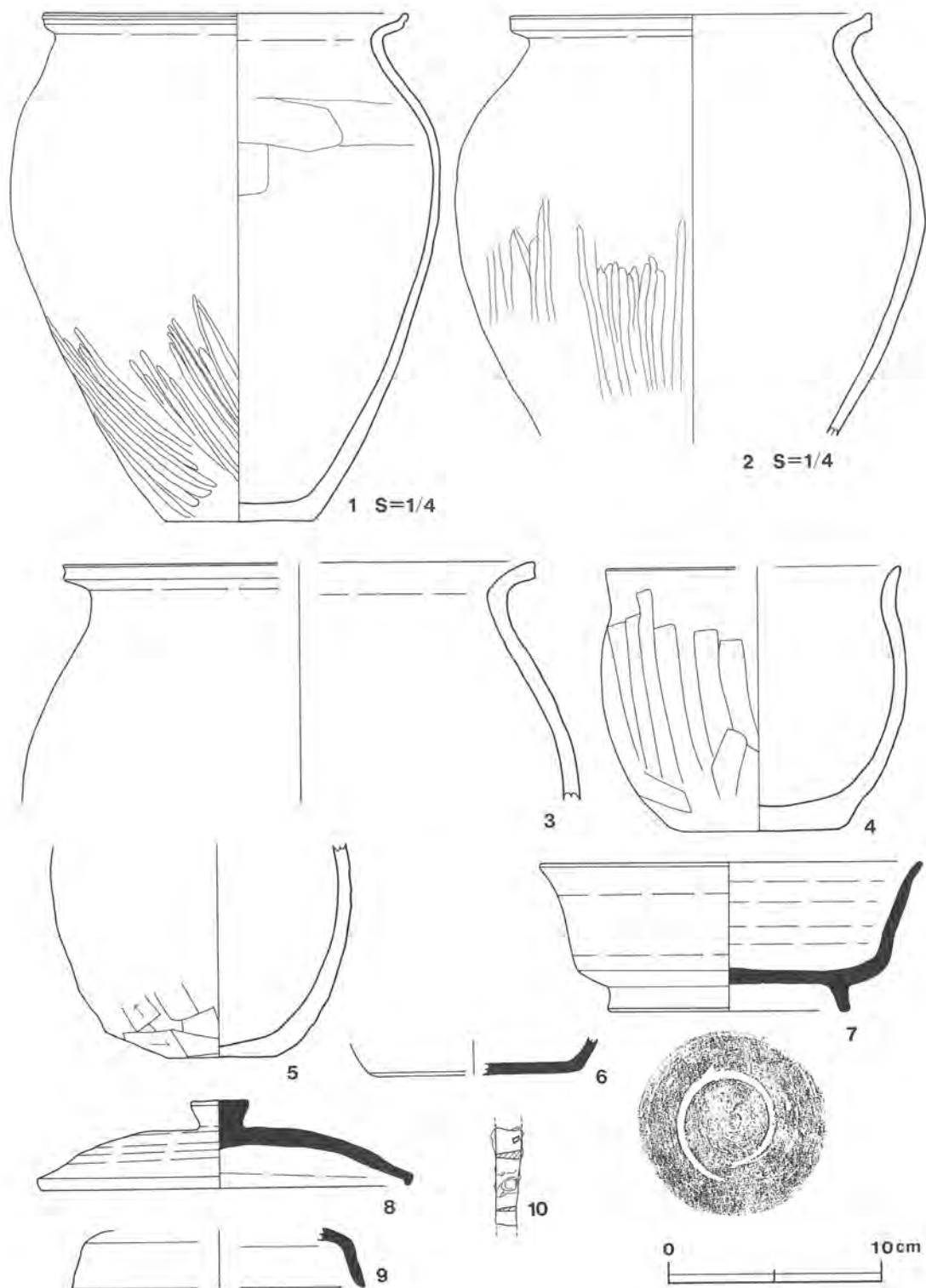
第403図 第168・174号住居跡出土遺物実測図



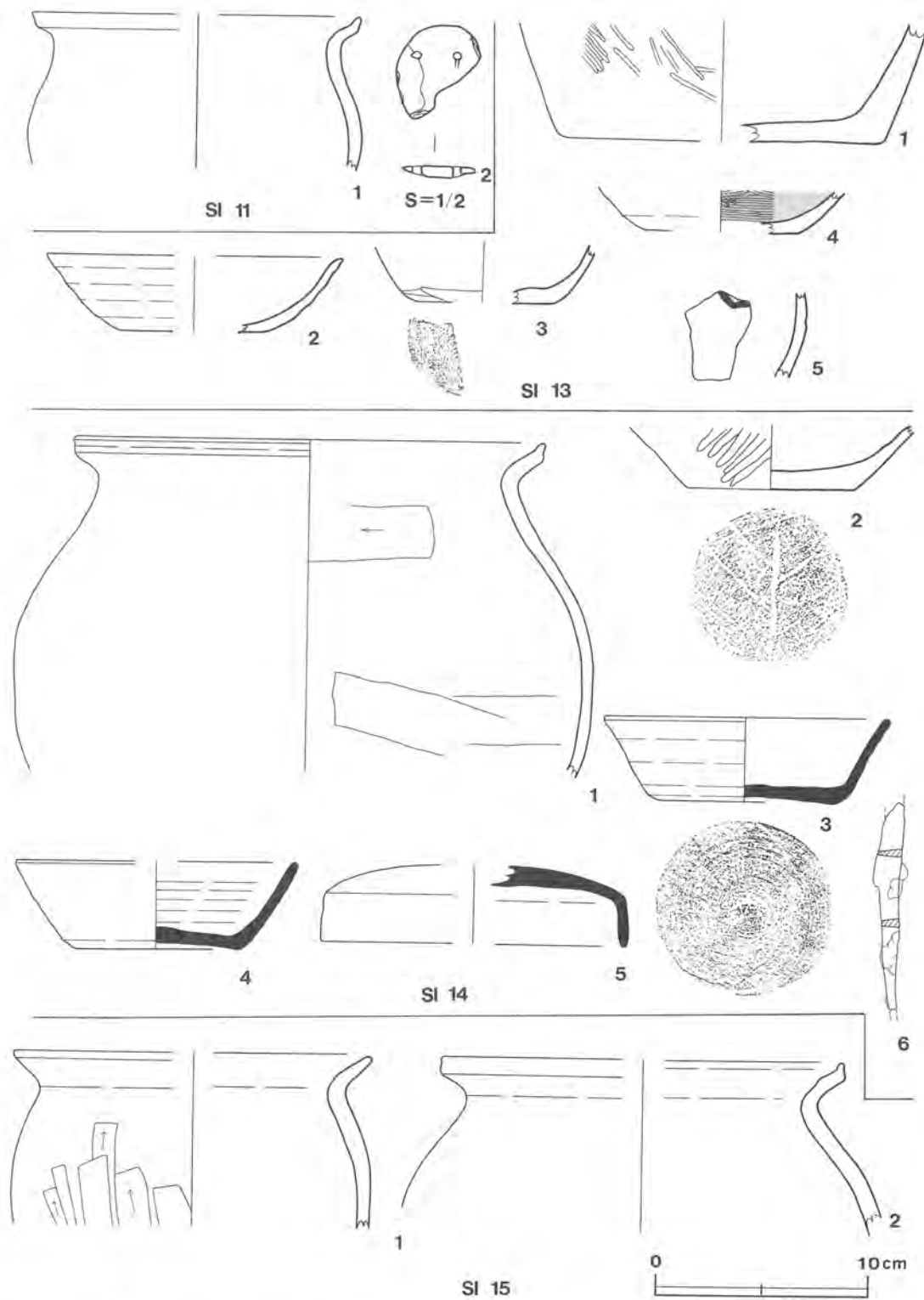
第404図 第1・2・3号住居跡出土遺物実測図



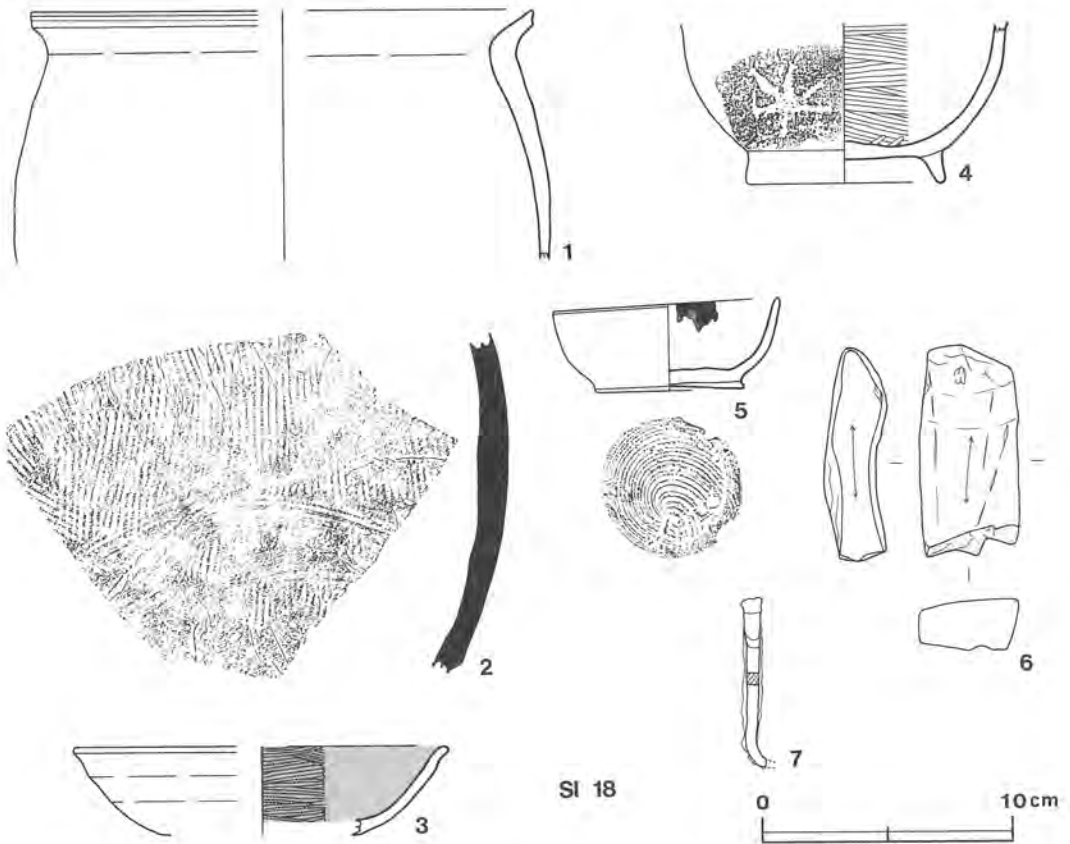
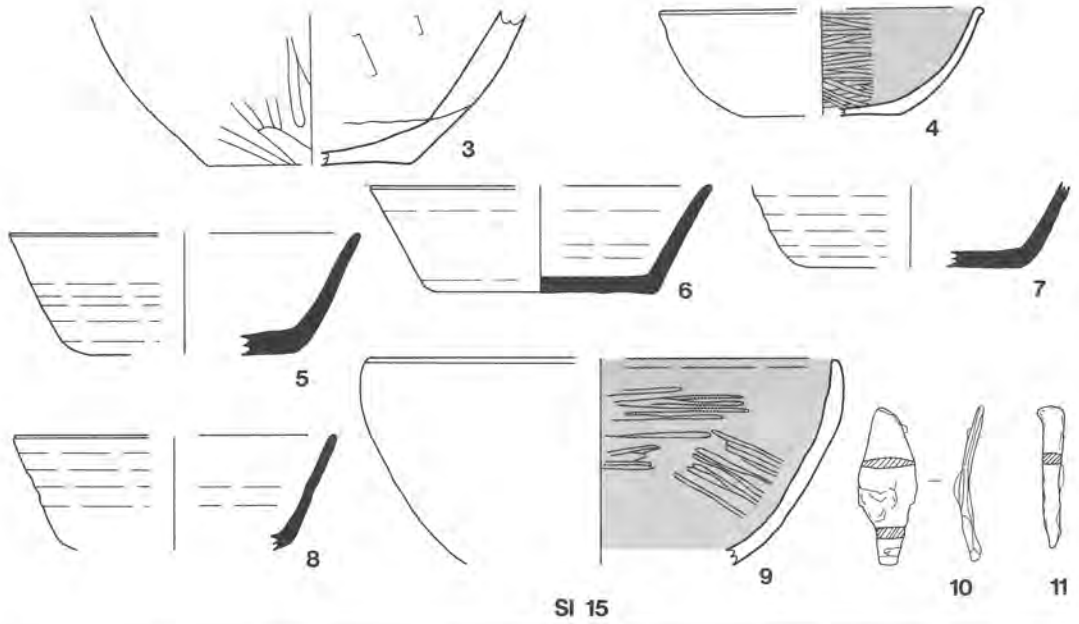
第405図 第4・5・8・9号住居跡出土遺物実測図



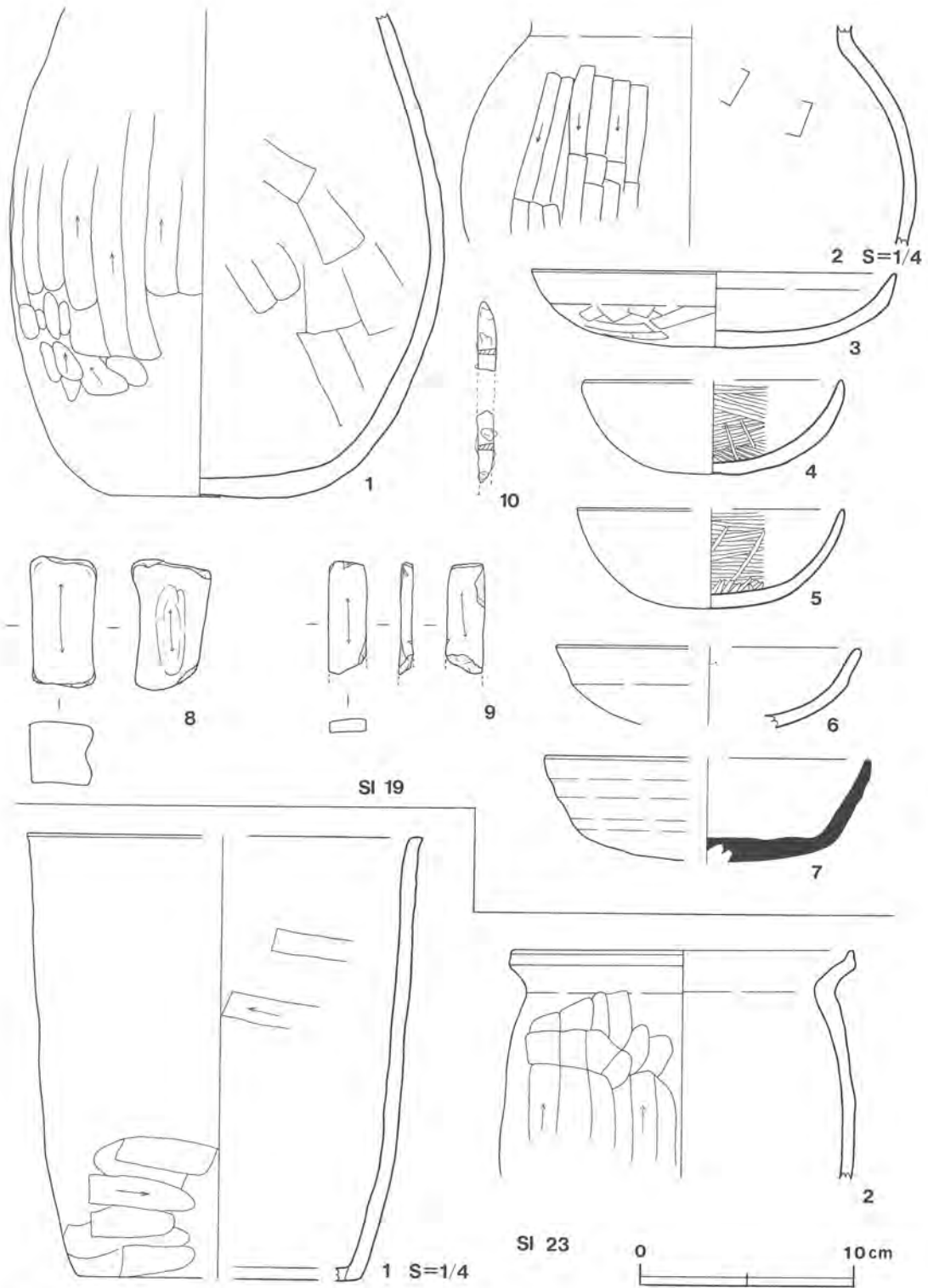
第406図 第10号住居跡出土遺物実測図



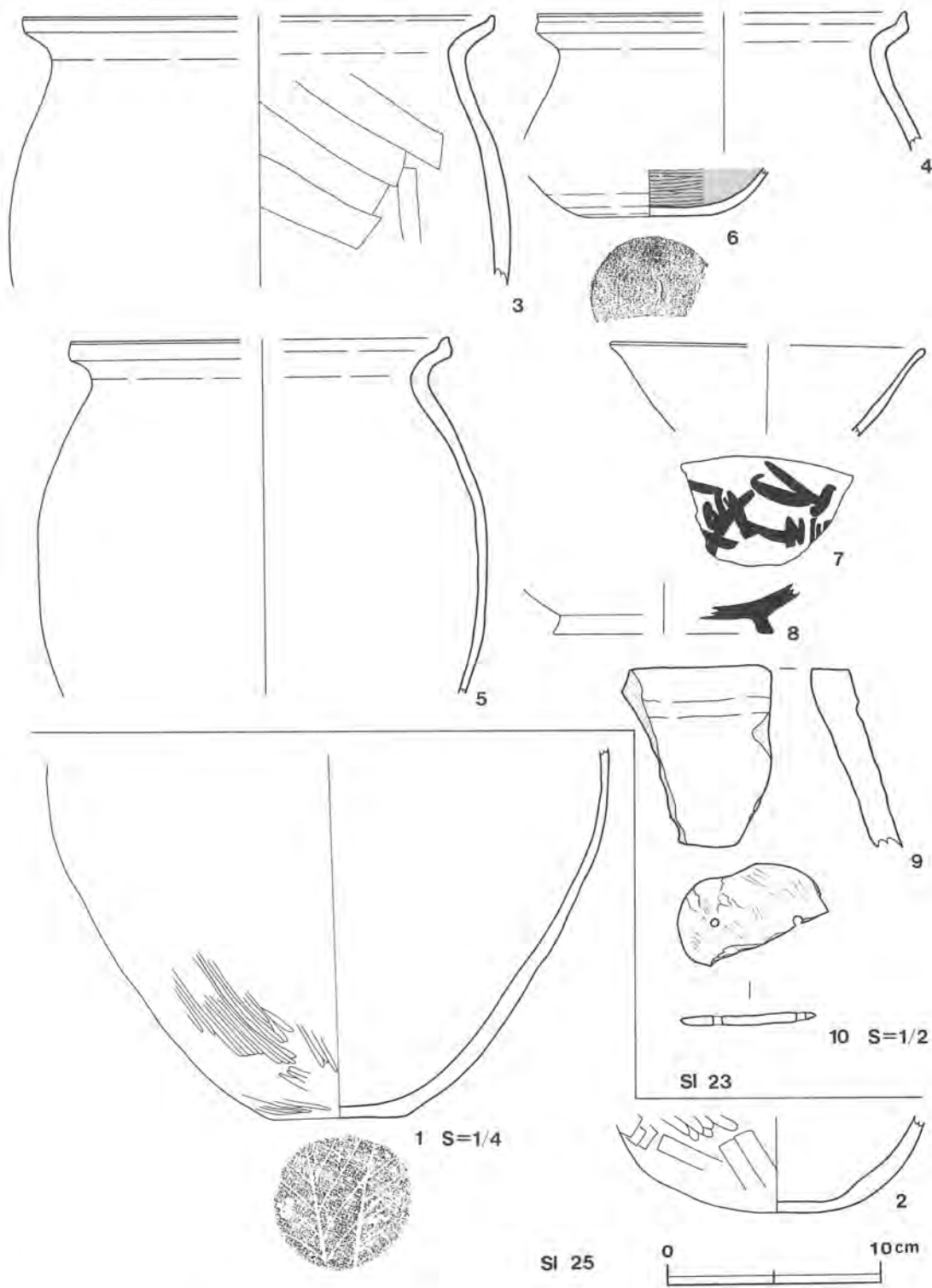
第407図 第11・13・14・15(1)号住居跡出土遺物実測図



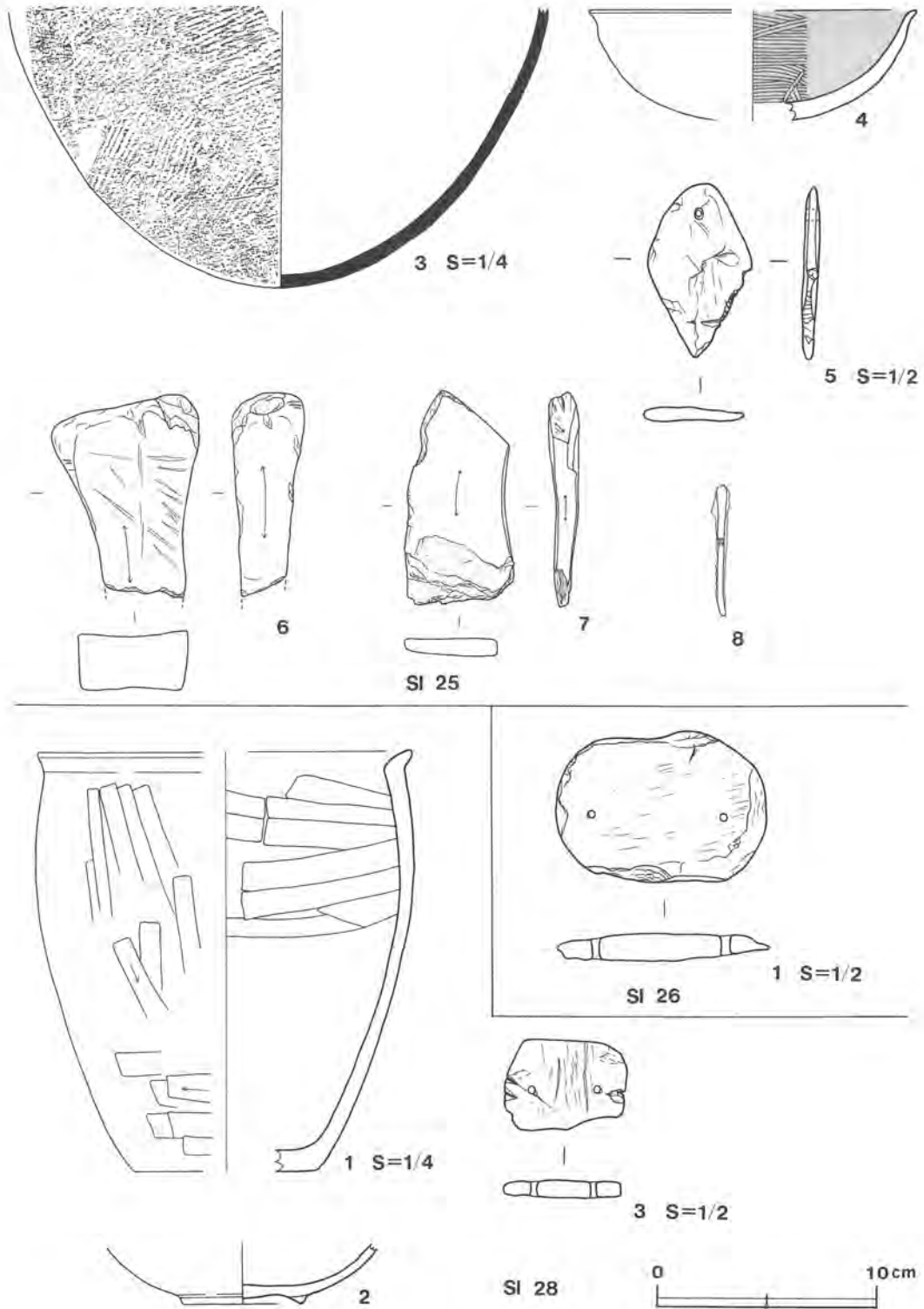
第408図 第15(2)・18号住居跡出土遺物実測図



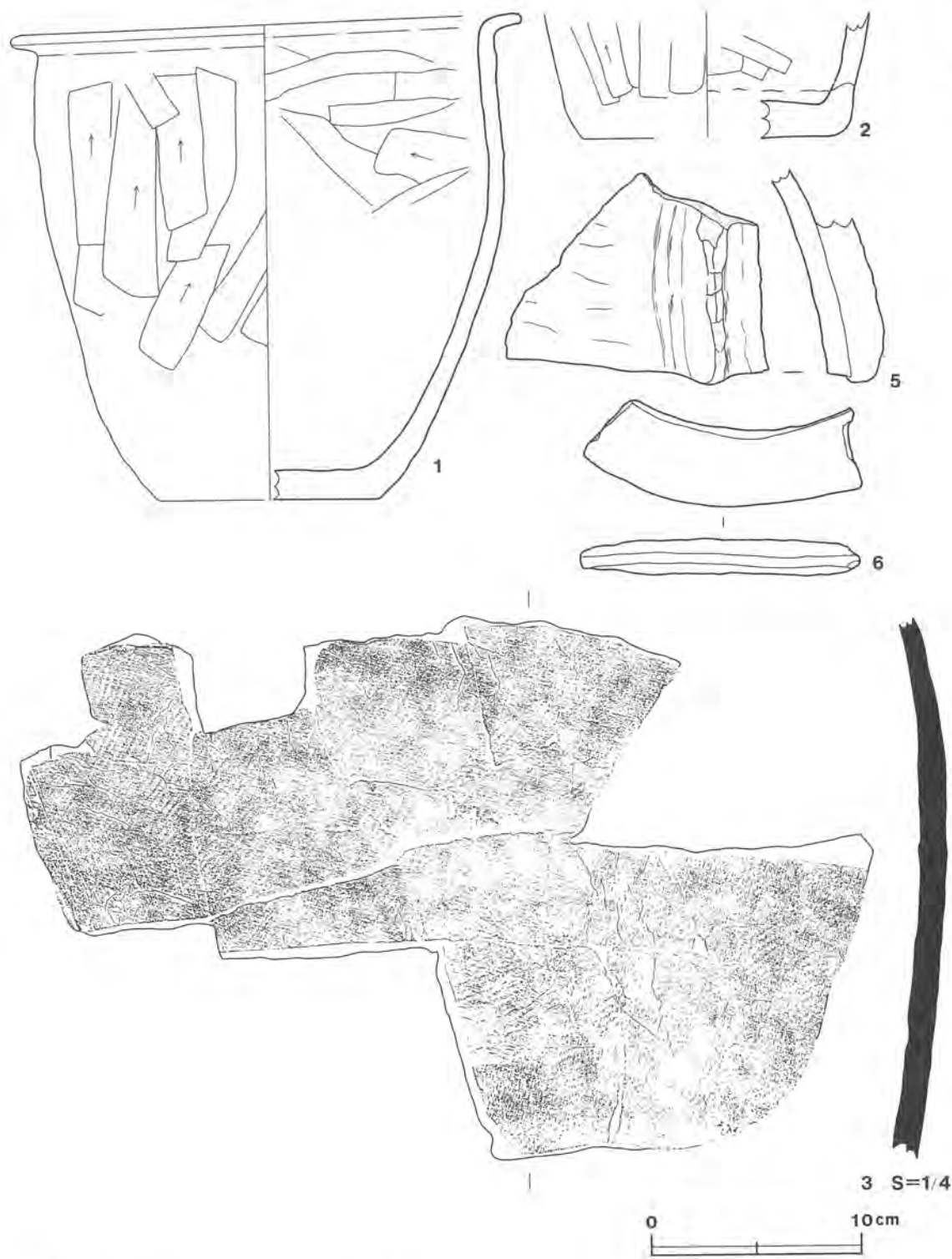
第409図 第19・23(1)号住居跡出土遺物実測図



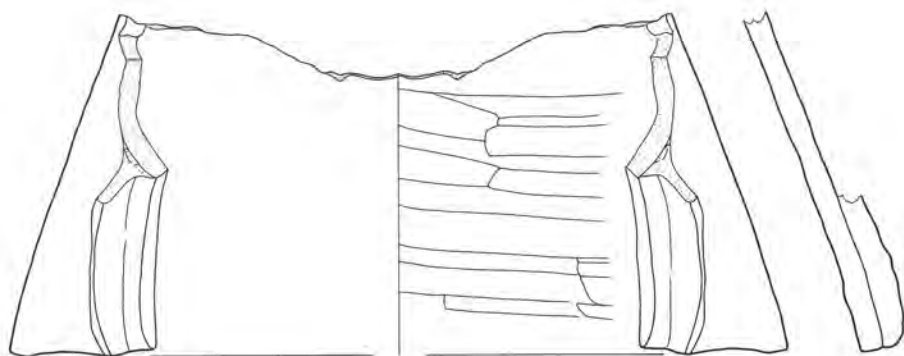
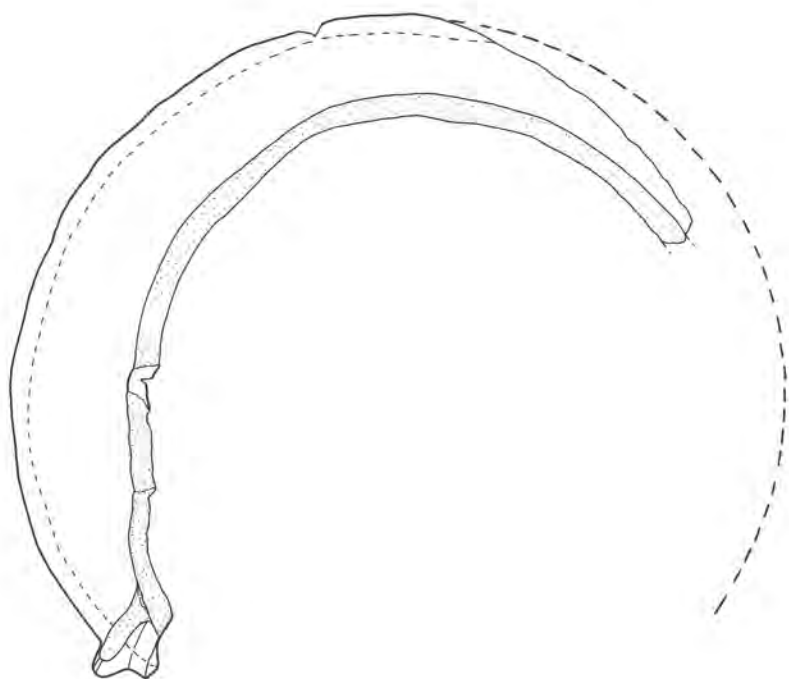
第410図 第23(2)・25(1)号住居跡出土遺物実測図



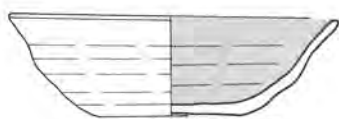
第411図 第25(2)・26・28号住居跡出土遺物実測図



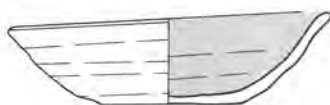
第412図 第29(1)号住居跡出土遺物実測図



4 S=1/4



7



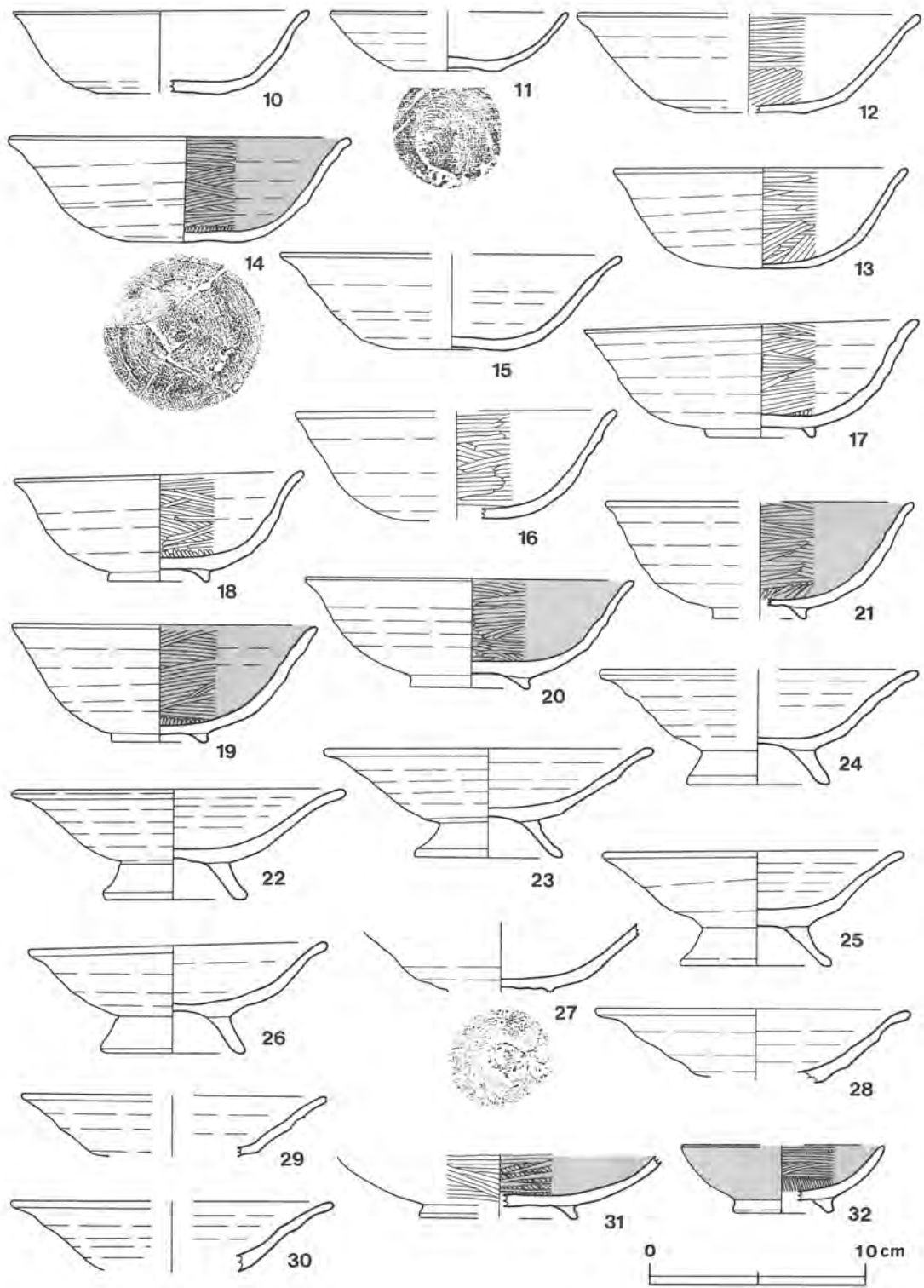
8



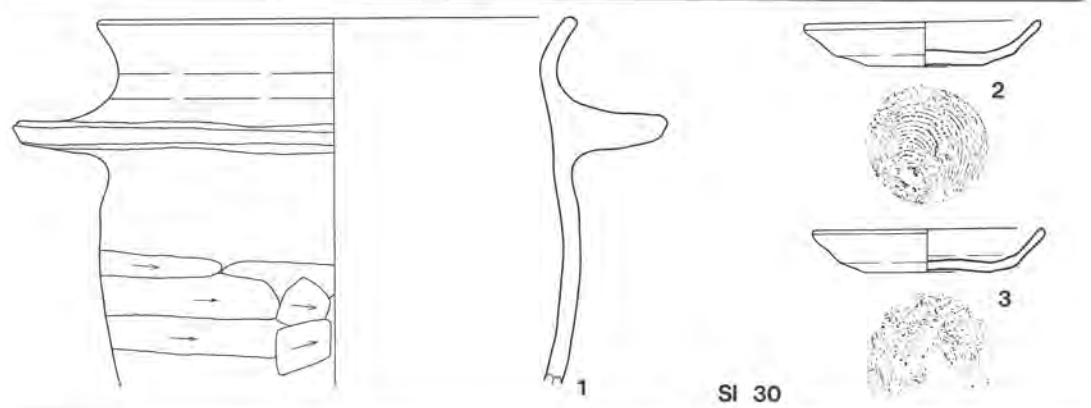
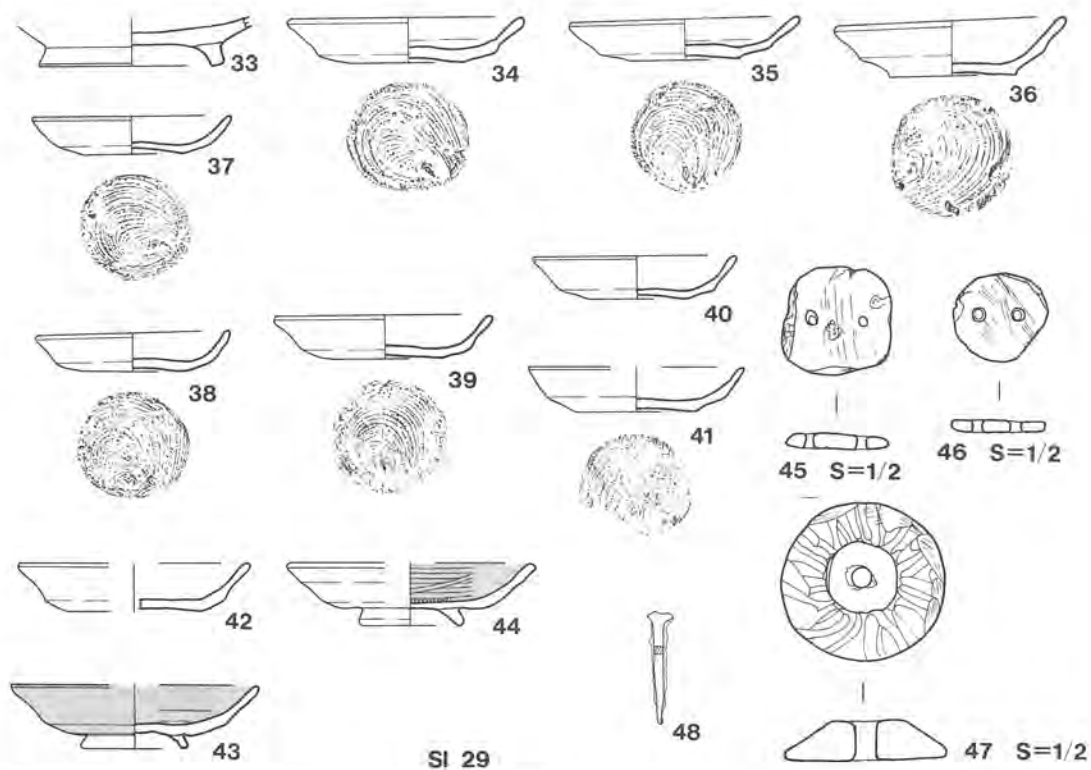
9



第413図 第29(2)号住居跡出土遺物実測図



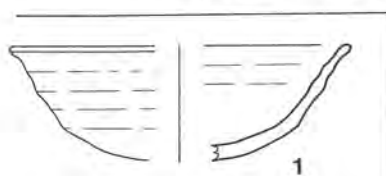
第414図 第29(3)号住居跡出土遺物実測図



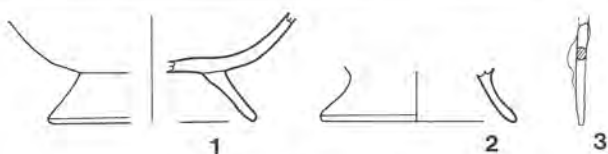
第415図 第29(4)・30・31号住居跡出土遺物実測図



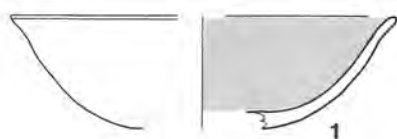
SI 34



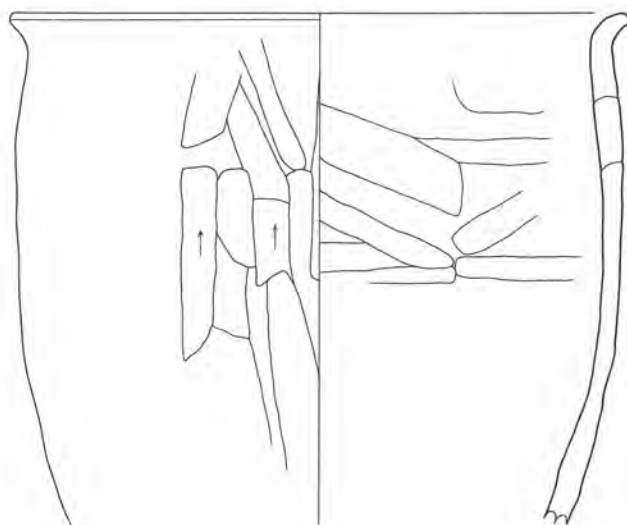
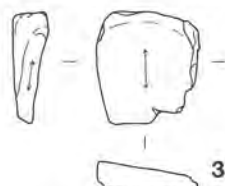
SI 35



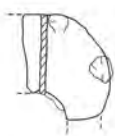
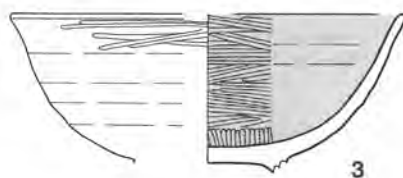
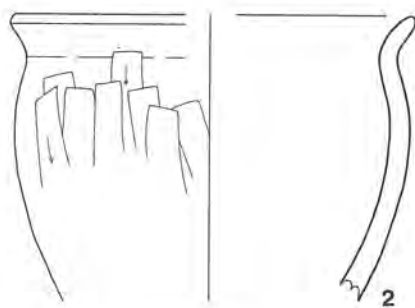
SI 40



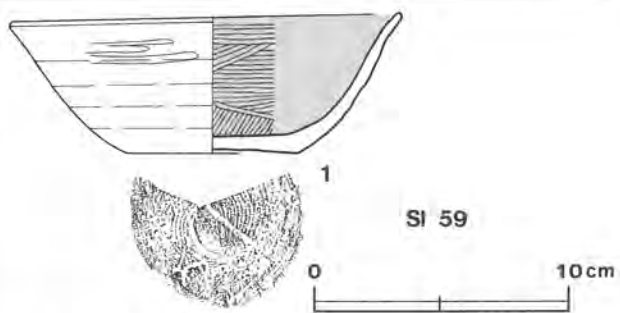
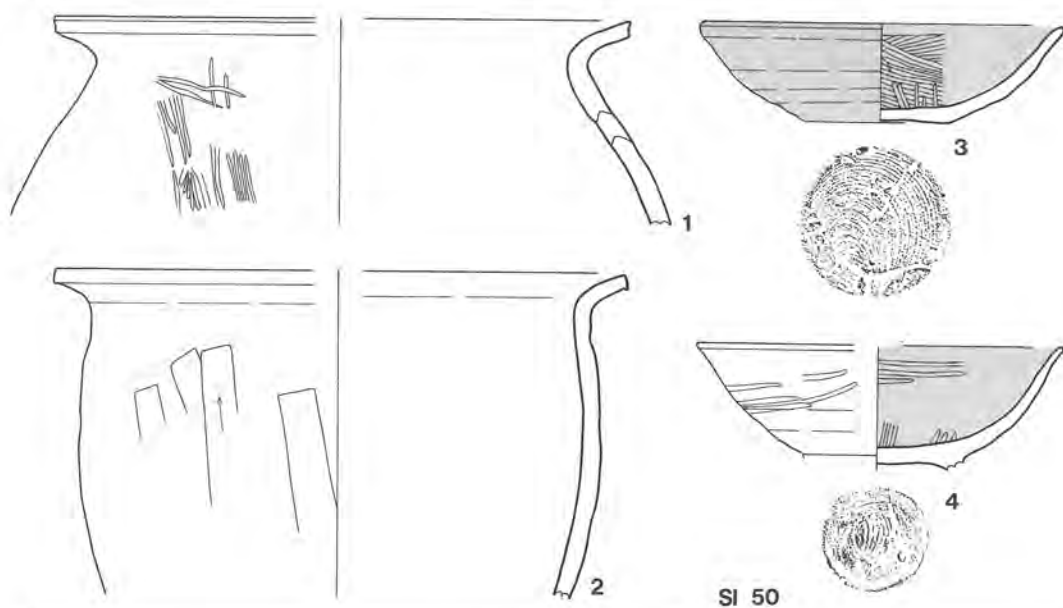
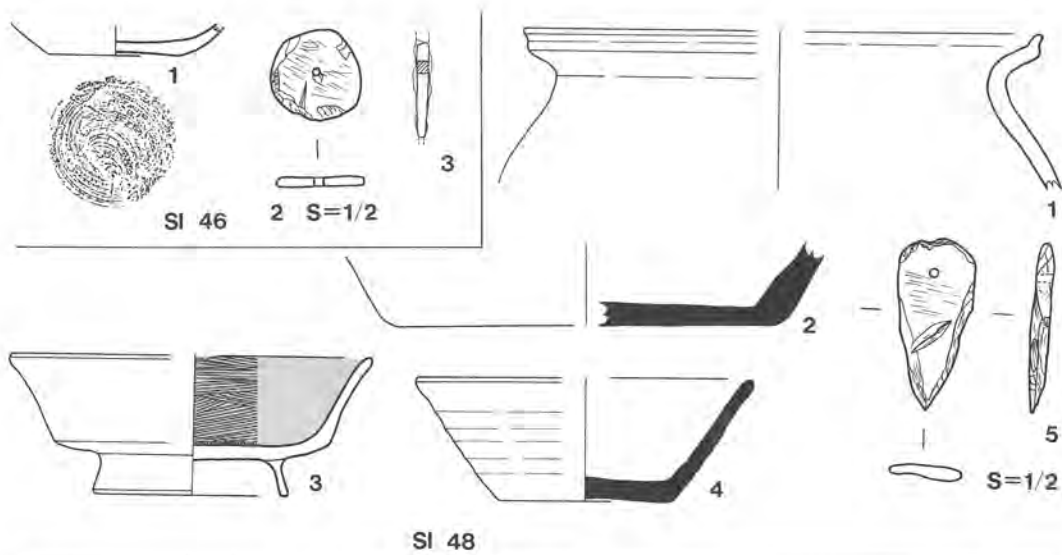
SI 42



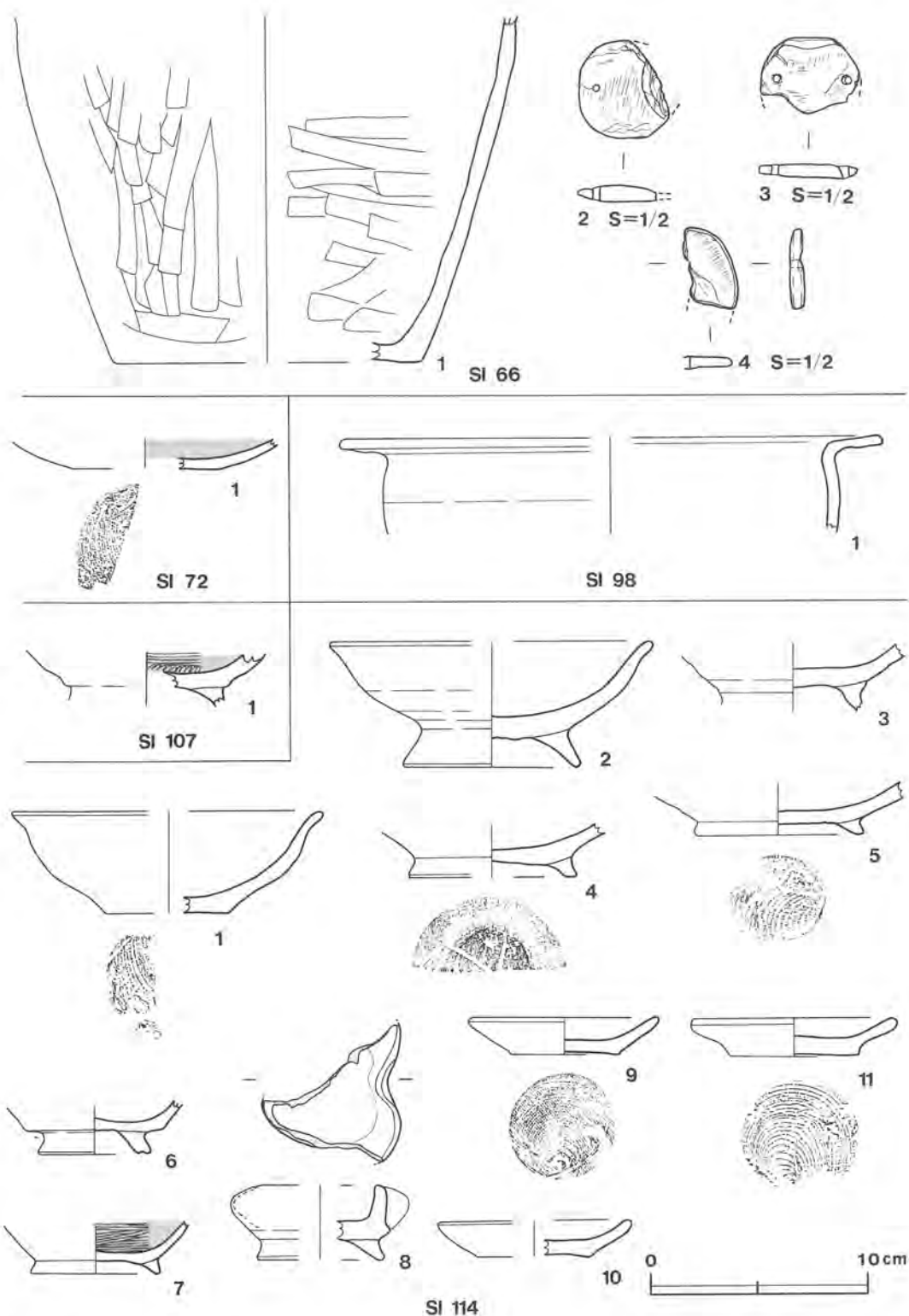
SI 43



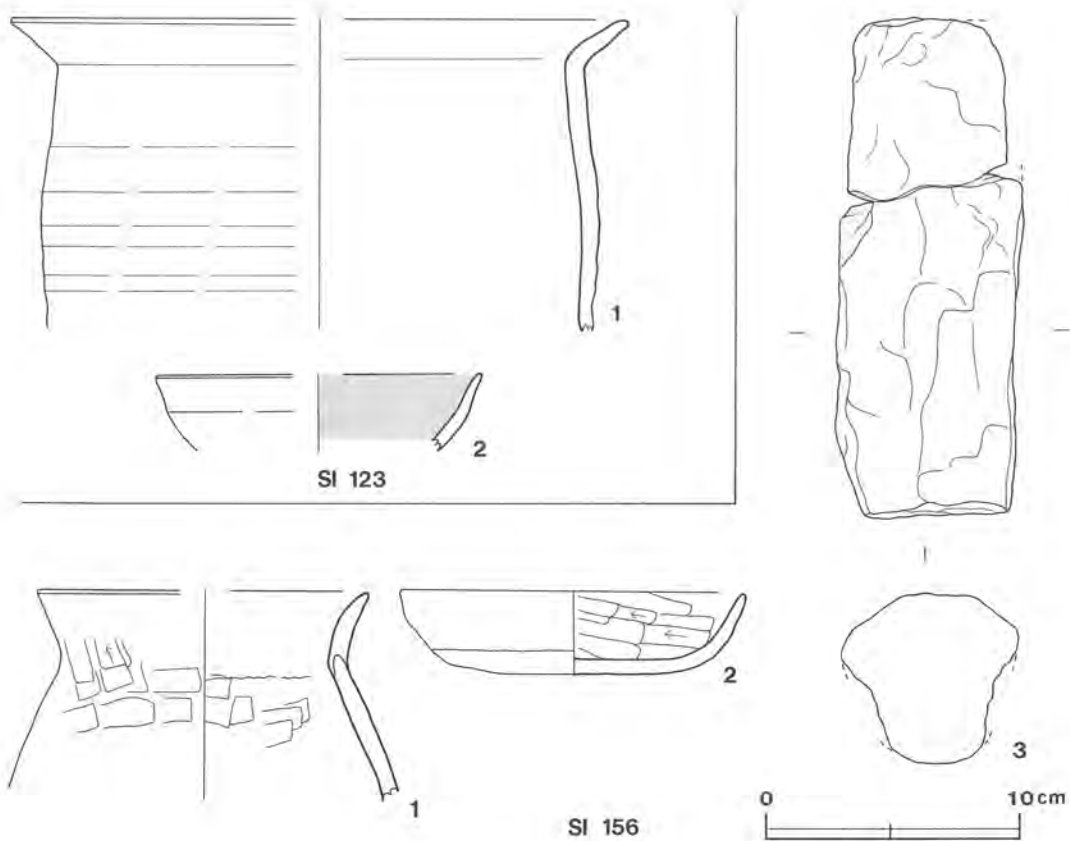
第416図 第34・35・40・42・43号住居跡出土遺物実測図



第417図 第46・48・50・51・58・59号住居跡出土遺物実測図

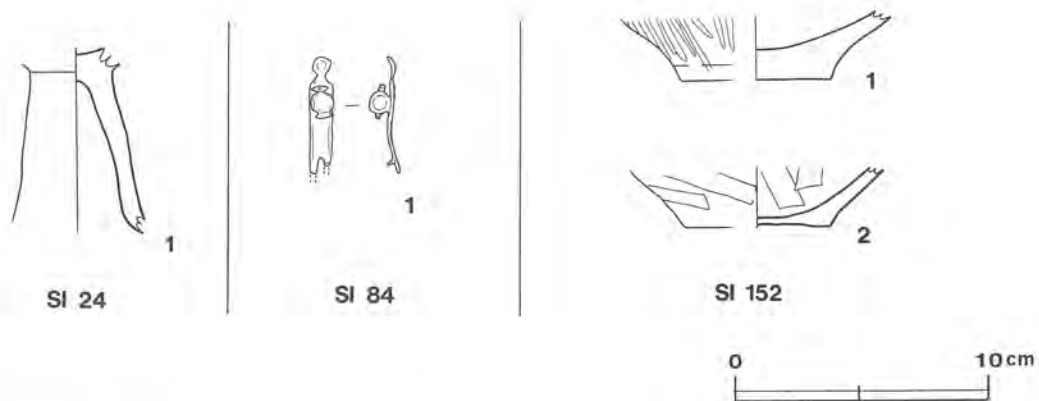


第418図 第66・72・98・107・114号住居跡出土遺物実測図

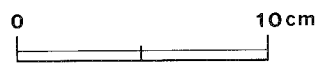
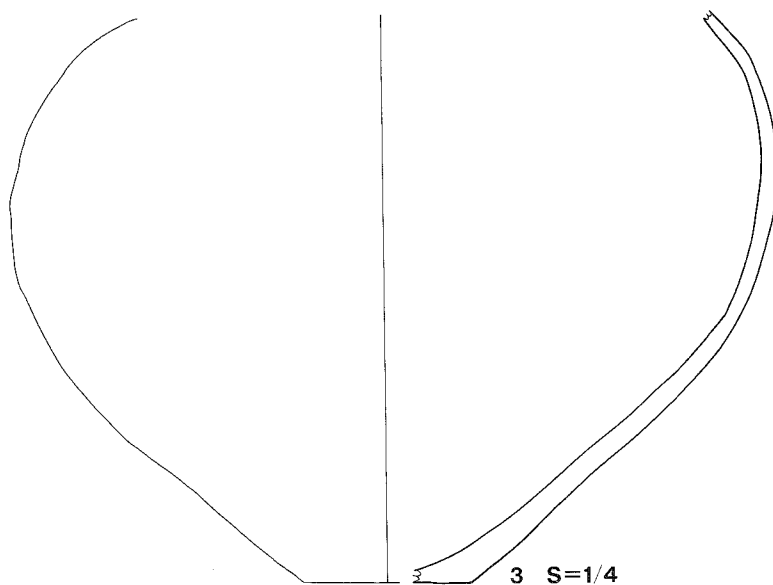
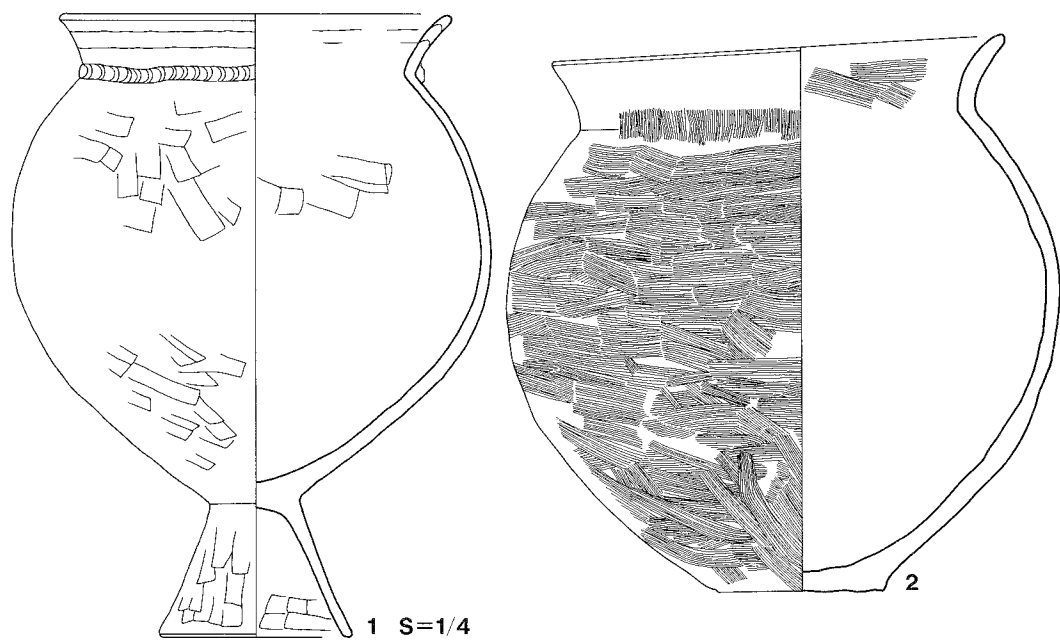


第419図 第123・156号住居跡出土遺物実測図

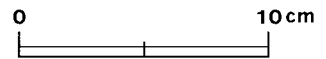
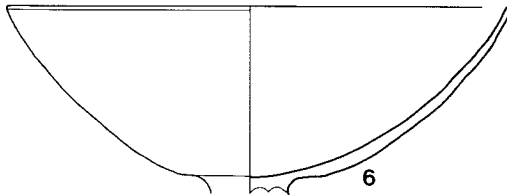
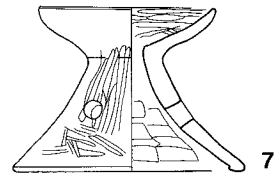
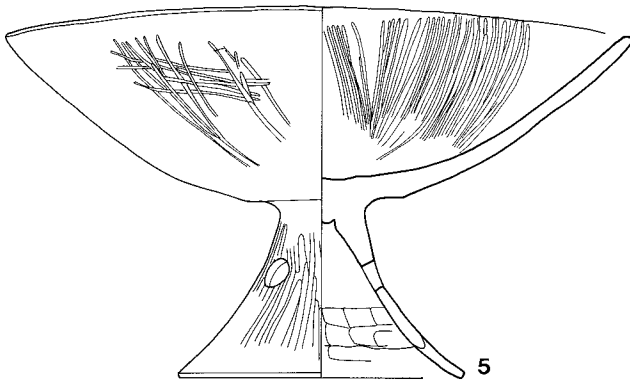
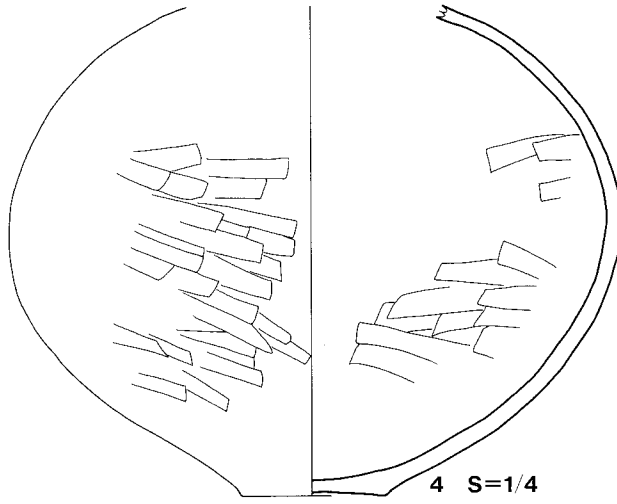
時期不明



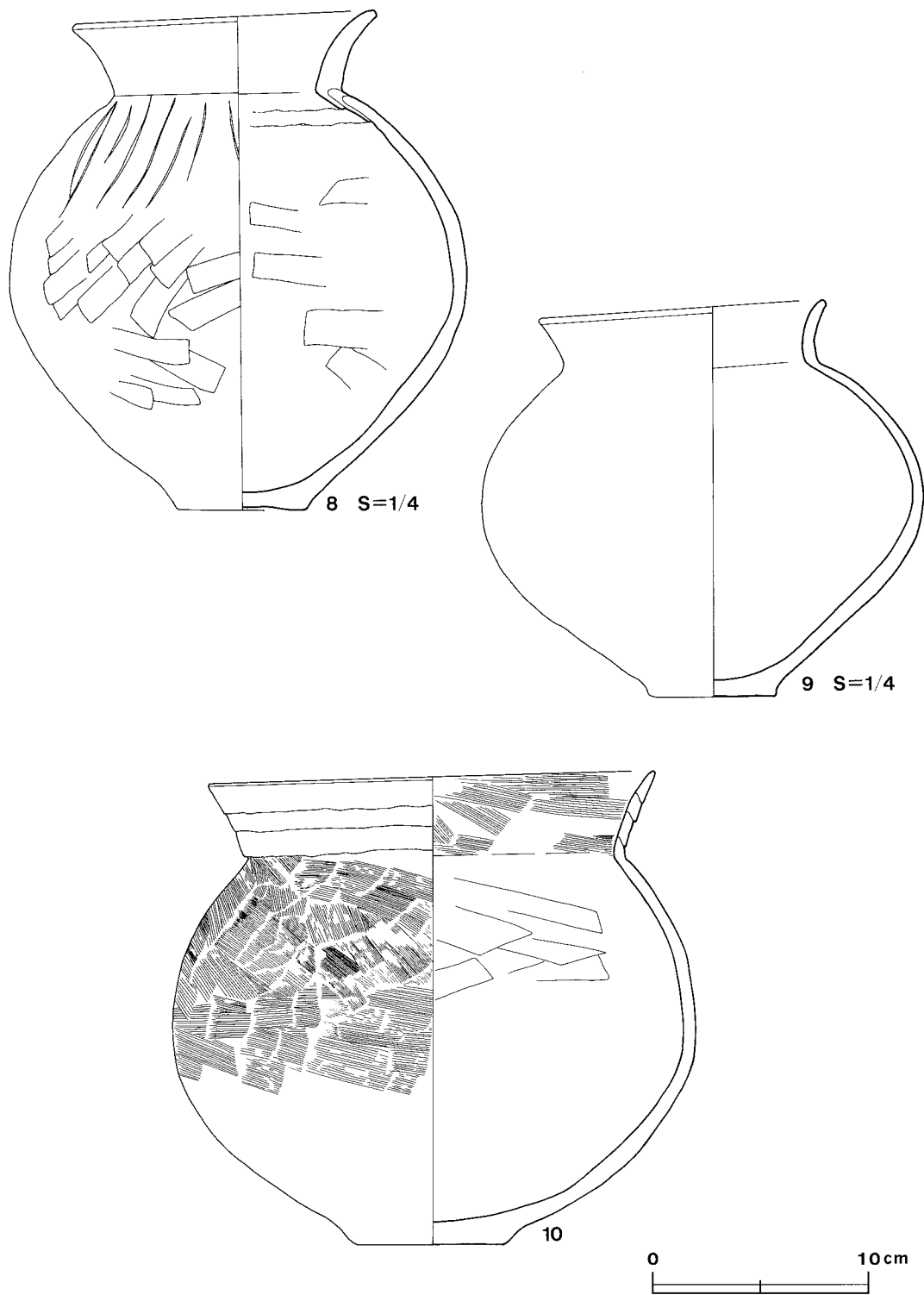
第420図 第24・84・152号住居跡出土遺物実測図



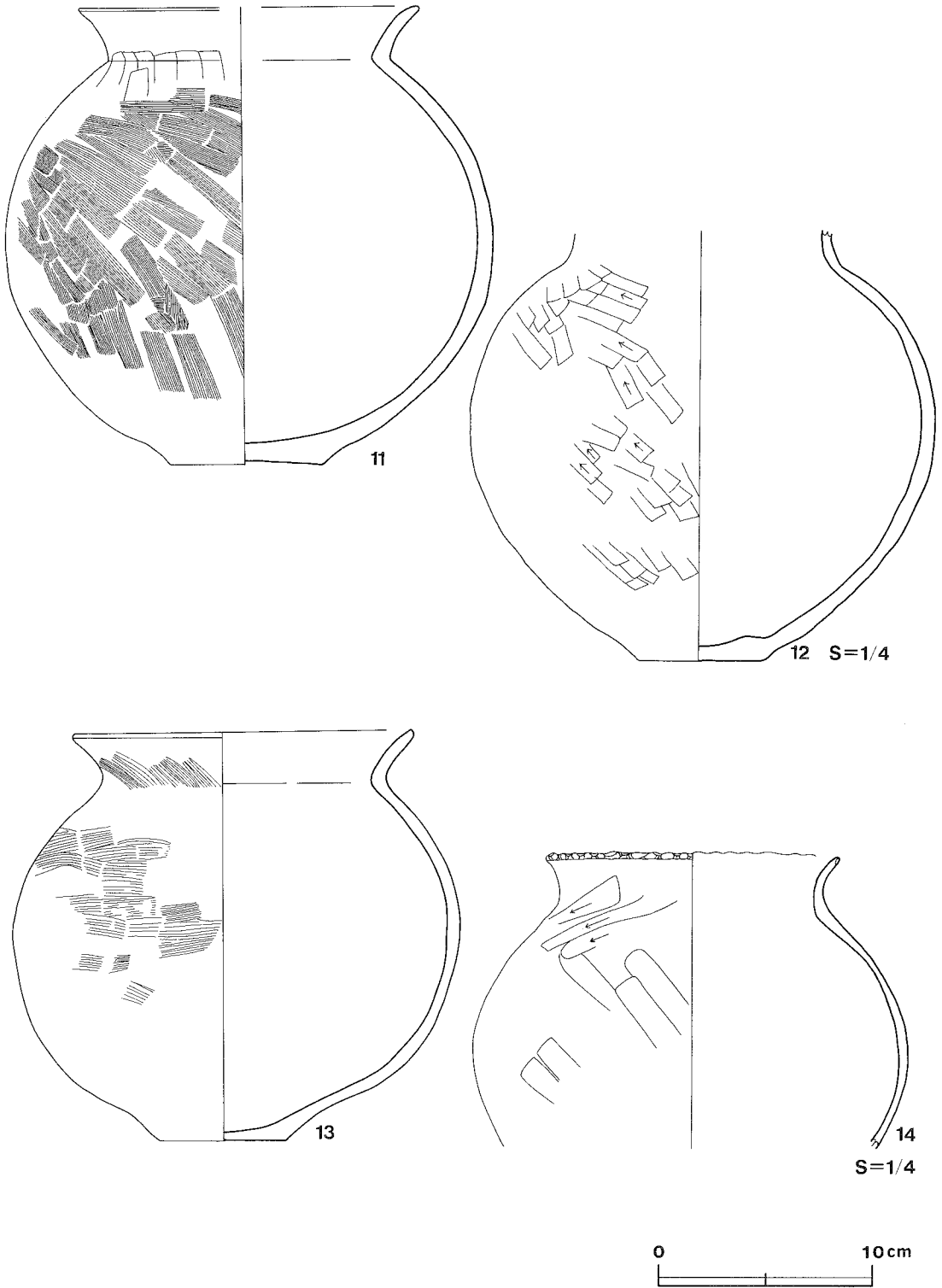
第421図 豪族居館跡南北堀下層(1)出土遺物実測図



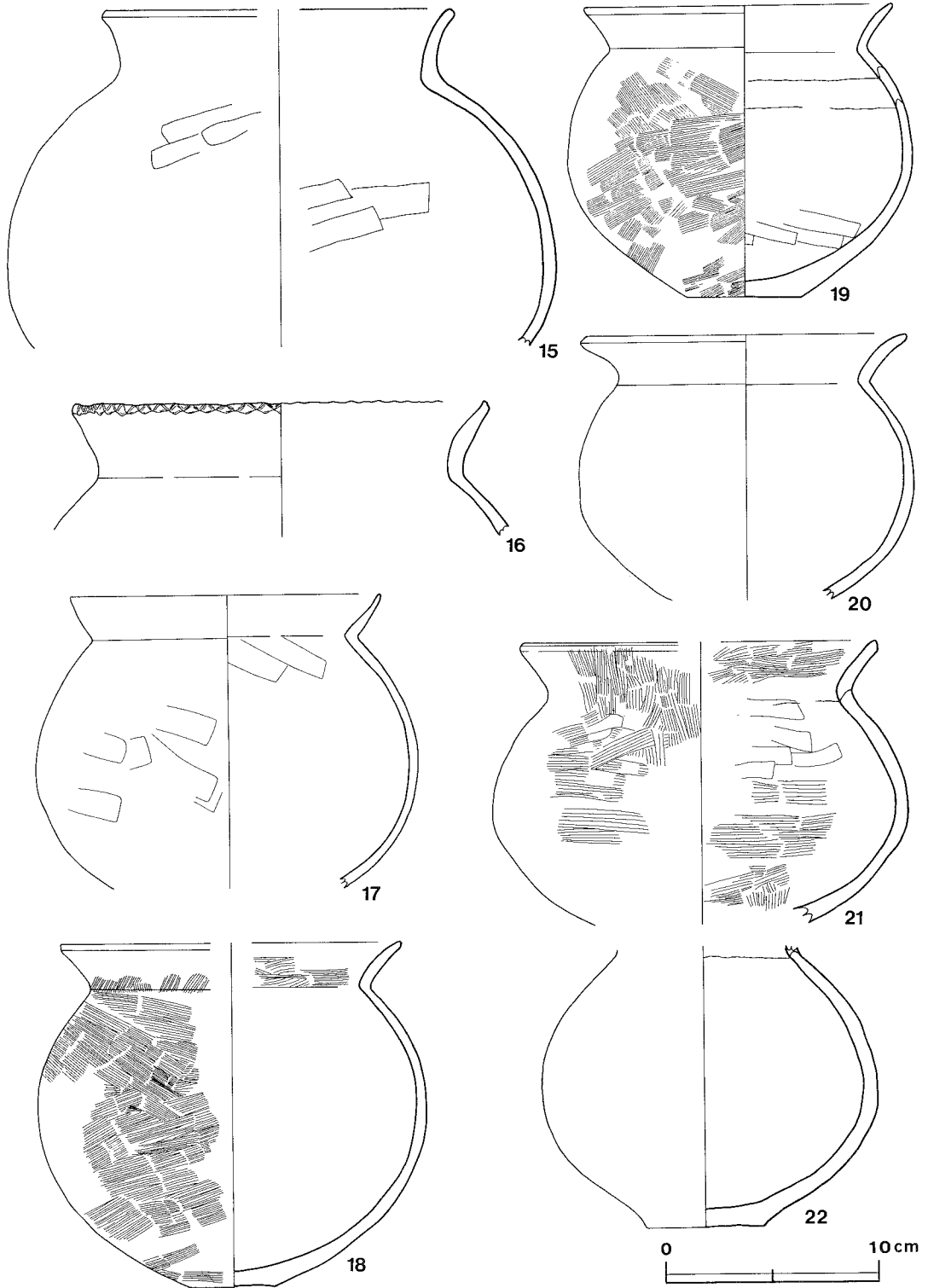
第422図 豪族居館跡南北掘下層(2)出土遺物実測図



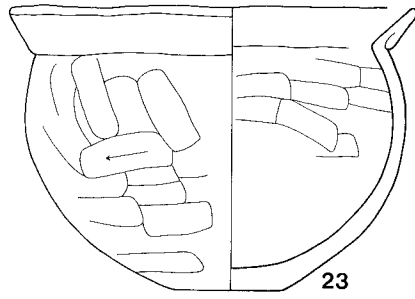
第423図 豪族居館跡東西堀下層(1)出土遺物実測図



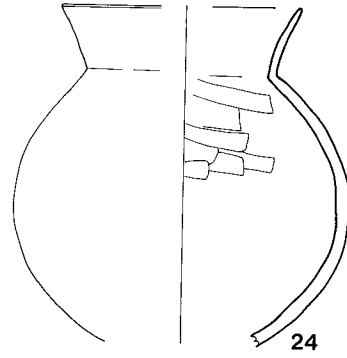
第424図 豪族居館跡東西堀下層(2)出土遺物実測図



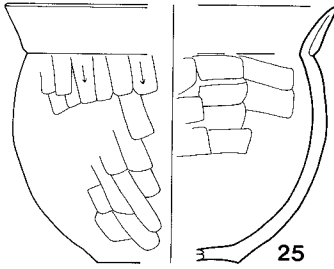
第425図 豪族居館跡東西堀下層(3)出土遺物実測図



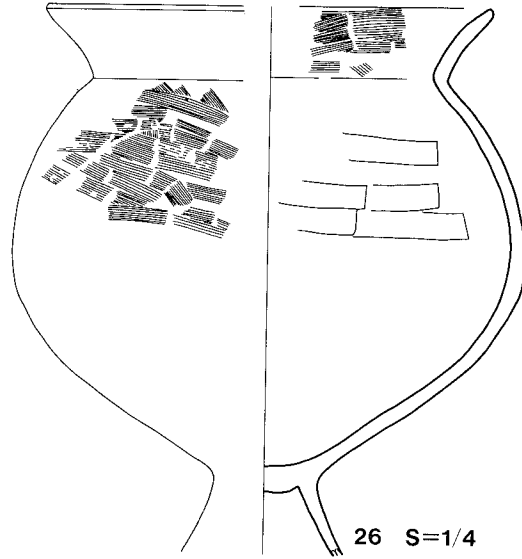
23



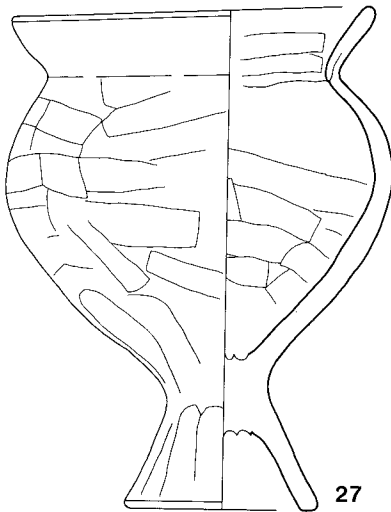
24



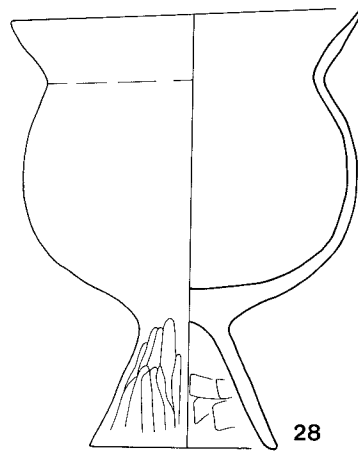
25



26 S=1/4



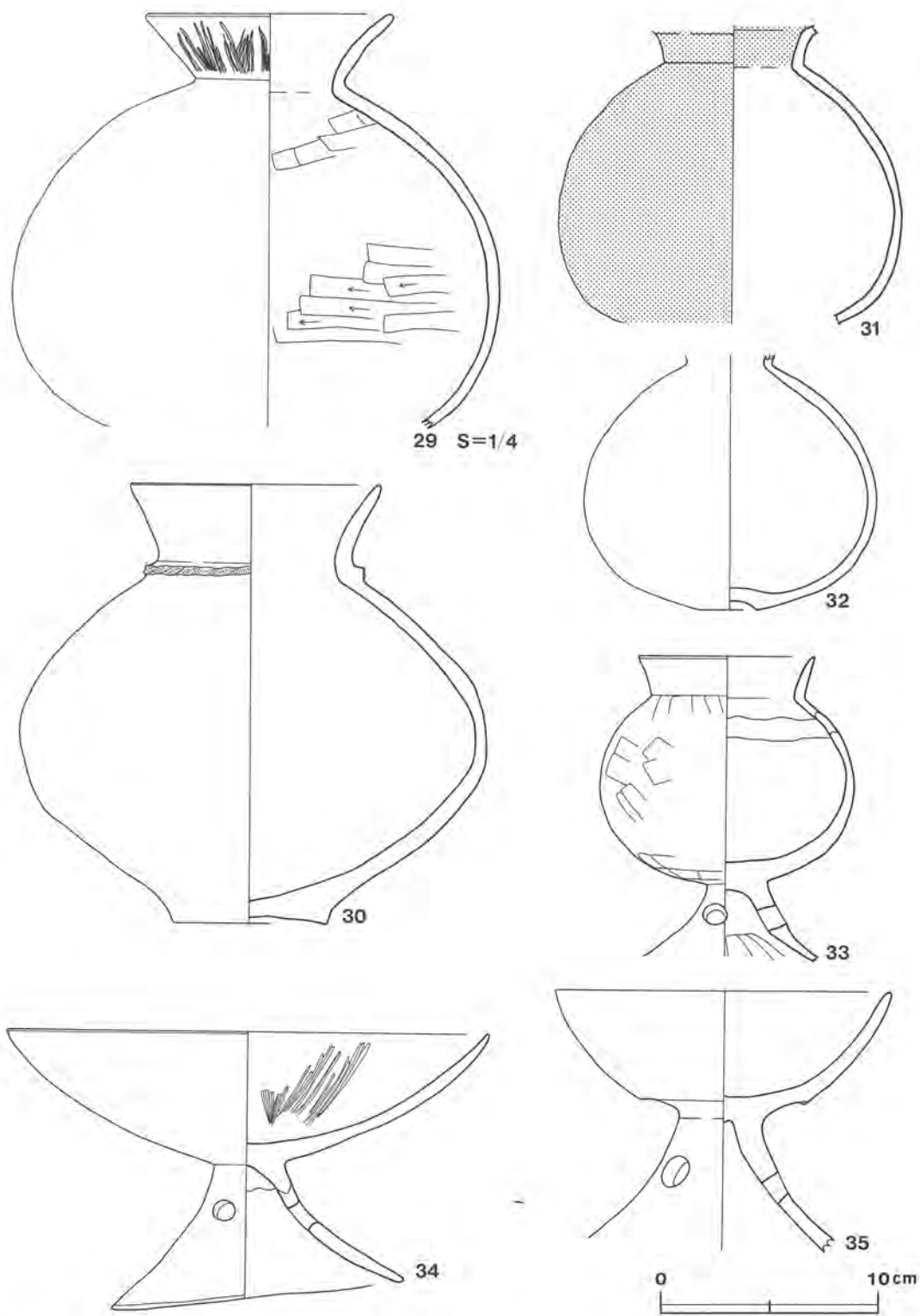
27



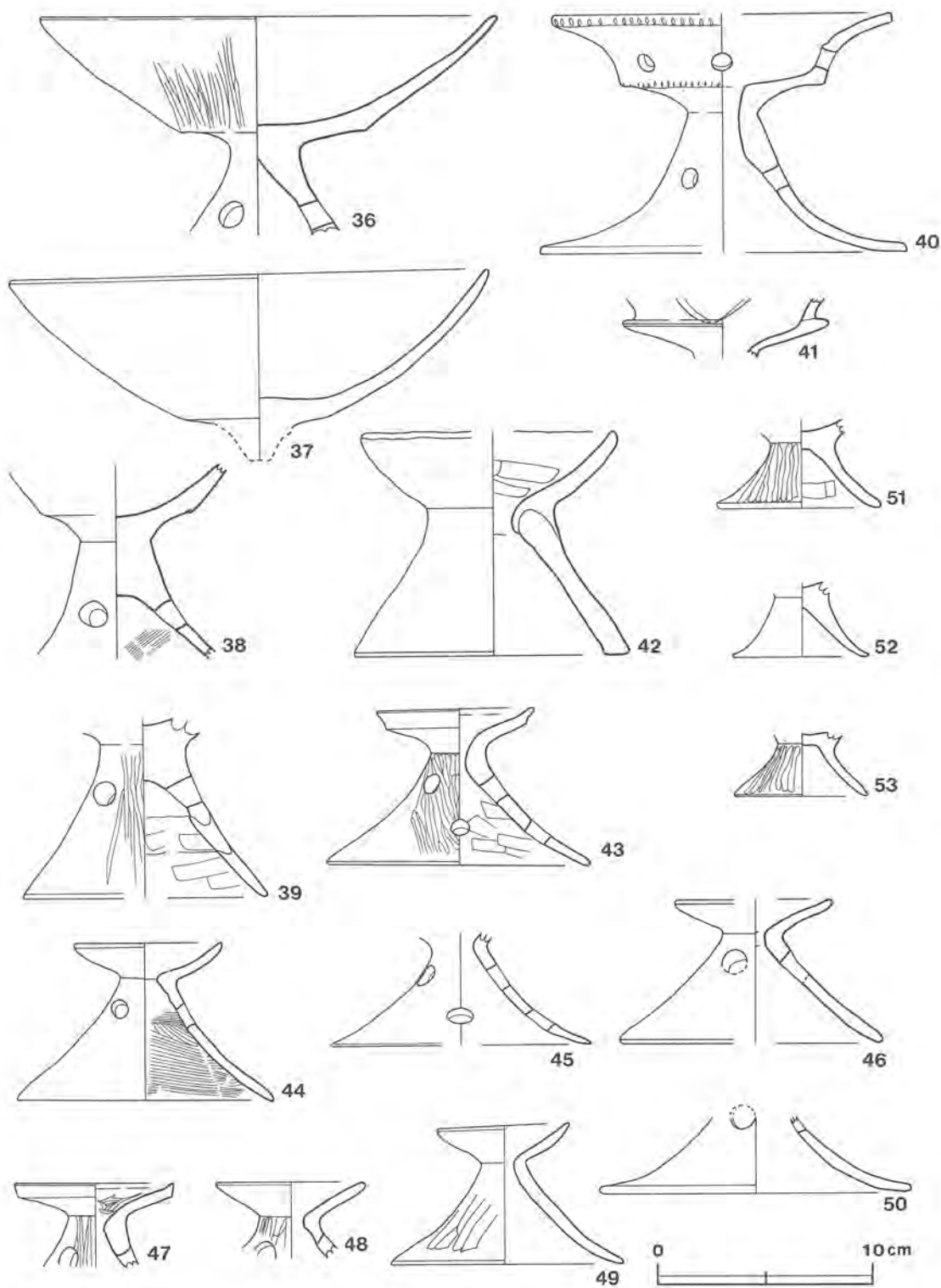
28



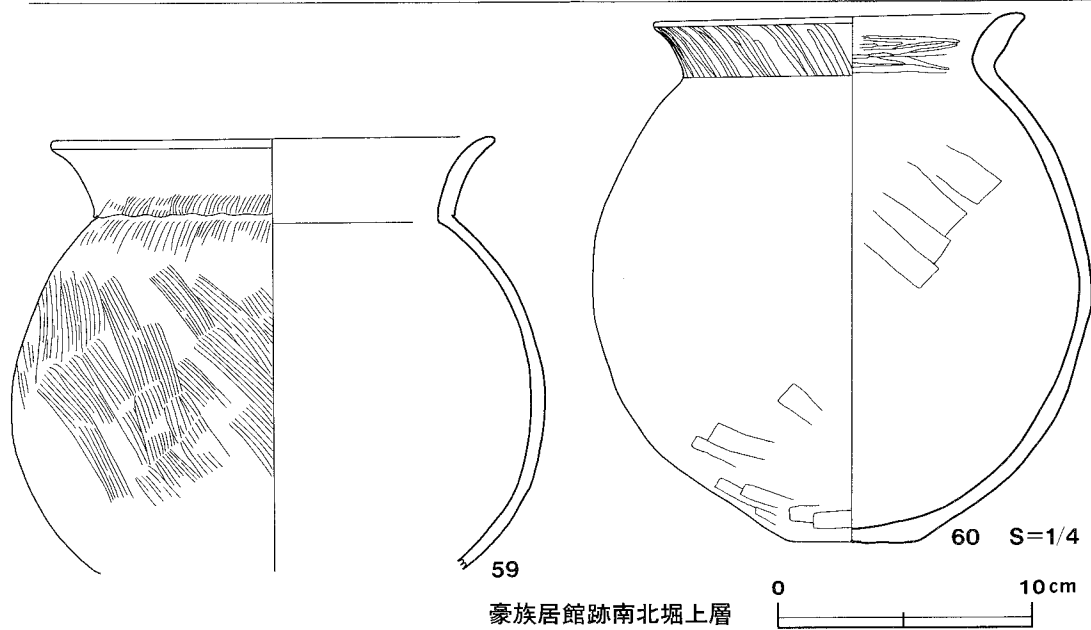
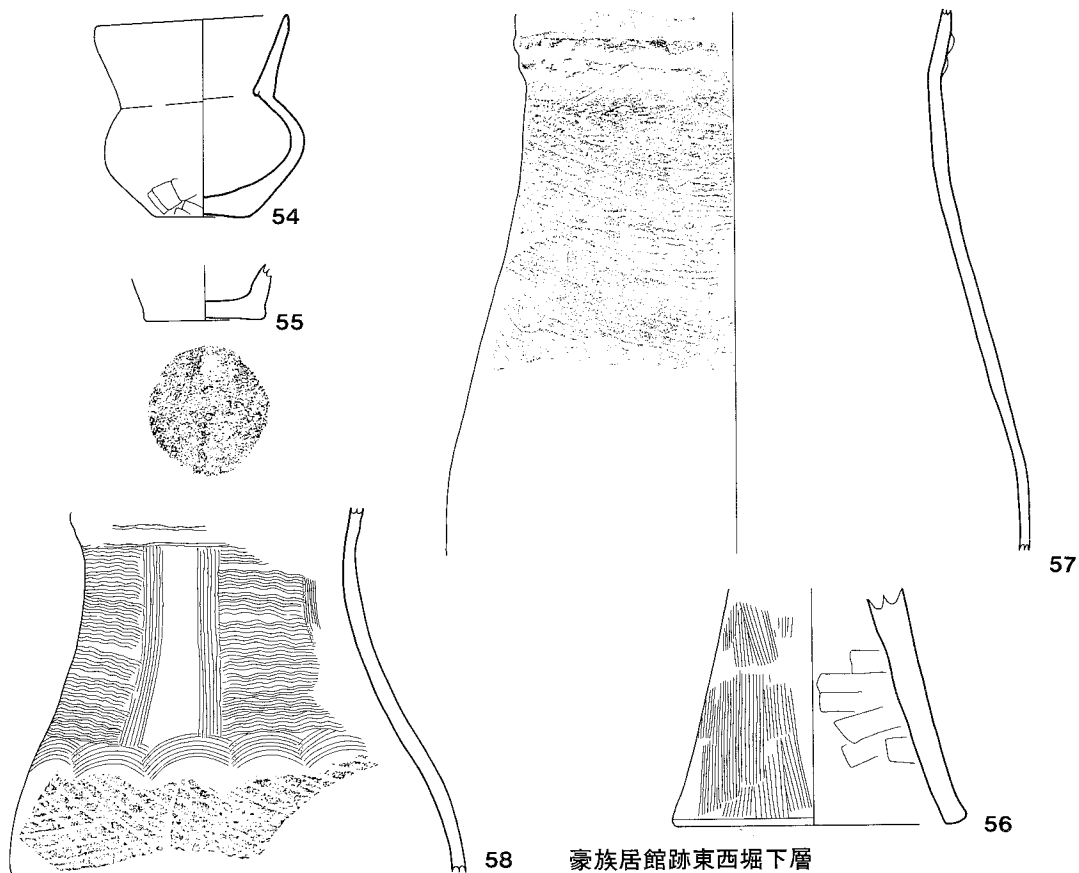
第426図 豪族居館跡東西堀下層(4)出土遺物実測図



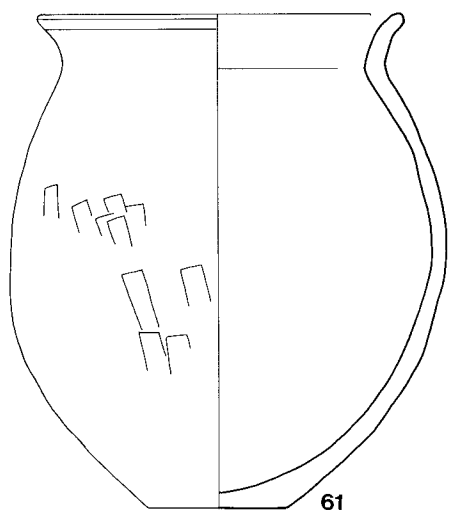
第427図 豪族居館跡東西堀下層(5)出土遺物実測図



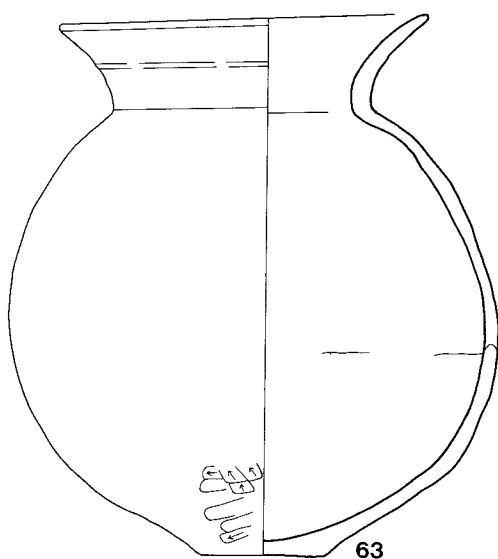
第428図 豪族居館跡東西掘下層(6)出土遺物実測図



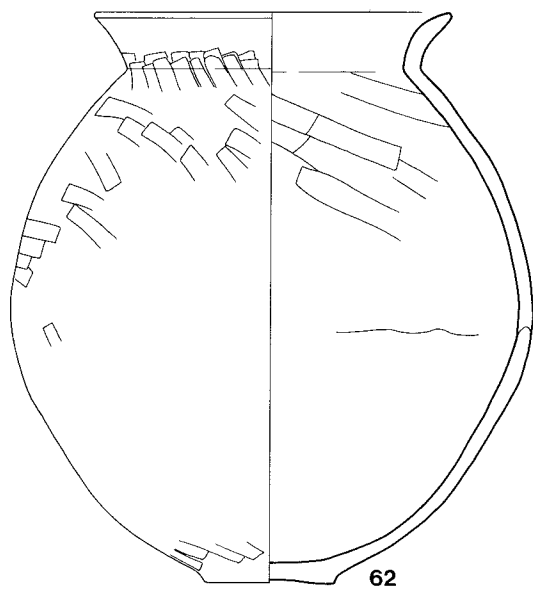
第429図 豪族居館跡東西堀下層(7)・南北堀上層(1)出土遺物実測図



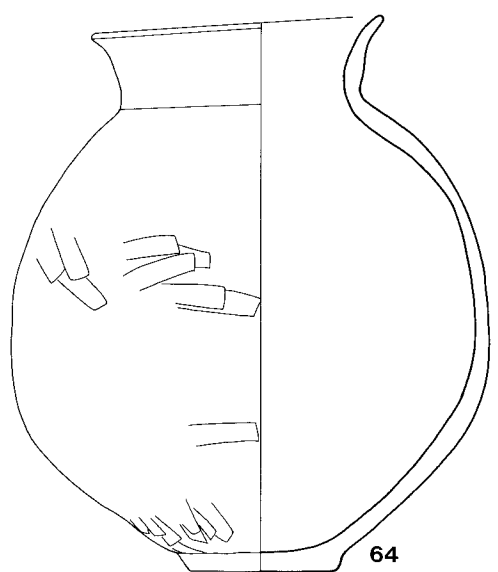
61



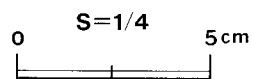
63



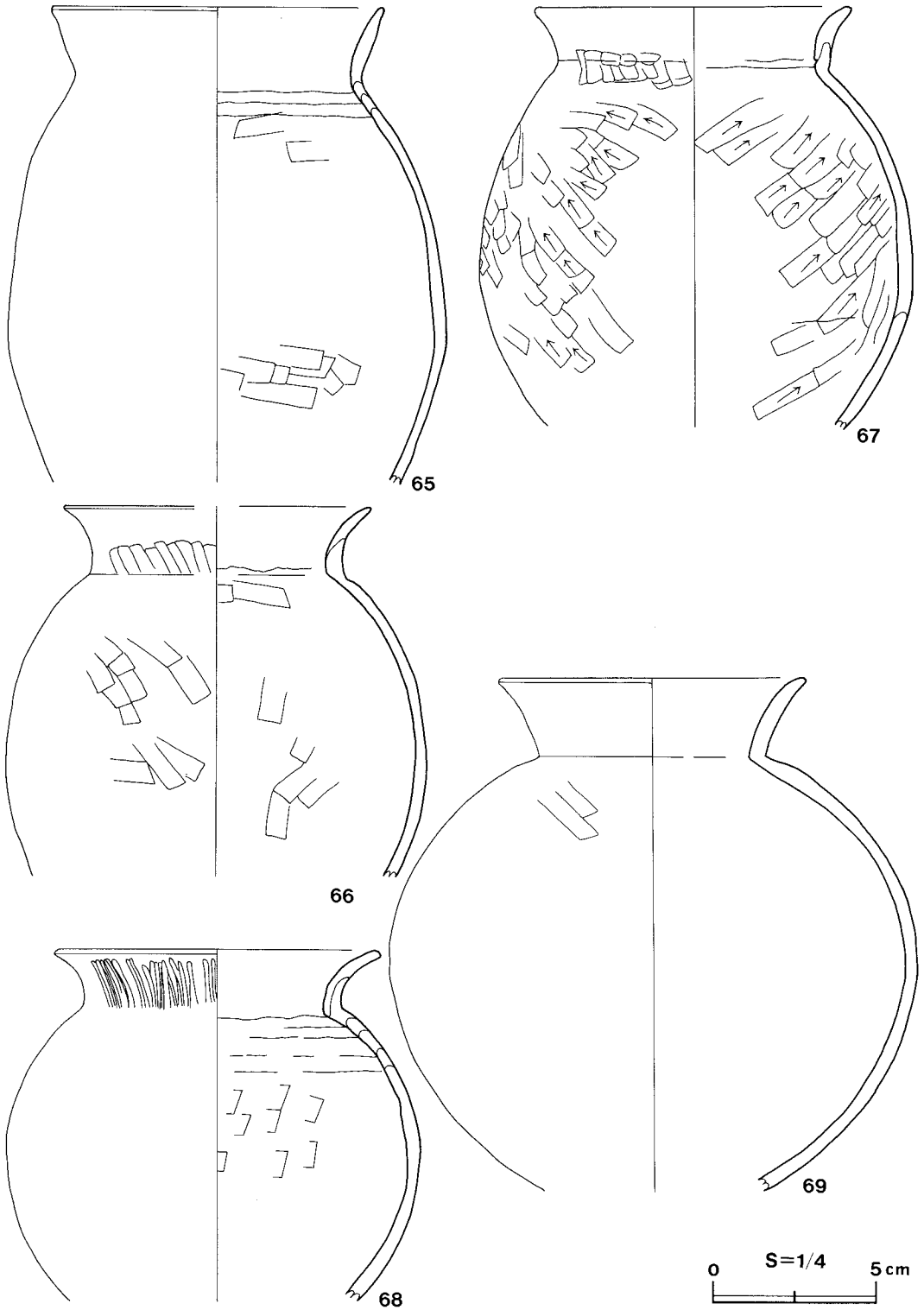
62



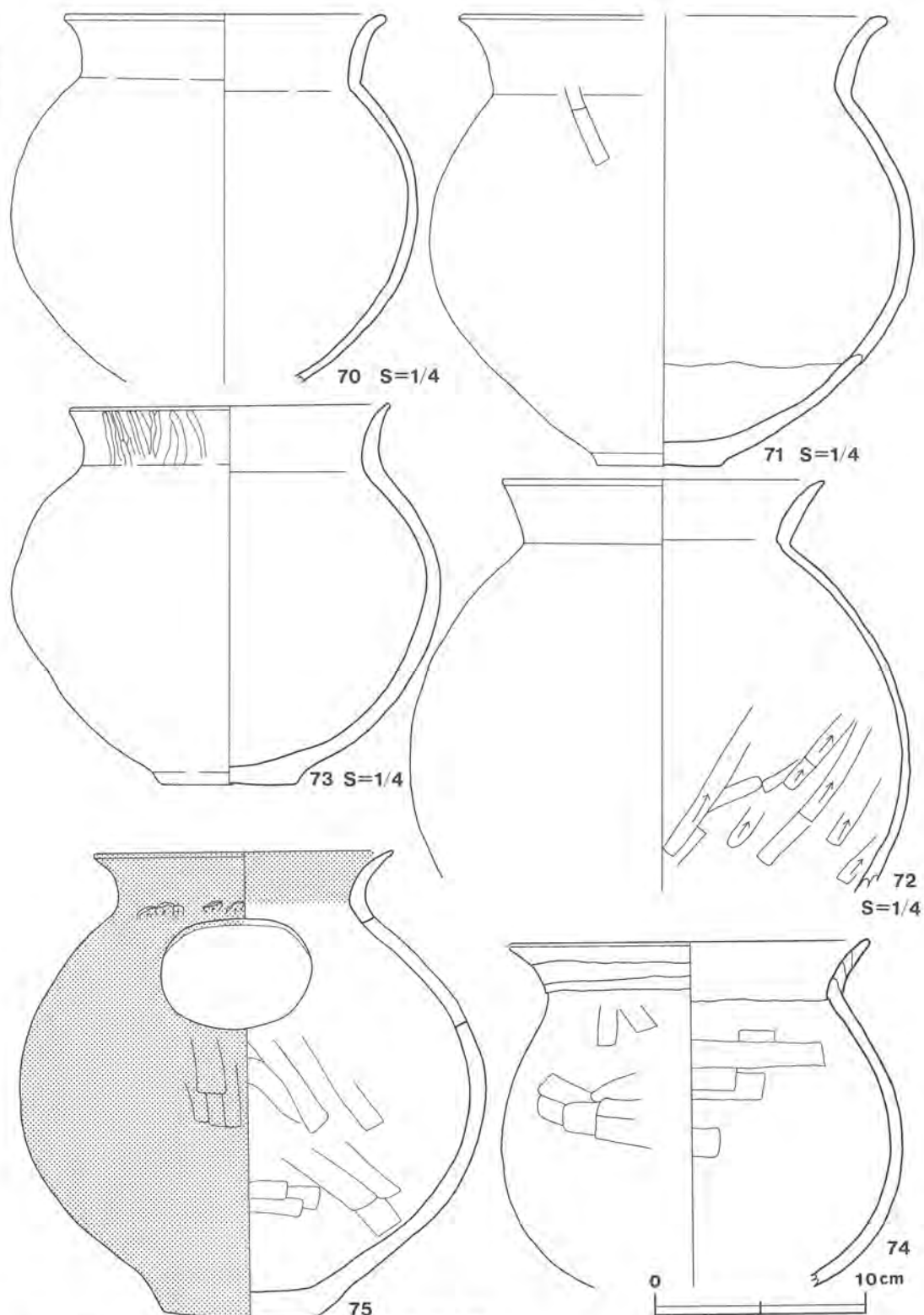
64



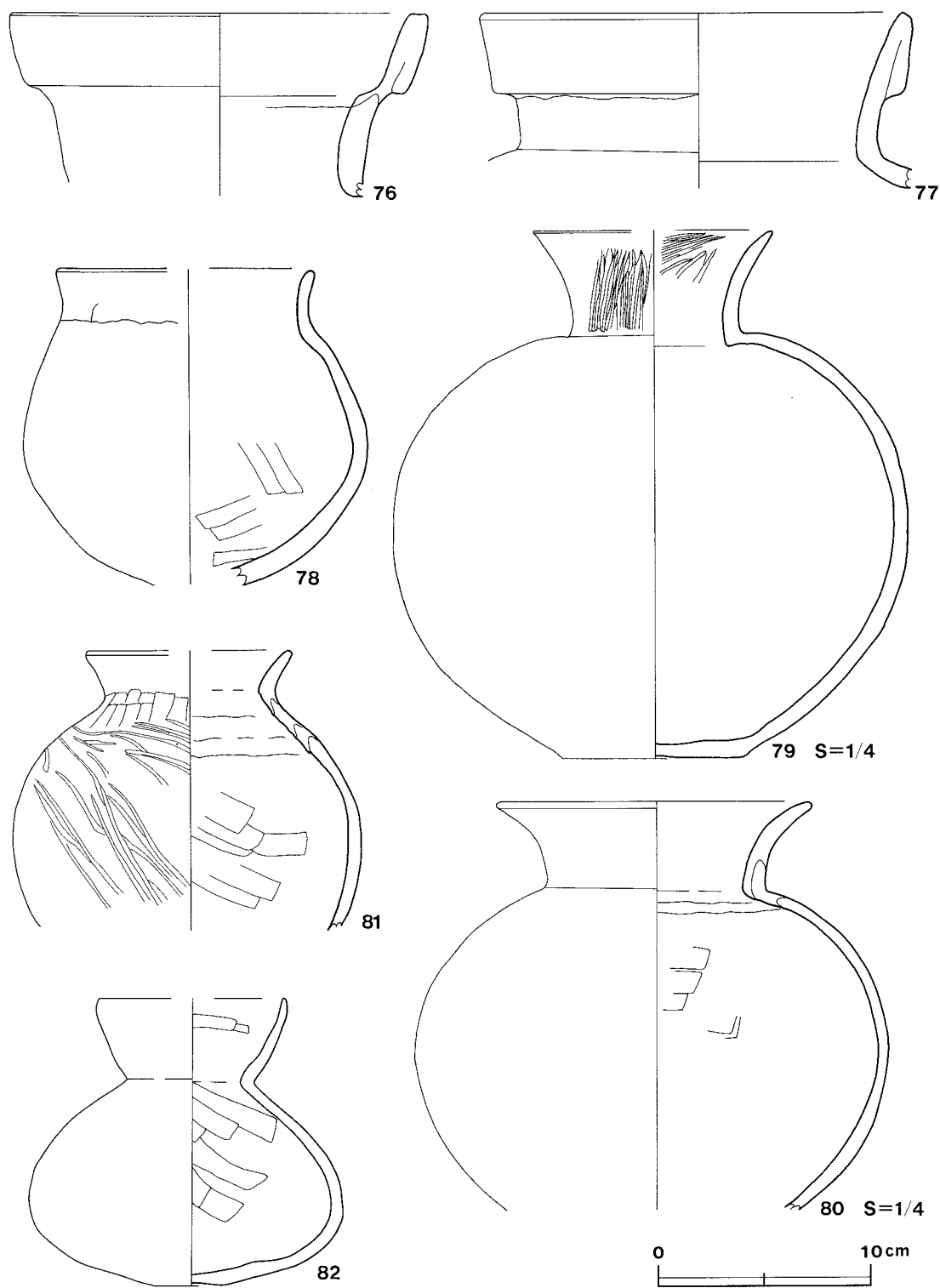
第430図 豪族居館跡南北堀上層(2)出土遺物実測図



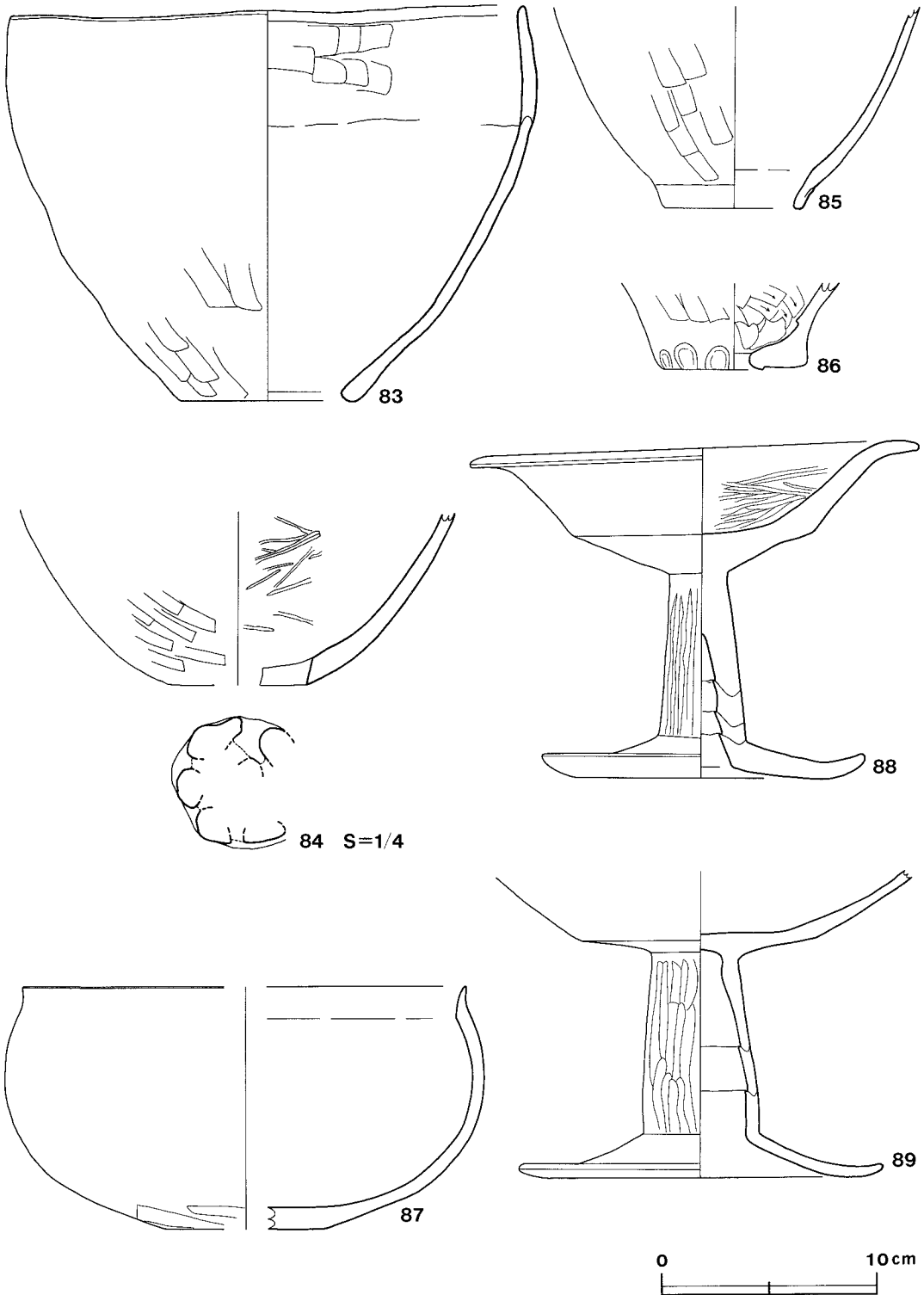
第431図 豪族居館跡南北堀上層(3)出土遺物実測図



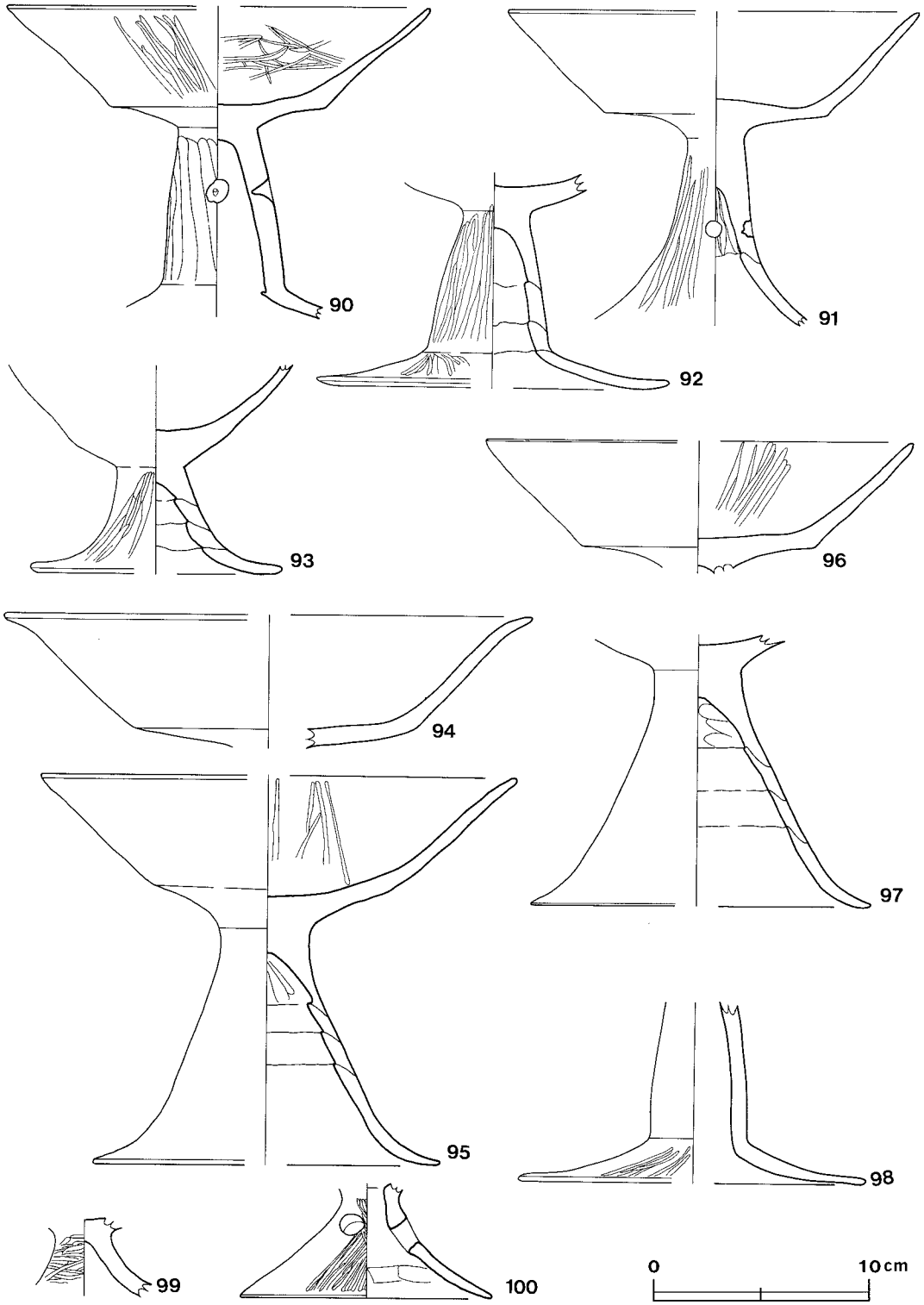
第432図 豪族居館跡南北堀上層(4)出土遺物実測図



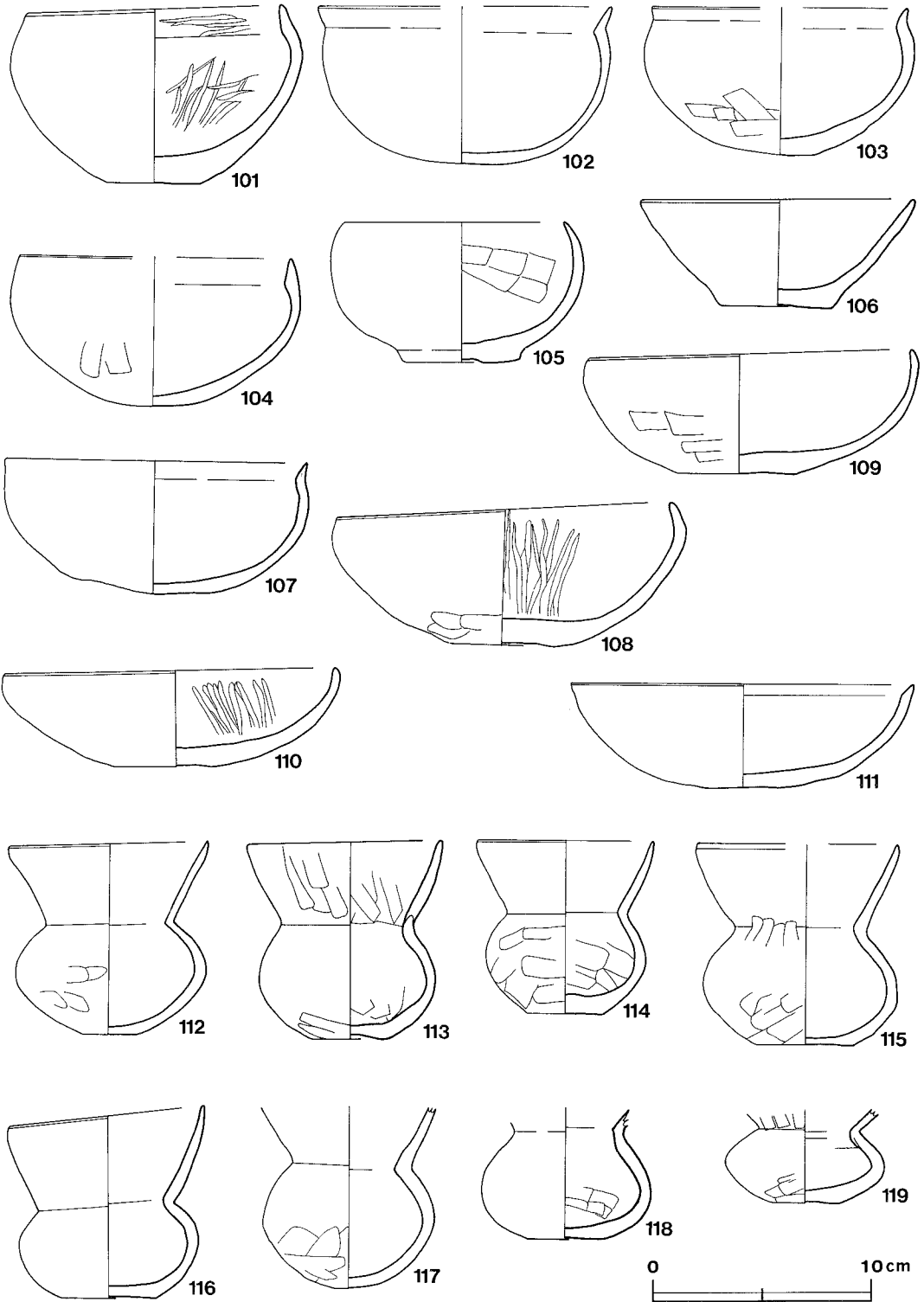
接433図 豪族居館跡南北堀上層(5)出土遺物実測図



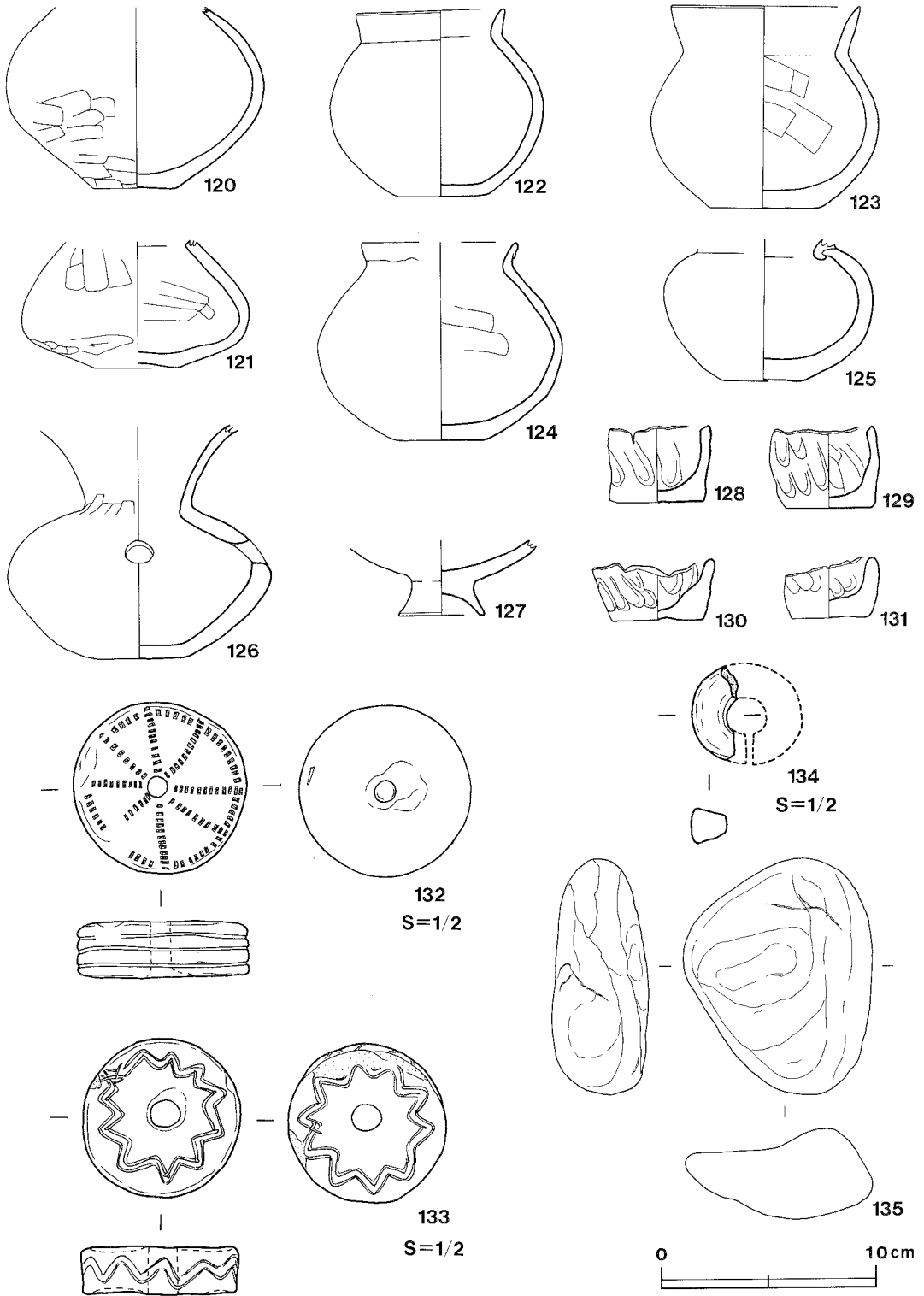
第434図 豪族居館跡南北堀上層(6)出土遺物実測図



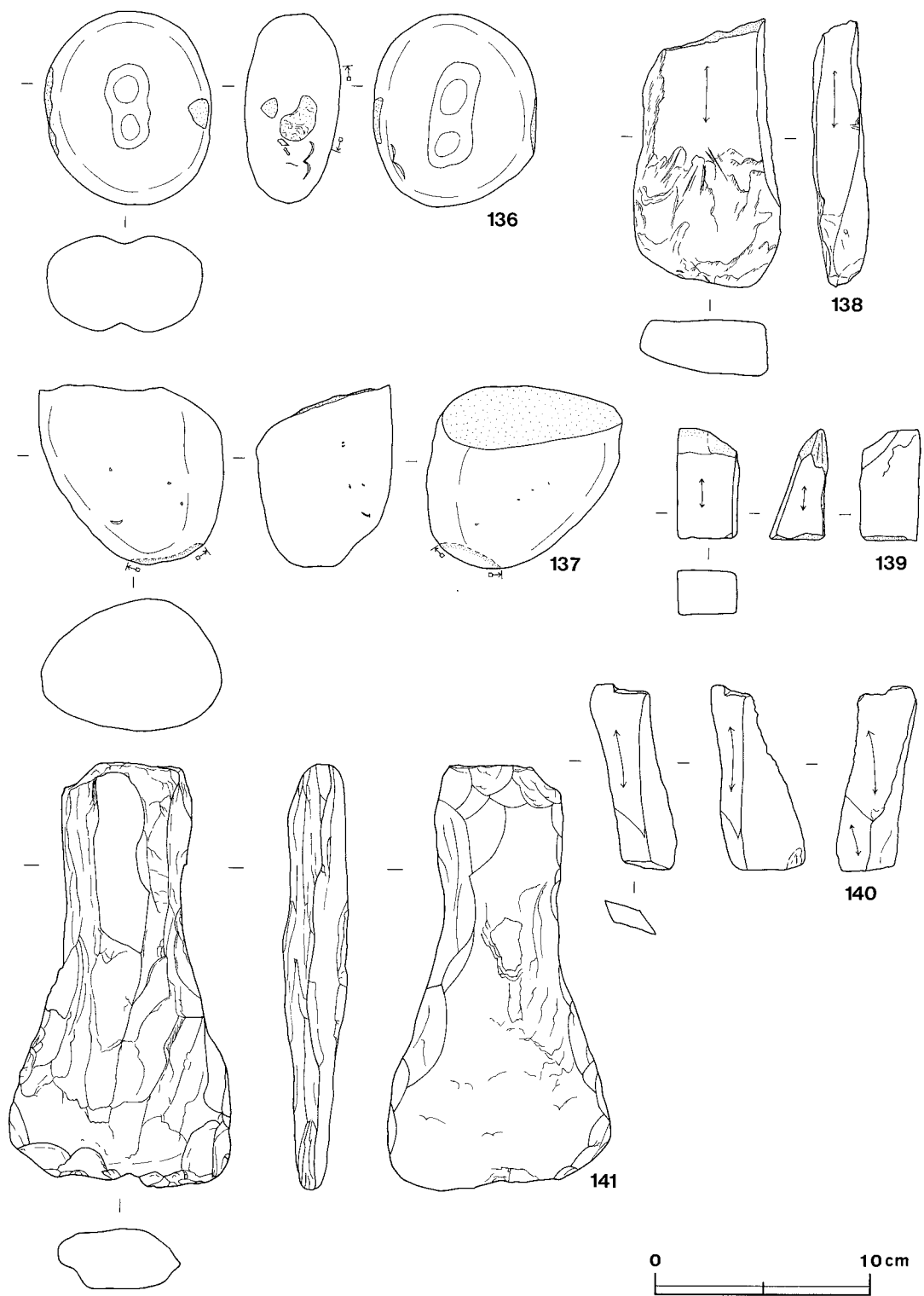
第435図 豪族居館跡南北堀上層(7)出土遺物実測図



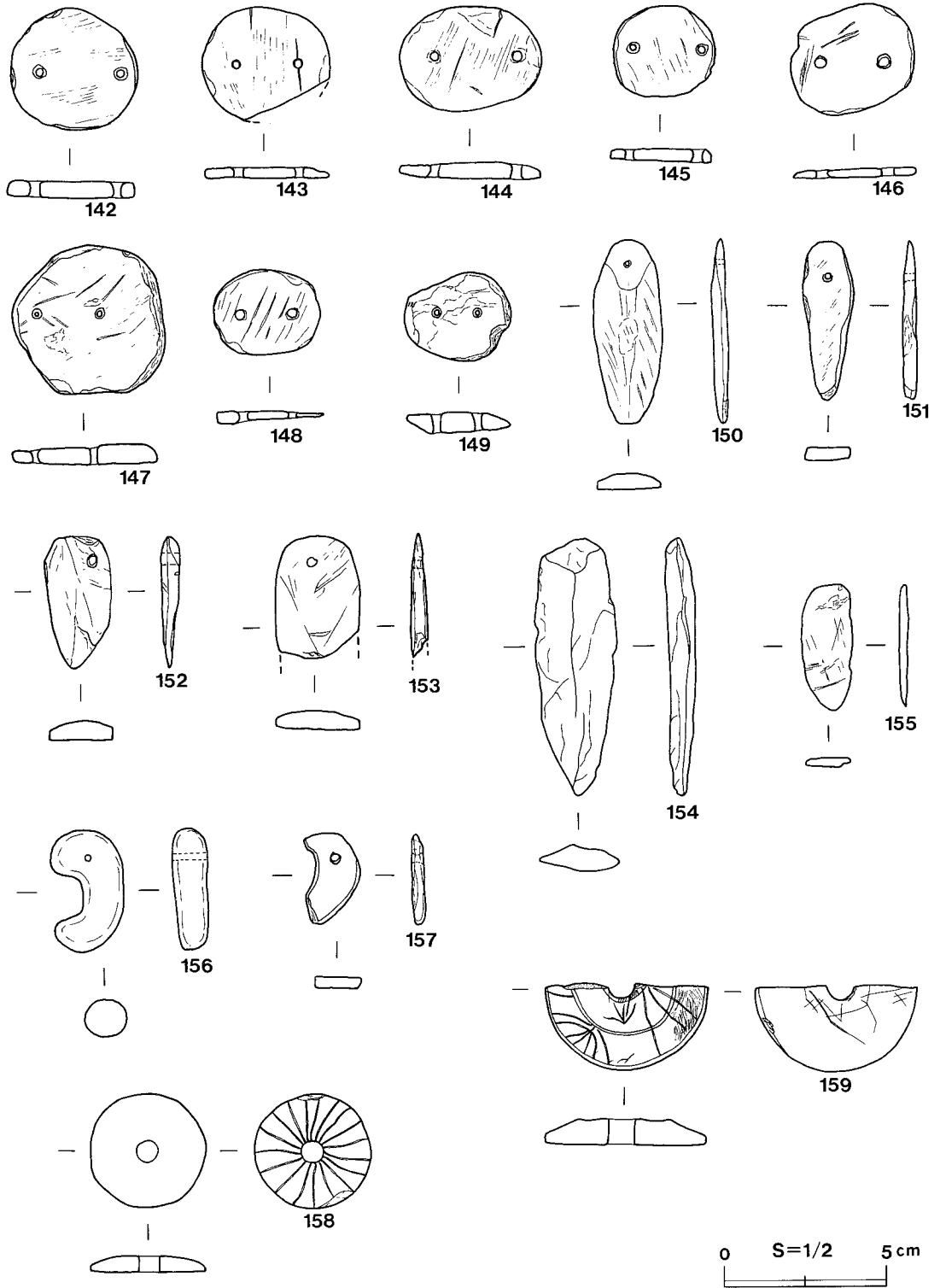
第436図 豪族居館跡南北堀上層(8)出土遺物実測図



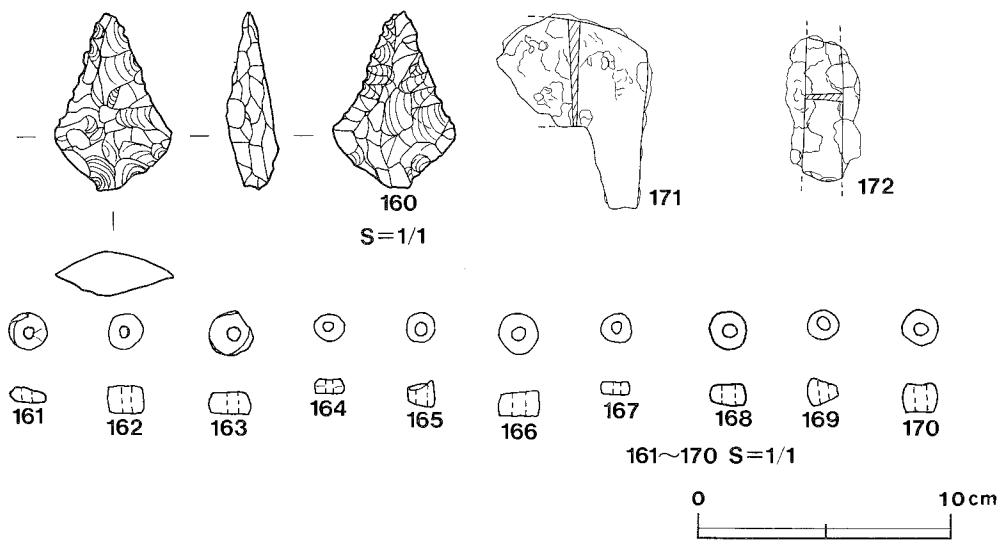
第437図 豪族居館跡南北堀上層(9)出土遺物実測図



第438図 豪族居館跡南北堀上層(10)出土遺物実測図

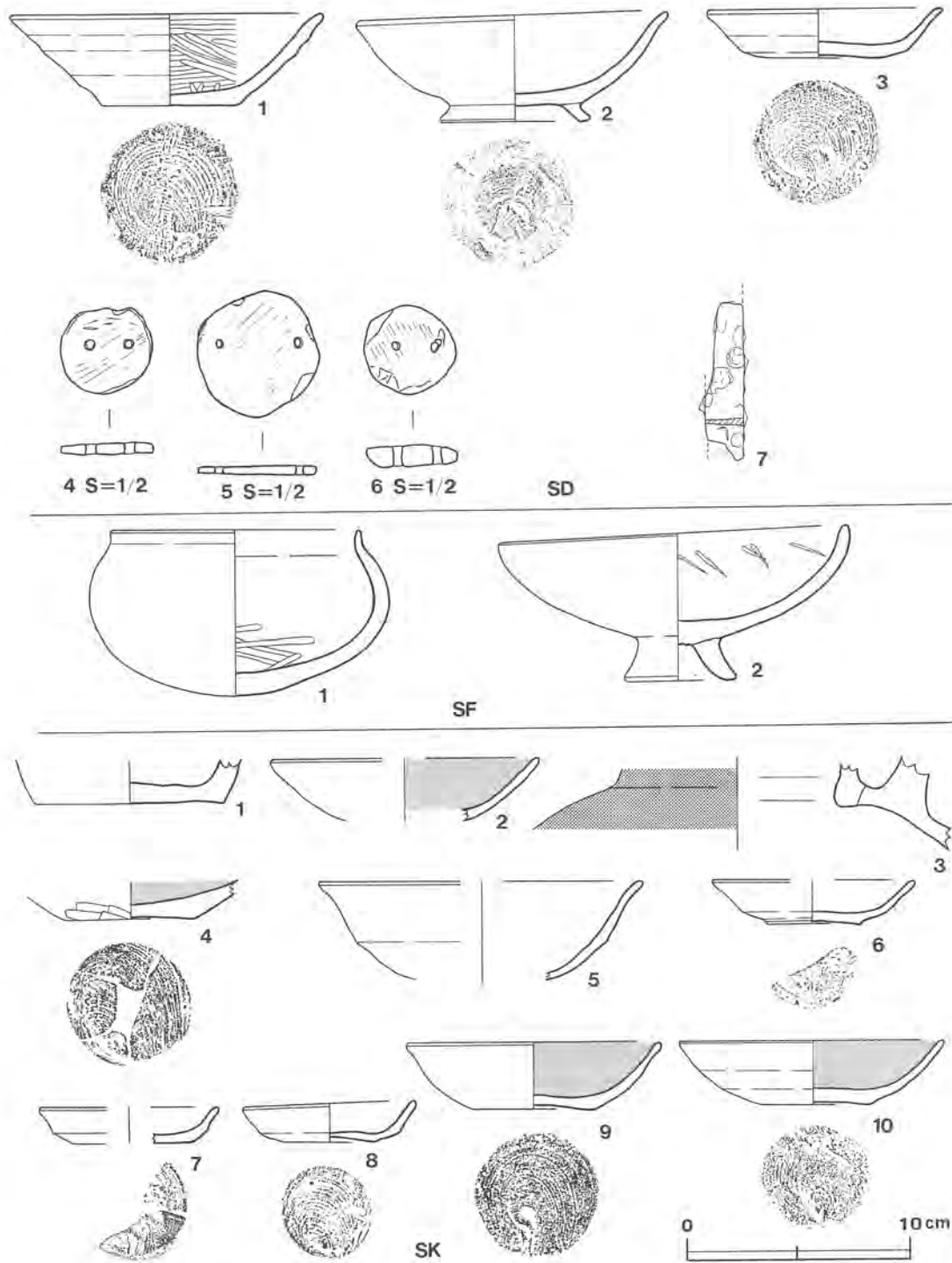


第439図 豪族居館跡南北堀上層(1)出土遺物実測図

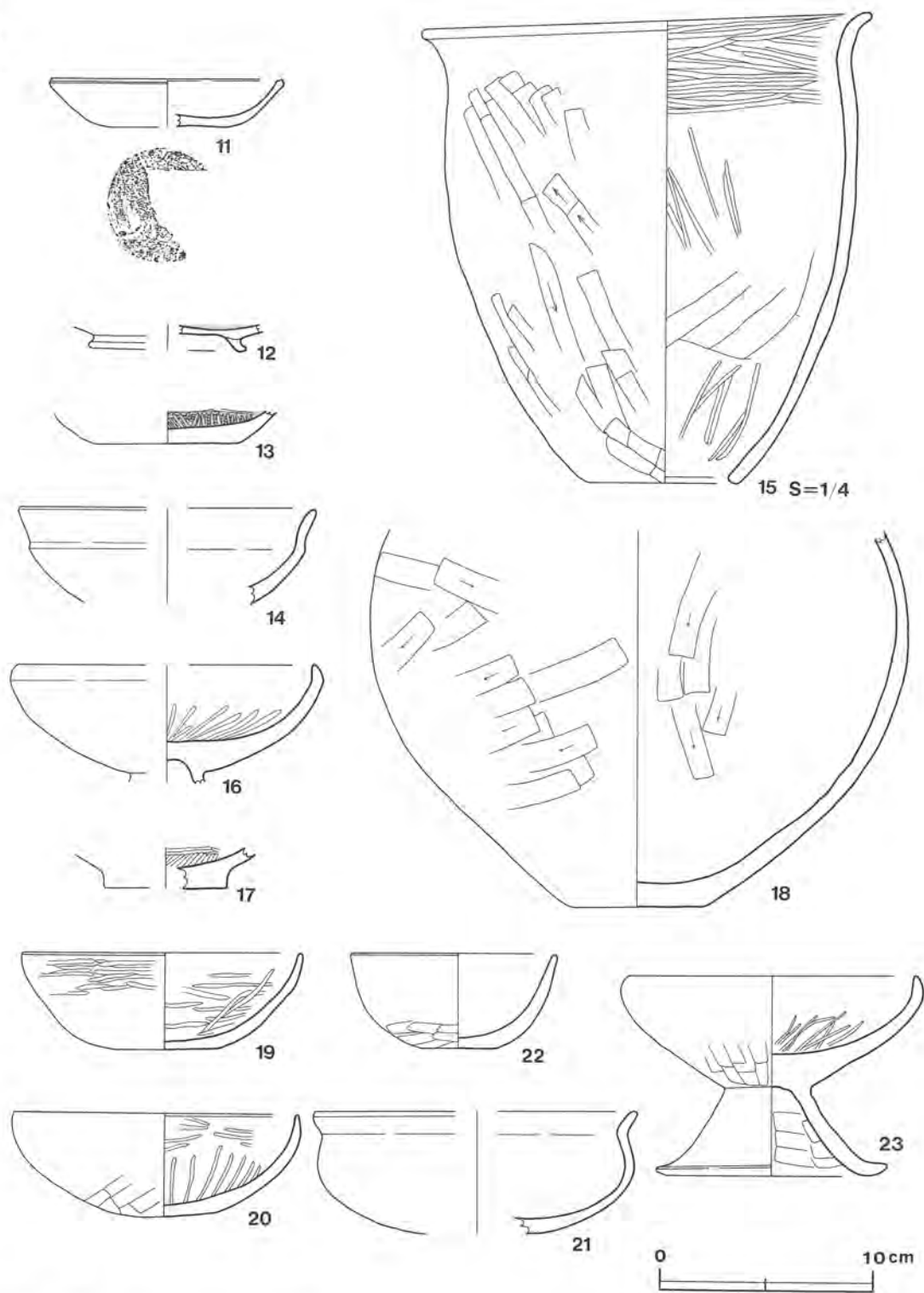


第440図 豪族居館跡南北堀上層(12)出土遺物実測図

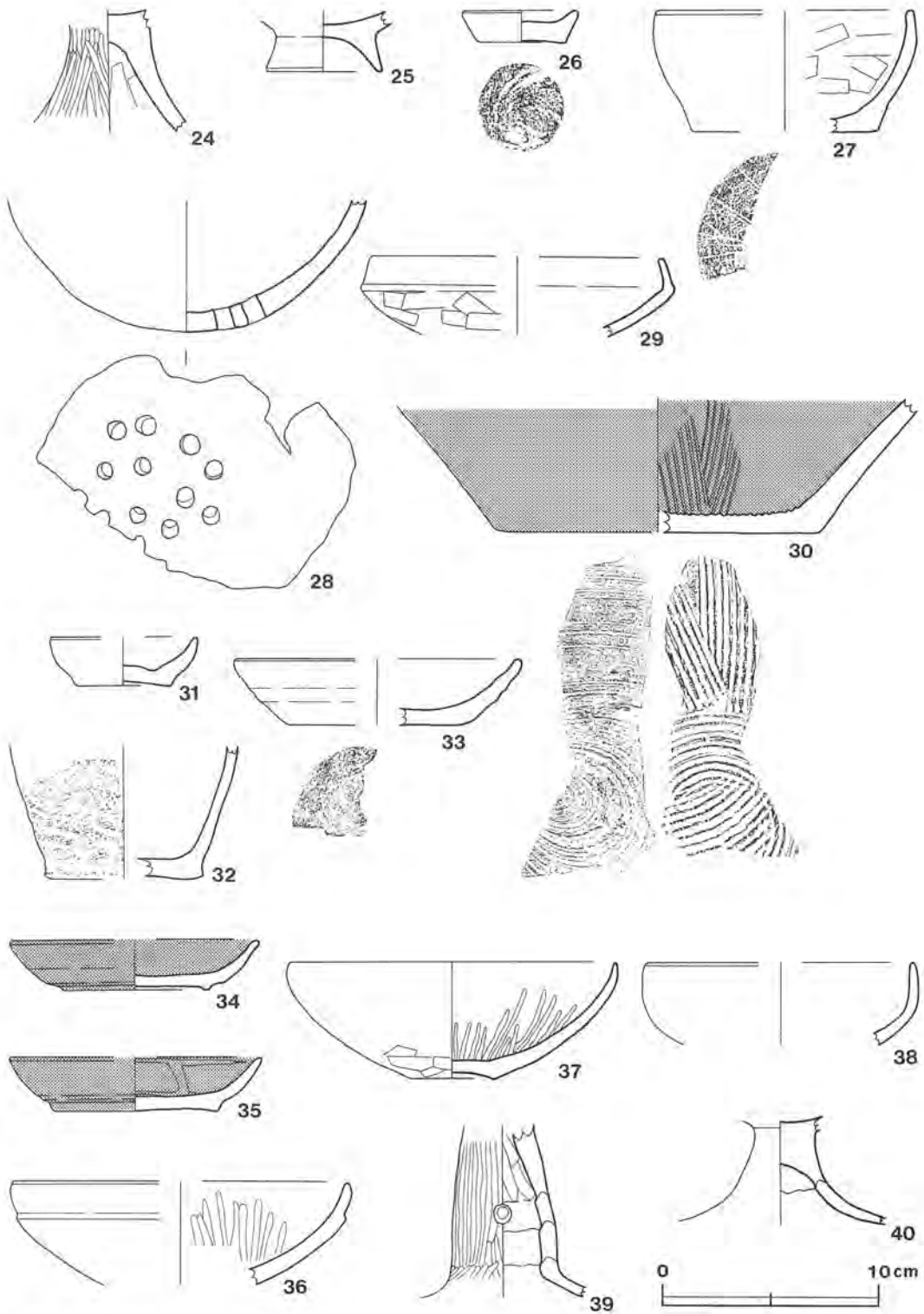
溝・道路跡・土坑・井戸・ピット・遺構外



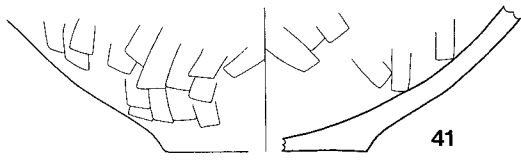
第441図 溝・道路跡・土坑(1)出土遺物実測図



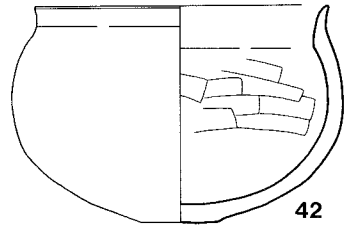
第442図 土坑(2)出土遺物実測図



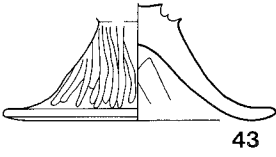
第443图 土坑(3)出土遗物实测图



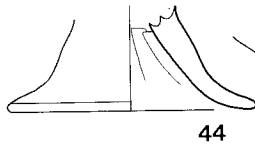
41



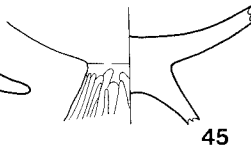
42



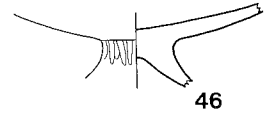
43



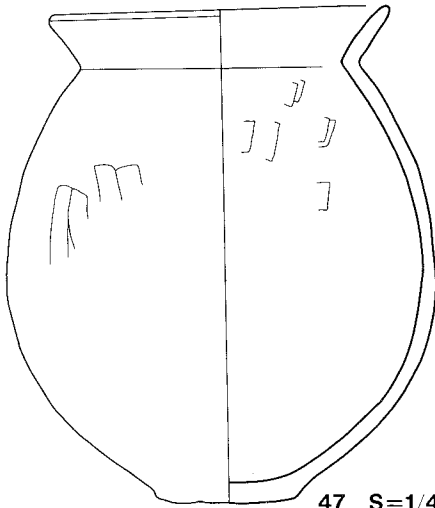
44



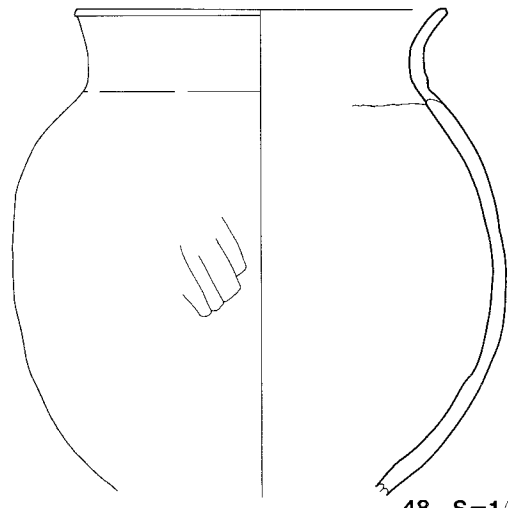
45



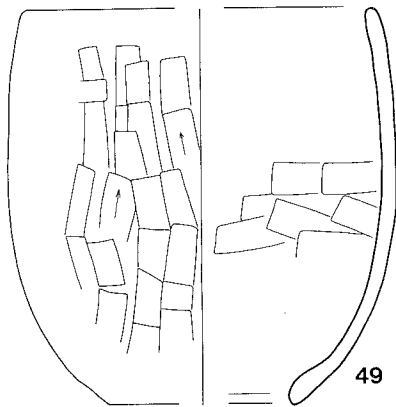
46



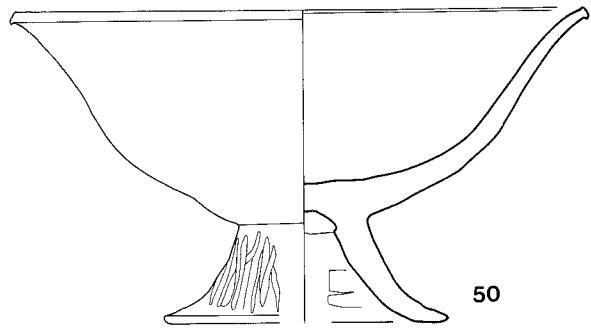
47 S=1/4



48 S=1/4



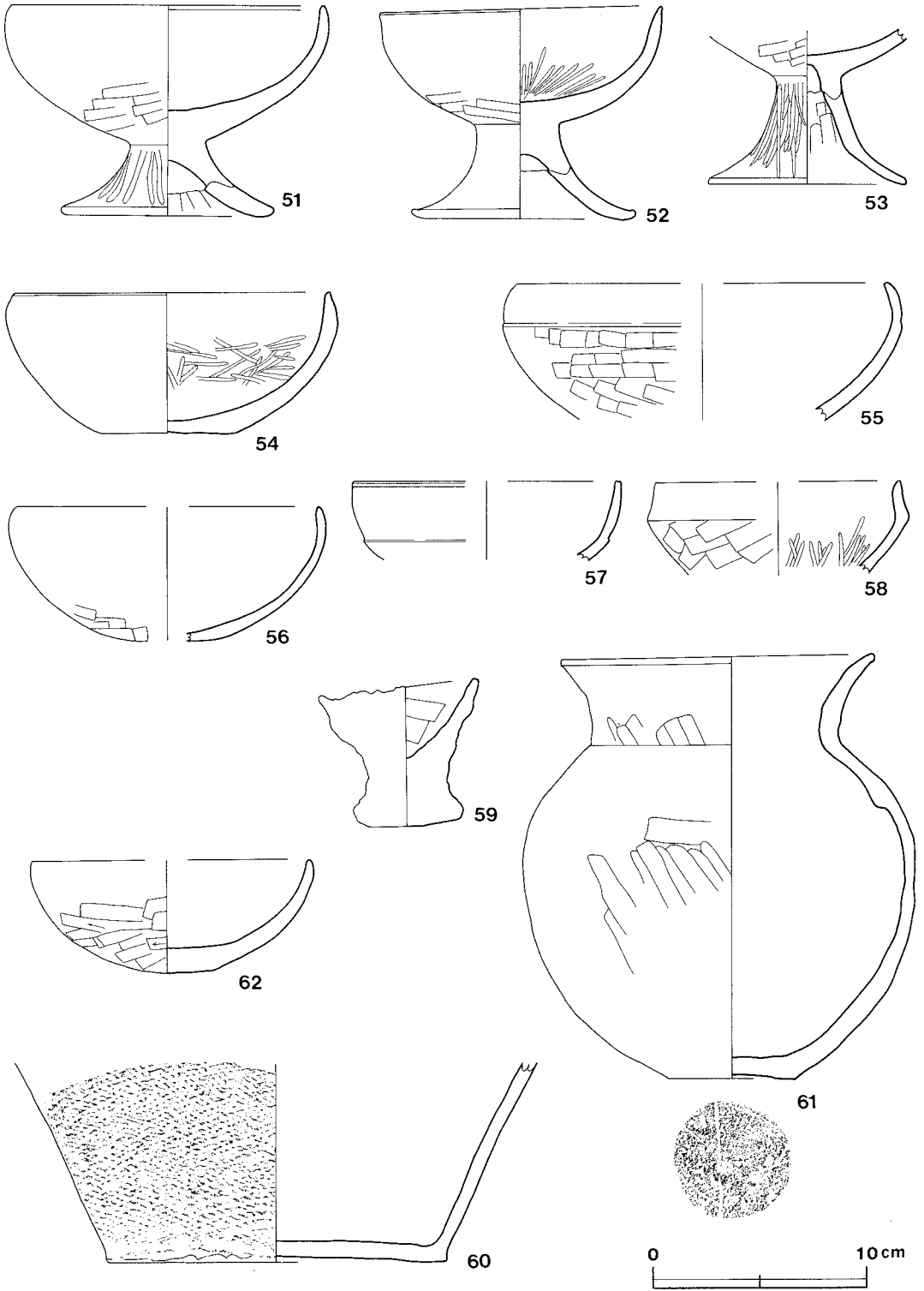
49



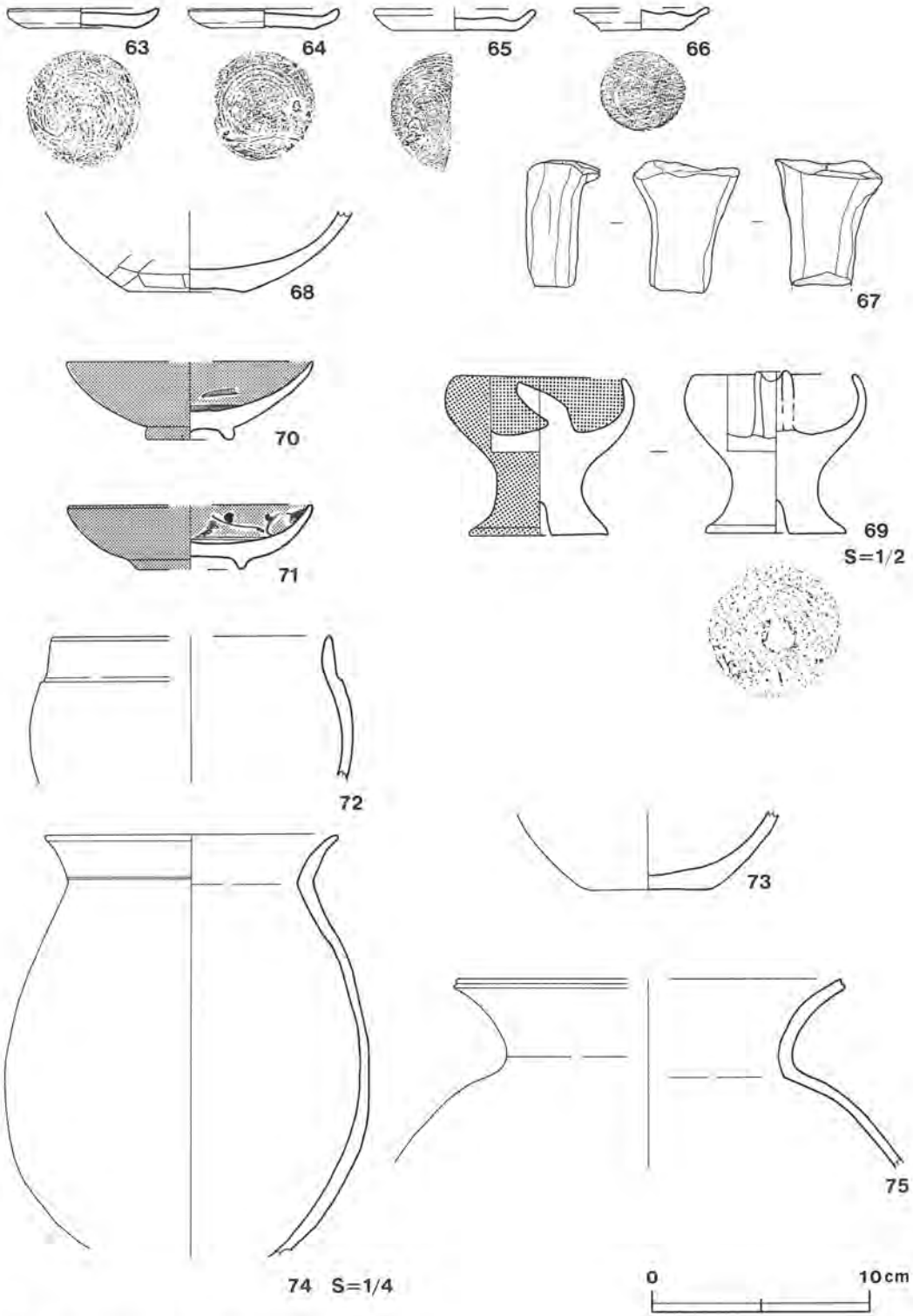
50



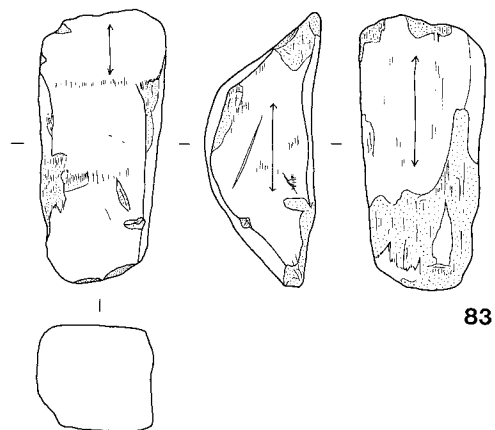
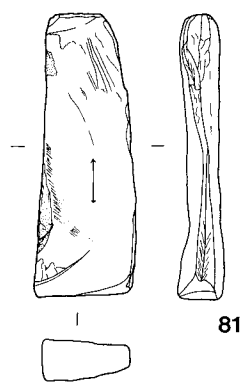
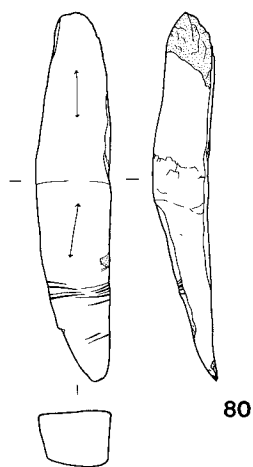
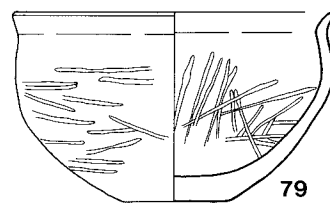
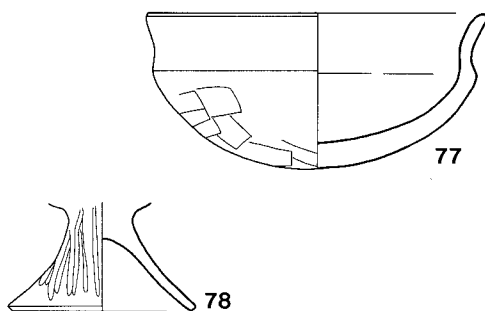
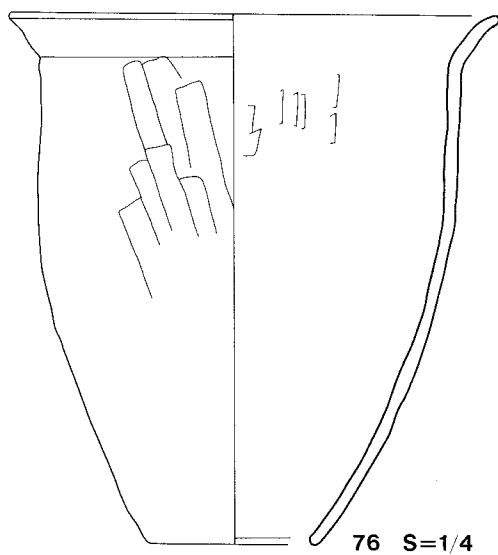
第444図 土坑(4)出土遺物実測図



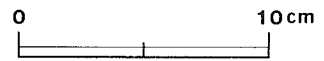
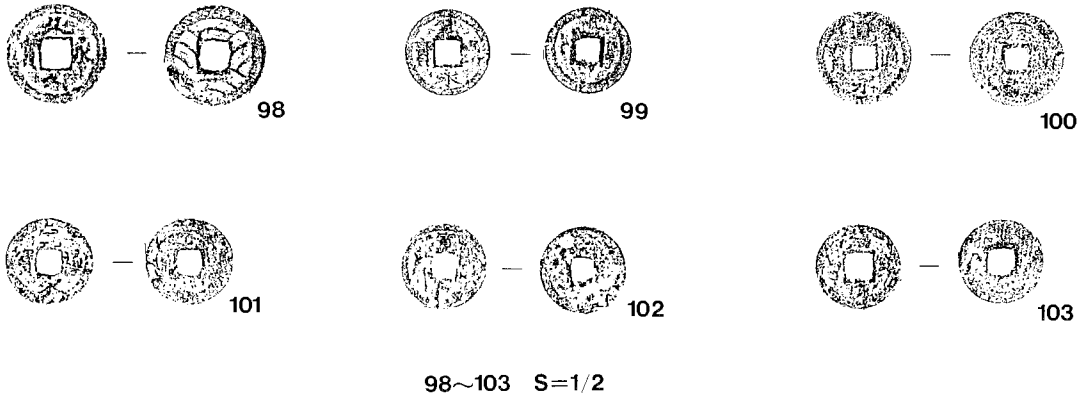
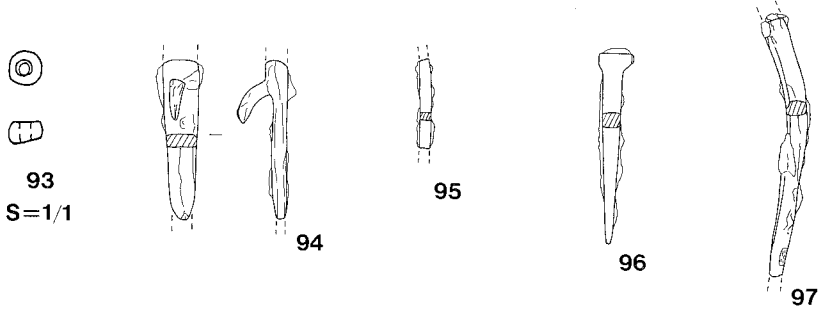
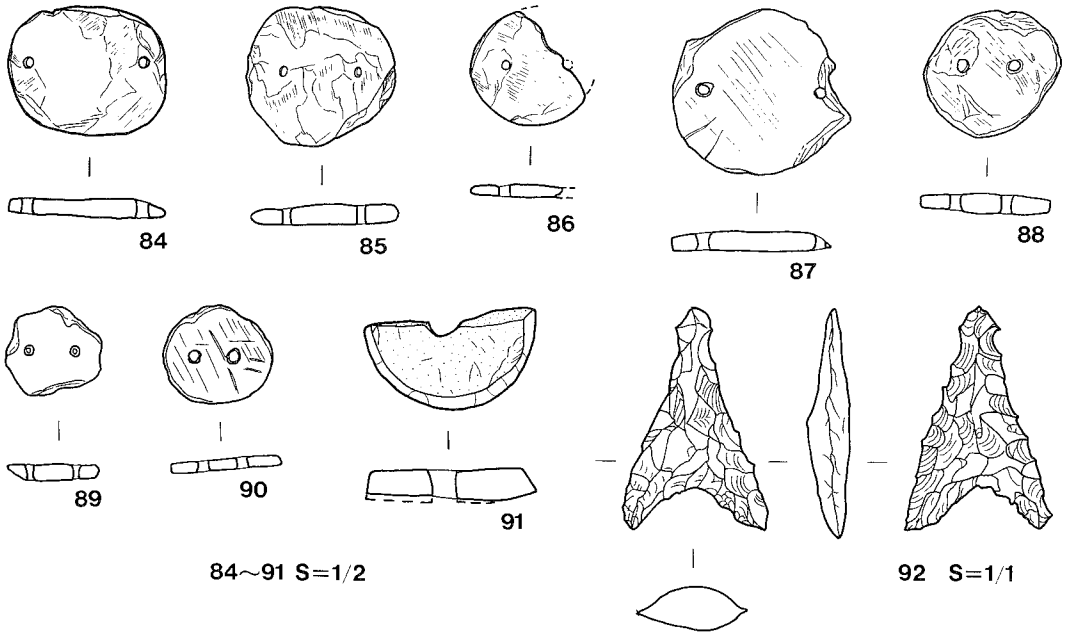
第445图 土坑(5)出土遗物实测图



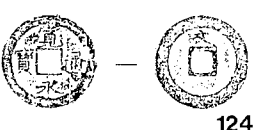
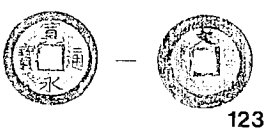
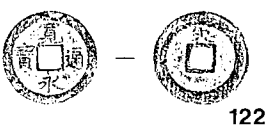
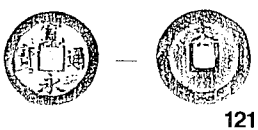
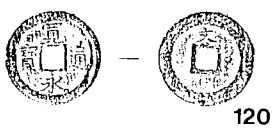
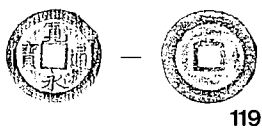
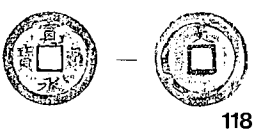
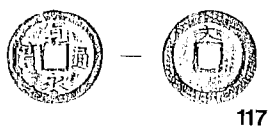
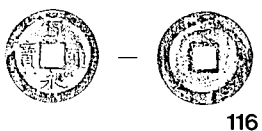
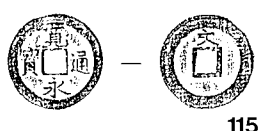
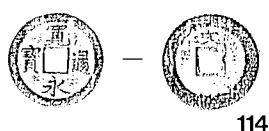
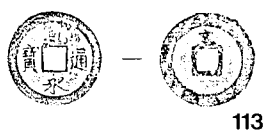
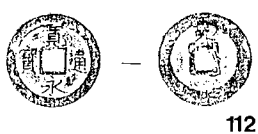
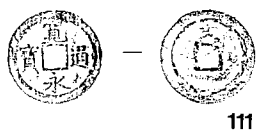
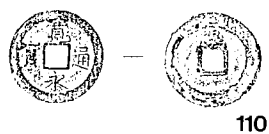
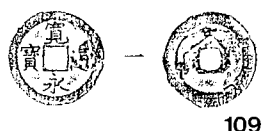
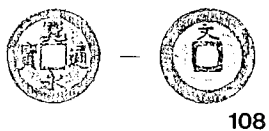
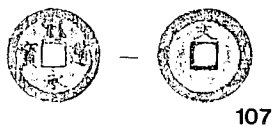
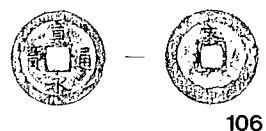
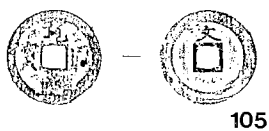
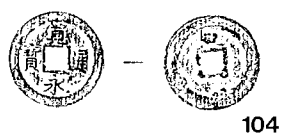
第446図 土坑(6)出土遺物実測図



第447图 土坑(7)出土遺物実測図

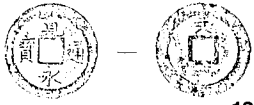


第448図 土坑(8)出土遺物実測・拓影図

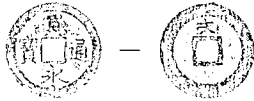


0 S=1/2 5cm

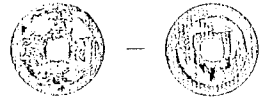
第449图 土坑(9)出土遺物拓影图



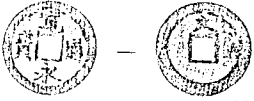
125



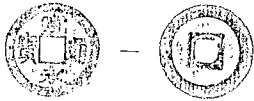
126



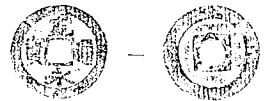
127



128



129



130



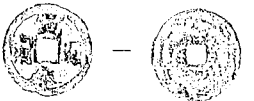
131



132



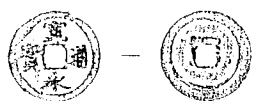
133



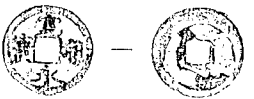
134



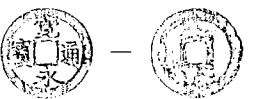
135



136



137



138



139



140



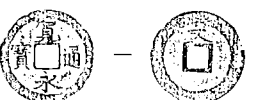
141



142



143



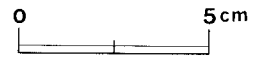
144



145



146



第450図 土坑(10)出土遺物拓影図



147



148



149



150



151



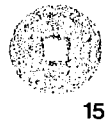
152



153



154



155



156



157



158



159



160

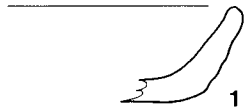
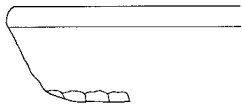
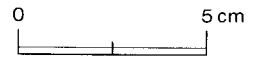


162

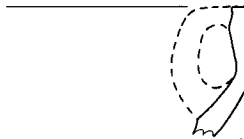
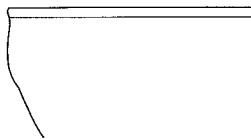


163

SK

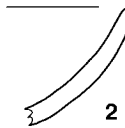
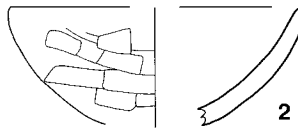


1 S=1/4

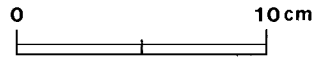


3

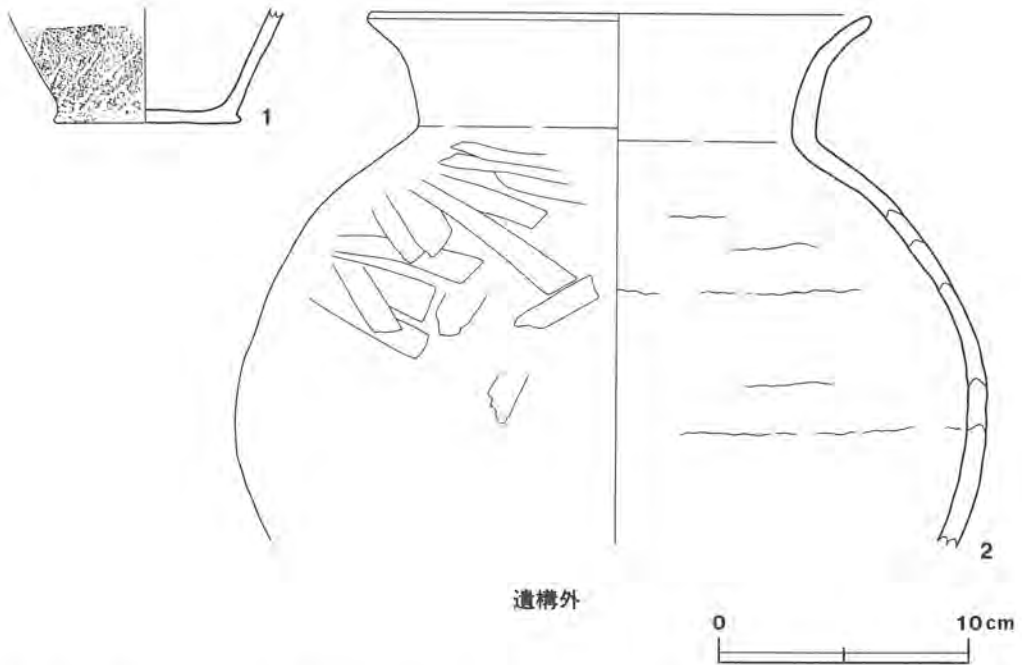
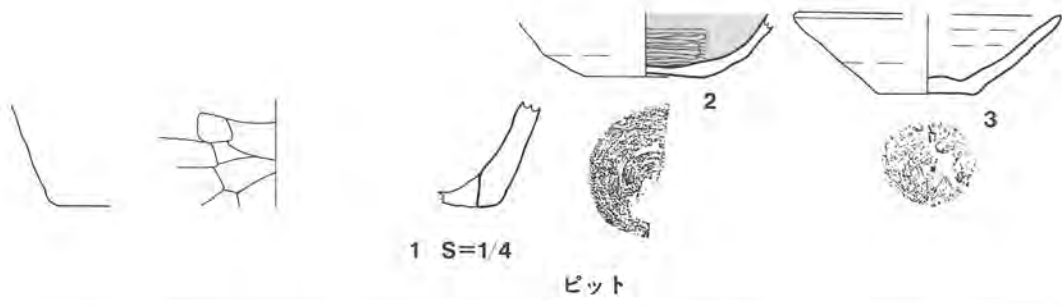
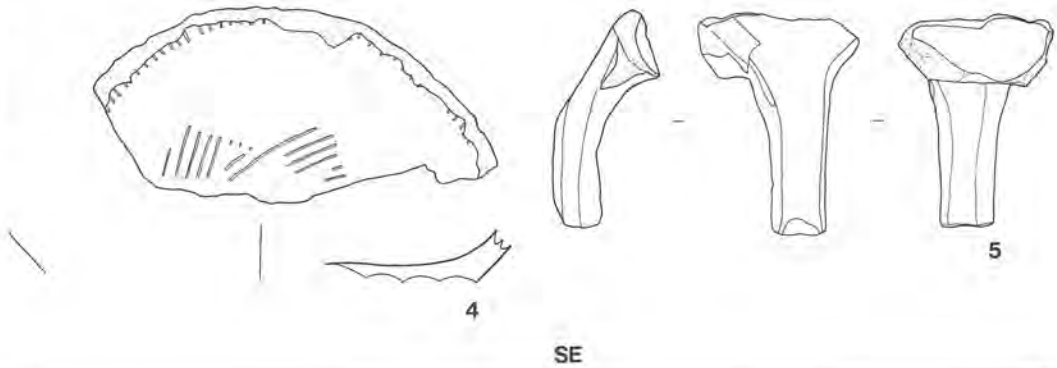
SE



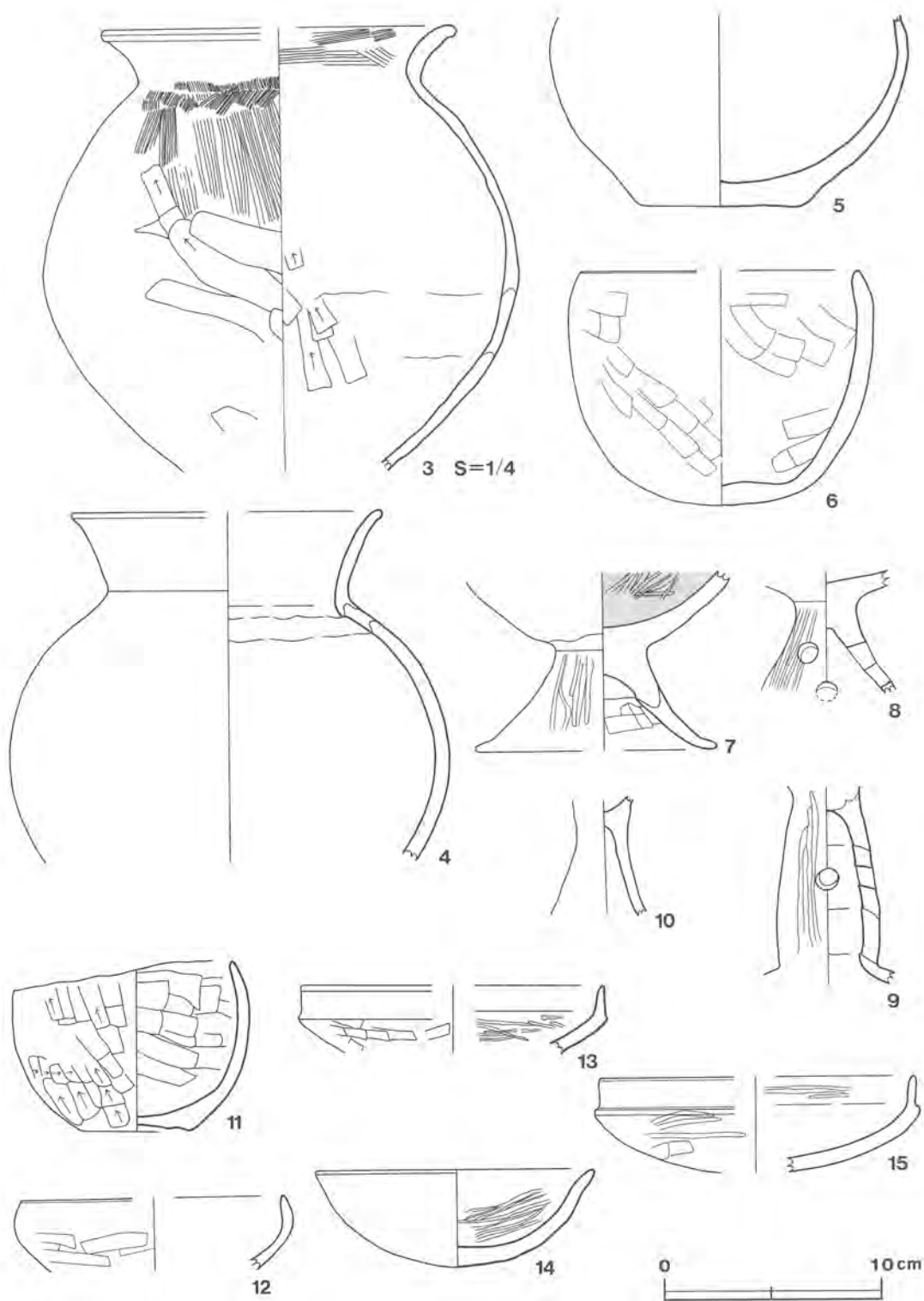
2



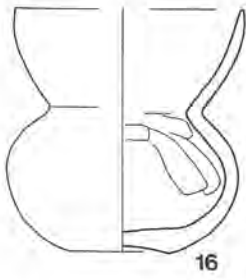
第451图 土坑(11)・井戸(1)出土遺物実測・拓影图



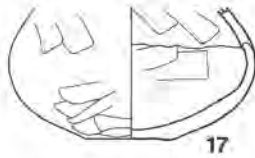
第452図 井戸(2)・ピット・遺構外(1)出土遺物実測図



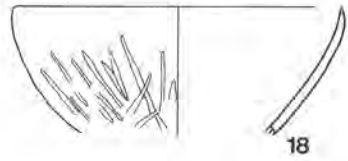
第453図 遺構外(2)出土遺物実測図



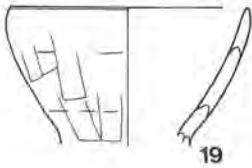
16



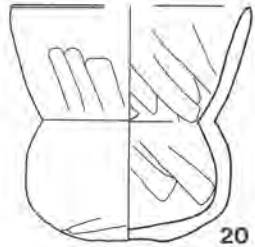
17



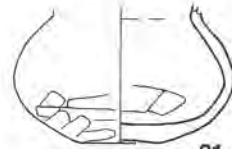
18



19



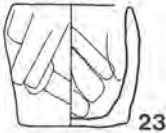
20



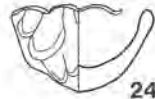
21



22



23



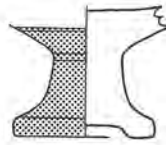
24



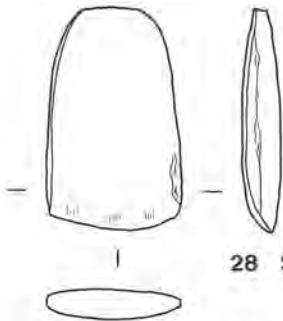
25



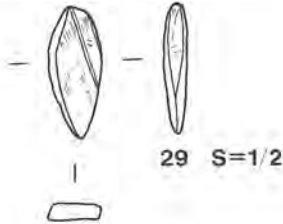
26 S=1/2



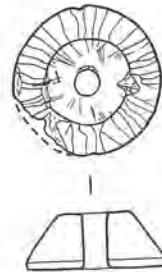
27 S=1/2



28 S=1/2



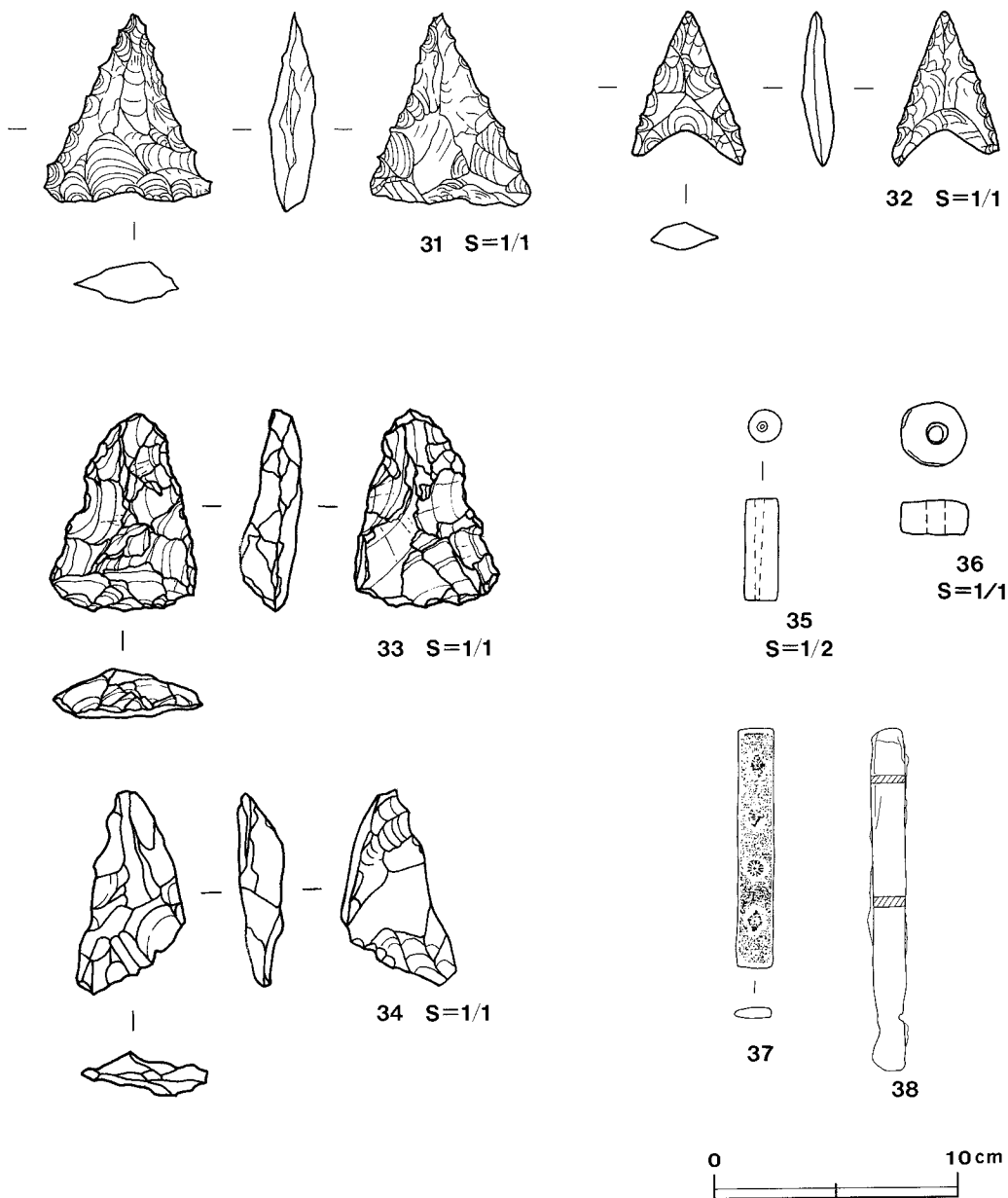
29 S=1/2



30 S=1/2



第454図 遺構外(3)出土遺物実測図



第455図 遺構外(4)出土遺物実測図

弥生時代

第106号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第284図 1	壺形土器 弥生式土器	A 11.6 B 18.3 C 5.9	底部は平底で、布目痕を有し、釉の圧痕がみられる。胴部は内彎しながら立ち上がり、頸部に至る。口縁部は頸部から外傾して外上方に開く。最大径は口縁部にもつ。口縁部に片口をもつ。	内面丁寧なナデ。口唇部キザミ目。口縁部に5本櫛歯の波状文6～7段。頸部隆帯1条。縦区画内に波状文充填。胴部上半に波状文1段。以下付加条2種の縄文を羽状構成。	砂粒・長石・雲母 灰白色 普通	90% P778 PL72 床面
2	壺形土器 弥生式土器	B (17.1) C 6.4	口縁部欠損。底部は平底。胴部は外傾気味に立ち上がり、口縁部は頸部から外上方に緩やかに外反する。	内面横ナデ。口縁部に6本櫛歯の波状文2段。頸部に段あり。横・縦区画内に波状文を一つおきに充填。胴部は付加条2種の縄文を羽状構成。	砂粒・雲母・ 白色針状物質 褐色 普通	70% P779 PL72 覆土中層
3	壺形土器 弥生式土器	A [15.0] B (7.4)	口縁部片。口縁部は緩く外反気味に開く。	内面横ナデ。口唇部刺突。口縁部6本櫛歯の波状文。頸部隆帯4条、縦区画内に波状文充填。	砂粒・雲母・ 白色針状物質 にぶい褐色 普通	5% P775 PL72 覆土
4	壺形土器 弥生式土器	B (20.7)	胴部片。胴部は緩く内彎しながら頸部に至る。	内面横ナデ。頸部隆帯2条。縦区画内に6本櫛歯による波状文充填。胴部上半に連弧文。以下は付加条2種の縄文による羽状構成。	砂粒・雲母・ 白色針状物質 にぶい褐色 普通	10% P776 PL72 床面 P775とは同一個体と考えられる。
5	壺形土器 弥生式土器	B (5.3) C 8.5	底部は平底で布目痕を有する。胴部は外傾しながら外上方に立ち上がる。	内面ナデ。胴部下半に付加条2種の縄文を羽状構成。	砂粒・雲母・ 白色針状物質 にぶい褐色 普通	10% P780 覆土

第143号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第285図 1	壺形土器 弥生式土器	A [13.2] B (8.4)	口縁部は頸部から外反しながら立ち上がった後、外傾して開く。	内面横ナデ。口唇部に付加条2種の縄文。口縁部5本櫛歯による波状文。口縁部下半に隆帯3条。頸部は縦区画内に波状文充填。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	10% P976 PL72 床面
2	壺形土器 弥生式土器	B (18.6)	胴部下半・口縁部欠損。頸部は胴部から緩やかに内彎した後、外上方に開く。	内面ナデ。頸部に隆帯2条。6本櫛歯による縦区画内に波状文を充填。胴部上半に連弧文。下半は付加条2種の縄文を羽状構成。	砂粒・雲母・ 白色針状物質 赤褐色 普通	30% P977 PL72 床面 二次焼成を受ける。

第148号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第285図 1	壺形土器 弥生式土器	B (8.2) C [15.0]	底部は平底で砂粒を多く含み、端部はやや突出する。胴部は外傾しながら外上方に立ち上がる。	内面横ナデ。胴部下半に付加条2種の縄文を羽状構成。	砂粒・長石・雲母 灰褐色 普通	5% P995 PL72 覆土
2	壺形土器 弥生式土器	B (5.1) C [7.2]	底部は平底で砂粒を多く含み、端部はやや突出する。胴部は外反気味に立ち上がった後、やや内彎する。	内面ナデ。胴部下半に付加条2種の縄文を羽状構成。	砂粒・長石・雲母・ 白色針状物質 褐色 普通	10% P996 覆土

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第285図 3	壺形土器 弥生式土器	B (2.9) C [9.6]	底部は平底で砂粒を多く含み、 端部はやや突出する。胴部は 外傾しながら外上方に開く。	内面ナデ。胴部下半に付 加条2種の縄文を羽状構 成。	砂粒・長石・雲母 浅黄褐色 普通	5% P997 覆土
4	埴 土 師 器	B (5.9) C 3.0	口縁部欠損。平底。胴部は偏 平な球形状を呈する。頸部は 再調整して片口を付けている。	胴部内外面ナデ、外面下 半は篋ナデ。	砂粒・パミス 橙色 普通	80% P998 覆土 流れ込み

古墳時代

第6号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第286図 1	鉢 土 師 器	B (5.7) C 7.9	平底。胴部は内彎気味に立ち 上がり、外上方に開く。	内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・雲母 にぶい赤褐色 普通	20% P1 カマド内覆土下層
2	坏 土 師 器	A [11.3] B 4.3 C 3.0	平底。体部は内彎しながら外 上方に立ち上がり、口縁部は 直立する。	口縁部横ナデ。体部内外 面ナデ。	砂粒・長石 明褐色 普通	50% P2 覆土
3	坏 土 師 器	A [11.2] B 4.7 C 4.6	底部は歪んだ平底。体部は内 彎しながら外上方に立ち上 がり、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。体 部内面ナデ後篋磨き、外 面ナデ。底部篋削り。	砂粒・長石 明褐色 普通	25% P3 覆土
4	蓋 須 恵 器	A [10.9] B (2.0)	天井部は丸みをもってなだ かに下がり、端部は丸い。内 面にかえりを有する。	水挽き整形。天井部は回 転篋削り調整。口縁部横 ナデ調整。	砂粒・パミス 灰白色 良好	10% P4 流れ込み

第12号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第286図 1	甕 土 師 器	A 30.0 B 33.8 C 9.7	上げ底。胴部は球形状を呈し、 最大径は中位からやや上にも つ。口縁部は頸部から「く」 の字状に外反する。	口縁部内外面横ナデ。口 縁部外面縦位の篋ナデ。 胴部内面ナデ後篋磨き、 外面篋ナデ。	砂粒・礫・パミス にぶい橙色 普通	85% P5 PL73 ピット内覆土 胴部外面煤付着
2	甕 土 師 器	A 21.7 B (25.0)	底部欠損。胴部は内彎なが ら外上方に開き、最大径は中 位から上位にもつ。口縁部 「く」の字状に外反。	口縁部内面横ナデ。外面 縦位の篋ナデ。胴部内面 篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	70% P6 覆土下層
第287図 3	甕 土 師 器	A [15.1] B 13.3	丸底。胴部は球形状を呈し、 最大径は中位にもつ。口縁部 は外傾して開く。	口縁部内面横ナデ。胴部 内面ナデ、外面刻離が進 み、整形不明。	砂粒・長石・スコリア 褐灰色 やや不良	80% P9 貯蔵穴内覆土
4	甕 土 師 器	A 28.4 B 28.8 孔径 7.9	無底式の甕。胴部は緩く内彎 しながら立ち上がり、口縁部 に至る。胴部中位に角状の把 手を有する。	口縁部内外面横ナデ。胴 部内面ナデ後横位の篋磨 き、外面ナデ後斜位の篋 磨き。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	95% P7 PL73 覆土中層
5	甕 土 師 器	A 26.3 B (21.2)	胴部は内彎気味に外上方に開 き、口縁部に至る。胴部中位 に把手を嵌め込んだものと思 われる孔が穿ってある。	口縁部内外面横ナデ。胴 部内面ナデ後篋磨き、外 面篋削り。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	60% P8 カマド内覆土下層 胴部外面煤付着
6	高 坏 土 師 器	A 15.5 B 12.8 D [12.0] E 4.8	坏部は半球状を呈し、内彎なが ら立ち上がり、口縁部に至る。口 縁部は内彎気味に立ちあがる。脚 部は「ハ」の字状に開く。	口縁部内外面横ナデ。体 部内外面ナデ、一部に磨 きの痕跡が残る。脚部内 外面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 やや不良	80% P10 PL73 覆土下層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第287図 7	高坏 土師器	A 14.4 B (12.9) E (6.7)	坏部は半球状を呈し、内彎しながら外上方に開き、口縁部に至る。口縁部は直立する。脚部はラッパ状に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	90% P11 PL73 覆土下層
8	坑 土師器	A 11.7 B 8.8 C 4.5	上げ底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、中位で大きく張る。口縁部は内傾し、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後丁寧な篋磨き。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	60% P12 覆土
9	坑 土師器	A 11.5 B 7.6 C 3.9	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、上位で張る。口縁部は直立し、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石・礫 暗褐色 普通	98% P13 ピット内覆土
第288図 10	坑 土師器	B (7.6) C 4.3	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、中位で張る。口縁部はほぼ直立する。	内面ナデ後篋磨き。外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	90% P14 PL73 床面
11	坑 土師器	A 13.4 B 6.8 C 6.4	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	95% P15 PL73 覆土下層
12	坑 土師器	A 10.0 B (6.0)	底部欠損。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は内彎する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 普通	50% P542 覆土
13	坑 土師器	A [12.0] B 5.6 C [3.9]	平底。体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	20% P543 覆土
14	坏 土師器	A [14.6] B 5.8 C 5.0	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	内外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P16 覆土下層

第16号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第288図 1	甕 土師器	A [17.8] B (4.9)	口縁部は頸部からほぼ直立し、上位で大きく外反する。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	5% P17 覆土
2	坑 土師器	A 12.4 B 6.0 C 4.2	平底。体部は内彎して外上方に立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 良好	100% P18 PL73 床面
3	坑 土師器	A [17.6] B 8.0	丸底。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部で大きく内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 浅黄色 普通	40% P19 覆土上層
4	坏 土師器	A 13.9 B 5.7 C 4.1	平底。体部は、肥厚な底部から内彎して外上方に立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 赤色 良好	100% P20 PL73 床面
5	坏 土師器	A [15.0] B 5.1	丸底。体部は器厚を減しながら、内彎して外上方に開き、口縁部は内彎気味に立ちあがる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	40% P21 覆土中層
6	坏(脚付) 土師器	B (2.5)	脚部片。脚部は「ハ」の字状に開く。	脚部内面ナデ、外面縦位の篋磨き。	砂粒・長石 橙色 普通	5% P47 覆土

第17号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第289図 1	甕 土師器	A [19.9] B (12.7)	胴部は内彎し頸部に至る。口縁部は外反し、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	10% P22 覆土
2	甕 土師器	A [27.8] B (14.6)	胴部下半欠損。胴部は外傾して口縁部に至る。口縁部は外反して開く。	口縁部横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい黄橙色 普通	20% P23 覆土
3	坏 土師器	A 12.2 B 4.7	丸底。体部は内彎して外上方に立ち上がり、上位で強く張る。口縁部は内彎し、口唇部は尖る。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面ナデ後横位の篋磨き。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	95% P24 PL73 覆土上層

第20号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第289図 1	甕 土師器	A 18.6 B (22.3)	胴部下半欠損。胴部は長胴を呈し、口縁部は外反する。口唇部は丸くおさめる。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面縦位の篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	60% P677 PL73 床面
2	甕 土師器	A [21.0] B (24.7)	胴部は長胴を呈し、口縁部は外反する。口唇部は丸くおさめる。	口頸部横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面縦位の篋削り。	砂粒・長石・礫 褐色 普通	30% P678 覆土下層
第290図 3	甕 土師器	A [21.0] B (11.0)	胴部下半欠損。胴部は長胴を呈し、口縁部は大きく外反する。	口頸部横ナデ。胴部内面ナデ、外面縦位の篋ナデ。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	20% P679 覆土下層
4	甕 土師器	A [17.8] B (7.0)	胴部下半欠損。胴部は長胴を呈し、口縁部は短く外反する。	口頸部横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 灰褐色 普通	5% P680 覆土中層
5	高坏 土師器	A [15.5] B 8.7 D 9.3 E 4.4	坏部は脚部から緩く外傾しながら外上方に立ち上がる。脚部は基部で円筒状を呈し、裾部は大きく外下方に開く。	坏部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。脚部内外面篋ナデ。裾部横ナデ。坏部内面黒色処理。	砂粒・スコリア 浅黄橙色 普通	55% P683 PL73 覆土
6	坑 土師器	A 13.6 B 8.6	丸底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は短く直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 灰褐色 普通	75% P682 PL73 床面
7	坏 土師器	A [17.5] B (4.9)	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外傾する。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	20% P685 床面
8	坏(脚付) 土師器	B (3.2) D [4.7] E 1.7	脚部は「ハ」の字状を呈して外下方に外反する。	外面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。内面ナデ。	砂粒 浅黄橙色 普通	15% P684 覆土

第21号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第290図 1	甕 土師器	A 14.4 B (17.0)	底部欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は頸部で強く外反して外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・雲母 にぶい赤褐色 普通	80% P25 床面
2	甕 土師器	A 13.0 B 16.1 C 5.5	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は外傾気味に立ち上がり、上位で外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面ナデ後一部篋磨き。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	65% P26 カマド内覆土
第291図 3	甕 土師器	B (23.2) C 5.9	口縁部欠損。上げ底。胴部はやや長胴を呈する。	胴部内面ナデ、外面斜位の篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい褐色 普通	50% P27 カマド内覆土

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第291図 4	壺 土 師 器	B (9.3)	口縁部欠損。丸底。胴部は内彎しながら立ち上がり、中位で強く張る。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。胴下半は篋削り。	砂粒・長石・雲母にぶい赤褐色普通	80% P28 PL74 覆土上層
5	高 坏 土 師 器	A 13.7 B (9.4) E (4.1)	坏部は半球状を呈し、口縁部はやや内彎する。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部で大きく開く。	坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 橙褐色 普通	90% P29 PL74 カマド内覆土
6	高 坏 土 師 器	A 12.8 B 10.3 D 11.4 E 4.5	坏部は半球状を呈し、緩く内彎する。口縁部は直立する。脚部は柱状を呈し、裾部で外反気味に大きく開く。	口縁部横ナデ。坏部内外面・脚部外面ナデ後篋磨き。坏部下端指頭により押圧。脚部内面篋ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・礫 赤褐色 普通	85% P30 PL74 床面
7	高 坏 土 師 器	A 13.9 B 9.8 D 9.7 E 3.6	坏部は半球状を呈し、緩く内彎する。口縁部は直立する。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部でやや外反する。	口縁部横ナデ。坏部内外面・脚部外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	90% P31 カマド内覆土
8	高 坏 土 師 器	B (8.8) D 13.0 E 6.5	坏部欠損。脚部はラップ状を呈し、裾部で大きく開く。	脚部内面篋削り、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・雲母・バミス 赤褐色 普通	50% P32 ピット内覆土
9	坑 土 師 器	A 11.5 B 7.9 C 3.0	平底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は緩く外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面篋削り。内外面赤彩。	砂粒・長石・バミス にぶい橙褐色 普通	100% P33 PL74 カマド内覆土
10	坑 土 師 器	A 12.6 B 6.7	体部は内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部は頸部から外反。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石 橙褐色 普通	50% P34 カマド内覆土
11	坑 土 師 器	A 13.1 B 7.0	体部は丸底気味の底部から内彎しながら立ち上がり、口縁部は内傾する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・バミス 赤褐色 やや不良	98% P37 覆土上層
12	坑 土 師 器	B (5.5)	口唇部欠損。丸底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がる。	体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	70% P41 覆土上層
13	坏 土 師 器	A 13.9 B 6.6	体部は底部から内彎しながら立ち上がり、口縁部は緩く外反する。	口縁部内外面横ナデ。全体に剝離が著しく整形不明。	砂粒・スコリア 赤色 不良	95% P35 カマド内覆土
第292図 14	坏 土 師 器	A 14.9 B 6.6	体部は平底気味の底部から内彎しながら立ち上がる。口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面粗いナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 やや不良	95% P36 PL74 覆土上層
15	坏 土 師 器	A 15.0 B 6.6	体部は丸底気味の底部から内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	40% P38 床面
16	坏 土 師 器	A 12.8 B 5.0 C 4.4	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。体部下端・底部篋削り。口縁部内外面に漆付着。	砂粒・雲母 明赤褐色 普通	95% P39 貯蔵穴内覆土
17	坏 土 師 器	A [13.2] B 5.8	丸底。体部は皿状を呈し、口縁部はやや外傾する。体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙褐色 普通	60% P40 カマド火床面
18	坏 土 師 器	B (3.3)	口唇部欠損。体部は皿状を呈し、口縁部は直立する。体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面放射状の篋磨き、外面篋削り。内外面赤彩。	砂粒・長石・バミス 赤褐色 普通	60% P42 カマド内覆土上層
19	坏 土 師 器	A [13.0] B (3.5)	口縁部片。口縁部は内傾する。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒 橙褐色 普通	15% P43 覆土
20	坏(脚付) 土 師 器	B (4.4) D 4.8 E 2.0	坏部は緩く内彎気味に外上方に開く。脚部は短く「ハ」の字状に開く。	坏部内外面丁寧なナデ。脚部内外面横ナデ。	砂粒・長石・スコリア 赤褐色 普通	20% P44 覆土下層

第27号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第292図 1	甕 土師器	A 17.8 B 24.4 C 6.5	平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、最大径は上位にもつ。口縁部は垂直に立ち上がり、上位で外反する。	口縁部内外面横ナデ、外面縦位の篋ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	80% P48 床面
第293図 2	甕 土師器	A 19.2 B (22.1)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は頸部から「く」の状に強く外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 不良	50% P49 貯蔵穴A覆土上層
3	甕 土師器	A 15.1 B 32.3 C 8.6	平底。胴部は、球形状を呈する。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、上位で外反する。	口縁部内外面ナデ後篋磨き。胴部内面ナデ、外面篋ナデ。外面は剝離が著しい。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	90% P50 PL73 覆土下層
4	甕 土師器	A 15.6 B (23.4)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外傾気味に立ち上がり、中位から大きく外反する。口縁部中位に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ、外面は縦位の篋ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 赤色 普通	40% P51 貯蔵穴A覆土上層
第294図 5	甗 土師器	A 25.5 B 27.2 孔径 9.0	無底式の甗。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は強く外反する。	口縁部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面丁寧な篋削り、一部篋磨き。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	80% P52 PL73 床面
6	坏 土師器	A 15.2 B 6.5 C 4.9	平底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ後一部篋磨き、外面篋磨き下半部篋削り。	砂粒 赤色 普通	90% P53 PL73 貯蔵穴B覆土
7	坏 土師器	A 12.6 B 5.4	体部は平底気味の底部から内彎しながら立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋磨き。下半部篋削り。内面黒色処理。	砂粒・長石・パミス 灰黄褐色 普通	95% P54 PL73 貯蔵穴A覆土

第33号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第294図 1	甕 土師器	A 25.3 B 24.8 C 9.1	平底。胴部は内彎しながら外上方に開き、中位で張る。口縁部は外反しながら立ち上がり、上位で開く。	口縁部内外面ナデ後篋磨き。胴部内面ナデ、外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	50% P55 床面
2	甕 土師器	A 18.2 B 30.2 C 8.4	平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、やや長胴を呈する。口縁部は外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい黄褐色 普通	95% P58 床面
第295図 3	甕 土師器	A 15.3 B (13.4)	胴部下半欠損。胴部は内彎し口縁部に至る。口縁部は外反しながら大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ナデ。胴部は全体に剝離が進む。	砂粒・長石・礫 赤色 普通	40% P57 覆土下層
4	甕 土師器	A 17.9 B (23.4)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は大きく外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋削り、外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	60% P56 床面 胴部外面煤付着
5	甕 土師器	A 17.0 B 27.0 C 7.2	上げ底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は「く」の字状に外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	90% P59 PL74 床面 胴部外面煤付着
6	甕 土師器	A 17.5 B 26.4 C 7.9	平底。胴部は、球形状を呈する。口縁部は「く」の字状に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ、外面上半部篋磨き。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	60% P60 覆土下層 胴部外面煤付着
7	甕 土師器	A 16.4 B 27.2 C 7.5	平底。胴部はやや長胴を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は「く」の字状に外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい黄褐色 普通	70% P61 床面 胴部外面煤付着

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第296図 8	甕 土師器	A 16.9	平底。胴部は外傾気味に外上方に立ち上がり、口縁部は「く」の字状に外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	80% P62 貯蔵穴A覆土上層
		B 23.2				
		C 7.8				
9	甕 土師器	A 14.8	丸底。胴部は、球形状を呈する。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、中位で外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・スコリア にぶい赤褐色 普通	90% P63 床面
		B 21.1				
10	甕 土師器	A 12.8	上げ底。胴部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反する。	口縁部内面横位の篋ナデ、外面横ナデ。頸部縦位の篋磨き。胴部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	60% P64 床面
		B 21.5				
		C 4.7				
11	甕 土師器	A 10.2	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部はやや内傾気味に立ち上がる。	口縁部内面横ナデ。口頸部外面縦位の篋削り。胴部内面篋削り、外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア 明赤褐色 普通	20% P66 覆土
		B (12.2)				
12	甕 土師器	A 23.4	無底式の甕。胴部はやや内彎し、口縁部は直立する。胴部中位に角状の把手を有する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	60% P67 PL74 床面
		B 25.1				
		孔径 8.2				
第297図 13	壺 土師器	A 9.6	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、中位で張る。口縁部は頸部から外反して開き、端部で内彎気味に立つ。	口縁部内面篋ナデ、外面横ナデ。胴部外面丁寧な篋削り。	砂粒・長石・パミス にぶい赤褐色 普通	98% P68 PL74 覆土中層
		B 15.1				
		C 4.5				
14	壺 土師器	A 8.5	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、中位で張る。口縁部は頸部から外反した後、緩く内彎して口唇部に至る。口縁部は中位に稜を有する。	口縁部内面横ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。胴部外面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	70% P69 PL74 貯蔵穴B覆土
		B 14.2				
		C 4.3				
15	高坏 土師器	A [19.7]	坏部片。坏部は下位に稜を有し、外傾して開く。口縁端部は横に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P70 覆土
		B (5.0)				
16	埴 土師器	A 12.5	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部は短く外傾して立つ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ、下半部は篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	100% P72 覆土
		B 9.3				
17	埴 土師器	A 10.1	丸底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾気味に立つ。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	50% P73 覆土
		B 6.7				
18	坏 土師器	A [14.9]	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや内彎気味に立つ。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後一部篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	80% P75 床面
		B 6.6				
19	坏 土師器	A 17.8	平底。体部は器厚を減しながら、内彎して立ち上がり、口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面ナデ。	砂粒・パミス・雲母 にぶい橙色 普通	98% P74 PL74 貯蔵穴A覆土中層
		B 7.1				
		C 5.5				
20	坏 土師器	A 13.6	平底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反気味に開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ後粗い篋磨き。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	50% P76 床面
		B 5.2				
		C 4.4				
21	坏 土師器	A [14.1]	丸底。体部は内彎して立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい黄褐色 普通	50% P78 覆土
		B 5.7				
22	坏 土師器	A 14.8	平底。体部は緩く内彎して立ち上がり、口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 赤色 普通	70% P79 覆土中層
		B 6.0				
		C 4.6				
23	坏 土師器	A 16.2	平底。体部は緩く内彎して立ち上がり、口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面篋ナデ、下端篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	70% P80 覆土中層
		B 5.4				
		C 4.8				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第297図 24	坏(脚付) 土師器	A 13.7	坏部は底部から直線的に外上方に開き、口縁部に至る。脚部は短く「ハ」の字状に開き、端部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面篋ナデ。脚部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石・雲母 淡橙色 普通	100% P71 PL74 貯蔵穴A覆土中層
		B 5.7				
		D 4.4				
		E 1.5				
25	把手付坑? 土師器	B (4.8)	把手片。	把手は体部に貼り付けた後ナデ。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	5% P77 PL74 覆土

第37号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第298図 1	甕 土師器	A 16.8	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、最大径を中位にもつ。口縁部は頸部から「く」の字状に外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面篋ナデ、一部に篋磨き。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	80% P81 床面
		B 30.2				
		C 7.5				
2	甕 土師器	A 17.9	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は頸部から外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ、胴部内外面篋ナデ。胴部外面に輪積み痕が明瞭に残る。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	70% P82 PL75 覆土 胴部外面煤付着
		B 26.4				
		C 5.8				
3	甕 土師器	A [22.0]	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は頸部から外反して立ち上がり、中位で大きく開く。	口縁部内面横ナデ、外面ナデ後篋ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・パミス 黒褐色 普通	20% P83 床面
		B 25.3				
		C [7.6]				
4	甕 土師器	A 17.2	胴部下半欠損。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、中位で外反する。胴部は頸部から外下方に開く。	口頸部内外面横ナデ。口縁部内面一部篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後一部篋磨き。	砂粒・長石・礫 灰白色 普通	30% P84 床面
		B (15.6)				
5	甕 土師器	A 18.5	胴部下半欠損。胴部は内彎し、中位でやや張る。口縁部は折り返し口縁で外傾気味に立ち上がる。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ。頸部内外面指頭による押圧痕が残る。	砂粒・長石 赤橙色 普通	40% P85 床面
		B (13.9)				
6	甕 土師器	B (15.9)	胴部上半欠損。平底。胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部外面篋ナデ、内面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石 灰褐色 不良	40% P87 床面
		C 7.9				
第299図 7	甕 土師器	B (15.5)	胴部上半欠損。平底。胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	50% P88 床面
		C 5.8				
8	壺 土師器	A 16.2	底部欠損。胴部は内彎して球形状を呈し、口縁部は強く外傾して口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	90% P90 覆土上層
		B (21.2)				
9	壺 土師器	B (18.4)	胴部下半・口縁部欠損。胴部は内彎して球形状を呈する。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 赤褐色 普通	40% P91 床面
10	壺 土師器	A [11.3]	丸底。胴部は内彎しながら球形状を呈し、中位で張る。口縁部は頸部から外反気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	98% P92 床面
		B 14.8				
11	壺 土師器	A 9.0	平底。胴部は内彎気味に外上方に開き、中位で強く張る。口縁部は頸部から外傾して立ち上がった後、緩く内彎して端部に至る。	口縁部内外面ナデ後篋磨き。胴部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き、下半篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 やや良好	98% P108 PL75 ビット覆土中層
		B 15.0				
		C 5.0				
12	埴 土師器	A [10.1]	胴部下半欠損。胴部は内彎して頸部に至る。口縁部は外傾して立ち上がり、端部に至る。	口縁部内外面ナデ。胴部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 赤褐色 普通	20% P93 床面
		B (12.9)				
13	埴 土師器	A [9.7]	胴部下半欠損。胴部は内彎しながら頸部に至る。口縁部は外傾して立ち上がり、端部に至る。	器表全体が剝離し、整形不明。	砂粒・長石・礫 橙色 やや不良	10% P94 床面
		B (9.9)				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第300図 14	壺 土師器	A 16.5 B (19.2)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は「コ」の字状に外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	40% P89 床面
15	鉢 土師器	A 29.7 B 20.3 C 10.4	上げ底。胴部は緩く外傾しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部は頸部から外傾し、上位で開く。	口縁部内面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	60% P109 PL75 床面
16	高坏 土師器	A 18.3 B (7.1)	脚部欠損。坏部は下位に弱い稜を有し、坏部は外傾しながら立ち上がる。口縁部は上位で軽く外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P95 床面
17	埴 土師器	A 10.8 B 7.2 C 6.0	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。底部には高台状に粘土を貼り付け、上げ底。	体部内外面篋ナデ。底部外面篋削り。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	90% P103 覆土下層
18	埴 土師器	A [10.2] B 6.0 C 4.7	平底。体部は内彎しながら外方に立ち上がる。底部には高台状に粘土を貼り付けている。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。底部外面ナデ。	砂粒・パミス にぶい橙色 普通	70% P104 覆土下層
19	埴 土師器	A 16.4 B 8.9	丸底。体部は平底気味の底部から内彎しながら立ち上がり、上位でやや張る。口縁部は短く直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	70% P96 PL75 床面
20	埴 土師器	A 13.5 B 7.2 C 4.4	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部は短く外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	60% P97 床面
21	埴 土師器	A 12.5 B 5.6	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	98% P99 床面
22	埴 土師器	A 19.7 B 9.4 C 5.3	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	60% P100 覆土
23	埴 土師器	A 13.3 B 6.1 C 4.6	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面粗いナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P102 床面
24	坏 土師器	A 13.3 B 5.4	丸底。体部は平底気味の底部から内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	80% P98 床面
25	坏 土師器	A 13.8 B 5.5	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後一部篋磨き、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 赤色 普通	80% P101 床面
26	坏 土師器	A 14.5 B 5.2	丸底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部は内外面共剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・パミス 橙色 不良	98% P105 PL75 床面
27	坏 土師器	A 14.0 B 5.2	丸底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい褐色 普通	100% P110 PL75 覆土下層
第301図 28	坏 土師器	A 13.4 B 5.4 C 4.9	平底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は短くやや外反する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・雲母 明赤褐色 普通	98% P106 床面
29	坏 土師器	A 13.3 B 4.8 C 5.2	平底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は短く外傾する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ後粗い篋磨き。	砂粒・長石 赤色 普通	85% P107 床面

第38号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第301図 1	小形甕 土師器	A 12.8 B 19.7 C 7.0	平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、長胴形を呈する。口縁部は軽く外反し、口唇部を丸くおさめる。	輪襷み痕を明瞭に残す。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦位の筥削り、内面横位の筥ナデ。	砂粒 橙色 普通	90% P669 床面
2	甕 土師器	B (7.0) C 7.1	平底。胴部は内彎気味に立ち上がる。	胴部外面縦位の筥磨き、内面横位の筥ナデ。	砂粒 にぶい赤褐色 普通	30% P670 床面
3	甕 土師器	A [24.8] B (5.7)	頸部は「く」の字状に屈曲し、口唇部は丸くおさめる。	口頸部内外面横ナデ。口縁部内面一部筥磨き。	砂粒・スコリア 黒褐色 普通	5% P672 覆土
4	鉢 土師器	A [13.4] B (6.8)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は短く外反する。	口縁部から胴部上位にかけて内外面横ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	10% P671 覆土

第39号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第301図 1	甕 土師器	A 19.7 B 31.4 C 5.2	底部は狭い平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、長胴形を呈する。口縁部は外反して、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦位の筥削り、内面横位の筥ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	80% P695 PL75 覆土下層
2	甕 土師器	A 21.2 B (20.9)	張りの弱い胴部から、口縁部は外反して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	口縁部から頸部にかけて内外面横ナデ。胴部外面筥削り、内面筥ナデ。	砂粒・長石・雲母 赤褐色 普通	70% P696 カマド覆土下層
第302図 3	甕 土師器	A 19.5 B (24.8)	やや張りのある胴部から、口縁部は外反して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	口縁部から頸部にかけて内外面横ナデ。胴部外面筥削り、内面筥ナデ。	砂粒・雲母 暗褐色 普通	50% P697 覆土下層
4	甕 土師器	B (16.2) C 9.4	平底。胴部は内彎しながら立ち上がる。全体的に器厚は薄い。	胴部外面縦位の筥削り、内面は剝離が著しい。	砂粒・長石・雲母 暗赤褐色 普通	30% P698 床面
5	埴 土師器	A 13.5 B 8.0	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部でやや内傾する。底部に「×」状の線刻がなされる。	口縁部内外面横ナデ。体部外面横位の筥磨き、内面筥磨き。	砂粒 にぶい赤褐色 普通	95% P699 PL75 床面
6	高 坏 土師器	A [13.4] B (5.0)	脚部は欠損。坏部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内外面横ナデ。内面筥磨き。	砂粒・雲母 赤褐色 普通	15% P700 覆土下層
7	高 坏 土師器	A [14.1] B (4.2)	脚部欠損。坏部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・雲母 明褐色 普通	20% P701 覆土下層
8	高 坏 土師器	B (6.8)	脚部片。円筒状を呈し、楯部で開く。	脚部外面縦位の筥磨き、内面筥ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい褐色 普通	20% P703 覆土
9	高 坏 土師器	B (4.7)	脚部片。やや開き気味に下がった後、楯部で大きく開く。	脚部外面縦位の筥磨き、内面筥ナデ。	砂粒・雲母 浅黄褐色 普通	20% P704 覆土
10	坏(脚付) 土師器	B (4.0) D 4.2 E 1.7	「ハ」の字状に開く脚が付く。坏部は外傾して立ち上がる。	坏部内面筥磨き。脚部貼り付け後内外面横ナデ。	砂粒・雲母 にぶい赤褐色 普通	30% P702 覆土下層

第41号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第303図 1	甕 土師器	B (12.4) C 5.5	平底。胴部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	胴部外面縦位の篋削り、内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 黒褐色 普通	30% P705 カマド覆土下層

第44号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第303図 1	甕 土師器	A 16.1 B 26.5 C 5.9	平底。胴部は緩く内彎しながら立ち上がり、最大径を中位よりやや下にもつ。口縁部は「コ」の字状を呈し、上位で大きく開く。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後篋ナデ。胴部内外面横ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	98% P111 PL75 カマド内覆土 胴部外面煤付着
2	鉢 土師器	A [29.1] B 19.9 C 7.3	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ後一部篋磨き、外面上半部ナデ後篋磨き、下半部篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	40% P112 カマド内覆土
3	埴 土師器	A 9.9 B 16.2 C 4.4	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は外傾する。	口縁部上端横ナデ。口縁部内外面縦位の篋磨き。胴部内面ナデ、外面篋磨き。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	98% P113 PL75 カマド内覆土

第45号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第304図 1	坏 土師器	A [11.3] B (4.5)	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ垂直に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ、下半篋削り。内面黒色処理。	砂粒・パミス 灰褐色 良好	30% P114 覆土
2	坏 土師器	A [13.6] B (3.8)	体部は歪んだ底部から内彎気味に立ち上がり、口縁部は短く外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒 にぶい褐色 普通	30% P115 覆土

第47号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第304図 1	甕 土師器	A 20.7 B (14.8)	胴部下半欠損。胴部は内彎しながら頸部にいたる。口縁部は外反し、口唇部は平坦である。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後一部篋磨き。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	30% P116 覆土下層
2	甕 土師器	A [19.2] B (9.8)	胴部下半欠損。口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・パミス・雲母 にぶい橙色 普通	30% P117 床面
3	甕 土師器	B (17.6) C 8.0	胴部上半欠損。平底。胴部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がる。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	30% P118 床面
4	高坏 土師器	A 17.5 B 11.4 D 12.3 E 6.8	坏部は下位に弱い稜を有し、内彎しながら立ち上がる。端部は短く外反する。脚部は円柱状を呈し、裾部で外反する。	口縁部内外面横ナデ。全体に摩滅が著しく、整形不明。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 不良	90% P120 カマド内覆土
5	高坏 土師器	A [16.5] B (6.3)	坏部片。坏部は下位に稜を有し、外傾して立ち上がる。端部は短く外反する。	坏部内面ナデ後篋磨きの痕跡が認められる。外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	20% P121A 覆土

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第304図 6	高坏土師器	B (9.0) D 12.7 E 8.0	脚部片。脚部は中実の円柱状を呈し、下半部で「ハ」の字状に開く。裾部は外反する。	脚部内外面篋ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	30% P121B 覆土 P121Aと同一個体
第305図 7	甗土師器	A 28.6 B 32.7 孔径 9.4	無底式の甗。胴部は外傾して立ち上がり、長胴を呈する。中位は張る。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	70% P119 PL75 床面
8	高坏土師器	A 17.0 B (8.3) E (3.1)	坏部は下位に稜を有し、外上方に開く。脚基部は中実の円柱状を呈する。	口縁部横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	60% P122 覆土
9	高坏土師器	A 14.7 B (5.2)	脚部欠損。坏部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ。坏部内面に「×」の線刻が施されている。	砂粒・長石・スコリア 橙色 やや不良	50% P123 覆土下層
10	高坏土師器	A 15.6 B (5.5)	脚部欠損。坏部は下位に稜を有し、やや内彎気味に外上方に開く。端部は短く外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 赤色 普通	50% P124 床面
11	埴土師器	A 13.2 B 6.3 C 4.9	平底。体部は緩く内彎気味に立ち上がり、口縁部は短く外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	80% P126 覆土下層
12	坏土師器	A 16.2 B 6.4	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部・坏部内外面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。	砂粒・スコリア 明赤褐色 普通	80% P125 床面
13	坏土師器	A 14.2 B 6.6	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部はほぼ直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面丁寧なナデ後一部篋磨き。	砂粒・長石 赤色 普通	40% P127 床面
14	坏土師器	A 13.6 B 5.1 C 3.3	平底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 灰白色 普通	90% P128 覆土下層
15	坏土師器	A [15.6] B 5.0 C 4.0	丸底。体部は内彎しながら外上方に開き、口縁部に至る。	口縁部内外面篋磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面ナデ。	砂粒・スコリア 明赤褐色 普通	60% P129 覆土下層
16	坏土師器	A 12.7 B 4.9	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ垂直に立ち上がる。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。体部内面剝離が著しい。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	70% P130 覆土下層
17	坏土師器	A [14.2] B (4.7)	体部は皿状を呈し、口縁部はやや内傾する。体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。底部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	35% P131 PL75 床面

第49号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第306図 1	甗土師器	A [25.0] B 31.3 C 8.6	平底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は強く外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面縦位の篋削り。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	90% P132 PL75 覆土下層
2	甗土師器	A 21.3 B 29.6 C 3.6	丸底。胴部は長胴を呈する。口縁部は外反する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 浅黄褐色 普通	99% P570 覆土
3	小形甗土師器	A 13.8 B 10.3 C 6.0	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 普通	100% P573 PL75 覆土

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第306図 4	甗 土師器	A 24.8 B 26.1 孔径 [6.6]	無底式の甗。胴部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・礫 浅黄橙色 普通	40% P133 覆土中層
5	甗 土師器	A [22.4] B 27.2 孔径 [9.2]	無底式の甗。胴部は緩く内彎し、口縁部は大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。胴部外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	35% P135 覆土下層
6	高坏 土師器	A 13.6 B (5.7)	脚部欠損。坏部は器厚を減ずるとともに内彎しながら立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部外面横位の篋磨き。坏部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 良好	50% P136 PL75 覆土下層
7	鉢 土師器	A 11.9 B 7.7 C 6.8	平底。胴部は内彎しながら外上方に開く。口縁部は内傾気味に立ち上がり、上位で直立する。胴部との境に明瞭な稜を有する。	口縁部・胴部内面ナデ後横位の篋磨き。口縁部外面横ナデ。胴部外面ナデ。内面黒色処理。	砂粒・雲母 灰白色 普通	45% P137 覆土下層
第307図 8	甗 土師器	A 23.6 B 24.5 孔径 8.7	無底式の甗。胴部は緩く内彎しながら立ち上がった後、直線的に外上方に開き、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	90% P134 PL75 覆土中層
9	坏 土師器	A 14.1 B 5.8	丸底。体部は緩く外傾しながら立ち上がり、口縁部は内傾気味に直立する。	口縁部内外面横ナデ後篋磨き。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	60% P138 覆土下層
10	坏 土師器	A 15.6 B 5.2	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部内外面ナデ後篋磨き、体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	55% P139 覆土下層
11	坏 土師器	A 13.3 B 5.3	丸底。体部は皿状を呈し、口縁部は緩くやや内傾する。体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横位の篋磨き。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 灰白色 良好	100% P141 覆土下層
12	坏 土師器	A 13.5 B 4.8	丸底。体部は皿状を呈し、口縁部はやや外反する。体部との境に稜を有する。	口縁部内面横ナデ後篋磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。内面黒色処理。	砂粒・長石 にぶい黄橙色 普通	60% P142 覆土下層
13	坏 土師器	A [13.8] B (4.9)	丸底。体部は皿状を呈し、口縁部はやや内傾する。体部との境に明瞭な稜を有する。	口縁部内面横ナデ後篋磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ。内面黒色処理。	砂粒 灰白色 普通	30% P143 覆土下層
14	坏 土師器	A [12.0] B (4.1)	丸底。体部は皿状を呈し、口縁部は内傾する。体部との境に明瞭な稜を有する。	口縁部内外面横ナデ後横位の篋磨き。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。内面黒色処理。	砂粒 明褐灰色 普通	30% P144 覆土下層
15	甗 土師器	B (6.3)	口縁部欠損。丸底。体部は球形状を呈し、最大径は中位よりやや下位にもつ。上半部に径1.5cmの円孔が穿たれている。	胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 褐灰色 普通	70% P145 覆土中層

第52号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第307図 1	甗 土師器	A [20.9] B (16.7)	胴部下半欠損。胴上半部から緩く内彎して立ち上がり、口縁部は頸部から「く」の字状に外傾する。口縁部上端で器厚を減じ、口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。口縁部下半部・頸部外面横ナデ。胴部内・外面篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 褐灰色 普通	30% P146 覆土下層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第307図 2	小形甕 土師器	A 10.5 B (10.0)	胴部下半欠損。胴部は球状を呈し、頸部から口縁部にかけて緩く外反する。	口縁部内外面横ナデ、胴部内外面ナデ。頸部に輪積み痕を明瞭に残す。	砂粒・雲母・長石 にぶい橙色 普通	60% P147 覆土 胴部外面煤付着
第308図 3	埴 土師器	A [10.8] B 5.8 C 4.4	上げ底。体部は底部から内彎しながら立ち上がり、口縁部はわずかに内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	50% P148 覆土
4	坏 土師器	A [16.6] B (5.8)	体部は底部から緩やかに内彎しながら立ち上がり、口唇部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面共に丁寧なナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	30% P149 覆土
5	坏(脚付) 土師器	A 15.0 B 6.6 D 4.4 E 1.7	体部はやや内彎しながら大きく開いて立ち上がり、口縁部に至る。脚部は器厚を減じながら外下方へのびる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。脚部内外面横ナデ。	砂粒・雲母・長石・ 石英・パミス にぶい橙色 普通	70% P150 床面

第53号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第308図 1	甕 土師器	A 21.9 B (16.9)	胴部下半欠損。胴部はやや内彎しながら立ち上がり、口縁部は頸部から外反する。胴下半部に円孔が穿たれている。	口縁部内面横位の篋磨き、外面横ナデ。胴部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 良好	90% P153 PL76 カマド内覆土
2	小形甕 土師器	A 13.8 B (13.8)	丸底。胴部は内彎気味に立ち上がり、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	80% P152 カマド内覆土
第309図 3	甕 土師器	A [17.4] B 23.6 C 6.8	胴部は長胴を呈し、底部からやや内彎しながら立ち上がり、口縁部は頸部から外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面丁寧な篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・礫 にぶい橙色 普通	45% P151 カマド内覆土
4	埴 土師器	A [12.6] B (8.0)	底部欠損。体部は大きく内彎しながら口縁部に至る。	口縁部・体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	20% P155 覆土
5	坏 土師器	A [10.0] B 3.6	底部は丸底を呈している。口縁部でやや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・雲母・パミス にぶい橙色 普通	50% P154 PL76 覆土

第54号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第309図 1	甕 土師器	A 15.6 B (16.7)	胴部は中位から緩く内彎して立ち上がる。口縁部はやや外傾して立ち上がり、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	30% P158 覆土下層
第310図 2	甕 土師器	A [15.3] B (25.4)	胴部は下半部から緩く内彎して立ち上がる。口縁部はやや外傾して立ち上がり、上位で強く外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 黒褐色 普通	25% P157 床面
3	甕 土師器	A 17.4 B 29.9 C 6.5	平底。胴部は球形状を呈し、口縁部は頸部から緩く外反し大きく開く。口縁部下位には粘土を二重に貼り付け、口縁部中位に明瞭な稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面篋ナデ。内外共全体的に摩滅が進む。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	85% P156 PL76 床面
4	甕 土師器	A 12.9 B 15.8 C 6.0	平底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は外反して立ち上がり、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面丁寧な篋ナデ。底部篋削り。	砂粒・雲母・長石 灰褐色 普通	65% P159 覆土下層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第310図 5	壺 土師器	A 10.1 B 15.5	丸底。胴部は扁平な球形を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は外傾して開く。	口縁部内面横ナデ、外面ナデ後丁寧な篋磨き。胴部内面ナデ、外面ナデ後丁寧な篋磨き。胴部外面赤彩。	砂粒・長石・パミス 赤褐色 普通	70% P160 貯蔵穴覆土上層
6	壺 土師器	A 9.2 B 14.0 C 5.0	平底。胴部は扁平な球形を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は緩く内彎して開き、胴部上位に孔を穿こうとした痕跡が認められる。	口縁部内外面横ナデ後丁寧な篋磨き。胴部内面丁寧なナデ、外面ナデ後篋磨き。底部篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 良好	98% P161 PL76 カマド内覆土下層
7	坏 土師器	A 15.0 B 6.8	丸底。体部は内彎して立ち上がり、口縁部で大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 明褐色 普通	98% P162 床面
8	坏 土師器	A 13.1 B 5.4	丸底。体部は内彎して立ち上がる。口縁部はわずかに内傾し、口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面丁寧なナデ。	砂粒・雲母・長石 橙色 普通	100% P163 PL76 覆土下層
第311図 9	坏 土師器	A [14.1] B 4.8 C 2.9	平底。体部は器厚を減じながら内彎して開き、口縁部はわずかに内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後一部篋磨き、外面丁寧なナデ。底部篋削り。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	90% P164 覆土
10	坏 土師器	A [16.0] B 5.6 C 3.4	平底。体部は器厚を減じながら、緩く内彎して外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面ナデ。底部ナデ。	砂粒・雲母・長石 橙色 普通	50% P165 貯蔵穴覆土
11	坏 土師器	A 13.8 B 4.9 C 4.5	平底。体部は器厚を減じながら、内彎して外上方に開き、口縁部は垂直に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。底部篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	90% P166 覆土下層

第55号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第312図 1	甕 土師器	A 19.0 B 27.9 C 6.5	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、中位に最大径をもつ。頸部は「く」の字状に屈曲し、口唇部を丸くおさめる。	口縁部から頸部にかけて内外面横ナデ。胴部外面斜位の篋ナデ、内面横位のナデ。	砂粒・雲母 黒褐色 普通	80% P629 PL76 貯蔵穴内覆土
2	甕 土師器	A 18.5 B (27.0)	胴部は内彎しながら立ち上がり、上位に最大径をもつ。頸部は「く」の字状に屈曲し、口唇部を平坦に仕上げる。	口縁部から頸部にかけて内外面横ナデ。胴部外面上位斜位の篋ナデ、下位篋磨き。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒 暗褐色 普通	80% P630 覆土下層
3	甕 土師器	A 15.7 B 24.0 C [7.6]	底部は平底で突出する。胴部は内彎しながら立ち上がり、球形を呈する。口縁部はやや外傾した後、外反して開く。	口縁部から頸部にかけて内外面横ナデ。胴部外面斜位の篋ナデ後一部篋磨き、内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 明褐色 普通	45% P631 覆土
4	甕 土師器	B (20.4) C 7.2	底部は平底で突出する。胴部は内彎しながら立ち上がり、球形を呈する。	胴部外面斜位の篋ナデ後一部篋磨き、内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 にぶい赤褐色 普通	30% P632 床面
5	壺 土師器	A [14.8] B (7.6)	胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 褐色 普通	10% P633 覆土
6	坏 土師器	A [13.8] B 4.4	底部は丸底気味で皿状を呈する。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	40% P634 床面

第56号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第313図 1	甕 土師器	A 17.5	平底。胴部は球状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、上位で外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・バミス 黄橙色 普通	90% P167 覆土下層
		B 33.9				
		C 7.4				
2	甕 土師器	A 17.9	平底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は緩く外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ後篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 浅黄橙色 普通	95% P168 PL77 覆土 胴部外面煤付着
		B 26.5				
		C 7.8				
3	甕 土師器	B (19.0)	平底。胴部は内彎して球形状を呈する。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	50% P169 貯蔵穴覆土上層
		C 8.4				
4	甕 土師器	A [12.3]	底部はやや丸底状を呈する。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して開く。器形に歪みをもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	90% P170 床面
		B 15.5				
		C 5.0				
5	小形甕 土師器	A 12.7	平底。胴部は底部から内彎して立ち上がり、口縁部は外傾しながら開く。最大径は胴部中位にもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面丁寧なナデ、一部篋磨き。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	100% P171 カマド内覆土下層
		B 16.6				
		C 3.8				
6	甗 土師器	A 18.2	胴部は内彎して立ち上がり、口縁部は直立する。底部には孔径 2.7	口唇部内外面指頭による圧痕を有する。胴部内外面ナデ後一部篋磨き。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	100% P173 PL77 カマド内覆土下層
		B 19.4				
		孔径 2.7				
第314図 7	甗 土師器	A 23.4	無底式の甗。胴部は外傾して立ち上がり、口縁部に至る。孔径 9.3	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	60% P172 カマド内覆土下層
		B 20.0				
		孔径 9.3				
8	高坏 土師器	A 21.5	坏部は下位に稜を有し、外傾して立ち上がる。口縁部は外反して開く。脚部はラップ状を呈し、裾部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	90% P174 PL77 カマド内覆土
		B 18.6				
		D 16.8				
		E 11.5				
9	高坏 土師器	A 20.3	坏部は下位に稜を有し、外傾して立ち上がる。口縁部は外反して開く。脚部はラップ状を呈し、裾部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア 灰褐色 普通	95% P175 覆土下層
		B 17.5				
		D 16.2				
		E 10.6				
10	高坏 土師器	A 20.0	坏部は下位に稜を有し、外傾して立ち上がる。口縁部は外反して開く。脚部はラップ状を呈し、裾部で大きく開く。	口縁部・裾部横ナデ。坏部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・スコリア 褐色 普通	95% P176 貯蔵穴覆土上層
		B 16.4				
		D 14.3				
		E 9.8				
11	壺 土師器	A 10.4	丸底。胴部は扁平な球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は外傾して開き、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面丁寧なナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	98% P182 PL77 覆土
		B 15.9				
12	高坏 土師器	A 18.8	坏部は下位に稜を有し、外傾して立ち上がる。口縁部は外反して開く。脚部はラップ状を呈し、裾部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面丁寧な篋ナデ。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	70% P178 カマド内覆土下層
		B 17.5				
		D 14.2				
		E 10.5				
第315図 13	高坏 土師器	A 15.9	坏部は下位に稜を有し、器厚を減じながら、外傾して開く。脚部は円筒状を呈し、裾部は大きく外反して開く。	口縁部・裾部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部外面縦位の篋磨き、内面篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 灰白色 普通	80% P179 PL77 床面
		B 13.4				
		D 12.3				
		E 8.1				
14	高坏 土師器	A 20.0	脚部欠損。坏部は下位に弱い稜を有し、外傾して立ち上がる。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石・バミス 橙色 普通	50% P180 カマド内覆土下層
		B (7.3)				
15	高坏 土師器	A 16.7	坏部は下位に弱い稜を有し、外傾して立ち上がる。口縁部は緩く外反する。脚部は円筒状を呈し、裾部は横に開く。端部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・雲母・スコリア 浅黄橙色 普通	100% P181 床面
		B 13.0				
		D 13.4				
		E 7.8				

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第315図 16	高 坏 土 師 器	A 20.6	坏部は下位に稜を有し、外傾して立ち上がる。口縁部は緩く外反する。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい褐色 普通	70% P177 貯蔵穴覆土上層
		B 17.6				
		D 14.8				
		E 10.4				
17	坩 土 師 器	A 10.7	上げ底。体部は内彎しながら立ち上がり、頸部から口縁部にかけて外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	99% P186 覆土
		B 7.3				
		C 3.8				
18	坩 土 師 器	A 12.5	丸底。体部は器厚を減じながら、大きく内彎して立ち上がり、口縁部は内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・パミス 暗赤褐色 普通	80% P187 床面
		B 6.4				
19	坏 土 師 器	A 13.3	底部欠損。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がり、口縁部は内彎しながら垂直気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・雲母・長石 淡橙色 普通	60% P184 覆土
		B (6.5)				
20	坏 土 師 器	A 11.8	丸底。体部は内彎して外上方に開き、上位で強く内彎して口唇部に至る。	口縁部外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・礫・パミス 浅黄橙色 普通	80% P185 貯蔵穴覆土上層
		B 5.8				
21	坏 土 師 器	A 16.0	体部は、丸底気味の底部から内彎して外上方に開き、上位で緩やかに立ち上がる。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。底部篋削り。	砂粒・パミス・礫 にぶい橙色 普通	100% P188 PL77 床面
		B 6.9				
		C 7.0				
22	坏 土 師 器	A 12.2	上げ底。体部は緩く内彎気味に外上方に開き、上位で強く内彎して口唇部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石・パミス・礫 にぶい黄橙色 普通	60% P190 床面
		B 5.4				
		C 2.0				
23	坏 土 師 器	A 13.0	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部に至る。口縁部はやや内彎し、口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	90% P191 覆土下層
		B 5.4				
24	坏 土 師 器	A 13.8	平底。体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外傾気味に立ち上がる。	口縁部・体部内外面ナデ後篋磨き。体部下端篋ナデ。	砂粒・長石・石英 明赤褐色 普通	80% P192 覆土
		B 6.0				
		C 4.3				
25	坏 土 師 器	A 12.8	平底。体部は内彎して外上方に開く。体部上端で強く内傾し、口縁部に至る。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア 灰白色 普通	100% P196 床面
		B 4.9				
		C 4.2				
26	坏 土 師 器	A [13.2]	平底。体部は内彎して立ち上がり、中位から器厚を減じながら、口縁部に至る。口縁部は緩く内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 赤褐色 普通	100% P197 覆土
		B 4.7				
		C [6.1]				
第316図 27	坏 土 師 器	A 16.6	体部は、丸底気味の底部から内彎しながら外上方に開き、口縁部は緩く外反する。	体部内面は中位まで横ナデ後、不定方向の篋磨き。外面篋ナデ。内面黒色処理。	砂粒・雲母・パミス 黒褐色 普通	80% P189 床面
		B 5.5				
		C 4.2				
28	坏 土 師 器	A 13.8	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部に至る。口縁部は垂直に立ちあがり、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒・スコリア・パミス にぶい橙色 普通	100% P193 床面
		B 4.9				
		C 3.8				
29	坏 土 師 器	A 13.3	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は直立気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。底部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 灰白色 普通	100% P194 PL77 覆土下層
		B 4.9				
30	坏 土 師 器	A 13.3	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部に至る。口縁部は緩く内傾し、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内外面指頭による押圧後横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・スコリア・礫 橙色 普通	100% P195 床面
		B 4.9				
		C 4.7				
31	亀 土 師 器	A 9.6	丸底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は頸部から大きく外反する。胴部上半に径1.6cmの円孔が穿たれている。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋磨き。胴部内面ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	70% P198 PL77 覆土中層
		B 10.0				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第316図 32	甗 土師器	A [10.4] B 9.3 C 2.9	平底。胴部は球形を呈し、中位で張る。口縁部は頸部から外傾し、上位で外反する。胴部上位に径1.3cmの円孔が穿たれている。	口縁部内面ナデ後篋磨き、外面縦位の篋削り。胴部内面ナデ、外面上半部ナデ後篋磨き、下半部篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P199 PL77 覆土下層
33	鉢 土師器	A 24.2 B 15.5 C 6.7	平底。胴部は緩く内彎して立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	100% P200 覆土

第60号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第317図 1	甗 土師器	A 20.9 B (15.6)	胴下半欠損。胴部は長胴を呈し、口縁部は外反する。最大径は口縁部端部にもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	50% P201 床面
2	甗 土師器	A 16.8 B (14.0)	胴下半欠損。胴部は上半部から緩く内彎しながら頸部に至る。口縁部は頸部から外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	35% P202 床面
3	高坏 土師器	B (6.6)	坏部は下位に稜をもち、外上方に立ち上がる。脚部は器厚を減じながら、外下方に開く。	坏部内外面ナデ。脚部外面ナデ後縦位の篋磨き、内面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	30% P203 覆土中層
4	高坏 土師器	B (4.5)	坏部欠損。脚部は器厚を減じながら、外下方に大きく開く。	脚部外面ナデ後篋磨き、内面丁寧なナデ。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	25% P204 覆土中層
5	坏 土師器	A [14.0] B (3.2)	体部は浅い皿状を呈し、口縁部との境に稜をなす。口縁部は垂直に立ち上がる。	体部内面・口縁部内外面横ナデ。体部外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	5% P205 覆土

第62号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第318図 1	甗 土師器	A 16.5 B 27.9 C 6.9	平底。胴部は緩く内彎気味に立ち上がり、最大径は中位よりやや上にもつ。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋ナデ。全体に剝離が進む。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	60% P206 下層
2	甗 土師器	A 19.7 B (23.6)	底部欠損。胴部は球形を呈する。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・雲母 浅黄橙色 普通	50% P207 PL76 床面
3	甗 土師器	A 24.8 B (25.1)	胴部下半欠損。胴上半部は緩く内彎し、口縁部は外反する。	口縁部外面横ナデ。胴部外面篋ナデ。内面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	35% P208 覆土
第319図 4	甗 土師器	B (22.5) C 7.4	胴部上半部欠損。底部は突出する。胴部は球形を呈する。	内面ナデ。外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・礫・パミス 赤色 普通	60% P209 覆土
5	甗 土師器	A [16.1] B (19.9)	底部欠損。胴部は球形を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は外反し、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。外面は剝離著しい。	砂粒・礫 赤黒色 普通	25% P210 覆土下層
6	甗 土師器	B (11.4) C 6.6	口縁部欠損。平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、中位で強く張る。	胴部内外面丁寧な篋ナデ。外面一部剝離が進む。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	50% P215 床面
7	甗 土師器	A 25.3 B 24.6 孔径 9.0	無底式の甗。胴部は内傾して立ち上がり、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後一部に篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 灰白色 普通	95% P211 PL76 覆土

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第319図 8	甗 土師器	A 22.7	無底式の甗。胴部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 浅黄褐色 不良	95% P212 床面
		B 26.8 孔径 9.3				
9	甗 土師器	A 25.6	無底式の甗。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後一部篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい赤褐色 普通	60% P213 床面
		B 24.7 孔径 7.1				
第320図 10	甗 土師器	A 16.6	単孔式の甗。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は短く外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。外面は剝離が進む。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	98% P214 床面
		B 13.0 C 5.4 孔径 2.7				
11	坏 土師器	A 14.2	歪みのある肥厚な坏。平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。底部篋削り。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	80% P216 床面 体部外面に焼きひびが入る。
		B 6.5 C 4.8				

第63号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第320図 1	高坏 土師器	E (4.7)	坏部・脚裾部欠損。脚部は「ハ」の字状に開く。	外面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	15% P217 流れ込み

第64号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第321図 1	壺 土師器	A [17.7]	胴部下半欠損。胴部は緩く内彎し、頸部から口縁部にかけて外傾して開く。	口縁部外面横ナデ、内面篋ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	30% P218 覆土 胴部外面に一部煤付着
		B (19.9)				
2	小形壺 土師器	A 13.2	平底。胴部は、肥厚な底部から器厚を減しながら、内彎して立ち上がる。口縁部は外反して開く。頸部下端には、横ナデ整形による稜が見られる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面ナデ。胴部外面剝離が著しい。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	70% P219 PL76 床面
		B 13.6 C [4.3]				
3	壺 土師器	B (6.0)	平底。底部は肥厚であり、胴部下半は引き締まる。	内面篋ナデ、外面ナデ。底部及び胴部下半部に木葉痕。	砂粒・雲母・パミス 灰黄褐色 普通	10% P220 覆土中層
		C 7.2				
4	壺 土師器	B (10.3)	平底。胴部は強く内彎して立ち上がり、最大径を中位にもつ。口縁部は頸部から外傾して開く。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	60% P221 PL76 覆土中層
		C 6.4				
5	高坏 土師器	A [18.6]	坏部は内彎して外上方へ開き、口縁部で大きく外反する。脚部はラッパ状に開き、裾部で大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ、外面篋削り後一部篋磨き。胴部内面篋削り、外面篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・雲母・長石 浅黄褐色 普通	70% P222 床面
		B (12.6) D 13.4 E 7.4				
6	高坏 土師器	B (8.0)	坏部欠損。脚部は円柱状を呈し、下半部で屈曲し、外反しながら大きく開く。	脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	30% P223 覆土中層
		D [14.6] E 7.2				
7	坑 土師器	A [14.6]	平底。体部は内彎して外上方に開き、口縁部は緩く外傾する。	口縁部外面横ナデ、内面ナデ後篋磨き。体部外面ナデ、内面の剝離が進む。	砂粒・長石・礫 灰褐色 普通	70% P224 覆土
		B 6.9 C 5.0				
8	坑 土師器	A [16.0]	体部は内彎気味に立ち上がる。頸部で強く内彎し、口縁部は直立する。体部と頸部の境に稜をもつ。	口縁部から頸部にかけて横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	20% P225 覆土中層
		B (9.1)				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第321図 9	坏 土師器	A 14.6 B 4.5	浅い丸底を呈し、緩く内彎して外上方に立ち上がる。体部と口縁部の境には稜をなし、口縁部は直立する。	内面及び口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・雲母・パミス にぶい橙色 普通	98% P226 PL76 覆土上層
10	坏 土師器	A 12.8 B 4.2	浅い丸底を呈し、緩く内彎して外上方に立ち上がる。体部と口縁部の境には稜をなし、口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ後篋磨き。体部内面ナデ後一部篋磨き。体部外面篋削り。	砂粒・雲母・長石 にぶい橙色 普通	98% P227 PL76 床面
第322図 11	坏 土師器	A [13.9] B 5.0 C 5.0	上げ底。体部は器厚を減じながら、外上方に開き、口縁部はやや内彎する。口唇部は丸くおさめる。	内面ナデ後放射状の篋磨き。外面丁寧なナデ、体部下端は一部篋削り。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	60% P228 床面
12	甕 須恵器	A [19.4] B (11.0)	頸部は外傾して立ち上がる。口縁部は外反し、端部は凹面となる。口縁直下に1条の凸線が巡る。肩部は張る。	水挽き整形。口縁部横ナデ。胴部外面平行タタキ。	砂粒・礫 褐灰色 普通	10% P718A PL76 覆土 口縁部内面・肩部外面に自然釉付着
13	甕 須恵器	B (16.2)	丸底。胴部は緩く内彎気味に立ち上がる。	胴部外面平行タタキ。	砂粒・礫 褐灰色 普通	20% P718B 覆土 底部内面に自然釉付着
14	長頸壺 須恵器	A 7.3 B (6.5)	胴部欠損。口頸部は緩く外反して立ち上がり口縁部に至る。口縁端部には一条の沈線を巡らす。	巻き上げ、水挽き整形。内面に輪積み痕が残る。	砂粒・礫 褐灰色 普通	20% P229 覆土中層

第67号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第328図 1	甕 土師器	A 16.3 B 19.8 C 6.9	平底。胴部はやや長胴を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	80% P231 PL76 覆土 胴部外面煤付着
2	甕 土師器	A 16.5 B 21.4	丸底。胴部は球形形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は頸部からほぼ垂直に立ち上がり、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	90% P232 貯蔵穴 胴部外面煤付着
3	埴 土師器	A 13.2 B 8.3 C 5.0	平底。体部は緩く内彎しながら開き、上位で強く内傾する。口縁部は頸部から外反気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面丁寧な篋ナデ。底部篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 にぶい橙色 普通	80% P233 覆土
4	埴 土師器	A 13.8 B 7.8 C 5.8	歪みのある平底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	80% P234 覆土
5	埴 土師器	A [15.0] B (7.0)	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・雲母・パミス にぶい橙色 普通	40% P235 覆土
6	埴 土師器	A 12.1 B 6.6 C 4.0	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は緩く外反する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ後一部篋磨き。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	80% P236 床面
7	坏 土師器	A 13.6 B 5.5 C 4.2	平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は強く外傾する。	口縁部外面横ナデ。口縁部・体部内面ナデ後篋磨き。体部外面ナデ。	砂粒・雲母・長石 明赤褐色 普通	100% P237 PL76 床面
8	坏 土師器	A 15.3 B 6.0 C 5.2	平底。体部は器厚を減ずるとともに緩く内彎しながら立ち上がる。口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	90% P238 床面
9	坏 土師器	A [15.2] B 5.2 C 4.2	平底。体部は器厚を減ずるとともに緩く内彎しながら立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。底部から体部にかけて、篋状工具による沈線が十文字に施される。	砂粒・長石・パミス 浅黄褐色 普通	60% P239 床面

第70号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第329図 1	甕 土師器	A 18.4 B (20.2)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は外傾しながら立ち上がり、上位で開く。	口縁部内面ナデ、外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア 灰褐色 普通	40% P240 床面 胴部外面煤付着
2	甕 土師器	A 16.6 B (21.8)	胴部下半欠損。胴部はやや長胴を呈し、口縁部は直立し、上位で外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒 褐色 普通	40% P241 PL78 床面 胴部外面煤付着
3	甕 土師器	A [15.2] B (7.0)	口縁部は頸部から外反する。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	10% P242A 覆土
4	甕 土師器	B (12.0) C 4.6	平底。胴部は球形状を呈し、底部から器厚を減じながら立ち上がる。最大径は、中位にもつと思われる。	胴部内外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	20% P242B P242Aと同一個体と思われる。
5	甕 土師器	A 18.4 B (5.4)	口縁部は頸部から外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	15% P243 床面
第330図 6	甕 土師器	A [16.0] B (19.7)	底部欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は頸部から強く屈曲し、内彎気味に立ち上がって開く。	口縁部・胴部内面ナデ。口縁部外面横ナデ。胴部外面ナデ。	砂粒・長石・バミス にぶい褐色 普通	20% P244 床面
7	甕 土師器	B (15.3) C 5.2	胴部上半・口縁部欠損。上げ底。胴部は外上方に開き、中位で内彎する。胴下半部は引き締まる。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	40% P245 床面
8	甕 土師器	B (12.1) C 7.3	上げ底。胴部は底部から緩く内彎しながら外上方に立ち上がる。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・スコリア・礫 橙色 普通	20% P246 覆土下層
9	小形甕 土師器	A 12.5 B (12.7)	底部欠損。胴部は緩く内彎し、最大径をやや上位にもつ。口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・バミス 橙色 普通	40% P247 床面
10	甕 土師器	A [13.2] B (4.6)	口縁部片。頸部から外反する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部外面横ナデ、外面剥離が著しく整形不明。	砂粒・礫 赤色 不良	10% P248 床面
11	小形甕 土師器	A [12.4] B (8.7)	底部欠損。胴部はよく張った球形状を呈し、口縁部は大きく外反する。	胴部内外面ナデ。口縁部外面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母・バミス にぶい赤褐色 普通	20% P249 床面
12	小形壺 土師器	B (16.6) C 6.4	口縁部欠損。上げ底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	80% P250 PL78 床面
第331図 13	小形壺 土師器	B (8.6)	胴部は中位で強く張り、頸部にかけて緩く内彎する。	胴部内外面ナデ。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	30% P251 床面
14	甗 土師器	A 25.3 B 25.3 C 9.5	平底。胴部は内彎して立ち上がり、口縁部は直立する。胴部中位に角状の把手を有する。底部に6孔穿たれている。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後一部篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・白色針状物質 橙色 普通	70% P252 PL78 床面
15	甗 土師器	A [22.2] B (16.5)	胴部は緩く内彎しながら開き、口縁部に至る。口縁部は直立する。	口縁部横ナデ。胴部内面丁寧なナデ。外面篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 明赤褐色 普通	20% P253 覆土下層
16	甗 土師器	B (1.9)	底部片。5孔式の甗である。	内外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	5% P254 床面
17	甗 土師器	B (15.5) C 6.9 孔径 5.2	胴部上半欠損。胴部は緩く内彎して立ち上がる。胴部中位と思われる位置に把手が付く。	胴部内面ナデ、剥離が進む。外面篋ナデ。把手は、胴部に穿孔した後、ソケット状の先端を嵌め込み、粘土を指頭によって押圧。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	30% P319 覆土下層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第332図 18	高坏土師器	A 22.3	脚部は円筒状で、裾部は大きく開く。坏部は下位に稜をもち、外傾しながら開き、口縁部で外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後縦磨き。脚部外面縦磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・パミスにぶい橙色 普通	90% P255 PL78 床面
		B 14.7				
		D 15.1				
		E 8.6				
19	高坏土師器	A 17.3	坏部は下位に稜をもち、外反ぎみに開く。脚部は中実の円柱状を呈し、裾部は大きく開く。	坏部内外面丁寧な篋ナデ。口縁部外面横ナデ。脚部外面丁寧な篋ナデ、内面篋削り。裾部内外面横ナデ。	砂粒・パミス 明赤褐色 普通	85% P256 PL78 覆土下層
		B 16.4				
		D 14.9				
		E 10.3				
20	高坏土師器	A 19.6	脚部欠損。坏部は下位に稜をもち、外傾しながら立ち上がり、口縁部で更に大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。内外面ナデ後縦磨き。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	50% P257 床面
		B (6.5)				
21	高坏土師器	A 19.3	脚部欠損。坏部は下位に稜をもち、外傾して開く。口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。内外面ナデ後縦磨き。	砂粒・長石・パミス 黄褐色 普通	40% P258 床面
		B (7.8)				
22	高坏土師器	A 22.0	脚部欠損。坏部は下位に稜をもち、器厚を減じながら外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面横位の篋ナデ後縦位の丁寧な篋ナデ、外面篋ナデ後縦磨き。	砂粒・雲母・長石 にぶい橙色 普通	40% P259 床面
		B (6.6)				
23	高坏土師器	A 17.3	脚部欠損。坏部は下位に稜をもち、器厚を減ずるとともに外傾しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面篋ナデ。脚部(外面)上端篋ナデ。	砂粒・パミス・礫 橙色 普通	50% P260 床面
		B (7.3)				
24	高坏土師器	A [16.1]	脚部欠損。坏部は下位に稜をもち、器厚を減じながら外傾して開く。	内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ後一部縦磨き。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	20% P261 床面
		B (5.9)				
25	高坏土師器	B (8.7)	坏部欠損。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	脚部外面縦磨き。裾部外面丁寧な篋ナデ、端部横ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	40% P262 床面
		D 15.5				
		E 8.5				
26	高坏土師器	B (10.6)	坏部欠損。脚部は円筒状を呈する。裾部は大きく開き、端部で外反する。	脚部外面ナデ後縦位の篋磨き、内面篋削り。裾部内外面横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P263 床面
		D 14.8				
		E 10.1				
27	高坏土師器	D 13.6	坏部欠損。脚部は円筒状を呈し、裾部は大きく開く。	外面丁寧なナデ、内面篋削り。裾部横ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P264 床面
		E (7.9)				
28	高坏土師器	D [16.4]	坏部欠損。脚部は円筒状を呈する。裾部は大きく開き、端部は外反する。	外面ナデ後縦磨き、内面篋ナデ。裾部外面横ナデ。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	30% P265 床面
		E (10.5)				
第333図 29	坩土師器	A 10.1	平底。体部は内彎ぎみに外上方に開き、上位で強く屈曲し口縁部に至る。口縁部は緩く外反して開く。	口縁部ナデ後縦磨き。体部内面ナデ、外面篋ナデ。内面刺離が進む。	砂粒・雲母・長石 橙色 普通	95% P266 PL78 床面
		B 8.7				
		C 3.2				
30	坩土師器	A [10.4]	上げ底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、上位で屈曲する。口縁部は外傾する。	口縁部横ナデ後縦磨き。体部内外面ナデ後縦磨き。底部に篋状工具による十文字の沈線が施される。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	55% P267 床面
		B 7.3				
		C 3.6				
31	坩土師器	B (7.2)	口縁部欠損。上げ底。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がる。	体部内外面ナデ後一部縦磨き、外面下端は篋削り。	砂粒・長石・パミス 赤色 普通	40% P268 床面
		C 2.8				
32	坩土師器	A 15.0	底部欠損。体部は器厚を増しながら緩く内彎して開き、口縁部はやや外傾する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦磨き、外面篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 明赤褐色 普通	20% P270 床面
		B (5.5)				
33	坩土師器	A [14.7]	底部欠損。体部は内彎しながら外上方に開き、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後縦磨き。	砂粒・長石・パミス 灰黄褐色 普通	30% P271 床面
		B (5.3)				
34	坩土師器	A 12.4	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は内傾する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・雲母・長石 橙色 普通	65% P272 床面
		B 7.2				
		C 5.5				

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第333図 35	埴 土 師 器	A [12.0] B 6.7 C 5.0	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや内彎する。体部下端は引き締まる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 橙色 普通	80% P273 床面
36	埴 土 師 器	A [14.6] B 6.8 C 6.2	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は大きく外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ、外面下端篋削り。	砂粒・雲母・パミス 褐灰色 普通	50% P274 床面
37	小形鉢 土 師 器	A 12.0 B 6.5 C 3.2	平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は内彎しながら立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 明赤褐色 普通	90% P276 覆土下層
38	坏 土 師 器	A [12.8] B 6.0 C 4.1	平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部に至る。口縁部は内彎気味に立ち上がる。	口縁部内面横ナデ後篋磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 明赤褐色 普通	55% P269 床面
39	坏 土 師 器	A 12.1 B 5.3	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は内彎気味に開く。	内面篋ナデ。口縁部外面横ナデ。体部外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石 明赤褐色 不良	60% P275 床面
40	坏 土 師 器	A 16.0 B 5.7 C 5.1	平底。体部は器厚を減じながら、外上方に立ち上がり、口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面丁寧なナデ。	砂粒・雲母・礫 明赤褐色 普通	80% P277 覆土下層
41	坏 土 師 器	A [12.7] B 5.1 C 4.4	平底。体部は内彎ぎみに外上方に開いて立ち上がる。口縁部は外傾する。口唇部は尖る。	内外面とも剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・スコリア 橙色 やや不良	70% P278 床面
42	坏 土 師 器	A 12.8 B 4.7 C 4.0	平底。体部は器厚を減じながら、内彎し外上方に立ち上がる。口縁部は外傾する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	80% P279 PL78 床面
43	坏 土 師 器	A 13.0 B 5.1 C 3.0	平底。体部は器厚を減じながら内彎し、外上方に立ち上がる。口縁部は外傾しながら開く。	口縁部内面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。剝離が進む。	砂粒・長石・礫 橙色 やや不良	80% P280 床面
44	坏 土 師 器	A [13.3] B 5.3 C 4.0	平底。体部は器厚を減じながら、外上方に立ち上がり、口縁部は外反する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面篋ナデ。剝離が進む。	砂粒・長石・スコリア 明赤褐色 普通	50% P281 床面
45	埴 土 師 器	A 7.7 B (8.0)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、中位で強く張る。口縁部は外傾しながら開く。	口縁部内面篋ナデ、外面ナデ。体部内面に指頭によるナデ。	砂粒・長石・パミス 浅黄橙色 普通	70% P282 PL78 床面
46	埴 土 師 器	B (6.0) C 3.5	口縁部欠損。上げ底。胴部は球形状を呈し、中位で強く張る。	内面ナデ。外面上半部は丁寧なナデ、中位以下は篋削り。	砂粒・長石 赤褐色 普通	70% P283 床面
47	埴 土 師 器	B (5.1) C 2.0	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈し、中位に最大径をもつ。	内面指頭によるナデ。外面上半部はナデ、中位以下は篋削り。	砂粒・雲母・礫 にぶい黄褐色 普通	70% P284 床面
48	埴 土 師 器	B (4.5)	底部・口縁部欠損。体部は球形状を呈する。	内面指頭によるナデ、外面ナデ。	砂粒・パミス 赤褐色 普通	15% P285 床面
49	埴 土 師 器	B (5.5)	胴部片。胴部は中位で強く張り、内彎して頸部に至る。	内面篋ナデ。外面ナデ後、上半部縦位の篋磨き、中位は横位の篋磨き。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	15% P286 床面
50	坏(脚付) 土 師 器	B (2.2) D 3.7 E 1.9	脚部片。脚部は「ハ」の字状に開く。端部は丸くおさめる。	内面横ナデ。外面横ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	10% P287 床面

第73号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第335図 1	甕 土師器	B (3.4) C 7.6	底部片。平底。肥厚な底部から外上方に立ち上がる。	内面丁寧なナデ、外面篋削り。	砂粒・雲母・長石 にぶい橙色 普通	10% P292 覆土
2	甗 土師器	A [22.8] B (22.0)	胴部はやや内彎しつつ口縁部に至る。口縁部は軽く外反しながら開く。口縁部と胴部の境に横ナデ整形による稜を有する。	口縁部内面横ナデ後、横位の篋磨き、外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・スコリア・礫 橙色 良好	30% P291 覆土

第74号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第336図 1	坏 土師器	A [14.0] B 4.1 C [3.7]	上げ底。体部は緩く内彎しながら外上方に開く。口縁部はほぼ直立する。	内面口唇部から体部中位まで横ナデ後篋磨き。外面口縁部横ナデ、体部篋ナデ。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	20% P294 覆土
2	坏 土師器	A [16.2] B (3.1)	底部欠損。体部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がる。	内面ナデ。外面剝離が進み、整形不明。	砂粒・長石・バミス 橙色 普通	10% P295 覆土
3	坏(脚付) 土師器	A [22.4] B (4.9)	脚部欠損。坏部は皿状を呈し、器厚を減じながら、外上方に立ち上がる。口縁部は緩く内彎し、口唇部は丸くおさめる。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後篋磨き。坏部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	40% P293 覆土

第76号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第336図 1	甕 土師器	B (26.8) C 8.6	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。	内面ナデ、外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・礫 浅黄色 普通	50% P296 床面
2	埴 土師器	A [12.4] B (6.2)	底部欠損。体部は内彎しながら外上方に開き、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・スコリア にぶい橙色 普通	20% P297 覆土下層

第77号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第336図 1	坏 土師器	A [14.9] B (4.7)	底部欠損。体部は内彎しながら開き、口縁部は外傾する。	内面丁寧なナデ、外面ナデ後部分的に篋磨き。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	20% P298 覆土
2	坏 土師器	A [12.8] B (4.1)	底部欠損。体部は内彎しながら開き、口縁部は直立する。	内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。口縁部外面横ナデ。	砂粒・長石・礫 灰白色 普通	20% P299 覆土
3	坏 土師器	B (4.8) C 5.2	口縁部欠損。平底。体部は内彎しながら上方に立ち上がる。	内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・雲母・スコリア 灰褐色 普通	20% P300 覆土

第78号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第337図 1	甕 土師器	A 18.5 B (19.0)	胴部下半欠損。胴部はやや長胴を呈し、口縁部は「く」の字状を呈する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 暗褐色 普通	30% P 301 床面
2	甕 土師器	A 18.2 B (20.8)	胴部下半欠損。胴部は内彎して球形状を呈し、口縁部は「く」の字状を呈する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 暗褐色 普通	40% P 302 床面
3	甕 土師器	A 17.1 B (9.3)	胴部中位以下欠損。口縁部は頸部から強く外反して開く。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。頸部から胴部上半部ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石・スコリア 明赤褐色 普通	15% P 303 床面
4	甕 土師器	A 24.7 B (7.1)	口縁部片。口縁部は頸部から強く外傾して開く。中位に段を有する。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	10% P 304 床面
5	小形甕 土師器	B (15.0) C 5.8	口縁部欠損。平底。胴部は緩く内彎しながら外上方に開き、上半部で強く内彎して頸部に至る。	胴部内外面篋ナデ。外面全体的に摩滅が進む。	砂粒・雲母・礫 暗赤褐色 普通	40% P 306 床面 外面煤付着
6	壺 土師器	A 9.4 B 14.5	丸底。胴部は球形状を呈し、中位で強く張る。口縁部は外傾して開く。	口縁部ナデ後内面横位の篋磨き、外面縦位の篋磨き。胴部内面丁寧なナデ、外面ナデ後磨き。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	90% P 308 PL79 覆土下層
7	鉢 土師器	A 24.1 B 8.3 C 7.7	上げ底。胴部はやや内彎しながら外上方に開く。	内面篋削り。外面は、剝離・摩滅が進み、整形不明。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	80% P 305 床面 甕からの転用
第338図 8	壺 土師器	A [13.6] B (21.1)	胴下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は頸部から内彎する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい黄褐色 普通	30% P 307 PL79 床面
9	碗 土師器	A [11.4] B 5.1 C 3.0	上げ底。体部は緩く外上方に開き、口縁部で立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	60% P 310 覆土
10	坏 土師器	A [16.4] B 6.3	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部外面ナデ後磨き。体部内外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	30% P 309 覆土下層
11	坏 土師器	A 14.2 B 5.5	丸底。体部は内彎しながら外上方に開き、上半部で立ち上がる。口縁部は内彎する。	内面ナデ後斜位の篋磨き。外面ナデ後不定方向の篋磨き。	砂粒・雲母・スコリア 明赤褐色 普通	60% P 311 床面
12	坏 土師器	A [14.6] B 5.4	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は直立する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面横位の篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 良好	80% P 312 PL79 床面
13	坏 土師器	A 14.4 B 5.6	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は直立する。口唇部は丸くおさめる。	内面は口縁部から体部上半横ナデ後縦位の篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 良好	60% P 313 PL79 貯蔵穴
14	坏 土師器	A [15.1] B 4.6 C 5.8	平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は弱く外傾する。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。底部篋削り。	砂粒・スコリア・パミス 橙色 普通	40% P 314 覆土
15	坏 土師器	A [13.7] B 4.8 C 5.2	平底。体部は緩やかなカーブを描いて外上方に開き、口縁部はやや内彎して立ち上がる。	内面ナデ後磨き。外面ナデ後口縁部・体部上半横位の後、縦位の篋磨き。	砂粒・スコリア・パミス 橙色 普通	60% P 315 PL79 床面
16	坏(脚付) 土師器	B (2.6) D 5.1 E 1.3	坏部欠損。脚部は「ハ」の字状に開き、端部は尖る。	脚部内外面横ナデ。外面縦位の篋磨き。	砂粒・長石・雲母 灰白色 普通	10% P 316 覆土下層

第79号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第338図 1	甕 土師器	A [21.0] B (5.2)	口縁部片。口縁部は大きく外反しながら開く。口唇部は丸くおさめる。	器表は剝離が進み、整形は不明。	砂粒・礫 黒褐色 普通	5% P317 覆土
2	坏 土師器	A [12.6] B (4.9)	底部欠損。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・スコリア・雲母 赤褐色 普通	10% P318 覆土

第80号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第338図 1	坏 土師器	A [13.4] B (4.0)	底部欠損。体部は、内彎しながら外上方に開き、口縁部は大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・パミス にぶい黄褐色 普通	5% P289 覆土
2	高台付埴 須恵器	A 13.7 B 6.7 D 8.8 E 2.5	体部は、丸底気味の底部から緩く内彎しながら立ち上がり、体部上位で外傾する。脚部は「ハ」の字状に開き、端部で外反する。	水挽き整形。脚部は体部整形後貼り付け。	砂粒・スコリア (内面)灰白色 (外面)白色 焼成不十分。	95% P288 PL77 床面

第81号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第339図 1	甕 土師器	A 18.0 B (19.5)	胴部下半欠損。胴部は緩く内彎する。口縁部は肥厚で、頸部から外反気味に立ち上がり、上半部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後斜位の篋磨き。	砂粒・雲母・パミス 明赤褐色 普通	40% P290 PL77 覆土

第82号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第339図 1	甕 土師器	A 18.9 B (18.9)	胴部下半欠損。胴部はやや長胴を呈し、口縁部は外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ、外面下半は篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	60% P321 覆土
2	甕 土師器	A 14.7 B (10.5)	胴部下半欠損。胴部は緩く内彎して頸部に至る。口縁部は頸部から強く外反し、上半部で器厚を減じる。	胴部内面篋ナデ。他は、全体的に剝離が進み、整形不明。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 やや不良	40% P322 覆土
3	甕 土師器	B (5.3) C 7.8	平底。胴部は緩く内彎しながら立ち上がる。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	10% P323 カマド内覆土下層
第340図 4	甗 土師器	A [21.5] B (24.5)	胴下端部欠損。胴部は緩やかなカーブを描いて立ち上がり、口縁部は頸部から大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面丁寧なナデ、外面縦位の篋削り。	砂粒・礫多量 にぶい橙色 普通	40% P324 覆土下層
5	甗 土師器	A [23.8] B (19.4)	胴部下半欠損。胴部はやや外傾しながら立ち上がり、口縁部は頸部から外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面縦位の篋削り。	砂粒・長石・スコリア 浅黄褐色 普通	30% P325 覆土下層
6	高坏 土師器	B (5.8) D 9.9 E 4.3	坏部上半欠損。坏部は平底気味の底部から緩く外上方に開く。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内面丁寧なナデ。脚部外面ナデ後篋磨き。裾部内面横ナデ。	砂粒・雲母・パミス 橙色 普通	60% P326 PL77 床面 脚・坏部外面に煤付着

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第340図 7	坏 土師器	A [14.4] B (5.3)	底部欠損。体部は緩く外上方に開き、口縁部で内彎する。口唇部は丸い。	体部外面ナデ。内面は剝離が著しく、整形不明。	砂粒・長石・バミス 浅黄橙色 普通	30% P 327 覆土
8	坏 土師器	A [11.4] B 4.4	丸底。体部は内彎しながら立ち上がる。口縁部は外傾し、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	40% P 328 PL77 覆土
9	坏 土師器	A [13.7] B 5.3	丸底。体部は緩くカーブを描いて外上方に開く。口縁部はやや外傾し、体部と口縁部の間には稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面丁寧なナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・スコリア 明褐色 普通	30% P 329 床面

第83号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第341図 1	甕 土師器	A 18.3 B 22.1 C 7.9	上げ底。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	95% P 330 PL78 床面
2	甕 土師器	A 18.5 B 31.8 C 8.5	平底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位よりやや上にもつ。口縁部は外傾しながら立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・バミス 橙色 普通	70% P 331 PL78 床面
3	甕 土師器	A 18.0 B (21.8)	胴部下欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外傾しながら立ち上がり、上位で外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面斜位の篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	60% P 332 PL78 貯蔵穴内底面
4	甕 土師器	A 16.7 B (19.6)	胴部下欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は頸部から大きく外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面は剝離が進行し整形不明。	砂粒・雲母・スコリア 灰褐色 普通	30% P 333 床面
5	甕 土師器	A 18.5 B (24.9)	底部欠損。胴部は内彎しながら外上方に開き、頸部に至る。口縁部は頸部から「く」の字状に外反する。	胴部内外面ナデ。全体的に器表は摩滅しており、口縁部の整形不明。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	40% P 334 床面 胴部表面煤付着
6	甕 土師器	A [15.8] B (12.3)	胴部下欠損。胴部は内彎して頸部に至り、口縁部は頸部から器厚を減じ、外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。頸部縦位の篋ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石・礫 赤色 やや不良	20% P 335 床面
第342図 7	甕 土師器	A 18.8 B (9.2)	口縁部は大きく外反し、端部で器厚が薄くなる。胴部は外下方に開く。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・礫・バミス 暗赤褐色 普通	10% P 336 貯蔵穴内底面
8	甕 土師器	B (20.2) C 6.9	口縁部・胴部上半欠損。上げ底。胴部は内彎し外上方に立ち上がる。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	20% P 337 床面
9	甕 土師器	B (18.5) C 8.0	口縁部・胴部上半欠損。平底。胴部は内彎しながら外上方に開く。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・礫・バミス 橙色 普通	20% P 338 床面 胴部表面の一部に煤付着
10	鉢 土師器	A 18.8 B 9.7 C 6.2	平底。胴部は内彎しながら外上方に開く。口縁部は緩く内彎しながら立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	80% P 340 PL78 床面
11	高坏 土師器	A 24.8 B 16.7 D [10.1] E 6.5	坏部は下位に稜をもち、直線的に開き、上位で緩く外反する。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部内外面横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	60% P 341 PL78 床面
12	高坏 土師器	A 15.0 B 11.1 D 10.3 E 5.6	坏部は半球状を呈し、口縁部は直立する。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内面ナデ後斜位の篋磨き、外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 良好	95% P 342 PL78 床面

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第342図 13	高 坏 土 師 器	A 14.0	坏部は半球状を呈し、口縁部 でやや内傾して立ち上がる。 脚部はラッパ状を呈し、裾部 で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏 部内外面ナデ後篋磨き。 脚部内面篋ナデ、外面ナ デ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 赤色 良好	80% P343 貯蔵穴内底面
		B 9.8				
		D 9.1				
		E 4.0				
14	高 坏 土 師 器	A 14.6	坏部は半球状を呈し、口縁部 は直立する。脚部はラッパ状 を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内外面丁寧なナデ。 脚部内面ナデ、外面ナデ 後縦位の篋磨き。裾部横 ナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 良好	90% P344 床面
		B 11.3				
		D [10.6]				
		E 5.5				
15	高 坏 土 師 器	A 13.4	坏部は半球状を呈し、器厚を 減じながら、内彎して立ち上 がる。口縁部は直立する。脚 部はラッパ状を呈し、裾部で 大きく開く。	坏部内面ナデ、外面篋削 り。脚部内面篋ナデ、外 面ナデ後篋磨き。裾部横 ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	70% P345 ピット内
		B 10.0				
		D 10.0				
		E 4.8				
第343図 16	高 坏 土 師 器	A 14.2	坏部は半球状を呈し、口縁部 は直立する。脚部はラッパ状 に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内 面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。 脚部外面篋磨き。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	80% P346 ピット内
		B (11.2)				
		E (5.5)				
17	高 坏 土 師 器	A 13.9	坏部は半球状を呈し、口唇部 は丸くおさめる。脚部は外下 方に開く。	口縁部外面横ナデ。坏部 内外面篋磨き。坏部外面 下端篋削り。脚部外面篋 ナデ。坏部内面黒色処理。	砂粒・長石・雲母 赤色 普通	70% P347 床面
		B (8.2)				
		E (2.8)				
18	高 坏 土 師 器	A 11.6	坏部は半球状を呈し、器厚を 減じながら、内彎して立ち上 がり。口縁部は直立する。脚 部はラッパ状を呈し、裾部で 大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏 部内面ナデ後篋磨き、外 面丁寧なナデ。脚部外面 ナデ後篋磨き。裾部横ナ デ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 良好	70% P348 床面
		B 9.0				
		D 8.8				
		E 4.6				
19	高 坏 土 師 器	A [15.4]	脚部欠損。坏部は半球状を呈 し、器厚を減じながら、外上 方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏 部内外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 暗赤褐色 普通	65% P349 貯蔵穴内底面 二次焼成で内面に煤付 着
		B (6.0)				
20	高 坏 土 師 器	A 14.2	脚部欠損。坏部は半球状を呈し、 器厚を減じながら、外上方に開く。 口縁部はやや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。坏 部内外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	60% P350 貯蔵穴内底面
		B (6.0)				
21	高 坏 土 師 器	A 14.1	脚部欠損。坏部は半球状を呈し、 外上方に立ち上がり、口縁部は内 彎する。坏底部に脚部を嵌め込ん だと思える窪みが見られる。	口縁部外面横ナデ。坏部 内外面ナデ。	砂粒・長石 褐色 普通	65% P351 貯蔵穴内底面 内外面共二次焼成
		B (6.3)				
22	高 坏 土 師 器	D [13.6]	坏部欠損。脚部はラッパ状に 大きく開く。	内面篋ナデ、外面ナデ後縦位 の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	20% P352 覆土
		E (7.5)				
23	高 坏 土 師 器	B (5.6)	坏部欠損。脚部はラッパ状に 大きく開く。	内面篋ナデ、外面ナデ後 縦位の篋磨き。裾部横ナ デ。	砂粒・長石・雲母 赤色 普通	20% P353 貯蔵穴内底面
		D 10.3				
24	高 坏 土 師 器	A [15.6]	脚部欠損。坏部は緩く内彎し て立ち上がり、口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。体 部内面丁寧なナデ、外面 ナデ。下端は篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	30% P394 ピット内
		B (5.3)				
25	坩 土 師 器	A 10.4	平底。体部は球形状を呈し、 中位で張る。口縁部は直立す る。	口縁部内外面横ナデ。体 部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 やや不良	90% P354 貯蔵穴内底面
		B 9.5				
		C 4.5				
26	坩 土 師 器	A [8.1]	平底。体部は内彎して立ち上 がり、上端で直立する。口縁 部はやや外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体 部内面丁寧なナデ、外面 ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	80% P355 覆土
		B 9.0				
		C 5.2				
27	坩 土 師 器	A 14.6	平底。体部は器厚を減じなが ら、強く内彎して立ち上がる。 口縁部は垂直に立ち上がり、 端部で外反する。	口頸部内外面横ナデ。体 部内外面ナデ後不定方向 の篋磨き。	砂粒・スコリア・ 雲母 明赤褐色 良好	95% P356 PL78 床面
		B 9.9				
		C 4.2				

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第343図 2 8	埴 土 師 器	A [12.2] B 7.1 C 5.5	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部は直立し、口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	70% P358 覆土
2 9	坏 土 師 器	A 14.1 B 6.3	丸底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、上位で強く張る。口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面・体部上半部内面横ナデ。体部内面ナデ。外面篋ナデ。	砂粒・スコリア 橙色 普通	80% P357 床面
3 0	坏 土 師 器	A 15.8 B 6.9 C 5.0	平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部はやや内彎する。	口縁部から体部上位内外面横ナデ。体部内面縦位の篋磨き、外面丁寧な篋磨き。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 良好	100% P359 PL78 貯蔵穴内底面
3 1	坏 土 師 器	A 15.3 B 6.4 C 4.2	平底。体部は緩やかなカーブを描いて立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部内外面・体部上半部内面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒・雲母・礫 浅黄褐色 普通	80% P360 PL78 貯蔵穴内底面
第344図 3 2	坏 土 師 器	A 13.8 B 6.6 C 4.2	平底。体部は緩やかなカーブを描いて立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・雲母・礫 橙色 普通	95% P361 ピット内底部
3 3	坏 土 師 器	A [12.0] B 5.2 C 4.8	平底。体部は器厚を減ずるとともに内彎しながら開き、上位で直立する。口縁部はやや内彎する。	口縁部内外面・体部上半部内面横ナデ。体部内外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P362 床面
3 4	坏 土 師 器	A 12.0 B 5.2 C 4.2	平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面横位の篋磨き。体部下端篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	65% P363 覆土
3 5	坏(脚付) 土 師 器	A 16.0 B 6.4 D 4.3 E 1.2	坏部は緩やかなカーブを描いて、外上方に立ち上がる。脚部は「ハ」の字状に開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。脚部内外面横ナデ。	砂粒・長石・雲母 赤色 普通	90% P364 PL78 貯蔵穴内底面

第85号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第344図 1	甕 土 師 器	A [13.4] B (6.0)	口縁部は、頸部から緩く外反して上位で大きく開く。	口頸部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	5% P339 覆土
2	坏 土 師 器	A [16.5] B (4.1)	底部欠損。体部はやや内彎気味に外上方に開き、口縁部に至る。	口縁部横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい黄褐色 普通	5% P365 覆土
3	坏 土 師 器	A [13.2] B (2.5)	口縁部片。口縁部は外傾しながら立ち上がる。	口縁部内外面・体部内面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 褐灰色 普通	5% P366 覆土

第86号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第345図 1	甕 土 師 器	A 19.5 B (23.7)	胴部下半欠損。胴部は緩く内彎し、口縁部は大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 普通	60% P367 カマド内火床部
2	甕 土 師 器	A 20.4 B (14.8)	胴部下半欠損。胴部は緩く内彎して頸部に至る。口縁部は大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ、外面一部篋磨き。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	30% P368 覆土中層
3	小形甕 土 師 器	A 10.6 B 13.7 C 4.9	平底。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は頸部から外反して開く。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後篋ナデ。胴部内面篋削り、外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 淡赤褐色 普通	100% P369 覆土

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第345図 4	壺 土師器	B (20.0) C 6.2	口縁部欠損。上げ底。胴部は良く張った球形状を呈し、最大径は中位にもつ。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 におい橙色 普通	40% P370 覆土中層
5	甗 土師器	A 24.6 B 25.9 孔径[9.0]	胴部は緩く内彎して立ち上がり、口縁部は頸部から強く外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	55% P371 カマド内中層
6	高坏 土師器	A 14.7 B 10.6 D 11.0 E 5.2	坏部は下位に稜をもち、内彎しながら外上方に立ち上がる。口縁部は直立する。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。脚部内外面篋ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 におい橙色 普通	90% P372 PL77 床面
7	坏(脚付) 土師器	B (3.6) D 5.3 E 2.9	坏部欠損。脚部は円柱状の基部から「ハ」の字状に開く。端部は丸くおさめる。	脚部内面横ナデ、外面縦位の篋磨き。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	20% P373 覆土中層

第87号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第346図 1	甗 土師器	A [16.2] B 26.8 C 8.4	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・礫 におい橙色 普通	50% P374 床面
2	甗 土師器	A 15.6 B (18.7)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、最大径を中位にもつ。口縁部は頸部から外反し、上位で大きく開く。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面横位の篋削り、外面斜位の篋削り。剝離が進む。	砂粒・長石・パミス 浅黄橙色 普通	60% P375 PL79 床面
3	甗 土師器	A [16.8] B 18.5 C 7.8	平底。胴部は肥厚な底部から器厚を減じながら、緩く内彎しながら立ち上がる。口縁部は強く外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 明灰褐色 普通	75% P376 床面
4	甗 土師器	A 15.0 B (18.0)	底部欠損。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は外反しながら大きく開く。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面摩擦しており整形不明。	砂粒・長石・礫 赤褐色 やや不良	70% P377 床面
5	小形甗 土師器	A 16.3 B 14.2 C [5.4]	平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、口縁部は器厚を減じながら外反する。口縁部は歪む。	口頸部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 におい赤褐色 普通	70% P378 PL79 覆土下層
6	小形甗 土師器	A 11.9 B 15.8 C 5.2	平底。胴部は内彎して外上方に開き、口縁部は外傾気味である。	口縁部内外面横ナデ。頸部外面篋ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 におい橙色 普通	100% P379 カマド内火床部
第347図 7	小形甗 土師器	B (10.3) C 6.6	上げ底。胴部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がる。	胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	50% P380 覆土下層
8	坑 土師器	A 14.3 B 7.7	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。体部と口縁部との境に明瞭な稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面横位の篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 におい褐色 普通	70% P381 床面
9	坑 土師器	A [13.0] B 6.1 C [5.6]	体部は、丸底気味の底部から器厚を減じながら、外上方に開く。口縁部は直立し、端部で軽く外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 におい橙色 普通	60% P382 PL79 覆土
10	坏 土師器	A 13.0 B 6.0	丸底。体部は器厚を減じながら、緩く内彎して開く。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 赤褐色 普通	90% P383 覆土

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第347図 1 1	坏 土 師 器	A [17.4] B 4.5 C 7.7	平底。浅い皿状を呈し、体部は緩く内彎気味に外上方に開く。口縁部はほぼ直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面上半横ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・雲母・バミス 暗赤褐色 普通	70% P 384 PL79 覆土下層
1 2	坏 土 師 器	A [14.4] B (2.9)	底部一部欠損。浅い皿状を呈し、体部は外上方に開く。口縁部は外反気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後一部篋磨き、外面ナデ。	砂粒・バミス にぶい橙色 普通	20% P 385 覆土

第88号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第347図 1	坏 土 師 器	A [12.8] B (4.0)	体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部は直立する。体部と口縁部の境に明瞭な稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後、篋磨き、外面丁寧な篋削り。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 普通	20% P 386 覆土
2	高 坏 須 恵 器	D [11.9] E (5.3)	脚部片。基部は細く、下半で大きく外反する。端部は短く内彎する。長方形の透かし孔を3方向に穿ち、透かしの上下に2条の凹線がめぐる。	水挽き整形。裾部は横ナデ調整。	砂粒・細砂 暗青灰色 良好・堅緻	20% P 387 PL79 床面
3	蓋 須 恵 器	B (1.9)	天井部は丸く浅く、外周部で軽く内彎する。	水挽き整形。	砂粒 灰色 良好	10% P 388 覆土

第89号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第348図 1	高 坏 土 師 器	A 17.9 B 7.0	脚部欠損。坏部は下位に稜をもち、外上方に開き、口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ハケ目整形後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・礫・ 白色針状物質 赤色 普通	40% P 389 PL79 床面
2	高 坏 土 師 器	D [13.0] E (6.1)	坏部欠損。脚部は基部から器厚を減しながら、「ハ」の字状に開く。	脚部内面篋削り、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・礫 にぶい赤褐色 普通	20% P 390 床面
3	坑 土 師 器	A [12.3] B (7.2)	底部欠損。体部は内彎しながら外上方に開き、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	20% P 391 覆土
4	坏 土 師 器	A 12.0 B 5.0 C 4.8	平底。体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧な篋ナデ、外面篋ナデ、体部下半は篋削り。	砂粒・長石 褐色 普通	100% P 392 PL79 床面
5	坏 土 師 器	A 11.9 B 3.2 C 3.1	平底。浅い皿状を呈し、体部は内彎気味に外上方に立ち上がる。口縁部は緩く内彎しながら開く。体部下位に径5mmの円孔が2か所穿たれている。	口縁部内面横ナデ。体部内面丁寧なナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ後篋磨き。体部外面ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	60% P 393 覆土下層

第90号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第348図 1	甕 土 師 器	A 21.4 B 31.2 C 7.6	上げ底。長胴を呈し、内彎しながら立ち上がる。最大径は中位より下がる。口縁部は大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面縦位の篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	98% P 395 PL79 床面
2	甕 土 師 器	A 19.2 B 27.5 C [6.7]	平底。やや長胴を呈し、胴部下半は引き締まる。口縁部は外傾し、上位で大きく開く。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面横位のナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	85% P 397 PL79 床面
第349図 3	甕 土 師 器	A 19.0 B 33.1 C 7.0	平底。長胴を呈し、緩く内彎する。口縁部は大きく外反し、胴部との境に横ナデによる稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	90% P 396 床面

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第349図 4	甕 土師器	A 16.4 B (28.5)	底部欠損。長胴を呈し、緩く内彎しながら口縁部に至る。口縁部は大きく外反し、端部は横に開く。	口縁部外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 赤色 普通	70% P398 覆土下層
5	鉢 土師器	A [20.6] B 12.8 C [11.8]	底部は、浅い丸底。胴部は内彎気味に立ち上がり、外上方に直線的に開く。口縁部は外反する。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 良好	50% P399 床面
6	高坏 土師器	B (5.0) D [10.2] E 4.0	脚部片。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部は軽く外反する。	脚部内面篋ナデ、外面篋削り。裾部横ナデ。端部に木葉痕が残る。	砂粒・長石 橙色 普通	20% P400 覆土下層
7	坏 土師器	A 13.8 B (4.5)	底部欠損。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部はやや内傾しながら立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 暗灰黄色 普通	15% P401 覆土
8	坏 土師器	A [12.0] B (4.7)	底部欠損。体部は外上方に開き、口縁部は外反気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	15% P402 覆土
9	坏 土師器	A 15.2 B 4.0	体部は浅い皿状を呈し、緩く内彎する。口縁部は外反気味に立ち上がる。	口縁部・体部上半内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。	砂粒・雲母 淡橙色 普通	50% P403 PL79 床面
10	坏 土師器	A 12.0 B (3.3)	体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ。底部内外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	30% P404 覆土
11	坏 土師器	A 14.0 B 5.1	体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は内傾気味に立ち上がる。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面横ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・雲母・スコリア 灰褐色 普通	100% P405 PL79 覆土下層
12	坏 土師器	A 14.5 B 4.3	体部は緩く内彎しながら外上方に開き口縁部は外反気味に立ち上がる。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。内面黒色処理。	砂粒・雲母 黒褐色 普通	100% P406 PL79 床面
13	坏 須恵器	A 11.4 B 4.6 C 6.6	体部は歪んだ丸底。体部は外上方に開き、端部は尖る。	水挽き整形。回転篋切り後篋ナデ。	砂粒・長石 黄灰色 普通	90% P407 覆土
14	坏 須恵器	B (2.6) C 6.2	体部は歪んだ丸底。体部は外上方に開く。	水挽き整形。回転篋切り後篋ナデ。	砂粒・長石 灰色 普通	20% P408 覆土

第91号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第350図 1	甕 土師器	A 17.3 B 26.4 C 7.4	平底。胴部は内彎しながら外上方に開き、やや長胴を呈する。口縁部は外傾しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	60% P409 PL80 覆土
2	甕 土師器	A [17.3] B 32.6 C 8.9	平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・バミス 赤色 普通	50% P410 覆土 胴部外面煤付着
3	甕 土師器	A 13.4 B (9.2)	胴部は球形状を呈し、口縁部は外反する。	口縁部内面ナデ、外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・バミス 赤色 普通	40% P411A 覆土
4	甕 土師器	B (3.8) C 4.8	平底。胴部は内彎して立ち上がる。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・バミス 赤色 普通	10% P411B P411Aとは同一個体
第351図 5	甗 土師器	A 15.8 B 15.7 C 4.0 孔径 2.9	無底式の甗。胴部は器厚を減じながら、外上方に立ち上がり、口縁部は直立する。胴部下半は引き締まる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・礫・スコリア にぶい橙色 普通	95% P413 PL80 床面

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第351図 6	甗 土師器	A 26.1 B (20.9)	胴部下半欠損。胴部は内彎気味に立ち上がり、口縁部は外傾しながら大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	70% P414 覆土下層
7	鉢 土師器	A [22.0] B (8.6)	底部欠損。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。口縁部は外反して開く。胴部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	30% P412 覆土
8	高坏 土師器	A 13.3 B 12.5 D 11.4 E 5.7	坏部は半球状を呈し、器厚を減じながら、内彎気味に外上方に開く。口縁部は内彎する。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内外面ナデ後篋磨き、内面一部剥離する。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 赤色 普通	80% P415 覆土下層
9	高坏 土師器	A [13.2] B 8.8 D 9.2 E 4.0	坏部は半球形を呈し、外上方に立ち上がる。口縁部は内彎しながら開く。脚部は「ハ」の字状を呈し、裾部で大きく開く。端部は外反する。	口縁部横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。脚部内面篋削り、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 明褐色 普通	60% P416 PL80 覆土
10	高坏 土師器	A 14.6 B (9.1)	脚部下半欠損。坏部は器厚を減じながら、外上方に開き、口縁部に至る。脚部は外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋削り、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	65% P417 覆土中層
11	高坏 土師器	D 8.4 E (3.7)	脚部片。脚部は「ハ」の字状に大きく外反して開く。	脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・礫・パミス 明赤褐色 普通	40% P418 貯蔵穴覆土
12	埴 土師器	B (9.4) C [6.8]	口唇部欠損。底部は肥厚な平底。体部は内彎して立ち上がり、中位で強く張る。口縁部は外傾して開く。	口縁部外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・礫・パミス 灰褐色 普通	35% P419 PL80 床面
13	埴 土師器	A 10.6 B (5.8)	底部欠損。体部は大きく張り、口縁部は外反して開く。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒 にぶい褐色 普通	35% P420 床面
14	坏 土師器	A [18.3] B (4.8)	底部欠損。体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ後篋磨き。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・雲母・スコリア 明赤褐色 普通	15% P421 覆土
15	坏 土師器	A [16.0] B (4.5)	底部欠損。体部は緩く内彎して口縁部に至る。口唇部は丸くおさめる。	体部内面ナデ後篋磨き。体部外面・口唇部摩滅。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	10% P422 覆土下層
第352図 16	甗 須恵器	B (6.9) 孔径 1.3	口頸部欠損。丸底。体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、上位で強く張る。体部最大径は上位に位置し、その位置に円孔が穿ってある。	水挽き整形。体部内面篋削り調整。体部外面・ナデ調整。円孔を挟んで6本1条の波状文が施されており、その上に1条の凸線、その下に1条の細い凹線がめぐる。	砂粒 青灰色 良好	70% P723 PL80 貯蔵穴内覆土 体部外面上半・体部内面の一部に自然釉付着
17	甗 須恵器	A [9.4] B (4.3)	口頸部片。口頸部は外傾しながら立ち上がり、中位で明瞭な稜をなした後、内彎して外上方に開く。端部は内斜する凹面をなす。	水挽き整形。内外面ナデ調整。口頸部中位の段には、外面に断面三角形の鋭い凸線を有し、上下に波状文を施す。	砂粒 青灰色 良好	10% P742 覆土 内面に自然釉付着 P723と同一団体の可能性はある。
18	高坏 須恵器	D [9.0] E (3.8)	脚部片。器厚は厚く、外下方に開き、端部付近に凸線を有する。端部は凹面を呈する。四方に方形の透かしが施されている。	水挽き整形。内面ナデ調整。	砂粒・長石 灰色 良好	5% P740 覆土
19	蓋 須恵器	A [17.0] B (3.3)	口縁部は内彎して下がり、端部で短く外反する。端部内面に明瞭な凹面を有する。天井部との境に稜をなす。	水挽き整形。内外面ナデ調整。	砂粒 褐色 良好	5% P741 覆土

第92号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第352図 1	甕 土師器	A [27.4] B (5.9)	口縁部片。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	5% P639 床面
2	甗 土師器	A [21.4] B 14.4 孔径[8.0]	無底式の甗。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は緩く外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 灰黄褐色 普通	30% P637 覆土上層
3	甗 土師器	A [28.8] B (14.1)	胴部は外傾しながら口縁部に至り、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・ 白色針状物質 にぶい赤褐色 普通	20% P638 床面
4	高 坏 土師器	A [23.2] B (6.2)	坏部片。坏部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 橙色 普通	10% P640 流れ込み

第94号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第353図 1	甕 土師器	A [15.2] B (4.6)	口縁部片。口縁部は頸部からほぼ直立し、上位で大きく外反する。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・礫・パミス にぶい褐色 普通	5% P743 覆土
2	坏 土師器	A [13.6] B (2.5)	体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部は緩く外反する。体部と口縁部の境に明瞭な稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	5% P744 覆土

第96号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第353図 1	高 坏 土師器	B (4.4)	脚部片。脚部は外下方に開く。	内面篋削り、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	5% P426 覆土

第97号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第353図 1	甕 土師器	A 17.6 B 30.2 C 7.5	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。口縁部は頸部から外傾し、上位でやや外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	75% P427 床面 胴部外面煤付着
2	甕 土師器	B (13.8) C 7.1	胴部上半欠損。上げ底。胴部は球形状を呈する。	胴部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石 赤褐色 普通	40% P428 覆土
3	壺 土師器	A 12.0 B 15.8 C 5.9	平底。胴部は球形状を呈し、器厚を減じながら、外上方に立ち上がる。口縁部は頸部から外傾し、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・スコリア 赤色 普通	95% P429 PL80 カマド内火床部
4	甗 土師器	B (3.2) C 6.1 孔径 1.3	底部片。平底。中央部に円孔が穿たれている。	内外面篋ナデ。底部篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	10% P430 覆土
5	高 坏 土師器	A 20.4 B (8.0)	脚部欠損。坏部は下位に明瞭な稜をもち、器厚を減じながら、外上方に開き口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 赤褐色 普通	50% P431 PL80 カマド内火床部

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第353図 6	高坏土師器	B (7.5) D 13.6 E 7.3	坏部欠損。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。内面に輪積み痕が明瞭に残る。	内面ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	40% P 432 覆土 PL80
	高坏土師器	D 9.4 E (4.7)	坏部欠損。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。端部は僅かに外反する。	内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒 にぶい赤褐色 普通	40% P 433 床面
	高坏土師器	E (9.1)	坏部欠損。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	40% P 434 床面
9	埴土師器	A [13.6] B (7.0)	底部欠損。体部は強く内彎して外上方に立ち上がり、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P 435 覆土 PL80
	坏土師器	A [15.4] B (4.3)	底部欠損。体部は内彎しながら立ち上がり、上位から口縁端部にかけて外反する。口縁端部は平坦におさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	30% P 436 覆土
第354図 11	甕須恵器	A 18.7 B 28.2	丸底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、上半部で強く張る。最大径は胴部の上位に位置する。口頸部は基部から外反気味に立ち上がり、上位で大きく開く。端部は垂直気味に内彎し、口唇部は丸い。	水挽き整形。内面篋ナデ調整、底部内面に同心円タキ目あり。外面平行タキ後ナデ調整。胴部上位には、10本の波状文が1条施されており、その上下に凹線が2条巡る。口縁部直下から口頸部に断面三角形の凸線が3条巡る。各凸線下に10本の波状文が施されている。	砂粒 オリーブ灰色 良好	70% P 437 床面 PL80 口頸部・胴部上半部に自然釉付着

第100号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第354図 1	甕土師器	A [25.6] B (16.0)	胴部は内彎しながら頸部に至り、口縁部はやや外反して開く。	口縁部内面横ナデ。口頸部外面・胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	15% P 438A 床面 PL81
2	甕土師器	B (12.4) C 8.1	平底。胴部は内彎気味に外上方に開く。	胴部内外面篋ナデ、下端外面篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	10% P 438B P438A と同一個体
第355図 3	甕土師器	B (14.3) C 7.2	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。	胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	20% P 439 覆土
4	甕土師器	A [20.4] B (5.7)	口縁部片。口縁部は頸部から器厚を減じながら外傾し、上位で大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	5% P 440 覆土中層
5	小形甕土師器	A [10.1] B (5.3)	胴部は頸部から外下方に開き、中位で強く張る。口縁部は器厚を減じながら外傾し、端部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。頸部内面に指頭による圧痕。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	20% P 442 覆土
6	甕土師器	A [26.6] B (16.3)	胴部下欠損。胴部はほぼ垂直に立ち上がり、口縁部は頸部から大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面縦位の篋削り。	砂粒・長石・スコリア 浅黄褐色 普通	10% P 441 ピット内上層
7	高坏土師器	D [11.8] E (6.8)	脚部片。脚部は器厚を減じながら、ラッパ状に外下方に開く。基部付近の外面に円形の刺突がみられる。	内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	20% P 443 覆土
8	高坏土師器	E (7.5)	脚部片。脚部はラッパ状に外下方に開く。	内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。内面には、輪積み痕を明瞭に残す。	砂粒・スコリア にぶい赤褐色 普通	20% P 444 覆土中層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第355図 9	高坏 土師器	D 8.9 E (3.4)	脚部片。脚部は「ハ」の字状を呈し、裾部で大きく開く。	内面横ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・雲母 橙色 普通	30% P 445 覆土
10	坑 土師器	A [12.8] B (5.8)	底部欠損。体部は器厚を減じながら内彎し、外上方に立ち上がる。口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・スコリア 灰白色 普通	30% P 447 覆土
11	坏 土師器	A 13.8 B 6.5	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反して開く。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。口縁部内外面赤彩。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P 446 PL81 覆土中層
12	坏 土師器	A 13.3 B (5.1)	体部は浅い皿状を呈し、内彎する。口縁部は強く外反して外上方に開く。体部と口縁部の境に稜をもつ。	内面剥離が進むが、体部に篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	40% P 448 覆土中層
13	坏 土師器	A 12.8 B 5.2	体部は皿状を呈し、緩く内彎する。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ後篋磨き、外面篋削り。内外面赤彩。	砂粒・長石 赤褐色 普通	70% P 449 覆土
14	坏 土師器	A [15.2] B 5.6 C 4.0	体部は浅い皿状を呈し、内彎気味に立ち上がる。口縁部は外反して開く。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。内面赤彩。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P 450 覆土
15	坏 土師器	A [13.4] B (4.6)	体部は器厚を減じながら、外上方に立ち上がり、口縁部はやや外傾して開く。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋ナデ。内外面赤彩。	砂粒・長石 赤褐色 普通	30% P 451 覆土
16	坏 土師器	A 13.4 B 5.5	丸底。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	80% P 452 PL81 貯蔵穴
17	坏(脚付) 土師器	B (2.0) D [6.2] E 1.1	脚部片。脚部は器厚を減じながら、「ハ」の字状に開く。	内外面横ナデ。	砂粒・長石・雲母 灰褐色 普通	5% P 453 覆土

第101号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第357図 1	甕 土師器	A [12.8] B 30.0 C 5.5	平底。胴部は球形状を呈している。口縁部はやや外傾し、上位で外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 黒褐色 普通	50% P 454 PL81 覆土上層 胴部外面煤付着
2	甕 土師器	B (4.9) C 8.3	底部片。平底。胴部は外上方に立ち上がる。	内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。底部篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	10% P 455 覆土上層
3	高坏 土師器	A [22.0] B (8.1)	脚部欠損。坏部は下位に弱い稜を有し、器厚を減じながら、外上方に外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・バミス 橙色 普通	30% P 456 PL81 覆土上層
4	高坏 土師器	A [20.4] B (6.9)	坏部片。坏部は下位に稜を有し、外上方に開く。口縁部は軽く外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ハケ目整形後ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	10% P 457 覆土上層
5	高坏 土師器	D 15.5 E (9.8)	坏部欠損。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく外下方に開く。裾部は外反する。	内面ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい褐色 普通	50% P 458 覆土上層
6	高坏 土師器	E (9.2)	脚部片。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	30% P 459 覆土上層

第102号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第358図 1	甕 土師器	A 27.1	平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は「く」の字状に外反し、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・パミス・礫 にぶい橙色 普通	80% P 460 覆土下層 胴部外面煤付着
		B 29.5				
		C 7.8				
2	甕 土師器	B (29.3)	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。	内外面ナデ。内外面共に剥離が著しい。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	60% P 461 PL81 覆土
		C 7.3				
3	甕 土師器	B (20.0)	口縁部欠損。丸底。胴部は球形状を呈する。	内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	40% P 462 覆土中層
		C 5.9				
第359図 4	甕 土師器	A 17.8	胴部下半欠損。口縁部は、頸部から器厚を減じながら、大きく外反する。胴部は外下方に開く。	口縁部内面横ナデ、胴部内面篋ナデ。口縁・胴部外面ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石 褐灰色 普通	40% P 463 覆土上層
		B (14.8)				
5	甕 土師器	B (22.1)	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。	内外面ナデ。外面剥離が進む。	砂粒・長石・雲母 にぶい黄橙色 普通	30% P 464 覆土下層 胴部外面煤付着
		C 6.9				
6	甕 土師器	A [20.6]	底部欠損。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は内彎気味に外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	30% P 465 床面 胴部外面煤付着
		B (14.6)				
7	甕 土師器	A 11.7	口縁部は頸部から外傾しながら立ち上がる。	口縁部内面横ナデ後横位の篋磨き。口頸部外面横ナデ後縦位の篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	20% P 466 貯蔵穴内底部
		B (6.2)				
8	甕 土師器	B (9.8)	平底。胴部は内彎気味に外上方に開く。	胴部内面丁寧なナデ、外面ナデ。胴部下端篋削り。	砂粒・長石 にぶい黄橙色 普通	30% P 467 床面
		C 7.2				
9	甕 土師器	B (7.9)	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。	内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・スコリア 明褐色 普通	20% P 468 床面
		C 7.1				
10	壺 土師器	A 13.5	平底。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がり、中位で強く張る。口縁部は緩く外傾して開く。	胴部内面篋ナデ、外面丁寧な篋ナデ。口縁部器表が摩滅し整形不明。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	90% P 469 PL81 貯蔵穴内覆土
		B 14.8				
		C 5.9				
第360図 11	甗 土師器	A 31.1	無底式の甗。胴部は、外上方に外傾しながら立ち上がり、口縁部に至る。口縁部は端部で器厚を減じ、直立する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、一部に篋磨き。胴部外面篋削り。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	90% P 471 PL81 覆土下層
		B 25.3				
		C 9.4				
		孔径 8.6				
12	甗 土師器	A [24.6]	無底式の甗。胴部は内彎しながら立ち上がり、上位からほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面斜位の篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 灰黄褐色 普通	40% P 472 床面
		B 24.3				
13	甗 土師器	A 19.1	単孔式の甗。平底。胴部は外上方に開き、口縁部で緩く内彎する。	内面篋ナデ後篋磨き、外面ナデ。外面は剥離が進む。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	100% P 473 PL81 覆土下層
		B 14.5				
		C 5.6				
		孔径 3.9				
14	鉢 土師器	A 25.1	平底。胴部は内彎して外上方に開く。	口縁部内外面篋ナデ。外面摩滅が進む。	砂粒・長石 褐灰色 普通	100% P 470 貯蔵穴内底部 甗からの転用
		B 8.3				
		C 9.0				
15	高坏 土師器	A 20.0	坏部は下位に稜をもち、内彎しながら外上方に立ち上がる。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい赤褐色 普通	90% P 474 PL81 床面
		B 16.2				
		D 17.1				
		E 9.4				
第361図 16	高坏 土師器	B (11.0)	坏部欠損。脚部は「ハ」の字状に外下方に開く。内面に輪積み痕が明瞭に残る。	内面ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	50% P 475 覆土下層
		D 11.6				
		E 9.2				

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第361図 17	坑 土師器	A 14.5 B 7.4	丸底。体部は器厚を減じながら、内彎して外上方に開き、上位で強く張る。口縁部は緩く外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き、外面丁寧な篋ナデ。底部篋削り。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	70% P 476 貯蔵穴内底部
18	坑 土師器	A 14.2 B 7.7 C 4.8	平底。体部は大きく内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反する。口唇部は尖る。	口頸部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面ナデ。体部下端篋削り。	砂粒 灰白色 普通	70% P 478 貯蔵穴内底部 体部外面煤付着
19	坑 土師器	A 13.2 B 7.5	丸底。体部は器厚を減じながら、大きく内彎して立ち上がる。口縁部は外反気味に開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧な篋削り。	砂粒・長石・礫 赤橙色 普通	100% P 479 PL81 貯蔵穴内底部
20	坑 土師器	A 11.0 B 8.2 C 5.4	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、中位で強く張る。口縁部は外傾して開く。	口頸部横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面ナデ。底部篋削り。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	100% P 481 貯蔵穴内底部
21	坑 土師器	A 12.0 B 7.8 C 5.2	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は短く外反する。	口頸部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面横位の篋削り。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	100% P 482 貯蔵穴内上層
22	坑 土師器	A 11.6 B 7.5 C 4.4	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は短く外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面横位の丁寧な篋削り。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	95% P 483 貯蔵穴内底部
23	坑 土師器	A 10.9 B 7.5 C 4.8	平底。体部は内彎気味に外上方に開き、上位で強く張る。口縁部は短く外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面横位の篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 淡橙色 普通	90% P 484 PL81 貯蔵穴内上層
24	坑 土師器	A 10.1 B 7.3 C 2.9	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、上位で強く張る。口縁部はほぼ直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面ナデ後横位の篋磨き。	砂粒・長石・雲母 淡橙色 普通	90% P 485 PL81 貯蔵穴内底部
25	坑 土師器	A 9.5 B 8.1 C 4.3	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、中位で張る。口縁部は外反して開く。	口頸部内外面横ナデ。体部内面篋削り、外面上位は篋磨き、中位以下篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	60% P 487 PL81 覆土上層
26	坏 土師器	A 16.6 B 6.1 C 5.9	平底。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がる。口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	90% P 477 覆土 内外面煤付着
27	坏 土師器	A 13.2 B (6.2)	底部欠損。体部は大きく内彎しながら外上方に開き、口縁部は外傾する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ後横位の篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	60% P 480 覆土
28	坏 土師器	A [13.0] B 5.9 C 3.8	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は器厚を減じながら、短く外反する。口唇部は尖る。	口頸部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ後篋磨き。体部下端篋削り。	砂粒・スコリア 橙色 普通	50% P 486 覆土下層
29	坏 土師器	A 14.9 B 6.4 C 5.4	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部はやや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	70% P 488 床面
30	坏 土師器	A 14.3 B 6.2 C 4.7	平底。体部は器厚を減じながら、外上方に立ち上がり、口縁部は緩く内彎する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。体部下端篋削り。	砂粒・長石 にぶい黄褐色 普通	80% P 489 覆土中層
31	坏 土師器	A 14.5 B 5.3 C 3.8	上げ底。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部に至る。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、一部篋磨き。体部外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 浅黄褐色 普通	90% P 490 PL81 貯蔵穴内底面
32	坏 土師器	A 13.6 B 5.1 C 5.4	平底。体部は内彎して外上方に開き、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ後一部篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石 褐色 普通	100% P 491 PL81 貯蔵穴内上層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第361図 33	坏 土師器	A 15.4 B 4.2 C 6.0	平底。浅い皿状を呈し、体部は緩く内彎して外上方に開き、口縁部に至る。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・パミス 橙色 普通	95% P 492 床面
第362図 34	坏 土師器	A [15.3] B 5.8 C 4.8	上げ底。体部は器厚を減じながら、内彎して外上方に開く。口縁部は垂直に立ち上がり、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。体部下端篋削り。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	60% P 493 貯蔵穴内上層
35	坏 土師器	A 14.3 B 4.6 C 3.8	平底。体部は内彎して外上方に立ち上がる。口縁部は短く外傾し、端部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ、一部篋磨き。外面ナデ。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	50% P 494 覆土
36	坏 土師器	A 13.2 B 5.1 C 2.4	平底。体部は内彎して外上方に立ち上がり、口縁部に至る。口縁部はほぼ垂直に立ち上がる。口唇部は尖る。	口頸部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	95% P 495 覆土
37	坏 土師器	A 13.9 B 5.6 C 5.9	平底。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部に至る。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい褐色 やや不良	70% P 496 床面
38	埴 土師器	A [9.6] B 9.1 C 4.8	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。口縁部はやや内彎気味に外反して開き、口縁部に至る。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内面横ナデ、外面斜位の篋ナデ。頸部外面斜位の篋ナデ。胴部内面指頭によるナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	70% P 497 覆土下層

第103号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第362図 1	甕 土師器	A 16.7 B (14.0)	口縁部はやや外反気味に立ち上がり、口唇部は丸い。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 灰褐色 普通	20% P 499 覆土中層
第363図 2	甕 土師器	A 16.6 B (24.6)	底部欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は外反して立ち上がり、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。一部剝離が進む。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 不良	80% P 498 PL82 覆土中層
3	甕 土師器	A 16.7 B (7.8)	口縁部片。口縁部は外反気味に立ち上がり、上位で大きく開く。	口頸部内面横ナデ後横位の篋ナデ、外面横ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	20% P 500 覆土下層
4	甕 土師器	B (5.1) C 4.8	平底。胴部は器厚を減じながら、外上方に開く。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 黒褐色 普通	10% P 724 床面
5	甕 土師器	B (6.7) C 6.8	上げ底。胴部は外上方に開く。	胴部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 褐灰色 普通	10% P 725 覆土中層
6	甕 土師器	A 14.1 B (8.9)	口縁部は中位で器厚を増して、外傾気味に立ち上がる。胴部は緩く内彎して下がる。	口縁部内面横位の篋ナデ、外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 不良	20% P 726 覆土中層
7	小形甕 土師器	A [13.0] B 9.3	丸底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、中位で張る。口縁部は頸部から外反して開く。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。胴部下端篋削り。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	90% P 727 覆土下層
8	甕 土師器	A [24.2] B 24.5 孔径 [8.2]	無底式の甕。胴部は外上方に外傾しながら立ち上がり、中位で緩く内彎して口縁部に至る。口縁部はやや外傾する。	口頸部内外面横ナデ。胴部外面篋削り、内面摩減して整形不明。	砂粒・長石 灰白色 普通	20% P 728 PL82 覆土中層
9	高坏 土師器	A [14.2] B 10.1 D [8.2] E 3.8	坏部は半球状を呈し、下位に僅かに稜をもつ、口縁部は強く外反する。脚基部は円柱状を呈し、裾部で大きく外反する。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋磨き。坏部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。脚部ナデ。裾部横ナデ。坏部内外面赤彩。	砂粒・長石 赤色 普通	50% P 729 PL82 床面

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第363図 10	高坏 土師器	B (6.3)	坏部は外上方に開く。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内外面ナデ。脚部内面篋削り、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	40% P730 床面
第364図 11	高坏 土師器	B (5.9) D [9.3] E 4.4	坏部欠損。脚部は器厚を減しながら、ラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	脚部内外面ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	30% P731 覆土上層
12	坏 土師器	A [12.7] B 5.5	丸底。体部は内彎して外上方に開き、口縁部はやや外反する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 暗赤褐色 普通	60% P732 覆土上層
13	坏 土師器	A 14.0 B 5.3	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外傾する。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内面篋磨き、外面篋ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・スコリア 明赤褐色 普通	95% P733 床面
14	坏 土師器	A 14.2 B 5.3	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外反気味に開く。体部と口縁部の境に明瞭な稜を有する。	内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。口縁部内外面・体部内面赤彩。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	70% P734 床面
15	坏 土師器	A [15.1] B (5.4)	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外反しながら外上方に開く。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。口縁部内外面・体部内面赤彩。	砂粒・長石・スコリア 赤色 普通	40% P735 覆土上層
16	坏 土師器	A 13.3 B 4.9	体部は皿状を呈し、口縁部はほぼ直立する。体部と口縁部の境に明瞭な稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。口縁部内外面・体部内面赤彩。	砂粒・長石・スコリア 赤色 普通	100% P736 床面
17	坏 土師器	A [11.9] B 4.2	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外反気味に立ち上がる。体部と口縁部の境に弱い稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・雲母・長石 にぶい赤褐色 普通	90% P737 PL82 覆土上層
18	坏 土師器	A [11.8] B 4.4	丸底。体部は外上方に開き、口縁部は外反気味に立ち上がる。体部と口縁部の境に僅かに稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。口縁部内外面・体部内面赤彩。	砂粒・長石・スコリア 赤色 普通	70% P738 PL82 覆土下層
19	坏 土師器	A [12.6] B 4.4	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部はやや外傾気味に開く。体部と口縁部の境に横ナデによる稜を僅かに有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	25% P739 覆土中層

第104号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第364図 1	甕 土師器	A [17.6] B (20.1)	底部欠損。胴部は長胴を呈し、内彎気味に立ち上がる。口縁部は「く」の字状に外反する。	口頸部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 やや不良	40% P745 PL82 床面
2	坏 土師器	A 11.6 B 3.9	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外反気味に立ち上がる。体部と口縁部の境に弱い稜を有する。	口縁部内外面・体部内面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい黄褐色 普通	70% P746 PL82 覆土

第105号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第365図 1	甕 土師器	A 18.3	平底。胴部は球形状を呈し、内彎して外上方に開く。口縁部は外傾して立ち上がり、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ、剥離が進む。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	70% P748 床面
		B 34.6				
		C 8.0				
2	甕 土師器	A 18.4	平底。胴部は球形状を呈し、内彎しながら外上方に開く。口縁部は外反気味に立ち上がり、大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	60% P749 PL82 床面
		B 32.0				
		C 6.7				
3	甕 土師器	B (23.6)	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい赤褐色 普通	60% P750 PL82 床面 外面煤付着
		C 7.2				
第366図 4	甕 土師器	B (22.2)	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈し、内彎して外上方に開く。	胴部内外面ナデ。剥離が進行し、特に内面で著しい。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	40% P751 床面
		C 7.5				
5	甕 土師器	A [18.2]	底部欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は垂直に立ち上がった後、大きく外傾して開く。	口縁部外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	40% P752 床面
		B (32.7)				
6	甕 土師器	B (23.3)	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈する。	胴部内外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	30% P753 床面
		C 6.8				
7	甕 土師器	A 25.7	無底式の甕。胴部は底部からほぼ直線的に外傾して口縁部に至る。胴部中位に角状の把手を有する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・バミス・礫 橙色 普通	90% P754 PL82 床面
		B 26.1				
		孔径 9.4				
第367図 8	甕 土師器	A 31.1	無底式の甕。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部に至る。胴部中位に、把手を嵌め込んだものと思われる孔を穿つ。	胴部内面丁寧なナデ、外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	40% P755 PL82 床面
		B 25.6				
		孔径 7.7				
9	高 土師器	A 19.8	脚部欠損。坏部は下位に稜をもち、内彎気味に外上方に立ち上がる。口縁部はやや外反して開く。	坏部内面ハケ目整形後ナデ。口縁部外面横ナデ。坏部外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	70% P756 PL82 床面
		B (6.4)				
10	碗 土師器	A 13.1	平底。体部は内彎しながら外上方に開き、口縁部は内彎する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ、中位は横位の篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	90% P757 床面
		B 7.3				
		C 4.7				
11	碗 土師器	A 12.4	平底。体部は緩やかなカーブを描いて上方に開き、口縁部は内彎する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒 橙色 普通	70% P758 床面
		B 5.7				
		C 3.7				
12	碗 土師器	A 13.4	底部欠損。体部は外上方に立ち上がり、口唇部は丸くおさめる。	口縁部横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。	砂粒・バミス 橙色 普通	60% P759 覆土
		B (5.4)				
13	碗 土師器	A [11.8]	平底。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部は内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ後一部篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・バミス 淡橙色 普通	50% P760 床面
		B 7.0				
		C 4.3				
14	坏 土師器	A [14.4]	上げ底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	25% P761 床面
		B 5.6				
		C [4.2]				
15	坏 土師器	A [15.7]	平底。体部は緩く内彎しながら外上方に開き、上位で直立する。口縁部は外傾して開く。	口頸部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P762 床面
		B 6.5				
		C 5.5				
16	坏 土師器	A 16.1	歪んだ平底。体部は器厚を減じながら、内彎気味に外上方に開き、中位で大きく内彎する。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	90% P763 PL82 床面
		B 6.3				
		C 7.6				

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第367図 17	坏 土 師 器	A 15.2	平底。体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、上位で直立する。口縁部はやや外傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	70% P764 覆土
		B 5.7				
		C 6.8				
18	坏 土 師 器	A 14.8	平底。体部は内彎して外上方に立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	95% P765 床面
		B 5.6				
		C 5.2				
19	坏 土 師 器	A 14.7	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部はやや内彎する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面ナデ、体部下半篋削り。	砂粒・パミス・礫 にぶい橙色 普通	90% P766 床面
		B 5.8				
		C 4.7				
第368図 20	坏 土 師 器	A [13.4]	平底。体部は器厚を減じながら、外上方に内彎気味に開く。口縁部は内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	40% P767 覆土
		B 5.5				
		C [5.4]				
21	坏 土 師 器	A 14.8	平底。体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	95% P768 PL82 床面
		B 5.3				
		C 5.5				
22	坏 土 師 器	A [14.0]	平底。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面横位の篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	60% P769 床面
		B 4.8				
		C 5.6				
23	坏 土 師 器	A 15.1	平底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部はやや内彎する。	内外面ナデ。全体に摩滅している。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 不良	60% P770 床面
		B 5.3				
		C 6.0				
24	坏 土 師 器	A 13.8	平底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	95% P771 床面
		B 6.3				
		C 5.0				
25	坏 土 師 器	A [14.1]	平底。体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後一部篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	75% P772 PL82 床面
		B 4.6				
		C 5.0				
26	坏 土 師 器	A 9.1	平底。体部は器厚を減じながら、外上方に開く。口縁部はほぼ直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	80% P773 床面
		B 3.1				
		C 5.0				
27	坏 須 恵 器	A [10.8]	たちあがりは、内傾して高く立ち上がり、端部は内側に段を有する。受部はやや外下方にのび、端部は尖る。底部は内彎気味に立ち上がり、外方に屈曲して受部に至る。	水挽き整形。回転ナデ調整。底部回転篋削り調整。	砂粒 明褐色 良好	40% P774 床面
		B (5.2)				

第108号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第368図 1	壘 土 師 器	A 18.0	口縁部は外反して立ち上がる。胴部は内彎して外下方に開く。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 普通	15% P781 床面 胴部外面煤付着
		B (8.5)				
2	高 坏 土 師 器	A 14.0	坏部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。脚部は器厚を減じながら、大きく「ハ」の字状に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。脚部外面ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P782 PL82 床面
		B 9.2				
		D [11.8]				
		E 4.6				
第369図 3	坏 土 師 器	A 15.8	平底。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ、上半部には篋磨き。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	90% P783 覆土下層
		B 5.9				
		C 5.0				

第109号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第369図 1	甕 土師器	A [12.4] B (14.1)	胴部は内彎し、肩部で張る。 口縁部は外傾し、中程に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 赤色 普通	40% P784 床面
2	甕 土師器	A 16.6 B (19.1)	胴部は内彎し、口縁部はやや外傾して大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・礫 明褐色 普通	40% P785 床面
3	甕 土師器	B (15.3) C 8.0	上げ底。胴部は内彎して外上方に開く。	胴部内面ナデ、下位は篋削り、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 灰黄褐色 普通	40% P786 カマド内底面
4	甕 土師器	A 21.0 B 27.0 口径 7.6	無底式の甕。胴部は内彎気味に立ち上がり、中位からほぼ直立し、口縁部は外反する。中位に角状の把手を有する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ後篋磨き、外面篋ナデ、下半は篋削り。	砂粒・長石 褐色 普通	95% P787 床面
第370図 5	甕 土師器	A 19.3 B 15.8 口径 6.3	無底式の甕。胴部は緩く内彎して立ち上がり口縁部に至る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	85% P788 PL82 床面
6	高坏 土師器	A 14.7 B (10.8) E (5.2)	坏部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は直立する。脚部は肥厚で、ラップ状に外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	80% P789 PL82 カマド内底面
7	高坏 土師器	A [14.0] B (8.7) E (4.2)	坏部は内彎気味に立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。脚部は内彎気味に外下方に開く。	口縁部外面横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・礫 橙色 普通	60% P790 ビット内底面
8	坩 土師器	A 14.2 B 7.0 C 6.0	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 灰白色 普通	90% P791 覆土
9	坩 土師器	A [18.4] B (7.1)	底部欠損。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き、外面篋削り。内面黒色処理。	砂粒 褐色 普通	20% P793 床面
10	坏 土師器	A 13.4 B 6.0	丸底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ、底部篋削り。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	70% P792 覆土上層
11	坏 土師器	A [14.0] B 4.2 C 4.6	平底。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒 橙色 普通	40% P794 覆土
12	罎 土師器	B (5.4) C 2.8	口縁部欠損。平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、下位で強く張る。	体部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・スコリア にぶい黄褐色 普通	70% P795 PL82 覆土

第110号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第371図 1	甕 土師器	A [18.4] B (23.2)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して立ち上がり、大きく開く。	口頸部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋磨き。胴部内外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい黄褐色 普通	60% P796 覆土下層
2	甕 土師器	A [22.2] B (13.1)	口縁部片。口縁部は大きく外反し、中位に稜を有する。胴部は内彎しながら外下方に開く。	口頸部内面横ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	20% P797 床面
3	甕 土師器	A [16.4] B (18.4)	胴部は内彎し、中位で張る。口縁部は外反気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい褐色 普通	30% P798 覆土下層 胴部外面煤付着

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第371図 4	甕 土師器	A [18.8] B (11.8)	胴部は内彎し、口縁部は外傾 気味に立ち上がり、端部で外 反する。	内面ナデ後篋磨き、外面 丁寧なナデ。	砂粒・長石 褐色 普通	15% P 799 覆土中層
第372図 5	甗 土師器	A 22.3 B 22.9 孔径 7.3	無底式の甗。胴部は内彎気味 に立ち上がり、口縁部に至る。 口縁部は大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴 部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・礫 明褐色 普通	90% P 800 PL82 床面
6	高 坏 土師器	A 21.1 B (10.3) E (2.3)	脚部欠損。坏部は器厚を減じ ながら、外上方に立ち上がり、 口縁部で大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。内 面ナデ後篋磨き、外面ナ デ、下端は篋削り。	砂粒・長石 におい黄褐色 普通	55% P 801 覆土下層
7	高 坏 土師器	A 15.0 B 9.9 D 9.4 E 4.0	坏部は二次加熱を受け大きく 歪み、内彎気味に外上方に開 く。口縁部はほぼ直立する。 脚部は「ハ」の字状を呈し、 裾部で外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏 部内外面丁寧なナデ。脚 部内面篋削り、外面ナデ 後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	95% P 802 PL82 覆土下層 口縁部に鉾滓付着
8	高 坏 土師器	A 14.6 B 9.5 D [9.7] E 3.8	坏部は内彎気味に外上方に開 き、口縁部は直立する。脚部 は「ハ」の字状を呈し、裾部 で大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏 部内面ナデ後篋磨き、外 面丁寧なナデ。脚部内外 面ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 浅黄褐色 普通	65% P 803 PL82 覆土
9	埴 土師器	B (6.6) C 5.0	平底。体部は内彎しながら立 ち上がり、口縁部で外反する。	体部内面ナデ後篋磨き、 外面ナデ。	砂粒・長石・パミス におい明赤褐色 普通	50% P 804 床面
10	坏(脚付) 土師器	A 15.5 B 6.1 D 4.3 E 1.5	坏部は内彎気味に外上方に開 き、口縁部はやや内彎する。 脚部は「ハ」の字状に開く。	口縁部内面横ナデ後篋磨き。 坏部内面ナデ後篋磨き、外面 ナデ後篋磨き。脚部内面横 位、外面縦位の篋磨き。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	100% P 805 PL82 床面
11	坏(脚付) 土師器	A 20.2 B 5.9 D [5.0] E 1.6	坏部は浅い皿状を呈し、口縁 部は内彎気味に開く。脚部は 「ハ」の字状に開き、端部は 尖る。	口縁部内外面横ナデ。体 部内外面篋削り。脚部内 外面横ナデ。	砂粒・長石 灰褐色 普通	85% P 806 PL82 覆土下層
12	坏(脚付) 土師器	A 16.3 B 6.1 D 4.1 E 1.5	坏部は内彎気味に外上方に開 き、口縁部はやや内彎する。 脚部は「ハ」の字状に開く。	口縁部外面横ナデ。坏部 内面ナデ後篋磨き、外面 丁寧なナデ。脚部横ナデ。 外面縦位の篋磨き。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	90% P 807 床面

第111号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第373図 1	甕 土師器	A 17.8 B 32.7 C 6.8	平底。胴部は球形状を呈し、 最大径は中位にもつ。口縁部 は外傾気味に立ち上がり、上 位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴 部内外面ナデ。口縁部に 篋ナデによる整形痕が残 る。	砂粒・長石・パミス 灰白色 普通	70% P 808 PL83 貯蔵穴内底面
2	甕 土師器	A 17.6 B 26.7 C 7.0	平底。胴部は球形状を呈し、 最大径は中位にもつ。口縁部 は「く」の字状に外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴 部内外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 におい橙色 普通	95% P 809 PL83 覆土上層
3	甕 土師器	A 18.0 B 25.5 C 6.8	平底。胴部下半は引き締まり、内 彎しながら外上方に立ち上がる。 口縁部は大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴 部内面ナデ、外面丁寧な 篋ナデ。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	75% P 810 床面 胴部外面煤付着
4	甕 土師器	A 16.6 B (17.4)	胴部下半欠損。胴部は球形状 を呈し、口縁部は外傾して開 く。	口縁部内面横ナデ、外面横 ナデ後篋磨き。胴部内面篋 ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・スコリア におい橙色 普通	30% P 811 覆土 胴部外面煤付着
第374図 5	甕 土師器	A 17.0 B (10.2)	口縁部は外反して開く。胴部 は頸部から内彎気味に外下方 に開く。	口縁部内面ナデ、外面横 ナデ。胴部内面篋ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	20% P 812 覆土下層

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第374図 6	甕 土 師 器	B (15.7) C 5.4	平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。胴部は歪む。	内面篋ナデ、外面剝離が進み、整形不明。	砂粒・長石・礫 にぶい褐色 普通	80% P813 覆土中層
7	高 坏 土 師 器	B (9.4) D 14.9 E 8.0	坏部欠損。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	内面篋ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	55% P814 PL83 覆土下層
8	坑 土 師 器	A 12.1 B 8.7 C 5.1	平底。体部は内彎して外上方に立ち上がり、上位で張る。口縁部は短くやや外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。底部に篋状工具による沈線が1条施される。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	95% P815 PL83 覆土下層
9	坑 土 師 器	A [13.9] B 7.1 C 4.7	平底。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部は内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 赤色 普通	60% P818 覆土
10	坑 土 師 器	A [13.6] B 5.9 C 4.2	平底。体部は内彎して外上方に立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	40% P819 床面
11	坏 土 師 器	A 14.4 B 6.1	丸底。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がる。口縁部は外反して開き、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。底部篋削り。	砂粒・長石・スコリア 灰褐色 普通	98% P816 覆土下層
12	坏 土 師 器	A 15.3 B 6.4 C 6.4	平底。体部は内彎気味に外上方に開き、上位で張る。口縁部は短く外傾する。	口縁部外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。口縁部内面剝離が進む。	砂粒・長石 褐灰色 不良	60% P817 床面
13	坏(脚付) 土 師 器	A 16.9 B (5.8) E (1.6)	坏部は浅い皿状を呈し、外傾して外上方に開き、口縁部に至る。口唇部は尖る。脚部は「ハ」の字状に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面丁寧なナデ。脚部外面篋磨き。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	50% P820 床面

第112号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第375図 1	坏 土 師 器	B (2.1)	口縁部は外傾して開き、体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横位の篋磨き。体部内面篋磨き。	砂粒 黒色 普通	3% P822 覆土
2	坏 土 師 器	A [17.0] B (4.4)	体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は外傾して開く。	水挽き整形。体部内面篋磨き。	砂粒・雲母 橙色 普通	20% P821 覆土 流れ込み

第115号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第375図 1	甕 土 師 器	A 20.2 B 31.3 C 7.9	平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は「く」の字状に外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	80% P823 PL83 覆土下層
2	甕 土 師 器	A [20.0] B (8.0)	口縁部は頸部から大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	5% P824 覆土
3	高 坏 土 師 器	B (5.5) D [10.5]	坏部欠損。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	30% P825 床面

第116号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第376図 1	甕 土師器	A 17.5 B (32.0)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は外反気味に立ち上がり、上位で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面丁寧なナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	90% P 826 PL83 覆土
2	甕 土師器	A 18.3 B 27.6 C 6.8	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、下位で張る。口縁部は頸部から外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい褐色 普通	70% P 827 床面
3	甕 土師器	A 16.1 B (28.5)	底部欠損。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、下位で張る。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・礫 橙褐色 普通	85% P 828 床面
4	甕 土師器	B (23.5) C [9.0]	口縁部欠損。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がる。胴部下半は歪む。	胴部内面篋削り。胴部外面篋状工具による削り、下半部はその後ナデ。	砂粒・長石・スコリア 赤色 普通	30% P 829 覆土下層
5	高坏 土師器	A 13.8 B 10.0 D 11.4 E 4.5	坏部は内彎気味に外上方に立ち上がり、中位で強く内彎した後、口縁部は強く外反して開く。脚部は円柱状を呈し、裾部で外反気味に大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ、外面ナデ。脚部外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	95% P 830 PL83 カマド内上層
6	高坏 土師器	B (7.0) D [11.4]	坏部欠損。脚部は円柱状を呈し、裾部で外下方に大きく開く。	脚部外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 暗赤褐色 普通	30% P 831 覆土下層
第377図 7	埴 土師器	A [10.6] B 5.9 C 4.4	平底。体部は内彎して立ち上がり、口縁部は短くやや外反する。	口縁部内面横ナデ。体部内外面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	80% P 832 覆土下層
8	坏 土師器	A 14.4 B 6.0 C 4.5	平底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒 赤褐色 普通	50% P 833 覆土上層
9	坏 土師器	A 10.9 B 4.6	丸底。体部はやや内彎しながら外上方に開き、口縁部は内傾する。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋磨き、外面ナデ後一部篋磨き。下端篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	90% P 834 PL83 覆土下層
10	高坏 須恵器	A [16.0] B (7.2) E (0.7)	体部は緩く内彎しながら立ち上がる。口縁部は外反し、端部は尖る。体部と口縁部の境に断面三角形の鋭い凸線を2条有し、下部には羽状文が施されている。羽状文の上下には把手を貼り付けた痕跡が認められる。脚部には四方向に方形のスカシが穿ってある。	水挽き整形。口縁部横ナデ調整。底部外面回転ナデ調整。	砂粒・長石 褐灰色 普通	20% P 836 PL83 床面 坏部内面に自然釉付着

第117号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第378図 1	甕 土師器	A 18.4 B 27.2 C 8.7	平底。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は頸部から外傾気味に立ち上がり、上位で大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・スコリア 黄褐色 普通	95% P 837 PL84 床面 胴部外面煤付着
2	甕 土師器	A 22.2 B 22.9 C 7.2	平底。胴部は内彎して立ち上がり、最大径は中位よりやや上にもつ。口縁部は頸部から外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後一部に篋磨き。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	90% P 838 覆土下層 胴部外面煤付着
3	甕 土師器	A 19.6 B 31.5 C 7.1	平底。胴部はやや長胴を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は頸部から「く」の字状に外反する。	口縁部内面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。外面は剝離が進む。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	90% P 839 PL84 床面

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第378図 4	甕 土師器	A 15.0 B (21.1)	底部欠損。胴部は内彎して立ち上がり、最大径はやや中位より下がる。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位の筥ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい赤褐色 普通	40% P 840 床面 胴部外面煤付着
第379図 5	甕 土師器	A 16.2 B (17.4)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・雲母 赤褐色 普通	40% P 841 覆土
6	甕 土師器	A 17.2 B (17.0)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面筥ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	40% P 842 床面
7	甕 土師器	A 14.5 B (9.3)	口縁部は頂部から外反気味に立ち上がり、胴部は外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面筥ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	20% P 843 覆土下層
8	甕 土師器	A 15.4 B (8.1)	口縁部は外反し、胴部は外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	20% P 844 覆土
9	甕 土師器	B (11.0) C 7.8	平底。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がる。	胴部内面横位の筥ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	30% P 845 覆土下層
第380図 10	甕 土師器	B (17.4) C 7.8	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。	胴部内面筥ナデ、外面ナデ後一部筥磨き。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	30% P 846 覆土
11	小形甕 土師器	A 11.2 B 16.4 C 5.9	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、最大径は中位にもつ。口縁部は外反して開き、中程に凹線を巡らす。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面筥ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 良好	100% P 847 PL84 貯蔵穴内覆土
12	小形甕 土師器	A 14.4 B 13.9 C 5.6	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は「く」の字状に外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面筥ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 暗赤褐色 普通	90% P 848 床面
13	小形甕 土師器	A 10.4 B 10.5 C [5.8]	平底。胴部は肥厚な球形状を呈し、口縁部は外傾して開く。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の筥磨き。胴部内外面ナデ後筥磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 良好	90% P 849 覆土中層
14	壺 土師器	B (29.1) C 9.1	平底。胴部は球形を呈し、最大径は中位にもつ。	胴部内面ナデ、外面全体が剥離し整形不明。	砂粒・長石・石英 浅黄褐色 普通	95% P 850 PL84 貯蔵穴
15	壺 土師器	A 12.7 B 16.9 C 5.8	平底。胴部は球形状を呈し、中位で張る。口縁部は外上方に外傾した後、外反する。中程に凸線が巡る。口唇部は凹面となる。	口縁部内面横ナデ後縦位の筥磨き、外面横ナデ。胴部内面斜位の筥ナデ後筥磨き、外面筥ナデ後筥磨き。	砂粒・長石・雲母 橙色 良好	100% P 851 PL84 床面
16	壺 土師器	A 8.9 B 15.0 C 5.4	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、中位で強く張る。口縁部は外反した後内彎し、端部は直立する。口縁部中程には、1条の沈線を巡らす。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面筥ナデ、外面ナデ後横位の筥磨き。	砂粒・長石・スコリア 浅黄褐色 普通	95% P 852 PL84 床面
第381図 17	甕 土師器	A 22.5 B 26.8 孔径 8.0	無底式の甕。胴部は内彎して外上方に立ち上がり、口縁部は「く」の字状に外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ後筥磨き、外面筥ナデ後筥磨き。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	80% P 853 PL84 床面
18	高坏 土師器	B (9.4) D [14.0] E 5.6	坏部は下位に稜を有し、内彎気味に立ち上がる。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内外面ナデ後筥磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後縦位の筥磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	60% P 854 カマド内覆土
19	高坏 土師器	A 13.9 B 10.0 D 9.6 E 4.0	坏部は半球状を呈し、内彎しながら外上方に立ち上がる。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部はやや外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部ナデ後筥磨き、外面筥ナデ。脚部内面ナデ、外面ナデ後筥磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	90% P 855 PL84 覆土中層
20	高坏 土師器	A [15.6] B (11.2) E (3.5)	坏部は半球状を呈し、内彎しながら立ち上がる。脚部は外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ後縦位の筥磨き、外面ナデ後筥磨き。脚部外面筥磨き。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	50% P 856 床面

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第381図 2 1	高 坏 土 師 器	A 14.0	坏部は内彎しながら外上方に立ち上がる。脚部は基部で肥厚な円筒状を呈し、裾部は外下方に開く。坏部内面に「×」の線刻がなされている。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面篋ナデ後篋磨き、外面ナデ。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 にぶい黄橙色 普通	70% P 857 覆土中層
		B 9.1				
		D 7.9				
		E 4.2				
2 2	高 坏 土 師 器	A 13.4	坏部は器厚を減じながら、外上方に立ち上がり、口縁部は直立する。脚部は外下方に開く。	口縁部横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。脚部外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	70% P 858 床面
		B (8.2)				
		E (3.0)				
2 3	高 坏 土 師 器	A [13.1]	坏部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がり、口縁部は内彎する。脚部は「ハ」の字状に開く。	口縁部外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	80% P 859 床面
		B 11.7				
		D [11.2]				
		E 5.0				
2 4	高 坏 土 師 器	A 11.7	坏部は半球状を呈し、外上方に開く。口縁部はほぼ直立する。脚部は基部で円柱状を呈し、裾部は大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。脚部内外面ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	90% P 860 PL84 床面
		B 11.0				
		D 9.4				
		E 5.3				
2 5	高 坏 土 師 器	B (5.8)	坏部は内彎気味に外上方に開く。脚部はラッパ状を呈し、裾部で大きく開く。	坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	60% P 861 床面
		D 9.9				
		E 3.2				
2 6	坩 土 師 器	A 12.1	平底。体部は器厚を減じながら、内彎して立ち上がり、上位で張る。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。底部に木葉痕。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	100% P 862 床面
		B 7.0				
		C 4.4				
2 7	坩 土 師 器	A [13.4]	底部欠損。体部は内彎し、上位で張る。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 明褐色 普通	20% P 865 覆土
		B (4.6)				
第382図 2 8	坏 土 師 器	A [12.6]	上げ底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は直立する。口唇部は尖る。	口縁部内面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面全面的に剝離し、整形不明。	砂粒・長石 橙色 普通	70% P 863 床面
		B 6.4				
		C 4.6				
2 9	坏 土 師 器	A 12.8	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反気味に開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 良好	100% P 864 PL84 床面
		B 6.3				
		C 5.2				
3 0	坏 土 師 器	A 14.6	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反気味に開く。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内面横位の篋磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・スコリア 明赤褐色 普通	70% P 866 床面
		B 5.8				
3 1	坏 土 師 器	A [14.1]	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外反して開く。	口縁部内面横位の篋磨き、外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・スコリア 明赤褐色 普通	60% P 867 床面
		B 5.9				
		C 3.6				
3 2	坏 土 師 器	A [16.1]	上げ底。体部は内彎して外上方に開き、口縁部は内彎気味に立ち上がる。体部と口縁部の境に段をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	60% P 868 覆土下層
		B 7.0				
		C 4.9				
3 3	坏 土 師 器	A [16.4]	底部欠損。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部に至る。体部と口縁部の境に段をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	15% P 869 覆土
		B (5.4)				

第118号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第383図 1	甕 土 師 器	A [15.0]	平底。胴部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がり、球形状を呈する。口縁部は頸部から外反して開く。胴部下位の輪積み痕の整形は指頭による押圧。胴部下半はナデ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ハケ目整形。胴部下位の輪積み痕の整形は指頭による押圧。胴部下半はナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	60% P 870 PL83 床面
		B 19.3				
		C 5.8				
2	甕 土 師 器	B (11.8)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して開く。	口縁部・胴部内外面ハケ目整形。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	5% P 871 覆土

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第383図 3	壺 土 師 器	A 12.7 B (20.1)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は頸部から強く屈曲し、外反して開く。	口縁部内外面横ナデ、外面横ナデ後篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。胴部上半には被籠土器にみられる格子状の文様を有する。	砂粒・スコリア 橙色 良好	40% P872 PL83 床面
4	壺形土器 弥生式土器	B (22.0) C 7.6	底部は平底。胴部は外傾しながら立ち上がり、内彎して頸部に至る。	内面ナデ。頸部無文帯。胴部全面に付加条1種の縄文を横位に施文。底部木炭痕。	砂粒・スコリア・ 白色針状物質 にぶい橙色 普通	40% P873 PL83 床面

第119号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第384図 1	甕 土 師 器	A 16.9 B (5.7)	口縁部は頸部から外傾して立ち上がり、大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部外面篋ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	15% P874 床面
2	甕 土 師 器	A [17.8] B (8.5)	口縁部は頸部から外傾して立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	10% P875 床面
3	甕 土 師 器	A [29.4] B (15.2)	口縁部は外反気味に大きく開く。胴部は内彎しながら外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	15% P876 床面 胴部外面煤付着
4	甕 土 師 器	A [28.0] B (18.7)	胴部下半欠損。胴部は外傾しながら外上方に開き、口縁部はやや内彎する。胴部中に角状の把手を有する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面斜位の篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 良好	30% P877 覆土中層
5	高 坏 土 師 器	A [17.7] B (11.9) E (6.3)	坏部は下位に稜を有し、器厚を減しながら、外上方に開く。脚部はラッパ状に開く。	脚部内面ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。坏部器表が摩滅し整形不明。	砂粒・長石 橙色 普通	40% P878 PL83 覆土下層
6	高 坏 土 師 器	B (6.5) E (4.0)	坏部は下位に稜を有し、外上方に開く。脚部はラッパ状に外下方に開き、中に円孔が四か所穿たれている。	坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	25% P883 覆土 流れ込み
7	埴 土 師 器	A [13.8] B (5.9)	底部欠損。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾して開く。全体に器厚は薄い。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き、外面ナデ後部分的に篋磨き。	砂粒・長石 灰褐色 普通	20% P880 覆土
8	埴 土 師 器	A [10.5] B 6.1 C [5.0]	平底。体部は肥厚な底部から内彎しながら立ち上がり、口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	20% P882 覆土中層
9	坏 土 師 器	A 16.1 B 6.4 C 3.0	平底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は外反して開く。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面粗いナデ後篋磨き。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	90% P879 覆土
10	坏 土 師 器	A [14.0] B (5.7)	体部は内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部は短く外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。体部下端・底部篋削り。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	20% P881 PL83 床面
11	高坏形土器 弥生式土器	B (3.6)	脚部片。脚基部は円柱状を呈する。	脚部外面篋ナデ。	砂粒・雲母・パミス にぶい黄褐色 普通	10% P1298 覆土 流れ込み

第120号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第386図 1	甕 土 師 器	A 27.9 B 26.2 孔径 9.7	無底式の甕。胴部は内彎気味に立ち上がり、上位で直立する。口縁部は外傾して大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後丁寧な篋磨き、外面縦位の篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 良好	70% P884 PL83 覆土中層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第386図 2	甗 土師器	A 25.6 B 23.1 孔径 7.7	無底式の甗。胴部は緩やかなカーブを描いて内彎し、上位で直立する。口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位の筥ナデ、外面縦位の筥ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	90% P 885 覆土中層
3	甗 土師器	A 21.5 B 22.3 孔径 7.5	無底式の甗。胴部は内彎気味に立ち上がり、上位で直立する。口縁部は外傾して大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ後筥磨き。内外面共一部剝離が進む。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	70% P 886 覆土下層
4	高坏 土師器	A [17.8] B (6.0)	脚部欠損。坏部は下位に稜を有し、外傾して外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面丁寧なナデ、外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	40% P 887 覆土
5	高坏 土師器	D [14.2] E (6.0)	坏部欠損。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部は外反する。端部は平坦である。	脚部内面筥削り、外面摩滅し整形不明。裾部横ナデ。	砂粒・長石 灰黄褐色 普通	30% P 888 覆土中層
6	埴 土師器	A 11.8 B 6.1 C 4.5	平底。体部は内彎気味に外上方に開き、口縁部に至る。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面筥ナデ、外面筥削り。内外面黒色処理。	砂粒・長石・礫 黒色 普通	95% P 889 覆土中層
7	坏 土師器	B (4.7)	体部は浅い皿状を呈し、内彎気味に外上方に開く。口縁部は内傾し、体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後筥磨き、外面筥削り。内外面黒色処理。	砂粒・長石・パミス 黒色 普通	70% P 890 覆土下層

第121号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第387図 1	甗 土師器	A 20.2 B (27.3)	胴部は内彎しながら立ち上がり、長胴を呈する。最大径は下位にもつ。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面縦位の筥削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	60% P 891 床面
2	甗 土師器	A [20.8] B (29.5)	胴部は内彎しながら立ち上がり、長胴を呈する。最大径は下位にもつ。口縁部は大きく外反して開く。頸部と胴部の境に横ナデによる段をもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位、外面縦位の筥削り。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	70% P 892 PL83 床面
3	甗 土師器	A 15.7 B 28.0 C 5.8	平底。胴部は内彎して立ち上がり、長胴を呈する。最大径は中位より下がる。口縁部は直立した後、外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面筥削り。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	60% P 893 PL83 床面
4	甗 土師器	A 14.8 B (20.1)	胴部は緩く内彎し、長胴を呈する。口縁部は緩く外反した後、大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面縦位の筥削り。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	70% P 894 床面
第388図 5	甗 土師器	A [20.4] B 29.1 C 7.2	平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、やや長胴を呈する。口縁部は直立した後、大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面縦位の筥削り。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	50% P 895 床面
6	甗 土師器	A [18.0] B (13.3)	胴部は緩く内彎する。口縁部は垂直に立ち上がり、外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	30% P 896 床面
7	小形甗 土師器	A [14.8] B 11.6 C 6.0	平底。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がる。口縁部は外反して開く。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後一部筥磨き。外面筥ナデ。	砂粒・長石 褐灰色 普通	70% P 897 PL83 床面
8	高坏 土師器	B (5.7) D [10.1] E 4.5	坏部欠損。脚部はラップ状を呈し、裾部で緩く外反して開く。	脚部内面筥削り、外面ナデ後筥磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P 898 覆土中層
9	坏 土師器	A [13.6] B (4.0)	体部は浅い皿状を呈し、口縁部はほぼ直立する。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内面横位の筥磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ後筥磨き、外面筥削り。	砂粒 灰白色 普通	10% P 899 床面

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第388図 10	坏 土師器	A [14.6] B (3.4)	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外反気味に開く。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内面横ナデ後篋磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石 黒褐色 普通	10% P900 覆土

第124号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第389図 1	甕 土師器	A 27.0 B (13.0)	胴部は外下方に開く。口縁部は緩く外反し、口縁端部は凹面となる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい赤褐色 普通	15% P902 床面 胴部外面煤付着
2	甌 土師器	B (7.9) C 7.6 孔径 [6.6]	無底式の甌。胴部は外傾しながら外上方に開く。	胴部内外面篋ナデ後一部篋磨き。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	10% P903 覆土中層
3	鉢 土師器	A [12.1] B 6.3 C 7.0	平底。胴部は器厚を減じながら、外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。底部に木葉痕。	砂粒・長石・石英 にぶい橙色 普通	30% P904 床面
4	坏 土師器	A [11.6] B 5.4 C 3.6	体部は皿状を呈する。口縁部は緩く外反気味に立ち上がった後、直立する。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。内外面赤彩。	砂粒・長石 赤褐色 普通	40% P905 覆土
5	坏 土師器	A [12.4] B (3.9)	体部は皿状を呈する。口縁部は外反気味に立ち上がった後、直立する。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。内外面赤彩。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	15% P906 床面
6	坏(脚付) 土師器	B (3.3) D 6.5 E 2.3	坏部欠損。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部は緩く外反する。	脚部内外面ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	20% P907 覆土

第126号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第389図 1	甕 土師器	A [27.6] B (22.0)	胴部は内彎し、口縁部は「く」の字状に外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・礫 明赤褐色 普通	40% P908 PL84 床面
2	甌 土師器	B (4.2) 孔径 3.1	無底式の甌。胴部は肥厚な底部から外上方に開く。	胴部内面ナデ、外面ナデ、下端は篋削り。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	10% P909 床面
3	高坏 土師器	A [18.4] B (12.4) E (7.4)	裾部欠損。坏部は下位に稜を有し、外上方に立ち上がる。口縁部は外反気味に開く。脚部は円筒状を呈する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ。脚部外面ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石・雲母・ 白色針状物質 にぶい橙色 普通	60% P910 PL84 床面
4	坏 土師器	A 13.3 B 6.6 C 3.5	平底。体部は内彎しながら外上方に開き、上位で張る。口縁部は外傾して開き、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋削り、外面篋ナデ。体部下端篋削り。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	95% P911 PL84 覆土
5	坏 土師器	A 13.7 B 5.1 C 4.1	上げ底。体部は器厚を減じながら、内彎しながら立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁で外面横ナデ。口縁部・体部内面ナデ後篋磨き。体部外面篋削り。内面赤彩。	砂粒・長石 明赤褐色 やや不良。	90% P912 PL84 貯蔵穴内底面
第390図 6	坏 土師器	A 14.4 B 5.4	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がる。口縁部はやや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後縦位の篋磨き、外面ナデ後横位の篋磨き。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	60% P913 床面
7	坏 土師器	A [13.0] B 5.0 C 4.7	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面剝離が著しく、整形不明。	砂粒・長石・スコリア 橙色 やや不良。	70% P914 床面

第130号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第390図 1	甕 土師器	A 18.5	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は頸部から「く」の字状に外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	70% P915 床面
		B 30.3				
C 8.6						
2	甕 土師器	A 19.3	胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・雲母・バミス 橙色 普通	40% P916 床面
		B (26.2)				
第391図 3	甕 土師器	A 16.3				
B (12.3)						
4	甕 土師器	A [17.7]	口縁部は緩く外反して開き、胴部は内彎して球形状を呈する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 灰白色 普通	10% P918 覆土
		B (14.8)				
5	甕 土師器	A [16.0]				
		B (7.5)				
6	小形甕 土師器	A 11.1	平底。胴部は器厚を減じながら、外傾して立ち上がり、肩部でやや張る。口縁部は外傾して開く。	口頸部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 灰褐色 やや良好	98% P920 覆土下層 胴部外面煤付着
		B 14.5				
		C 4.9				
7	小形甕 土師器	A [12.2]	平底。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は外傾して開く。	口縁部内面横ナデ。胴部内面篋ナデ。外面は摩滅が進行し、整形不明。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	40% P921 床面
		B 10.5				
		C [6.4]				
8	壺 土師器	A 18.9	上げ底。胴部は球形状を呈する。口縁部はほぼ直立した後、緩く外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・礫 浅黄褐色 普通	80% P922 PL84 床面
		B 34.8				
		C 7.4				
第392図 9	壺 土師器	A 17.2	胴部は球形状を呈し、中位で強く張る。口縁部は垂直に立ち上がった後、外反して開く。	胴部内面篋ナデ。口縁部内外面・胴部外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	60% P923 PL84 床面
		B (28.9)				
10	甕 土師器	A 24.3				
		B 22.5				
		孔径 7.5				
11	甕 土師器	A [23.6]	無底式の甕。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面丁寧なナデ。胴部外面は剝離が進行する。	砂粒・長石・雲母 にぶい黄褐色 普通	80% P925 床面
		B 26.8				
		孔径 5.9				
12	鉢 土師器	A 20.4	上げ底。胴部は外傾しながら外上方に開く。	胴部内面篋ナデ一部篋削り、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P926 覆土下層 甕からの転用
		B 7.9				
		C 7.9				
第393図 13	高坏 土師器	A 13.1	坏部は器厚を減じながら、内彎気味に外上方に開き、口唇部は尖る。脚部は「ハ」の字状に外下方に開き、裾部は緩く外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部ナデ後内面縦位、外面横位の篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・バミス 浅黄褐色 普通	90% P927 PL84 覆土下層
		B 9.8				
		D 10.1				
		E 3.9				
		高坏				
14	高坏 土師器	D 13.6	脚部片。脚部は器厚を減じながら、「ハ」の字状に外下方に開く。裾部は外反する。	脚部内面横位の篋ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	40% P928 覆土中層
		E (5.5)				
		高坏				

第131号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第393図 1	甕 土師器	A [30.0]	口縁部は緩く外反して開き、胴部は内彎気味に外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	20% P929 PL85 覆土中層
		B (23.2)				
2	埴 土師器	B (7.4)				
		C 2.7				
		埴				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第394図 3	坏 土師器	A [13.8] B 5.2	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は内傾する。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	70% P931 PL85 床面
4	坏 土師器	A [15.8] B (3.6)	口縁部片。口縁部はほぼ直立し、体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内面ナデ後篋磨き、外面横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	5% P932 カマド内覆土

第133号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第394図 1	甕 土師器	B (9.1) C 7.5	上げ底。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がる。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	15% P933 覆土
2	高 坏 土師器	A [20.6] B (6.5)	坏部片。坏部は下位に稜を有し、外上方に開く。	坏部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	20% P934 覆土
3	高 坏 土師器	B (3.5)	脚部欠損。坏部は下位に稜を有し、内彎気味に外上方に立ち上がる。	坏部内外面ナデ。坏部内面剝離が著しい。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	40% P935 覆土

第135号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第394図 1	甕 土師器	A [17.2] B (6.9)	口縁部は頸部から大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・スコリア にぶい橙色 普通	5% P936B 貯蔵穴内覆土
2	甕 土師器	B (23.7) C 6.6	平底。胴部は内彎して外上方に立ち上がり、最大径は下位にもつ。	胴部内面篋ナデ、外面縦位の篋削り。	砂粒・スコリア にぶい橙色 普通	80% P936A PL85 貯蔵穴内覆土 P936Bと同一個体
3	甕 土師器	B (5.9) C 6.8	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。胴下半部に孔径1.0cmの円孔が穿たれている。	胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	20% P937 覆土 鉢に再利用している可能性有
4	甕 土師器	B (8.1) C 5.9 孔径 4.7	胴部は内彎気味に外上方に立ち上がる。底部は中央部に円孔が穿たれ、僅かに底面を残す。	胴部内面篋ナデ、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石 にぶい黄褐色 普通	20% P938 貯蔵穴内覆土
5	高 坏 土師器	A [13.0] B (4.3)	坏部片。坏部は器厚を減じながら、内彎して外上方に開き、口縁部は直立する。	口縁部内面横ナデ。口縁部外面・坏部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 橙色 普通	30% P939 覆土
第395図 6	埴 土師器	A [11.7] B 6.7 C 4.8	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面丁寧な篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい黄褐色 普通	50% P942 覆土
7	埴 土師器	A 12.6 B 9.2	底部は歪んだ丸底。体部は内彎しながら外上方に開き、口縁部は外反気味に立ち上がる。	口縁部・体部内面篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。内外面赤彩。	砂粒・礫 暗赤褐色 普通	98% P952 PL85 貯蔵穴内覆土
8	埴 土師器	A [13.0] B 7.9 C 4.0	平底。体部は外傾しながら外上方に立ち上がり、口縁部に至る。口縁部は内傾気味に立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	50% P954 貯蔵穴内覆土
9	坏 土師器	A 13.8 B 5.5	底部は肥厚な丸底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部に至る。	体部内面ナデ後横位の篋磨き、外面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。全体に摩滅する。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	90% P941 貯蔵穴内覆土
10	坏 土師器	A [13.8] B 6.0 C 7.9	丸底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部はやや外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	70% P955 貯蔵穴内覆土

図版番号	器 種	法量 (cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第395図 1 1	坏 土 師 器	A [13.8] B (4.1)	口縁部は垂直気味に立ち上がった後、やや外反する。	口縁部内外面横ナデ。内外面赤彩。	砂粒・長石 赤色 普通	10% P940 貯蔵穴内覆土
1 2	装飾器台 土 師 器	B (2.2)	器受部片。器受部底面は円板状を呈し、緩く反りながら外側に張り出す。	内面ナデ後篋磨き、外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	10% P943 覆土 流れ込み
1 3	罎 土 師 器	B (6.4) C 5.3	口縁部欠損。底部は歪んだ平底。胴部は内彎して立ち上がり、中位で張る。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	60% P944 覆土
1 4	坏(脚付) 土 師 器	B (3.5) D 4.0 E 2.5	脚部片。基部は円柱状を呈し、裾部で外下方に開く。	脚部外面ナデ後篋磨き。裾部内外面横ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	20% P946 覆土
1 5	高坏形土器 弥生式土器	B (4.4)	脚部片。脚部は円柱状を呈する。	脚部内外面篋ナデ。	砂粒・パミス 灰白色 普通	10% P1299 覆土 流れ込み

第136号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量 (cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第395図 1	甕 土 師 器	A 12.5 B 29.9 C 5.9	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は外傾して開く。	口縁部内面横ナデ、外面ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	60% P948 PL85 覆土
2	甕 土 師 器	A 17.0 B (11.0)	胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して大きく開く。口唇部は平坦である。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス 明赤褐色 普通	30% P950 PL85 覆土上層
3	高 坏 土 師 器	B (5.5) E (3.7)	脚部片。脚部は「ハ」の字状に外下方に開く。	脚部内面篋ナデ、外面整形不明。裾部内外面横ナデ。	砂粒・礫・長石 にぶい橙色 普通	30% P951 覆土
第396図 4	罎 土 師 器	A [13.4] B (6.2)	体部は内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は外傾して開く。	口縁部・体部内面ナデ後横位の篋磨き。口縁部外面横ナデ。底部外面篋ナデ。	砂粒・長石 赤色 普通	40% P956 PL85 覆土
5	坏 土 師 器	A 14.0 B 5.9	底部は肥厚な丸底を呈し、体部は内彎しながら外上方に開く。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ。口縁部内面・体部外面剥離が著しい。	砂粒・長石・スコリア 橙色 やや不良	90% P957 PL85 覆土

第138号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量 (cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第396図 1	甕 土 師 器	A 19.7 B (11.4)	胴部は内彎して頸部に至る。口縁部はほぼ直立し、大きく外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石・スコリア 浅黄褐色 普通	10% P963 覆土中層
2	小形 甕 土 師 器	A 11.3 B 10.6 C 7.2	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がる。胴部と口縁部の境に横ナデによる稜を僅かにもつ。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面剥離が著しく整形不明。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 やや不良	90% P966 PL85 床面
3	甕 土 師 器	A [27.5] B 23.5 孔径 [8.9]	無底式の甕。胴部は緩く内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部は外反しながら開く。	口縁部内面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面縦位の篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア にぶい黄褐色 普通	50% P964 PL85 覆土中層
4	高 坏 土 師 器	B (5.5) D 10.0 E 4.9	坏部欠損。脚部は器厚を減じながら、外下方に開き、裾部で外反する。	脚部内面篋削り、外面篋ナデ。裾部外面横ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい橙色 普通	50% P965 床面

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第396図 5	坏土師器	A 15.6 B (7.0)	体部は血状を呈し、口縁部はほぼ垂直に立ち上がる。体部と口縁部の境に明瞭な稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。口縁部・体部内面篋磨き。体・底部外面篋削り。内面黒色処理。	砂粒・長石・雲母 に お い い 黄 橙 色 普通	80% P967 PL85 覆土
6	坏土師器	A 15.0 B 3.2	体部は浅い血状を呈し、口縁部は緩く外反気味に立ち上がる。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 灰褐色 普通	100% P968 PL85 床面
7	坏土師器	A 14.2 B 4.6	体部は血状を呈し、口縁部は内傾しながら立ち上がる。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部・体部内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・長石 灰褐色 普通	90% P969 PL85 覆土
8	坏土師器	A 13.5 B 4.1	体部は血状を呈し、外上方に開く。口縁部は垂直に立ち上がる。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部・体部内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・雲母・スコリア 浅黄橙色 普通	100% P970 床面
9	坏土師器	A 13.9 B 3.6	体部は浅い血状を呈し、口縁部は鋭く内傾する。体部と口縁部の境に稜を有する。	口縁部内面横ナデ後横位の篋磨き、外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒 明褐色 普通	90% P971 PL85 床面
第397図 10	坏土師器	A [15.6] B 3.1	体部は浅い血状を呈し、口縁部はほぼ垂直に立ち上がる。	口縁部内外面・体部内面ナデ後篋磨き。体部外面篋削り。内面黒色処理。	砂粒・長石 黒褐色 普通	30% P972 覆土
11	坏土師器	A [14.8] B (3.6)	口縁部は外上方に外傾して開く。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内面ナデ後篋磨き、外面剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石 橙色 普通	20% P973 覆土
12	坏土師器	A [15.8] B (3.8)	口縁部は内彎気味に外上方に開き、体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・雲母・長石 に お い い 橙 色 普通	20% P974 覆土
13	壺形土器 弥生式土器	B (13.4)	胴部・口縁部欠損。頸部は胴部から緩やかに内彎した後、外傾して口縁部に至る。	内面ナデ。口縁部波状文。頸部に隆帯3条。4本櫛歯による縦区画内に波状文充填。胴部上半に連弧文。下半に付加条2種の縄文を施文。	砂粒・長石・雲母・ 白色針状物質 に お い い 褐 色 普通	20% P975 床面 流れ込み

第147号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第397図 1	甕土師器	A 17.9 B 24.4 C 6.0	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は頸部から外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ。全体的に剝離が進み、整形不明。	砂粒・長石 に お い い 黄 橙 色 普通	90% P980 PL86 床面
2	甕土師器	A 17.0 B (4.9)	口縁部片。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、大きく外反する。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ後縦位の篋ナデ。	砂粒・長石 に お い い 褐 色 普通	10% P981 覆土下層
3	小形甕土師器	A 15.1 B 14.3 C 7.3	平底。胴部は内彎しながら外上方に立ち上がり、最大径は中位にもつ。口縁部は大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 橙 色 普通	100% P982 PL86 床面
第398図 4	甕土師器	A [25.2] B (26.8) 孔径 [9.0]	無底式の甕。胴部は緩く内彎気味に外上方に立ち上がり、口縁部に至る。中位に角状の把手を有する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石・雲母 橙 色 普通	50% P983 覆土下層
5	高坏土師器	A 18.2 B 13.5 D 12.0 E 6.5	坏部は下位に弱い稜を有し、緩く内彎しながら外上方に立ち上がる。脚部は円柱状を呈し、器厚を減じながら、裾部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部内外面横ナデ。	砂粒・長石・バミス 橙 色 良好	90% P984 PL86 覆土
6	高坏土師器	A 19.0 B 14.0 D 11.7 E 6.9	坏部は下位に稜を有し、緩く内彎気味に外上方に立ち上がる。脚部は円柱状を呈し、器厚を減じながら、裾部で外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 に お い い 橙 色 良好	90% P985 PL86 覆土

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第398図 7	高 土師器	A 18.2 B 14.1 D 12.2 E 7.3	坏部は下位に稜を有し、緩く内彎気味に外上方に立ち上がる。脚部は円柱状を呈し、裾部で大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	85% P986 貯蔵穴覆土上層
8	高 土師器	A 19.0 B 13.5 D 11.2 E 6.7	坏部は下位に稜を有し、緩く内彎しながら立ち上がる。脚部は円柱状を呈し、裾部で外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石・パミス に ぶ い 橙 色 良 好	90% P987 覆土
第399図 9	壺 土師器	A [10.4] B (5.4)	体部は内彎し、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石 赤色 普通	10% P988 覆土
10	坏 土師器	A [13.6] B (4.7)	底部欠損。体部は内彎しながら口縁部に至る。口縁部は直立する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 暗赤褐色 普通	10% P989 覆土
11	坏 土師器	A 13.6 B 4.6	丸底。体部は緩く内彎して外上方に立ち上がる。口唇部は尖る。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス に ぶ い 褐 色 普通	60% P990 PL86 覆土下層
12	坏 土師器	A [12.5] B 4.8	丸底。体部は緩く内彎気味に立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 に ぶ い 橙 色 普通	60% P991 PL86 床面
13	坏 土師器	A [13.0] B 3.9	丸底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部は外傾する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 に ぶ い 赤 褐 色 普通	95% P992 覆土
14	坏(脚付) 土師器	A 13.5 B 5.8 D 4.0 E 2.2	坏部は器厚を減じながら、緩く内彎気味に外上方に開く。口唇部は尖る。脚部は円柱状を呈し、裾部は外下方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面丁寧なナデ。脚部外面縦位の篋磨き。裾部横ナデ。脚部内面に「×」の線刻を有する。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	90% P993 PL86 覆土下層
15	坏(脚付) 土師器	B (3.0) D 4.4 E 2.0	脚部片。脚部は円柱状を呈し、裾部で短く開く。	脚部外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	10% P994 覆土

第150号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第400図 1	坏 土師器	A [10.8] B (3.8)	口縁部片。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、体部との境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。底部内面篋磨き、外面篋削り。	砂粒 橙色 普通	10% P999 覆土

第155号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第400図 1	壺 土師器	A 18.2 B (17.4)	胴部は内彎し、口縁部は大きく外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。輪積み痕が明瞭に残る。	砂粒・長石 灰褐色 普通	50% P1002 PL86 覆土
2	壺 土師器	B (13.0) C 7.5	上げ底。胴部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がる。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 褐色 不良	35% P1003 貯蔵穴内上層
3	壺 土師器	A 10.4 B (15.6)	胴部は扁平な球形状を呈する。口縁部は外傾しながら立ち上がり、口唇部に至る。	口縁部上半内外面横ナデ。口縁部下半内外面篋磨き。胴部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス 橙 色 普通	60% P1004 PL86 カマド内覆土
4	高 土師器	B (4.8)	脚部片。脚部は円筒状を呈し、裾部で外下方に開く。	脚部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 に ぶ い 褐 色 普通	20% P1005 覆土

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第400図 5	高 坏 土 師 器	B (6.5)	脚部片。脚部は円筒状を呈し、外下方に開く。脚上部には坏部との接合のために沈線が刻まれている。	脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 淡橙色 普通	30% P1006 覆土
6	坑 土 師 器	A 8.6 B 4.4	丸底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部は内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 浅黄橙色 普通	90% P1008 PL86 床面
7	坑 土 師 器	A [11.0] B 5.0	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、上位で直立する。口縁部は外反。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面下半篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	20% P1009 覆土
8	坏 土 師 器	A 12.1 B 5.6	丸底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	60% P1007 覆土
9	坏 土 師 器	A 15.3 B 5.6 C 5.0	平底。体部は緩く内彎気味に立ち上がり、口縁部は直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ後篋磨き、外面下半篋削り。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	70% P1010 PL86 床面
10	坏 土 師 器	A 12.0 B 4.7 C 4.1	丸底。体部は緩く内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや内彎する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	80% P1011 PL86 床面

第158号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第402図 1	壺 土 師 器	A [13.4] B (11.0)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は外反しながら外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒 橙色 普通	30% P1015 床面
2	壺 土 師 器	A [15.0] B (6.5)	口縁部片。口縁部はほぼ垂直に立ち上がった後、上位で外反する。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	10% P1016 覆土下層

第161号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第402図 1	高 坏 土 師 器	B (6.0) D [8.7] E 4.7	脚部片。脚部は器厚を減じながら、「ハ」の字状に開き、裾部は外反する。	脚部内面篋ナデ。裾部外面横ナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	30% P1018 覆土
2	坏 土 師 器	A [14.0] B (3.7)	体部は浅い皿状を呈し、外上方に開く。口縁部は内傾する。	内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒 にぶい橙色 普通	20% P1019 床面
3	坏 土 師 器	A [11.0] B (3.2)	体部は浅い皿状を呈し、緩く内彎気味に立ち上がる。口縁部はやや内傾する。	内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・雲母 浅黄橙色 普通	10% P1020 覆土

第162号住居跡出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第402図 1	坏 土 師 器	A [10.4] B (6.0)	丸底。体部は緩く内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部に至る。口縁端部は短く外反する。	内面ナデ後篋磨き。外面篋削り。	砂粒・スコリア 淡赤橙色 普通	30% P1021 覆土
2	坏 須 恵 器	B (3.9)	底部はほぼ平坦で、体部は内彎気味に立ち上がり、外上方に開く。	水挽き整形。底部回転篋削り。	砂粒・長石・雲母 灰黄色 普通	20% P1022 覆土

第165号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第402図 1	高坏土師器	D [8.8] E (4.2)	脚部片。脚部は器厚を減じながら、「ハ」の字状に開き、裾部は外反する。	内外面篋ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	10% P1023 覆土
2	坏土師器	A [16.7] B (3.1)	体部は緩く内彎し、口縁部は器厚を減じながら外反して開く。	内面ナデ後篋磨き。口縁部内外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒 浅黄橙色 普通	20% P1024 覆土
3	坏土師器	A [14.2] B (3.8)	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外傾する。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒 橙色 普通	5% P1025 覆土
4	高坏須恵器	E (3.7)	脚部片。脚部は円筒状を呈し、裾部で外反する。長方形の透かし孔が4方向に穿つてある。	水挽き整形。	砂粒 灰色 普通	10% P1026 覆土
5	高坏須恵器	A [15.6] B (3.8)	坏部口縁部片。外傾しながら立ち上がり、口縁部に至る。	水挽き整形。口縁部には2条の凸線が巡り、その下位に波状文が施されている。	砂粒 褐灰色 普通	5% P1027 覆土

第168号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第403図 1	坏土師器	A [14.4] B 4.0	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は強く内傾する。体部との境に明瞭な稜を有する。	内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・長石 赤黒色 普通	50% P1028 覆土
2	坏土師器	A [12.4] B (3.2)	体部は皿状を呈し、口縁部はやや内彎する。体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	10% P1029 覆土

第174号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第403図 1	甕土師器	A [16.0] B (6.4)	口縁部はほぼ垂直に立ち上がった後、外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 淡橙色 普通	10% P1030 床面
2	甕土師器	A 22.6 B 23.3 孔径 7.9	無底式の甕。胴部は外傾しながら立ち上がり、中位でやや内彎する。口縁部は緩く外反しながら開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。	砂粒・長石 赤褐色 普通	95% P1031 PL86 覆土下層
3	坑土師器	A 9.7 B 5.3 C 6.0	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は器厚を減じながら直立する。口唇部は丸くおさめる。	口縁部内外面横ナデ。体部内面篋ナデ、外面ナデ。底部に木葉痕を残す。	砂粒・雲母 赤褐色 普通	80% P1032 覆土下層
4	坏土師器	A [14.0] B 5.0	丸底。体部は内彎しながら外上方に立ち上がり、口縁部に至る。	内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 黒褐色 普通	60% P1033 PL86 床面
5	坏土師器	A [15.6] B 4.8	体部は浅い皿状を呈し、口縁部は外傾して開く。体部との境に稜をもつ。	口縁部内面ナデ後篋磨き、外面横ナデ。体部内面篋磨き、外面篋削り。	砂粒・雲母 橙色 普通	60% P1034 PL86 覆土下層
6	坏土師器	A [12.1] B 4.5	体部は皿状を呈し、口縁部は外反しながら外上方に開く。体部との境に稜を有する。	内面ナデ後篋磨き。口縁部外面横ナデ。体部外面篋削り。内外面赤彩。	砂粒・礫・雲母 赤色 普通	40% P1035 覆土下層
7	坏土師器	A [12.6] B (4.4)	体部は皿状を呈し、口縁部は外傾しながら外上方に開く。体部との境に稜を有する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後放射状の篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	40% P1036 PL86 覆土下層
8	坏土師器	A [12.8] B 5.1	体部は平底気味の底部から内彎しながら立ち上がり、口縁部は直立する。	口縁部外面横ナデ。体部外面ナデ。内面剝離が著しく整形不明。	砂粒 にぶい橙色 普通	40% P1037 床面

奈良・平安時代

第1号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第404図 1	甕 土師器	A [20.4] B (8.5)	張りの弱い胴部から、頸部を外反させて、口縁端部を外上方へつまみ出す。頸部及び口縁端部の外面は凹む。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・石英・雲母にぶい褐色普通	10% P501 東壁中央部付近の覆土下層
2	甕 土師器	A [19.4] B (7.4)	張りの弱い胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁端部をほぼ垂直につまみ上げる。	口縁部から胴部上位にかけて内・外面横ナデ。	砂粒・長石 灰白色 普通	10% P502 PL87 南東コーナー付近の床面
3	甕 土師器	B (5.2) C [8.6]	底部は平底で、胴部は内彎気味に立ち上がる。	胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位のナデ。	砂粒・石英 にぶい赤褐色 普通	20% P503 南東コーナー付近の覆土下層
4	坏 土師器	A [14.7] B 4.7 C [9.0]	底部は平底で、体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転篋切り後ナデ。体部下端手持ち篋削り。	砂粒・雲母 橙色 普通	20% P504 東壁中央部付近の覆土下層
5	高台付坑 土師器	A [15.6] B 6.7 D [8.6] E 1.6	底部と体部の境に、「ハ」の字状に開く高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。内面篋磨き。外面の水挽き痕強い。体部下位回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒 褐灰色 良好	20% P505 PL87 南東コーナー付近の床面
6	高台付坏 土師器	B (2.0) D [7.4] E 1.3	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高台が付く。	水挽き整形。内面篋磨き。高台貼り付け。	砂粒 浅黄橙色 普通	5% P506 南東部の覆土

第2号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第404図 1	甕 土師器	A [25.8] B (5.7)	頸部は「く」の字状に屈曲し、口縁端部をわずかにつまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 浅黄橙色 普通	5% P507 PL87 カマド付近の覆土下層
2	坏 土師器	B (1.6) C [7.6]	底部は平底で、体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転篋切り後ナデ。	砂粒・雲母 にぶい赤褐色 普通	10% P508 カマド燃焼部の覆土中層
3	坏 土師器	B (1.1) C 6.5	底部は平底。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転糸切り。	砂粒・雲母 灰褐色 普通	20% P509 カマド燃焼部の覆土下層

第3号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第404図 1	高台付坏土師器	A [15.9] B (4.9) E (0.9)	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転糸切り。高台貼り付け。	砂粒 にぶい褐色 普通	70% P510 PL87 南東コーナー付近の覆土下層 正位 墨書「太」
2	高台付坏土師器	B (3.3) D [8.4] E 1.9	底部はやや上げ底で、「ハ」の字状に開く高台が付く。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。高台貼り付け。	砂粒 淡橙色 普通	15% P511 南東部の覆土
3	高台付坏土師器	D [10.6] E 2.0	外側へ踏ん張る高台。		砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	10% P512 南東部の覆土

第4号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第405図 1	甕土師器	A [18.3] B (11.4)	丸く張った胴部から、頸部を強く外反させて、口縁端部を外上方へつまみ上げる。	口縁部から胴部上位にかけて内・外面横ナデ。胴部外面中位以下縦位の篋削り。	砂粒 明赤褐色 普通	20% P513 PL87 カマド燃焼部の覆土
2	壺須恵器	B (3.5) D [7.7] E 0.9	底部と胴部の境に短く外側へ踏ん張る高台が付く。胴部は内彎気味に立ち上がる。	高台貼り付け。	砂粒 灰白色 普通	5% P519 PL87 南東部の覆土
3	坏土師器	A [12.8] B (3.2)	体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。体部下位ににぶい稜をもつ。	水挽き整形。体部内・外面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒・雲母 にぶい褐色 普通	30% P516 北東部の覆土
4	坏須恵器	B (3.0) C [8.8]	底部は平底で厚い。体部は外傾して立ち上がり、底部との境に偏狭な面をもつ。	水挽き整形。底部回転篋削り後底部及び体部下端手持ち篋削り。	砂粒 黄灰色 普通	15% P518 PL87 北東コーナー付近の覆土下層 逆位
5	高台付坑土師器	A [15.2] B (4.9) E (0.4)	底部は平底で、体部との境に高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。高台貼り付け。	砂粒・雲母 灰褐色 普通	40% P515 中央部付近の覆土中層 正位

第5号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第405図 1	高台付坏須恵器	B (1.7) D [8.4] E 0.5	底部は平底で、短く直立する高台が付く。高台の接地面は平坦。	水挽き整形。底部回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒 黄灰色 普通	10% P520 南東部の覆土

第8号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第405図 1	坏須恵器	A [14.0] B 4.9 C 7.4	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり、口縁部付近で軽く外反する。底部と体部の境は偏狭な面を有する。	水挽き整形。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 灰色 普通	70% P526 PL87 カマド前方の覆土下層 逆位

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第405図 2	高台付坏 土師器	A 13.8	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高台が付く。体部は下位に稜を持ち、外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部及び体部下端回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒・スコリア 浅黄褐色 普通	80% P521 PL87 北コーナー付近の床面 正位
		B 5.6				
		D 7.8				
		E 1.9				
3	高台付坏 土師器	B (2.8)	底部は平底で、ほぼ直立する高台が付く。底部と体部の境に明瞭な稜を持つ。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転篋削り(右)。	砂粒・スコリア にふい橙色 普通	30% P522 PL87 南コーナー付近の床面 正位 墨書有り
		D 8.6				
		E 1.5				
4	高台付坏 土師器	B (2.0)	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高台が付く。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部は摩滅が著しく調整不明。	砂粒・スコリア 褐灰色 普通	30% P523 南コーナー付近の床面 逆位
		D [8.5]				
		E 1.4				

第9号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第405図 1	坏 土師器	A [12.4]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。口唇部は丸い。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒 にふい橙色 普通	20% P527 南東部の覆土
		B 3.7				
		C [7.4]				
2	坏 土師器	A [12.0]	底部は平底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・雲母 橙色 普通	20% P528 南東部の覆土
		B 3.3				
		C [5.6]				
3	坏 土師器		口縁部片。口唇部は丸い。	水挽き整形。	砂粒 灰白色 普通	5% P530 カマド燃焼部の覆土 墨書有り
4	高台付坏 土師器	A [13.0]	底部は平底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内・外面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒 灰白色 普通	20% P529 PL87 カマド燃焼部の覆土
		B 4.8				
		D [5.8]				
		E 0.8				

第10号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第406図 1	甕 土師器	A 22.7	底部は平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、上位で丸く張る。頸部は「く」の字状に屈曲し、口縁端部を外上方へつまみ出す。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面上位ナデ。中位以下斜位の篋磨き。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 にふい褐色 普通	70% P532 PL87 中央部付近の床面
		B 31.7				
		C 9.2				
2	甕 土師器	A 22.5	丸く張った胴部から、頸部を丸く屈曲させて、口縁端部を外上方へつまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面上位横位の篋ナデ。中位以下縦位の篋磨き。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 明赤褐色 普通	50% P533 PL87 中央部とカマド付近の床面
		B (26.1)				
3	甕 土師器	A [22.0]	丸く張った胴部から、頸部を大きく外反させて、口縁端部を外上方へつまみ出す。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 にふい橙色 普通	30% P534 PL87 北東部の床面
		B (11.2)				
4	甕 土師器	A [13.8]	小形甕。底部は平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・スコリア 暗赤褐色 普通	60% P535 PL87 北東部の床面 正位
		B 12.5				
		C 7.4				
5	甕 土師器	B (10.1)	小形甕。底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部外面下位篋削り。内面横位の篋ナデ。	砂粒・礫 灰褐色 普通	60% P536 PL87 カマド付近の覆土上層 正位
		C 5.0				
6	坏 須恵器	B (1.7)	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。	水挽き整形。底部回転篋削り(左)。	砂粒 灰白色 普通	5% P541 西壁中央部付近の覆土
		C [8.6]				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第406図 7	高台付坏 須恵器	A 18.0	底部は平底で、ほぼ直立する高台が付く。体部は外傾して立ち上がり、口縁部付近で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒・礫 にぶい赤褐色 普通	75% P538 PL87 北西コーナー壁直下の覆土下層 正位
		B 7.1				
		D 11.4				
		E 1.2				
8	蓋 須恵器	A 17.3	鉦はやや腰高で、上部は平坦。天井部は浅く、なだらかに下降する。口縁部はにぶく屈曲し、短く垂下する。	水挽き整形。天井部は径12cmにわたり回転篋削り。内面に自然釉付着。	砂粒・礫 黄灰色 普通	100% P539 PL87 西壁中央部付近の床面横位
		B 4.2				
		F 2.7				
		G 1.3				
9	蓋 須恵器	A [13.8]	口縁部はにぶく屈曲し、やや外傾しながら下降する。	水挽き整形。天井部に自然釉付着。	砂粒 灰色 普通	5% P540 西壁中央部付近の覆土
		B (2.8)				

第11号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第407図 1	甕 土師器	A [15.4] B (7.3)	小形甕。丸く張った胴部から、頸部を外反させて、口縁部を外上方へつまみ出す。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	5% P715 PL87 中央部付近の覆土下層

第13号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第407図 1	甕 土師器	B (5.7)	底部は平底で、胴部は外傾して立ち上がる。底部と胴部の境は明瞭に屈曲する。	底部及び胴部外面篋磨き。内面篋ナデ。	砂粒・長石 赤褐色 普通	10% P673 PL87 南壁中央部からやや西寄りの床面
		C [15.2]				
2	坏 土師器	A [14.0]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部はやや尖る。	水挽き整形。内面摩減が著しく調整不明。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒・雲母 にぶい黄橙色 普通	10% P674 南東部の覆土
		B 3.5				
		C [7.0]				
3	坏 土師器	B (2.9)	底部は平底で、体部は内彎気味に立ち上がる。	水挽き整形。底部回転糸切り後軽いナデ。体部下端手持ち篋削り。	砂粒 灰白色 普通	10% P675 南西部の覆土
		C [6.8]				
4	坏 土師器	B (2.0)	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 浅黄橙色 普通	15% P676 北東コーナー付近の床面
		C [7.1]				
5	坏 土師器		体部片。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒 浅黄褐色 普通	5% P544 南西部の覆土 墨書有り

第14号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第407図 1	甕 土師器	A 22.2	丸く張った胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁部を外上方へつまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 普通	40% P657 PL87 カマド燃焼部の覆土下層
		B (15.8)				
2	甕 土師器	B (3.1)	底部は平底で、木葉痕有り。体部は外傾して立ち上がる。	外面斜位の篋磨き。内面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 褐色 普通	10% P692 北西コーナー付近の床面
		C 7.7				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第407図 3	坏 須恵器	A 13.4 B 4.0 C 8.3	底部は平底で、体部との境に偏狭な面をもつ。体部は直線的に外傾して立ち上がり、口縁部付近でわずかに外反する。	水挽き整形。外面水挽き痕強い。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 灰色 良好	70% P 658 PL87 カマド西側の床面 正位
4	坏 須恵器	A [13.0] B 4.2 C 7.8	底部は平底。体部は直線的に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 灰色 普通	25% P 659 南西部の覆土 外面自然釉付着
5	蓋 須恵器	A [14.4] B (3.7)	天井部は浅く丸い。口縁部はにぶく屈曲して垂下し、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。天井部回転篋削り(右)。	砂粒 褐灰色 普通	20% P 660 カマド燃焼部の覆土

第15号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第407図 1	甕 土師器	A [16.8] B (8.2)	やや張りのある胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口唇部を丸くおさめる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・礫 にぶい赤褐色 普通	10% P 545 中央部付近の覆土下層
2	甕 土師器	A [18.8] B (8.2)	丸く張った胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁部をほぼ垂直につまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	10% P 546 PL87 中央部付近の覆土下層
第408図 3	甕 土師器	B (6.0) C [8.2]	底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部外面縦位の篋ナデ。内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 褐灰色 普通	10% P 547 カマド燃焼部の覆土
4	坏 土師器	A [12.6] B 4.3 C [6.3]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 橙色 普通	50% P 549 PL87 中央部の覆土中層 逆位 墨書有り
5	坏 須恵器	A [13.8] B 4.9 C [8.2]	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。底部回転篋削り(右)。	砂粒・長石 橙色 不良	15% P 548 PL87 カマド燃焼部の覆土
6	坏 須恵器	A [13.6] B 4.4 C 8.8	底部は平底。体部は直線的に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転篋削り後手持ち篋削り。	砂粒・長石 灰色 普通	45% P 552 カマド西側の床面 正位
7	坏 須恵器	B (3.5) C [9.2]	底部は平底で、体部は直線的に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。底部回転篋削り(右)。底部及び体部外面に自然釉付着。	砂粒 黄灰色 普通	15% P 553 東壁中央部付近の覆土
8	坏 須恵器	A [12.8] B (4.7)	体部は直線的に、外傾して立ち上がる。口唇部は丸い。	水挽き整形。体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 灰色 普通	10% P 555 北西部の覆土
9	鉢 土師器	A [18.8] B (8.3)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部でやや内傾する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	20% P 550 PL87 北東コーナー付近の床面

第18号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第408図 1	甕 土師器	A [20.0] B (10.0)	張りの弱い胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁部を外上方へつまみ出す。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	10% P 556 PL88 中央部付近の覆土下層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第408図 2	甕 須恵器		胴部片。	胴部外面平行叩き。	砂粒 黄灰色 普通	5% P560 東壁中央部付近の覆土 中層
3	坏 土師器	A [14.9] B (3.6)	体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒・雲母 浅黄褐色 普通	10% P558 カマド燃焼部の覆土
4	高台付坑 土師器	B (6.4) D 8.0 E 1.3	底部は平底で、ほぼ直立する高台が付く。体部は内彎しながら立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。底部摩擦が著しく調整不明。高台貼り付け。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	40% P557 PL88 東壁中央部付近の覆土 中層 逆位
5	灯明皿 土師質土器	A 9.1 B 3.7 C 6.0	底部は平底。体部は内彎気味に立ち上がる。口縁部付近の内面に煤付着。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・雲母 浅黄褐色 普通	100% P559 PL88 中央部の覆土下層 正位

第19号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第409図 1	甕 土師器	B (22.9) C 8.5	底部は平底。胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部外面縦位の篋削り。胴部内面上位横位の篋ナデ。下位斜位の篋ナデ。	砂粒 淡黄色 普通	60% P661 PL88 南東部の床面
2	甕 土師器	B (13.8)	胴部は丸く張り、頸部でほぼ垂直に立ち上がる。	頸部内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面縦位の篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	30% P662 東壁中央部付近の床面
3	坏 土師器	A 17.1 B 3.6	底部から内彎気味に立ち上がり、皿状を呈する。口縁部はやや外傾し、口唇部は尖る。	口縁部内・外面横ナデ。底部外面不定方向の手持ち篋削り。	砂粒・雲母 橙色 普通	100% P663 PL88 南西部の床面 正位
4	坏 土師器	A [12.0] B 4.5	底部は丸底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で直立する。口唇部はやや尖る。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面雑な篋削り。体部内面篋磨き。	砂粒・スコリア 灰褐色 普通	80% P664 PL88 南壁中央部付近の覆土 上層
5	坏 土師器	A [12.4] B 5.0	底部は丸底。体部は内彎気味に立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	体部外面篋ナデ。体部内面篋磨き。	砂粒 灰褐色 普通	35% P665 北東部の覆土下層
6	坏 土師器	A [14.2] B (3.8)	体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で外傾する。口唇部は丸い。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面篋削り。体部内面篋磨き。	砂粒 灰黄褐色 普通	15% P666 南壁中央部付近の覆土 中層
7	坏 須恵器	A [15.2] B 4.9 C [11.6]	底部は丸底気味で厚い。体部は直線的に外傾して立ち上がり、口縁部で直立する。	水挽き整形。底部回転篋削り。	砂粒 褐灰色 普通	35% P668 PL88 南壁中央部付近の床面

第23号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第409図 1	甕 土師器	A [24.4] B 28.0 C [13.2]	胴部は直立し、口縁部で軽く外傾する。口唇部は平坦。底部は五孔式と思われる。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面上位横位の篋ナデ。下位横位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	40% P687 PL88 中央部及び北西部の 床面
2	甕 土師器	A 16.0 B (10.8)	張りの弱い胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁端部をほぼ垂直につまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面縦位の篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 浅黄褐色 普通	50% P688 PL88 中央部から西壁寄りの 床面

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第410図 3	甕 土師器	A [22.0] B (12.7)	張りの弱い胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁端部を外上方へつまみ出す。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面篋ナデ。胴部内面斜位の篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	10% P689 北西部の覆土中層
4	甕 土師器	A [17.2] B (6.6)	頸部は「く」の字状に屈曲し、口縁端部をほぼ垂直につまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	5% P690 中央部付近の床面
5	甕 土師器	A [17.6] B (16.8)	やや張りのある胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁端部をわずかにつまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内・外面ナデ。	砂粒・雲母 褐色 普通	10% P691 PL88 カマド東側の袖の前
6	坏 土師器	B (2.2) C [5.8]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。全体的に器厚は薄い。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転篋削り(右)。	砂粒 にぶい橙色 普通	20% P693 北西部の覆土中層
7	坏 土師器	A [14.7] B (4.3)	体部は外傾して立ち上がり、口縁部でわずかに外反する。	水挽き整形。	砂粒・長石 灰白色 普通	5% P667 北西部の覆土 墨書有り
8	高台付坏 須恵器	B (2.4) D [10.2] E 0.9	底部は平底で、外側へ踏ん張る高台が付く。	水挽き整形。高台貼り付け。	砂粒 黄灰色 普通	10% P694 北西部の覆土
9	置きカマド 土師器	B (8.3)	置きカマドの側辺と思われる。掛口部は平坦。7.5cm下がった所に円形の窓が穿たれる。	内・外面横位の篋ナデ。	砂粒 浅黄橙色 普通	5% P720 北西部の覆土

第25号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第410図 1	甕 土師器	B (22.7) C 8.0	底部は平底で、木葉痕有り。胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部外面上位ナデ。中位以下斜位の篋磨き。内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	30% P562 PL88 北東部の覆土下層
2	甕 土師器	B (4.3) C 3.4	底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部外面下位斜位の篋磨き。内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	30% P564 西コーナー付近の覆土下層
第411図 3	甕 須恵器	B (17.0)	底部は丸底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部外面平行叩き。内面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい褐色 普通	20% P566 PL88 カマド付近の床面
4	坏 土師器	A [14.8] B (5.1)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	35% P565 PL88 南西部の覆土下層

第28号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第411図 1	甕 土師器	A [22.8] B 25.5 C [11.0]	底部は平底。胴部は外傾して立ち上がり、頸部から短く外反する口縁部が付く。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面上位縦位の篋削り。下位横位の篋削り。内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P568 カマド燃焼部の覆土
2	高台付坏 土師器	B (2.9) D [5.4] E 0.4	底部は平底で、短く直立する高台が付く。体部は内彎しながら立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。底部摩滅が著しく調整不明。高台貼り付け。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	20% P569 カマド燃焼部の覆土

第29号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第412図 1	甕 土師器	A 24.5 B 23.3 C [10.0]	底部は平底。張りの弱い胴部から、大きく外反する口縁部が付く。	口縁部内・外面雑なナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	70% P571 PL89 カマド付近の床面
2	甕 土師器	B (6.0) C [11.8]	底部は平底で厚い。胴部はやや外傾して立ち上がる。	胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・礫 暗赤褐色 普通	10% P572 南東部の覆土
3	甕 須恵器		大形の甕の胴部片。	外面弱い平行叩き。	砂粒 暗灰黄色 普通	15% P517 南東部の覆土下層
第413図 4	置きカマド 土師器	B (18.2) C [40.8]	円筒形を呈するカマドの側面。体部は内傾して立ち上がり、底部から17cmの所に円形の窓が穿たれる。	体部外面ナデ。体部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母・長石 外面 灰白色 内面 赤灰色 普通	40% P607 PL89 北東部の床面 内面煤付着
第412図 5	置きカマド 土師器		底部から体部にかけての破片。P607とは別個体。	外面ナデ。	砂粒・雲母・長石 灰白色 普通	5% P710 東壁中央部付近の覆土下層
6	羽釜 土師器		鑄の一部分。	ナデ。	砂粒・雲母・長石 浅黄橙色 普通	5% P711 南東部の覆土
第413図 7	坏 土師器	A 13.3 B 3.8 C 5.8	底部は平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転糸切り。内面黒色処理。	砂粒・雲母 浅黄橙色 普通	100% P574 PL89 南東部の床面 正位
8	坏 土師器	A 12.9 B 3.7 C 5.7	底部は平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転糸切り。内面黒色処理。	砂粒・雲母 黒褐色 普通	100% P575 PL89 北東コーナー付近の床面 正位
9	坏 土師器	A 13.4 B 3.8 C 6.0	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転糸切り。内面黒色処理。	砂粒・雲母 浅黄橙色 普通	100% P580 北西コーナー付近の覆土中層 逆位
第414図 10	坏 土師器	A 13.8 B 4.1 C [6.3]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	45% P578 南東部の覆土
11	坏 土師器	A [11.0] B 2.8 C 5.0	底部は平底で、体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒 にぶい褐色 普通	40% P606 カマド燃烧部の覆土
12	埴 土師器	A [15.8] B 4.7 C [5.3]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 灰白色 普通	50% P576 PL89 北壁中央部付近の覆土中層 正位
13	埴 土師器	A 13.6 B 4.8 C 5.1	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒 灰白色 普通	70% P577 PL89 中央部の覆土下層 逆位
14	埴 土師器	A 15.7 B 5.2 C 5.4	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	95% P579 PL89 北西部の覆土中層 逆位
15	埴 土師器	A [15.6] B 4.5 C 5.4	底部は平底で、体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	25% P722 南西部の覆土
16	埴 土師器	A [15.0] B 5.1 C [5.2]	底部は平底で、体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。底部及び体部下端回転篋削り(右)。	砂粒・雲母 橙色 普通	40% P1053 PL89 P ₇ 内覆土

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第414図 17	高台付坑 土 師 器	A 15.5 B 5.7 D [5.0] E 0.5	底部は平底で、短く直立する高台が付く。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。水挽き痕強い。内・外面篋磨き。体部下位回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒・雲母 明褐色 普通	80% P588 南東部の覆土
18	高台付坑 土 師 器	A 13.4 B 5.2 D 4.8 E 0.5	底部は平底で、短く直立する高台が付く。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。水挽き痕強い。内面篋磨き。体部下位回転篋削り(右)。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	55% P589 PL89 南壁中央部付近の床面 逆位
19	高台付坑 土 師 器	A 14.3 B 5.5 D 4.6 E 0.4	底部は平底で、短く直立する高台が付く。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。体部下位回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒・雲母 黒褐色 普通	95% P592 PL89 南東部の床面
20	高台付坑 土 師 器	A 15.3 B 5.1 D 5.6 E 0.6	底部は平底で、短く直立する高台が付く。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部及び体部下位回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒・長石・雲母 にぶい黄褐色 普通	100% P1050 PL89 P ₇ 内覆土
21	高台付坑 土 師 器	A [14.2] B 5.5 D [4.2] E 0.4	底部は平底で、短く直立する高台が付く。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。体部下位回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒・雲母 黒褐色 普通	30% P1051 P ₇ 内覆土
22	高台付坏 土 師 器	A 15.4 B 5.2 D 6.9 E 1.8	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高い高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。	水挽き整形。底部摩滅が著しく調整不明。高台貼り付け。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	95% P581 北西部の覆土下層 横位
23	高台付坏 土 師 器	A 15.3 B 5.2 D 7.0 E 1.8	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高い高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。	水挽き整形。底部摩滅が著しく調整不明。高台貼り付け。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	80% P582 PL89 中央部の覆土下層 逆位
24	高台付坏 土 師 器	A [14.8] B 5.4 D 6.6 E 1.6	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高い高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。	水挽き整形。高台貼り付け。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	50% P586 PL89 北西部の覆土中層 正位
25	高台付坏 土 師 器	A 13.9 B 5.4 D 7.0 E 1.9	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高い高台が付く。体部は外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。	水挽き整形。高台貼り付け。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	70% P583 PL89 南東部の床面 逆位
26	高台付坏 土 師 器	A 13.9 B 5.3 D 7.0 E 1.7	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高い高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。	水挽き整形。高台貼り付け。	砂粒・雲母 灰黄褐色 普通	70% P584 PL89 中央部の床面 逆位
27	高台付坏 土 師 器	B (3.3)	底部は平底で、高台欠損。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。底部回転糸切り。高台貼り付け。	砂粒・雲母 黄灰色 普通	40% P590 北西コーナー付近の 覆土下層 正位
28	高台付坏 土 師 器	A 14.6 B (3.5)	体部は外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。高台欠損。	水挽き整形。	砂粒・雲母 浅黄褐色 普通	70% P585 北西コーナー付近の 覆土中層
29	高台付坏 土 師 器	A [14.1] B (2.9)	体部は外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。	水挽き整形。	砂粒・雲母 褐灰色 普通	30% P587 南東部の覆土

図版番号	器 種	法量 (cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第414図 30	高台付坏 土 師 器	A [15.0] B (3.2)	体部は外傾して立ち上がり、 口縁部で外反する。	水挽き整形。	砂粒・雲母 にぶい黄橙色 普通	30% P 721 南西部の覆土
31	高台付坏 土 師 器	B (3.0) D [7.6] E 0.6	底部は平底で、短く直立す る高台が付く。体部は内彎 しながら立ち上がる。	水挽き整形。内・外面篋磨 き。内面黒色処理。高台貼 り付け。	砂粒 にぶい黄橙色 普通	30% P 596 南東部の覆土
32	高台付坏 土 師 器	A [9.3] B 3.2 D [4.2] E 0.7	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く短い高台が付く。体 部は内彎気味に外傾して立 ち上がり、口唇部を丸くお さめる。	水挽き整形。内・外面篋磨 き。内・外面黒色処理。高台 貼り付け。	砂粒 黒褐色 普通	30% P 595 南西部の覆土
第415図 33	高台付坏 土 師 器	B (1.9) D 7.6 E 0.9	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く高台が付く。	水挽き整形。内面篋磨き。 底部回転糸切り。高台貼り 付け。	砂粒・雲母 淡橙色 普通	10% P 591 北東部の床面 正位
34	皿 土師質土器	A 9.2 B 1.8 C 4.5	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 に稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 灰黄色 普通	100% P 597 PL89 中央部付近の覆土中層 逆位
35	皿 土師質土器	A 9.1 B 1.7 C 4.4	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 に稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 灰黄褐色 普通	100% P 598 北東部の覆土下層 逆位
36	皿 土師質土器	A 8.9 B 2.3 C 5.0	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 に稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 浅黄橙色 普通	100% P 599 PL89 カマドの火床 正位
37	皿 土師質土器	A 7.8 B 1.5 C 4.1	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 にあまい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 褐色 普通	100% P 600 PL89 南東部の床面 正位
38	皿 土師質土器	A 7.7 B 1.6 C 4.2	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 にあまい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 にぶい黄橙色 普通	100% P 601 PL89 東壁中央部付近の覆土 中層 正位
39	皿 土師質土器	A 8.5 B 1.7 C 4.5	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 にあまい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 にぶい黄橙色 普通	80% P 602 南東部の覆土
40	皿 土師質土器	A 7.9 B 1.7 C 4.0	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 に稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 にぶい黄褐色 普通	60% P 603 南西部の覆土
41	皿 土師質土器	A [8.5] B 1.8 C 4.9	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 にあまい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 黄灰色 普通	40% P 604 南東部の覆土
42	皿 土師質土器	A [9.2] B 1.9 C [5.4]	底部は平底で、体部は外傾 して立ち上がる。体部下位 に稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切 り。	砂粒 にぶい橙色 普通	50% P 605 PL89 南東部の覆土
43	高台付皿 土師質土器	A [9.8] B 2.5 D 4.2 E 0.6	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く短い高台が付く。体 部は外傾して立ち上がり、 体部下位に稜をもつ。	水挽き整形。内・外面篋磨 き。内・外面黒色処理。高台 貼り付け。	砂粒 黒褐色 普通	75% P 593 PL89 北壁中央部付近の覆土 中層 横位
44	高台付皿 土師質土器	A [9.6] B 2.5 D 4.2 E 0.7	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く短い高台が付く。体 部は外傾して立ち上がり、 体部下位に稜をもつ。	水挽き整形。内面篋磨き。 内面黒色処理。高台貼り付 け。	砂粒 灰黄色 普通	50% P 594 南西部の覆土

第30号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第415図 1	羽釜 土師器	A 19.3 B (14.3)	胴部上位に突帯が回る。口縁部は外反して、口唇部を平坦に仕上げている。	口縁部内・外面横ナデ。突帯貼り付け。胴部外面横位の篋削り。内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 灰褐色 普通	60% P608 PL88 P ₃ 内覆土 突帯下に煤附着
2	皿 土師質土器	A 9.0 B 1.8 C 4.6	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。体部下位に稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒 橙色 普通	100% P609 カマド前方の床面 正位
3	皿 土師質土器	A 9.0 B 1.7 C 5.0	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。体部下位にあまい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒 にぶい黄褐色 普通	60% P610 PL88 南西コーナー付近の 床面 逆位

第31号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第415図 1	壺 須恵器		壺の胴部片。	外面平行叩き。内面同心円文。	砂粒 黄灰色 普通	5% P712 カマド付近の覆土下層

第34号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第416図 1	盤 須恵器	A [22.4] B 4.5 D [15.8] E 1.2	底部は平底で、直立する高台が付く。体部は外傾して立ち上がり、口縁部は外反する。体部と口縁部の境に稜を有する。	水挽き整形。底部回転篋削り(右)。高台貼り付け。	砂粒 褐灰色 普通	40% P612 PL88 南西部の床面
2	蓋 須恵器	A [14.1] B (2.4)	天井部は上位に平坦な面をもち、なだらかに下降する。口縁部は屈曲して、軽く外反する。	水挽き整形。天井部回転篋削り(右)。	砂粒・長石 灰白色 不良	10% P713 南壁中央部付近の覆土

第35号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第416図 1	坏 土師器	A [13.4] B (4.6)	体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。体部下位回転篋削り(右)。	砂粒 橙色 普通	30% P613 PL88 南東部の覆土

第40号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第416図 1	高台付坏 土師器	B (4.3) D [8.4] E 2.0	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高い高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。底部回転糸切り。高台貼り付け。	砂粒 明褐灰色 普通	20% P615 カマド燃焼部の覆土
2	高台付坏 土師器	D 7.8 E 1.8	「ハ」の字状に開く高い高台。	高台貼り付け。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	20% P614 カマド付近の覆土

第42号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第416図 1	坏 土師器	A [15.2] B (4.2)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒・スコリア 浅黄橙色 普通	10% P616 南東部の覆土
2	高台付坏 土師器	B (2.4)	底部は平底で、高台は欠損。体部は内彎気味に立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。高台貼り付け。	砂粒 灰黄褐色 普通	10% P714 北東部の覆土

第43号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第416図 1	甕 土師器	A 24.8 B (20.6)	張りの弱い胴部から、短く外反する口縁部が付き、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・石英・長石 にぶい黄褐色 普通	40% P617 PL88 カマド前方の床面
2	甕 土師器	A [15.8] B (11.5)	張りの弱い胴部から、短く外反する口縁部が付き、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 暗赤褐色 普通	20% P618 カマド北側の床面
3	高台付坏 土師器	A [15.5] B (6.4)	底部は平底で、体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内・外面篋磨き。内面黒色処理。高台貼り付け。	砂粒 にぶい橙色 普通	50% P619 PL88 カマド北側の床面 逆位

第46号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第417図 1	坏 土師器	B (1.2) C 5.1	底部は平底。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・長石 橙色 普通	20% P620 南西部の床面

第48号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第417図 1	甕 土師器	A [20.4] B (6.2)	頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁端部を外上方へつまみ出す。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい褐色 普通	10% P621 カマド付近の覆土下層
2	甕 須恵器	B (3.3) C [15.2]	底部は平底で、胴部は外傾して立ち上がる。	胴部内・外面横位のナデ。	砂粒・雲母 にぶい黄褐色 普通	10% P623 カマド付近の覆土下層
3	高台付坏 土師器	A [14.4] B 5.6 D 7.9 E 1.5	底部は平底で、「ハ」の字状に開く高台が付く。体部は外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。底部と体部の境に稜有り。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転篋削り。高台貼り付け。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	40% P622 カマド付近の覆土下層 逆位
4	坏 須恵器	A [13.2] B 5.0 C [7.0]	底部は平底。体部は直線的に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。底部回転篋切り後ナデ。	砂粒・長石 灰白色 普通	35% P624 南東部の覆土

第50号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第417図 1	甕 土師器	A [22.8] B (8.2)	張りのある胴部から、頸部を「く」の字状に屈曲させて、口縁端部を外上方へつまみ上げる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 におい橙色 普通	10% P 626 南東部の床面
2	甕 土師器	A [22.8] B (13.2)	張りの弱い胴部から、口縁部を短く外反させて、口唇部を平坦に仕上げている。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面縦位の篋ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 におい橙色 普通	10% P 625 PL88 貯蔵穴内の覆土
3	坏 土師器	A 14.3 B 4.0 C 5.7	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。外面水挽き痕強い。内・外面篋磨き。内面全体と外面の一部黒色処理。底部回転糸切り。	砂粒 橙色 普通	90% P 627 PL88 南東部の床面 逆位
4	高台付坑 土師器	A [14.4] B (4.9)	底部は平底で、高台は欠損。底部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内・外面篋磨き。内面黒色処理。底部回転糸切り。高台貼り付け。	砂粒・スコリア におい褐色 普通	40% P 628 北東部の覆土

第59号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第417図 1	坑 土師器	A 15.7 B 5.7 C 6.8	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内・外面篋磨き。内面黒色処理。底部回転糸切り。	砂粒 におい橙色 普通	50% P 635 PL88 カマド前方の床面 正位

第66号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第418図 1	甕 土師器	B (16.3) C [14.2]	平底。胴部上半欠損。胴部は外傾して立ち上がる。	胴部内面横位の篋ナデ。外面縦位の篋削り。	砂粒・スコリア・礫 におい褐色 普通	20% P 230 PL88 カマド付近の床面

第72号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第418図 1	坏 土師器	B (1.4) C [6.8]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。全体的に器厚が薄い。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転糸切り。	砂粒・雲母 におい褐色 普通	20% P 636 カマドの覆土

第98号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第418図 1	甕 土師器	A [24.8] B (4.5)	張りの弱い胴部から、頸部をほぼ直角に屈曲させて、口縁部が水平に延びる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	5% P 641 PL88 北壁中央部付近の覆土 下層

第107号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第418図 1	高台付坏 土師器	B (2.5) E (0.9)	底部は平底で、高台は欠損。 体部は外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。 内面黒色処理。高台貼り付け。	砂粒・雲母・長石 にぶい橙色 普通	10% P642 覆土

第114号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第418図 1	坏 土師器	A [14.6] B 4.8 C [5.8]	底部は平底。体部は内彎気 味に外傾して立ち上がり、 口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。底部回転系切 り。	砂粒・雲母 橙色 普通	40% P643 東壁中央部付近の覆土 下層
2	高台付坏 土師器	A [14.8] B 5.9 D 8.3 E 1.8	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く高い高台が付く。体 部は内彎気味に外傾して立 ち上がり、口縁部で軽く外 反する。	水挽き整形。高台貼り付け。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	60% P644 PL88 中央部付近の覆土中層 逆位
3	高台付坏 土師器	B (3.1) E (1.4)	底部は平底で、高台は欠損。	水挽き整形。高台貼り付け。	砂粒 にぶい褐色 普通	30% P645 東壁中央部付近の覆土
4	高台付坏 土師器	B (2.5) D [7.8] E 0.9	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く短い高台が付く。体 部は外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。 高台貼り付け。底部に篋記 号有り。	砂粒・雲母・長石 橙色 普通	25% P646 東壁中央部付近の覆土 下層 逆位
5	高台付坏 土師器	B (2.5) D 7.8 E 0.6	底部は平底で、短く直立す る高台が付く。体部は外傾 して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。 底部回転系切り。高台貼り 付け。	砂粒・スコリア にぶい黄橙色 普通	30% P648 東壁中央部付近の覆土 下層 逆位
6	高台付坏 土師器	B (2.5) D 5.2 E 1.1	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く高台が付く。底部と 体部の境に稜をもつ。	水挽き整形。高台貼り付け。	砂粒・スコリア 浅黄橙色 普通	20% P647 南西部の覆土
7	高台付坏 土師器	B (2.5) D 6.0 E 0.7	底部は平底で、短く直立す る高台が付く。体部は内彎 気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。 内面黒色処理。高台貼り付 け。	砂粒・スコリア 灰白色 普通	20% P651 東壁中央部付近の覆土 中層
8	耳皿 土師器	A [5.2] B 4.5 D [5.7] E 1.0	底部は平底で、「ハ」の字状 に開く高台が付く。	水挽き整形。皿部折り曲げ。 高台貼り付け。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	40% P650 北東部の床面 逆位
9	皿 土師質土器	A 8.8 B 1.7 C 5.1	底部は平底。体部は外傾し て立ち上がり、口唇部を丸 くおさめる。	水挽き整形。底部回転系切 り。	砂粒・スコリア 浅黄橙色 普通	100% P652 PL88 覆土
10	皿 土師質土器	A [8.9] B 1.8 C [5.4]	底部は平底。体部は外傾し て立ち上がり、口唇部を丸 くおさめる。	水挽き整形。底部ナデ。	砂粒・スコリア 淡橙色 普通	75% P653 PL88 中央部付近の床面
11	皿 土師質土器	A 9.2 B 1.8 C 5.9	底部は平底。体部は外傾し て立ち上がり、口唇部を丸 くおさめる。	水挽き整形。底部回転系切 り。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	80% P654 中央部付近の床面

第123号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第419図 1	甕 土師器	A [24.4] B (12.5)	張りの弱い胴部から、口縁部が外傾して開く。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面横位のナデ。	砂粒・雲母・長石 にぶい橙色 普通	5% P777 覆土
2	坏 土師器	A [12.8] B (3.1)	体部から外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外傾する。	口縁部外面横ナデ。内面ナデ。内面黒色処理。	砂粒・雲母 浅黄橙色 普通	5% P901 覆土

第156号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第419図 1	甕 土師器	A [13.4] B (8.4)	胴部下半欠損。口縁部は緩く外反し、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内・外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。外面横位の篋削り。	砂粒・長石・礫 明褐色 普通	10% P1013 北西部の覆土
2	坏 土師器	A 13.6 B 3.4 C 8.4	平底。体部は内彎して立ち上がり、外傾して口縁部に至る。	口縁部内・外面横ナデ。底部外面手持ち篋削り。	砂粒・雲母 橙色 普通	70% P1014 PL88 北西部の床面

時期不明

第24号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第420図 1	高坏 土師器	B (7.4) E (6.5)	脚部片。脚部は円筒状を呈する。	内面ナデ、外面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。	砂粒・長石 橙色 普通	20% P46 覆土

第152号住居跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第420図 1	甕 土師器	B (2.7) C [6.2]	平底。胴部は外上方に立ち上がる。	胴部内面ナデ後篋磨きの痕跡が認められる。外面ナデ後篋磨き。	砂粒・雲母 明赤褐色 普通	5% P1000 覆土
2	甕 土師器	B (2.3) C [6.0]	平底。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がる。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	5% P1001 覆土

豪族居館跡

豪族居館跡南北堀下層出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第421図 1	台付甕 土師器	A 20.5 B 33.1 D 10.0 E 7.3	脚台部は「ハ」の字状に開く。胴部は外傾しながら立ち上がり、最大径はやや上位にもつ。口縁部は緩く外反気味に開く。	口縁部内外面横ナデ、外面には輪積み痕を残す。頸部には粘土を貼り付け指頭による圧痕を残す。胴部外面ハケ目整形後篋ナデ。胴部内面・脚台部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	90% P1125 PL91 覆土下層 胴部外面煤付着。
2	甕 土師器	A 17.8 B 22.4 C 6.6	平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面ハケ目整形後篋ナデ。胴部内面ナデ、外面丁寧なハケ目整形。	砂粒・長石・パミス 赤褐色 普通	90% P1126 PL91 覆土下層
3	甕 土師器	B (30.2) C 8.7	口縁部欠損。平底。胴部は外傾しながら外上方に立ち上がり、上位で張る。	胴部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 黒褐色 普通	60% P1144 覆土下層
第422図 4	壺 土師器	B (26.2) C 7.5	口縁部欠損。平底。胴部は球形形状を呈する。	胴部内外面丁寧な篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P1152 覆土下層
5	高坏 土師器	A 24.9 B 13.7 D 11.4 E 7.3	坏部は下位に稜を有し、緩く内彎気味に外上方に開く。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部でやや外反する。脚部上位に径1.5cmの円孔が3か所穿たれている。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面篋磨き。脚部外面ハケ目整形後篋磨き、内面篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	95% P1160 PL91 覆土下層
6	高坏 土師器	A 20.1 B (7.5)	坏部片。坏部は下位に稜を有し、緩く内彎しながら口縁部に至る。	坏部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒 橙色 普通	50% P1169 覆土下層
7	器台 土師器	A 7.0 B 6.5 D 9.3 E 4.5	器受部は緩く内彎気味に立ち上がり、脚部は「ハ」の字状を呈して軽く外反する。脚部中位に円孔が3か所穿たれる。接合部に中央孔が穿たれる。	器受部内外面・脚部外面ナデ後篋磨き。脚部内面ハケ目整形後ナデ。	砂粒・パミス にぶい橙色 普通	100% P1179 PL91 覆土下層

豪族居館跡東西堀下層出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第423図 8	甕 土師器	A 18.1 B 30.7 C 7.8	平底。胴部は球形形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は外傾しながら立ち上がった後、上位で大きく外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面丁寧な篋ナデ。胴部外面上半には篋状工具による沈線が縦位に施される。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	80% P1225 覆土
9	甕 土師器	A 17.3 B 24.7 C 7.8	平底。胴部は球形形状を呈し、中位で張る。胴部下半は引き締まる。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石 灰白色 普通	60% P1226 覆土下層
10	甕 土師器	A 20.5 B 17.2 C 6.8	平底。胴部は球形形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は外傾して開く。	口縁部内面、外面ハケ目整形。胴部内面篋ナデ、外面上半ハケ目整形、下半ハケ目整形後ナデ。	砂粒・長石・パミス 極暗褐色 普通	90% P1227 PL91 覆土下層
第424図 11	甕 土師器	A [15.9] B 21.5 C 7.0	平底。胴部は球状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は頸部から外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面ハケ目整形後ナデ。	砂粒・長石・スコリア 灰赤色 普通	60% P1228 PL91
12	甕 土師器	B (27.0) C 7.8	口縁部欠損。平底。胴部は球形形状を呈し、最大径は中位にもつ。	胴部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 黒褐色 普通	50% P1229 覆土下層
13	甕 土師器	A 15.8 B 19.3 C 6.0	平底。胴部は球形形状を呈し、最大径は中位にもつ。胴部下半は引き締まる。口縁部は外傾する。	口縁部内外面ハケ目整形後ナデ。胴部内面ナデ、外面ハケ目整形後ナデ。	砂粒・長石 黒褐色 普通	65% P1230 覆土下層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第424図 14	甕 土師器	A 18.2 B (18.5)	胴部は内湾し、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面丁寧な篋ナデ。口唇部は指頭により押圧される。	砂粒・長石 褐色 普通	30% P1231 覆土下層
第425図 15	甕 土師器	A [16.2] B (15.9)	胴部下半欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 明褐色 普通	20% P1232 覆土下層 外面煤付着
16	甕 土師器	A 19.1 B (6.4)	口縁部片。口縁部は外傾しながら立ち上がる。	口縁部横ナデ。口唇部に指頭により押圧される。	砂粒・スコリア にぶい黄褐色 普通	10% P1233 覆土下層
17	甕 土師器	A 14.6 B (13.8)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	60% P1234 PL91 覆土下層
18	甕 土師器	A [16.0] B 16.2 C 4.0	平底。胴部は球形状を呈し、口縁部は緩く外反して開く。	口縁部内外面ハケ目整形後横ナデ。胴部内面ナデ、外面ハケ目整形。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	40% P1235 覆土下層
19	小形甕 土師器	A 14.4 B 13.8 C 5.4	平底。胴部は球形状を呈し、口縁部は緩く外反して開く。	口縁部内外面ハケ目整形後横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ハケ目整形。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	80% P1237 PL91 覆土下層
20	小形甕 土師器	A 15.0 B (12.5)	胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	70% P1238 覆土下層
21	小形甕 土師器	A [16.5] B (13.3)	底部欠損。胴部は扁平な球形状を呈し、口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面・胴部内外面ハケ目整形後ナデ。胴部外面下半ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	40% P1239 覆土下層
22	小形甕 土師器	B (13.3) C 5.6	平底。胴部は球形状を呈する。	胴部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・パミス 浅黄褐色 普通	50% P1240 覆土下層
第426図 23	小形甕 土師器	A 16.1 B 11.4 C 4.4	平底。胴部は球形状を呈し、口縁部は外傾して開く。口縁部は折り返し口縁となる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	90% P1241 PL91 覆土下層
24	小形甕 土師器	A [9.5] B (13.7)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ハケ目整形後ナデ。	砂粒・長石・礫 赤色 普通	40% P1242 覆土下層
25	小形甕 土師器	A [13.2] B 10.4 C [5.6]	平底。胴部は球形状を呈し、口縁部は緩く外反気味に開く。口縁部は折り返し口縁となる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面篋削り。	砂粒・スコリア にぶい橙色 普通	35% P1243 覆土下層
26	台付甕 土師器	A [23.2] B (29.1) E (3.6)	脚台部は「ハ」の状に開く。胴部は外傾気味に立ち上がり、最大径は中位にもつ。口縁部は外反して開く。	口縁部内外面ハケ目整形後ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ハケ目整形、下半部はハケ目整形後ナデ。脚台部ハケ目整形後ナデ。	砂粒・長石 褐灰色 普通	70% P1247 覆土下層
27	台付甕 土師器	A 14.6 B 20.3 D 7.8 E 5.0	脚台部は「ハ」の状に開く。胴部は外傾しながら立ち上がり、最大径はやや上位にもつ。口縁部は外傾して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面・脚台部篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	95% P1248 PL91 覆土下層
28	台付甕 土師器	A 14.0 B 17.8 D 7.4 E 5.3	脚台部は「ハ」の字状に開く。胴部は球形状を呈し、最大径は中位にもつ。口縁部は外傾して開き、口唇部は尖る。	口縁部内面ハケ目整形後篋磨き、外面横ナデ。胴部内面丁寧なナデ、外面ハケ目整形後ナデ。脚部外面篋磨き。	砂粒・長石 淡褐色 普通	80% P1249 PL91 覆土下層
第427図 29	壺 土師器	A 15.0 B (25.8)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反気味に開く。	口縁部内外面ナデ後篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面ナデ後丁寧な篋磨き。	砂粒・長石 浅黄褐色 良好	70% P1250 PL91 覆土下層

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第427図 30	壺 土師器	A 11.5 B 20.5 C 5.0	上げ底。胴部はやや内彎しながら立ち上がり、中位で強く張る。口縁部は緩く外傾して開く。	口縁部ハケ目整形後篋磨き。胴部内面ナデ、外面ハケ目整形後篋磨き。頸部隆帯には櫛歯刺突が施される。	砂粒・長石・スコリア 淡橙色 普通	70% P1251 PL92 覆土下層
31	壺 土師器	B (13.9)	底部欠損。胴部は球形を呈し、最大径は下位にもつ。口縁部は頸部から外傾しながら立ち上がった後、更に外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面ナデ後丁寧な篋磨き。口縁部、胴部外面赤彩。	砂粒 暗赤褐色 普通	60% P1252 PL92 覆土下層
32	壺 土師器	B (11.9) C 2.7	口縁部欠損。上げ底。胴部は球形を呈し、最大径は下位にもつ。	胴部内面ナデ、外面ナデ後一部に篋磨きの痕跡が残る。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	85% P1253 覆土下層
33	脚付壺 土師器	A 8.0 B (14.2) E (3.7)	脚部は「ハ」の字状にやや外反しながら開く。胴部は球形を呈し、口縁部は外傾して開く。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面ハケ目整形後ナデ。脚部内外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	90% P1254 PL92 覆土下層
34	高 坏 土師器	A 22.6 B 13.0 D 13.6 E 6.8	坏部は緩く内彎気味に外上方に開く。脚部は緩く「ハ」の字状に外反して開き、上位に円孔が3か所穿たれている。	坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 浅黄褐色 普通	50% P1255 PL92 覆土下層
35	高 坏 土師器	A 15.5 B (12.2) E (7.0)	坏部は下位に稜を有し、緩く内彎しながら外上方に開く。脚部は「ハ」の字状に外反して開き、円孔が3か所穿たれている。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 明黄褐色 普通	70% P1256 PL92 覆土
第428図 36	高 坏 土師器	A 21.4 B (10.4) E (4.1)	坏部は下位に稜を有し、外傾し外上方に開く。脚部は「ハ」の字状に開き、円孔が3か所穿たれている。	坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	50% P1257 覆土
37	高 坏 土師器	A 22.4 B (9.1)	坏部片。坏部は下位に稜を有し、緩く内彎しながら外上方に開く。坏底部外面に脚部と接合のための突起を有す。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	50% P1258 覆土
38	高 坏 土師器	B (9.2) E (5.6)	坏部は下位に稜を有し、外上方に開く。脚部は「ハ」の字状に開き、円孔が3か所穿たれている。	坏部内外面ナデ。脚部内外面ハケ目整形後ナデ。	砂粒・長石・雲母 浅黄褐色 普通	50% P1259 覆土
39	高 坏 土師器	B (8.5) D [11.6] E 7.2	脚部片。脚部は「ハ」の字状に開き、円孔が3か所穿たれている。	脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒 浅黄褐色 普通	40% P1261 覆土下層
40	裝飾器台 土師器	A [15.8] B 11.4 D [17.2] E 6.7	器受部は脚部から横外方に開いた後、強く外反して外上方に開く。脚部は「ハ」の字状に大きく開き、裾部に至る。器受部底部には中央孔を、器受部下位に8孔、脚部中位に3孔を有する。	器受部内外面ナデ。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。器受部下位と口唇部にキザミが施される。	砂粒・スコリア 灰白色 普通	70% P1262 PL92 覆土下層
41	裝飾器台 土師器	B (2.8)	脚部欠損。器受部は脚部から横外方に開いて、器受部下位の裝飾用段に至り、再び外反する。器受部下位に飾り窓を3か所有する。	器受部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・パミス・スコリア にぶい橙色 普通	30% P1263 覆土
42	器 台 土師器	A [11.9] B 10.9 D 12.9 E 7.0	器受部は脚部から緩く内彎気味に開く。脚部は「ハ」の字状に開く。全体に肥厚である。器受部底部に中央孔を有する。	口縁部内外面横ナデ。器受部内面篋ナデ。器受部外面脚部内外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	80% P1264 PL92 覆土
43	器 台 土師器	A 7.4 B 7.5 D 12.6 E 5.3	器受部は脚部から緩く外反し、口縁部に至る。口縁部は短く外傾して開く。脚部は緩く外反して外下方に開く。脚部上位に3孔、下位に3孔、器受部底部に中央孔を有する。	器受部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面篋ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・雲母 浅黄褐色 普通	90% P1265 PL92 覆土下層

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第428図 44	器 台 土 師 器	A 7.0 B 7.5 D 12.2 E 5.7	器受部は脚部から緩く内彎しながら口縁部に至る。脚部は緩く外反し外下方に開く。脚部上位に3孔, 器受部底部に中央孔を有する。	器受部内外面・脚部外面ナデ後丁寧な篋磨き。脚部内面ハケ目整形。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	98% P1266 PL92 覆土
45	器 台 土 師 器	B (5.3) D [12.4] E 4.7	器受部欠損。脚部は緩く外反して開く。脚部には上位に3孔, 下位に3孔, 器受部底部に中央孔を有する。	脚部内面ナデ, 外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石・雲母 浅黄橙色 普通	60% P1267 覆土
46	器 台 土 師 器	A [7.2] B 6.8 D [12.0] E 5.2	器受部はやや外反気味に開き, 口縁部でやや内彎する。脚部は「ハ」の字状に開く。脚部には上位に3孔, 器受部底部に中央孔を有する。	器受部内外面ナデ後篋磨き。脚部内面ハケ目整形後ナデ, 外面ハケ目整形後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	60% P1268 覆土
47	器 台 土 師 器	A 7.4 B (4.1) E (2.5)	器受部は脚部から外反気味に開き, 端部は短く立ち上がる。脚部は外下方に開く。脚部上位に3孔, 器受部底部に中央孔を有する。	器受部内外面・脚部外面ナデ後篋磨き。	砂粒 灰白色 普通	50% P1269 PL92 覆土
48	器 台 土 師 器	A 6.8 B (3.6) E (1.9)	器受部は脚部から外傾して開き, 口縁部に至る。脚部は外下方に開く。脚部上位に3孔, 器受部底部に中央孔を有する。	器受部内面ナデ後篋磨き, 外面ナデ。脚部外面篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	50% P1270 覆土
49	器 台 土 師 器	A 6.3 B 6.6 D 11.0 E 4.8	器受部は脚部から緩く内彎気味に開く。脚部は外下方に開き, 裾部はやや外反する。器受部底部に中央孔を有する。	器受部内外面ナデ。脚部内外面ハケ目整形後ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	85% P1271 PL92 覆土
50	器 台 土 師 器	D 14.7 E (3.6)	脚部片。脚部は外反して大きく開き, 裾部に至る。脚部には3孔を有する。	脚部内外面ハケ目整形後ナデ。裾部横ナデ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	50% P1272 覆土下層
51	器 台 土 師 器	B (4.2) D 7.4 E 3.1	脚部片。脚部は「ハ」の字状を呈し, 緩く外反する。	脚部内面篋ナデ, 外面ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石 橙色 普通	40% P1273 覆土
52	器 台 土 師 器	B (3.5) D 6.4 E 3.0	脚部片。脚部は器厚を減じながら, 「ハ」の字状を呈する。裾部は緩く外反する。	脚部内面ナデ, 外面ナデ後縦位の篋磨き。	砂粒・長石 橙色 普通	35% P1274 覆土
53	器 台 土 師 器	B (2.9) D 6.3 E 2.5	脚部片。脚部は「ハ」の字状を呈し, 裾部に至る。	脚部内面ナデ, 外面ナデ後篋磨き。	砂粒・パミス 橙色 普通	40% P1275 覆土
第429図 54	罎 土 師 器	A 7.8 B 8.2 C 3.8	平底。胴部は扁平な球形状を呈し, 中位で強く張る。口縁部は外傾し, 口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ, 外面下半篋削り。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	98% P1276 PL92
55	手捏土器 土 師 器	B (2.2) C 4.9	口縁部欠損。平底。胴部は外傾する。	胴部内外面ナデ及び指頭によるオサエ。底部に布目痕。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	60% P1277 覆土
56	炉 器 台 土 師 器	D 10.0 E (9.5)	脚部片。脚部は円筒状を呈し, 外下方に開く。	脚部内面篋ナデ, 外面ハケ目整形。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	65% P1278 覆土
57	壺形土器 弥生式土器	B (21.7)	胴下半部・口縁部欠損。頸部は胴部から緩やかに内彎する。口縁部は頸部から外反気味に開く。	内面横ナデ。頸部隆帯2条。胴部全面に粗い擦糸文を施文。	砂粒・長石・パミス 橙色 普通	15% P1279 覆土
58	壺形土器 弥生式土器	B (14.7)	胴下半部・口縁部欠損。頸部は胴部から緩やかに内彎する。口縁部は頸部から外反気味に開く。	内面丁寧なナデ。頸部に低い隆帯2条, 7本櫛歯による縦区画内に波状文充填。胴部上半連弧文, 下半は付加条2種の縄文を羽状構成。	砂粒・雲母・ 白色針状物質 浅黄橙色 良好	20% P1280 PL92 覆土下層

豪族居館跡南北掘上層出土土器観察表

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第429図 5 9	甕 土 師 器	A 17.7 B (17.4)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ。頸部・胴部外面ハケ目整形。	砂粒・長石・雲母 にぶい褐色 普通	50% P1127 覆土下層 胴部外面煤付着
6 0	甕 土 師 器	A 19.2 B 28.3 C 6.6	平底。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面ナデ後篋磨き。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 褐色 普通	90% P1130 覆土上層
第430図 6 1	甕 土 師 器	A 18.9 B 26.4 C 7.3	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、やや長胴を呈する。口縁部は外傾して立ち上がり、上位で外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。胴部外面篋削り。	砂粒・長石・礫 にぶい黄褐色 普通	90% P1131 PL92 覆土上層
6 2	甕 土 師 器	A 18.8 B 30.2 C 7.0	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は外傾した後、外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。頸部外面・胴部内外面篋ナデ。	砂粒・スコリア 褐灰色 普通	60% P1132 PL92 覆土上層
6 3	甕 土 師 器	A 19.1 B 29.1 C 6.8	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は外反しながら大きく開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ、外面下端篋削り。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	90% P1133 覆土上層 胴部外面煤付着
6 4	甕 土 師 器	A 15.4 B 29.8 C 7.7	平底。胴部は球形状を呈する。口縁部は外傾気味に立ち上がり、外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒・長石 褐色 普通	80% P1134 覆土上層
第431図 6 5	甕 土 師 器	A 20.2 B (29.6)	胴部下端欠損。胴部は長胴を呈し、口縁部は外傾して立ち上がる。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒・長石・パミス 赤褐色 普通	40% P1135 覆土上層
6 6	甕 土 師 器	A [18.6] B (22.5)	胴部下端欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は垂直気味に立ち上がり、大きく外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい褐色 普通	40% P1136 覆土上層
6 7	甕 土 師 器	A 19.5 B (26.2)	胴部下端欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は垂直気味に立ち上がり、外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。頸部篋ナデ。胴部内外面篋削り。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	40% P1137 覆土上層
6 8	甕 土 師 器	A 19.2 B (21.8)	胴部下端欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は大きく外反して開く。	口縁部内面横ナデ、外面縦位の篋磨き。胴部内面篋ナデ、外面丁寧ナデ。	砂粒・長石 にぶい赤褐色 普通	40% P1138 覆土上層
6 9	甕 土 師 器	A 18.6 B (31.7)	胴部下端欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。内面剝離が著しい。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	30% P1139 覆土上層
第432図 7 0	甕 土 師 器	A 19.9 B (23.4)	底部欠損。胴部は球形状を呈する。口縁部は垂直気味に立ち上がり、端部で外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。胴部内外面剝離が著しい。	砂粒・スコリア 褐色 普通	60% P1140 PL92
7 1	甕 土 師 器	A [26.2] B 28.6 C 7.7	平底。胴部は内彎気味に立ち上がり、球形状を呈する。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ナデ、内面剝離が著しく、整形不明。	砂粒・礫・スコリア 褐色 普通	50% P1141 PL92 覆土上層
7 2	甕 土 師 器	A 20.0 B (26.1)	胴部下端欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外傾する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面篋ナデ、外面ナデ。	砂粒 灰白色 普通	40% P1142 PL92 覆土上層
7 3	甕 土 師 器	A 20.0 B 23.8 C 8.3	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、やや上位で張る。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、外反して開く。	口縁部内面横ナデ、外面ナデ後縦位の篋磨き。胴部内面ナデ、外面上半部ナデ後篋磨き、下半部篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 灰褐色 普通	90% P1143 覆土上層
7 4	甕 土 師 器	A 17.3 B (16.4)	底部欠損。胴部は球形状を呈し、口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ、外面には輪積み痕を残す。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・パミス にぶい赤褐色 普通	50% P1145 覆土上層

図版番号	器 種	法量 (cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第432図 7 5	甗 土 師 器	A 14.2	平底。胴部は外傾しながら立ち上がり、中位で張る。口縁部は外反しながら大きく開く。胴部上位に径7.1cmの円孔が焼成前に穿たれている。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。口縁部内外面・胴部外面赤彩。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	90% P1146 PL92 覆土下層 円窓土器 二次焼成を受ける
		B 22.2				
		C 7.1				
第433図 7 6	甗 土 師 器	A 19.4	口縁部片。口縁部は頸部からやや外傾して立ち上がり、中位で段をなし、上半は折り返し口縁となる。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒 浅黄橙色 普通	10% P1147 覆土上層
		B (8.6)				
7 7	甗 土 師 器	A 19.7	口縁部は緩く外反して立ち上がり、上半は折り返し口縁となる。	口縁部内外面横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	10% P1148 覆土上層
		B (8.3)				
7 8	甗 土 師 器	A [11.9]	底部欠損。胴部は球形を呈し、口縁部は垂直に立ち上がり、上位でやや外反する。	口縁部内面横ナデ、外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒 にぶい赤褐色 普通	60% P1149 覆土上層
		B (14.9)				
7 9	壺 土 師 器	A [14.7]	平底。胴部は球形を呈する。口縁部は頸部からほぼ垂直に立ち上がった後、大きく外反する。	口縁部内外面ナデ後篋磨き。胴部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P1150 PL92 覆土上層
		B 33.3				
		C 11.2				
8 0	壺 土 師 器	A 19.4	底部欠損。胴部は球形を呈し、口縁部は大きく外反して開く。	口縁部胴部外面ナデ後篋磨き。胴部内面篋ナデ。	砂粒・長石・スコリア 浅黄橙色 良好	50% P1151 PL93 覆土上層
		B (25.7)				
8 1	壺 土 師 器	A [9.4]	胴部下端欠損。胴部は球形を呈し、口縁部は外傾して開く。	口縁部外面横ナデ。頸部外面・胴部内面篋ナデ。胴部外面ナデ後篋磨き。	砂粒 明赤褐色 普通	60% P1153 覆土上層
		B (13.2)				
8 2	壺 土 師 器	A [8.7]	上げ底。胴部は外傾気味に立ち上がり、下位で張る。口縁部は頸部から緩く内彎して立ち上がる。	口縁部内外面・胴部内面篋ナデ。胴部外面丁寧なナデ。	砂粒・スコリア 橙色 普通	80% P1154 PL93 覆土上層
		B 13.6				
		C 3.1				
第434図 8 3	甗 土 師 器	A 23.7	無底式の甗。胴部は外傾しながら外上方に開き、上位で直立する。	口縁部外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	90% P1155 PL93 覆土上層
		B 18.5				
		孔径 8.2				
8 4	甗 土 師 器	B (10.8)	多孔式の甗で、底部には不定形の孔が7か所穿たれている。胴部は内彎気味に外上方に立ち上がる。	胴部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	10% P1156 PL93 覆土上層
		C 8.4				
8 5	甗 土 師 器	B (9.4)	無底式の甗。胴部は緩く内彎気味に外上方に開く。底部は胴部下端に貼り付けている。	胴部内面ナデ、外面篋ナデ。	砂粒 明赤褐色 普通	15% P1157 PL93 覆土上層
		C 6.4				
		孔径 5.4				
8 6	甗 土 師 器	B (4.1)	単孔式の甗。胴部は外反気味に立ち上がり、外上方に開く。	胴部内面篋削り、外面篋ナデ、胴部下端外面には指頭圧痕が残る。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	10% P1158 覆土上層
		C 6.9				
		孔径 2.3				
8 7	鉢 土 師 器	A [20.7]	平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はほぼ直立する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ。全体に剝離が進む。	砂粒・長石 橙色 普通	40% P1159 PL93 覆土上層
		B 11.3				
		C [7.5]				
8 8	高 坏 土 師 器	A 20.8	坏部は下位に稜を有し、外傾しながら立ち上がり、口縁部は外反して開く。脚部は円筒状を呈し、裾部は外反して開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。脚部外面縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	90% P1161 PL93 覆土上層
		B 15.8				
		D 15.0				
		E 9.6				
8 9	高 坏 土 師 器	B (14.3)	口縁部欠損。坏部は下位に稜を有し、外傾しながら外上方に開く。脚部は円筒状を呈し、裾部は外反する。	坏部内外面ナデ。脚部外面縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒 橙色 普通	40% P1164 覆土上層
		D 17.0				
		E 10.2				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第435図 90	高坏土師器	A [19.4] B (14.5) E (8.8)	坏部は下位に稜を有し、外傾しながら外上方に開く。脚部は円筒状を呈し、裾部は開く。脚部中位に穿孔しようとした痕跡が認められる。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。脚部外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	50% P1165 PL93 覆土上層
91	高坏土師器	A [18.9] B (14.7) E (8.8)	脚部は下位に稜を有し、外傾しながら外上方に開く。脚部は「ラッパ」状に開く。	坏部内外面ナデ。脚部内面ナデ、外面篋磨き。	砂粒 にぶい橙色 普通	40% P1166 PL93 覆土上層
92	高坏土師器	B (10.0) D [16.3] E 8.2	坏部欠損。脚部は円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	脚部内面ナデ、外面縦位の篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	30% P1167 PL93 覆土上層
93	高坏土師器	B (9.7) D [11.7] E 5.0	坏部は器厚を減じながら、外上方に開く。脚部は「ハ」の字状を呈し、裾部は外反して開く。	坏部内外面ナデ後篋磨きの痕跡が残る。脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	30% P1168 覆土上層
94	高坏土師器	A [24.4] B (6.3)	坏部は下位に稜を有し、外傾して外上方に開く。口縁部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	30% P1171 覆土上層
95	高坏土師器	A [22.2] B 18.1 D [16.1] E 11.0	坏部は下位に稜を有し、外傾して外上方に開く。脚部はラッパ状を呈し、裾部は外反する。	口縁部内外面横ナデ。坏部内面ナデ後篋磨き、外面篋ナデ。脚部刻線が著しく整形不明。裾部横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P1162 覆土下層
96	高坏土師器	A [19.7] B (6.2)	坏部片。坏部は下位に稜を有し、外傾しながら外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。坏部内外面ナデ後篋磨き。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	30% P1174 覆土中層
97	高坏土師器	B (12.7) D [15.6] E 11.0	口縁部欠損。脚部は「ハ」の字状を呈し、裾部は外反しながら開く。	脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	30% P1175 覆土中層
98	高坏土師器	D [16.2] E (8.4)	脚部片。脚部は円筒状を呈し、裾部は大きく開く。	脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・バミス 橙色 普通	20% P1177 PL93 覆土上層
99	高坏土師器	B (3.6) E (3.1)	脚部片。脚部は「ハ」の字状に外反する。	脚部内面ナデ、外面篋磨き。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	20% P1178 覆土上層
100	器台土師器	B (5.3) D 11.7 E 4.5	器受部欠損。脚部は「ハ」の字状を呈して軽く外反する。脚部上位に円孔が3か所穿たれる。	脚部内面ナデ、外面ナデ後篋磨き。裾部横ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	60% P1180 覆土上層
第436図 101	埴土師器	A 11.8 B 8.3 C 4.2	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、上位で張る。口縁部は内傾する。	口縁部外面横ナデ。体部内面・口縁部内面ナデ後篋磨き。体部外面ナデ。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	80% P1181 PL93 覆土上層
102	埴土師器	A [13.5] B 7.3	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は大きく外反する。	口縁部横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	40% P1182 覆土上層
103	埴土師器	A [11.7] B 6.8 C 2.7	平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部は短くやや外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	80% P1184 PL93 覆土上層
104	埴土師器	A [12.5] B 6.9 C 4.6	平底。体部は外傾気味に外上方に開き、口縁部はやや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒 橙色 普通	55% P1185 覆土上層
105	埴土師器	A 10.2 B 6.5 C 5.6	上げ底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部に至る。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面篋ナデ。	砂粒・長石 明赤褐色 普通	100% P1189 PL93 覆土上層
106	埴土師器	A 12.5 B 5.1 C 5.2	平底。体部は外傾しながら外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。体部内外面ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	50% P1191 PL93 覆土上層

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第436図 107	埴 土 師 器	A 13.9	丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、上位でやや張る。口縁部は短くやや外反する。	器表全体が摩滅し、整形不明。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 やや不良	60% P1192 覆土上層
		B 6.2				
108	坏 土 師 器	A 15.5	平底。体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部はやや内傾する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ、下端は篋削り。	砂粒・長石・スコリア にぶい黄褐色 普通	70% P1193 PL93 覆土上層
		B 6.9				
		C 4.9				
109	坏 土 師 器	A 14.8	平底。体部は緩く内彎気味に立ち上がり、口縁部は内彎する。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	50% P1194 覆土上層
		B 5.8				
		C 5.4				
110	坏 土 師 器	A 15.3	平底。体部は緩く内彎気味に立ち上がる。口縁部は短く、ほぼ直立する。	口縁部内外面横ナデ。体部内面ナデ後篋磨き、外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	60% P1195 PL93 覆土上層
		B 4.5				
		C 4.9				
111	坏 土 師 器	A 15.7	丸底。体部は緩く内彎気味に立ち上がり、口縁部は短く外反する。	口縁部内外面横ナデ。体部外面ナデ、内面は剝離が著しく整形不明。	砂粒・長石・スコリア 明赤褐色 普通	40% P1196 覆土上層
		B 4.9				
112	埴 土 師 器	A 9.2	平底。胴部は球形を呈し、中位で張る。口縁部は外傾しながら外上方に開き、口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ、外面下半部は篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	80% P1199 PL93 覆土上層
		B 9.0				
		C 2.4				
113	埴 土 師 器	A 9.0	上げ底。胴部は球形を呈し、中位で張る。口縁部は緩く内彎気味に外上方に開く。	口縁部内外面横ナデ。頸部内外面篋ナデ。胴部内面は篋削り。	砂粒・長石・礫 明赤褐色 普通	95% P1200 PL93 覆土上層
		B 9.2				
		C 3.6				
114	埴 土 師 器	A 8.1	平底。胴部は球形を呈し、中位で弱く張る。口縁部は外傾しながら外上方に開いた後、やや内彎する。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	80% P1201 PL93 覆土上層
		B 8.0				
		C 3.7				
115	埴 土 師 器	A [9.3]	平底。胴部は球形を呈し、中位で張る。口縁部は外傾しながら外上方に開く。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ナデ、外面下半部は篋削り。	砂粒・雲母 灰褐色 普通	80% P1202 覆土上層
		B 9.3				
		C 4.5				
116	埴 土 師 器	A 8.9	平底。胴部は扁平な球形を呈し、口縁部は緩く内彎気味に外上方に開く。口唇部は尖る。	口縁部内外面ナデ。胴部内外面ナデ。	砂粒 浅黄褐色 普通	60% P1203 覆土上層
		B 9.0				
		C 4.4				
117	埴 土 師 器	B (8.4)	丸底。胴部は球形を呈し、口縁部は外傾しながら外上方に開く。	口縁部横ナデ。胴部内外面篋ナデ、外面下半部は篋削り。	砂粒・長石 橙色 普通	80% P1205 覆土上層
118	埴 土 師 器	B (6.0)	口縁部欠損。平底。胴部は扁平な球形を呈し、下位で張る。	胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	60% P1206 覆土上層
		C 3.7				
119	埴 土 師 器	B (4.3)	平底。胴部は扁平で中位で強く張る。口縁部は外傾しながら外上方に開く。	口縁部内外面篋ナデ。胴部内外面篋ナデ、外面下半部は篋削り。	砂粒・長石・雲母 淡赤褐色 普通	60% P1207 覆土上層
		C 3.0				
第437図 120	埴 土 師 器	B (8.5)	口縁部欠損。平底。胴部は球形を呈し、中位で張る。	胴部内外面ナデ、外面下半部は篋削り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P1209 覆土上層
		C 3.9				
121	埴 土 師 器	B (6.0)	口縁部欠損。上げ底。胴部は扁平な球形を呈し、下位で強く張る。	胴部内外面篋ナデ、外面下半部篋削り。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	50% P1210 覆土上層
		C 3.8				
122	小形壺 土 師 器	A 6.9	平底。胴部は球形を呈し、口縁部はやや外傾する。	口縁部・胴部内外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	70% P1215 PL93 覆土上層
		B 8.8				
		C 4.2				
123	小形壺 土 師 器	A 8.8	平底。胴部は球形を呈し、口縁部は外傾して開く。口唇部は尖る。	口縁部内外面横ナデ。胴部内外面篋ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい橙色 普通	55% P1216 覆土上層
		B 9.5				
		C 5.4				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第437図 124	小形壺 土師器	A [7.2] B 9.2 C 4.4	平底。胴部は球形状を呈し、口縁部は短く外傾して開く。	胴部内外面寛ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	50% P1217 覆土上層
125	小形壺 土師器	B (6.7) C 3.8	口縁部欠損。平底。胴部は球形状を呈する。	胴部内面寛ナデ，外面ナデ後鋭磨き。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	70% P1219 覆土上層
126	甗 土師器	B (10.9) C 4.3	口唇部欠損。平底。胴部は扁平な球形状を呈し，中で強く張る。口縁部は緩く外反して開く。胴部上位に径1.2cmの円孔が穿たれている。	口縁部内外面横ナデ。胴部内面鋭ナデ。頸部外面寛ナデ。胴部外面は摩滅し，整形不明。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	80% P747 PL93 覆土上層
127	坏(脚付) 土師器	B (3.5) D 5.1 E 1.6	坏部は緩く内彎気味に外上方に開く。脚部は「ハ」の字状に開く。	坏部内外面ナデ。脚部横ナデ。	砂粒 灰褐色 普通	20% P835 覆土上層
128	手握土器 土師器	A 4.7 B 3.6 C 4.4	平底。体部はほぼ垂直に立ち上がる。	内外面指頭によるナデ及びオサエ。全体に粗雑な整形。	砂粒・長石・礫 橙色 普通	100% P1221 覆土上層
129	手握土器 土師器	A 4.6 B 3.8 C 4.1	平底。体部は全体的に歪みをもち，ほぼ垂直に立ち上がる。	内面指頭・篋によるナデ及びオサエ。外面指頭によるナデ及びオサエ。全体に粗雑な整形。	砂粒・長石 橙色 普通	90% P1222 PL93 覆土中層
130	手握土器 土師器	A 5.5 B 2.9 C 4.2	平底。体部は全体的に歪みをもち，やや外傾しながら立ち上がる。	内外面指頭によるナデ及びオサエ。全体に粗雑な整形。	砂粒・長石 橙色 普通	95% P1223 PL93 覆土上層
131	手握土器 土師器	A 4.1 B 2.8 C 3.6	平底。体部は全体的に歪みをもち，やや内彎気味に立ち上がる。	内外面指頭によるナデ及びオサエ。全体に粗雑な整形。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	100% P1224 覆土上層

溝

溝出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第441図 1	坏 土師器	A 14.0 B 4.2 C 6.2	底部は平底で，体部は直線的に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。外面水挽き痕強い。内面鋭磨き。底部回転糸切り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	90% P719 PL90 SD7
2	高台付坏 土師器	A 14.0 B 5.0 D 7.0 E 0.8	底部は平底で，外側へ踏ん張る高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり，口縁部で軽く外反する。	水挽き整形。内面鋭磨き。底部回転糸切り。高台貼り付け。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	95% P716 PL90 SD7
3	皿 土師質土器	A 10.4 B 2.3 C 5.7	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり，口縁部で軽く外反する。体部下位にあまい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒 浅黄橙色 普通	100% P717 PL90 SD7

道路跡

道路跡出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第441図 1	坑 土師器	A 11.3	底部は丸底気味。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で短く直立する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面横位の篋ナデ後一部篋磨き。	砂粒・雲母 に ぶい 橙 色 普 通	100% P 655 北端部の確認面
		B 7.6				
2	脚付 坏 土師器	A 15.8	坏部の底部は丸底気味で、中央部に外反する脚が付く。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面篋ナデ後一部篋磨き。脚部内・外面横ナデ。	砂粒・雲母 橙 色 普 通	100% P 656 PL90 北端部の確認面
		B 7.0				
		D 5.2				
		E 2.0				

土坑

土坑出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第441図 1	壺 土師器	B (2.0)	底部は平底で、胴部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	胴部外面横位の篋削り。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 褐 灰 色 普 通	10% P1038 S K 1 覆土
		C 8.6				
2	坏 土師器	A [12.0]	体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒・雲母 明 褐 灰 色 普 通	10% P1039 S K 1 覆土
		B (2.9)				
3	壺 灰釉陶器	B (4.3)	頸部は直立気味に立ち上がる。胴部上位に耳が付く。		砂粒 灰 オ リ ー ブ 色 普 通	5% P1040 PL90 S K 26 覆土
4	坏 土師器	B (1.7)	底部は平底で厚い。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。底部回転糸切り。内面篋磨き。内面黒色処理。	砂粒・雲母 に ぶい 橙 色 普 通	10% P1041 S K 26 覆土
		C 5.9				
5	坏 土師器	A [14.8]	体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。体部中位にぶい稜をもつ。	水挽き整形。体部下端回転篋削り。	砂粒 浅 黄 橙 色 普 通	10% P1042 S K 26 覆土
		B (4.5)				
6	皿 土師質土器	A [9.0]	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。体部下位にぶい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・長石 灰 白 色 普 通	40% P1043 PL90 S K 26 覆土
		B 2.0				
		C 4.2				
7	皿 土師質土器	A [8.0]	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。体部下位にぶい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・雲母 灰 褐 色 普 通	30% P1044 S K 26 覆土
		B 1.7				
		C [5.3]				
8	皿 土師質土器	A 7.7	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。体部下位にぶい稜をもつ。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・長石 に ぶい 橙 色 普 通	100% P567 PL90 S K 26 底面
		B 1.9				
		C 4.3				
9	坏 土師器	A 11.4	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転糸切り。	砂粒・雲母 橙 色 普 通	100% P1045 PL90 S K 35 覆土中層
		B 3.1				
		C 5.6				
10	坏 土師器	A 11.8	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転糸切り。	砂粒・雲母 に ぶい 橙 色 普 通	80% P1046 PL90 S K 35 覆土中層
		B 3.0				
		C 4.7				
第442図 11	皿 土師質土器	A 10.8	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり、口唇部はやや凸状を呈する。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・長石 灰 褐 色 普 通	40% P1047 S K 42 覆土
		B 2.3				
		C [5.5]				
12	高台付 坏 土師器	B (1.2)	底部は平底で薄い。外側へ踏ん張る高台が付く。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。高台貼り付け。	砂粒・雲母・スコリア に ぶい 橙 色 普 通	10% P1048 S K 56 覆土
		D [7.2]				
		E 0.6				

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第442図 13	坏 土師器	B (1.4) C 6.6	底部は平底で厚い。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転篋切り後ナデ。	砂粒・雲母 灰赤色 普通	20% P1049 S K60 覆土
14	坏 土師器	A [13.8] B (4.5)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部でやや外傾する。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面横位の篋ナデ。	砂粒 浅黄色 普通	5% P1054 S K83 覆土
15	甗 土師器	A 27.2 B 29.3 孔径 9.2	単孔式。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で外反する。	口縁部内面横ナデ後篋磨き。外面横ナデ。胴部内面ナデ後篋磨き。外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい黄橙色 普通	85% P1055 S K84 覆土中層
16	高坏 土師器	A [13.9] B (5.4) E (0.4)	脚部は欠損。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で内傾する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内面篋磨き。体部外面ナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	25% P1056 S K87 覆土
17	皿 土師器	B (1.9) C [5.6]	底部は平底で、柱状に突出する。	内面篋磨き。底部は摩滅が著しく調整不明。	砂粒・雲母 橙色 普通	30% P1057 S K93 覆土
18	甗 土師器	B (17.7) C 6.2	底部は平底。胴部は内彎しながら立ち上がり、中位で丸く張る。	胴部外面斜位の篋削り。胴部内面縦位の篋ナデ。	砂粒・スコリア にぶい橙色 普通	40% P1058 S K99 覆土中層
19	坏 土師器	A 13.2 B 4.6 C 4.9	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で直立する。	体部内・外面篋磨き。	砂粒 明赤褐色 普通	90% P1062 PL90 S K99 覆土中層
20	坏 土師器	A 13.4 B 4.9 C 5.1	底部は丸底気味。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面篋削り。体部内面篋磨き。	砂粒・スコリア 明赤褐色 普通	70% P1063 PL90 S K99 覆土中層
21	坑 土師器	A [15.2] B (5.7)	体部は内彎しながら立ち上がる。口縁部で外反して、口唇部を丸くおさめる。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面篋ナデ。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	40% P1060 S K99 覆土下層
22	坑 土師器	A 9.6 B 4.5 C 3.4	底部は平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部でほぼ直立する。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面横位の篋ナデ。内面ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	100% P1061 S K99 覆土中層
23	高坏 土師器	A 13.5 B 9.5 D 10.9 E 4.3	坏部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部でやや内傾する。脚部は「ハ」の字状に外下方に開き、裾部で大きく開く。	口縁部内・外面横ナデ。坏部内面篋磨き。裾部内・外面横ナデ。脚部内面横位の篋ナデ。坏部・脚部外面丁寧なナデ。	砂粒・長石・雲母 明赤褐色 普通	100% P1059 PL90 S K99 覆土下層
第443図 24	高坏 土師器	B (5.6)	脚部片。「ハ」の字状に外下方に開く。	脚部外面縦位の篋磨き。脚部内面縦位の篋ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	30% P1065 S K125 底面
25	脚付坏 土師器	B (2.8) D 5.4 E 1.6	脚部片で、やや外反する。	脚部内・外面横ナデ。脚貼り付け。	砂粒・長石 橙色 普通	10% P1066 S K127 覆土
26	皿 土師器	A 5.2 B 1.5 C 4.1	底部は平底で厚い。体部は短く外傾して立ち上がる。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・雲母・長石 橙色 普通	100% P1067 S K130 覆土
27	坑 土師器	A [11.9] B 5.6 C [8.6]	底部は平底で、木葉痕有り。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で直立する。	体部から口縁部にかけて内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 灰褐色 普通	30% P1068 S K131 覆土
28	甗 土師器	B (6.1)	底部は丸底で、径0.9cmの小孔が多数有り。胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部内・外面ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい褐色 普通	15% P1069 PL90 S K133 覆土

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第443図 29	坏 土師器	A [13.4] B (3.6)	体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部との境に明瞭な稜をもつ。口縁部は内傾する。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面横位の篋削り。内面ナデ。	砂粒・スコリア 灰白色 普通	15% P1074 S K155 覆土
30	摺鉢 陶器	B (6.3) C [15.2]	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。内面に櫛目が施されている。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒 暗褐色 普通	10% P1075 S K164 覆土
31	皿 土師質土器	A [6.6] B 2.2 C 4.4	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。底部ナデ。	砂粒・雲母 褐灰色 普通	50% P1076 S K166 覆土
32	壺形土器 弥生式土器	B (6.2) C [7.4]	底部は平底で、端部は若干突出する。胴部は外傾して立ち上がる。	内面ナデ。胴部下半付加糸2種の縄文の羽状構成。底面に砂粒目立つ。	砂粒・雲母 褐灰色 普通	10% P1077 PL90 S K166 覆土
33	坏 土師器	A [13.3] B 3.0 C [7.8]	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。底部回転糸切り。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	25% P1078 S K168 覆土
34	高台付皿 陶器	A [11.3] B 2.3 D [6.7] E 0.2	底部は平底で、削り出しの短い高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部で軽く外反する。		砂粒 灰白色 普通	30% P1079 S K168 覆土
35	皿 陶器	A [11.8] B 2.5 C [7.6]	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。		砂粒 灰白色 普通	30% P1080 S K169 覆土
36	坏 土師器	A [15.5] B (4.8)	体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内・外面横ナデ。体部内面篋磨き。体部外面篋ナデ。	砂粒 褐灰色 普通	20% P1081 S K175 覆土
37	坏 土師器	A 15.2 B 5.4 C 4.0	底部はやや上げ底で狭い。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内面篋磨き。体部外面上位ナデ。下位横位の篋削り。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	70% P1082 PL90 S K179 覆土下層
38	坏 土師器	A [12.2] B (3.9)	体部は内彎気味に立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内・外面横ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	15% P1085 S K186 覆土
39	高坏 土師器	E (8.0)	脚部片。円筒状を呈し、裾部で開く。中位に一孔穿たれる。	脚部外面縦位の篋磨き。内面輪積み痕が明瞭に残る。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	20% P1083 S K186 覆土下層
40	高坏 土師器	B (5.0) E (4.2)	脚部片。円筒状を呈し、裾部で大きく開く。	脚部外面ナデ。内面輪積み痕が明瞭に残る。	砂粒・石英・雲母 橙色 普通	30% P1084 S K186 覆土
第444図 41	甕 土師器	B (5.8) C [8.2]	底部は平底。胴部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	胴部外面斜位の篋ナデ。内面篋ナデ。	砂粒・長石 褐灰色 普通	20% P1086 S K189 底面
42	壺 土師器	A 11.8 B 8.7 C 3.1	底部は平底で狭い。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部でわずかに外傾する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	100% P1090 PL90 S K189 底面 外面煤付着
43	高坏 土師器	B (4.7) D 11.0 E 4.0	脚部片。「ハ」の字状に外下方に開き、裾部で大きく開く。	脚部外面縦位の篋磨き。内面篋ナデ。裾部内・外面横ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	40% P1087 S K189 底面
44	高坏 土師器	D 9.8 E (4.2)	脚部片。「ハ」の字状に外下方に開き、裾部で大きく開く。	脚部内・外面篋ナデ。裾部内・外面横ナデ。	砂粒・長石・雲母 赤色 普通	40% P1088 S K189 底面 外面赤彩

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第444図 45	高坏 土師器	B (4.8) E (2.5)	坏部は外傾して立ち上がる。脚部は「ハ」の字状に外下方に開く。	坏部内面篋磨き。外面篋ナデ。脚部外面篋磨き。内面ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P1089 S K189 底面
46	脚付坏 土師器	B (3.3) E (1.9)	坏部は外傾して立ち上がり、脚部は「ハ」の字状に外下方に開く。	坏部内・外面篋ナデ。脚部内・外面横ナデ。脚貼り付け。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	30% P1091 S K196 覆土中層
47	甕 土師器	A 17.7 B 26.5 C 7.3	底部は平底。胸部は内彎しながら立ち上がり、頸部を「く」の字状に屈曲させる。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胸部内面篋ナデ。外面縦位の篋ナデ。	砂粒 明褐色 普通	95% P1092 S K202 覆土中層
48	甕 土師器	A 19.5 B (26.0)	胸部は内彎しながら立ち上がり、頸部から口縁部にかけて外反する。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胸部内面ナデ。胸部外面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	75% P1093 PL90 S K202 覆土下層 外面煤付着
49	甕 土師器	A [14.0] B 16.0 孔径 [7.5]	胸部は緩やかに内彎しながら立ち上がり、口縁部でわずかに内傾する。底部は単孔式。	口縁部内・外面横ナデ。胸部外面縦位の篋削り。胸部内面横位の篋ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	40% P1094 S K202 覆土下層
50	高坏 土師器	A 23.2 B 12.5 D [11.2] E 4.0	坏部は外傾して立ち上がり、中位から外反する。脚部は「ハ」の字状に外下方に開く。	口縁部内・外面横ナデ。坏部内面篋ナデ後一部篋磨き。外面ナデ。脚部内面篋ナデ。外面篋磨き。裾部内・外面横ナデ。	砂粒・長石 明褐色 普通	90% P1095 PL90 S K202 覆土下層
第445図 51	高坏 土師器	A 14.6 B 9.9 D 10.0 E 3.6	坏部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。脚部は「ハ」の字状に開き、裾部で大きく開く。	坏部口縁部内・外面横ナデ。体部外面篋ナデ。内面篋磨き。脚部外面縦位の篋磨き。内面篋ナデ。裾部内・外面横ナデ。	砂粒・長石・礫 灰白色 普通	95% P1096 S K202 覆土下層
52	高坏 土師器	A 13.3 B 10.0 D 10.5 E 4.5	坏部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。脚部はやや開き気味に下がり、裾部で大きく開く。	坏部口縁部内・外面横ナデ。体部外面横位の篋ナデ。内面篋磨き。裾部内・外面横ナデ。	砂粒・長石・雲母 浅黄褐色 普通	100% P1097 S K202 覆土中層
53	高坏 土師器	B (7.2) D 9.3 E 5.1	脚部はやや開き気味に下がり、裾部で大きく開く。	坏部外面篋削り。内面篋ナデ。脚部外面縦位の篋磨き。内面篋ナデ。裾部内・外面横ナデ。	砂粒・雲母 赤褐色 普通	60% P1098 S K202 覆土中層
54	埴 土師器	A 14.7 B 6.6 C 6.0	底部は平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で内傾する。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面横位の篋ナデ。内面篋磨き。	砂粒・長石 にぶい黄褐色 普通	100% P1099 PL90 S K202 覆土中層
55	鉢 土師器	A [17.4] B (6.4)	体部から口縁部にかけて、内彎しながら立ち上がる。体部と口縁部の境に明瞭な稜をもつ。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	30% P1100 S K202 覆土中層
56	坏 土師器	A [14.2] B (6.3)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部でやや内傾する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面篋ナデ。	砂粒 赤褐色 普通	40% P1101 S K202 覆土下層
57	坏 土師器	A [12.6] B (3.7)	口縁部片。体部と口縁部の境に明瞭な稜をもつ。	口縁部内・外面横ナデ。	砂粒 暗赤褐色 普通	10% P1102 S K202 覆土中層
58	坏 土師器	A [11.4] B (4.4)	体部は外傾して立ち上がり、口縁部で内傾する。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面横位の篋ナデ。体部内面篋磨き。	砂粒 灰白色 普通	15% P1103 S K202 覆土下層
59	手捏 土師器	A 7.4 B 6.9 C 5.2	高坏形。底部は平底で、坏部は外傾して立ち上がる。	内面雑な篋ナデ。外面ナデ。	砂粒・長石・礫 にぶい黄褐色 普通	100% P1104 S K202 覆土下層

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第445図 60	壺形土器 弥生式土器	B (8.3) C [16.0]	底部は平底で、端部は若干突出する。体部は外傾して立ち上がる。	内面ナデ。胴部下半は、付加条2種の縄文の羽状構成。底面に砂粒目立つ。	砂粒・スコリア 浅黄橙色 普通	20% P1105 SK206 覆土下層
61	甕 土 師 器	A 19.8 B 14.7 C 5.9	底部は平底で木葉痕有り。胴部は内彎しながら立ち上がり、頸部から口縁部にかけて外反する。	口縁部内・外面横ナデ。胴部内・外面篋ナデ。	砂粒 にぶい赤褐色 普通	90% P1106 PL90 SK210 底面直上
62	坏 土 師 器	A [13.2] B 5.3 C 3.3	底部は丸底気味。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内・外面横ナデ。底部及び体部外面横位の篋削り。内面篋ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	80% P1107 PL90 SK210 底面直上
第446図 63	皿 土師質土器	A 6.9 B 0.9 C 5.3	底部は平底で厚い。体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	底部回転糸切り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	100% P1108 SK221 底面 内面油煙付着
64	皿 土師質土器	A 6.8 B 0.9 C 4.9	底部は平底で厚い。体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	底部回転糸切り。	砂粒・長石 浅黄橙色 普通	90% P1109 SK221 底面 内面油煙付着
65	皿 土師質土器	A [7.4] B 1.0 C 5.6	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。	底部回転糸切り。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	45% P1110 SK221 底面
66	皿 土師質土器	A [6.0] B 1.0 C 3.8	底部は平底で厚い。体部は外傾して立ち上がる。	底部一方向の手持ち篋削り。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	70% P1111 SK221 底面
67	三 足 鍋 土師質土器		三足鍋の足部片。		砂粒・長石 黒色 普通	10% P1112 SK221 底面
68	坑 土 師 器	B (3.7) C 5.3	底部は平底で、体部は内彎しながら立ち上がる。	底部及び体部下位篋削り。内面篋磨き。	砂粒・長石・雲母 浅黄橙色 普通	20% P1113 SK224 覆土下層
69	灯 明 具 陶 製 品	A 4.9 B 4.9 C 4.3			砂粒 オリーブ色 普通	100% P1114 SK237 底面
70	高台付皿 磁 器	A [11.4] B 3.6 D 4.0 E 0.6	底部は平底で、短く直立する高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部はやや尖る。	高台は削り出し。	砂粒 灰白色 普通	40% P1115 PL90 SK243 底面
71	高台付皿 磁 器	A [11.4] B 3.0 D [5.0] E 0.5	底部は平底で、やや内傾する高台が付く。体部は内彎気味に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	高台は削り出し。	砂粒 灰白色 普通	20% P1116 SK243 底面
72	鉢 土 師 器	A [12.8] B (6.7)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。体部と口縁部の境に稜をもつ。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面ナデ。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	15% P1117 SK248 覆土
73	坏 土 師 器	B (3.6) C [5.4]	底部は平底で、体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。	底部及び体部内・外面ナデ。	砂粒・長石 橙色 普通	10% P1118 SK253 覆土
74	甕 土 師 器	A 17.8 B (25.7)	胴部は内彎しながら立ち上がり、下位に最大径をもつ。頸部は「く」の字状に屈曲する。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。胴部外面ナデ。	砂粒・長石 にぶい褐色 普通	60% P1119 SK254 覆土中層
75	甕 土 師 器	A [18.2] B (8.7)	胴部は内彎しながら立ち上がり、頸部から口縁部にかけて外反する。口唇部の中央は凹む。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部内・外面ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	10% P1120 SK254 覆土中層

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第447図 76	甌 土師器	A 25.6 B 28.3 孔径 7.7	単孔式。胴部はやや外傾して立ち上がり、口縁部で外反する。	口縁部内・外面横ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒 におい黄褐色 普通	80% P1121 PL90 S K254 覆土中層
77	坏 土師器	A 13.5 B 6.3	底部は丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で外反する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内面篋ナデ。体部外面篋削り。	砂粒・長石・雲母 におい赤褐色 普通	70% P1123 PL90 S K260 覆土中層
78	高坏 土師器	B (4.3) D 7.1 E 3.9	脚部片で、「ハ」の字状に外下方に開く。	脚部外面縦位の篋磨き。内面篋ナデ。	砂粒・スコリア におい褐色 普通	30% P1122 S K260 覆土上層
79	坑 土師器	A 12.7 B 7.6 C 4.4	底部は平底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で軽く外反する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面篋磨き。	砂粒・雲母 明赤褐色 普通	95% P1124 PL90 S K272 覆土

井戸

井戸出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第451図 1	土鍋	A [26.8] B 5.1 C [20.6]	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。全体的に浅い皿状を呈し、器肉は厚い。	体部下端横位の篋削り。	砂粒・雲母 灰褐色 普通	10% P1064 S E 1 覆土
2	坏 土師器	A [11.8] B (4.7)	体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部で直立する。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面横位の篋削り。胴部内面ナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	30% P1072 S E 2 覆土
3	内耳土器	A [21.6] B (5.2)	耳接合部の外面は膨らむ。口唇部は平坦。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面ナデ。体部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 灰褐色 普通	10% P1071 S E 2 覆土
第452図 4	摺鉢 土師質土器	B (2.1)	底部は剣離。内面に櫛目が施されている。		砂粒・長石 橙色 普通	10% P1070 S E 2 覆土
5	三足鍋 土師質土器		三足鍋の足部片。		砂粒 黒褐色 普通	10% P1073 S E 2 覆土

ピット

ピット出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第452図 1	甌 土師器	B (5.7) C [21.0]	多孔式。胴部は外傾して立ち上がる。	胴部外面横位の篋削り。胴部内面篋ナデ。	砂粒・長石 浅黄褐色 普通	10% P709 ピット83
2	坏 土師器	B (2.6) C [4.8]	底部は平底。体部は内彎気味に外傾して立ち上がる。体部下位にあまい稜をもつ。	水挽き整形。内面篋磨き。内面黒色処理。底部回転篋削り(右)。	砂粒・雲母 橙色 普通	15% P708 ピット48
3	皿 土師質土器	A [10.6] B 3.2 C 4.0	底部は平底。体部は直線的に外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	水挽き整形。底部回転糸切り後軽いナデ。	砂粒・雲母・スコリア におい橙色 普通	55% P707 ピット40

遺構外

遺構外出土土器観察表

図版番号	器種	法量(cm)	器形の特徴	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
第452図 1	壺形土器 弥生式土器	B (4.6)	底部は平底で、端部は突出する。体部は外傾して立ち上がる。	内面ナデ。胴部下半は、付加条2種の縄文の羽状構成。底面に砂粒目立つ。	砂粒・長石・スコリア 橙色 普通	10% 表採 P1295
		C 7.4				
2	甕 土師器	A 20.1	胴部は内彎しながら立ち上がり、頸部から口縁部にかけて外反する。	口縁部から頸部にかけて内・外面横ナデ。胴部外面篋ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい赤褐色 普通	50% 表採 P947 PL90
		B (21.3)				
第453図 3	甕 土師器	A [21.4]	胴部は内彎しながら立ち上がり、頸部から口縁部にかけて、外反する。	口縁部内面ハケ状工具による整形。外面横ナデ。頸部から胴部上位にかけて、ハケ状工具による整形後一部篋ナデ。胴部下半篋削り。	砂粒・長石・スコリア 灰褐色 普通	50% 表採 P949
		B (27.2)				
4	甕 土師器	A [14.4]	胴部は内彎しながら立ち上がり、頸部から口縁部にかけて外反する。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面篋ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい褐色 普通	40% 表採 P1282 輪積み痕有り
		B (16.4)				
5	甕 土師器	B (8.9)	底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部内・外面篋ナデ。	砂粒・雲母・スコリア にぶい橙色 普通	20% 表採 P1283
		C 7.4				
6	鉢 土師器	A [12.8]	底部は平底気味。胴部は内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや内傾する。	口縁部内・外面横ナデ。胴部外面斜位の篋ナデ。胴部内面横位の篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 にぶい赤褐色 普通	80% P1284 確認面
		B 11.0				
7	高坏 土師器	B (8.3)	坏部は外傾して立ち上がり、脚部は「ハ」の字状に外下方に開く。	坏部内・外面篋磨き後面黒色処理。脚部内面篋ナデ。脚部外面縦位の篋磨き。裾部内・外面横ナデ。	砂粒・雲母 にぶい橙色 普通	50% 表採 P1285
		D [11.3]				
		E 4.7				
8	高坏 土師器	B (5.7)	脚部片。「ハ」の字状に外下方に開く。中位に3孔穿たれる。	脚部外面縦位の篋磨き。脚部内面篋ナデ。	砂粒・雲母 橙色 普通	20% 表採 P1286
		E (4.1)				
9	高坏 土師器	E (9.2)	脚部片。円筒状を呈し、中位に1孔穿たれる。	脚部外面縦位の篋磨き。脚部内面篋ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	20% 表採 P1287
10	高坏(形土器 弥生式土器)	E (5.6)	脚部片。円筒状を呈し、裾部で開く。	脚部内・外面ナデ。	砂粒 灰白色 普通	20% 表採 P1300
11	埴 土師器	A 10.4	底部は平底。体部は内彎しながら立ち上がり、そのまま口縁部に至る。	体部外面縦位の篋削り。体部内面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	100% 表採 P953 PL90
		B 8.0				
		C 5.0				
12	坏 土師器	A [12.4]	体部は外傾して立ち上がり、口縁部との境ににぶい稜をもつ。口縁部はやや内傾する。	口縁部内・外面横ナデ。	砂粒・長石 にぶい橙色 普通	10% 表採 P978
		B (3.4)				
13	坏 土師器	A [14.0]	体部は外傾して立ち上がり、口縁部との境に稜をもつ。口縁部は直立する。	口縁部内・外面横ナデ。体部内・外面篋磨き。	砂粒 明赤褐色 普通	10% 表採 P979
		B (3.2)				
14	坏 土師器	A 12.8	底部は丸底。体部は内彎しながら立ち上がり、口縁部でやや外反する。	口縁部内・外面横ナデ。体部外面ナデ。体部内面篋磨き。	砂粒・長石・雲母 にぶい橙色 普通	95% 表採 P1288 PL90
		B 4.6				
15	坏 土師器	A [14.6]	丸底の底部から内彎気味に外傾して立ち上がり、口縁部との境に稜をもつ。口縁部は直立する。	口縁部内・外面横ナデ。	砂粒・雲母 浅黄褐色 普通	20% 表採 P1289
		B (4.5)				

図版番号	器 種	法量(cm)	器 形 の 特 徴	手 法 の 特 徴	胎土・色調・焼成	備 考
第454図 16	埴 土 師 器	A [9.1]	底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。頸部は「く」の字状に屈曲して、口縁部で直立気味になる。	口縁部内・外面横ナデ。口縁部以下丁寧なナデ。	砂粒・雲母・スコリア 橙色 普通	80% P958 表採
		B 9.8				
		C 4.0				
17	埴 土 師 器	B (5.3)	底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒 にぶい橙色 普通	30% P959 表採
		C 3.5				
18	埴 土 師 器	A 13.2	胴部以下欠損。頸部から外傾して立ち上がり、口縁部で直立気味になる。	口縁部内・外面横ナデ。口縁部から頸部にかけて外面篋磨き。	砂粒 橙色 普通	30% P960 表採
		B (5.2)				
19	埴 土 師 器	A 9.5	胴部以下欠損。頸部から外傾して立ち上がる。	口縁部内・外面横ナデ。口縁部から頸部にかけて外面篋ナデ。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	30% P961 表採
		B (5.6)				
20	埴 土 師 器	A [9.6]	底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。頸部から口縁部にかけて外傾する。	口縁部内・外面横ナデ。口縁部以下内・外面斜位の篋ナデ。	砂粒 橙色 普通	50% P1290 表採
		B 9.4				
		C 3.3				
21	埴 土 師 器	B (5.5)	底部は平底で、胴部は内彎しながら立ち上がる。	胴部内・外面横位の篋ナデ。	砂粒・雲母 明赤褐色 普通	60% P1291 表採
		C 3.3				
22	皿 土師質土器	A 8.9	底部は平底。体部は外傾して立ち上がり、口唇部を丸くおさめる。	底部回転糸切り。	砂粒・長石・スコリア にぶい橙色 普通	80% P1292 表採
		B 1.9				
		C 5.2				
23	手 捏 土 師 器	A 4.8	底部は平底で、体部は直立気味に立ち上がり、口縁部に至る。	体部内・外面斜位の篋ナデ。	砂粒 橙色 普通	95% P962 表採
		B 4.9				
		C 4.2				
24	手 捏 土 師 器	A 5.3	底部は丸底で、体部は外傾して立ち上がる。	内面ナデ。外面指頭痕残る。	砂粒 明黄褐色 普通	95% P1293 表採
		B 3.3				
25	手 捏 土 師 器	B (4.9)	底部は平底で、体部は外傾して立ち上がる。	体部外面指頭痕残る。	砂粒・長石・雲母 橙色 普通	20% P1294 表採
		C 5.4				
26	灯 明 具 陶 製 品	A 4.2			暗赤褐色 普通	95% P1296 PL90 表採
		B 4.7				
		C 4.0				
27	灯 明 具 陶 製 品	B (3.5)			灰白色 普通	50% P1297 表採
		C 3.6				

表32 土製品一覧表

図版番号	器種	長さ×幅 (cm)	孔径(cm)	重量(g)	出土地点	備考
第334図51	羽口	(6.9) × 5.6	2.0	—	SI-70	DP1 PL94 半欠品。先端部に鉄付着。
第334図52	羽口	8.2 × 4.2	1.9	—	SI-70	DP2 PL94 高坏脚部からの転用。先端部は溶解。
第334図53	羽口	(11.0) × 6.1	4.4	—	SI-70	DP3 PL94 高坏脚部からの転用。先端部は溶解し、鉄付着。
第334図54	羽口	(5.0) × (4.6)	2.0	—	SI-70	DP4 PL94 高坏脚部からの転用。先端部は溶解し、鉄付着。
第347図13	支脚	(9.4) × 5.0	—	(117.5)	SI-87	DP5 PL94 一部欠損。
第350図15	紡錘車	4.0 × 4.0 × 4.1	0.8	51.2	SI-90	DP6 PL94
第368図28	羽口	(11.8) × 6.9	3.1	—	SI-105	DP7 PL94 半欠品。先端部は溶解し、鉄付着。
第284図8	紡錘車	4.6 × 4.7 × 1.6	0.6	32.3	SI-106	DP17 PL94
第284図6	紡錘車	5.6 × 5.7 × 1.5	0.6	46.9	SI-106	DP8 PL94
第284図7	紡錘車	5.6 × 5.6 × 1.9	0.7	62.7	SI-106	DP9 PL94
第284図9	紡錘車	4.8 × 4.8 × 1.5	0.5	25.4	SI-106	DP18 PL94
第285図5	紡錘車	5.1 × 4.8 × 2.2	0.7	52.8	SI-148	DP19 PL94
第437図132	紡錘車	5.3 × 5.3 × 1.7	0.6	60.7	SD-10	DP13 PL94
第437図133	紡錘車	4.9 × 4.9 × 1.5	0.9	41.6	SD-11	DP14 PL94
第437図134	塊状耳飾り	径3.2 厚さ1.1	[1.2]	(4.1)	SD-11	DP15 半欠品

表33 石器・石製品一覧表

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	石質	出土地点	備考
第405図6	砥石	11.4 × 6.2 × 2.6	緑泥片岩	SI-4	Q1 134g 両面に使用痕が認められる。
第286図5	砥石	(10.0) × 4.1 × 5.8	凝灰岩	SI-6	Q2 PL95 4面に使用痕が認められる。
第288図7	砥石	8.5 × 6.9 × 2.5	凝灰岩	SI-16	Q10 2面に使用痕が認められる。
第408図6	砥石	8.5 × 4.0 × 2.6	結晶片岩	SI-18	Q11 121.2g 片面と両側面に使用痕が認められる。
第409図8	砥石	5.7 × 3.2 × 3.7	砂岩	SI-19	Q12 112.1g 片面に使用痕が認められる。
第409図9	砥石	(5.3) × 1.8 × 0.6	結晶片岩	SI-19	Q13 10.1g 両面に使用痕が認められる。
第292図21	台石	21.0 × 17.6 × 9.1	砂岩	SI-21	Q18 両面に使用痕が認められる。
第411図6	砥石	9.4 × 6.8 × 3.3	結晶片岩	SI-25	Q22 PL95 253g 全面に使用痕が認められる。
第411図7	砥石	9.9 × 5.1 × 1.4	緑泥片岩	SI-25	Q23 76.2g 片面と1側面に使用痕が認められる。
第294図8	砥石	20.8 × 7.4 × 2.0	片岩	SI-27	Q26 両面に使用痕が認められる。
第415図47	紡錘車	4.3 × 4.4 × 1.1	滑石	SI-29	Q30 PL95 26.1g 孔径6mm。
第302図12	支脚	14.0 × 7.4	凝灰岩	SI-39	Q37 一部欠損。
第303図5	石皿	11.9 × 11.9 × 5.8	安山岩	SI-41	Q41 欠損。流れ込み。
第416図3	砥石	(4.5) × 4.2 × 1.4	結晶片岩	SI-42	Q42 29.8g 片面と1側面に使用痕が認められる。
第304図3	支脚	21.3 × 7.5 × 6.5	凝灰岩	SI-45	Q539 PL95
第305図18	砥石	6.8 × 3.6 × 1.6	片岩	SI-47	Q44 全面に使用痕が認められる。
第308図6	敲石	23.4 × 6.5 × 4.0	片麻岩	SI-52	Q56 使用痕が認められる。
第308図7	砥石	4.5 × 3.9 × 1.1	粘板岩	SI-52	Q57 半欠品。
第309図6	砥石	11.4 × 3.6 × 5.3	片岩	SI-53	Q58 半欠品。
第309図7	敲石	11.2 × 4.1 × 3.8	砂岩	SI-53	Q59
第309図8	支脚	21.7 × 6.3	凝灰岩	SI-53	Q60 PL95
第311図12	提げ砥石	12.2 × 3.6 × 0.8	粘板岩	SI-54	Q61 PL95 76.6g 孔径4mm。
第311図13	敲石	11.9 × 6.2 × 3.3	片麻岩	SI-54	Q62 全面に使用痕が認められる。
第311図14	敲石	10.9 × 7.2 × 6.0	石英	SI-54	Q63
第311図15	敲石	12.8 × 6.2 × 9.6	砂岩	SI-54	Q64
—	礫	13.8 × 10.2 × 5.6	花崗岩	SI-56	Q66 火熱を受けている。

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	石質	出土地点	備考
第316図38	紡錘車	4.7 × 4.8 × 1.1	滑石	SI-56	Q67 P L95 孔径9mm。
第316図39	紡錘車	4.3 × 4.4 × 1.2	滑石	SI-56	Q68 P L95 孔径7mm。
第317図6	砥石	18.7 × 11.4 × 2.9	片麻岩	SI-60	Q75 欠損。4面に使用痕が認められる。
第317図7	砥石	(11.2) × 5.2 × 2.5	片岩	SI-60	Q76 P L95 半欠品。2面に使用痕が認められる。
第320図14	磔	12.4 × 9.7 × 7.5	凝灰岩	SI-62	Q96 火熱を受けている。
第327図216	石鏃	2.4 × 1.7 × 0.5	チャート	SI-64	Q123
第327図217	石鏃	2.7 × 1.4 × 0.5	流紋岩	SI-64	Q124 欠損。
第334図58	凹石	16.3 × 8.2 × 4.0	砂岩	SI-70	Q427 両面に凹みが認められる。
第334図57	磔	11.9 × 7.8 × 8.9	安山岩	SI-70	Q428 欠損。火熱を受けている。
第335図60	磔	13.4 × (8.5) × 8.7	安山岩	SI-70	Q429 欠損。火熱を受けている。
第335図61	磔	15.2 × 10.1 × 3.8	砂岩	SI-70	Q430 欠損。火熱を受けている。
第334図59	敲石	10.6 × 8.6 × 4.4	砂岩	SI-70	Q431
第336図5	管玉	2.0 × 0.4 × 0.35	滑石	SI-74	Q579 孔径2mm。
第336図3	敲石	10.2 × 4.4 × 2.3	砂岩	SI-76	Q436
第344図36	提げ砥石	(6.3) × 3.6 × 0.7	凝灰岩	SI-83	Q443 P L95 24.2g 2回穿孔される。孔径4mm, 5mm。
第344図37	砥石	10.6 × 3.6 × 3.2	片岩	SI-83	Q444 欠損。一面に使用痕が認められる。
第344図38	敲石	9.6 × 6.2 × 2.1	砂岩	SI-83	Q445
第344図46	紡錘車	4.1 × 4.1 × 1.4	滑石	SI-83	Q453 孔径7mm。
第347図14	提げ砥石	6.4 × 2.8 × 1.4	粘板岩	SI-87	Q455 P L95 37.3g 孔径9mm。半欠品。
第347図15	砥石	8.5 × 3.5 × 1.0	粘板岩	SI-87	Q456 欠損。
第348図6	炉石	26.2 × 8.6 × 7.3	安山岩	SI-89	Q460 火熱を受けている。一部欠損。
第350図16	敲石	15.9 × 5.6 × 3.8	砂岩	SI-90	Q461 片側に凹面が認められる。
第350図17	磔	13.4 × 4.0 × 3.5	砂岩	SI-90	Q462 一部に使用痕が認められる。
第352図20	砥石	6.6 × 2.7 × 1.4	片岩	SI-91	Q463 半欠品。提げ砥石の可能性有り。
第352図21	砥石	11.1 × 6.9 × 1.9	凝灰岩	SI-91	Q464 欠損。2面に使用痕が認められる。
第356図25	紡錘車	4.0 × 4.1 × 1.8	滑石	SI-100	Q482 P L95 孔径9mm。
第356図18	敲石	10.9 × 8.2 × 4.8	砂岩	SI-100	Q483 2か所に使用痕が認められる。
第356図19	砥石	(8.5) × 9.1 × 5.5	片麻岩	SI-100	Q484 砥石の可能性有り。
第356図26	水晶玉	径 0.8	水晶	SI-100	Q490 P L95 孔径2mm。
第362図39	砥石	9.2 × 3.7 × 1.8	凝灰岩	SI-102	Q494 小形。
第362図40	砥石	8.4 × 2.2 × 1.9	凝灰岩	SI-102	Q495 小形。欠損。
第362図41	双孔石製品	10.9 × 5.3 × 1.2	粘板岩	SI-102	Q496 P L95 孔径5mm。提げ砥石の可能性有り。
—	敲石	11.5 × 5.7 × 1.4	砂岩	SI-103	Q501
—	敲石	13.8 × 4.3 × 3.0	片麻岩	SI-103	Q502 欠損。
第364図20	支脚	(11.3) × 7.7 × 5.8	凝灰岩	SI-103	Q540 欠損。
—	敲石	9.7 × 8.8 × 4.3	砂岩	SI-104	Q504 3か所に使用痕が認められる。
第368図29	砥石	(8.0) × 3.0 × 3.4	片岩	SI-105	Q505 欠損。
—	敲石	10.8 × 8.5 × 7.0	花崗岩	SI-105	Q506 2面に凹部有り。
第368図30	石鏃	2.4 × 1.2 × 0.4	チャート	SI-105	Q732 P L95
第284図10	炉石	33.3 × 8.1 × 4.8	片麻岩	SI-106	Q736 P L95 火熱を受けている。
—	磔	19.9 × 8.0 × 6.2	砂岩	SI-110	Q513 火熱を受けている。
第377図13	石錘	5.9 × 2.3 × 1.8	凝灰岩	SI-116	Q523 P L95 流れ込み。
第377図20	管玉	2.1 × 0.6 × 0.6	滑石	SI-116	Q524 P L95 孔径3mm。
第377図21	ガラス玉	0.7 × 0.7 × 0.5	ガラス	SI-116	Q531 孔径1.5mm。
第377図12	砥石	8.2 × 3.5 × 2.0	凝灰岩	SI-116	Q535
第377図11	砥石	12.7 × 6.5 × 3.3	片岩	SI-116	Q536

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	石質	出土地点	備考
第382図34	敲石	12.9 × 6.8 × 6.2	閃緑岩	SI-117	Q541 欠損。
第382図35	敲石	11.3 × 6.7 × 7.3	片麻岩	SI-117	Q542
第382図36	支脚	21.1 × 6.6 × 4.8	凝灰岩	SI-117	Q544
第385図12	支脚	(15.7) × 8.0 × 7.5	凝灰岩	SI-119	Q566
第388図17	石鏃	2.3 × 1.5 × 0.4	メノウ	SI-121	Q733 P L95 流れ込み。
—	磨製石斧	(10.0) × 5.6 × 3.4	閃緑岩	SI-123	Q575 欠損。
第390図8	提げ砥石	10.2 × 4.2 × 1.0	粘板岩	SI-126	Q580 P L95 孔径9mm。
第390図9	垂飾り	1.5 × 1.2 × 0.35	翡翠	SI-126	Q584 P L95 孔径2.5mm。
第393図15	作業台か	16.4 × 15.8 × 6.4	砂岩	SI-130	Q585 一部火熱を受けている。
第394図7	管玉	1.8 × 0.45 × 0.45	滑石	SI-131	Q589 P L95 孔径2.5mm。
第399図16	敲石	24.5 × 5.5 × 3.7	片麻岩	SI-147	Q590 P L95
第399図17	礫	(11.6) × 4.0 × 2.3	砂岩	SI-147	Q591
第401図11	砥石	16.9 × 9.6 × 9.5	片岩	SI-155	Q593 P L95 5面に使用痕が残る。
第401図12	敲石	13.5 × 9.0 × 7.3	閃緑岩	SI-155	Q594
第419図3	支脚	20.2 × 7.4 × 6.9	凝灰岩	SI-156	Q595
第402図6	砥石	6.6 × 5.0 × 1.9	片岩	SI-165	Q599
第402図7	紡錘車	3.7 × 3.7 × 2.0	滑石	SI-165	Q600 P L95 孔径8mm。
第402図8	紡錘車	4.4 × [4.6] × 1.0	滑石	SI-165	Q601 孔径8mm。
第403図3	紡錘車	3.9 × 3.9 × 1.8	滑石	SI-168	Q602 孔径8mm。
第403図4	石鏃	2.6 × 1.4 × 0.5	チャート	SI-168	Q603
第448図91	紡錘車	(2.7) × (4.6) × (1.2)	粘板岩	SK-69	Q607 孔径7mm。
第447図80	砥石	14.9 × 3.0 × 2.2	砂岩	SK-105	Q609 片面に使用痕が認められる。
第448図92	石鏃	2.9 × 2.0 × 0.6	メノウ	SK-136	Q612 P L95
第447図81	砥石	10.5 × 4.0 × 1.9	緑泥片岩	SK-153	Q613 片面に使用痕が認められる。
第447図82	砥石	(11.2) × (2.2) × 1.2	緑泥片岩	SK-153	Q614 片面に使用痕が認められる。
第447図83	砥石	11.0 × 5.1 × 4.5	結晶片岩	SK-169	Q616 全面に使用痕が認められる。
第439図158	紡錘車	3.5 × 3.6 × 0.5	滑石	SD-10	Q642 孔径6mm。
第439図159	紡錘車	(2.7) × 5.0 × 0.8	滑石	SD-10	Q643 P L95 孔径8mm。半欠品。
第440図160	石鏃	2.3 × 1.6 × 0.7	チャート	SD-10	Q644 P L95
第438図138	砥石	12.7 × 6.9 × 2.7	片岩	SD-10	Q669 欠損。
第438図139	砥石	5.2 × 2.8 × 2.6	片岩	SD-10	Q670 欠損。
第438図141	打製石鏃	20.1 × 10.5 × 3.0	結晶片岩	SD-10	Q671 P L95 流れ込み。
第437図135	敲石	11.0 × 8.7 × 4.2	安山岩	SD-10	Q672
第438図136	敲石	9.1 × 7.9 × 4.5	砂岩	SD-10	Q673 2面に凹部がある。
第438図137	敲石	8.3 × 8.7 × 6.4	安山岩	SD-10	Q674 欠損。
第438図140	砥石	(6.2) × (4.2) × 1.5	粘板岩	SD-11	Q676 欠損。
第454図30	紡錘車	4.0 × 3.9 × 1.5	滑石	表採	Q710 孔径7mm。
第454図28	石斧	5.9 × 3.6 × 1.0	緑泥片岩	表採	Q711 P L95
第455図31	石鏃	2.1 × 2.2 × 0.6	チャート	表採	Q713
第455図32	石鏃	2.1 × 1.5 × 0.4	チャート	表土	Q714
第455図33	石鏃	2.7 × 2.0 × 0.85	チャート	表採	Q734
第455図34	石鏃未加工品	2.8 × 1.6 × 0.65	チャート	表採	Q735
第455図35	管玉	2.8 × 0.9 × 0.9	粘板岩	表採	Q597 P L95 孔径2.5mm。

表34 石製模造品一覽表

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備考
第407図2	双孔円板	(29.0)×26.0×4.0	2.0	滑石	SI-11	Q8
第288図15	双孔円板	30.0×31.0×4.0	3.0	滑石	SI-12	Q9
第290図9	双孔円板	39.0×(29.0)×4.0	4.0	滑石	SI-20	Q14
第290図10	双孔円板	30.0×35.0×4.0	3.0	滑石	SI-20	Q15 P.L.96
第290図11	剣形品	(52.0)×25.0×6.0	—	滑石	SI-20	Q16
第290図12	剣形品	46.0×26.0×4.0	1.5	滑石	SI-20	Q17
第292図22	双孔円板	29.0×31.0×4.0	2.0	滑石	SI-21	Q19
第410図10	双孔円板	(32.0)×(47.0)×3.0	3.0	滑石	SI-23	Q20
第411図5	剣形品	53.0×31.0×5.0	4.0	滑石	SI-25	Q21 P.L.97
第411図1	双孔円板	45.0×64.0×9.0	4.0	滑石	SI-26	Q24
第294図9	双孔円板	(20.0)×23.0×3.0	3.0	滑石	SI-27	Q25
第411図3	双孔円板	29.0×29.0×5.0	2.0	滑石	SI-28	Q27
第415図45	双孔円板	29.0×29.0×4.0	3.0	滑石	SI-29	Q28
第415図46	双孔円板	23.0×25.0×3.0	4.0	滑石	SI-29	Q29
第415図2	双孔円板	30.0×33.0×5.5	3.0	滑石	SI-31	Q31
第297図26	双孔円板	30.0×28.0×4.5	2.0	滑石	SI-33	Q32
第297図27	双孔円板	(14.0)×28.0×3.0	4.0	滑石	SI-33	Q33
第297図28	双孔円板	(24.0)×(20.0)×2.5	3.0	滑石	SI-33	Q34
第301図30	双孔円板	22.0×35.0×4.0	2.0	滑石	SI-37	Q35
第302図11	双孔円板	(32.0)×(36.0)×5.0	3.0	滑石	SI-39	Q36
第303図2	双孔円板	27.0×28.0×3.0	4.0	滑石	SI-41	Q38
第303図3	双孔円板	27.0×35.0×3.0	3.0	滑石	SI-41	Q39
第303図4	双孔円板	(25.0)×(19.0)×4.0	4.0	滑石	SI-41	Q40
第303図4	双孔円板	32.0×35.0×4.0	3.0	滑石	SI-44	Q537
第303図5	双孔円板	22.0×24.0×3.0	2.5	滑石	SI-44	Q538
第417図2	有孔円板	24.0×24.0×3.0	2.0	滑石	SI-46	Q43 单孔
第305図19	双孔円板	23.0×23.0×4.0	4.0	滑石	SI-47	Q45
第305図20	双孔円板	21.0×25.0×4.0	2.0	滑石	SI-47	Q46
第305図21	双孔円板	(27.0)×(28.0)×3.0	—	滑石	SI-47	Q47
第417図5	剣形品	45.0×20.0×4.0	2.0	滑石	SI-48	Q48 P.L.97
第307図16	勾玉	43.0×28.0×6.0	2.0	滑石	SI-49	Q49 P.L.97
第308図8	双孔円板	(22.0)×(15.0)×3.0	2.5	滑石	SI-52	Q50
第308図9	双孔円板	30.0×29.0×5.0	2.0	滑石	SI-52	Q51
第308図10	双孔円板	21.0×37.0×4.5	3.0	滑石	SI-52	Q52
第308図11	双孔円板	33.0×36.0×6.0	4.0	滑石	SI-52	Q53
第308図12	双孔円板	29.0×27.0×4.0	3.0	滑石	SI-52	Q54
第308図13	双孔円板	32.0×31.0×4.0	3.0	滑石	SI-52	Q55
第312図7	剣形品	60.0×34.0×5.0	3.0	滑石	SI-55	Q65 P.L.97
第316図37	剣形品	46.0×30.0×6.0	4.0	滑石	SI-56	Q69
第316図34	双孔円板	30.0×45.0×4.0	3.0	滑石	SI-56	Q70
第316図35	双孔円板	22.0×24.0×3.0	3.0	滑石	SI-56	Q71
第316図36	(双孔)方板	26.0×36.0×3.0	4.0	滑石	SI-56	Q72
第417図1	双孔円板	23.0×30.0×5.0	3.0	滑石	SI-58	Q73
第417図2	双孔円板	23.0×(16.0)×2.5	2.0	滑石	SI-58	Q74
第317図13	双孔円板	(30.0)×40.0×7.0	5.0	滑石	SI-60	Q77
第317図8	双孔円板	33.0×41.0×4.0	4.0	滑石	SI-60	Q78
第317図9	双孔円板	(23.0)×(37.0)×4.0	4.0	滑石	SI-60	Q79
第317図10	双孔円板	30.0×(44.0)×6.0	7.0	滑石	SI-60	Q80
第317図11	双孔円板	21.0×24.0×4.0	3.0	滑石	SI-60	Q81
第317図12	双孔円板	29.0×29.0×5.0	3.0	滑石	SI-60	Q82
—	双孔円板	(25.0)×(18.0)×4.0	—	滑石	SI-60	Q83
第317図14	白玉	4.5×4.5×3.0	2.0	滑石	SI-60	Q84 P.L.97
第317図15	白玉	5.0×5.0×2.0	2.0	滑石	SI-60	Q85 P.L.97
第317図16	白玉	6.0×6.0×2.0	2.0	滑石	SI-60	Q86 P.L.97
第317図17	白玉	5.0×5.0×3.0	1.5	滑石	SI-60	Q87 P.L.97
第317図18	白玉	4.5×4.5×4.0	1.5	滑石	SI-60	Q88 P.L.97
第320図12	双孔円板	26.0×26.0×5.0	2.5	滑石	SI-62	Q89
—	双孔円板	(13.0)×(30.0)×5.0	2.5	滑石	SI-62	Q90
—	双孔円板	(23.0)×37.0×3.0	2.0	滑石	SI-62	Q91
第320図13	双孔円板	28.0×32.0×7.0	5.0,4.0	滑石	SI-62	Q92
—	双孔円板	(7.0)×(20.0)×4.0	1.5	滑石	SI-62	Q93
—	双孔円板	(23.0)×(33.0)×4.0	3.0	滑石	SI-62	Q94
—	双孔円板	(20.0)×37.0×5.0	3.5	滑石	SI-62	Q95
第320図2	双孔円板	34.0×37.0×5.0	2.0	滑石	SI-63	Q97 P.L.96
第320図3	双孔円板	32.0×36.0×5.0	3.0	滑石	SI-63	Q98 P.L.96

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第320図4	双孔円板	29.0 × 27.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-63	Q99 PL96
第320図5	双孔円板	29.0 × 27.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-63	Q100
第320図6	双孔円板	37.0 × 40.0 × 4.0	3.5	滑石	SI-63	Q101
-	双孔円板	(22.0) × (33.0) × 4.0	2.0	滑石	SI-63	Q102
第320図7	双孔円板	22.0 × 31.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-63	Q103
第320図8	双孔円板	40.0 × 52.0 × 6.0	3.5	滑石	SI-63	Q104 PL96
-	双孔円板	32.0 × 34.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-63	Q105
第320図9	双孔円板	26.0 × 26.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-63	Q106 PL96
-	双孔円板	(13.0) × 17.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-63	Q107
第320図10	双孔円板	32.0 × 35.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-63	Q108
第320図11	双孔円板	25.0 × 23.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-63	Q109
-	双孔円板	(23.0) × 34.0 × 4.0	2.5	滑石	SI-63	Q110
第320図12	双孔円板	22.0 × 40.0 × 7.0	2.0	滑石	SI-63	Q111
-	双孔円板	18.0 × 18.0 × 2.0	3.5	滑石	SI-63	Q112
-	双孔円板	(28.0) × (26.0) × 4.0	2.0	滑石	SI-63	Q113
第320図13	双孔円板	21.0 × 24.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-63	Q114
第320図14	双孔円板	23.0 × 29.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-63	Q115
第320図15	双孔円板	28.0 × 33.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-63	Q116
第320図16	双孔円板	38.0 × 42.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-63	Q117
第320図17	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.0	1.0	滑石	SI-63	Q118 PL97
第320図18	白 玉	6.0 × 6.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-63	Q119 PL97
第320図19	白 玉	4.5 × 4.5 × 3.5	1.5	滑石	SI-63	Q120 PL97
第320図20	白 玉	5.5 × 5.5 × 1.5	2.0	滑石	SI-63	Q121 PL97
第320図21	白 玉	4.0 × 4.0 × 2.0	1.5	滑石	SI-63	Q122 PL97
第327図210	剣形品	52.0 × 24.0 × 7.0	2.0	滑石	SI-64	Q125
第327図207	剣形品	72.0 × 34.0 × 9.0	3.0	滑石	SI-64	Q126 PL97
-	剣形品	(23.0) × 16.0 × 9.0	2.0	滑石	SI-64	Q127
-	剣形品	50.0 × 20.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q128
-	剣形品	(46.0) × 22.0 × 6.0	-	滑石	SI-64	Q129
-	剣形品	(32.0) × 30.0 × 9.0	3.0	滑石	SI-64	Q130
第327図213	剣形品	72.0 × 32.0 × 8.0	3.0	滑石	SI-64	Q131 PL97
第327図208	剣形品	80.0 × 33.0 × 8.0	3.0	滑石	SI-64	Q132 PL97
-	剣形品	(40.0) × 40.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q133

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第327図211	剣形品	54.0 × 25.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q134 PL97
第327図212	剣形品	63.0 × 29.0 × 8.0	4.0	滑石	SI-64	Q135 PL97
-	剣形品	(35.0) × 23.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q136
-	剣形品	(30.0) × 28.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q137
-	剣形品	(52.0) × 31.0 × 8.0	3.0	滑石	SI-64	Q138
第327図209	剣形品	78.0 × 38.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q139 PL97
第327図214	剣形品	64.0 × 30.0 × 7.0	4.0	滑石	SI-64	Q140 PL97
第327図215	剣形品	65.0 × 25.0 × 8.0	3.0	滑石	SI-64	Q141 PL97
第323図75	双孔円板	(38.0) × 44.0 × 6.0	25.0	滑石	SI-64	Q 3
-	双孔円板	(24.0) × (23.0) × 4.0	5.0	滑石	SI-64	Q 4
-	双孔円板	19.0 × (11.0) × 4.0	-	滑石	SI-64	Q 5
第323図74	双孔円板	57.0 × 65.0 × 7.0	5.0	滑石	SI-64	Q 6 PL96
-	双孔円板	25.0 × 31.0 × 3.0	3.5	滑石	SI-64	Q 7
-	双孔円板	(18.0) × (29.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q142
第323図76	有孔円板	26.0 × 25.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q143 単孔
-	双孔円板	22.0 × 27.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q144
第323図77	双孔円板	21.0 × 27.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q145 PL96
第323図78	双孔円板	33.0 × 38.0 × 4.0	2.5	滑石	SI-64	Q146 PL96
-	双孔円板	24.0 × (25.0) × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q147
第323図79	双孔円板	39.0 × 42.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q148
-	双孔円板	28.0 × (38.0) × 5.0	2.5	滑石	SI-64	Q149
-	双孔円板	28.0 × (26.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q150
-	双孔円板	19.0 × (25.0) × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q151
-	双孔円板	33.0 × (16.0) × 6.0	4.0	滑石	SI-64	Q152
第323図80	双孔円板	35.0 × 38.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q153
第323図81	双孔円板	30.0 × 26.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q154
-	双孔円板	(29.0) × (42.0) × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q155
-	双孔円板	17.0 × (26.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q156
第323図82	双孔円板	29.0 × 34.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q157
第323図83	双孔円板	23.0 × 31.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q158
第323図84	双孔円板	25.0 × 29.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q159
第323図85	双孔円板	30.0 × 32.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q160
-	双孔円板	(22.0) × (32.0) × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q161

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第323図87	双孔円板	37.0 × 42.0 × 7.0	4.0	滑石	SI-64	Q162
-	双孔円板	28.0 × (33.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q163
-	双孔円板	26.0 × 30.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q164
-	双孔円板	27.0 × 29.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q165
第323図138	双孔円板	19.0 × 22.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q166
-	双孔円板	28.0 × 34.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q167
第323図89	双孔円板	30.0 × 30.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q168
第323図86	双孔円板	26.0 × 30.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q169
-	双孔円板	24.0 × 30.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q170
-	双孔円板	26.0 × 28.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q171
第323図83	双孔円板	27.0 × 46.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q172
第323図90	双孔円板	25.0 × 30.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q173
第323図88	双孔円板	35.0 × 48.0 × 6.0	4.0	滑石	SI-64	Q174
第323図92	双孔円板	28.0 × 33.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q175
-	双孔円板	(24.0) × 38.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q176
第323図109	双孔円板	40.0 × 49.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q177
-	双孔円板	23.0 × 32.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q178
-	双孔円板	(14.0) × (31.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q179
第323図91	双孔円板	26.0 × 30.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q180
-	双孔円板	30.0 × (28.0) × 3.0	5.0	滑石	SI-64	Q181
-	双孔円板	(29.0) × 35.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q182
第323図94	双孔円板	30.0 × 31.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q183
-	双孔円板	27.0 × (23.0) × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q184
第323図101	双孔円板	32.0 × 34.0 × 4.0	5.0	滑石	SI-64	Q185
-	双孔円板	(24.0) × 26.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q186
-	双孔円板	(36.0) × (25.0) × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q187
第323図95	双孔円板	23.0 × 28.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q188
第323図96	双孔円板	23.0 × 29.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q189
-	双孔円板	23.0 × 28.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q190
-	双孔円板	24.0 × (17.0) × 5.0	-	滑石	SI-64	Q191
-	双孔円板	28.0 × 36.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q192
第323図99	双孔円板	29.0 × 33.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q193
-	双孔円板	(22.0) × (19.0) × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q194

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
-	双孔円板	34.0 × (27.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q195
-	双孔円板	25.0 × (10.0) × 5.0	-	滑石	SI-64	Q196
第323図100	双孔円板	29.0 × 30.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q197
第323図110	双孔円板	39.0 × 40.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q198
第323図98	双孔円板	24.0 × 27.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q199
第323図111	双孔円板	30.0 × 43.0 × 3.0	3.5	滑石	SI-64	Q200
-	双孔円板	27.0 × 30.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q201
第323図97	双孔円板	21.0 × 22.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q202
-	双孔円板	(42.0) × (48.0) × 4.0	6.0	滑石	SI-64	Q203
-	双孔円板	30.0 × 32.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q204
-	双孔円板	32.0 × (23.0) × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q205
-	双孔円板	27.0 × (15.0) × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q206
第323図102	双孔円板	29.0 × 34.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q207
-	双孔円板	37.0 × (26.0) × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q208
-	双孔円板	24.0 × 31.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q209
第323図107	双孔円板	24.0 × 28.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q210
第323図112	双孔円板	40.0 × 47.0 × 6.0	5.0	滑石	SI-64	Q211
-	双孔円板	33.0 × (25.0) × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q212
-	双孔円板	(24.0) × 34.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q213
-	双孔円板	(39.0) × 41.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q214
第323図103	双孔円板	30.0 × 32.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q215
-	双孔円板	24.0 × 27.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q216
-	双孔円板	(30.0) × (37.0) × 7.0	4.0	滑石	SI-64	Q217
第323図104	双孔円板	25.0 × 25.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q218
第323図105	双孔円板	36.0 × 27.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q219
-	双孔円板	(65.0) × (41.0) × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q220
第323図106	双孔円板	26.0 × 38.0 × 5.0	5.0	滑石	SI-64	Q221
第323図113	双孔円板	48.0 × 48.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q222
第323図108	双孔円板	24.0 × 24.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q223
第323図114	双孔円板	30.0 × 39.0 × 6.0	4.0	滑石	SI-64	Q224
第323図115	双孔円板	29.0 × 31.0 × 4.0	1.5	滑石	SI-64	Q225
第323図116	双孔円板	37.0 × 41.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q226
第323図117	双孔円板	43.0 × 42.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q227

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第22図118	双孔円板	27.0 × 30.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q228
第22図120	双孔円板	22.0 × 27.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q229
第22図121	双孔円板	26.0 × 36.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q230 P L96
第22図119	双孔円板	39.0 × 40.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q231 P L96
第22図122	双孔円板	27.0 × 28.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q232 P L96
—	双孔円板	(14.0) × 25.0 × 2.0	1.0	滑石	SI-64	Q233
—	双孔円板	24.0 × 30.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q234
—	双孔円板	(21.0) × (23.0) × 4.0	1.5	滑石	SI-64	Q235
第22図123	双孔円板	25.0 × 33.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q236 P L96
第22図127	双孔円板	45.0 × 61.0 × 6.0	4.0	滑石	SI-64	Q237 P L96
—	双孔円板	30.0 × 29.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q238
第22図128	双孔円板	35.0 × 46.0 × 6.0	2.0	滑石	SI-64	Q239 P L96
第22図129	双孔円板	37.0 × 40.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q240 P L96
第22図125	双孔円板	29.0 × 28.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q241
第22図126	双孔円板	22.0 × 29.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q242
第22図134	双孔円板	21.0 × 22.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q243
第22図124	双孔円板	22.0 × 40.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q244
—	双孔円板	28.0 × 43.0 × 8.0	3.0	滑石	SI-64	Q245
第22図130	双孔円板	32.0 × 43.0 × 6.0	2.0	滑石	SI-64	Q246
第22図135	双孔円板	20.0 × 25.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q247
第22図132	双孔円板	30.0 × 31.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q248
—	双孔円板	21.0 × 23.0 × 4.0	2.5	滑石	SI-64	Q249
第22図131	双孔円板	31.0 × 36.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q250
—	双孔円板	27.0 × (30.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q251
第22図133	双孔円板	34.0 × 34.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q252
第22図136	双孔円板	26.0 × 27.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q253
第22図137	双孔円板	24.0 × 27.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q254 P L96
第25図140	双孔円板	40.0 × 47.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q255 P L96
第25図141	双孔円板	21.0 × 29.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q256
第25図142	双孔円板	23.0 × 41.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q257
第22図139	双孔円板	23.0 × 26.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q258
第25図143	双孔円板	27.0 × 27.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q259
第25図144	双孔円板	30.0 × 41.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q260

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
—	双孔円板	29.0 × (29.0) × 5.0	2.5	滑石	SI-64	Q261
—	双孔円板	17.0 × 25.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q262
—	双孔円板	25.0 × 32.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q263
第32図146	双孔円板	22.0 × 25.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q264
第32図145	双孔円板	30.0 × 34.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q265
第32図147	双孔円板	17.0 × 33.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q266
第32図148	双孔円板	29.0 × 31.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q267
—	双孔円板	23.0 × 26.0 × 2.0	1.5	滑石	SI-64	Q268
—	双孔円板	(20.0) × (23.0) × 4.0	2.5	滑石	SI-64	Q269
第32図149	双孔円板	31.0 × 33.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q270
第32図150	双孔円板	25.0 × 31.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q271
—	双孔円板	21.0 × 26.0 × 4.0	2.5	滑石	SI-64	Q272
—	双孔円板	(22.0) × 31.0 × 4.0	3.5	滑石	SI-64	Q273
第32図151	双孔円板	30.0 × 38.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q274
第32図153	双孔円板	27.0 × 40.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q275
第32図152	双孔円板	19.0 × 23.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q276
第32図154	双孔円板	22.0 × 27.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q277
—	双孔円板	20.0 × (25.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q278
—	双孔円板	26.0 × 27.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q279
第32図155	双孔円板	34.0 × 37.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q280
第32図156	双孔円板	35.0 × 45.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q281 P L96
第32図157	双孔円板	30.0 × 34.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q282 P L96
—	双孔円板	29.0 × (31.0) × 6.0	2.0	滑石	SI-64	Q283
第32図159	双孔円板	21.0 × 23.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q284 P L96
—	双孔円板	(21.0) × 35.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q285
—	双孔円板	(19.0) × (42.0) × 4.0	2.25	滑石	SI-64	Q286
第32図158	双孔円板	33.0 × 38.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q287 P L96
第32図160	双孔円板	29.0 × 34.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q288
第32図178	双孔円板	19.0 × 23.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q289
第32図161	双孔円板	32.0 × 48.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q290
第32図162	双孔円板	36.0 × 37.0 × 6.0	2.0	滑石	SI-64	Q291
第32図165	双孔円板	22.0 × 27.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q292
—	双孔円板	18.0 × 25.0 × 5.0	2.5	滑石	SI-64	Q293

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第26図192	双孔円板	31.0 × 36.0 × 5.0	5.0	滑石	SI-64	Q327 P L96
第26図193	双孔円板	33.0 × 43.0 × 6.0	6.0	滑石	SI-64	Q328 P L96
第26図195	双孔円板	27.0 × 40.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q329 P L96
第26図196	双孔円板	32.0 × 36.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q330 P L96
—	双孔円板	30.0 × 33.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q331
第26図201	双孔円板	42.0 × 50.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q332 P L96
第26図197	双孔円板	28.0 × 37.0 × 6.0	4.0	滑石	SI-64	Q333
第26図198	双孔円板	33.0 × 35.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q334
第26図176	双孔円板	16.0 × 41.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q335
第26図177	双孔円板	22.0 × 26.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q336
第26図171	双孔円板	23.0 × 25.0 × 4.0	3.5	滑石	SI-64	Q337
—	双孔円板	19.0 × 29.0 × 3.0	2.5	滑石	SI-64	Q338
第26図199	双孔円板	(30.0) × 35.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q339
第26図194	双孔円板	21.0 × 24.0 × 3.0	2.5	滑石	SI-64	Q340
—	双孔円板	30.0 × (30.0) × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q341
第26図204	双孔円板	26.0 × 20.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q342
—	双孔円板	28.0 × (31.0) × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q343
第26図205	双孔円板	25.0 × 28.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q344
第26図206	双孔円板	23.0 × 27.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-64	Q345
—	双孔円板	(22.0) × 37.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q346
—	双孔円板	19.0 × (29.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q347
—	双孔円板	(18.0) × (26.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q348
—	双孔円板	(28.0) × 48.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q349
—	双孔円板	29.0 × (23.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q350
—	双孔円板	20.0 × (10.0) × 3.0	—	滑石	SI-64	Q351
第26図200	双孔円板	29.0 × 34.0 × 6.0	2.0	滑石	SI-64	Q352 P L96
第26図202	双孔円板	36.0 × 43.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q353 P L96
第26図203	双孔円板	33.0 × 38.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q354 P L96
—	双孔円板	(23.0) × 44.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q355
—	双孔円板	(24.0) × 27.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q356
—	双孔円板	23.0 × 24.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q357
—	双孔円板	24.0 × (23.0) × 4.0	6.0	滑石	SI-64	Q358
—	双孔円板	28.0 × (23.0) × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q359

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第25図163	双孔円板	36.0 × 41.0 × 8.0	3.0	滑石	SI-64	Q294
第25図166	双孔円板	26.0 × 29.0 × 6.0	2.0	滑石	SI-64	Q295
第25図164	双孔円板	20.0 × 41.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-64	Q296
—	双孔円板	28.0 × 22.0 × 4.0	3.5	滑石	SI-64	Q297
—	双孔円板	31.0 × (22.0) × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q298
第25図167	双孔円板	25.0 × 34.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q299
第25図168	双孔円板	20.0 × 24.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q300
第25図169	双孔円板	26.0 × 35.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q301
—	双孔円板	31.0 × (23.0) × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q302
—	双孔円板	31.0 × 34.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q303
—	双孔円板	26.0 × (27.0) × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q304
—	双孔円板	(18.0) × (24.0) × 2.0	1.5	滑石	SI-64	Q305
第25図173	双孔円板	22.0 × 27.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q306
—	双孔円板	14.0 × (13.0) × 3.0	2.5	滑石	SI-64	Q307
第26図179	双孔円板	41.0 × 46.0 × 7.0	4.0	滑石	SI-64	Q308
第26図180	双孔円板	40.0 × 43.0 × 7.0	2.5	滑石	SI-64	Q309
第25図170	双孔円板	31.0 × 38.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q310
—	双孔円板	19.0 × (18.0) × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q311
第25図174	双孔円板	23.0 × 44.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q312 P L96
第25図172	双孔円板	33.0 × 37.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q313 P L96
第26図183	双孔円板	34.0 × 38.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q314 P L96
第26図184	双孔円板	27.0 × 29.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q315
第25図175	双孔円板	23.0 × 22.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q316 P L96
—	不 明	(28.0) × 25.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q317
第26図181	双孔円板	50.0 × 50.0 × 7.0	3.0	滑石	SI-64	Q318 P L96
第26図185	双孔円板	33.0 × 38.0 × 6.0	4.0	滑石	SI-64	Q319 P L96
第26図182	双孔円板	47.0 × 54.0 × 6.0	4.0	滑石	SI-64	Q320 P L96
第26図186	双孔円板	39.0 × 39.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-64	Q321 P L96
第26図187	双孔円板	32.0 × 31.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-64	Q322 P L96
第26図188	双孔円板	36.0 × 36.0 × 6.0	3.0	滑石	SI-64	Q323
第26図189	双孔円板	28.0 × 35.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q324
第26図190	双孔円板	27.0 × 35.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-64	Q325
第26図191	双孔円板	36.0 × 50.0 × 6.0	2.5	滑石	SI-64	Q326 P L96

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備考
第322図46	白玉	5.5 × 5.0 × 3.0	2.5	滑石	SI-64	Q393
第322図47	白玉	5.5 × 5.5 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q394
第322図48	白玉	5.0 × 5.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-64	Q395
第322図49	白玉	6.0 × 6.0 × 2.5	2.0	滑石	SI-64	Q396
第322図50	白玉	4.5 × 4.5 × 3.5	2.0	滑石	SI-64	Q397
第322図51	白玉	4.0 × 4.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q398
第322図52	白玉	6.0 × 6.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q399
第322図53	白玉	4.5 × 4.5 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q400
第322図54	白玉	4.5 × 4.5 × 2.5	2.0	滑石	SI-64	Q401
第322図55	白玉	4.0 × 4.0 × 2.0	1.0	滑石	SI-64	Q402
第322図56	白玉	5.0 × 5.0 × 3.5	1.5	滑石	SI-64	Q403
第322図57	白玉	4.5 × 4.5 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q404
第322図58	白玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-64	Q405
第322図59	白玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q406
第322図60	白玉	6.0 × 6.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-64	Q407
第322図61	白玉	5.5 × 6.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-64	Q408
第322図62	白玉	5.0 × 5.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q409
第322図63	白玉	5.0 × 5.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-64	Q410
第322図64	白玉	5.0 × 5.0 × 2.0	1.0	滑石	SI-64	Q411
第322図65	白玉	4.0 × 4.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-64	Q412
第322図66	白玉	3.5 × 3.5 × 2.5	2.0	滑石	SI-64	Q413
第322図67	白玉	4.5 × 4.5 × 3.0	1.5	滑石	SI-64	Q414
第322図68	白玉	4.0 × 4.0 × 2.0	1.5	滑石	SI-64	Q415
第322図69	白玉	4.0 × 4.0 × 2.0	1.5	滑石	SI-64	Q416
第322図70	白玉	5.5 × 5.5 × 2.5	2.0	滑石	SI-64	Q417
第322図71	白玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q418
第322図72	白玉	6.0 × 6.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-64	Q419
第322図73	白玉	5.0 × 4.5 × 4.0	1.0	滑石	SI-64	Q420
第418図2	双孔円板	30.0 × (28.0) × 5.0	2.0	滑石	SI-66	Q421
第418図3	双孔円板	(24.0) × 30.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-66	Q422
第418図4	勾玉	(25.0) × 17.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-66	Q423
第28図10	勾玉	28.0 × 19.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-67	Q424 P L97
第334図55	双孔円板	25.0 × 28.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-70	Q425

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備考
—	双孔円板	(24.0) × (47.0) × 7.0	4.0	滑石	SI-64	Q360
—	双孔円板	(15.0) × (18.0) × 3.0	3.0	滑石	SI-64	Q361
第322図15	白玉	5.0 × 5.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q362
第322図16	白玉	5.0 × 5.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q363
第322図17	白玉	5.5 × 5.0 × 2.0	1.5	滑石	SI-64	Q364
第322図18	白玉	6.0 × 6.0 × 3.5	3.0	滑石	SI-64	Q365
第322図19	白玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-64	Q366
第322図20	白玉	5.0 × 5.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-64	Q367
第322図21	白玉	4.5 × 4.5 × 5.0	1.5	滑石	SI-64	Q368
第322図22	白玉	4.5 × 4.5 × 2.5	2.0	滑石	SI-64	Q369
第322図23	白玉	5.0 × 5.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-64	Q370
第322図24	白玉	5.0 × 5.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q371
第322図25	白玉	5.0 × 5.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q372
第322図26	白玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-64	Q373
第322図27	白玉	5.0 × 5.0 × 4.0	1.5	滑石	SI-64	Q374
第322図28	白玉	4.5 × 4.5 × 2.5	1.5	滑石	SI-64	Q375
第322図29	白玉	5.0 × 4.5 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q376
第322図30	白玉	4.0 × 4.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-64	Q377
第322図31	白玉	4.0 × 4.0 × 3.5	1.5	滑石	SI-64	Q378
第322図32	白玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q379
第322図33	白玉	4.0 × 4.0 × 3.5	1.5	滑石	SI-64	Q380
第322図34	白玉	4.5 × 4.5 × 4.0	1.5	滑石	SI-64	Q381
第322図35	白玉	6.0 × 6.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q382
第322図36	白玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q383
第322図37	白玉	6.0 × 5.0 × 3.5	1.5	滑石	SI-64	Q384
第322図38	白玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-64	Q385
第322図39	白玉	4.5 × 4.5 × 4.0	2.0	滑石	SI-64	Q386
第322図40	白玉	5.0 × 5.0 × 2.5	2.0	滑石	SI-64	Q387
第322図41	白玉	5.0 × 5.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-64	Q388
第322図42	白玉	5.0 × 5.0 × 1.5	2.0	滑石	SI-64	Q389
第322図43	白玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-64	Q390
第322図44	白玉	4.0 × 4.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-64	Q391
第322図45	白玉	4.0 × 4.0 × 2.5	2.0	滑石	SI-64	Q392

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第334図56	不 明	(25.0) × 28.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-70	Q426
第335図3	双孔円板	21.0 × 21.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-73	Q432
第336図4	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-74	Q434
第336図4	双孔円板	38.0 × 45.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-76	Q435
第338図17	勾 玉	34.0 × 19.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-78	Q437 P L97
第338図18	白 玉	4.0 × 4.0 × 2.0	1.5	滑石	SI-78	Q438
第338図19	白 玉	4.0 × 4.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-78	Q439
第338図20	白 玉	4.5 × 4.5 × 3.0	1.5	滑石	SI-78	Q440
第338図3	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-79	Q441
第338図3	白 玉	5.0 × 5.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-80	Q442
第344図39	双孔円板	27.0 × 31.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-83	Q446
第344図40	双孔円板	30.0 × 31.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-83	Q447
第344図41	双孔円板	30.0 × 32.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-83	Q448
第344図42	双孔円板	30.0 × 30.0 × 3.0	2.5	滑石	SI-83	Q449
第344図43	白 玉	6.0 × 6.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-83	Q450
第344図44	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.0	1.0	滑石	SI-83	Q451
第344図45	白 玉	6.0 × 6.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-83	Q452
第345図8	白 玉	5.5 × 5.5 × 2.0	2.0	滑石	SI-86	Q454
第347図16	双孔円板	30.0 × 32.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-87	Q457
第347図5	剣 形 品	47.0 × 24.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-88	Q458
第347図4	双孔円板	27.0 × 28.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-88	Q459
第352図22	白 玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-91	Q465
第352図23	白 玉	6.5 × 7.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-91	Q466
第352図24	白 玉	3.5 × 3.5 × 3.0	1.5	滑石	SI-91	Q467
第352図25	白 玉	4.5 × 4.5 × 4.0	1.5	滑石	SI-91	Q468
第352図26	白 玉	4.0 × 4.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-91	Q469
第352図27	白 玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-91	Q470
第352図28	白 玉	4.0 × 4.0 × 3.0	1.0	滑石	SI-91	Q471
第352図29	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-91	Q472
第354図16	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-97	Q473
第354図17	白 玉	4.5 × 4.5 × 1.5	2.0	滑石	SI-97	Q474
第354図18	白 玉	4.5 × 4.0 × 2.5	1.5	滑石	SI-97	Q475
第354図19	白 玉	4.5 × 4.5 × 2.0	2.0	滑石	SI-97	Q476

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第354図20	白 玉	4.5 × 4.5 × 3.0	1.5	滑石	SI-97	Q477
第354図21	双孔円板	22.0 × 34.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-97	Q478 P L96
第354図3	双孔円板	38.0 × 40.0 × 6.0	4.0	滑石	SI-97	Q479 P L96
第354図4	双孔円板	28.0 × 37.0 × 4.0	5.0	滑石	SI-97	Q480 P L96
第354図5	勾 玉	29.0 × 18.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-97	Q481 P L97
第356図20	双孔円板	23.0 × 37.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-100	Q485 P L96
第356図21	双孔円板	34.0 × 35.0 × 6.0	4.5	滑石	SI-100	Q486 P L96
第356図22	双孔円板	26.0 × 27.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-100	Q487 P L96
第356図23	双孔円板	26.0 × 25.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-100	Q488 P L96
第356図24	勾 玉	34.0 × 17.0 × 7.0	1.5	滑石	SI-100	Q489 P L97
第357図8	剣 形 品	85.0 × 31.0 × 9.0	2.0	滑石	SI-101	Q491 P L97
第357図7	双孔円板	27.0 × 28.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-101	Q492
第357図9	白 玉	4.5 × 4.5 × 2.0	1.5	滑石	SI-101	Q493
第362図42	双孔円板	20.0 × 31.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-102	Q497
第362図43	白 玉	4.5 × 4.5 × 1.0	1.0	滑石	SI-102	Q498
第362図44	白 玉	6.0 × 5.0 × 4.0	1.5	滑石	SI-102	Q499
第362図45	白 玉	6.0 × 6.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-102	Q500
第364図3	双孔円板	(45.0) × (29.0) × 5.0	4.5	滑石	SI-104	Q503
第370図16	剣 形 品	49.0 × 21.0 × 7.0	2.0	滑石	SI-109	Q507 P L97
-	双孔円板	30.0 × 34.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-109	Q508
第370図13	双孔円板	28.0 × 42.0 × 3.0	3.5	滑石	SI-109	Q509
第370図14	双孔円板	40.0 × 38.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-109	Q510
第370図15	双孔円板	(27.0) × 35.0 × 5.0	6.0	滑石	SI-109	Q511
第370図17	白 玉	5.0 × 5.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-109	Q512
第372図13	双孔円板	30.0 × 36.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-110	Q514 P L96
第372図14	双孔円板	32.0 × 38.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-110	Q515 P L96
第374図14	双孔円板	33.0 × 37.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-111	Q516 P L96
第374図15	双孔円板	21.0 × 27.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-111	Q517
第374図16	双孔円板	28.0 × 33.0 × 4.0	4.0	滑石	SI-111	Q518
第374図17	双孔円板	31.0 × 31.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-111	Q520
第374図18	白 玉	5.0 × 5.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-111	Q521
第375図4	双孔円板	23.0 × 27.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-115	Q521
第375図5	不 明	17.0 × 41.0 × 4.0	3.0	滑石	SI-115	Q522

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第377図14	双孔円板	23.0 × 25.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-116	Q525
第377図15	双孔円板	24.0 × 28.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-116	Q526
第377図16	双孔円板	26.0 × 30.0 × 3.0	4.0	滑石	SI-116	Q527
第377図17	双孔円板	30.0 × 33.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-116	Q528
第377図18	双孔円板	24.0 × 28.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-116	Q529
第377図19	双孔円板	31.0 × 32.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-116	Q530
第377図22	白 玉	7.0 × 7.0 × 3.5	2.5	滑石	SI-116	Q532
第377図23	白 玉	6.0 × 6.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-116	Q533
—	不 明	36.0 × 15.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-116	Q534
第385図37	剣 形 品	40.0 × 23.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-117	Q543
第385図13	双孔円板	18.0 × 19.0 × 4.0	1.5	滑石	SI-119	Q545
第385図14	剣 形 品	42.0 × 17.0 × 4.0	1.5	滑石	SI-119	Q546 P L97
第385図15	剣 形 品	39.0 × 16.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-119	Q547 P L97
第385図16	剣 形 品	46.0 × 16.0 × 4.0	2.0	滑石	SI-119	Q548 P L97
第385図17	剣 形 品	36.0 × 12.0 × 3.0	2.5	滑石	SI-119	Q549 P L97
第385図18	白 玉	5.0 × 4.5 × 4.5	2.0	滑石	SI-119	Q550
第385図19	白 玉	5.5 × 5.5 × 2.0	2.5	滑石	SI-119	Q551
第385図20	白 玉	5.0 × 5.0 × 4.5	1.5	滑石	SI-119	Q552
第385図21	白 玉	5.5 × 5.5 × 3.0	1.5	滑石	SI-119	Q553
第385図22	白 玉	4.5 × 4.5 × 4.0	2.0	滑石	SI-119	Q554
第385図23	白 玉	5.5 × 5.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-119	Q555
第385図24	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SI-119	Q556
第385図25	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.5	2.0	滑石	SI-119	Q557
第385図26	白 玉	5.0 × 5.0 × 3.5	1.5	滑石	SI-119	Q558
第385図27	白 玉	5.5 × 5.0 × 2.5	1.5	滑石	SI-119	Q559
第385図28	白 玉	6.0 × 6.0 × 4.0	1.5	滑石	SI-119	Q560
第385図29	白 玉	6.0 × 6.0 × 3.0	1.5	滑石	SI-119	Q561
第385図30	白 玉	6.0 × 5.5 × 3.0	2.0	滑石	SI-119	Q562
第385図31	白 玉	5.0 × 5.5 × 2.0	1.5	滑石	SI-119	Q563
第385図32	白 玉	5.0 × 5.5 × 3.0	1.5	滑石	SI-119	Q564
第385図33	白 玉	5.5 × 5.5 × 4.0	1.5	滑石	SI-119	Q565
第386図8	双孔円板	39.0 × 42.0 × 5.0	6.0	滑石	SI-120	Q567
第386図9	双孔円板	28.0 × (19.0) × 4.0	4.0	滑石	SI-120	Q568

図版番号	器 種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備 考
第388図11	双孔円板	37.0 × (26.0) × 5.0	2.5	滑石	SI-121	Q569
第388図12	双孔円板	27.0 × (32.0) × 5.0	5.0	滑石	SI-121	Q570
第388図13	双孔円板	28.0 × (22.0) × 3.0	3.0	滑石	SI-121	Q571
第388図14	双孔円板	(16.0) × (22.0) × 3.0	—	滑石	SI-121	Q572
第388図15	双孔円板	28.0 × 35.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-121	Q573
第388図16	双孔円板	(12.0) × 27.0 × 2.0	—	滑石	SI-121	Q574
第388図17	双孔円板	25.0 × 28.0 × 5.0	2.5	滑石	SI-124	Q576
第388図18	双孔円板	25.0 × (33.0) × 4.0	3.0	滑石	SI-124	Q577
第388図19	双孔円板	(34.0) × (28.0) × 4.0	2.5	滑石	SI-124	Q578
第390図12	剣 形 品	58.0 × 28.0 × 8.0	5.0	滑石	SI-126	Q581 P L97
第390図11	双孔円板	33.0 × 32.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-126	Q582 P L96
第390図11	双孔円板	34.0 × 39.0 × 3.0	3.0	滑石	SI-126	Q583 P L96
第390図16	勾 玉	32.0 × 19.0 × 5.0	2.0	滑石	SI-130	Q586
第394図5	双孔円板	31.0 × 32.0 × 5.0	3.0	滑石	SI-131	Q587
第394図6	双孔円板	30.0 × 32.0 × 3.5	2.5	滑石	SI-131	Q588
第399図18	双孔円板	39.0 × 40.0 × 5.0	4.0	滑石	SI-147	Q592 P L96
第402図3	白 玉	6.0 × 6.0 × 2.0	2.0	滑石	SI-158	Q596
第448図84	双孔円板	35.0 × 42.0 × 6.0	3.0	滑石	SK-49	Q605 P L96
第448図85	双孔円板	37.0 × 40.0 × 5.0	2.0	滑石	SK-55	Q606 P L96
第448図86	双孔円板	(30.0) × (31.0) × 3.0	2.0	滑石	SK-82	Q608 P L96
第448図93	白 玉	5.0 × 4.0 × 3.0	2.0	滑石	SK-135	Q611 P L97
第448図87	双孔円板	44.0 × 47.0 × 5.0	3.0	滑石	SK-175	Q618
第448図88	双孔円板	33.0 × 36.0 × 5.0	3.0	滑石	SK-186	Q619
第448図89	双孔円板	23.0 × 26.0 × 5.0	2.0	滑石	SK-208	Q621
第448図90	双孔円板	26.0 × 29.0 × 3.0	3.0	滑石	SK-216	Q622
第444図4	双孔円板	26.0 × 28.0 × 3.0	3.0	滑石	SD-6	Q623 P L96
第444図5	双孔円板	38.0 × 37.0 × 3.0	2.0	滑石	SD-9	Q624 P L96
第444図6	双孔円板	27.0 × 22.0 × 6.0	2.0	滑石	SD-9	Q625 P L96
第439図150	剣 形 品	57.0 × 21.0 × 5.0	1.5	滑石	SD-10	Q626 P L97
第439図151	剣 形 品	49.0 × 16.0 × 5.0	3.0	滑石	SD-10	Q627 P L97
第439図152	剣 形 品	41.0 × 21.0 × 6.0	2.5	滑石	SD-10	Q628 P L97
第439図153	剣 形 品	39.0 × 26.0 × 6.0	3.5	滑石	SD-10	Q629 P L97
第439図154	剣形未製品	80.0 × 25.0 × 9.0	—	滑石	SD-10	Q630 P L97

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ (mm)	孔径(mm)	石質	出土地点	備考
第439図155	剣形未製品	39.0 × 13.0 × 3.0	—	滑石	SD-10	Q631 P L97
第439図156	勾玉	38.0 × 23.0 × 11.0	2.0	滑石	SD-10	Q632 P L97
第439図157	勾玉	28.0 × 13.0 × 4.0	2.0	滑石	SD-10	Q633
第439図142	双孔円板	37.0 × 41.0 × 6.0	2.5	滑石	SD-10	Q634 P L96
第439図143	双孔円板	(35.0) × 4.0 × 3.0	2.0	滑石	SD-10	Q635 P L96
第439図144	双孔円板	32.0 × 44.0 × 5.0	2.5	滑石	SD-10	Q636 P L96
第439図145	双孔円板	29.0 × 31.0 × 4.0	2.0	滑石	SD-10	Q637 P L96
第439図146	双孔円板	35.0 × 38.0 × 3.0	3.5	滑石	SD-10	Q638 P L96
第439図147	双孔円板	46.0 × 47.0 × 7.0	3.0	滑石	SD-10	Q639 P L96
第439図148	双孔円板	27.0 × 33.0 × 4.0	4.0	滑石	SD-10	Q640 P L96
第439図149	双孔円板	28.0 × 33.0 × 7.0	4.0	滑石	SD-10	Q641 P L96
第440図161	白玉	5.0 × 5.0 × 2.0	1.5	滑石	SD-10	Q645 P L97
第440図162	白玉	5.0 × 5.0 × 4.0	1.5	滑石	SD-10	Q646 P L97
第440図163	白玉	6.0 × 6.0 × 3.0	1.5	滑石	SD-10	Q647 P L97
第440図164	白玉	4.0 × 4.0 × 2.0	1.5	滑石	SD-10	Q648 P L97
第440図165	白玉	4.0 × 4.0 × 4.0	1.5	滑石	SD-10	Q649 P L97
第440図166	白玉	6.0 × 6.0 × 3.0	2.0	滑石	SD-10	Q650 P L97
第440図167	白玉	4.0 × 4.0 × 2.0	1.0	滑石	SD-10	Q651 P L97
第440図168	白玉	5.0 × 5.0 × 3.0	2.0	滑石	SD-10	Q652 P L97
第440図169	白玉	4.0 × 4.0 × 4.0	1.5	滑石	SD-10	Q653 P L97
第440図170	白玉	5.0 × 5.0 × 4.0	2.0	滑石	SD-10	Q654
第455図36	白玉	9.0 × 10.0 × 5.0	3.0	滑石	表探	Q712 P L97
第454図29	剣形未製品	35.0 × 14.0 × 6.0	—	滑石	表探	Q731

表35 鉄製品一覧表

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	出土地点	備考
第404図7	刀子か	(3.4)×2.1×0.3	SI-1	M1 P L98 茎の一部か。木質残存。
第286図6	釘	6.6×0.4×0.4	SI-6	M2
第286図7	釘	(4.2)×0.6×0.6	SI-6	M3
第406図10	刀子	(4.6)×1.2×0.4	SI-10	M4 P L98 刀身の一部。
第407図6	刀子	(9.8)×1.4×0.35	SI-14	M5 P L98 刀身の一部と茎。片閃の刀子。
第408図10	槍 鉋	6.3×2.3×0.4	SI-15	M6 断面は三角形を呈し、茎部欠損。
第408図11	釘	5.7×1.1×0.4	SI-15	M7
第408図7	釘	(6.9)×0.5×0.5	SI-18	M8
第409図10	刀子	(3.3)×0.9×0.3 (3.4)×0.8×0.3	SI-19	M9 刀身の一部。
第411図8	釘	6.1×0.4×0.3	SI-25	M10
第415図48	釘	4.5×0.4×0.3	SI-29	M11 P L98 頭部は長方形を呈す。
第416図3	釘	(4.1)×0.9×0.5	SI-40	M12 頭部欠損。
第303図6	刀子	(6.3)×1.4×0.4	SI-41	M13 刀身の一部。
第416図4	鎌か	(4.2)×(3.6)×0.25	SI-43	M14 欠損。
第417図3	釘	(3.9)×0.7×0.5	SI-46	M15
第417図1	釘	(6.7)×0.7×0.4	SI-51	M16
第417図3	釘	(6.9)×1.0×0.4	SI-58	M17
第317図20	刀子	(5.3)×1.2×0.3	SI-60	M18 木質付着。
第317図21	釘	3.9×0.3×0.3	SI-60	M19
第317図22	釘	8.2×2.8×0.5	SI-60	M20
第317図19	刀子	(9.9)×1.8×0.4	SI-60	M21
第320図22	燧金か	6.2×2.9×0.3	SI-63	M22
第335図62	鉄 滓	(3.2)×(4.9)×2.0	SI-70	M23 鍛冶炉・炉床出土。
第335図4	鎌	(13.3)×2.9×0.3	SI-73	M24 P L98
第335図5	刀子	(3.1)×1.1×0.3	SI-73	M25 P L98
第335図6	釘	(3.8)×0.5×0.5	SI-73	M26
第338図4	鍬	(3.8)×1.6×0.6	SI-80	M27 P L98
第420図1	簪(銅)	(4.7)×1.0×0.15	SI-84	M28 流れ込み。
第352図6	釘	(6.6)×0.3×0.3	SI-92	M29 P L98
第352図5	鎌	(7.2)×3.0×0.3	SI-92	M30 P L98
第354図21	刀子	(8.6)×1.6×0.5	SI-97	M31
第356図27	鋇	(12.6)×(2.6)×0.8	SI-100	M32 P L98
第356図28	鎌	(10.1)×4.8×0.3	SI-100	M33 P L98
第356図29	鎌	(4.6)×3.5×0.2	SI-100	M34
第362図46	刀子	(4.2)×1.4×0.3	SI-102	M35 P L98 木質付着。
第364図4	鎌	11.6×3.4×0.25	SI-104	M36 P L98
第375図6	鍬	(4.6)×3.5×0.4	SI-115	M37 P L98
第375図7	不明	2.6×2.5×0.6	SI-115	M38 P L98
第377図24	鎌	(6.4)×2.7×0.3	SI-116	M39
第390図13	刀子	(10.0)×1.6×0.3	SI-126	M41 P L98
第393図17	刀子	(5.5)×1.5×0.4	SI-130	M42
第394図8	釘	(7.1)×0.7×0.5	SI-131	M43
第394図4	刀子	(5.4)×1.0×0.4	SI-133	M44 木質付着。
第397図14	刀子	(4.5)×1.0×0.3	SI-138	M45
第401図13	不明	(2.4)×3.1×0.2	SI-155	M46
第402図4	不明	(8.4)×4.1×0.4	SI-158	M48 P L98
第448図94	不明	(6.4)×1.4×0.6	SK-133	M59
第448図95	釘	(3.6)×0.4×0.3	SK-133	M60
第448図96	釘	7.6×1.3×0.7	SK-141	M62 完存。頭部は長方形を呈す。

図版番号	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	出土地点	備考
第448図97	釘	(10.4)×0.8×0.6	SK-212	M67
第441図7	刀子	(7.3)×1.8×0.3	SD-6	M133 茎と刀身の一部。片関の刀子。
第440図171	鎌	(6.1)×4.5×0.5	SD-11	M134
第440図172	刀子	(5.8)×1.6×0.3	SD-11	M136
第455図37	刀装具(銅)	(9.9)×1.5×0.4	表採	M137 P L98
第455図38	不明	14.2×1.4×0.4	表採	M138 P L98

表36 古銭一覧表

図版番号	名称	初鑄年(西暦)	出土地点	備考
第385図34	開○通○	- (-)	SI-119	M40
第448図98	文久永寶	文久3年(1863)	SK-122	M57
第448図99	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-133	M58 新寛永
第448図100	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-135	M61 新寛永
第448図101	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-141	M64 新寛永
第448図102	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-141	M65 新寛永
第448図103	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-141	M66 新寛永
第449図104	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M69 新寛永 正字文 P L98
第449図105	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M70 新寛永 正字文 P L98
第449図106	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M71 新寛永 正字文 P L98
第449図107	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M72 新寛永 正字文 P L98
第449図108	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M73 新寛文 正字文 P L98
第449図109	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M74 新寛文 正字文 P L98
第449図110	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M75 新寛文 正字文 P L98
第449図111	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M76 新寛文 正字文 P L98
第449図112	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M77 新寛文 正字文 P L98
第449図113	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M78 新寛永 正字文 P L98
第449図114	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M79 新寛永 正字文 P L98
第449図115	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M80 新寛永 正字文 P L98
第449図116	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M81 新寛永 正字文
第449図117	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M82 新寛永 正字文
第449図118	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M83 新寛永 正字文
第449図119	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M84 新寛永 正字文
第449図120	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M85 新寛永 正字文
第449図121	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M86 新寛永 正字文
第449図122	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M87 新寛永 正字文
第449図123	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M88 新寛永 正字文
第449図124	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M89 新寛永 正字文
第450図125	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M90 新寛永 正字文
第450図126	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M91 新寛永 正字文
第450図127	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M92 古寛永
第450図128	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M93 新寛永 正字文
第450図129	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M94 古寛永

図版番号	名 称	初 鑄 年 (西曆)	出土地点	備 考
第450図130	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M95 古寛永
第450図131	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M96 新寛永 正字文
第450図132	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M97 新寛永 正字文
第450図133	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M98 古寛永
第450図134	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M99 古寛永
第450図135	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M100 古寛永
第450図136	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M101 古寛永
第450図137	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M102 古寛永
第450図138	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M103 古寛永
第450図139	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M104 古寛永
第450図140	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M105 古寛永
第450図141	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M106 古寛永
第450図142	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M107 新寛永
第450図143	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M108 新寛永 正字文
第450図144	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M109 新寛永 正字文
第450図145	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M110 新寛永
-	-	- (-)	SK-220	M111 } M110からM114まで5枚 M112 } が癒着しているため M113 } 図示不可能
-	-	- (-)	SK-220	
-	-	- (-)	SK-220	
第450図146	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M114 新寛永
第451図147	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M115 新寛永
-	-	- (-)	SK-220	M116 } M115からM117まで3枚 M117 } が癒着しているため 図示不可能
第451図148	-	- (-)	SK-220	
第451図149	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M118 古寛永
第451図150	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-220	M119 古寛永
第451図151	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M120 新寛永
第451図152	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M121 新寛永 正字文
第451図153	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M122 新寛永
第451図154	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-220	M123 新寛永 正字文
第451図155	-	- (-)	SK-223	M130 判読困難
第451図156	-	- (-)	SK-223	M131 判読困難
第451図157	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-227	M132 新寛永 正字文
第451図158	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-227	M51 新寛永 正字文
第451図159	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-227	M52 新寛永 正字文
第451図160	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-227	M53 新寛永 正字文
第451図161	寛永通寶	寛文8年(1668)	SK-227	M54 新寛永 正字文
第451図162	寛永通寶	寛永3年(1636)	SK-227	M55 古寛永
第451図163	-	- (-)	SK-227	M56 判読困難

写 真 図 版

森 戸 遺 跡







調査前全景 (南から)



調査後全景 (南から)



調査後全景



作業風景



作業風景



作業風景
(先土器時代)



作業風景
(住居跡掘り込み)



調査後全景(北から)



作業風景
(居館跡掘り込み)



現地説明会



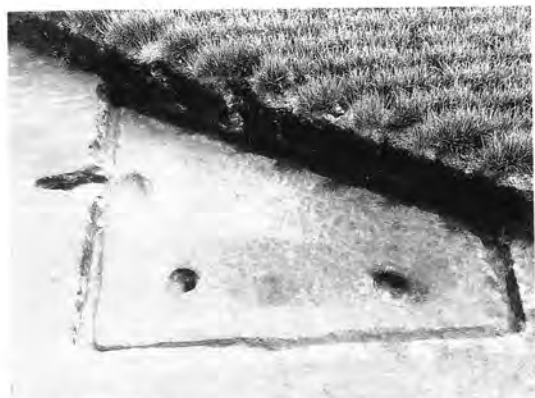
第106号住居跡



第106号住居跡遺物出土状況



第143号住居跡遺物出土状況



第6号住居跡



第12号住居跡



第12号住居跡遺物出土状況



第12号住居跡カマド内遺物出土状況



第17号住居跡



第21号住居跡

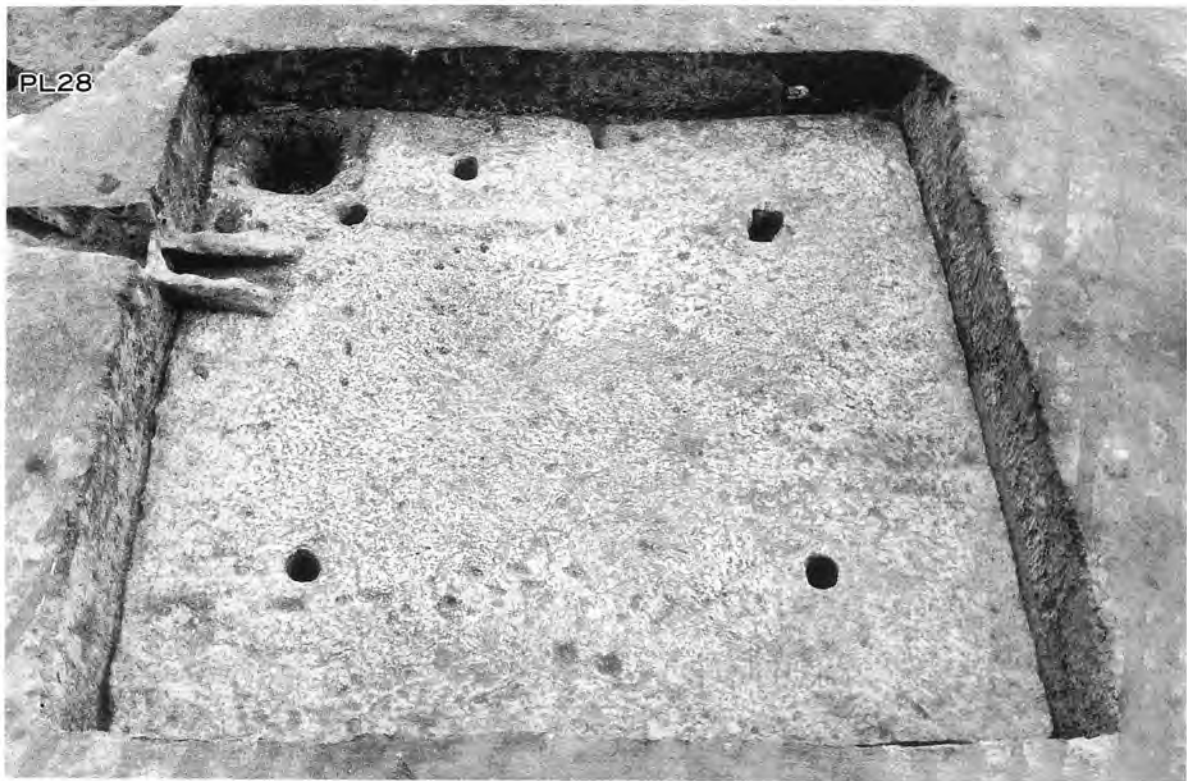


第27号住居跡



第37号住居跡

PL28



第33号住居跡



第33号住居跡カマド



第33号住居跡遺物出土状況

第33号住居跡
貯藏穴内
遺物出土状況

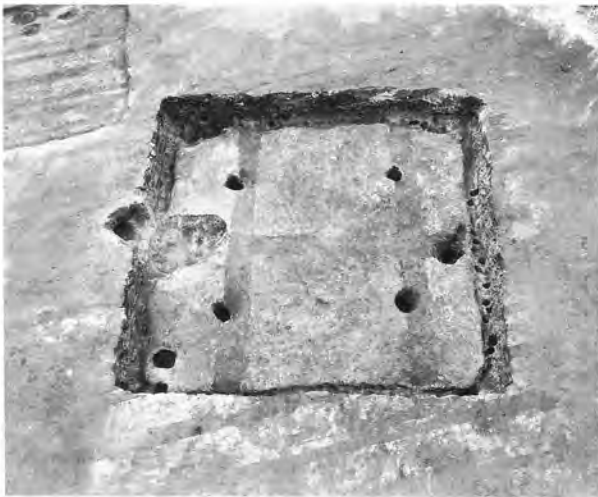




第38号住居跡



第38号住居跡カマド



第39号住居跡



第45号住居跡・カマド



第47号住居跡



第47号住居跡遺物出土状況



第49号住居跡



第52号住居跡



第53号住居跡カマド



第54号住居跡



第55号住居跡



第60号住居跡



第62号住居跡



第63号住居跡



第56号住居跡



第56号住居跡遺物出土状況



第56号住居跡遺物出土状況



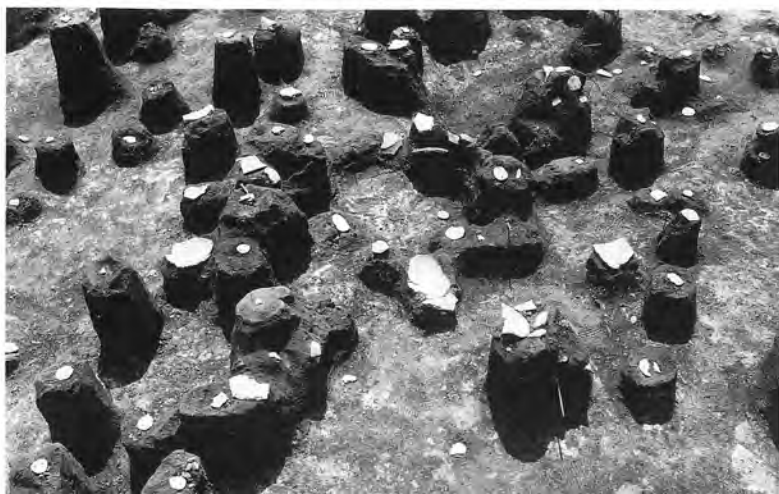
第56号住居跡炭化材出土状況



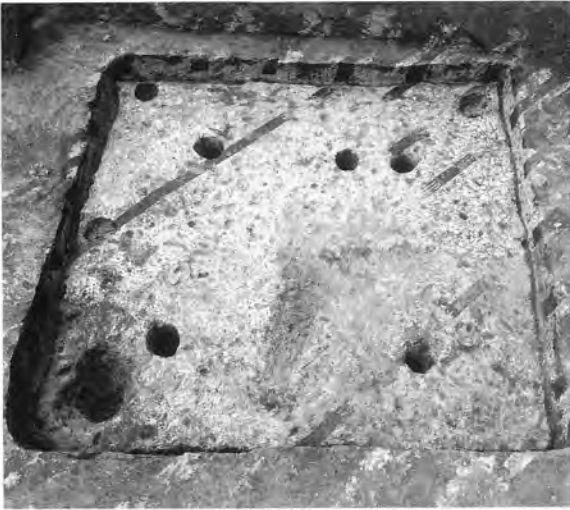
第64号住居跡



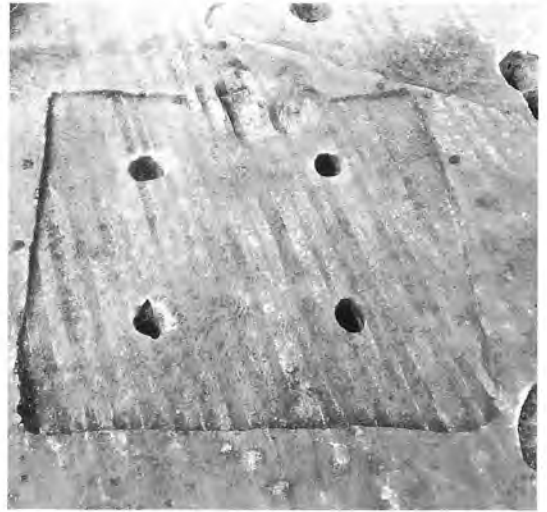
第62・63・64号住居跡遺物出土状況



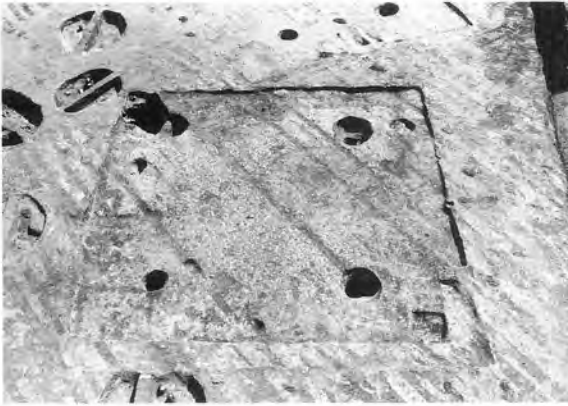
第64号住居跡
遺物出土状況



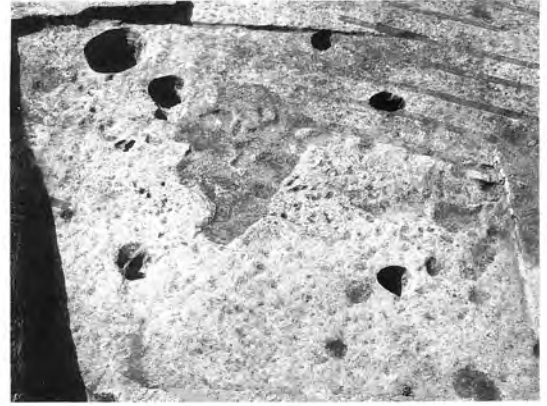
第67号住居跡



第73号住居跡



第74号住居跡



第76号住居跡

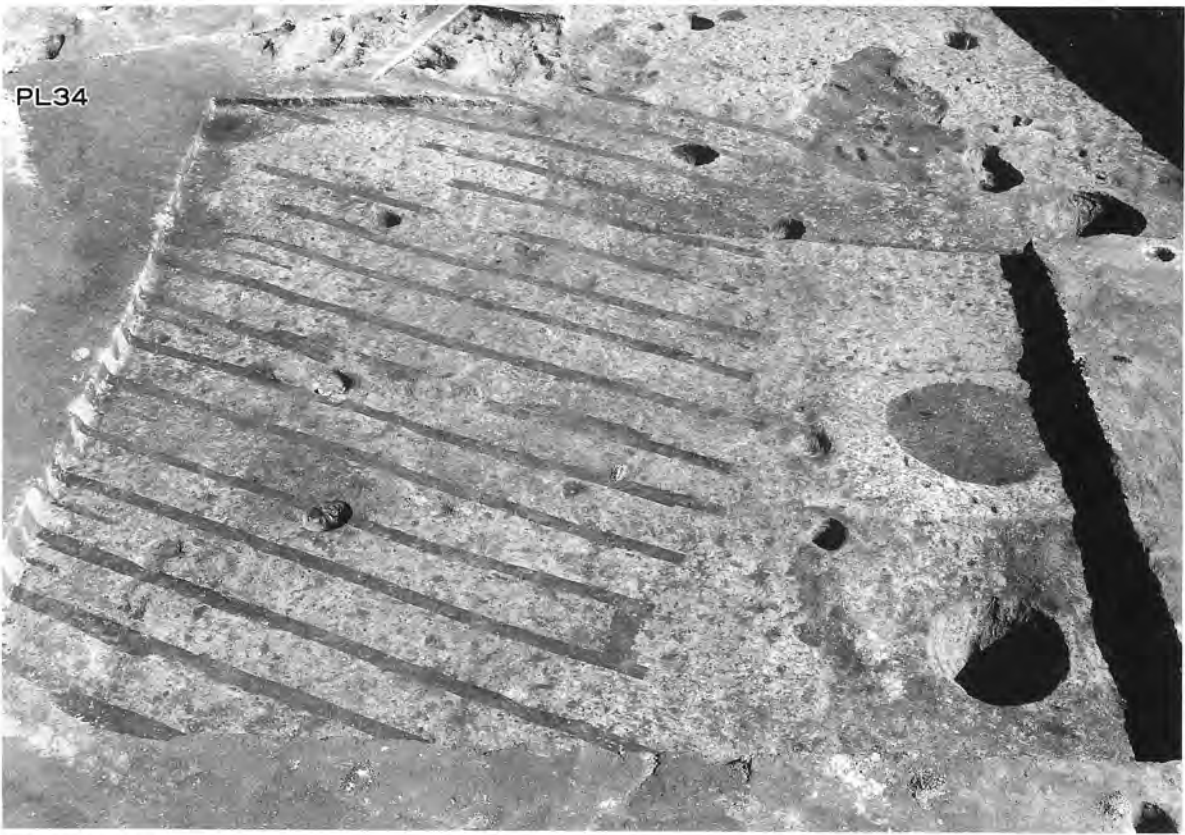


第79号住居跡



第79号住居跡炭化材出土状況

PL34

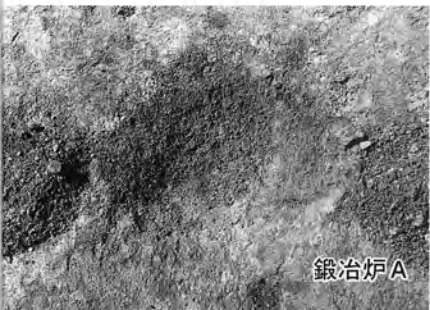


第70号住居跡

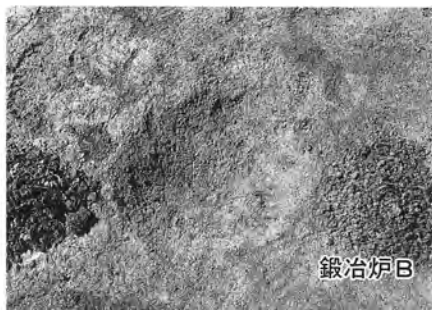


第70号住居跡
遺物出土状況

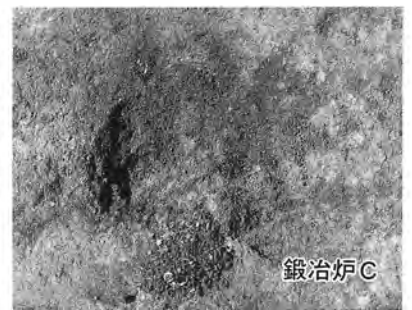
第70号住居跡鍛冶炉



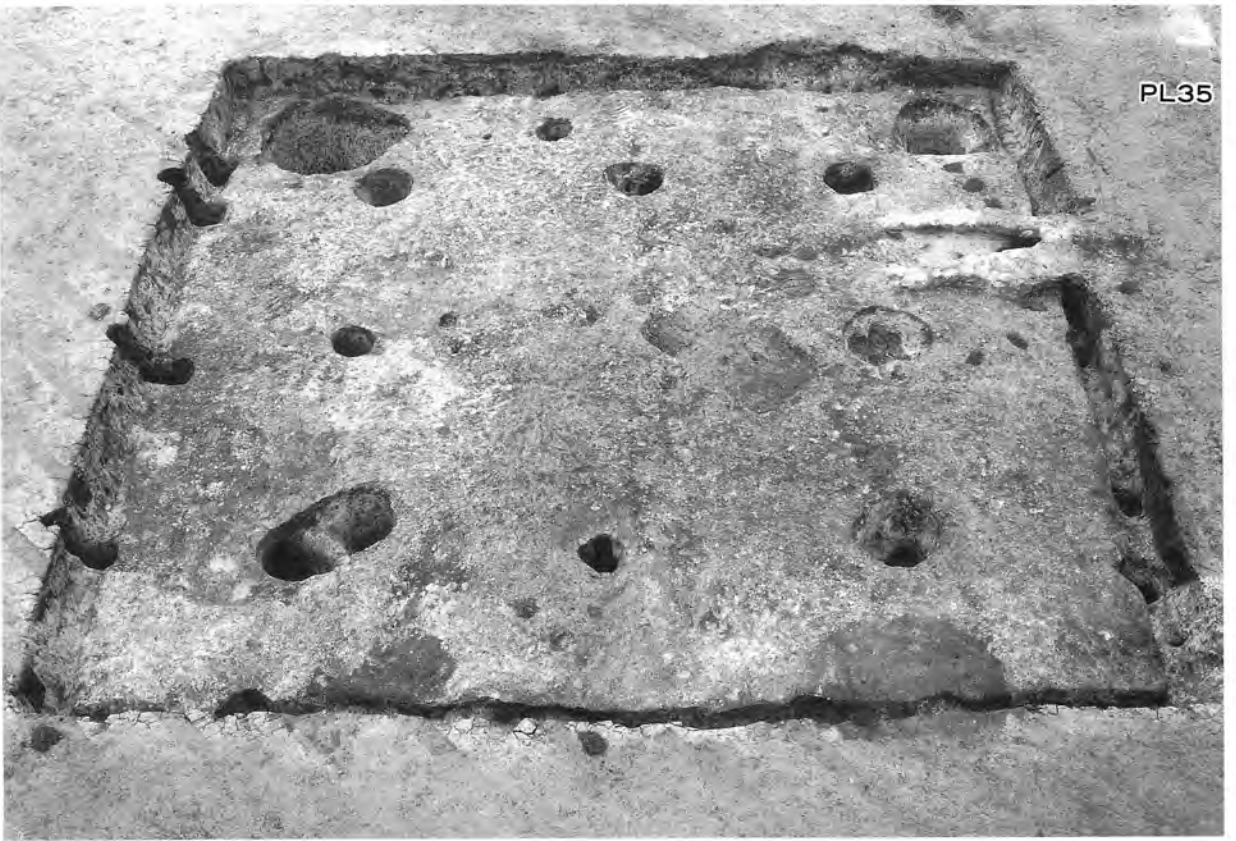
鍛冶炉A



鍛冶炉B



鍛冶炉C



第78号住居跡



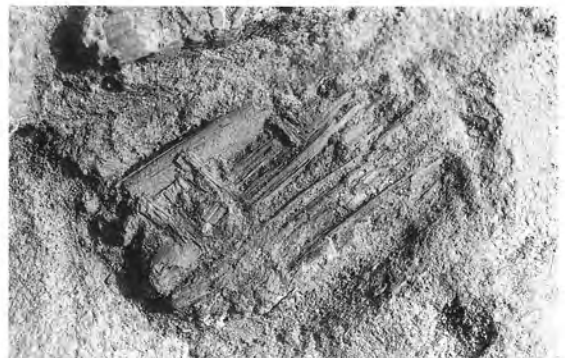
第82号住居跡



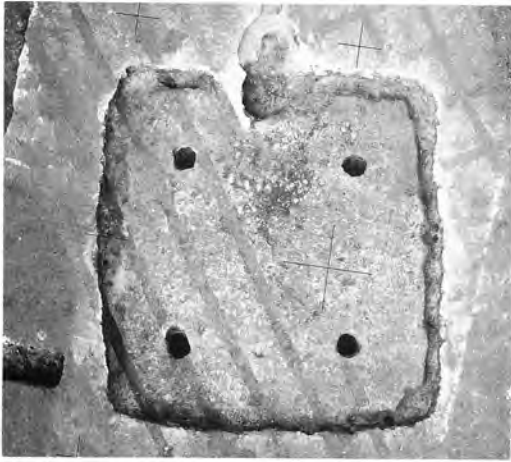
第83号住居跡



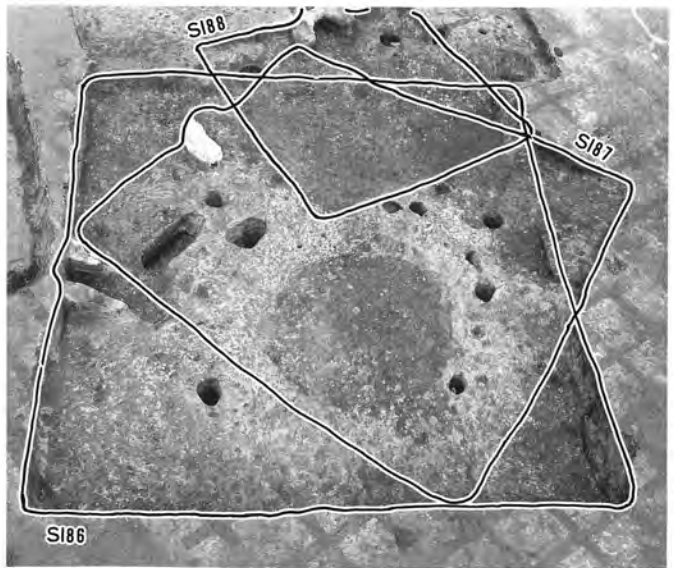
第83号住居跡貯藏穴内遺物出土状況



第83号住居跡炭化材出土状況



第85号住居跡



第86・87・88号住居跡



第88・89号住居跡



第90号住居跡



第90号住居跡カマド



第90号住居跡遺物出土状況



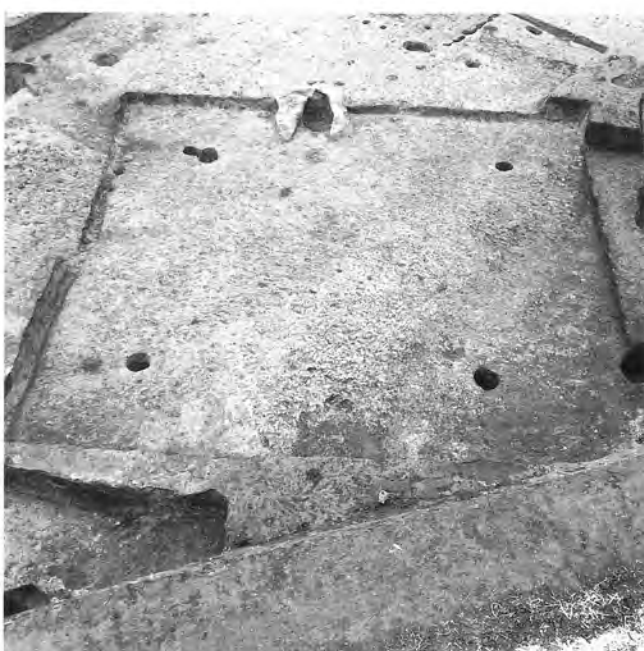
第91号住居跡



第91号住居跡遺物出土状況



第92・93号住居跡



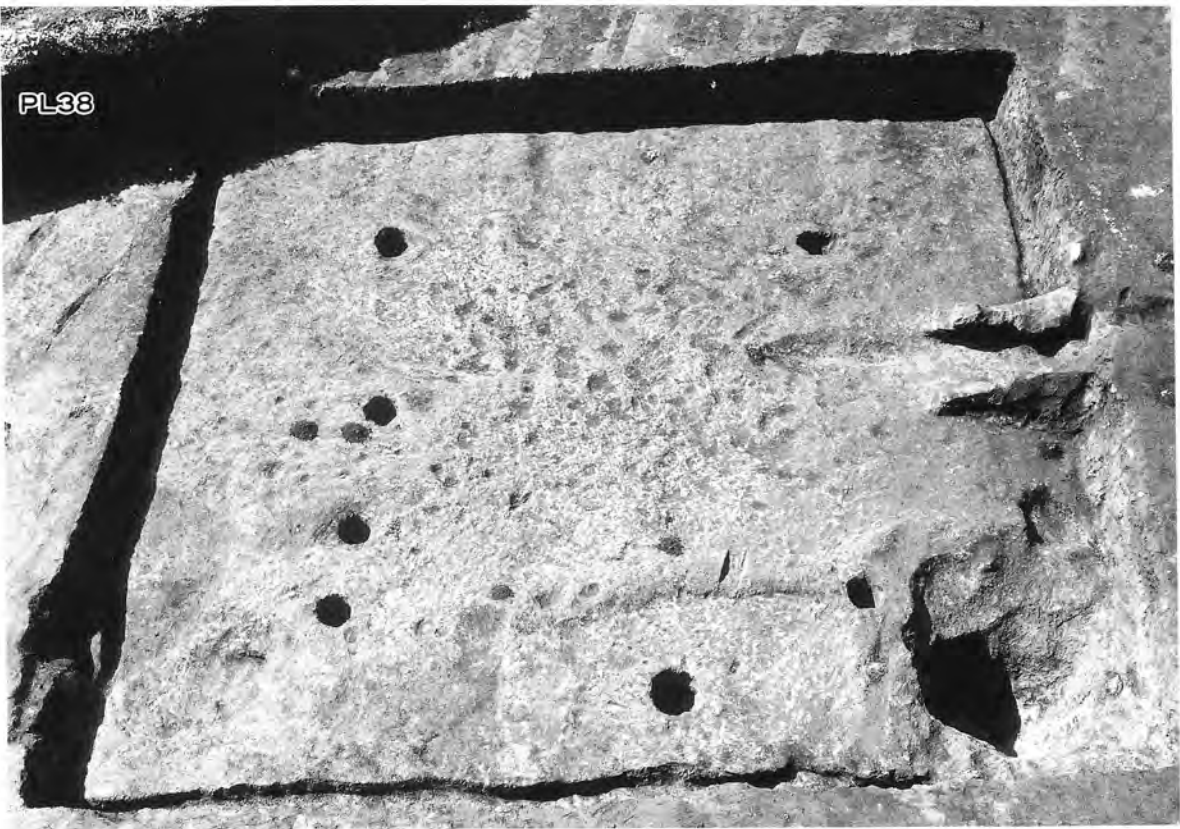
第103号住居跡



第104号住居跡・カマド



PL38



第97号住居跡



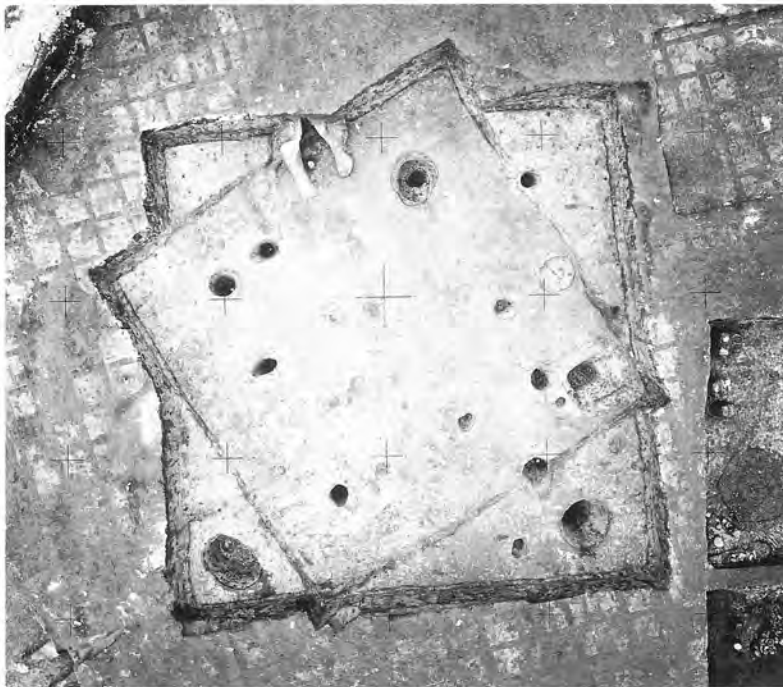
第97号住居跡出入り口部施設



第97号住居跡遺物出土状況



第97号住居跡カマド内遺物出土状況



第100・101号住居跡



第100号住居跡
カマド



第100・101号住居跡
遺物出土状況



第102号住居跡



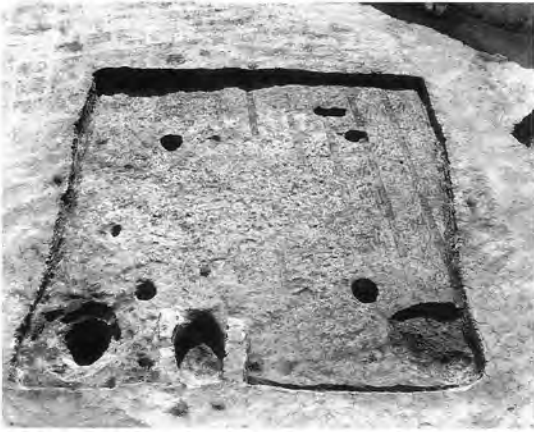
第102号住居跡
遺物出土状況



第102号住居跡
貯蔵穴内
遺物出土状況



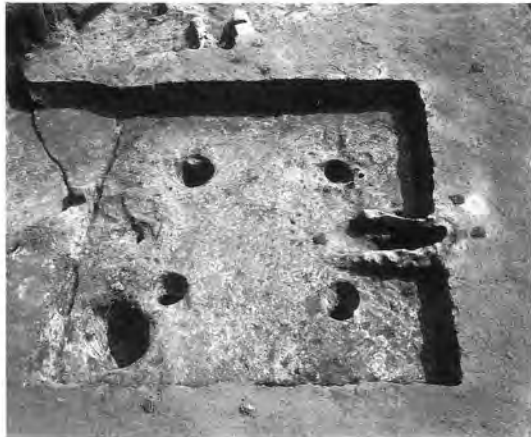
第105号住居跡



第109号住居跡



第110号住居跡



第111号住居跡



第112号住居跡



第112号住居跡カマド



第111・112号住居跡遺物出土状況



第115号住居跡



第116号住居跡



第116号住居跡遺物出土状況



第117住居跡



第117号住居跡カマド



第117号住居跡遺物出土状況



第118号住居跡



第120号住居跡



第119号住居跡



第121号住居跡



第124号住居跡



第121号住居跡遺物出土状況



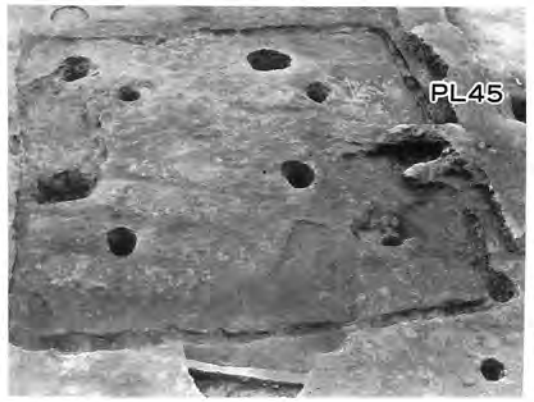
第126号住居跡



第130号住居跡



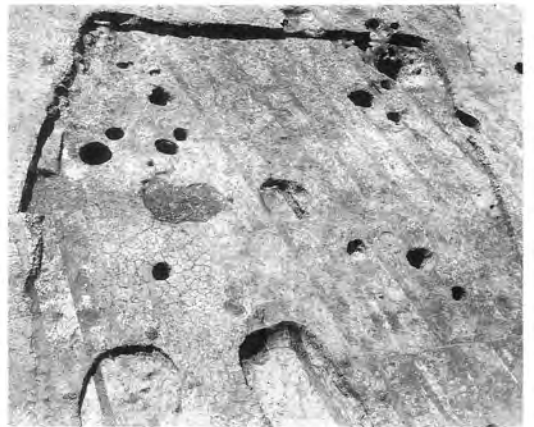
第131号住居跡



第135号住居跡



第138号住居跡



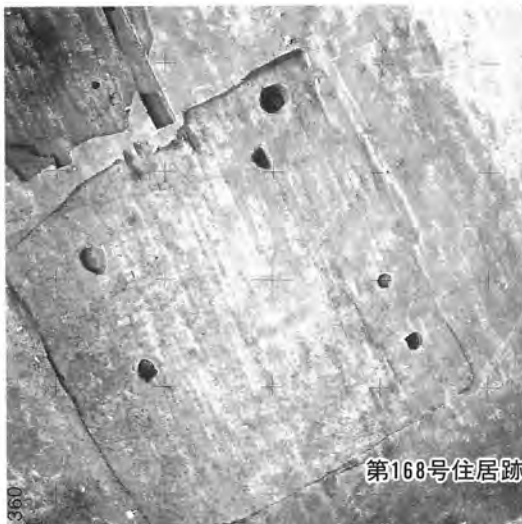
第155号住居跡



第158号住居跡



第165号住居跡



第168号住居跡



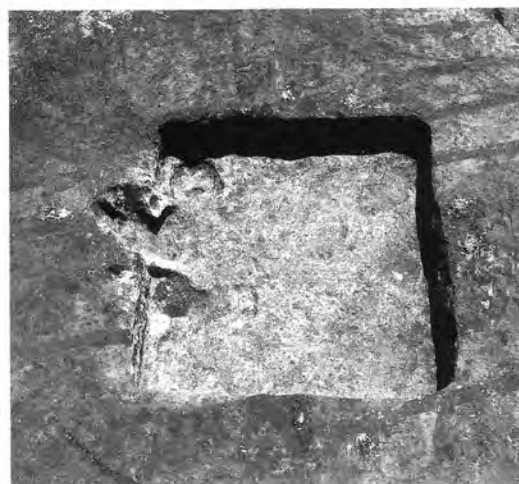
第174号住居跡



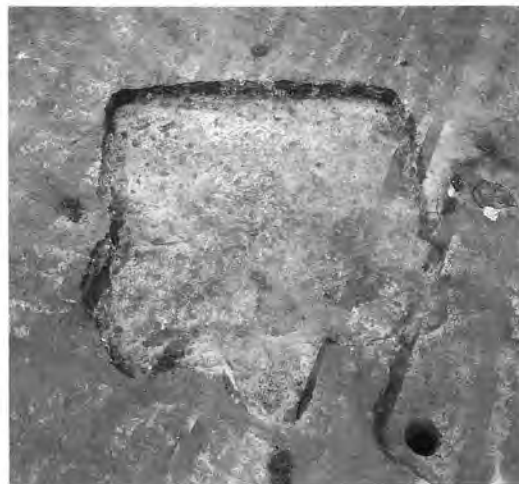
第3号住居跡



第4号住居跡



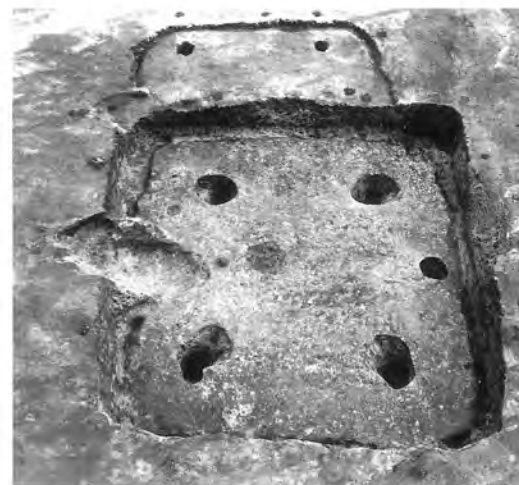
第5号住居跡



第8号住居跡



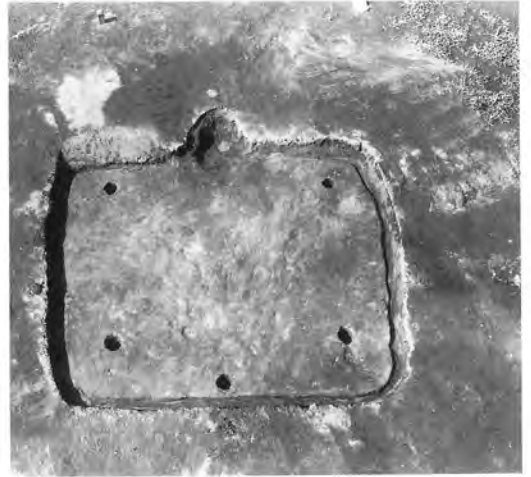
第10号住居跡



第14号住居跡



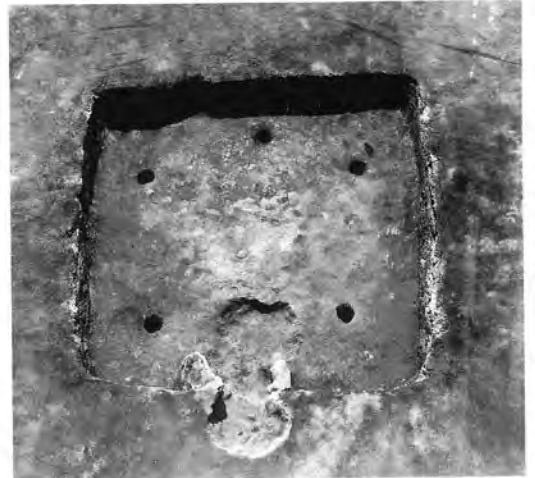
第15号住居跡



第18号住居跡



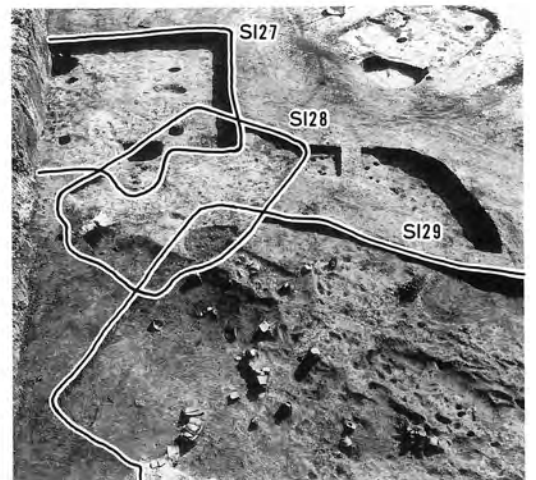
第19号住居跡



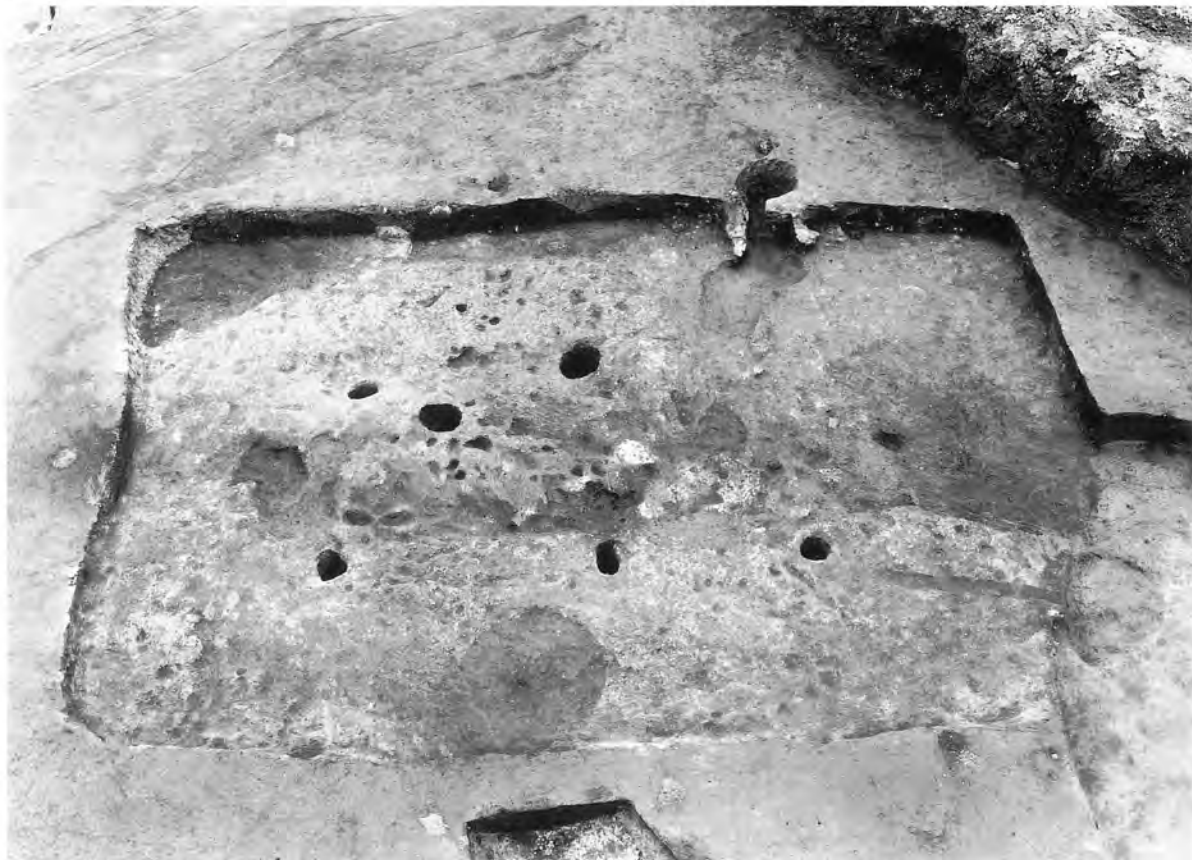
第25号住居跡



第26号住居跡



第27・28・29号住居跡



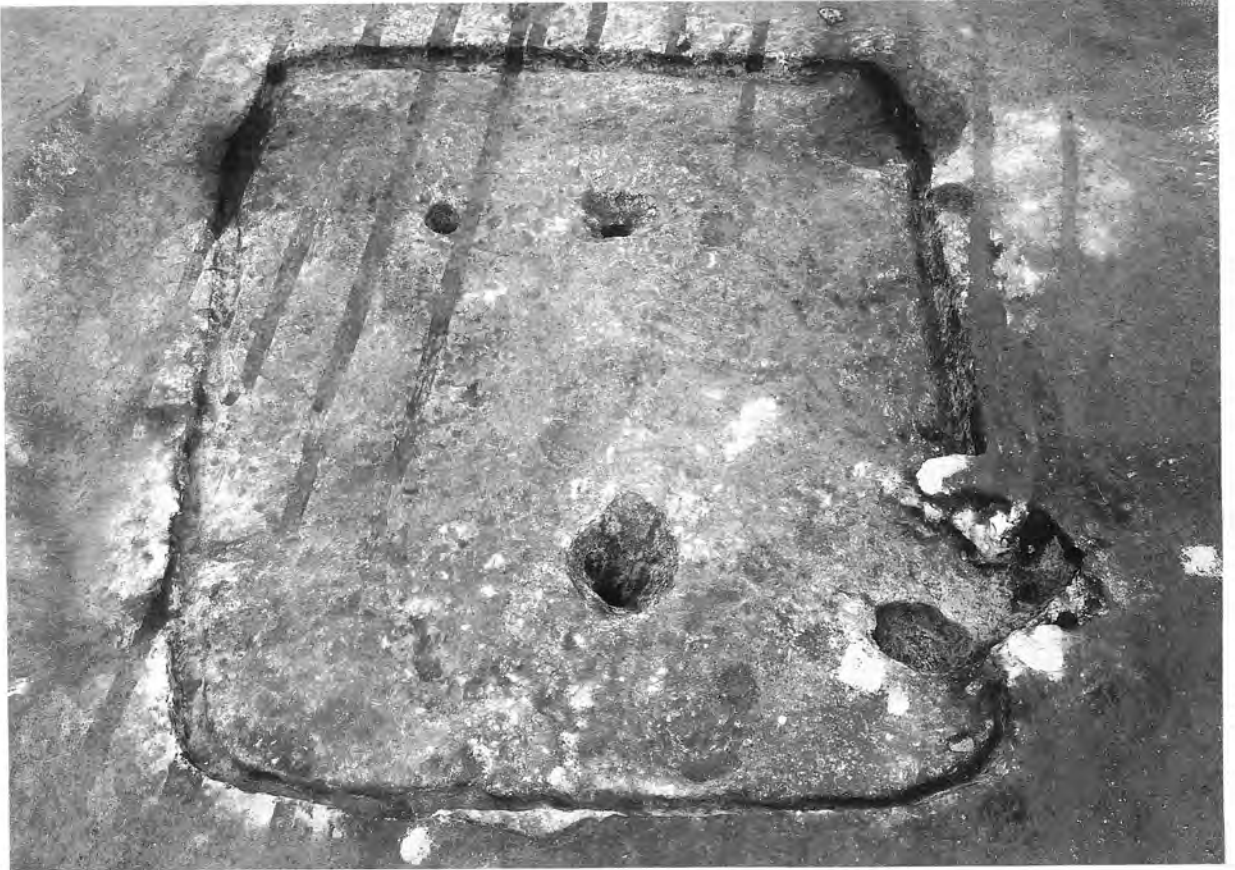
第29号住居跡



第29号住居跡カマド



第29号住居跡遺物出土状況



第30号住居跡



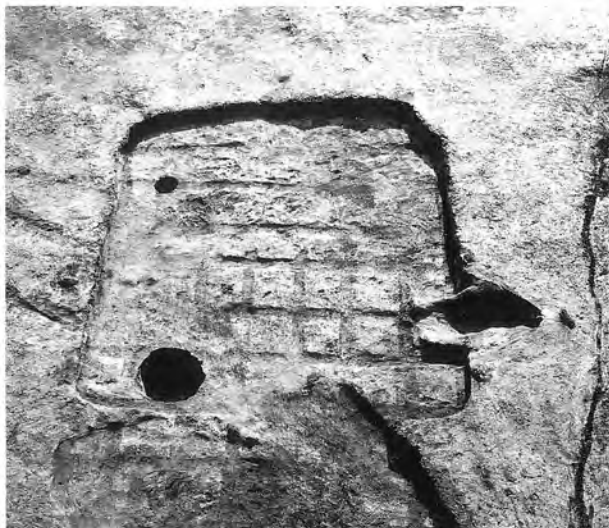
第30号住居跡カマド



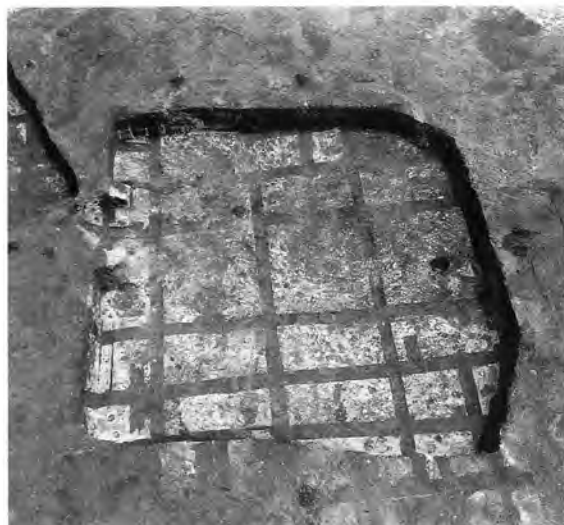
第30号住居跡遺物出土状況



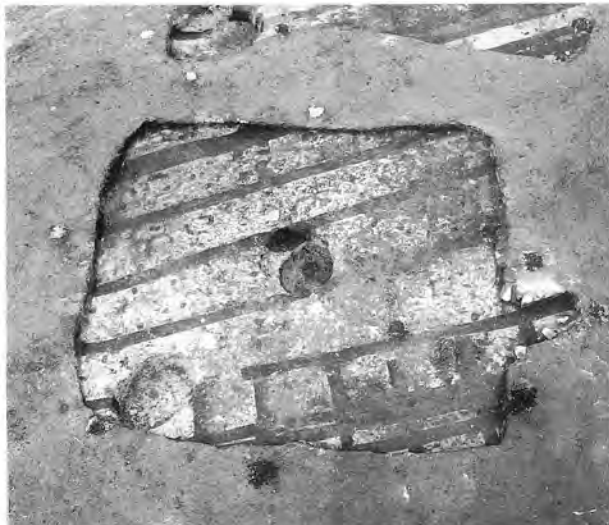
第40号住居跡



第42号住居跡



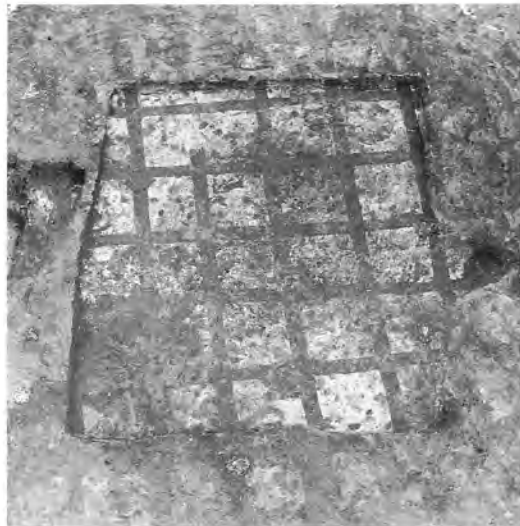
第48号住居跡



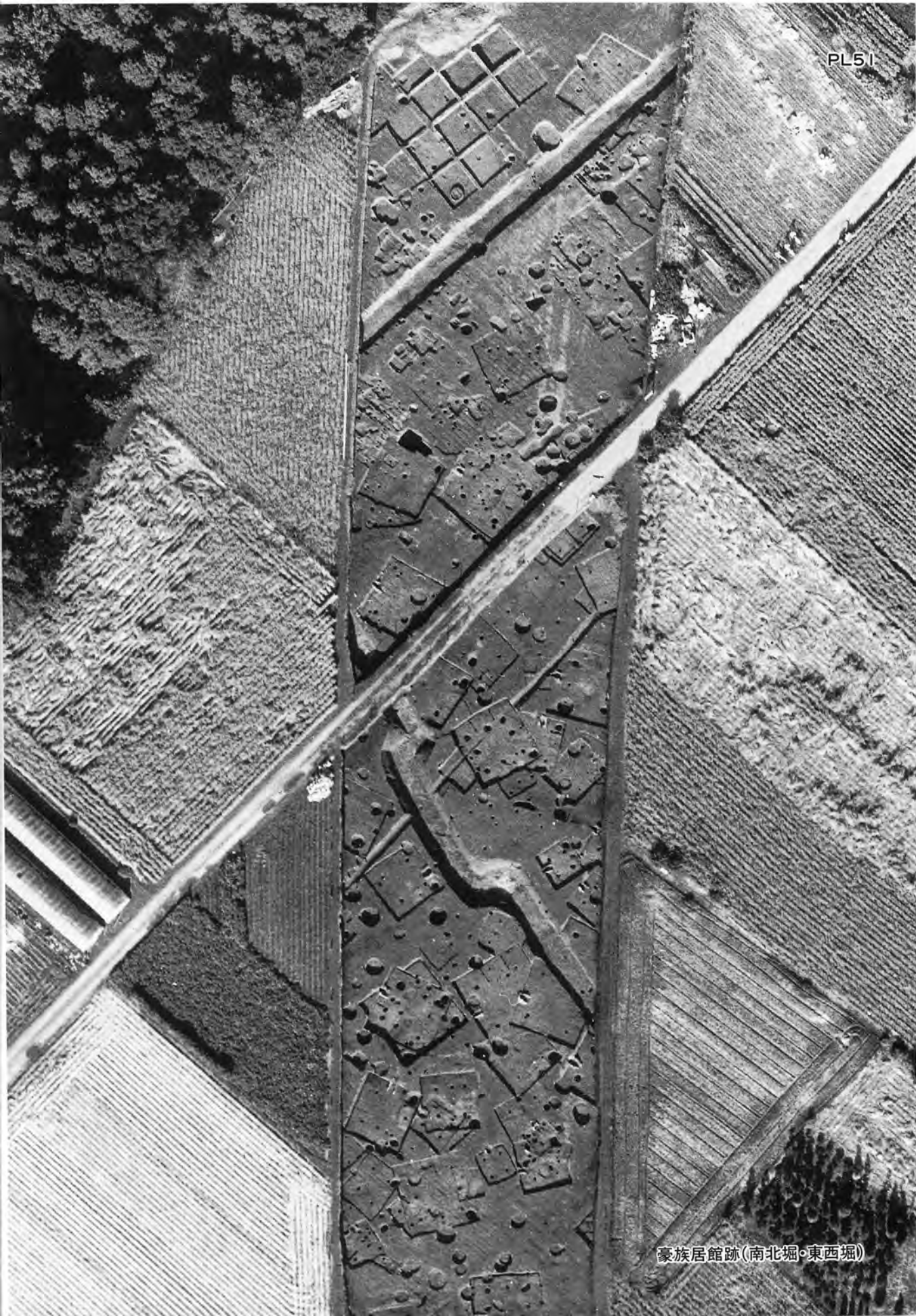
第50号住居跡



第59号住居跡



第107号住居跡



豪族居館跡(南北堀・東西堀)

PL52



豪族居館跡南北堀張出部(南から)



豪族居館跡南北堀張出部
(北から)

豪族居館跡東西堀
(東から)





豪族居館跡南北掘土層断面(SPB-B')



豪族居館跡南北掘遺物出土狀況(下層)



豪族居館跡南北掘遺物出土狀況(上層)



豪族居館跡東西掘遺物出土狀況



第2・3号溝(南から)



第2・3号溝(北から)



第4号溝(南から)



第5号溝(南から)



第6号溝



第7号溝(北から)



第8号溝(北から)



第8号溝



第9号溝(西から)



第1号井戸

PL56



第53号土坑



第71号土坑



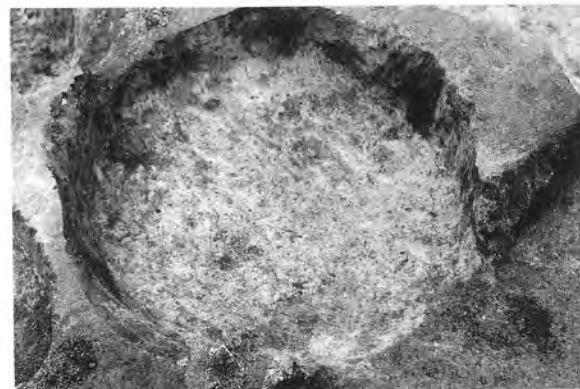
第90号土坑



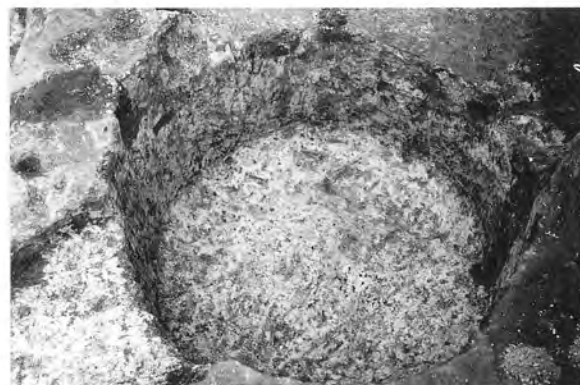
第265号土坑



第95号土坑



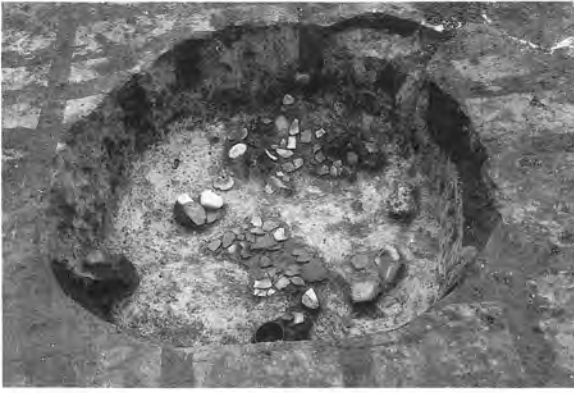
第174号土坑



第175号土坑



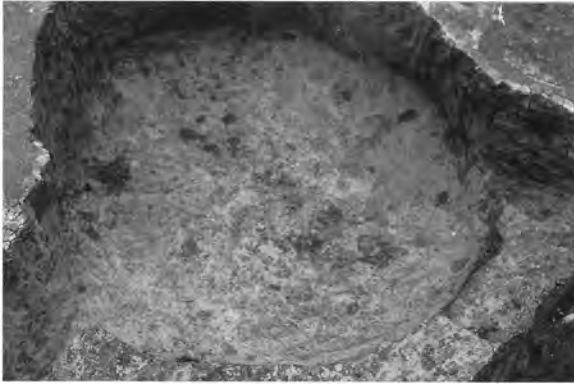
第179号土坑



第189号土坑遺物出土狀況



第197号土坑



第198号土坑



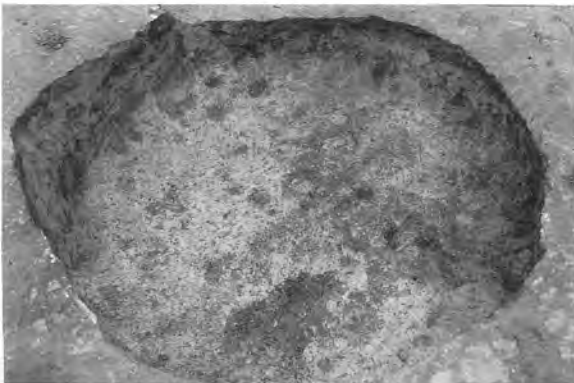
第201号土坑



第202号土坑遺物出土狀況



第202号土坑遺物出土狀況



第202号土坑



第210号土坑遺物出土狀況



第214号土坑土层断面



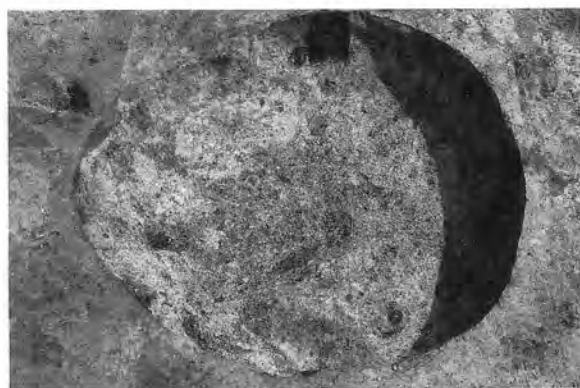
第194·215号土坑



第216号土坑



第246号土坑



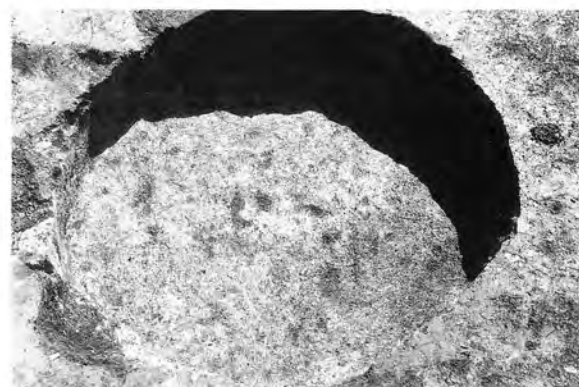
第253号土坑



第255号土坑



第258号土坑



第263号土坑



第2号土坑



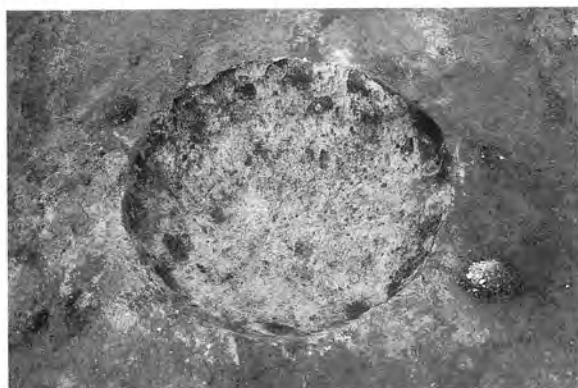
第15号土坑



第16号土坑



第18号土坑



第19号土坑



第23号土坑



第58号土坑



第212号土坑



第131号土坑



第143号土坑



第220号土坑遺物出土狀況



第235号土坑遺物出土狀況



第236号土坑遺物出土狀況



第242号土坑



第243号土坑遺物出土狀況



第243号土坑



第13号土坑



第20・52・62号土坑



第26号土坑



第35号土坑遺物出土状況



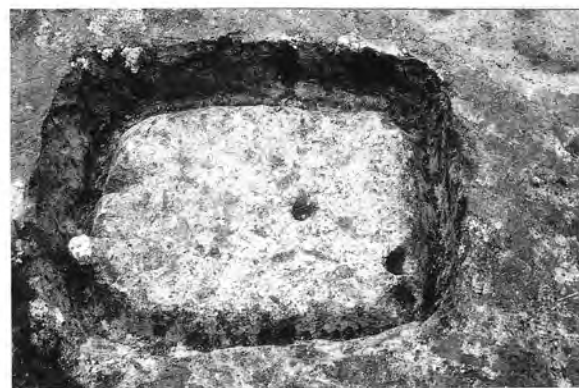
第84号土坑遺物出土状況



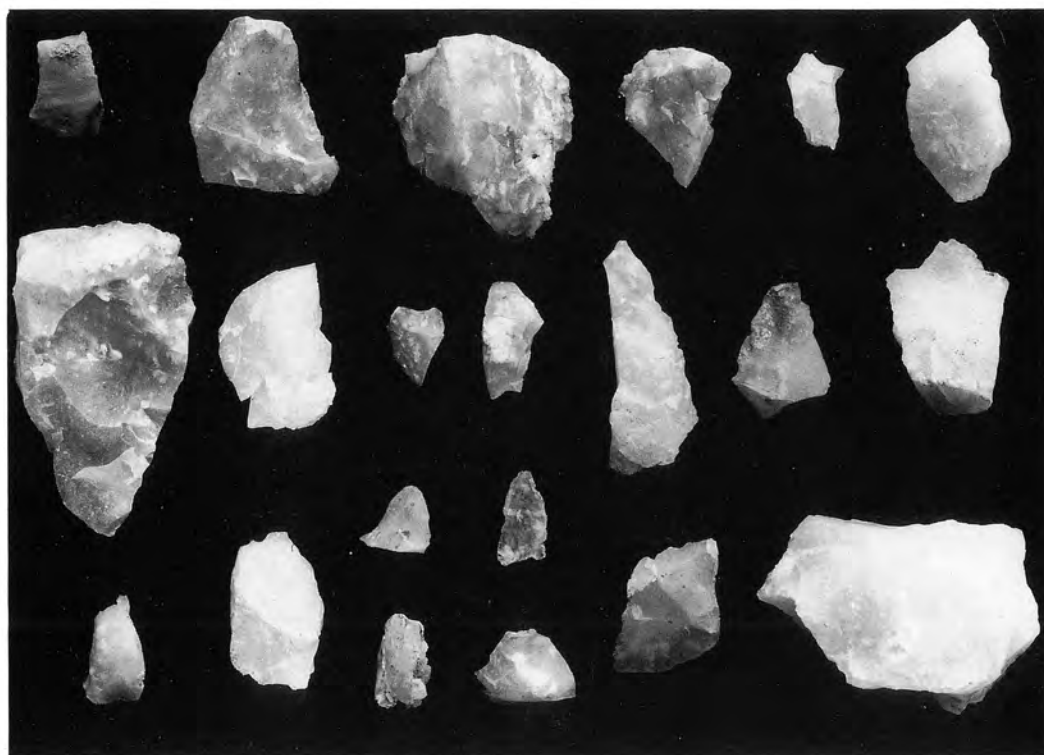
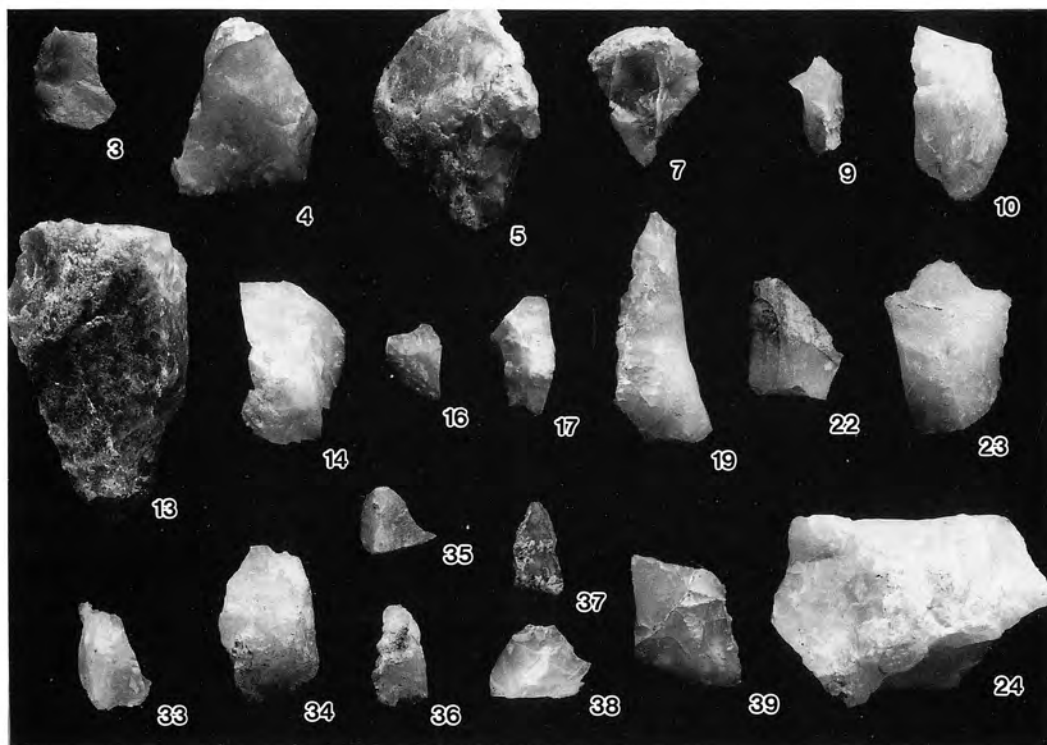
第99号土坑遺物出土状況



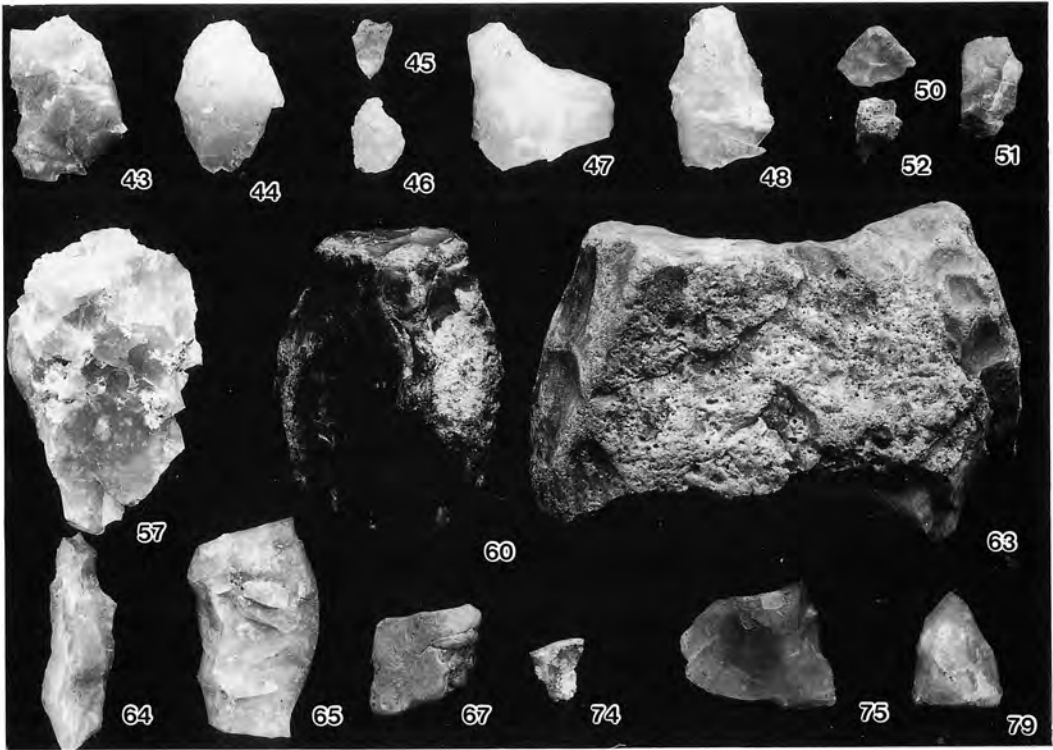
第146・147・148号土坑



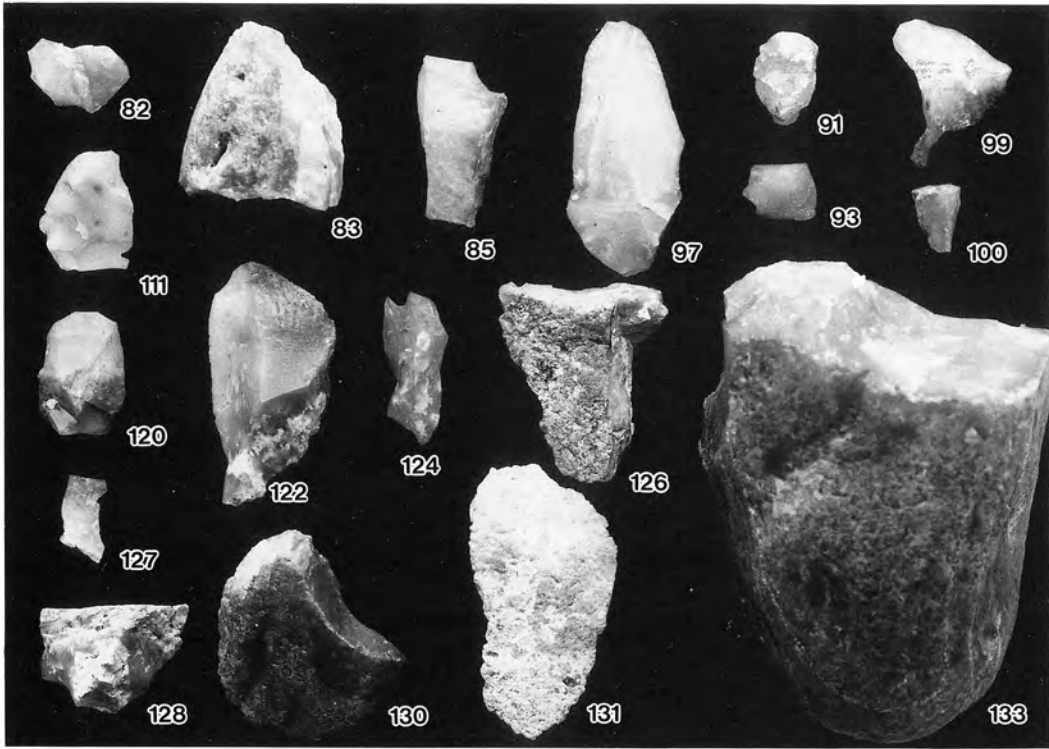
第169号土坑



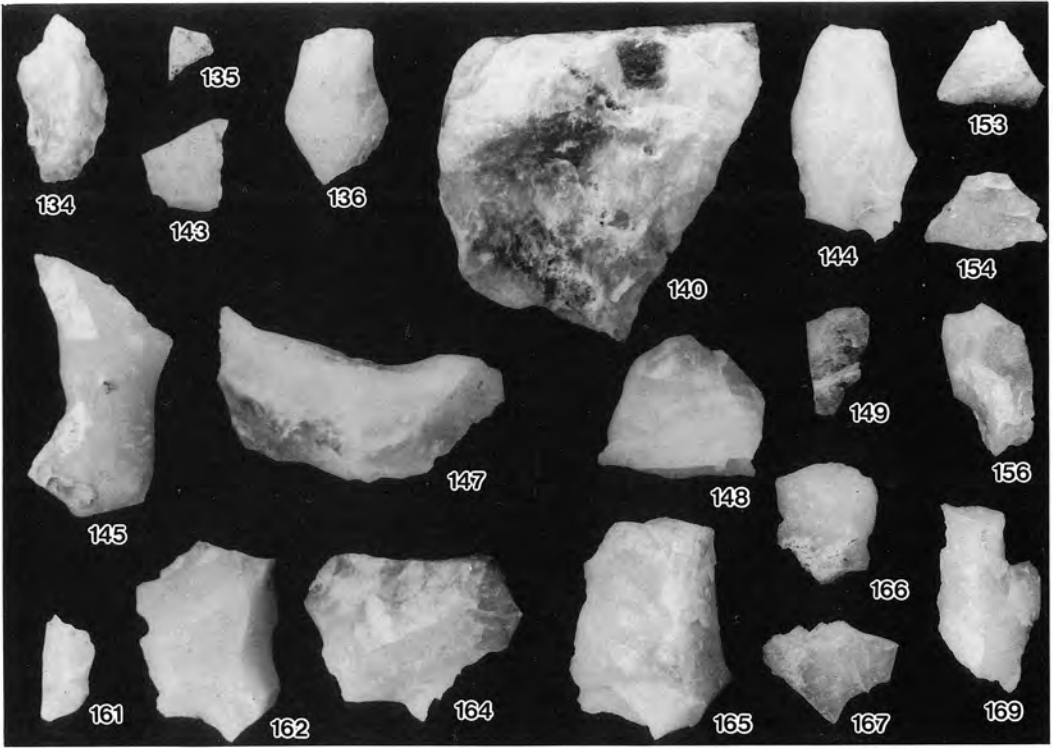
先土器時代石器(1)メノウ



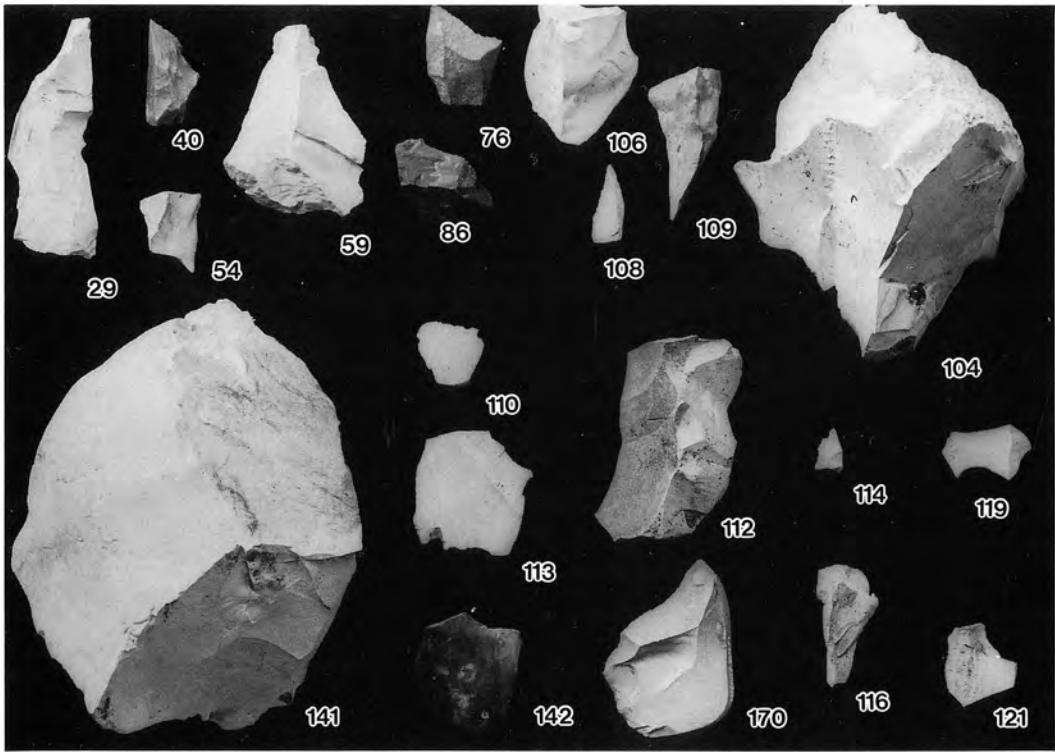
先土器時代石器(2)メノウ



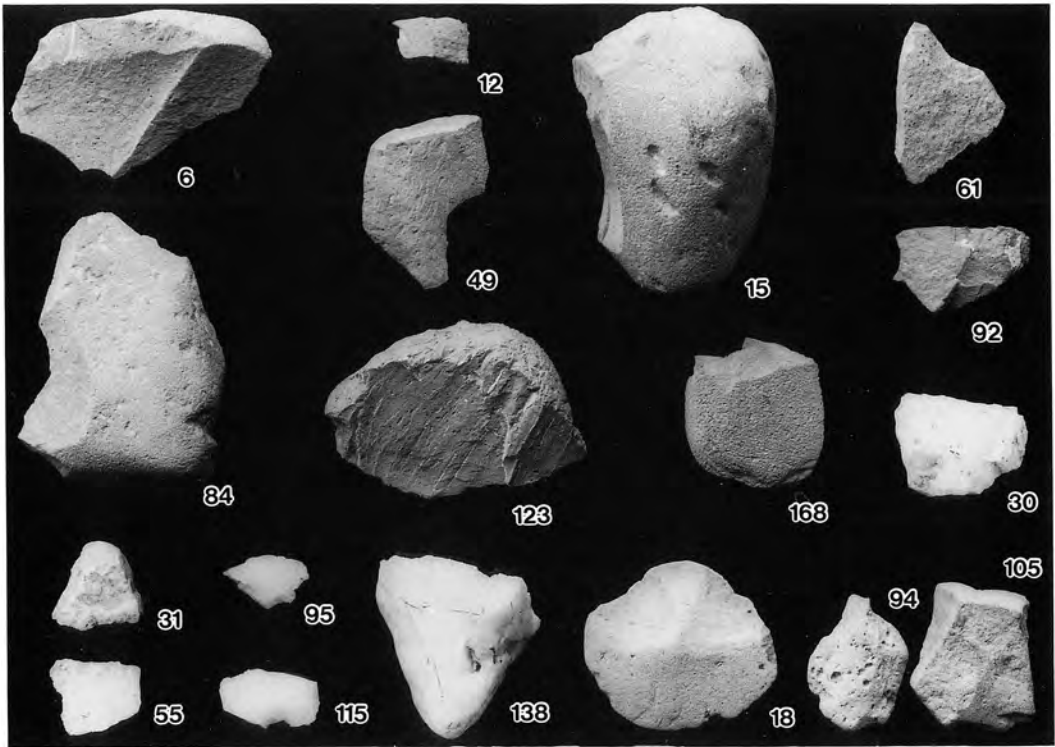
先土器時代石器(3)メノウ



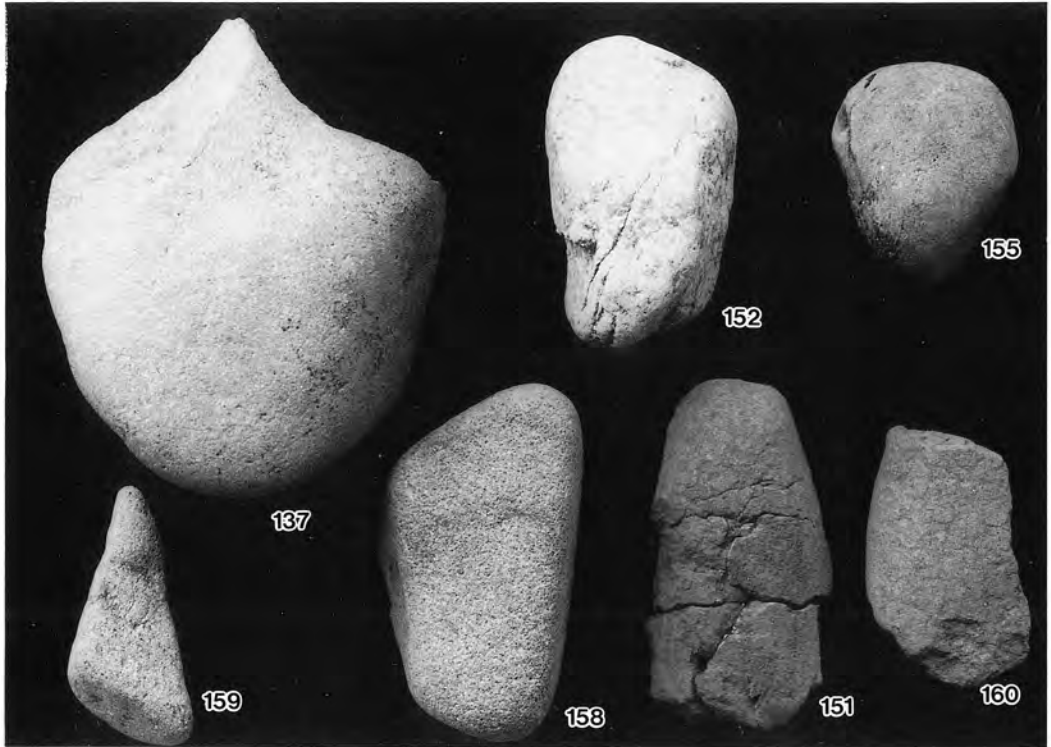
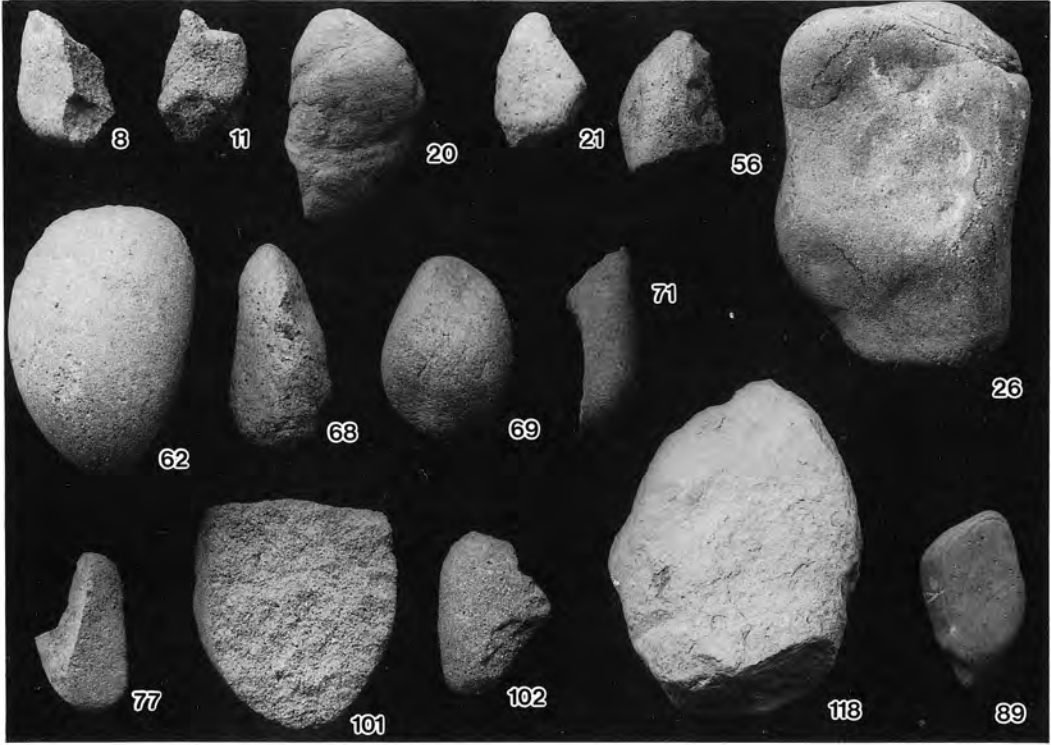
先土器時代石器(4)メノウ



先土器時代石器(5)頁岩



先土器時代石器(6)安山石・石英・凝灰岩



先土器時代石器(7)砂岩



172



174



175



173



176



178



179



182



177



180



181



187



183



184



185



186



先土器時代石器(8)該期外調査出土



188



189



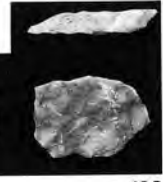
196



190



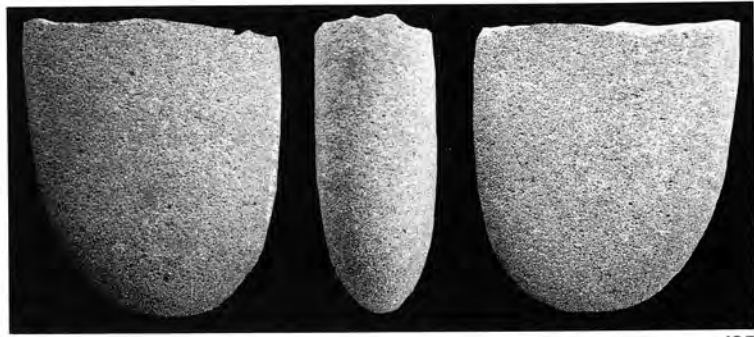
192



193



194



195



197



198



200



199



201



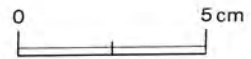
202



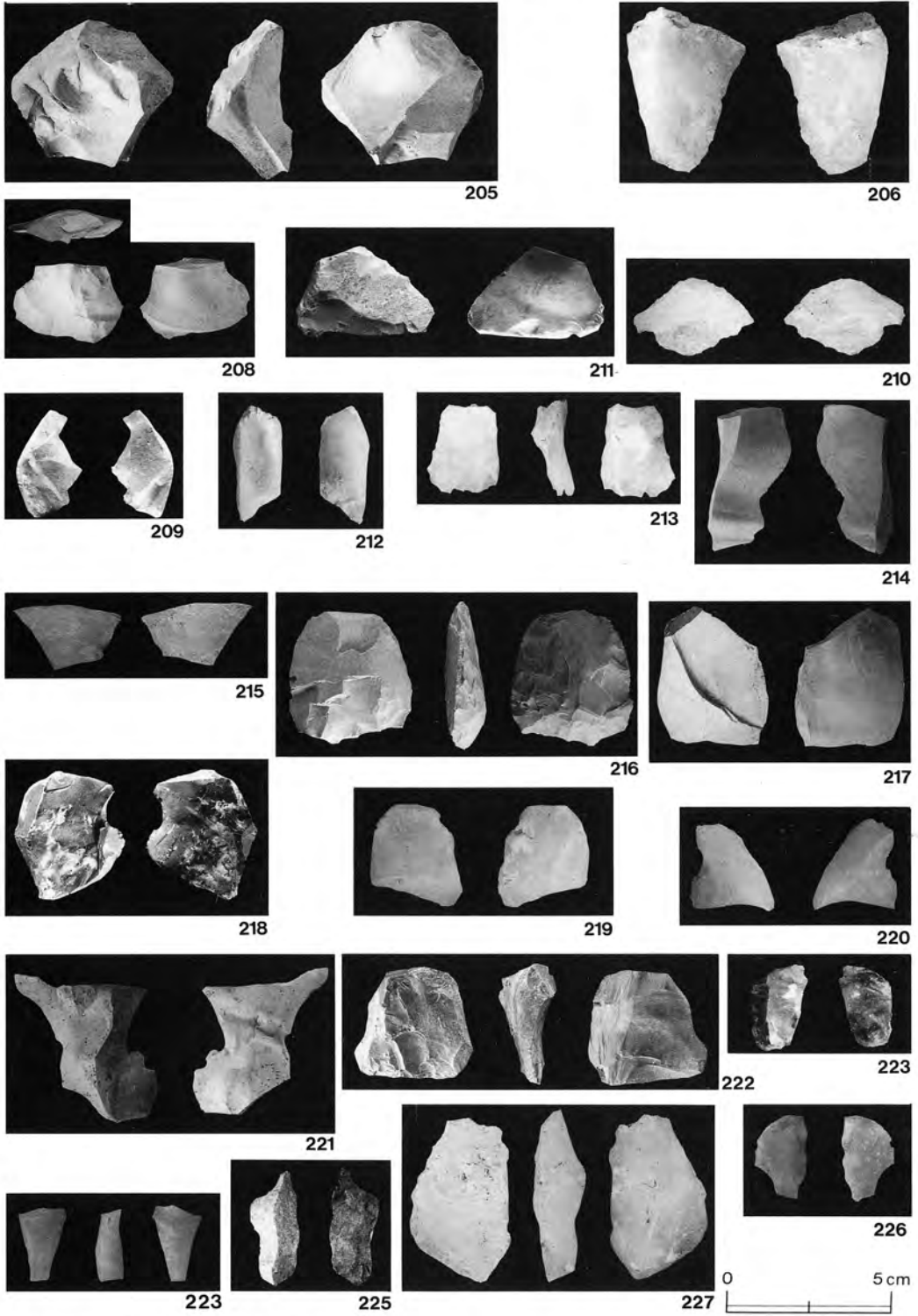
204



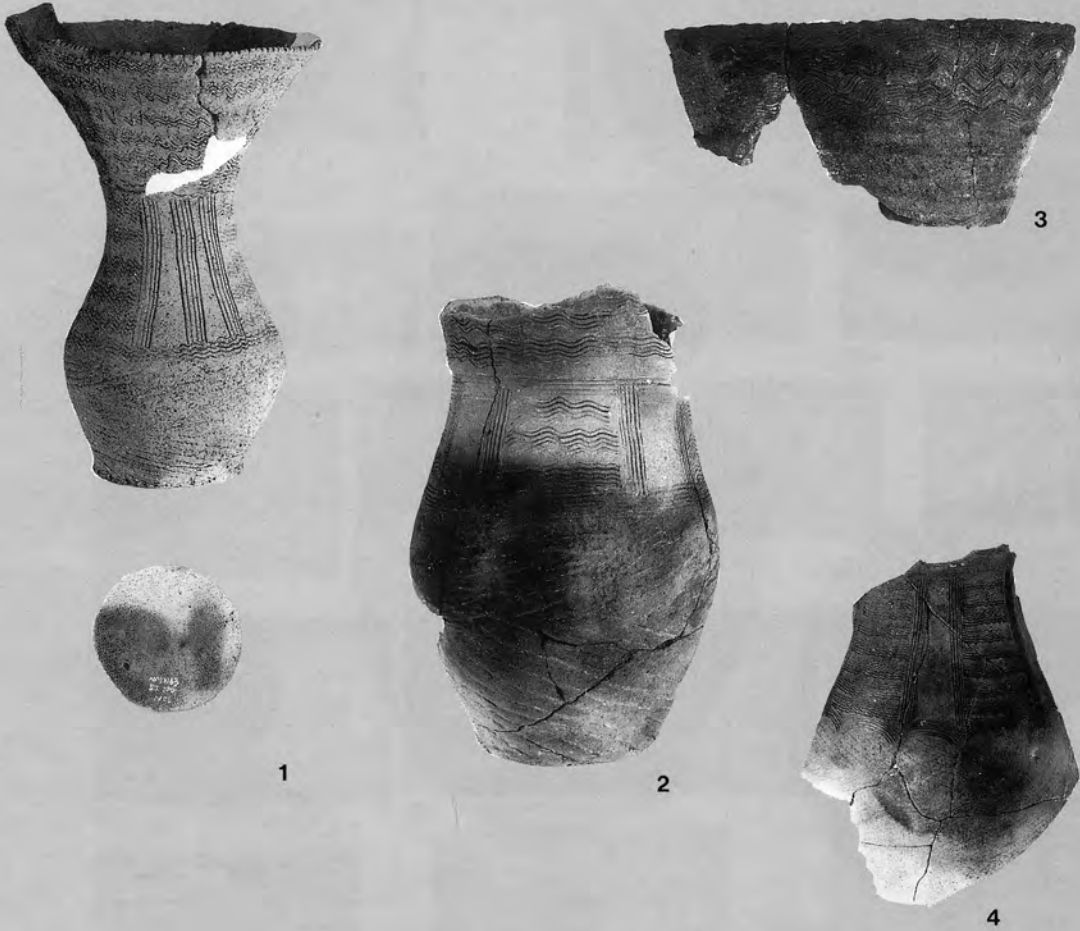
203



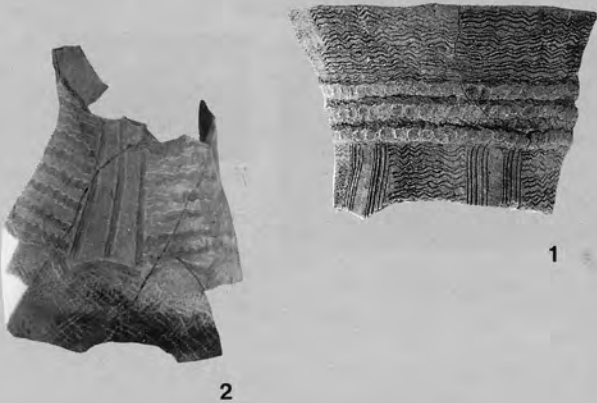
先土器時代石器(9)該期外調査出土



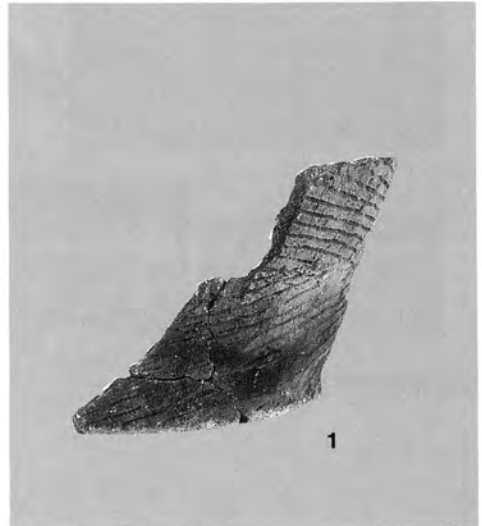
先土器時代石器(10)該期外調査出土



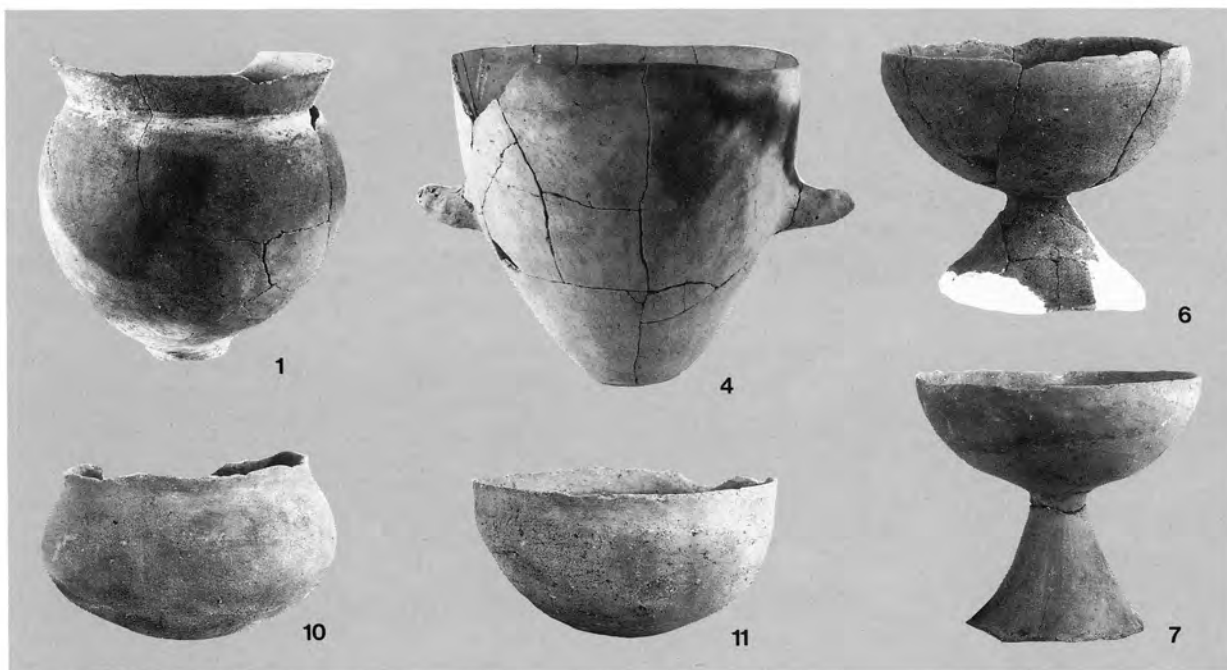
第106号住居跡出土土器



第143号住居跡出土土器



第148号住居跡出土土器



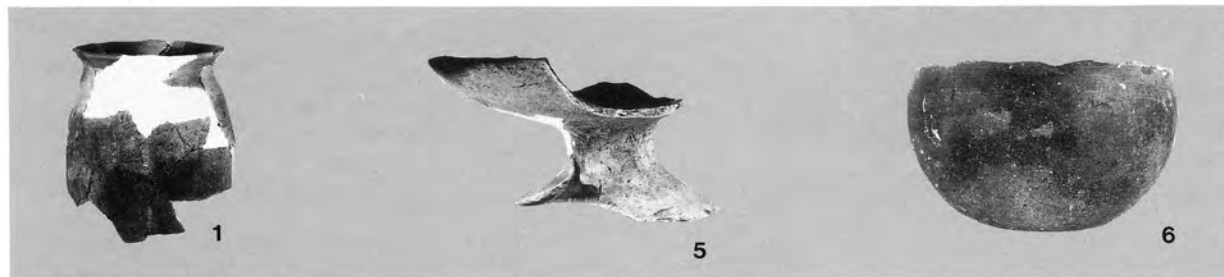
第12号住居跡出土土器



第16号住居跡出土土器



第17号住居跡出土土器



第20号住居跡出土土器



第27号住居跡出土土器

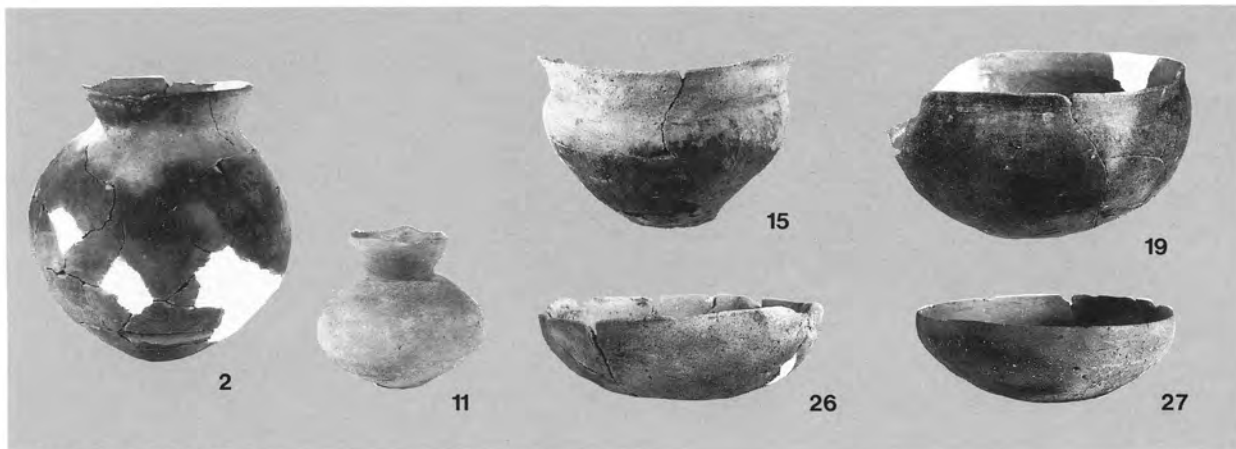
PL74



第21号住居跡出土土器



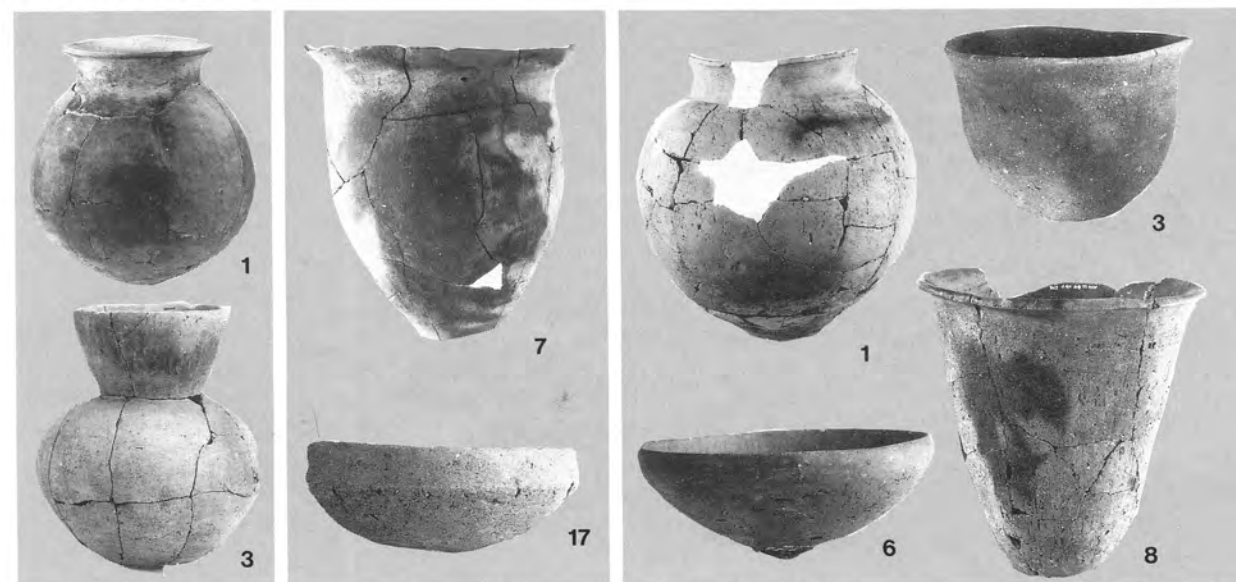
第33号住居跡出土土器



第37号住居跡出土土器



第39号住居跡出土土器



第44号住居跡出土土器

第47号住居跡出土土器

第49号住居跡出土土器



1



5

第53号住居跡出土土器



3



6



8



1

第54号住居跡出土土器

第55号住居跡出土土器



7



2



12



1



2



9



4



10

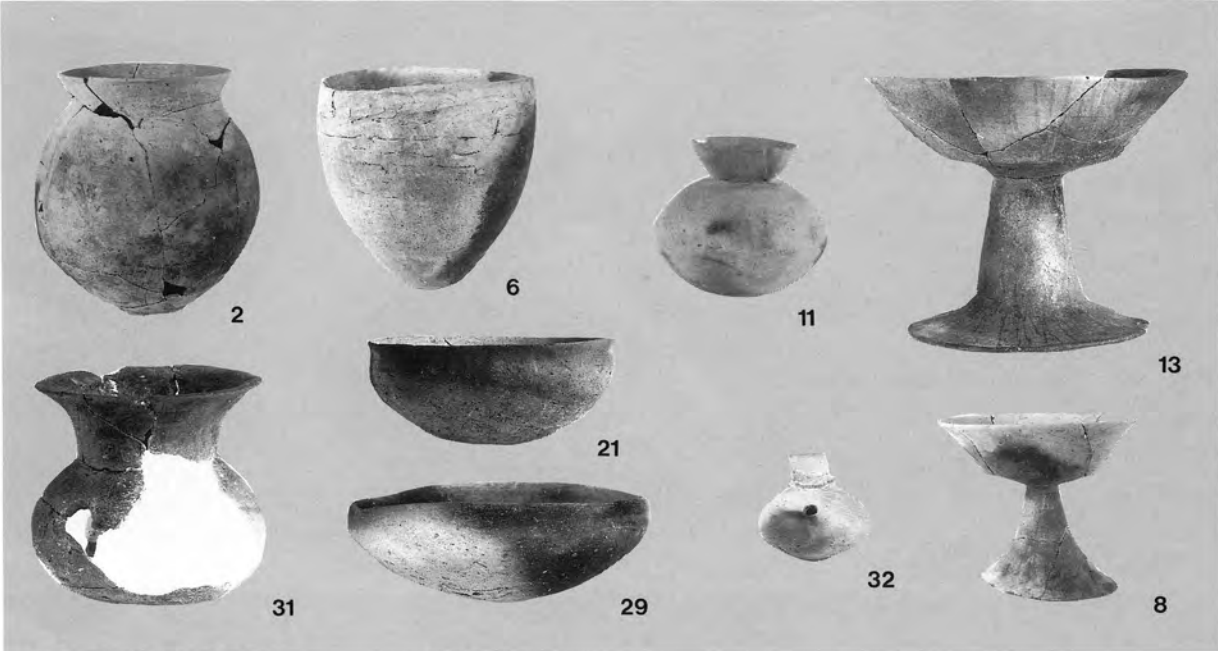


7

第62号住居跡出土土器

第64号住居跡出土土器

第67号住居跡出土土器



第56号住居跡出土土器



第80号住居跡出土土器



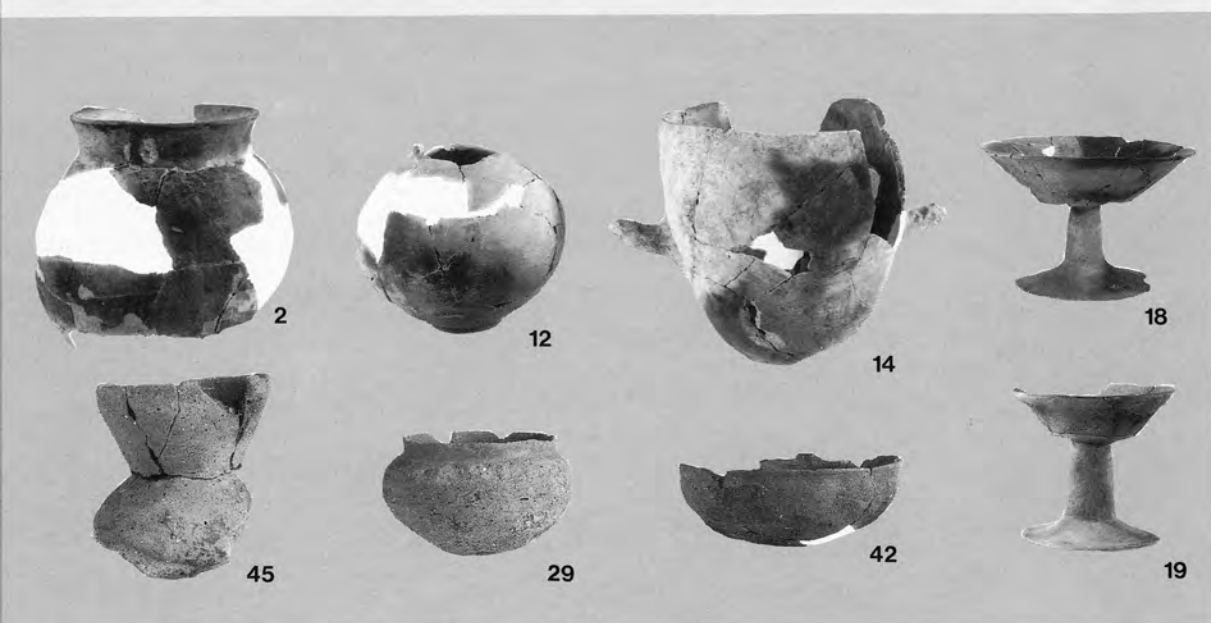
第81号住居跡出土土器



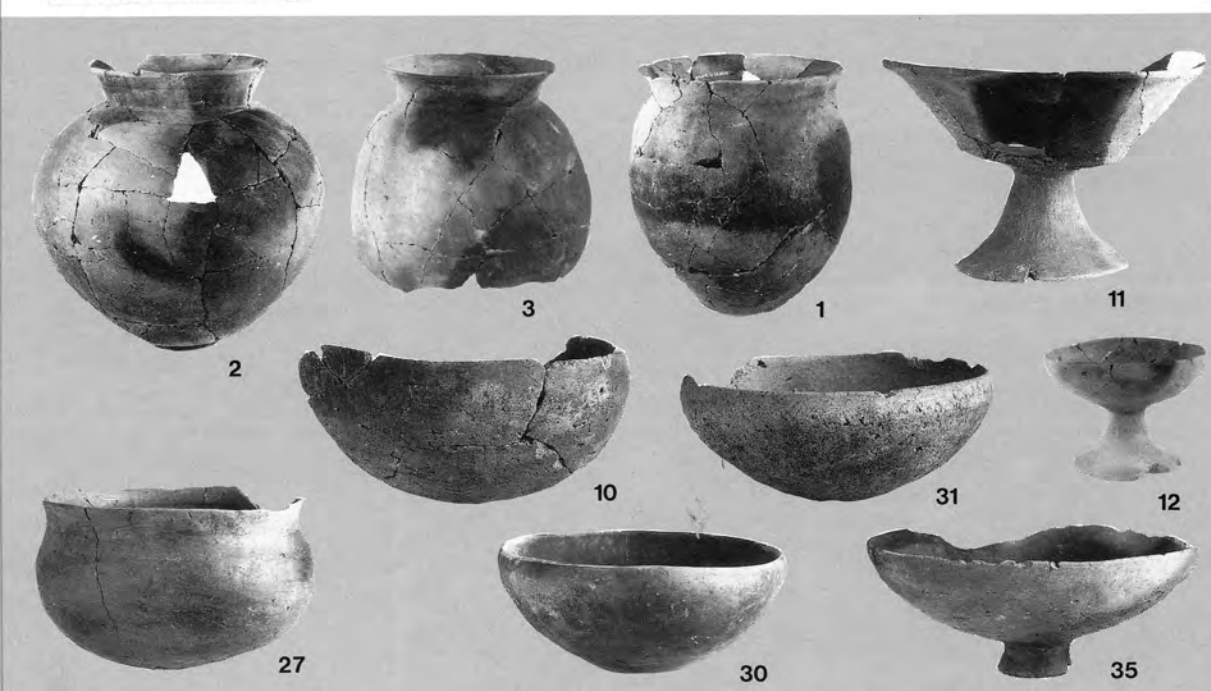
第82号住居跡出土土器



第86号住居跡出土土器



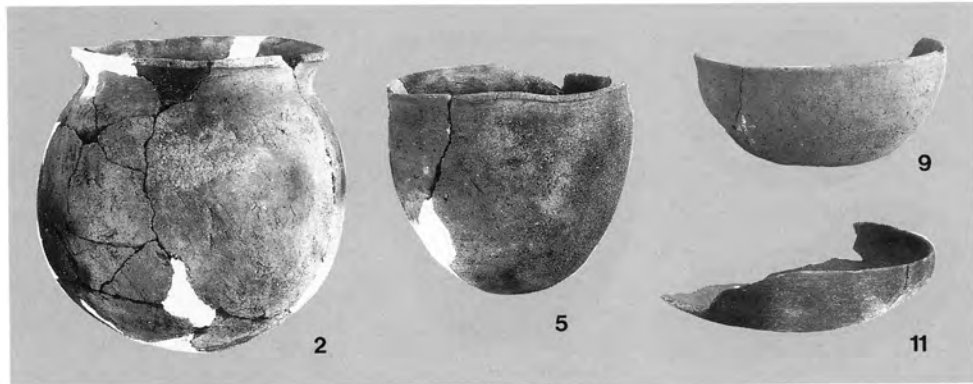
第70号住居跡出土土器



第83号住居跡出土土器



第78号住居跡出土土器



第87号住居跡出土土器



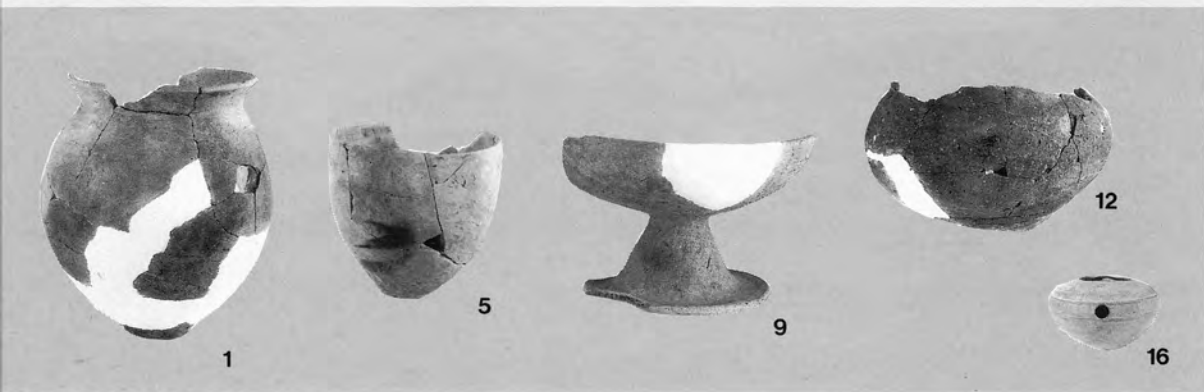
第88号住居跡出土土器



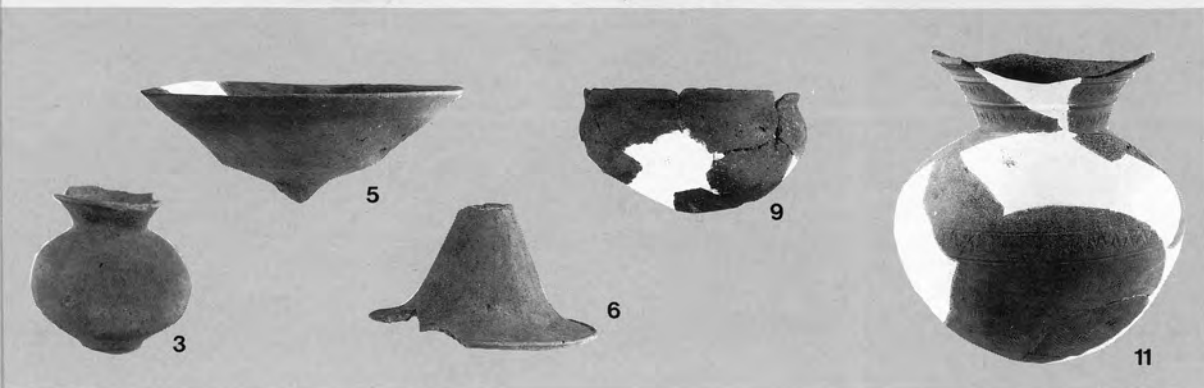
第89号住居跡出土土器



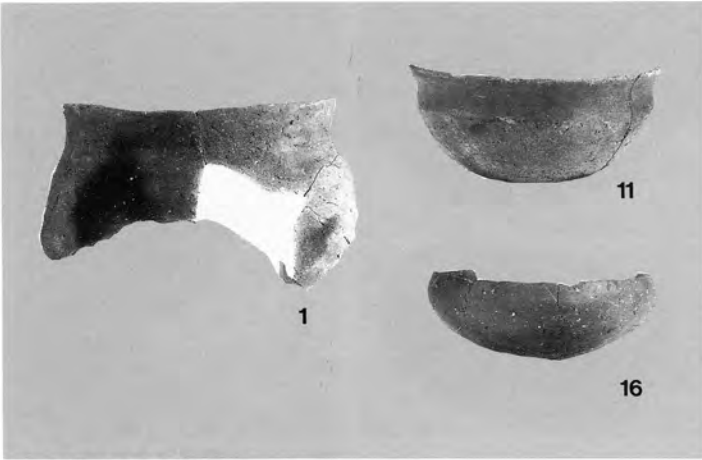
第90号住居跡出土土器



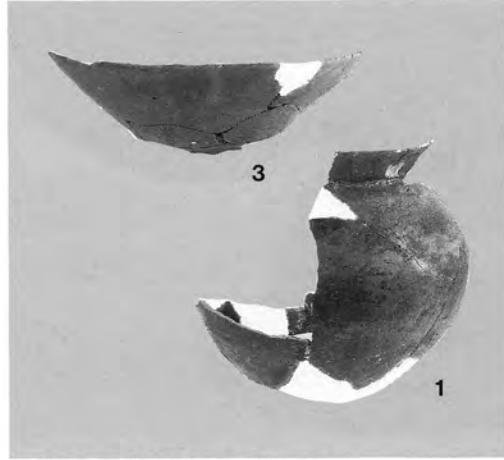
第91号住居跡出土土器



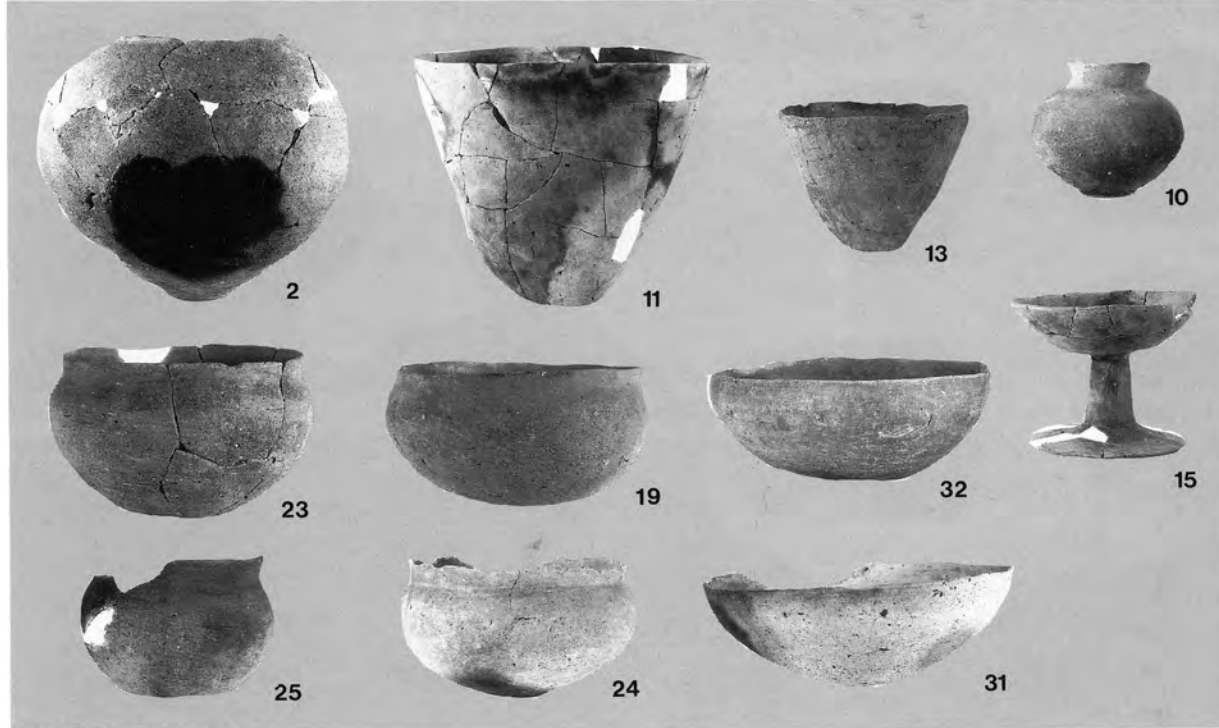
第97号住居跡出土土器



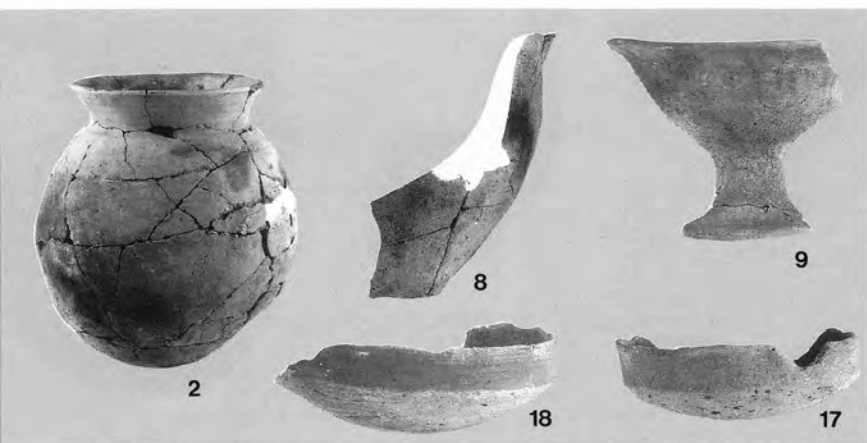
第100号住居跡出土土器



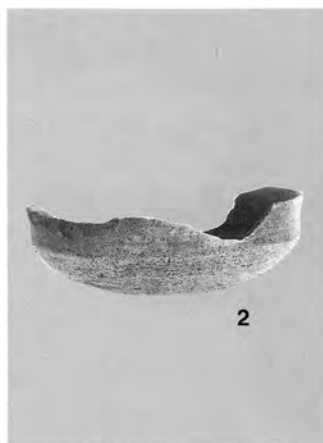
第101号住居跡出土土器



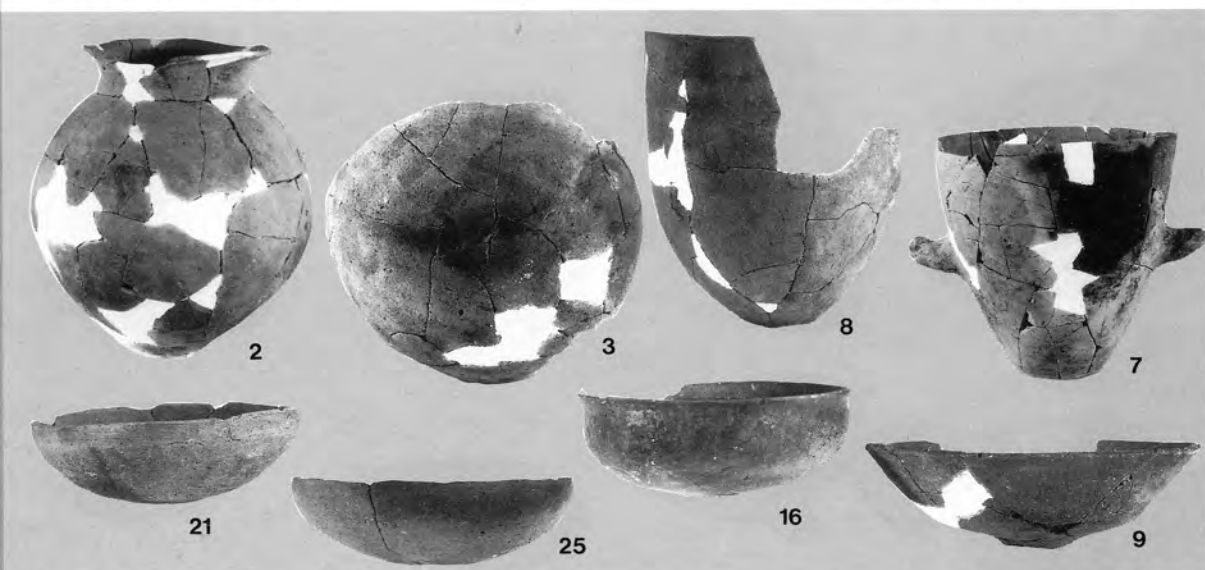
第102号住居跡出土土器



第103号住居跡出土土器



第104号住居跡出土土器



第105号住居跡出土土器



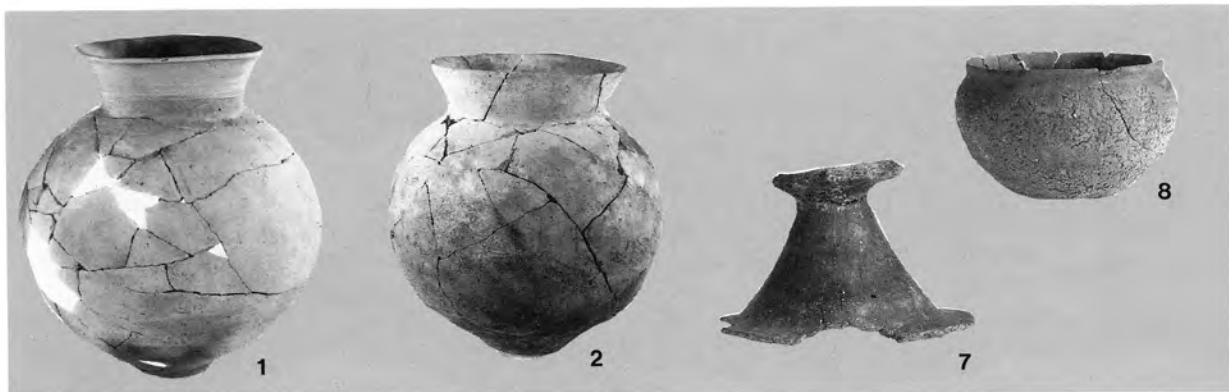
第108号住居跡出土土器



第109号住居跡出土土器



第110号住居跡出土土器



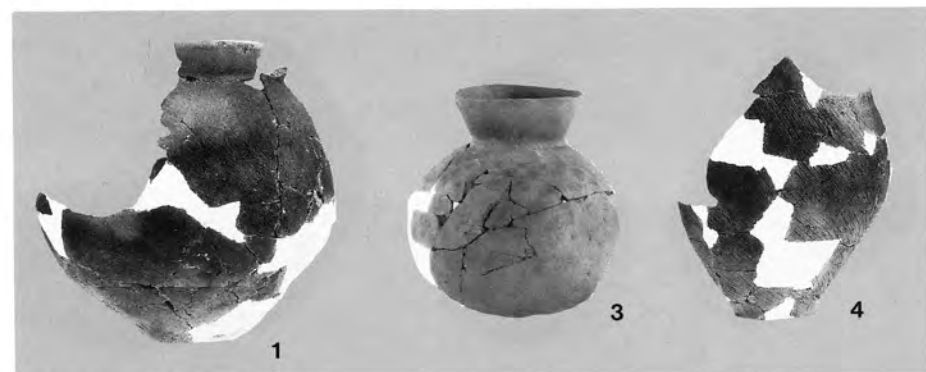
第111号住居跡出土土器



第115号住居跡出土土器



第116号住居跡出土土器



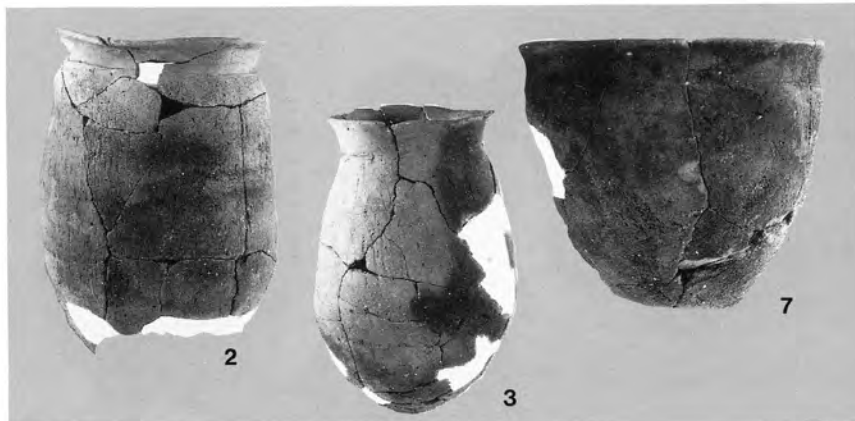
第118号住居跡出土土器



第119号住居跡出土土器

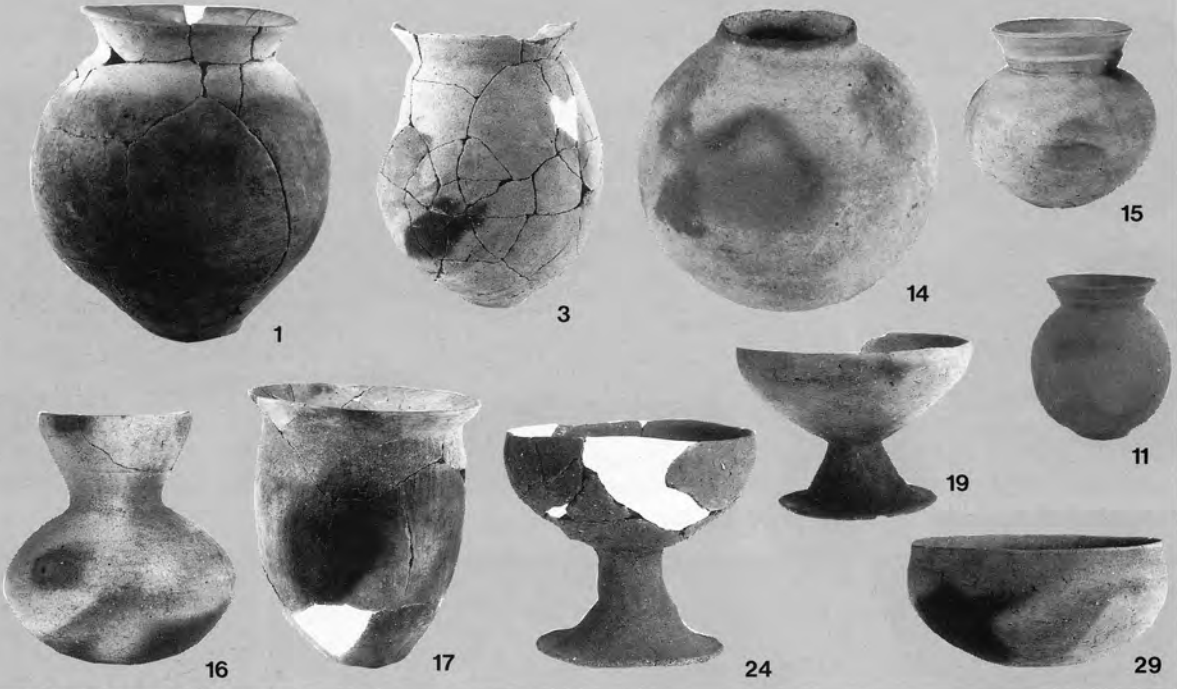


第120号住居跡出土土器

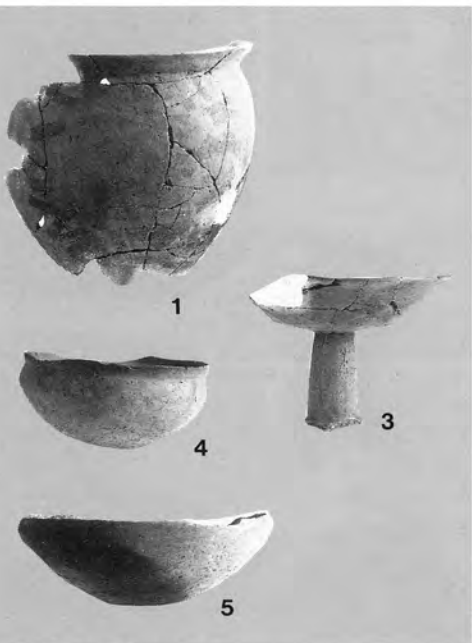


第121号住居跡出土土器

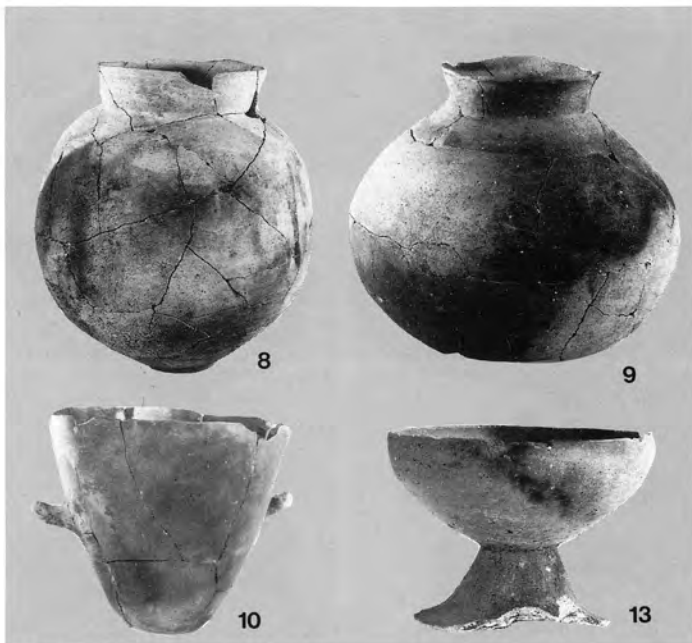
PL84



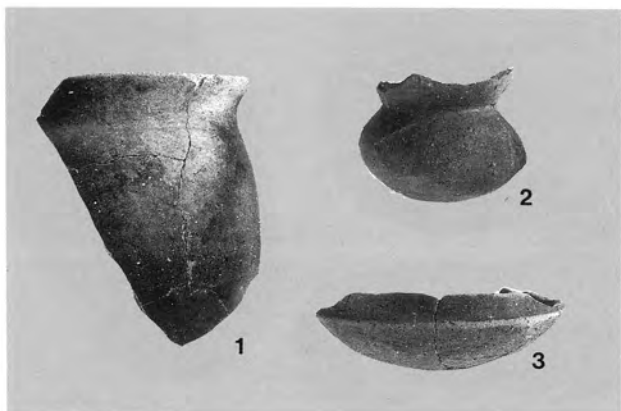
第117号住居跡出土土器



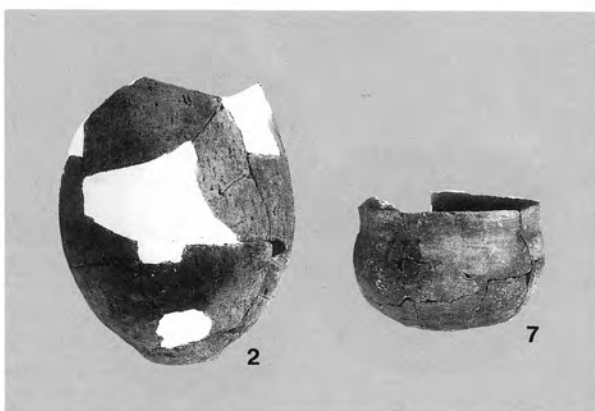
第126号住居跡出土土器



第130号住居跡出土土器



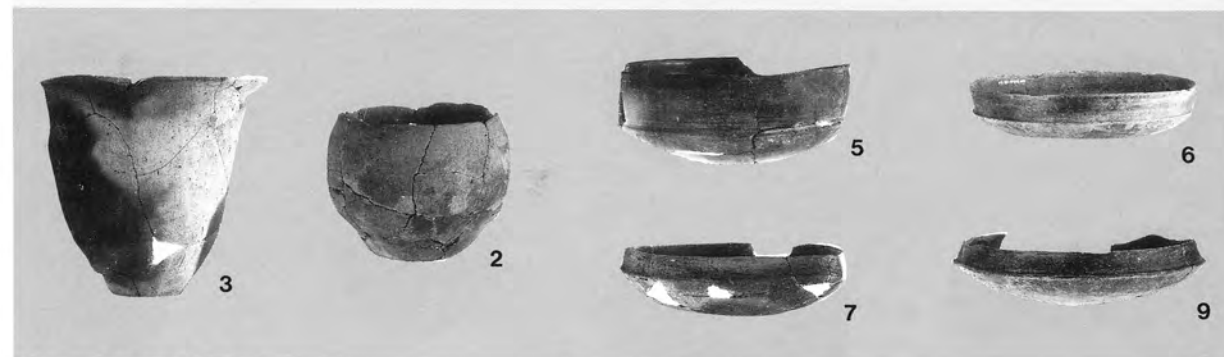
第131号住居跡出土土器



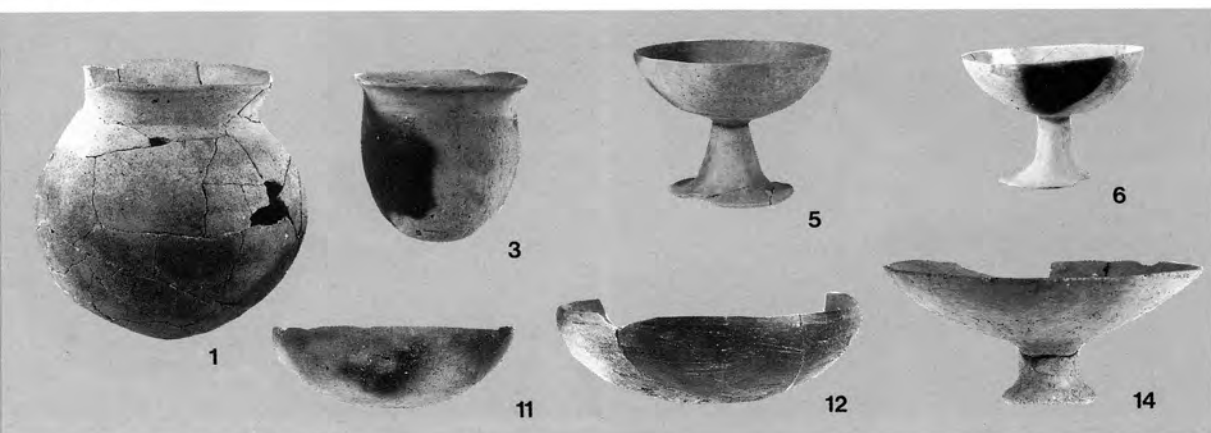
第135号住居跡出土土器



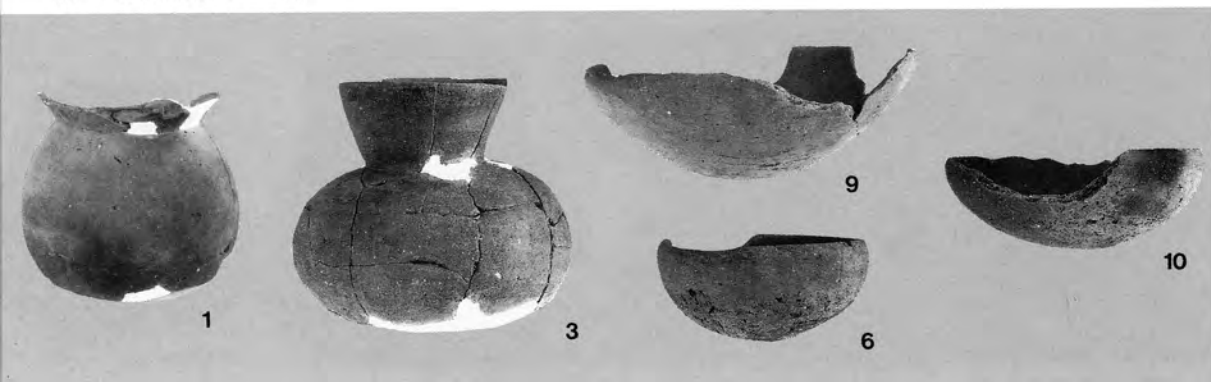
第136号住居跡出土土器



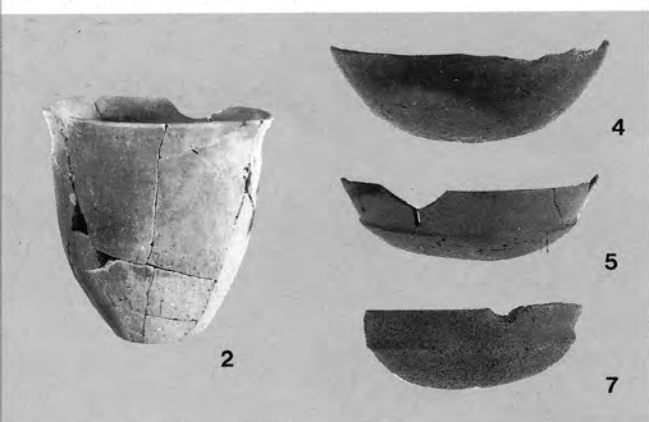
第138号住居跡出土土器



第147号住居跡出土土器



第155号住居跡出土土器



第174号住居跡出土土器



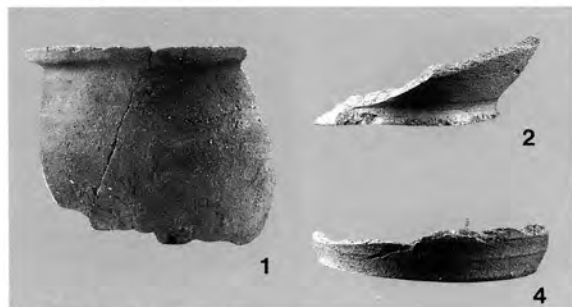
第1号住居跡出土土器



第2号住居跡出土土器



第3号住居跡出土土器



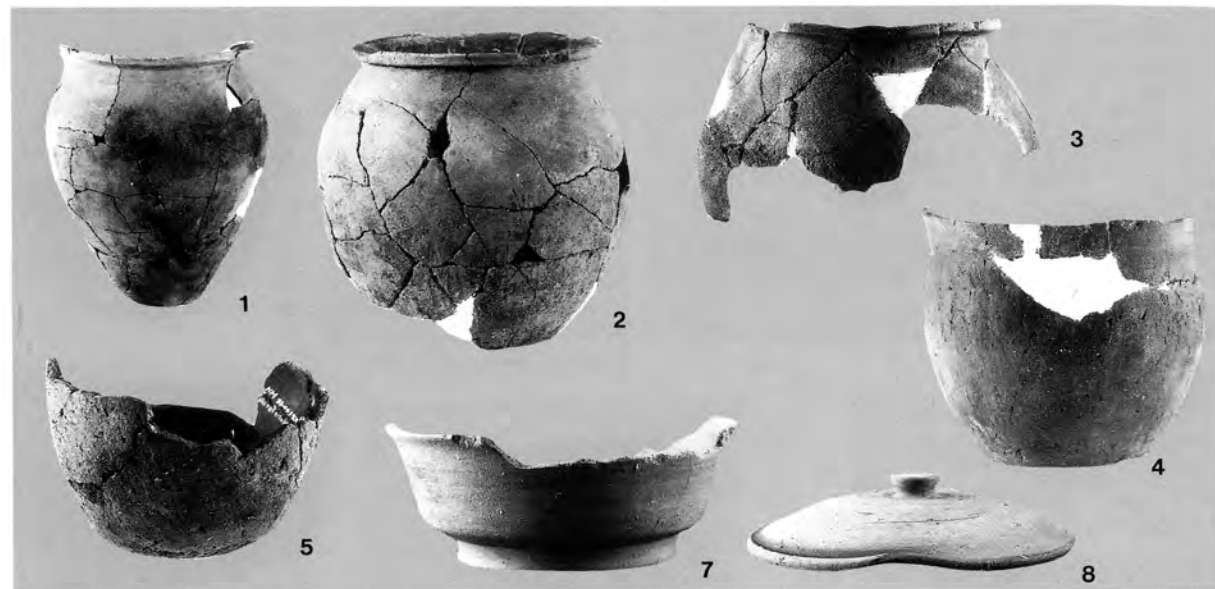
第4号住居跡出土土器



第8号住居跡出土土器



第9号住居跡出土土器



第10号住居跡出土土器



第11号住居跡出土土器



第13号住居跡出土土器



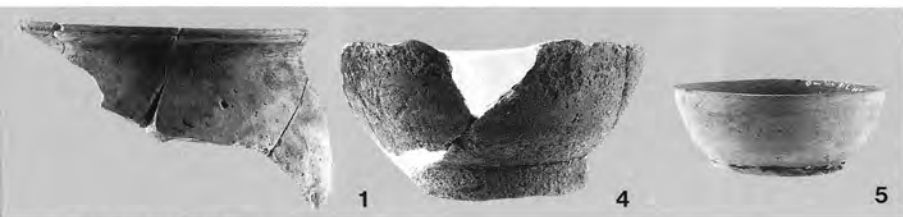
第14号住居跡出土土器



3



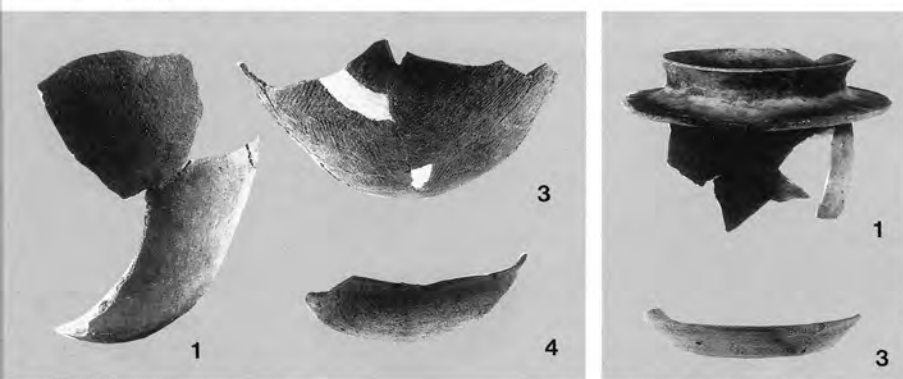
第15号住居跡出土土器



第18号住居跡出土土器



第19号住居跡出土土器



第25号住居跡出土土器

第30号住居跡出土土器



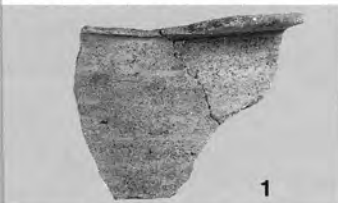
第34号住居跡出土土器



第35号住居跡出土土器



第59号住居跡出土土器



第98号住居跡出土土器



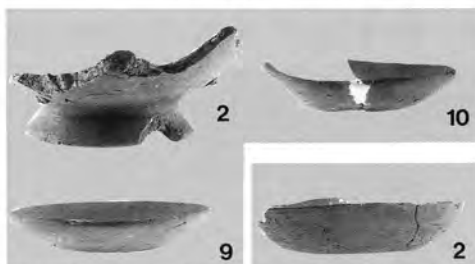
第66号住居跡出土土器



第43号住居跡出土土器



第50号住居跡出土土器

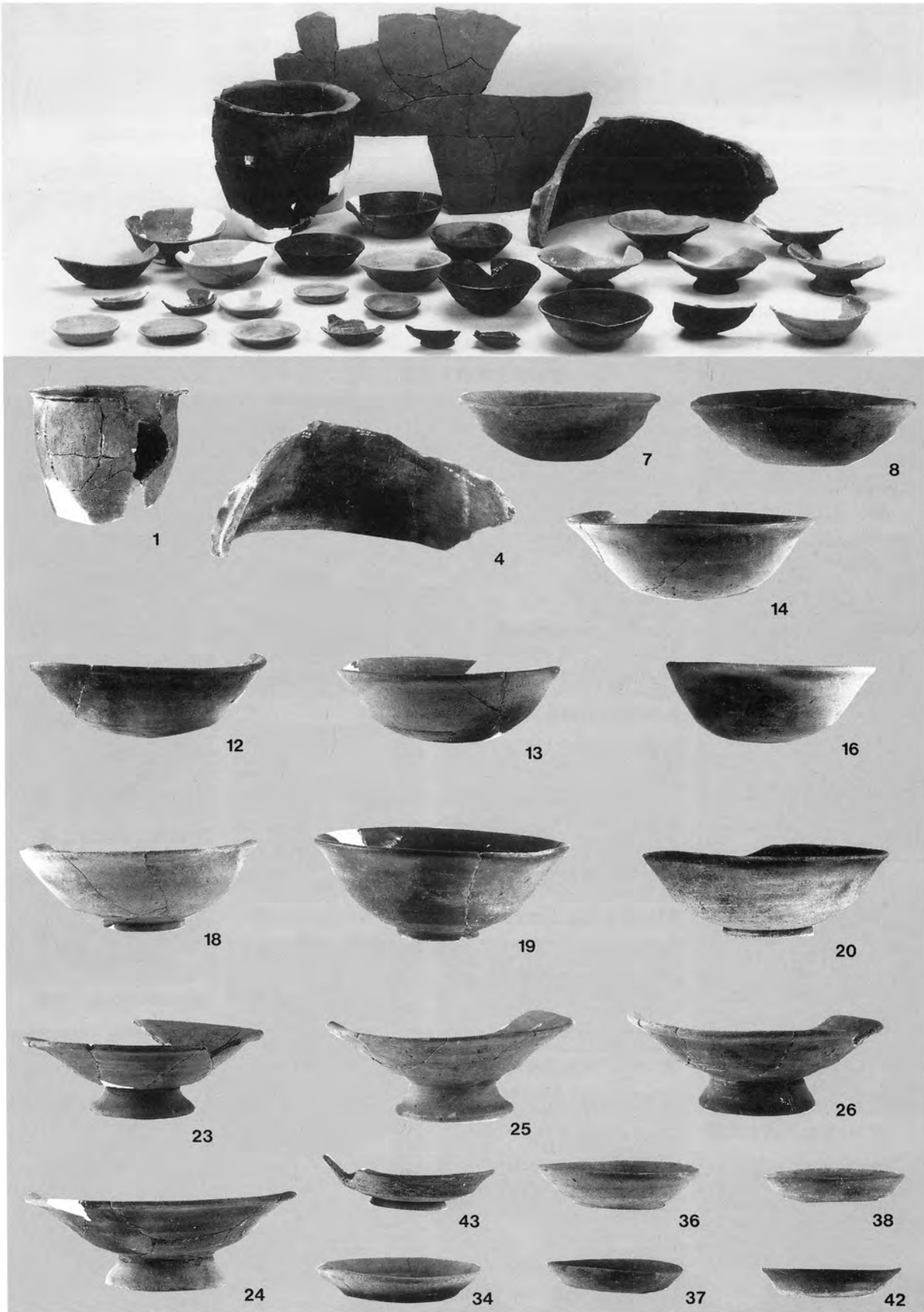


第114号住居跡出土土器

第156号住居跡出土土器



第23号住居跡出土土器



第29号住居跡出土土器



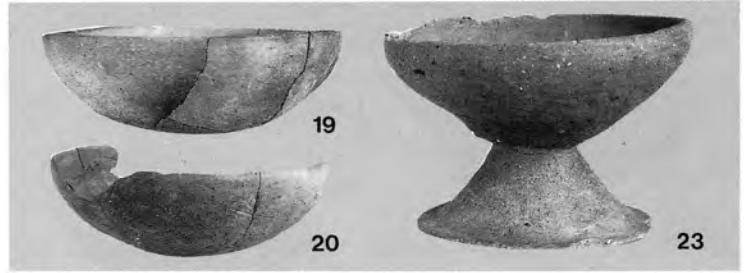
第7号溝出土土器



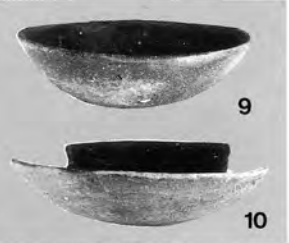
第1号道路跡出土土器



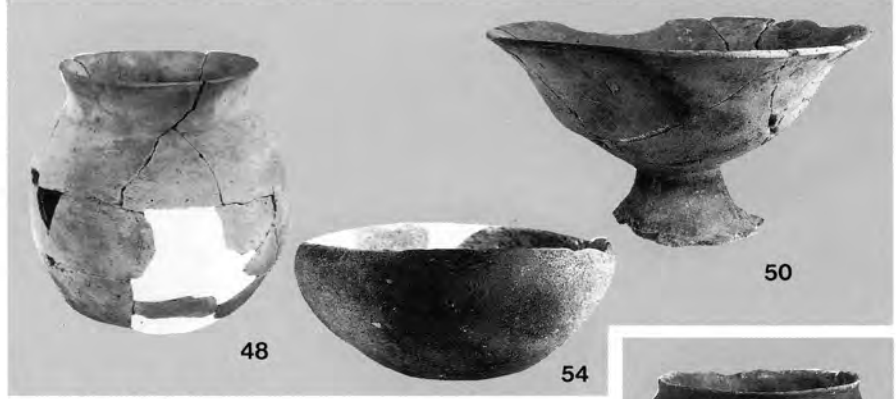
第26号土坑出土土器



第99号土坑出土土器



第35号土坑出土土器



第202号土坑出土土器

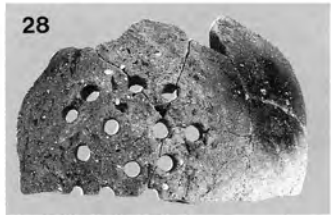


61



62

第210号土坑出土土器



28

第133号土坑出土土器



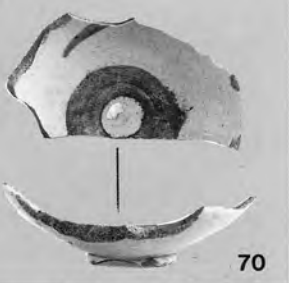
32

第166号土坑出土土器



42

第189号土坑出土土器



70

第243号土坑出土土器



37

第179号土坑出土土器



77

第260号土坑出土土器



79

第272号土坑出土土器



76

第254号土坑出土土器



2

11

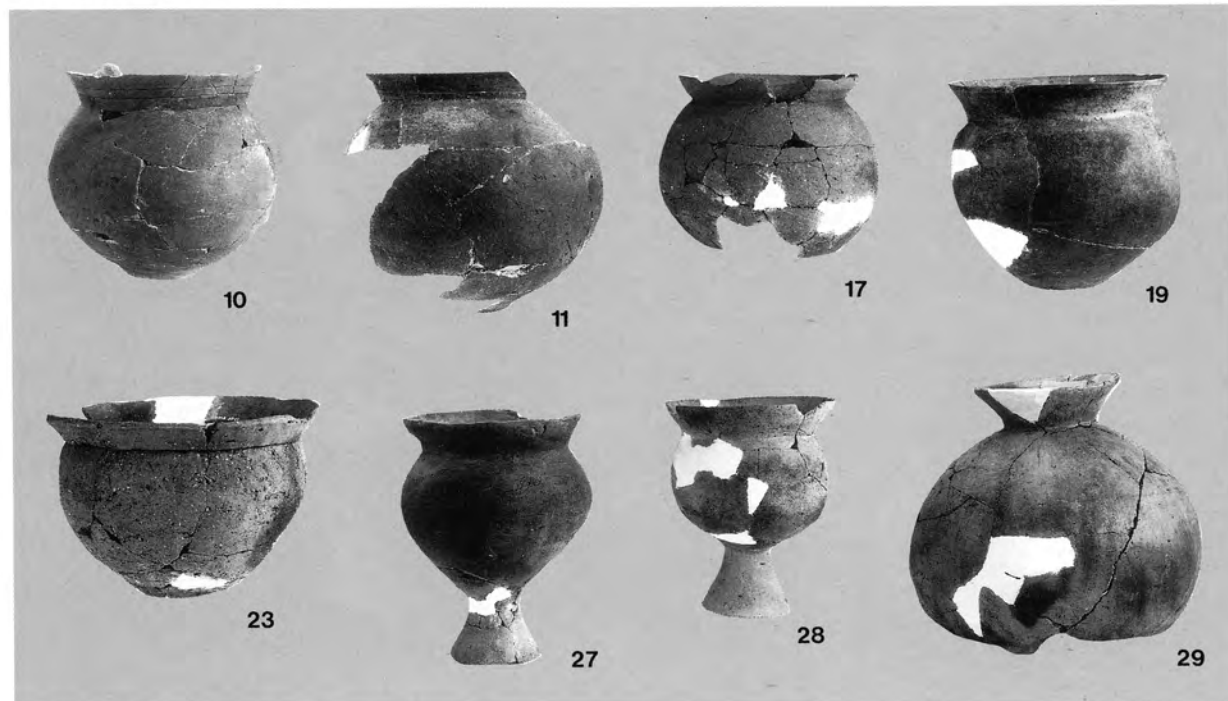
14

26

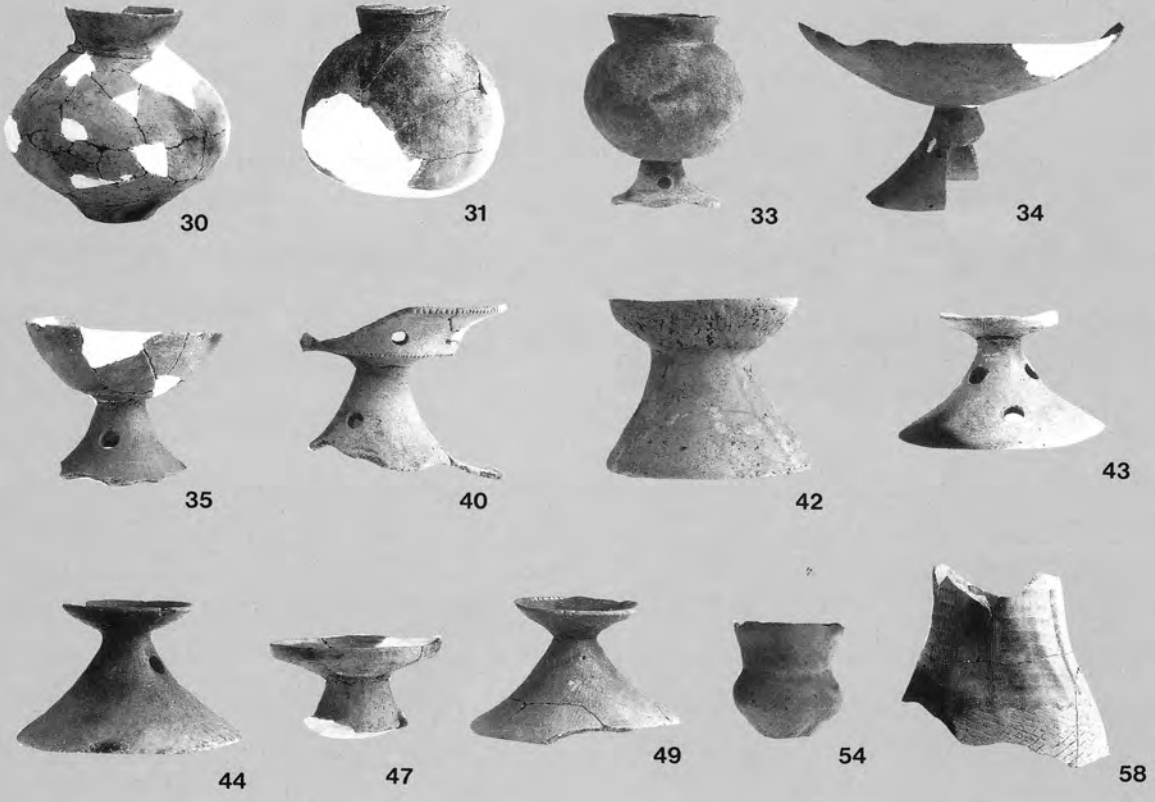
遺構外出土土器



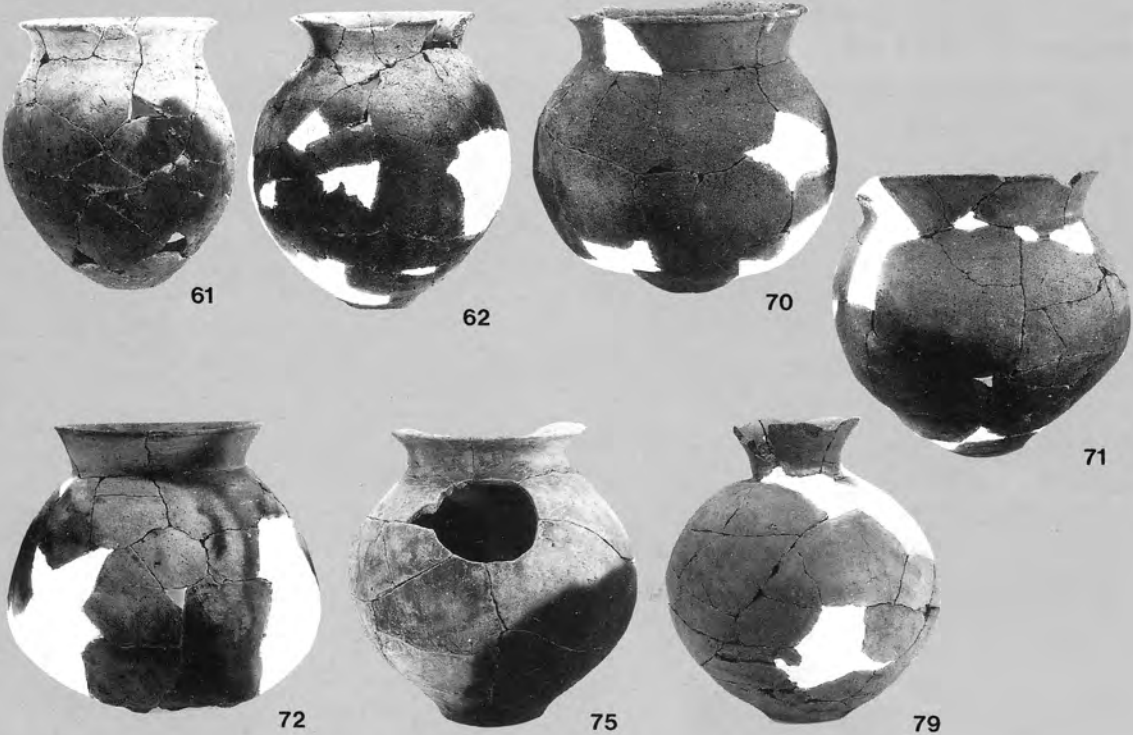
豪族居館跡南北堀下層出土土器



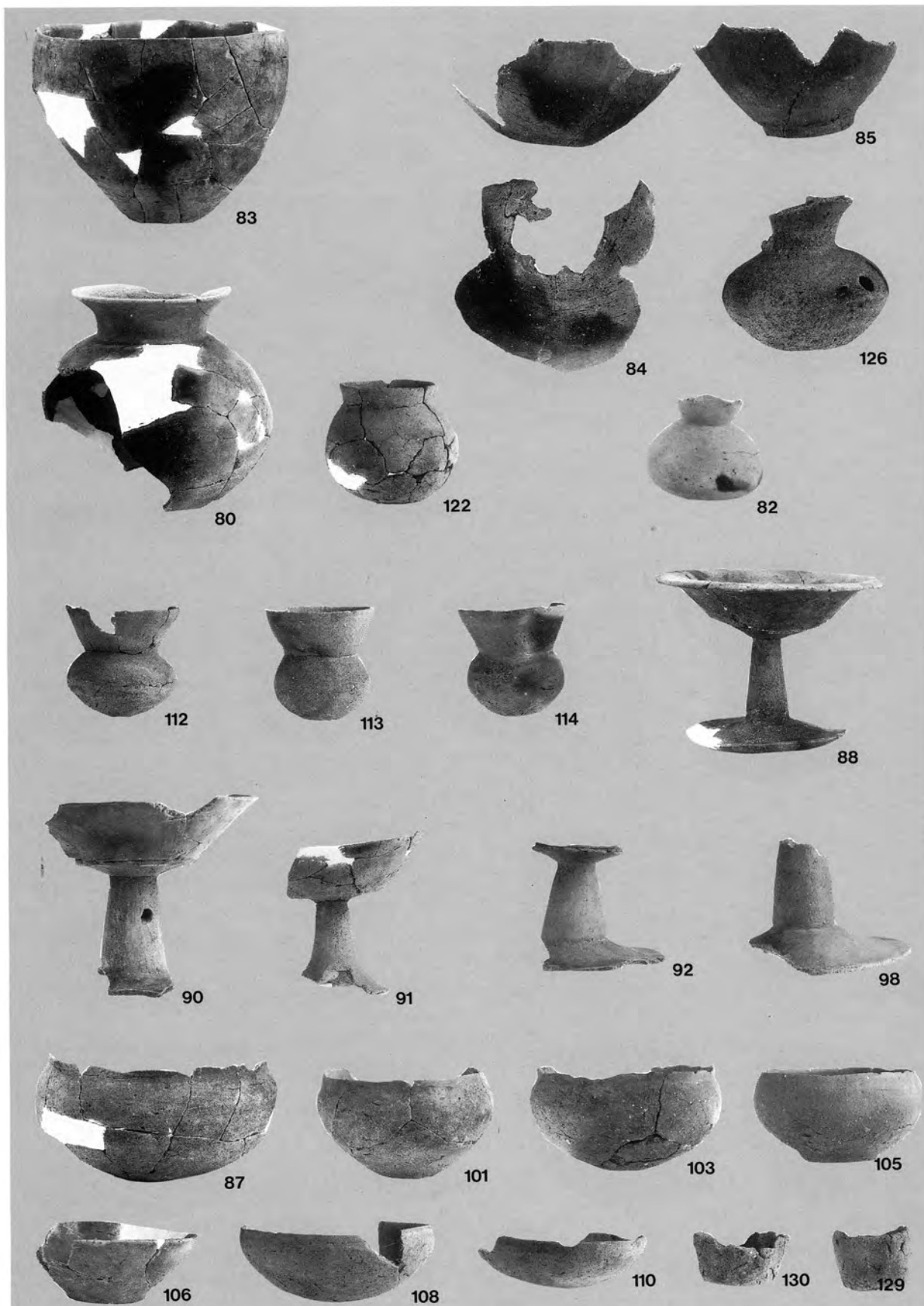
豪族居館跡東西堀下層出土土器



豪族居館跡東西堀下層出土土器



豪族居館跡南北堀上層出土土器



豪族居館跡南北堀上層出土土器



DP1



DP2



DP3



DP4



DP5



DP6



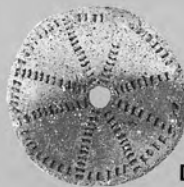
DP7



DP8



DP9



DP13



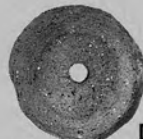
DP14



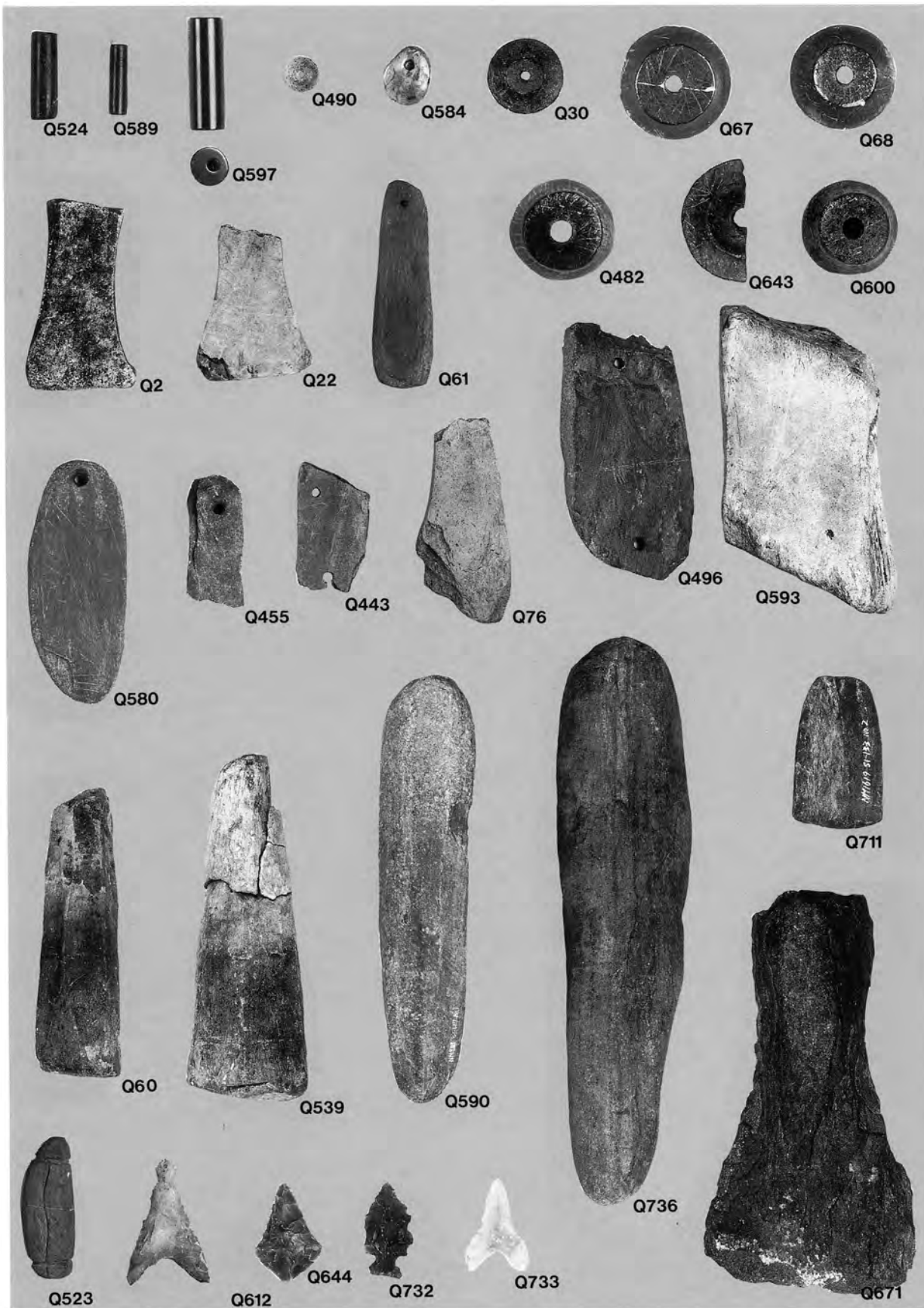
DP17



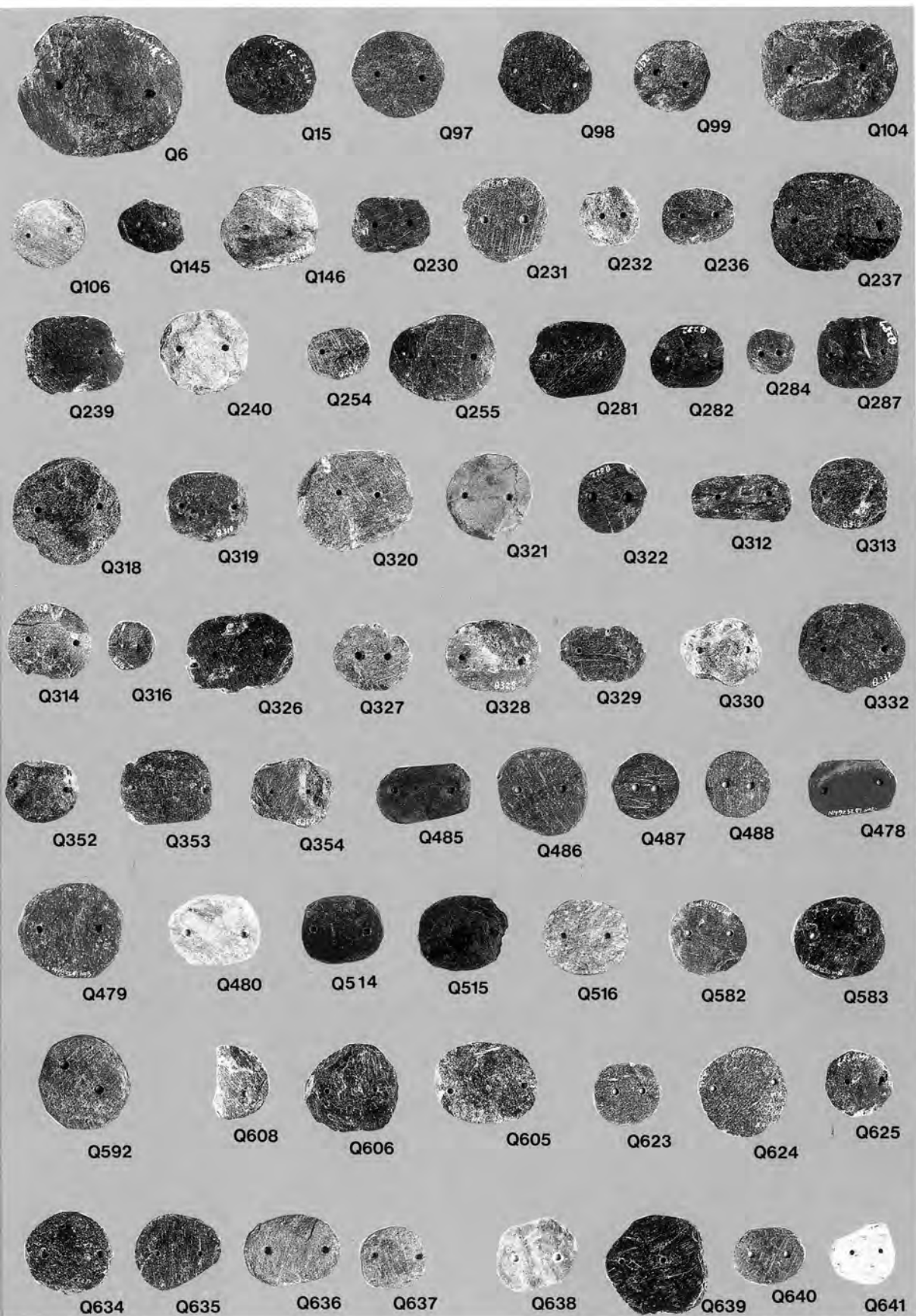
DP18



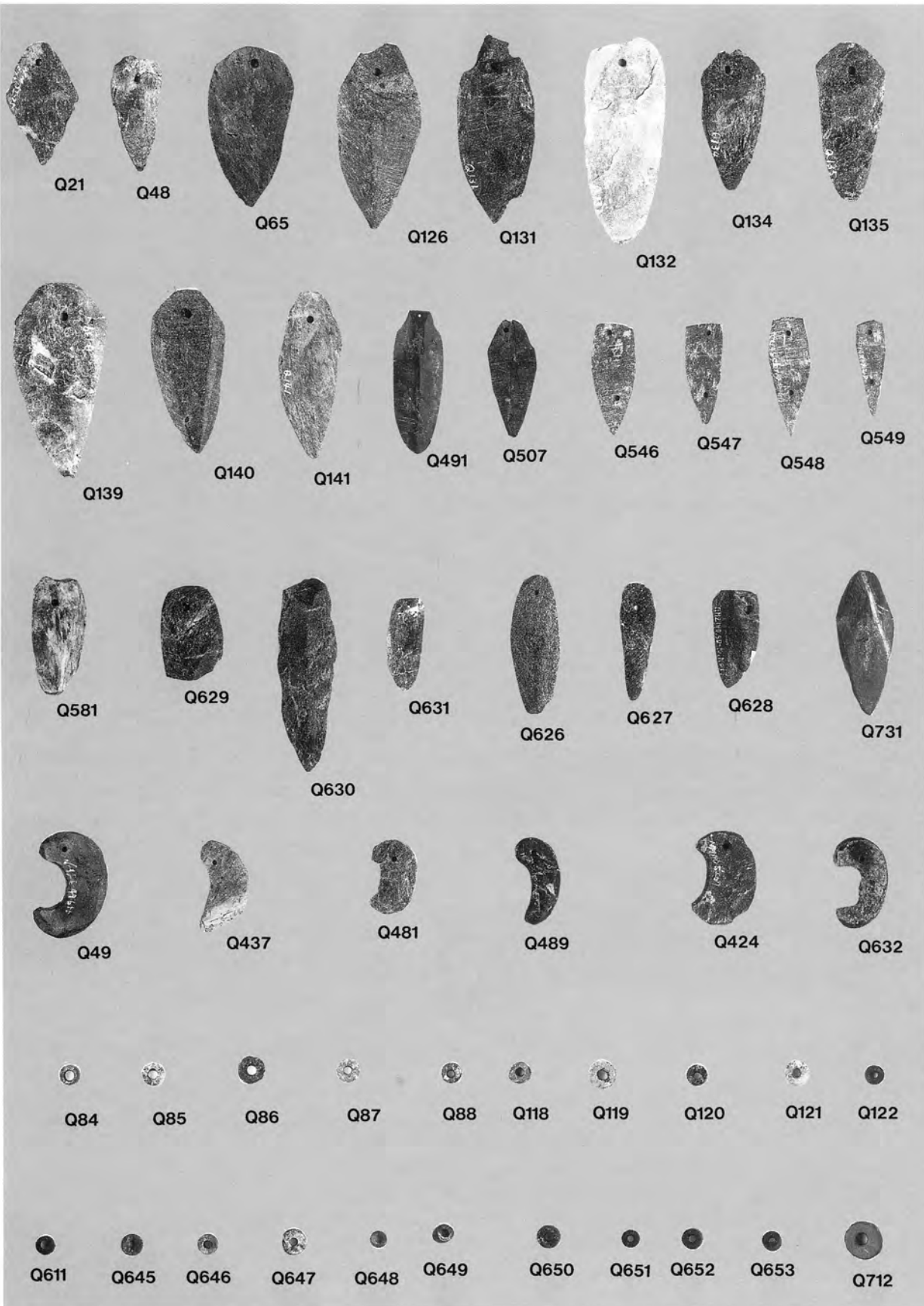
DP19



石器・石製品



石製模造品(1)



石製模造品(2)



M1



M5



M11



M25



M27



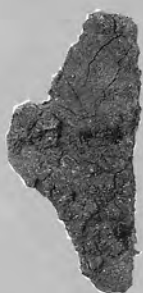
M29



M32



M4



M48



M35



M41



M137



M138



M30



M24



M36



M37



M38



M33



M69



M70



M71



M72



M73



M74



M75



M76



M77



M78



M79



M80

茨城県教育財団文化財調査報告第55集
一般国道349号道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書

北郷C遺跡(下)
森戸遺跡

平成2年3月26日印刷

平成2年3月31日発行

発行 財団法人 茨城県教育財団
水戸市南町3丁目4番57号
印刷 株式会社 あけぼの印刷社
水戸市松が丘2-6-24
TEL 0292-51-5265(代)

